



# エラー・メッセージ

2009年2月

バージョン 11.0.1

## 著作権と商標

Copyright © 2009 iAnywhere Solutions, Inc. Portions copyright © 2009 Sybase, Inc. All rights reserved.

iAnywhere との間に書面による合意がないかぎり、このマニュアルは現状のまま提供されるものであり、その使用または記載内容の誤りに対して一切の責任を負いません。

次の条件に従うかぎり、このマニュアルの全部または一部を使用、印刷、再生、配布することができます。1) マニュアルの全部または一部にかかわらず、すべてのコピーにこの情報またはマニュアル内のその他の著作権と商標の表示を含めること。2) マニュアルに変更を加えないこと。3) iAnywhere 以外の人間がマニュアルの著者または情報源であるかのように示す行為をしないこと。

iAnywhere®、Sybase®、および <http://www.sybase.com/detail?id=1011207> に記載されているマークは、Sybase, Inc. または子会社の商標です。® は米国での登録商標を示します。

このマニュアルに記載されているその他の会社名と製品名は各社の商標である場合があります。

---

---

# 目次

はじめに .....	v
SQL Anywhere のマニュアルについて .....	vi
<b>SQL Anywhere のエラー・メッセージ .....</b>	<b>1</b>
SQL Anywhere のエラー・メッセージの概要 .....	2
SQL Anywhere のエラー・メッセージ (SQLCODE 順) .....	3
SQL Anywhere のエラー・メッセージ (SQLSTATE 順) .....	50
SQL Anywhere のエラー・メッセージ (Sybase エラー・コード順) .....	94
SQL Anywhere のエラー・メッセージ (五十音順、英数字) .....	147
SQL Anywhere のエラー・メッセージ (五十音順、あ～さ) .....	249
SQL Anywhere のエラー・メッセージ (五十音順、た～は) .....	355
SQL Anywhere のエラー・メッセージ (五十音順、ま～わ) .....	457
SQL Anywhere のエラー・メッセージ (五十音順、特殊文字) .....	573
<b>Mobile Link サーバのエラー・メッセージ .....</b>	<b>583</b>
Mobile Link サーバのエラー・メッセージ (エラー・コード順) .....	584
Mobile Link サーバのエラー・メッセージ (五十音順) .....	600
<b>Mobile Link サーバの警告メッセージ .....</b>	<b>687</b>
Mobile Link サーバの警告メッセージの概要 .....	688
Mobile Link サーバの警告メッセージ (エラー・コード順) .....	689
Mobile Link サーバの警告メッセージ (五十音順) .....	694
<b>Mobile Link 通信エラー・メッセージ .....</b>	<b>719</b>
Mobile Link 通信エラー・メッセージの概要 .....	720
Mobile Link 通信エラー・メッセージ (エラー・コード順) .....	721
Mobile Link 通信エラー・メッセージ (エラー一定数順) .....	728
Mobile Link 通信エラー・メッセージ (五十音順) .....	738

<b>SQL プリプロセッサのエラー・メッセージ .....</b>	<b>781</b>
SQL プリプロセッサのエラー・メッセージ (エラー・コード順) .....	782
SQL プリプロセッサのエラー・メッセージ (五十音順) .....	785

---

# はじめに

## このマニュアルの内容

このマニュアルでは、SQL Anywhere エラー・メッセージの完全なリストを示し、その診断情報を説明します。

## 対象読者

このマニュアルは、SQL Anywhere のすべてのユーザを対象としています。このマニュアルは、他のマニュアルと一緒に使用するよう構成されています。

## SQL Anywhere のマニュアルについて

SQL Anywhere の完全なマニュアルは 4 つの形式で提供されており、いずれも同じ情報が含まれています。

- **HTML ヘルプ** オンライン・ヘルプには、SQL Anywhere の完全なマニュアルがあり、SQL Anywhere ツールに関する印刷マニュアルとコンテキスト別のヘルプの両方が含まれています。

Microsoft Windows オペレーティング・システムを使用している場合は、オンライン・ヘルプは HTML ヘルプ (CHM) 形式で提供されます。マニュアルにアクセスするには、**[スタート] - [プログラム] - [SQL Anywhere 11] - [マニュアル] - [オンライン・マニュアル]** を選択します。

管理ツールのヘルプ機能でも、同じオンライン・マニュアルが使用されます。

- **Eclipse** UNIX プラットフォームでは、完全なオンライン・ヘルプは Eclipse 形式で提供されます。マニュアルにアクセスするには、SQL Anywhere 11 インストール環境の *bin32* または *bin64* ディレクトリから *sadoc* を実行します。
- **DocCommentXchange** DocCommentXchange は、SQL Anywhere マニュアルにアクセスし、マニュアルについて議論するためのコミュニティです。

DocCommentXchange は次の目的に使用できます (現在のところ、日本語はサポートされていません)。

- マニュアルを表示する
- マニュアルの項目について明確化するために、ユーザによって追加された内容を確認する
- すべてのユーザのために、今後のリリースでマニュアルを改善するための提案や修正を行う

<http://dxc.sybase.com> を参照してください。

- **PDF** SQL Anywhere の完全なマニュアル・セットは、Portable Document Format (PDF) 形式のファイルとして提供されます。内容を表示するには、PDF リーダが必要です。Adobe Reader をダウンロードするには、<http://get.adobe.com/reader/> にアクセスしてください。

Microsoft Windows オペレーティング・システムで PDF マニュアルにアクセスするには、**[スタート] - [プログラム] - [SQL Anywhere 11] - [マニュアル] - [オンライン・マニュアル - PDF]** を選択します。

UNIX オペレーティング・システムで PDF マニュアルにアクセスするには、Web ブラウザを使用して *install-dir/documentation/ja/pdf/index.html* を開きます。

## マニュアル・セットに含まれる各マニュアルについて

SQL Anywhere のマニュアルは次の構成になっています。

- **『SQL Anywhere 11 - 紹介』** このマニュアルでは、データの管理および交換機能を提供する包括的なパッケージである SQL Anywhere 11 について説明します。SQL Anywhere を使用する

ると、サーバ環境、デスクトップ環境、モバイル環境、リモート・オフィス環境に適したデータベース・ベースのアプリケーションを迅速に開発できるようになります。

- 『SQL Anywhere 11 - 変更点とアップグレード』 このマニュアルでは、SQL Anywhere 11 とそれ以前のバージョンに含まれる新機能について説明します。
- 『SQL Anywhere サーバ - データベース管理』 このマニュアルでは、SQL Anywhere データベースを実行、管理、構成する方法について説明します。データベース接続、データベース・サーバ、データベース・ファイル、バックアップ・プロシージャ、セキュリティ、高可用性、Replication Server を使用したレプリケーション、管理ユーティリティとオプションについて説明します。
- 『SQL Anywhere サーバ - プログラミング』 このマニュアルでは、C、C++、Java、PHP、Perl、Python、および Visual Basic や Visual C# などの .NET プログラミング言語を使用してデータベース・アプリケーションを構築、配備する方法について説明します。ADO.NET や ODBC などのさまざまなプログラミング・インタフェースについても説明します。
- 『SQL Anywhere サーバ - SQL リファレンス』 このマニュアルでは、システム・プロシージャとカタログ (システム・テーブルとビュー) に関する情報について説明します。また、SQL Anywhere での SQL 言語の実装 (探索条件、構文、データ型、関数) についても説明します。
- 『SQL Anywhere サーバ - SQL の使用法』 このマニュアルでは、データベースの設計と作成の方法、データのインポート・エクスポート・変更の方法、データの検索方法、ストアド・プロシージャとトリガの構築方法について説明します。
- 『Mobile Link - クイック・スタート』 このマニュアルでは、セッションベースのリレーショナル・データベース同期システムである Mobile Link について説明します。Mobile Link テクノロジーは、双方向レプリケーションを可能にし、モバイル・コンピューティング環境に非常に適しています。
- 『Mobile Link - クライアント管理』 このマニュアルでは、Mobile Link クライアントを設定、構成、同期する方法について説明します。Mobile Link クライアントには、SQL Anywhere または Ultra Light のいずれかのデータベースを使用できます。また、dbmsync API についても説明します。dbmsync API を使用すると、同期を C++ または .NET のクライアント・アプリケーションにシームレスに統合できます。
- 『Mobile Link - サーバ管理』 このマニュアルでは、Mobile Link アプリケーションを設定して管理する方法について説明します。
- 『Mobile Link - サーバ起動同期』 このマニュアルでは、Mobile Link サーバ起動同期について説明します。この機能により、Mobile Link サーバは同期を開始したり、リモート・デバイス上でアクションを実行することができます。
- 『QAnywhere』 このマニュアルでは、モバイル・クライアント、ワイヤレス・クライアント、デスクトップ・クライアント、およびラップトップ・クライアント用のメッセージング・プラットフォームである、QAnywhere について説明します。
- 『SQL Remote』 このマニュアルでは、モバイル・コンピューティング用の SQL Remote データ・レプリケーション・システムについて説明します。このシステムによって、SQL Anywhere の統合データベースと複数の SQL Anywhere リモート・データベースの間で、電子メールやファイル転送などの間接的リンクを使用したデータ共有が可能になります。

- 『Ultra Light - データベース管理とリファレンス』 このマニュアルでは、小型デバイス用 Ultra Light データベース・システムの概要を説明します。
- 『Ultra Light - C/C++ プログラミング』 このマニュアルでは、Ultra Light C および Ultra Light C++ のプログラミング・インタフェースについて説明します。Ultra Light を使用すると、ハンドヘルド・デバイス、モバイル・デバイス、埋め込みデバイスのデータベース・アプリケーションを開発し、これらのデバイスに配備できます。
- 『Ultra Light - M-Business Anywhere プログラミング』 このマニュアルは、Ultra Light for M-Business Anywhere について説明します。Ultra Light for M-Business Anywhere を使用すると、Palm OS、Windows Mobile、または Windows を搭載しているハンドヘルド・デバイス、モバイル・デバイス、または埋め込みデバイスの Web ベースのデータベース・アプリケーションを開発し、これらのデバイスに配備できます。
- 『Ultra Light - .NET プログラミング』 このマニュアルでは、Ultra Light.NET について説明します。Ultra Light.NET を使用すると、PC、ハンドヘルド・デバイス、モバイル・デバイス、または埋め込みデバイスのデータベース・アプリケーションを開発し、これらのデバイスに配備できます。
- 『Ultra Light J』 このマニュアルでは、Ultra Light J について説明します。Ultra Light J を使用すると、Java をサポートしている環境用のデータベース・アプリケーションを開発し、配備することができます。Ultra Light J は、BlackBerry スマートフォンと Java SE 環境をサポートしており、iAnywhere Ultra Light データベース製品がベースになっています。
- 『エラー・メッセージ』 このマニュアルでは、SQL Anywhere エラー・メッセージの完全なリストを示し、その診断情報を説明します。

## 表記の規則

この項では、このマニュアルで使用されている表記規則について説明します。

### オペレーティング・システム

SQL Anywhere はさまざまなプラットフォームで稼働します。ほとんどの場合、すべてのプラットフォームで同じように動作しますが、いくつかの相違点や制限事項があります。このような相違点や制限事項は、一般に、基盤となっているオペレーティング・システム (Windows、UNIX など) に由来しており、使用しているプラットフォームの種類 (AIX、Windows Mobile など) またはバージョンに依存していることはほとんどありません。

オペレーティング・システムへの言及を簡素化するために、このマニュアルではサポートされているオペレーティング・システムを次のようにグループ分けして表記します。

- **Windows** Microsoft Windows ファミリを指しています。これには、主にサーバ、デスクトップ・コンピュータ、ラップトップ・コンピュータで使用される Windows Vista や Windows XP、およびモバイル・デバイスで使用される Windows Mobile が含まれます。  
特に記述がないかぎり、マニュアル中に Windows という記述がある場合は、Windows Mobile を含むすべての Windows ベース・プラットフォームを指しています。



- **UNIX** 特に記述がないかぎり、マニュアル中に UNIX という記述がある場合は、Linux および Mac OS X を含むすべての UNIX ベース・プラットフォームを指しています。

## ディレクトリとファイル名

ほとんどの場合、ディレクトリ名およびファイル名の参照形式はサポートされているすべてのプラットフォームで似通っており、それぞれの違いはごくわずかです。このような場合は、Windows の表記規則が使用されています。詳細がより複雑な場合は、マニュアルにすべての関連形式が記載されています。

ディレクトリ名とファイル名の表記を簡素化するために使用されている表記規則は次のとおりです。

- **大文字と小文字のディレクトリ名** Windows と UNIX では、ディレクトリ名およびファイル名には大文字と小文字が含まれている場合があります。ディレクトリやファイルが作成されると、ファイル・システムでは大文字と小文字の区別が維持されます。

Windows では、ディレクトリおよびファイルを参照するとき、大文字と小文字は**区別されません**。大文字と小文字を混ぜたディレクトリ名およびファイル名は一般的に使用されますが、参照するときはすべて小文字を使用するのが通常です。SQL Anywhere では、*Bin32* や *Documentation* などのディレクトリがインストールされます。

UNIX では、ディレクトリおよびファイルを参照するとき、大文字と小文字は**区別されます**。大文字と小文字を混ぜたディレクトリ名およびファイル名は一般的に使用されません。ほとんどの場合は、すべて小文字の名前が使用されます。SQL Anywhere では、*bin32* や *documentation* などのディレクトリがインストールされます。

このマニュアルでは、ディレクトリ名に Windows の形式を使用しています。ほとんどの場合、大文字と小文字が混ざったディレクトリ名をすべて小文字に変換すると、対応する UNIX 用のディレクトリ名になります。

- **各ディレクトリおよびファイル名を区切るスラッシュ** マニュアルでは、ディレクトリの区切り文字に円記号を使用しています。たとえば、PDF 形式のマニュアルは *install-dir/Documentation/ja/pdf* にあります。これは Windows の形式です。

UNIX では、円記号をスラッシュに置き換えます。PDF マニュアルは *install-dir/documentation/ja/pdf* にあります。

- **実行ファイル** マニュアルでは、実行ファイルの名前は、Windows の表記規則が使用され、*.exe* や *.bat* などの拡張子が付きます。UNIX では、実行ファイルの名前に拡張子は付きません。

たとえば、Windows でのネットワーク・データベース・サーバは *dbsrv11.exe* です。UNIX では *dbsrv11* です。

- **install-dir** インストール・プロセス中に、SQL Anywhere をインストールするロケーションを選択します。このロケーションを参照する環境変数 *SQLANY11* が作成されます。このマニュアルでは、そのロケーションを *install-dir* と表します。

たとえば、マニュアルではファイルを *install-dir/readme.txt* のように参照します。これは、Windows では、*%SQLANY11%/readme.txt* に対応します。UNIX では、*\$(SQLANY11)/readme.txt* または *\$(SQLANY11)/readme.txt* に対応します。

*install-dir* のデフォルト・ロケーションの詳細については、「[SQLANY11 環境変数](#)」『[SQL Anywhere サーバ - データベース管理](#)』を参照してください。

- **samples-dir** インストール・プロセス中に、SQL Anywhere に含まれるサンプルをインストールするロケーションを選択します。このロケーションを参照する環境変数 SQLANYSAMP11 が作成されます。このマニュアルではそのロケーションを *samples-dir* と表します。

Windows エクスプローラ・ウィンドウで *samples-dir* を開くには、**[スタート] - [プログラム] - [SQL Anywhere 11] - [サンプル・アプリケーションとプロジェクト]** を選択します。

*samples-dir* のデフォルト・ロケーションの詳細については、「[SQLANYSAMP11 環境変数](#)」『[SQL Anywhere サーバ - データベース管理](#)』を参照してください。

## コマンド・プロンプトとコマンド・シェル構文

ほとんどのオペレーティング・システムには、コマンド・シェルまたはコマンド・プロンプトを使用してコマンドおよびパラメータを入力する方法が、1 つ以上あります。Windows のコマンド・プロンプトには、コマンド・プロンプト (DOS プロンプト) および 4NT があります。UNIX のコマンド・シェルには、Korn シェルおよび bash があります。各シェルには、単純コマンドからの拡張機能が含まれています。拡張機能は、特殊文字を指定することで起動されます。特殊文字および機能は、シェルによって異なります。これらの特殊文字を誤って使用すると、多くの場合、構文エラーや予期しない動作が発生します。

このマニュアルでは、一般的な形式のコマンド・ラインの例を示します。これらの例に、シェルにとって特別な意味を持つ文字が含まれている場合、その特定のシェル用にコマンドを変更することが必要な場合があります。このマニュアルではコマンドの変更について説明しませんが、通常、その文字を含むパラメータを引用符で囲むか、特殊文字の前にエスケープ文字を記述します。

次に、プラットフォームによって異なるコマンド・ライン構文の例を示します。

- **カッコと中カッコ** 一部のコマンド・ライン・オプションは、詳細な値を含むリストを指定できるパラメータを要求します。リストは通常、カッコまたは中カッコで囲まれています。このマニュアルでは、カッコを使用します。次に例を示します。

```
-x tcpip(host=127.0.0.1)
```

カッコによって構文エラーになる場合は、代わりに中カッコを使用します。

```
-x tcpip{host=127.0.0.1}
```

どちらの形式でも構文エラーになる場合は、シェルの要求に従ってパラメータ全体を引用符で囲む必要があります。

```
-x "tcpip(host=127.0.0.1)"
```

- **引用符** パラメータの値として引用符を指定する必要がある場合、その引用符はパラメータを囲むために使用される通常の引用符と競合する可能性があります。たとえば、値に二重引用符を含む暗号化キーを指定するには、キーを引用符で囲み、パラメータ内の引用符をエスケープします。

```
-ek "my ¥"secret¥" key"
```

多くのシェルでは、キーの値は my "secret" key のようになります。

- **環境変数** マニュアルでは、環境変数設定が引用されます。Windows のシェルでは、環境変数は構文 %ENVVAR% を使用して指定されます。UNIX のシェルでは、環境変数は構文 \$ENVVAR または \${ENVVAR} を使用して指定されます。

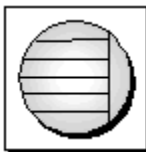
## グラフィック・アイコン

このマニュアルでは、次のアイコンを使用します。

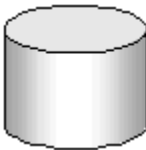
- クライアント・アプリケーション。



- SQL Anywhere などのデータベース・サーバ。



- データベース。ハイレベルの図では、データベースとデータベースを管理するデータ・サーバの両方をこのアイコンで表します。



- レプリケーションまたは同期のミドルウェア。ソフトウェアのこれらの部分は、データベース間のデータ共有を支援します。たとえば、Mobile Link サーバ、SQL Remote Message Agent などが挙げられます。



- プログラミング・インタフェース。

## ドキュメンテーション・チームへのお問い合わせ

このヘルプに関するご意見、ご提案、フィードバックをお寄せください。

SQL Anywhere ドキュメンテーション・チームへのご意見やご提案は、弊社までご連絡ください。頂戴したご意見はマニュアルの向上に役立たせていただきます。ぜひとも、ご意見をお寄せください。

### DocCommentXchange

DocCommentXchange を使用して、ヘルプ・トピックに関するご意見を直接お寄せいただくこともできます。DocCommentXchange (DCX) は、SQL Anywhere マニュアルにアクセスしたり、マニュアルについて議論するためのコミュニティです。DocCommentXchange は次の目的に使用できます (現在のところ、日本語はサポートされておられません)。

- マニュアルを表示する
- マニュアルの項目について明確化するために、ユーザによって追加された内容を確認する
- すべてのユーザのために、今後のリリースでマニュアルを改善するための提案や修正を行う

<http://dcx.sybase.com> を参照してください。

## 詳細情報の検索／テクニカル・サポートの依頼

詳しい情報やリソースについては、iAnywhere デベロッパー・コミュニティ (<http://www.iAnywhere.jp/developers/index.html>) を参照してください。

ご質問がある場合や支援が必要な場合は、次に示す Sybase iAnywhere ニュースグループのいずれかにメッセージをお寄せください。

ニュースグループにメッセージをお送りいただく際には、ご使用の SQL Anywhere バージョンのビルド番号を明記し、現在発生している問題について詳しくお知らせくださいますようお願いいたします。バージョンおよびビルド番号を調べるには、コマンド **dbeng11 -v** を実行します。

ニュースグループは、ニュース・サーバ [forums.sybase.com](http://forums.sybase.com) にあります。

以下のニュースグループがあります。

- [ianywhere.public.japanese.general](http://groups.google.com/group/sql-anywhere-web-development)

Web 開発に関する問題については、<http://groups.google.com/group/sql-anywhere-web-development> を参照してください。

**ニュースグループに関するお断り**

iAnywhere Solutions は、ニュースグループ上に解決策、情報、または意見を提供する義務を負うものではありません。また、システム・オペレータ以外のスタッフにこのサービスを監視させて、操作状況や可用性を保証する義務もありません。

iAnywhere のテクニカル・アドバイザーとその他のスタッフは、時間のある場合にかぎりニュースグループでの支援を行います。こうした支援は基本的にボランティアで行われるため、解決策や情報を定期的に提供できるとはかぎりません。支援できるかどうかは、スタッフの仕事量に左右されます。

---

---

# SQL Anywhere のエラー・メッセージ

## 目次

SQL Anywhere のエラー・メッセージの概要 .....	2
SQL Anywhere のエラー・メッセージ (SQLCODE 順) .....	3
SQL Anywhere のエラー・メッセージ (SQLSTATE 順) .....	50
SQL Anywhere のエラー・メッセージ (Sybase エラー・コード順) .....	94
SQL Anywhere のエラー・メッセージ (五十音順、英数字) .....	147
SQL Anywhere のエラー・メッセージ (五十音順、あ～さ) .....	249
SQL Anywhere のエラー・メッセージ (五十音順、た～は) .....	355
SQL Anywhere のエラー・メッセージ (五十音順、ま～わ) .....	457
SQL Anywhere のエラー・メッセージ (五十音順、特殊文字) .....	573

---

## SQL Anywhere のエラー・メッセージの概要

多くのエラー・メッセージには、%1、%2 などの文字が含まれています。これらは、パラメータに置き換えられてエラー・メッセージに表示されます。

各エラーには SQLCODE という数値エラー・コードがあります。負数のコードはエラー、正数のコードは警告を示します。SQLCODE が 0 の場合、操作が成功したことを示します。

- 「SQL Anywhere のエラー・メッセージの概要」 2 ページ
- 「SQL Anywhere のエラー・メッセージ (SQLCODE 順)」 3 ページ
- 「SQL Anywhere のエラー・メッセージ (SQLSTATE 順)」 50 ページ
- 「SQL Anywhere のエラー・メッセージ (Sybase エラー・コード順)」 94 ページ
- 「SQL Anywhere のエラー・メッセージ (五十音順、英数字)」 147 ページ
- 「SQL Anywhere のエラー・メッセージ (五十音順、あ～さ)」 249 ページ
- 「SQL Anywhere のエラー・メッセージ (五十音順、た～は)」 355 ページ
- 「SQL Anywhere のエラー・メッセージ (五十音順、ま～わ)」 457 ページ
- 「SQL Anywhere のエラー・メッセージ (五十音順、特殊文字)」 573 ページ



## SQL Anywhere のエラー・メッセージ (SQLCODE 順)

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージ・テキスト
-1315	「スクリプト・ファイルの行の区切りに文デリミタ ¥"go¥" がありません」 ページ
-1313	「最大文字列長を超えました。」 435 ページ
-1305	「Mobile Link 通信エラー：コード：%1、パラメータ：%2、システム・コード %3」 363 ページ
-1304	「¥"%1¥ と同じ設定でこのテーブルに新しいテキストを作成できませんでした。」 ページ
-1303	「MESSAGE ... FOR CONNECTION メッセージが多すぎます」 468 ページ
-1288	「ミラーリングされたデータベースに対して '%1' 文を使用することはできません。」 581 ページ
-1286	「即時マテリアライズド・ビューの定義に NULL 入力可の式に対する SUM 関数を含めることはできません。」 337 ページ
-1283	「ビューまたは派生テーブル '%1' では、CONTAINS クエリは許可されません。」 211 ページ
-1281	「他の接続が '%1' のローをロックしています」 241 ページ
-1280	「'%1' の変換中にアンダーフローが発生しました」 459 ページ
-1279	「操作 '%1' は次の理由で失敗しました：'%2'」 441 ページ
-1278	「操作は許可されていません」 442 ページ
-1277	「パラメータ '%1' に NULL は指定できません」 405 ページ
-1276	「使用中の設定は変更できません」 229 ページ
-1275	「無効なドメイン '%1'」 351 ページ
-1274	「インデックス '%1' にはカラムがありません」 279 ページ
-1273	「テーブル '%1' にはカラムがありません」 504 ページ
-1272	「同期はすでに進行中です」 444 ページ
-1271	「同期ダウンロードは完了しませんでした」 444 ページ

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージ・テキスト
-1270	「テーブル '%1' を参照する即時ビューを作成するには、テーブルを所有している必要があります」 395 ページ
-1269	「サービス文定義が無効であるか、サポートされていません。」 383 ページ
-1268	「マテリアライズド・ビューを即時に変更できません。マテリアライズド・ビューの定義に不正な構成体が含まれています。」 527 ページ
-1267	「イベント・パラメータ '%1' が見つかりません」 277 ページ
-1266	「タイムアウトするまでに、キュー '%1' で通知がありませんでした」 389 ページ
-1265	「'%1' という名前のイベント・オブジェクトはすでに存在しません」 249 ページ
-1264	「イベント・オブジェクト名 '%1' は無効です」 277 ページ
-1263	「イベント通知キュー '%1' が見つかりません」 278 ページ
-1262	「このプラットフォームでは、この版の SQL Anywhere を利用できません」 491 ページ
-1261	「このサーバには、'%1' 接続をサポートするためのライセンスが付与されていません」 489 ページ
-1260	「このサーバには、'%1' 機能をサポートするためのライセンスが付与されていません」 488 ページ
-1254	「テーブル '%1' の MERGE 文は失敗しました。文で RAISERROR が指定されています」 393 ページ
-1253	「テキスト・インデックス %1 を再表示する必要があります。」 513 ページ
-1244	「データベース '%1' の復号化に失敗しました」 192 ページ
-1243	「データベース '%1' の暗号化に失敗しました」 191 ページ
-1241	「TRUNCATE の後に value-sensitive カーソルが使用されていません」 473 ページ
-1240	「指定したストップリストが長すぎます。」 557 ページ
-1238	「パススルー SQL スクリプトに失敗しました」 400 ページ

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージ・テキスト
-1237	「プロシージャ結果セットのカラムが多すぎます」 523 ページ
-1236	「GROUP BY リストの式が多すぎます」 467 ページ
-1235	「SELECT リストのカラムが多すぎます」 470 ページ
-1233	「マテリアライズド・ビュー %1 を即時に変更できません。NULL 入力不可のカラムにユニークなインデックスがありません。」 525 ページ
-1232	「トランザクションで2つ目のスナップショットの起動を試みています。」 200 ページ
-1231	「文がタイムアウトになりました: '%1」 451 ページ
-1230	「オープン・カーソルが多すぎます」 481 ページ
-1229	「テーブルの再編成はすでにテーブル ¥"%1¥" で実行中です」 ページ
-1226	「外部キー・カラムがプライマリ・キーまたは ¥"%1¥" の一意性制約に一致しません」 ページ
-1225	「このデータベースでは、同期プロファイルはサポートされていません。」 378 ページ
-1224	「同期プロファイル '%1' に無効なパラメータ '%2' があります」 445 ページ
-1223	「同期プロファイル '%1' はすでに存在します」 446 ページ
-1221	「CREATE DATABASE 文では重複オプションは許可されていません」 253 ページ
-1220	「このユーザには外部ログインが存在するため、削除できません。」 492 ページ
-1219	「依存する即時マテリアライズド・ビューのメンテナンスに失敗しました。」 427 ページ
-1218	「マテリアライズド・ビューを即時に変更できません。非集合の NULL 入力不可のカラムにユニークなインデックスがありません。」 528 ページ
-1217	「同期プロファイル '%1' が見つかりません」 445 ページ
-1216	「このプロシージャに対する引数はリテラル文字列である必要があります。」 491 ページ

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージ・テキスト
-1215	「外部ライブラリ '%1' をロードできませんでした」 325 ページ
-1214	「外部ライブラリ '%1' は使用中です」 325 ページ
-1213	「外部環境は結果セットをサポートしていません。」 326 ページ
-1212	「このユーザのログイン・ポリシーにより接続は許可されませんでした」 184 ページ
-1211	「テーブル '%1' に、MERGE 文の ANSI カーディナリティ違反があります」 392 ページ
-1207	「テキスト・クエリで、NEAR 演算子の使用が無効です。」 310 ページ
-1206	「このデータベースでは、外部環境はサポートされていません。」 289 ページ
-1205	「外部環境 '%1' が見つかりませんでした。」 326 ページ
-1204	「INSERT ... ON EXISTING UPDATE は許可されません : 即時マテリアライズド・ビュー %1 は %2 に依存しています」 260 ページ
-1203	「WRITETEXT は許可されません : 即時マテリアライズド・ビュー %1 は %2 に依存しています」 479 ページ
-1202	「依存する即時マテリアライズド・ビューがあるテーブルでは、オペレーションは認められません。」 426 ページ
-1201	「クライアント・ライブラリで、転送中のオブジェクト ('%1') を開く際にエラーが発生したことが報告されました」 180 ページ
-1200	「クライアント・ライブラリで、転送中のオブジェクト ('%1') にアクセスする際にパーミッション・エラーが発生したことが報告されました」 179 ページ
-1199	「マテリアライズド・ビューを即時に変更できません。COUNT(*) が SELECT リストの一部に必要です。」 526 ページ
-1198	「ユーザ '%1' はすでに存在します」 531 ページ
-1197	「ログイン・ポリシー ¥"%1¥" は使用中です」 ページ
-1196	「このデータベースでは、ログイン・ポリシーはサポートされていません。」 377 ページ
-1195	「ログイン・ポリシー ¥"%1¥" が見つかりません」 ページ

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージ・テキスト
-1194	「ログイン・ポリシー '%1' はすでに存在します」 423 ページ
-1193	「TRUNCATE TABLE は許可されません：初期化された即時マテリアライズド・ビュー %1 は %2 に依存しています」 472 ページ
-1192	「即時マテリアライズド・ビュー %1 が依存している複数のテーブルを更新できません。」 240 ページ
-1191	「LOAD TABLE は許可されません：初期化された即時マテリアライズド・ビュー %1 は %2 に依存しています」 362 ページ
-1190	「マテリアライズド・ビュー %1 では、LOAD TABLE は許可されません」 415 ページ
-1189	「指定した UTF-16 エンディアンは、データで見つかった Byte Order Mark に一致しません」 557 ページ
-1188	「LOAD TABLE エラー：%1」 362 ページ
-1187	「圧縮または暗号化の使用中は付加できません」 221 ページ
-1186	「データベース・ページの検証は次のコードで失敗しました： %1」 301 ページ
-1185	「テーブル %1、インデックス %2 のインデックスの検証は次のコードで失敗しました：%3」 307 ページ
-1184	「即時マテリアライズド・ビューの最後のユニーク・インデックスを削除できません。」 240 ページ
-1183	「このデータベースでは、DB 領域のパーミッションのサポートを利用できません」 377 ページ
-1182	「IMMEDIATE REFRESH テキスト・インデックスにはコマンドを使用できません。」 162 ページ
-1181	「マテリアライズド・ビューを即時に変更できません。マテリアライズド・ビューの定義に複数のクエリ・ブロックを含めることはできません。」 527 ページ
-1180	「オプション・ウォッチ・リストに含まれているため、データベース・オプション ¥"%1¥" を設定できません」 ページ
-1179	「データベース・サーバを起動できません：ライセンス・ファイルがありません」 499 ページ

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージ・テキスト
-1178	「トランザクション・ログ・ミラーリングは、データベース・ミラーリングで使用できません」 517 ページ
-1177	「プランがありません。このタイプの文またはデータベースでは、HTML_PLAN 関数はサポートされていません。」 407 ページ
-1176	「使用できるプランがありません。このタイプの文に対しては、NOEXEC プランは生成できません。」 436 ページ
-1175	「指定した時間内でテーブル・ロックを取得できません。」 558 ページ
-1174	「テキスト設定 '%1' を作成できません。オプション '%2' に不適切な設定があります。」 198 ページ
-1173	「クライアント・ライブラリで、転送中のデータにアクセスする際にエラーが発生したことが報告されました (%1)」 180 ページ
-1172	「クライアント・アプリケーションで、データの転送が許可されませんでした (%1)」 178 ページ
-1171	「クライアント・アプリケーションでは、データの転送は許可されていません (%1)」 178 ページ
-1170	「マテリアライズド・ビュー %1 を即時に変更できません。すでに初期化されています。」 525 ページ
-1169	「テキスト・インデックスの一部であるテーブルにはアクセスできません。」 198 ページ
-1168	「テキスト・インデックスにより参照されているテキスト設定を変更または削除することはできません。」 197 ページ
-1167	「テキスト設定を所有しているユーザは削除できません。」 199 ページ
-1166	「このデータベースでは、テキスト・インデックスはサポートされていません。」 489 ページ
-1165	「テーブル '%2' のテキスト・インデックス '%1' を作成するときにエラーが発生しました。」 309 ページ
-1164	「テキスト・クエリ・パーサ・エラー: %1」 514 ページ
-1163	「照合が無効です: ¥"%1¥"」 ページ
-1162	「単語の長さが許容範囲を超えています。」 564 ページ

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージ・テキスト
-1161	「テキスト設定 ¥"%1¥" はすでに存在します。」 ページ
-1160	「テキスト設定 ¥"%1¥".¥"%2¥" が見つかりません。」 ページ
-1159	「テキスト・クエリ文字列が定数ではないか、不明です。」 398 ページ
-1158	「一致するテキスト・インデックスがありません。」 427 ページ
-1157	「すべてのカラム参照指数は、同じテーブルを参照しなければなりません。」 189 ページ
-1156	「引数 ¥"%1¥" はカラム参照である必要があります。」 ページ
-1155	「テーブル ¥"%1¥" のカーソルを閉じることができません。LOAD TABLE は実行できません。」 ページ
-1154	「トレーシングしたクエリ (%1、%2) は存在しません。」 520 ページ
-1153	「パスワードの有効期限が切れていますが、変更できません。データベースは読み込み専用です。」 403 ページ
-1152	「パスワードの有効期限が切れています。」 402 ページ
-1151	「指定したログイン・タイプ ('%1') は無効か、サポートされていないか、または互換性がありません。」 558 ページ
-1150	「SQL スクリプト DLL をロードできません。」 470 ページ
-1149	「このプラットフォームではデータベース '%1' を起動できません。 <a href="http://www.iAnywhere.jp/sas/os.html">http://www.iAnywhere.jp/sas/os.html</a> を参照してください。」 290 ページ
-1148	「クライアント・バージョンまたはクライアント・インタフェースではサポートされていない機能です。」 287 ページ
-1147	「このプラットフォームではデータベース '%1' を起動できません。 <a href="http://www.iAnywhere.jp/sas/os.html">http://www.iAnywhere.jp/sas/os.html</a> を参照してください。」 291 ページ
-1146	「別のテーブルからの外部キー参照があるテンポラリ・テーブルには、LOAD TABLE は使用できません。」 454 ページ
-1145	「接続できません: サーバは要求された暗号化タイプを受け入れませんでした。」 560 ページ
-1144	「'%1' を '%2' データのエンコード指定として使用することはできません。」 580 ページ

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージ・テキスト
-1143	「暗号化が有効になっていません。」 322 ページ
-1142	「機能 '%2' を必要とする文 '%1' の使用は許可されません。」 542 ページ
-1141	「データベース ¥"%1¥" を開始できません。このプラットフォームでは、NCHAR 照合または適合化がサポートされていません。」 ページ
-1140	「データベース ¥"%1¥" を開始できません。このプラットフォームでは、CHAR 照合または適合化がサポートされていません。」 ページ
-1139	「リモート・データ・サービス機能はこのプラットフォームではサポートされていません。」 537 ページ
-1138	「ミラー '%1' がデータベース '%2' と一致しません。」 528 ページ
-1137	「エスケープ文字 '%1' が矛盾しています。」 283 ページ
-1136	「エスケープ文字 '%1' の使用が無効です。」 284 ページ
-1135	「正規表現 '%2' 中の '%1' が無効です。」 335 ページ
-1134	「マテリアライズド・ビュー '%1' でトリガを作成できません。」 526 ページ
-1133	「ビュー '%1' のトリガ・タイプが無効です。」 315 ページ
-1132	「テーブル '%1' の最大ロー・サイズを超過します。」 394 ページ
-1131	「属性 '%1' で、'%3' と互換性のないオプション '%2' が設定されています。」 563 ページ
-1130	「'%1' 属性の '%2' 内でカンマが見つかりません。」 462 ページ
-1129	「'%1' 属性の '%2' 内でカッコが対応していません。」 462 ページ
-1128	「繰り返されないイベント '%1' の開始日時が過去に設定されています。」 430 ページ
-1127	「INSTEAD OF トリガのあるビューで位置付け更新しようとした。」 361 ページ
-1126	「テーブルまたはビュー '%1' に INSTEAD OF トリガがあるため、操作に失敗しました。」 397 ページ
-1125	「ビュー '%1' の INSTEAD OF トリガと WITH CHECK OPTION が競合しています。」 209 ページ



SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージ・テキスト
-1124	「dbicu ライブラリとサーバのバージョンが一致しません。」 465 ページ
-1123	「MIME タイプ '%1' が不正です。」 265 ページ
-1122	「最大パラメータ数 '%1' を超えました。」 330 ページ
-1121	「要求された容量分 DB 領域 '%1' を拡張するのに十分な空き領域がデバイスにありません。」 456 ページ
-1120	「DB 領域 '%1' にテーブルまたはインデックスが含まれているため削除できません。」 464 ページ
-1119	「'%1' プロパティはサポートされなくなりました。」 460 ページ
-1118	「前回のアップロードのステータスが不明の場合、Mobile Link リモート ID は変更できません。」 237 ページ
-1117	「ローがデータベースのページ・サイズを超えているため、ローを格納できません。」 218 ページ
-1116	「照合 '%1' はこのプラットフォームではサポートされていません。」 233 ページ
-1115	「テーブル '%1' には、ROWID 関数への無効な参照が含まれています。」 504 ページ
-1114	「SOAP ヘッダ '%1' の設定が無効です。」 269 ページ
-1113	「関連名 '%1' は、ROWID 関数では使用できません。」 239 ページ
-1112	「データベース '%1' に対して指定したファイルシステム・ボリュームが見つかりません。」 390 ページ
-1111	「同期の情報が指定されていません。」 339 ページ
-1110	「同期処理に戻ることができませんでした。」 447 ページ
-1109	「このデータベースはキー不使用の暗号化を使用するため、要求された操作を実行できません。」 490 ページ
-1108	「デバイス上のファイルシステムにアクセスできません。」 515 ページ
-1107	「BLOB への参照が多すぎます。」 463 ページ
-1106	「オペレーションに指定されているパブリケーションが多すぎます」 483 ページ

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージ・テキスト
-1104	「データベースのユーザが多すぎます。」 501 ページ
-1103	「部分ダウンロードが見つかりませんでした。」 450 ページ
-1102	「ダウンロードをリトライできません。アップロードが完了していません。」 496 ページ
-1101	「カラム '%1' は、それを含んでいるテーブルのどのインデックスにも属していません。」 176 ページ
-1100	「操作が失敗しました。カラム '%1' のタイプがストリーミングをサポートしていません。」 563 ページ
-1099	「Transact-SQL 外部ジョインは現在無効になっています。」 471 ページ
-1098	「トレース接続はすでにアクティブになっています。」 205 ページ
-1097	「ATTACH TRACING は、トレース・データベースに接続できませんでした。」 156 ページ
-1096	「指定した HTTP ヘッダは不正です。」 556 ページ
-1095	「指定した HTTP ヘッダに不正な文字または非 ASCII 文字が含まれています。」 556 ページ
-1094	「HTTP ヘッダ '%1' は予約されてるため変更できません。」 467 ページ
-1093	「文字カラム、変数、または値のデータ型のサイズが 32767 を超えました。」 570 ページ
-1092	「呼び出そうとしたメソッドは、お使いのアプリケーションでは使用できません。」 543 ページ
-1091	「制約 '%1' の違反です: テーブル '%2' の値が無効です。」 234 ページ
-1090	「ファンクション '%1' に無効なパラメータ '%2' (%3) があります。」 316 ページ
-1089	「共有テンポラリ・テーブルに対して無効なコミット・アクションです。」 328 ページ
-1088	「ATTACH TRACING TO LOCAL DATABASE は、強力な暗号化が施されているデータベースでは使用できません。」 156 ページ
-1087	「トレースを再表示できません: ロー %2 に指定されている %1 を収集するには、volatile_statistics を収集する必要があります。」 204 ページ

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージ・テキスト
-1086	「書き込みアクセスが拒否されました。」 559 ページ
-1085	「重複キー・カラム (%1)」 333 ページ
-1084	「機能 '%1' の使用は許可されません。」 542 ページ
-1083	「トレースを再表示できません: ロー %2 でオブジェクト %1 の検出に失敗しました。」 203 ページ
-1082	「トレースを再表示できません: sa_diagnostic_tracing_level ロー %1 に無効なトレース指定があります。」 203 ページ
-1081	「トレースを再表示できません: 少なくとも 1 つの有効化されているトレース・レベルを指定する必要があります。」 205 ページ
-1080	「ユーザー '%1' がトランザクションのレプリケーションを実行している間は、これらのパーミッションを取り消すことはできません。」 215 ページ
-1079	「バックアップはデータベース・ファイル '%1' を開けません。」 208 ページ
-1078	「計算カラムの依存に循環があります。」 226 ページ
-1077	「マテリアライズド・ビュー '%1' を使用できません。このビューは初期化されていません。」 213 ページ
-1076	「dbicu ライブラリが必要ですが、インストールされていません。」 254 ページ
-1075	「文字セット '%1' から '%2' への変換が失敗しました。」 349 ページ
-1074	「ログイン・モード '%1' は、login_mode 設定で許可されていません。」 425 ページ
-1073	「'%1' は、NCHAR 照合として使用できません。UCA と UTF8BIN のみを使用できます。」 575 ページ
-1072	「'%1' は、照合 '%2' で使用するのに有効な文字セット・エンコードではありません。」 576 ページ
-1071	「FIPS モードでは %1 アルゴリズムは使用できません。」 466 ページ
-1070	「Kerberos ログインはサポートされていません。」 265 ページ
-1069	「Kerberos ログインが失敗しました。」 264 ページ

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージ・テキスト
-1068	「デフォルトの DB 領域 '%1' が見つかりません。」 311 ページ
-1066	「ファイル・システム・エラー : '%1'」 316 ページ
-1065	「スナップショット・アイソレーションを非スナップショット・トランザクションで使用しようとしてしました。」 188 ページ
-1064	「スナップショット・トランザクションで更新の競合が発生しました。」 495 ページ
-1063	「データベース %1 を起動できません。監査が有効な場合は、読み込み専用モードを使用できません。」 496 ページ
-1062	「スナップショット中は文を使用できません。」 387 ページ
-1061	「スナップショット開始後にテーブルが作成または変更されました。」 495 ページ
-1060	「パブリケーション・タイプで操作が競合しています。」 404 ページ
-1057	「BACKUP 句 '%1' が '%2' と競合します。」 158 ページ
-1054	「スナップショット・アイソレーションが無効または保留になっています。」 386 ページ
-1053	「'%1' は '%2' に対して無効な値です。」 575 ページ
-1052	「マテリアライズド・ビューを更新できません。オプション '%1' に不適切な設定があります。」 213 ページ
-1051	「マテリアライズド・ビューを作成できません。オプション '%1' に不適切な設定があります。」 214 ページ
-1050	「要求されたデータ型として NULL の結果を返すことができません。」 246 ページ
-1047	「このデータベースは暗号化されたテーブルをサポートしていません。」 490 ページ
-1046	「不正なカラム定義 : %1」 345 ページ
-1045	「無効なバックアップ・パラメータ値です。」 352 ページ
-1044	「無効なパスワード : %1」 352 ページ
-1043	「タイムアウトになったため、要求が中断されました。」 389 ページ

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージ・テキスト
-1042	「ローカル・テンポラリとして宣言されたテーブルにコメントを追加できません。」 219 ページ
-1041	「マテリアライズド・ビュー '%1' が見つかりません。」 415 ページ
-1040	「ビュー '%1' を使用できません。このビューは無効です。」 210 ページ
-1039	「ミラー・サーバに接続できません。サーバ名 '%1' を使用してプライマリ・サーバを探してください。」 214 ページ
-1038	「ビュー '%1' を使用できません。このビューは無効になっています。」 210 ページ
-1037	「オブジェクト '%1' を削除または変更できません。少なくとも 1 つのオブジェクト (%2 '%3') が依存しています。」 171 ページ
-1036	「DBN/DBF パラメータが、この代替サーバ名のデータベースと一致しません。」 465 ページ
-1035	「ミラーリングされたデータベースで LOAD TABLE は許可されていません。」 417 ページ
-1034	「プロシージャ・タイプ '%2' の '%1' 属性が無効です。」 522 ページ
-1033	「データベース・サーバを起動することができません。サーバに致命的なエラーが発生しました。」 499 ページ
-1032	「'%1' の近くに構文エラーがあります -- マテリアライズド・ビューを即時に変更できません。マテリアライズド・ビューの定義に次の不正な構成体が含まれています: '%2'」 357 ページ
-1031	「'%1' の近くに構文エラーがあります -- マテリアライズド・ビューの定義では次の構成体を使用できません: '%2'」 357 ページ
-1030	「安全な HTTP 接続はこのプラットフォームではサポートされていません。」 426 ページ
-1029	「マテリアライズド・ビューのサポートは、このデータベースでは利用できません」 416 ページ
-1028	「BACKUP を実行しようとした接続には、コミットされていないトランザクションがあります。」 157 ページ
-1027	「サービス・タイプでは、属性 '%1' は許可されません。」 382 ページ

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージ・テキスト
-1026	「USING 属性は、FORMAT 属性または GROUP 属性と共存できません。」 477 ページ
-1025	「サービスに重複した属性 '%1' があります。」 292 ページ
-1024	「USING 属性のサービスにあるプロパティ '%1' はサポートされていません。」 476 ページ
-1023	「サービスの属性 '%1' の値がありません。」 382 ページ
-1022	「サービスの属性 '%1' の値が無効です。」 293 ページ
-1021	「無効なバックアップ操作です。」 353 ページ
-1020	「指定されたデータベースを開始できません。ログ・ファイル '%1' を使用できません。これは、予想された長さよりも短いからです。」 550 ページ
-1019	「指定されたデータベースを開始できません。ログ・ファイル '%1' を使用できません。これはデータベース・ファイルがログ・ファイルよりも後に使用されているためです。」 551 ページ
-1018	「指定されたデータベースを開始できません。ログ・ファイル '%1' を使用できません。これはオフセットがデータベースのオフセットと一致しないためです。」 551 ページ
-1017	「指定されたデータベースを開始できません。'%1': トランザクション・ログ・ファイルが見つかりません」 548 ページ
-1016	「指定されたデータベースを開始できません。ログファイル '%1' を使用できません。これはログ・ファイルがデータベース・ファイルよりも後に使用されているためです。」 552 ページ
-1012	「指定されたデータベースを開始できません。このサーバで開始するには、'%1' をアップグレードする必要があります (機能 %2 がありません)。」 549 ページ
-1011	「指定されたデータベースを開始できません。不明な暗号化アルゴリズムです。」 552 ページ
-1010	「指定されたデータベースを開始できません。トランザクション・ログで、'%1' は操作を予期していません。」 550 ページ
-1009	「指定されたデータベースを開始できません。トランザクション・ログ '%1' または、そのミラー '%2' は無効です。」 549 ページ

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージ・テキスト
-1008	「指定されたデータベースを開始できません。'%1'は無効なトランザクション・ログ・ミラーです。」 547 ページ
-1007	「指定されたデータベースを開始できません。'%1'は無効なトランザクション・ログです。」 547 ページ
-1006	「指定されたデータベースを開始できません。'%1'は有効なデータベース・ファイルではありません。」 548 ページ
-1005	「指定されたデータベースを開始できません。'%1'は異なるバージョンのソフトウェアで作成されています。」 546 ページ
-1004	「指定されたデータベースを開始できません。'%1'はデータベースではありません。」 546 ページ
-1003	「統合されたユーザに対する個別のグループ・マッピングが多すぎます。」 566 ページ
-1002	「オプション '%1' が認識されません。」 481 ページ
-1001	「プロシージャまたは関数 '%2' のパラメータ '%1' にデフォルト値がありません。」 414 ページ
-1000	「テンポラリ領域の制限を超えています。」 516 ページ
-999	「行 %1 に無効な要求ログ・フォーマットがあります。」 328 ページ
-998	「現在の接続ではないリモート JDBC 接続は閉じることができません。」 228 ページ
-997	「ローカル接続 ID は現在のデータベースを参照していません。」 423 ページ
-996	「指定されたローカル接続 ID が見つかりません。」 438 ページ
-995	「SELECT INTO を最適化しているときに検出された警告はエラーとして処理されます。」 469 ページ
-994	「関数またはプロシージャ '%1' に引数が多すぎます。」 541 ページ
-993	「テンポラリ・テーブル上では LOAD TABLE を ON COMMIT DELETE ROWS と併用できません。」 399 ページ
-992	「指定されたリスナを登録できませんでした。」 555 ページ
-991	「句 '%1' に無効な属性 '%2' があります。」 225 ページ

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージ・テキスト
-990	「リモート・ホストへの安全な接続に失敗しました : %1」 538 ページ
-989	「プロシージャ・タイプ '%1' の NAMESPACE 属性が無効です。」 412 ページ
-988	「HTTP サーバからの応答が無効です。」 257 ページ
-987	「タイプ '%2' のプロシージャ・サブタイプ '%1' が無効です。」 295 ページ
-986	「プロシージャ・タイプ '%1' が無効です。」 318 ページ
-985	「データベース名 'utility_db' はユーティリティ・データベース用に予約されています。」 502 ページ
-984	「暗号化 DLL を初期化できませんでした : '%1'」 222 ページ
-983	「HTTP 要求に失敗しました。ステータス・コード '%1'」 258 ページ
-982	「接続がタイムアウトしました。」 236 ページ
-981	「'%1' で指定されたリモート・ホストに接続できません。」 457 ページ
-980	「URI '%1' が無効です。」 476 ページ
-979	「出力ファイルを書き込めません。」 440 ページ
-978	「出力ファイルのディレクトリが存在しません。」 333 ページ
-976	「暗号化 DLL ¥"%1¥" をロードできません。」 ページ
-975	「'%1' のボリューム ID が不正です。」 251 ページ
-974	「'%1' のファイル I/O に失敗しました。」 251 ページ
-973	「文字列が長すぎます (%1)。」 571 ページ
-972	「データベースのページ・サイズが小さすぎます : %1」 304 ページ
-971	「チェックサムがこのデータベースで有効にされていません。」 191 ページ
-970	「テーブル '%1' に指定されたヒントが無効です。」 308 ページ
-969	「必要な演算子が含まれていません。」 449 ページ



SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージ・テキスト
-968	「ユーザ '%1' はすでに EXECUTE パーミッションを付与されています。」 529 ページ
-967	「バックアップ・ファイル '%1' はすでに存在します。」 207 ページ
-966	「複合 ORDER BY は RANGE とは併用できません。」 245 ページ
-965	「Window 関数には ORDER BY が必要です。」 478 ページ
-964	「Window 関数が述語に使用されています。」 478 ページ
-963	「パスワードに不正な文字が含まれています。」 401 ページ
-962	「集合関数 GROUPING への引数は GROUP BY 句のグループ・カラムである必要があります。」 232 ページ
-961	「入力文字列は base64 でエンコードされていません。」 342 ページ
-960	「解凍エラー: %1」 323 ページ
-959	「圧縮エラー: %1」 220 ページ
-958	「パスワードの長さは %1 文字以内です。」 402 ページ
-957	「OLAP 関数の先頭または最後のサイズが無効です。」 266 ページ
-956	「同期の情報が不完全か無効です。 '%1' を確認してください。」 340 ページ
-955	「この接続はすでに存在します。」 492 ページ
-954	「データベース '%1' が見つかりませんでした。」 497 ページ
-953	「スキーマのアップグレードは現在有効ではありません。」 186 ページ
-952	「最後の同期アップロードのステータスは不明です。」 545 ページ
-951	「スキーマ・ファイル '%1' にアクセスできません。」 186 ページ
-950	「ウィンドウ '%1' では、フレームは許可されません。」 281 ページ
-949	「ウィンドウ '%1' では、ORDER BY は許可されません。」 373 ページ
-948	「ウィンドウ '%1' への参照には、PARTITION BY は許可されません。」 374 ページ

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージ・テキスト
-947	「ウィンドウ '%1' が見つかりません。」 481 ページ
-946	「'%1' では結果セットは許可されません。」 356 ページ
-945	「再帰カラム %1 : '%2' から '%3' への変換では、精度が失われます。」 433 ページ
-944	「ROLLUP、CUBE、または GROUPING SETS 操作に対する GROUP BY リストの式が多すぎます。」 469 ページ
-943	「ワークロード・キャプチャは現在行われていません。」 425 ページ
-942	「ワークロード・キャプチャ (%1) はすでに進行中です。」 220 ページ
-941	「jConnect は暗号化をサポートしていません。」 262 ページ
-940	「HTTP ヘッダ '%1' の設定が無効です。」 258 ページ
-939	「HTTP オプション '%1' の設定が無効です。」 257 ページ
-938	「RECURSIVE キーワードなしの再帰は許可されません。」 366 ページ
-937	「制約 '%1' への参照または操作が無効です。」 335 ページ
-936	「データベースの制約が多すぎます。」 501 ページ
-935	「指定されたデータベースを起動できません: ログ・ファイル・エラー」 554 ページ
-934	「指定されたデータベースを起動できません: データベース %1 を起動するにはサーバをアップグレードする必要があります。」 553 ページ
-933	「IQ データベースにはログが必要です。」 162 ページ
-931	「AUTHORIZATION が OFF の場合、サービス定義には文が必要です。」 359 ページ
-930	「(メッセージなし)」 580 ページ
-929	「制約 '%1' が見つかりません。」 234 ページ
-928	「GROUP BY 句には定数式を使用できません。」 161 ページ
-927	「サービス文定義とサービス・タイプが矛盾しています。」 383 ページ
-926	「サービス定義のホスト変数参照には名前が必要です。」 293 ページ

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージ・テキスト
-925	「サービス名 '%1' は無効です。」 294 ページ
-924	「サービス '%1' は使用中です。」 381 ページ
-923	「再帰反復が多すぎます。」 545 ページ
-922	「再帰クエリのカラム・リストがありません。」 433 ページ
-921	「再帰クエリが無効です。」 329 ページ
-920	「サービス '%1' が見つかりません。」 380 ページ
-919	「サービス '%1' はすでに存在します。」 381 ページ
-918	「AUTHORIZATION が Off の場合はユーザ名を指定する必要があります。」 157 ページ
-916	「'%1' は認識されていないサービス・タイプです。」 578 ページ
-915	「CREATE SERVICE にはサービス・タイプが必要です。」 360 ページ
-914	「共通テーブル式参照に循環があります。」 225 ページ
-913	「監査用のトランザクション・ログ・ファイルが必要です。」 224 ページ
-912	「OPENXML クエリのメモリが足りません。」 266 ページ
-911	「XML 出力に制御文字があります。」 167 ページ
-910	「システム・コマンドが失敗し、リターン・コード %1 が返されました。」 385 ページ
-908	「閉じられたオブジェクトに対する操作は無効です。」 350 ページ
-907	「引数の名前がありません。」 428 ページ
-906	「XMLGEN 評価が失敗しました。」 480 ページ
-905	「XQuery コンストラクタが無効です。」 273 ページ
-904	「集約関数の ORDER BY が不正です。」 332 ページ
-903	「CDATA に名前が必要です。」 159 ページ
-902	「カラム数が少なすぎます。」 486 ページ

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージ・テキスト
-901	「宣言されていないタグ ID: '%1」 562 ページ
-900	「親が開いていません: '%1」 440 ページ
-899	「不正なカラム名: '%1」 345 ページ
-898	「不明な FOR XML EXPLICIT ディレクティブ: '%1」 569 ページ
-897	「不正な FOR XML EXPLICIT タグ値: '%1」 343 ページ
-896	「ユーザ設定が存在するため、PUBLIC オプション '%1' を削除できません。」 216 ページ
-895	「暗号化エラー: %1」 321 ページ
-894	「このタイプの文に対してプランを生成することはできません。」 376 ページ
-893	「OPENXML に渡されたフラグ値は不正です。」 267 ページ
-892	「XPath パーサ・エラー: %1」 480 ページ
-891	「要求された文字セット '%1' と '%2' 間の変換はできません。」 247 ページ
-890	「文のサイズまたは複雑度がサーバの制限を超えています。」 452 ページ
-889	「文に非決定的関数 '%1' の不正な用法が含まれています。」 451 ページ
-888	「XML パーサ・エラー: %1」 479 ページ
-887	「仮想インデックスの作成に %1 を超えるカラム数が使用されています。」 539 ページ
-883	「シングルバイト・コンバータの利用時には、文字変換のエラーまたは警告レポートは使用できません。」 185 ページ
-881	「%1 から %2 に変換する場合は文字の置換が必要です。」 148 ページ
-879	「%1 から %2 に変換するときに、無効なマルチバイトの入力文字が検出されました。」 147 ページ
-878	「インデックス '%1' をクラスタできません。」 280 ページ
-877	「プロシージャ、トリガ、イベント、またはバッチでは SETUSER を実行できません。」 412 ページ

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージ・テキスト
-876	「クライアントでメモリが不足しています。」 181 ページ
-875	「'%1' にジョインする方法がありません。」 458 ページ
-874	「カラム名は %1 でなければなりません。」 177 ページ
-873	「%1 から複数の結果セットが返されました。」 574 ページ
-872	「%1 から結果セットが返されません。」 573 ページ
-871	「この Java 関連コマンドを実行するにはデータベースを再起動する必要があります。」 488 ページ
-870	「要求された文字セット '%1' とデータベース側文字セット '%2' 間の変換はできません。」 247 ページ
-869	「データベース・サーバで文字セット '%1' 間とのデータ変換を実行できません。」 297 ページ
-868	「'%1' は認識できない文字セット・エンコード・ラベルです。」 579 ページ
-867	「前回のアップロードのステータスが不明の場合、同期の user_name は変更できません。」 238 ページ
-866	「%1 から返された結果セットのスキーマは予期されているものと異なります。」 574 ページ
-865	「テンポラリ・テーブル間のキー制約には、一意性制約を持たないプライマリ・キーが必要です。」 312 ページ
-864	「文に NUMBER(*) 関数の不正な使用が含まれています。」 451 ページ
-863	「グループ化されたクエリに、複数の異なる集合関数が含まれています。」 289 ページ
-862	「集約式 '%1' は select リストまたは HAVING 句サブクエリのいずれかに記述されている必要があります。」 559 ページ
-861	「集約式 '%1' に複数のカラムが含まれ、その 1 つ以上が外部参照です。」 233 ページ
-860	「指定された DB 領域の少なくとも 1 つが調整されていませんでした。」 230 ページ

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージ・テキスト
-858	「CREATE/DROP STATISTICS 文では、仮想テーブルを参照できません。」 160 ページ
-857	「サーバ %1 でエラーが発生したため、同期に失敗しました。」 379 ページ
-856	「SQLDA に不正な sqllen フィールドがあります。」 270 ページ
-855	「トリガ名 '%1' はあいまいです。」 520 ページ
-854	「ORDER BY 句で使用されている、'%1' に対する関数またはカラムの参照は不正です。」 267 ページ
-853	「カーソルが有効な状態にありません。」 173 ページ
-852	「テーブル名 '%1' はあいまいです。」 513 ページ
-851	「復号化エラー : %1」 348 ページ
-850	「キー制約によって関連付けられているテーブルはどちらも、永久テーブルであるか、ON COMMIT DELETE ROWS を指定して作成されていないテンポラリー・テーブルである必要があります。グローバル・テンポラリー・テーブルの場合は、どちらか一方のテーブルが共有されていれば、他方のテーブルも共有されている必要があります。」 487 ページ
-849	「テンポラリー・テーブルに対しては RESTRICT 以外の参照整合性アクションは許可されていません。」 398 ページ
-848	「Java SecurityManager をロードしているときに例外が発生しました。」 262 ページ
-847	「Java SecurityManager クラスがありません : %1」 261 ページ
-846	「カラム '%1' に対する SET 句の使用法が正しくありません。」 376 ページ
-845	「修飾されたカラム参照で使用されている所有者 '%1' は関連名 '%2' と一致していません。」 439 ページ
-844	「'%1' という名前の同期定義が見つかりません。」 152 ページ
-843	「'%1' という名前の同期ユーザが見つかりません。」 151 ページ
-842	「JDK '%1' はサポートされている JDK ではありません。」 264 ページ
-841	「'%1' の JDK バージョンは '%2' と一致していません。」 459 ページ

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージ・テキスト
-840	「暗号化キーが不正であるか、見つかりません。」 322 ページ
-839	「既存のローと競合しているため、ダウンロードに失敗しました。」 327 ページ
-838	「サーバ上で TLS の初期化に失敗しました。」 494 ページ
-837	「テーブル '%1' のトリガまたは外部キーは有効でなくなりました。」 506 ページ
-836	「プロシージャ '%1' は有効でなくなりました。」 411 ページ
-835	「イベント '%1' は使用中です。」 275 ページ
-834	「テーブル '%2' にカラム '%1' がありません。」 195 ページ
-833	「テーブル '%1' のローが、BEFORE トリガで修正または削除されました。」 394 ページ
-832	「接続エラー: %1」 235 ページ
-831	「エイリアス '%1' の定義は、最初の参照前に記述する必要があります。」 282 ページ
-830	「エイリアス '%1' がユニークではありません。」 170 ページ
-829	「TLS ハンドシェイクに失敗しました。」 471 ページ
-828	「dbmlsync ダウンロード・フェーズでの競合が検出されました。」 161 ページ
-827	「データベースのアップグレードができません。ユーザ・テーブルに、システム・テーブル範囲のテーブル ID が設定されています。」 303 ページ
-826	「データベースのアップグレードができません。ユーザ dbo は RowGenerator テーブルの所有者ではありません。」 302 ページ
-825	「前回のエラーが RESIGNAL の前になくなりました。」 441 ページ
-824	「関連名 '%1' への参照が不正です。」 337 ページ
-823	「ストア・プロシージャ内のリモート・テーブルに関わる式を処理できません。」 188 ページ
-822	「テーブル '%1' はすでにインクルードされています。」 507 ページ

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージ・テキスト
-821	「テーブル '%1' の DB 領域が見つかりません。」 308 ページ
-820	「スクロール位置 '%1' が不正です。」 294 ページ
-819	「テーブル '%1' が同期定義の一部です。」 503 ページ
-818	「外部関数呼び出しに互換性がありません。」 540 ページ
-817	「接続しているテンポラリ・テーブルが多すぎます。」 560 ページ
-816	「指定されたデータベース・ファイルはすでに使用されています。」 436 ページ
-815	「SELECT 句にないため、カラム '%1' を更新できません。」 165 ページ
-814	「ORDER BY 句にあるため、カラム '%1' を更新できません。」 164 ページ
-813	「FOR UPDATE が READ ONLY カーソルに誤って指定されました。」 256 ページ
-812	「派生テーブル '%1' の select リストに '%2' と一致する式がありません。」 568 ページ
-811	「JAR '%1' が見つかりません。」 261 ページ
-810	「外部オブジェクト '%1' が見つかりません。」 323 ページ
-809	「同期オプションが長すぎます。」 443 ページ
-808	「テスト・ハーネスによって内部エラーが発生しました。」 199 ページ
-807	「ホスト変数はバッチで使用できません。」 319 ページ
-806	「システムのイベント・タイプ '%1' が見つかりません。」 385 ページ
-805	「同期オプション '%1' が見つかりません。」 442 ページ
-804	「トランザクションを再エンリストできません。DTC がダウンしている可能性があります。」 519 ページ
-803	「トランザクションをエンリストできません。DTC がダウンしている可能性があります。」 518 ページ
-802	「コミットされていないデータを保留にしたままで、トランザクションにエンリストすることはできません。」 185 ページ



SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージ・テキスト
-801	「トランザクションにすでにエンリストされている場合は、さらにトランザクションにエンリストすることはできません。」 201 ページ
-800	「トランザクションにエンリストされている場合は、コミットまたはロールバックできません。」 201 ページ
-799	「DTC トランザクションはこのプラットフォームではサポートされていません。」 255 ページ
-797	「同期オプション '%1' にセミコロン、等号、または中カッコが含まれているか、オプションが NULL です。」 442 ページ
-794	「同期サーバがアップロードのコミットに失敗しました。」 443 ページ
-793	「イベント '%1' の開始日時が無効です。」 275 ページ
-792	「イベント '%2' の時刻 '%1' が無効です。」 276 ページ
-791	「イベント '%2' の曜日または月 '%1' が無効です。」 276 ページ
-790	「自動ラベルが足りないため '%1' に接続を登録できません。」 231 ページ
-789	「登録 cookie が足りないため '%1' を登録できません。」 244 ページ
-788	「他の接続はすでに '%1' として登録されています。」 242 ページ
-787	「現在の接続はすでに '%1' に '%2' として登録されています。」 228 ページ
-786	「アクティブな登録された接続があるため '%1' の登録を取り消せません。」 168 ページ
-785	「cookie が無効なためアプリケーションの登録を取り消せません。」 159 ページ
-784	「アプリケーションの cookie が無効なため接続を登録できません。」 169 ページ
-783	「他の '%1' を排他アプリケーションとして登録できません。」 241 ページ
-782	「他の排他インスタンスが実行されているため、'%1' を登録できません。」 242 ページ
-780	「パブリケーションで使用するテーブル '%1' のプライマリ・キーを更新できません。」 208 ページ

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージ・テキスト
-779	「BLOB プライマリ・キーでテーブル '%1' に同期エントリを作成できません。」 158 ページ
-778	「同期処理ではテーブル '%1' にプライマリ・キーを含める必要があります。」 447 ページ
-777	「プライマリ・キーがないためテーブル '%1' と同期できません。」 212 ページ
-774	「イベント '%2' に対するスケジュール '%1' はすでに存在します。」 373 ページ
-773	「イベント '%2' に対するスケジュール '%1' が見つかりません。」 372 ページ
-772	「イベント '%1' がすでに存在します。」 274 ページ
-771	「イベント '%1' が見つかりません。」 274 ページ
-770	「ALTER SYNCHRONIZATION を使用してパブリケーション・エントリを変更できません。」 155 ページ
-769	「ALTER PUBLICATION を使用して同期エントリを変更できません。」 154 ページ
-768	「%1' にサブスクリプションを作成できません。」 152 ページ
-767	「%1' という名前の同期サブスクリプションが見つかりません。」 151 ページ
-766	「ビューがテンポラリ・オブジェクトである '%1' を参照しています。ビューは、永久オブジェクトだけを参照できます。」 522 ページ
-765	「同期メッセージ・タイプ '%1' が見つかりません。」 446 ページ
-764	「サーバが見つからないため自動起動できません。」 380 ページ
-763	「%1' はパブリック Java 参照でないため、SQL から参照できません。」 577 ページ
-762	「%1' はパブリック Java クラスでないため、SQL から参照できません。」 576 ページ
-761	「サーバ機能名 '%1' がデータベース内に見つかりませんでした。」 380 ページ

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージ・テキスト
-760	「SQL の識別子が無効です。」 269 ページ
-759	「SQLDA のデータ型が無効です。」 369 ページ
-758	「データベースは Java 仮想マシンをサポートしていません。」 502 ページ
-757	「読み込み専用データ・ベースに対しての修正は禁止されています。」 448 ページ
-756	「現在の JDBC 結果セット内のテーブル '%1' のカラム '%2' を一意に識別できません。」 227 ページ
-755	「コミットされていないトランザクションとの同期またはアップグレードはできません。」 493 ページ
-754	「解析エラー : %1」 429 ページ
-753	「'%1' 関数を使用するには、JDBC 結果セットは挿入ロー上にある必要があります。」 461 ページ
-752	「挿入ローにある場合、JDBC 結果セット上の '%1' 関数を呼び出せません。」 238 ページ
-751	「ユーザは使用中のテーブルを所有しています。」 534 ページ
-750	「ユーザは使用中のプロシージャを所有しています。」 534 ページ
-749	「Ultra Light では使用できない機能です。」 272 ページ
-748	「不正な JDBC 結果セットの同時実行性です。」 344 ページ
-747	「不正な JDBC 結果セット・タイプです。」 344 ページ
-746	「System V リソースを割り当てることができません。」 166 ページ
-745	「IQ メモリ・マネージャを初期化できません : %1」 163 ページ
-744	「IQ データベース・コマンド・ラインの不正なオプションまたはパラメータ値 : %1」 260 ページ
-743	「JDBC SAResultSet で引数に 0 を指定して absolute メソッドを実行しようとしました。」 361 ページ
-742	「JDBC SASatement バッチ実行は中止されました。」 263 ページ
-740	「通信環境を作成できませんでした。」 565 ページ

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージ・テキスト
-739	「db_init が呼び出されていないか db_init の呼び出しに失敗しました。」 254 ページ
-738	「パスワードは最低 %1 文字以上でなければなりません。」 403 ページ
-737	「シグニチャ '%1' はプロシージャのパラメータと一致しません。」 384 ページ
-736	「カラム '%1' のデータ型はサポートされていません。」 485 ページ
-735	「不正なパラメータです。」 347 ページ
-734	「テーブル '%1' のすべて NULL のローを更新または削除できません。」 195 ページ
-733	「NULL を許可するカラムの数が制限を超えています。」 364 ページ
-732	「計算カラムを使用したリモート・テーブルの作成はサポートされていません。」 227 ページ
-731	「レプリケーションでのオブジェクトを持つユーザを削除できません。」 218 ページ
-730	「不正な JAR ファイルです。」 343 ページ
-729	「指定された外部キー (%1) は使用できません。」 555 ページ
-728	「更新できないリモート・クエリに対して、更新しようとした。」 544 ページ
-727	「オプティマイザは有効なアクセス・プランを構成できませんでした。」 483 ページ
-726	「テーブル仕様 '%1' が複数のリモート・テーブルを指定していません。」 512 ページ
-725	「Identity 属性はカラム '%1' に適合しません。」 259 ページ
-724	「NULL 属性はカラム '%1' に適合しません。」 364 ページ
-723	「カラム '%1' に指定された長さは実際の長さとは異なります。」 485 ページ
-722	「カラム '%1' はリモート・テーブルに存在しません。」 486 ページ
-721	「カラム '%1' に指定されたデータ型は、実際のデータ型と互換性がありません。」 484 ページ

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージ・テキスト
-720	「VALIDATE 文はベース・テーブルを参照しなければなりません。」 477 ページ
-719	「RESTORE によってデータベース '%1' を起動できません。」 366 ページ
-718	「RESTORE によってファイル '%1' に書き込むことができません。」 367 ページ
-717	「RESTORE によってファイル '%1' を開くことができません。」 367 ページ
-716	「バックアップ・ファイルのフォーマットが無効です。」 207 ページ
-715	「バックアップ・ファイルの内容が矛盾しています。」 207 ページ
-714	「閉じられた '%1' に対する操作は無効です。」 350 ページ
-713	「'%1' で内部エラーが発生しました。」 150 ページ
-712	「サーバ '%1' の外部ログインが見つかりませんでした。」 291 ページ
-711	「データベース・ストア DLL (%1) のバージョンが不正です。」 300 ページ
-710	「不正な比較です。」 347 ページ
-709	「このデータベースでは、計算カラムはサポートされていません。」 184 ページ
-708	「READTEXT 文や WRITETEXT 文はビューを参照できません。」 365 ページ
-707	「パススルー・モードでは文を使用できません。」 400 ページ
-706	「リモート・サーバにはこの文をサポートする機能がありません。」 421 ページ
-705	「プロシージャ '%1' からの戻り値のタイプ void はすべての式で使用できません。」 409 ページ
-704	「Java クラス '%1' にインデックスを作成できません。」 164 ページ
-703	「計算カラム '%1' を挿入または更新できません。」 226 ページ
-702	「TRUNCATE TABLE 文は、ビューには使用できません。」 473 ページ

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージ・テキスト
-701	「クラスを通してインスタンス・メンバにアクセスできません。」 183 ページ
-700	「SQLDA フィールドがマルチ・ロー SQLDA と矛盾しています。」 370 ページ
-699	「¥"final¥" 変更子で修飾されるメンバ・フィールドを更新できません。」 ページ
-698	「リモート・サーバはオートインクリメントするデータ型をサポートしていません。」 536 ページ
-697	「バックアップ/リストア中にエラーが発生しました : %1」 314 ページ
-696	「閉じられた '%1' に対する操作は無効です。」 349 ページ
-695	「'%1' で内部エラーが発生しました。」 150 ページ
-694	「開いている準備文または呼び出し可能な文を変更できませんでした。」 223 ページ
-693	「JDBC 機能 '%1' はサポートされません。」 263 ページ
-692	「バックアップ/リストア DLL (%1) のエントリ・ポイントを実行できませんでした。」 206 ページ
-691	「バックアップ/リストア用 DLL ¥"%1¥" をロードできません。」 ページ
-690	「戻り値が設定できません。」 455 ページ
-689	「入力パラメータ・インデックスが範囲外です。」 341 ページ
-688	「ランタイム・サーバでは強力な暗号化方式のデータベース・ファイルはサポートされません。」 420 ページ
-687	「構文エラーです。IQ 指定オプションを指定するには IQ PATH が必要です。」 432 ページ
-686	「Java 仮想マシンを起動するにはキャッシュが不足しています。」 262 ページ
-685	「%1 のリソース・ガバナーが制限を超えています。」 355 ページ
-684	「プリフェッチの間にデッドロックされたためロールバックが発生しました。」 408 ページ

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージ・テキスト
-683	「カーソル名 '%1' はすでに存在します。」 484 ページ
-682	「%1」 573 ページ
-681	「Transact-SQL の外部ジョインで使用されるジョイン・タイプが無効です。」 271 ページ
-680	「Transact-SQL の外部ジョインの WHERE 句の式が無効です。」 271 ページ
-678	「インデックス名 '%1' があいまいです。」 280 ページ
-677	「テーブル '%1' には参照動作の外部キーが含まれています。」 506 ページ
-676	「指定されたトランザクションの独立性が不正です。」 555 ページ
-675	「'%1' が見つからないため、外部環境を起動できませんでした。」 249 ページ
-674	「文のサイズの制限値が無効です。」 452 ページ
-673	「データベースのアップグレードができません。」 302 ページ
-672	「データベースのアップグレードに失敗しました。」 303 ページ
-671	「パラメータが出力パラメータとして登録されていません。」 406 ページ
-670	「クラスのバイト・コードが不正です。」 288 ページ
-669	「メソッド '%1' は現時点では呼び出せません。」 418 ページ
-668	「カーソルは FETCH NEXT 操作に制限されています。」 174 ページ
-667	「テーブル '%1' のカラム情報にアクセスできませんでした。」 194 ページ
-666	「リモート・テーブル '%1' が見つかりませんでした。」 537 ページ
-665	「データベース ¥"%1¥" をリカバリする必要があります。」 ページ
-664	「データベースはアクティブです。」 306 ページ
-663	「Java オブジェクトをデシリアライズできません。」 163 ページ
-662	「クラス '%1' を使用して Java オブジェクトをシリアル化できません。」 183 ページ

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージ・テキスト
-661	「後方スクロール・カーソルはリモート・オブジェクトではサポートされません。」 229 ページ
-660	「サーバ '%1': %2」 379 ページ
-659	「リモート・サーバ '%1' が見つかりませんでした。」 420 ページ
-658	「リモート・サーバ '%1' は現在読み込み専用を設定されています。」 421 ページ
-657	「接続できません。サーバ定義が循環しています。」 561 ページ
-656	「サーバ '%1' に接続できません : %2」 493 ページ
-655	「接続パラメータ文字列の解析エラーです。」 336 ページ
-654	「接続パラメータ・ファイルが見つかりません。」 561 ページ
-653	「クラス '%1' を削除できません : JAR のメンバです。」 182 ページ
-652	「クラス '%1' を JAR から圧縮解除できませんでした。」 182 ページ
-651	「データベース '%1' の削除に失敗しました。」 192 ページ
-650	「'%1' のインデックスの型の指定は不正です。」 250 ページ
-649	「クラス '%2' のフィールド '%1' は NULL になることはできません。」 288 ページ
-648	「指定された DB 領域でアイテム (%1) を生成できません。」 230 ページ
-647	「ストア DLL (%1) のエントリ・ポイントを実行できません。」 187 ページ
-646	「ストア DLL ¥"%1¥" をロードできません。」 ページ
-645	「データベースの作成に失敗しました : %1」 305 ページ
-644	「無効なデータベース・ページ・サイズです。」 351 ページ
-643	「UNLOAD TABLE は、ビューのアンロードには使用できません。」 475 ページ
-642	「SQL 記述子名が正しくありません。」 270 ページ
-641	「割り当てのエラー」 327 ページ



SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージ・テキスト
-640	「記述子のインデックスが正しくありません。」 327 ページ
-639	「プロシージャ '%1' の呼び出しに必要なパラメータ名がありません。」 409 ページ
-638	「文字列データの右側がトランケートされます。」 454 ページ
-637	「挿入したカラムが重複しています。」 336 ページ
-636	「参照カラムが重複しています。」 330 ページ
-635	「ビューで、カラムのパーミッションを GRANT することはできません。」 315 ページ
-634	「C 言語の文字列が完結していません。」 464 ページ
-633	「読み込み専用のカーソルを更新しようとしてしました。」 567 ページ
-632	「ベース・テーブル '%1' の挿入/更新に対して WITH CHECK OPTION が違反しています。」 524 ページ
-631	「RAISERROR が実行されました : %1」 365 ページ
-630	「エスケープ・シーケンス '%1' が無効です。」 282 ページ
-629	「エスケープ文字 '%1' が無効です。」 283 ページ
-628	「ゼロで除算しようとしてしました。」 295 ページ
-627	「行 %2 の '%1' の付近に、言語の使用できない拡張機能が検出されました。」 329 ページ
-626	「内部用のスレッドが起動できませんでした。」 244 ページ
-625	「この外部プロシージャの呼び出しには、パラメータ数が多すぎます。」 492 ページ
-624	「式にサポートされていないデータ型があります。」 331 ページ
-623	「プロシージャまたはトリガ内では、データ定義文は使用できません。」 318 ページ
-622	「外部関数の呼び出しのためのリソースを割り付けられませんでした。」 224 ページ

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージ・テキスト
-621	「ダイナミック・ライブラリ '%2' に '%1' が見つかりませんでした。」 190 ページ
-620	「ダイナミック・ライブラリ '%1' をロードできませんでした。」 190 ページ
-619	「ダイナミック・ライブラリ名が必要です。」 388 ページ
-618	「外部関数のプラットフォーム指定子と、現在のオペレーティング・システムが一致しません。」 429 ページ
-617	「データベース・サーバ外の関数呼び出しはサポートされていません。」 193 ページ
-616	「テーブルのカラム数が多すぎます。」 511 ページ
-615	「プロシージャ '%2' にパラメータ '%1' がありません。」 411 ページ
-614	「メッセージまたはデータ型を所有するユーザは削除できません。」 215 ページ
-613	「ユーザ定義データ型 '%1' が見つかりません。」 535 ページ
-612	「ユーザ・メッセージ %1 が見つかりません。」 532 ページ
-611	「Transact-SQL 機能がサポートされていません。」 472 ページ
-610	「ユーザ・メッセージ %1 はすでに存在しています。」 533 ページ
-609	「WRITETEXT または READTEXT のカラムのデータ型が無効です。」 273 ページ
-608	「WRITETEXT または READTEXT に無効な値を持つ TEXTPTR があります。」 272 ページ
-607	「データベース・サーバを停止できません。」 193 ページ
-606	「パターンが長すぎます。」 521 ページ
-605	「サーバが DB 領域の最大ファイル・サイズを超えてページにアクセスしようとしてしました。」 494 ページ
-604	「DB 領域が最大ファイル・サイズに達しています。」 160 ページ
-602	「ファイル '%1' にアクセスできません -- %2」 211 ページ

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージ・テキスト
-601	「%1'は既知のファイル形式でないため、テーブルをロードまたはアンロードできません。」 577 ページ
-313	「ログイン ID '%1' はどのデータベース・ユーザ ID にもマップされていません。」 539 ページ
-312	「ユーザ '%1' はすでにグループ '%2' のメンバです。」 530 ページ
-311	「内部ロールバック・ログが破損しています。」 340 ページ
-309	「メモリ・エラー -- トランザクションはロールバックされました。」 418 ページ
-308	「接続が切断されました。」 237 ページ
-307	「すべてのスレッドがブロックされています。」 189 ページ
-306	「デッドロックが検出されました。」 311 ページ
-305	「I/O エラーです。%1 -- トランザクションはロールバックされました。」 259 ページ
-304	「ハードディスクに空き領域がありません。'%1' -- トランザクションはロールバックされました。」 314 ページ
-303	「ディスク書き込みの失敗 '%1' -- トランザクションはロールバックされました。」 296 ページ
-302	「ユーザによって中断させられました -- トランザクションはロールバックされました。」 533 ページ
-301	「データベースの内部エラー %1 -- トランザクションはロールバックされました。」 306 ページ
-300	「実行時 SQL エラーです -- %1」 438 ページ
-299	「文の実行がユーザによって中断させられました。」 453 ページ
-298	「アクティブなデータベース要求を 2 つ出そうとしました。」 167 ページ
-297	「ユーザ定義の例外が通知されました。」 535 ページ
-296	「RAISERROR のエラー番号 %1 は、17000 未満にしないでください。」 268 ページ
-295	「カーソルでローをユニークに識別できません。」 174 ページ

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージ・テキスト
-294	「フォーマット文字列の引数番号 %1 が無効です。」 317 ページ
-289	「複数の統合ユーザを定義することはできません。」 450 ページ
-288	「リモートの文が失敗しました。」 422 ページ
-287	「パススルー文は、現在のパススルーと一致しません。」 401 ページ
-286	「リモート・メッセージ・タイプ '%1' が見つかりません。」 422 ページ
-285	「ユーザ '%1' はこのデータベースのリモート・ユーザではありません。」 529 ページ
-284	「ユーザ '%1' はすでにこのデータベースのパブリッシャです。」 530 ページ
-283	「'%2' の '%1' に対するサブスクリプションが見つかりません。」 358 ページ
-282	「'%2' の '%1' に対するサブスクリプションはすでに存在しません。」 359 ページ
-281	「テーブル '%1' はパブリケーションを持っています。」 507 ページ
-280	「パブリケーション '%1' が見つかりません。」 404 ページ
-275	「ランタイム・サーバではトリガおよびプロシージャはサポートされません。」 536 ページ
-274	「プロシージャまたはトリガの呼び出しのネストが深すぎます。」 414 ページ
-273	「トリガ・アクション内での COMMIT/ROLLBACK は許可されません。」 202 ページ
-272	「トリガ定義中の REFERENCES 句が無効です。」 313 ページ
-271	「トリガの定義が既存のトリガと矛盾しています。」 519 ページ
-270	「ランタイム・サーバでは、プロシージャを持つユーザを削除できません。」 217 ページ
-269	「トリガの定義で参照されているカラムは削除または名前の変更ができません。」 202 ページ
-268	「トリガ '%1' が見つかりません。」 519 ページ

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージ・テキスト
-267	「アトミックなオペレーション内での COMMIT/ROLLBACK は許可されません。」 168 ページ
-265	「プロシージャ '%1' は見つかりません。」 410 ページ
-264	「FETCH 文の中の変数の数が正しくありません。」 466 ページ
-263	「FETCH 文中の絶対または相対オフセットの指定が無効です。」 256 ページ
-262	「ラベル '%1' は見つかりません。」 419 ページ
-261	「'%1' という変数はすでに存在します。」 458 ページ
-260	「変数 '%1' が見つかりません。」 571 ページ
-251	「テーブル '%2' の外部キー '%1' は、既存の外部キーと重複しています。」 310 ページ
-250	「識別子 '%1' が長すぎます。」 331 ページ
-249	「ログイン ID '%1' はすでにユーザ ID '%2' にマップされています。」 538 ページ
-248	「sys または public ユーザ ID にログイン ID をマップすることはできません。」 166 ページ
-247	「統合化ログイン ID ゲストは、ゲスト・データベースのユーザ ID に対してのみマップできます。」 566 ページ
-246	「このデータベースでは、統合化ログインはサポートされていません。」 290 ページ
-245	「統合化ログインが失敗しました。」 338 ページ
-244	「トランザクション・ログはトランケートされました。」 518 ページ
-243	「データベース・ファイルが削除できません。」 500 ページ
-242	「トランザクションが終了していないため、トランザクション・ログの名前の変更はできません。」 313 ページ
-241	「データベースのバックアップを起動できません。」 304 ページ
-240	「不明なバックアップ操作です。」 569 ページ

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージ・テキスト
-231	「クライアント・サーバのバージョンとデータベース・サーバのバージョンが適合しません。」 179 ページ
-230	「埋め込み SQL を処理しているプリプロセッサと、データベース・インタフェース・ライブラリのバージョンが適合しません。」 455 ページ
-222	「アトミックな複合文では、結果セットは使用できません。」 372 ページ
-221	「ROLLBACK TO SAVEPOINT は使用できません。」 368 ページ
-220	「セーブポイント '%1' が見つかりません。」 387 ページ
-218	「認証に失敗しました。」 244 ページ
-217	「オプション '%1' はプロシージャ内から設定できません。」 482 ページ
-216	「オプション '%1' はテンポラリー・オプションとしてのみ設定できません。」 482 ページ
-215	「プロシージャは '%1' によって使用されています。」 413 ページ
-214	「テーブルは使用されています。」 512 ページ
-213	「セーブポイントには、ロールバック・ログが必要です。」 388 ページ
-212	「CHECKPOINT 文にはロールバック・ログが必要です。」 159 ページ
-211	「'%1' でデータベースを使用している間は許可されません。」 356 ページ
-210	「'%2' のローは、ユーザ '%1' によってロックされています。」 463 ページ
-209	「制約 '%1' の違反です: テーブル '%3' のカラム '%2' の値が無効です。」 235 ページ
-208	「最後に読み込まれた後で、ローは更新されています。操作はキャンセルされました。」 434 ページ
-207	「INSERT 文に指定した値の数が正しくありません。」 468 ページ
-206	「統合化ログインが必要です。標準ログインは許可されていません。」 338 ページ
-205	「統合化ログインが許可されていません。」 338 ページ
-204	「DBA のみがオプション '%1' を設定できます。」 360 ページ

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージ・テキスト
-203	「ユーザ '%1' に対するテンポラリ・オプションを設定することはできません。」 216 ページ
-202	「オプション '%1' は PUBLIC な設定のみが許されています。」 375 ページ
-201	「オプション '%1' の設定が無効です。」 285 ページ
-200	「オプション '%1' が無効です -- PUBLIC 設定がありません。」 284 ページ
-199	「カーソルの INSERT/DELETE は、1 つのテーブルしか変更できません。」 285 ページ
-198	「テーブル '%1' 内のローのプライマリ・キーがテーブル '%3' 内の外部キー '%2' によって参照されています。」 395 ページ
-197	「カーソルの現在のローがありません。」 375 ページ
-196	「テーブル '%2' のインデックス '%1' はユニークでなければなりません。」 309 ページ
-195	「テーブル '%2' のカラム '%1' を NULL にすることはできません。」 196 ページ
-194	「テーブル '%2' の外部キー '%1' に対応するプライマリ・キーの値がありません。」 396 ページ
-193	「テーブル '%1' のプライマリ・キーがユニークではありません: プライマリ・キー値 (%2)」 393 ページ
-192	「更新できないクエリに対して、更新しようとしてしました。」 544 ページ
-191	「テーブル '%2' のカラム '%1' を変更できません。」 197 ページ
-190	「式を更新できません。」 232 ページ
-189	「テーブル '%2' に対するインデックス '%1' を見つけることができません。」 508 ページ
-188	「ホスト変数が足りません。」 415 ページ
-187	「不正なカーソル処理をしようとしてしました。」 345 ページ
-186	「サブクエリは複数行を返すことはできません。」 384 ページ
-185	「SELECT 文が複数行を返しています。」 368 ページ

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージ・テキスト
-184	「テーブル '%2' のカラム '%1' を NULL にすることはできません。データ・ファイルの行 %3 で LOAD TABLE に無効なデータが指定されました。」 196 ページ
-183	「インデックス '%1' が見つかりません。」 169 ページ
-182	「SQLDA 中のフィールドが足りません。」 370 ページ
-181	「NULL に対して、インジケータ変数が用意されていません。」 363 ページ
-180	「カーソルが開きません。」 172 ページ
-172	「カーソルはすでに開いています。」 175 ページ
-171	「カーソルのオープンがエラーになりました。」 286 ページ
-170	「カーソルが宣言されていません。」 173 ページ
-165	「内部関数で Java VM のヒープが足りなくなりました : %1」 341 ページ
-164	「内部関数でネーム・スペースのヒープが足りなくなりました : %1」 448 ページ
-163	「派生テーブル '%1' にはカラム %2 に対する名前がありません。」 342 ページ
-162	「%1 を %2 に変換できません。データ・ファイルのロー %4 のカラム '%3' に不正な値が指定されています。」 149 ページ
-161	「DESCRIBE 文で無効な型が指定されました。」 255 ページ
-160	「SELECT 文以外は記述できません。」 165 ページ
-159	「カラム番号が無効です。」 286 ページ
-158	「値 %1 は、対象先にとって大きすぎます。」 564 ページ
-157	「値 %1 をデータ型 %2 に変換できません。」 243 ページ
-156	「'%1' 付近に無効な式があります。」 252 ページ
-155	「無効なホスト変数です。」 353 ページ
-154	「関数 '%1' のパラメータ数が誤りです。」 540 ページ



SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージ・テキスト
-153	「UNION、INTERSECT、または EXCEPT の select リストの長さが一致していません。」 371 ページ
-152	「ORDER BY 句の指定が不正です。」 268 ページ
-151	「select リストの中にカラムが 2 つ以上指定されています。」 368 ページ
-150	「集合関数の使用が無効です。」 332 ページ
-149	「'%1' に対する関数またはカラムの参照も GROUP BY 句に記述する必要があります。」 250 ページ
-148	「関数 '%1' はありません。」 541 ページ
-147	「'%1' を '%2' にジョインするための方法が複数あります。」 460 ページ
-146	「'%1' を '%2' にジョインできません。」 461 ページ
-145	「外部キー '%1' は見つかりません。」 324 ページ
-144	「カラム '%1' が複数のテーブルで見つかりました。関連名が必要です。」 176 ページ
-143	「カラム '%1' が見つかりません。」 175 ページ
-142	「関連名 '%1' が見つかりません。」 239 ページ
-141	「テーブル '%1' が見つかりません。」 503 ページ
-140	「'%1' というユーザ ID はありません。」 457 ページ
-139	「'%1' は複数のテーブルで使用されています。」 358 ページ
-138	「DB 領域 '%1' が見つかりません。」 253 ページ
-137	「テーブル '%1' にはユニークな関連名が必要です。」 505 ページ
-136	「テーブル '%1' は外部ジョイン循環です。」 508 ページ
-135	「言語仕様が変更されました。」 431 ページ
-134	「'%1' の機能は実装されていません。」 252 ページ
-133	「準備文の種類が無効です。」 334 ページ
-132	「SQL 文にエラーがあります。」 369 ページ

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージ・テキスト
-131	「%1' %2 の近くに構文エラーがあります。」 355 ページ
-130	「文が無効です。」 348 ページ
-128	「ランタイム・システムでは、テーブルを所有しているユーザを削除することはできません。」 217 ページ
-127	「インデックスのカラムを変更することはできません。」 170 ページ
-126	「テーブルに 2 つのプライマリ・キーを定義することはできません。」 510 ページ
-125	「ALTER 句が矛盾しています。」 155 ページ
-124	「テーブル '%1' から定義されているよりも多いカラムを削除しようとしています。」 392 ページ
-123	「ユーザ '%1' はユーザ・グループではありません。」 532 ページ
-122	「この操作はグループ循環を起こします。」 378 ページ
-121	「パーミッションがありません : %1」 399 ページ
-120	「ユーザ '%1' はすでにパーミッションを付与されています。」 531 ページ
-119	「プライマリ・キー・カラム '%1' はすでに定義されています。」 407 ページ
-118	「テーブル '%1' にはプライマリ・キーが定義されていません。」 505 ページ
-116	「テーブルは空でなければなりません。」 511 ページ
-114	「ビューに定義されるカラムの数が SELECT 文と一致しません。」 406 ページ
-113	「外部キーのカラム '%1' にプライマリ・キーと異なる定義があります。」 223 ページ
-112	「テーブルにはすでにプライマリ・キーが定義されています。」 510 ページ
-111	「インデックス名 '%1' はユニークではありません。」 281 ページ
-110	「アイテム '%1' はすでに存在しています。」 273 ページ

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージ・テキスト
-109	「まだデータベースに接続されています。」 524 ページ
-108	「接続が見つかりません。」 236 ページ
-107	「トランザクション・ログ・ファイルへの書き込みエラーが発生しました。」 312 ページ
-106	「トランザクション・ログ・ファイルを開けません -- %1」 200 ページ
-105	「データベースが起動できません -- %1」 301 ページ
-104	「モジュールの前処理でのユーザ ID またはパスワードが無効です。」 319 ページ
-103	「ユーザ ID またはパスワードが無効です。」 320 ページ
-102	「データベース・サーバに接続できる限界数を超過しています。」 298 ページ
-101	「データベースに接続されていません。」 391 ページ
-100	「データベース・サーバが見つかりません。」 297 ページ
-99	「データベースに接続できません。」 194 ページ
-98	「認証違反です。」 245 ページ
-97	「データベースのページ・サイズが大きすぎます : %1」 305 ページ
-96	「データベース・サーバはすでに起動しています。」 299 ページ
-95	「解析エラー : %1」 428 ページ
-94	「フィールドに対して不正な型を参照しました。」 317 ページ
-93	「クラス '%1' はパブリックなフィールド '%2' がありません。」 181 ページ
-92	「'%1' は有効なクラス・ファイルではありません。」 579 ページ
-91	「プロシージャ '%1' は処理されない例外 '%2' で終了しました。」 410 ページ
-90	「プロシージャ '%2' の引数 %1 に NULL は指定できません。」 212 ページ
-89	「データベース・サーバはマルチユーザ・モードで実行していません。」 300 ページ

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージ・テキスト
-88	「クライアント/サーバの通信プロトコルのバージョンが違います。」 177 ページ
-87	「サーバを起動するには、データベース名が必要です。」 292 ページ
-86	「起動するのに必要なメモリが不足しています。」 430 ページ
-85	「通信エラーが発生しました。」 243 ページ
-84	「指定されたデータベースは無効です。」 437 ページ
-83	「指定されたデータベースが見つかりません。」 437 ページ
-82	「指定されたデータベースを起動できません:%1」 553 ページ
-81	「データベース・サーバのコマンド・ラインが無効です。」 299 ページ
-80	「データベース・サーバを起動することができません。」 498 ページ
-79	「ローカル・データベース・オプションが無効です。」 321 ページ
-78	「動的メモリが足りません。」 339 ページ
-77	「データベース名がユニークではありません。」 307 ページ
-76	「アクティブなデータベースがないため要求は拒否されました。」 371 ページ
-75	「データベースの起動/停止の要求は拒否されました。」 391 ページ
-74	「選択されたデータベースは、現在アクティブではありません。」 562 ページ
-72	「データベース・ファイルが指定されていません。」 390 ページ
0	「(メッセージなし)」 581 ページ
100	「ローが見つかりません。」 423 ページ
101	「値がトランケートされました。」 565 ページ
102	「テンポラリ・テーブルが使用されました。」 516 ページ
103	「不正なデータ変換」 346 ページ
104	「最後に読み込まれた後で、ローは更新されています。」 434 ページ

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージ・テキスト
105	「プロシージャが完了しました。」 413 ページ
106	「テーブル '%2' のカラム '%1' の値が変更されています。」 509 ページ
107	「行 %2 の '%1' の付近に、言語の拡張機能が検出されました。」 432 ページ
109	「集合関数では、NULL 値は無視されます。」 439 ページ
110	「トランザクション・ログ・バックアップ・ページの一部だけが、満杯になっています。」 517 ページ
111	「文を実行することができませんでした。」 454 ページ
112	「もっと情報が必要です。」 419 ページ
113	「ユーザ '%2' に対するデータベース・オプション '%1' は不正な設定です。」 320 ページ
114	「'%1' への文字セット変換は実行できません。代わりに '%2' が使用されます。」 153 ページ
115	「データベース・サーバで文字セット '%1' 間とのデータ変換を実行できません。変換が正しくない可能性があります。」 298 ページ
116	「言語 '%1' はサポートされていないため、'%2' を使用しません。」 431 ページ
117	「文字セット '%1'、言語 '%2' はサポートされていません。代わりに言語 '%3' が使用されます。」 570 ページ
118	「無効なユーザ選択性の評価が指定されました。」 354 ページ
119	「バックアップ・ログ '%1' が開けません。」 521 ページ
120	「'%1' は認識できないオプションです。」 578 ページ
121	「カーソル・オプションの値が変更されました。」 172 ページ
122	「非決定的な結果が返されました」 568 ページ
124	「不正なデータ変換：ロー %2 のカラム '%1' に NULL が挿入されました。」 346 ページ
125	「%1 から %2 に変換するときに、無効なマルチバイトの入力文字が検出されました。」 147 ページ

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージ・テキスト
127	「%1 から %2 に変換するときに文字を置換しました。」 148 ページ
129	「プランに仮想インデックスが含まれている可能性があります。」 408 ページ
130	「ローが新しいスキーマ・フォーマットに変換されなかったため、ローは削除されました。」 219 ページ
132	「文字列カラム '%1' のヒストグラムを出力できません。」 246 ページ
133	「Ultra Light の接続がリストアされました。」 475 ページ
134	「Ultra Light のカーソル (あるいは結果セットまたはテーブル) がリストアされました。」 474 ページ
136	「データベースが作成されました。」 500 ページ
137	「参照整合性を保つためにテーブル %1 からローが削除されました。」 435 ページ
138	「パブリケーションの述部は評価されませんでした。」 405 ページ
139	「オプション '%1' が複数回指定されています。」 374 ページ
140	「暗号化が有効になっていません。」 321 ページ
141	「パススルー SQL スクリプトに失敗しました」 400 ページ
142	「Ultra Light データベース・ステータスがリストアされました。」 474 ページ
143	「破損したページ (ページ '%1') の読み込みをリトライしていません。」 449 ページ
144	「ミラー・ファイルには、これより高い checksum_level が必要です。」 417 ページ
145	「同じプライマリ・キーを持つ2つのローが、テーブル '%1' 用にダウンロードされています」 567 ページ
146	「イベント通知キュー '%1' が満杯なため、通知は破棄されました」 278 ページ
147	「キュー '%1' でイベント通知が失われました」 287 ページ
148	「イベント通知キュー '%1' に警告は見つかりません」 279 ページ

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージ・テキスト
149	「自動データベース・アップグレードが適用されました」 231 ページ
200	「警告 : %1」 543 ページ
201	「ICU 照合 '%1' は他の照合にデフォルト設定されました。」 467 ページ

## SQL Anywhere のエラー・メッセージ (SQLSTATE 順)

SQLSTATE	メッセージ・テキスト
00000	「(メッセージなし)」 581 ページ
01000	「警告 : %1」 543 ページ
01003	「集合関数では、NULL 値は無視されます。」 439 ページ
01004	「値がトランケートされました。」 565 ページ
01005	「暗号化が有効になっていません。」 321 ページ
01006	「パススルー SQL スクリプトに失敗しました」 400 ページ
01S02	「カーソル・オプションの値が変更されました。」 172 ページ
01W01	「不正なデータ変換 : ロー %2 のカラム '%1' に NULL が挿入されました。」 346 ページ
01W02	「テンポラリー・テーブルが使用されました。」 516 ページ
01W03	「不正なデータ変換」 346 ページ
01W04	「最後に読み込まれた後で、ローは更新されています。」 434 ページ
01W05	「プロシージャが完了しました。」 413 ページ
01W06	「テーブル '%2' のカラム '%1' の値が変更されています。」 509 ページ
01W07	「行 %2 の '%1' の付近に、言語の拡張機能が検出されました。」 432 ページ
01W08	「文を実行することができませんでした。」 454 ページ
01W09	「もっと情報が必要です。」 419 ページ
01W10	「トランザクション・ログ・バックアップ・ページの一部だけが、満杯になっています。」 517 ページ
01W11	「ユーザ '%2' に対するデータベース・オプション '%1' は不正な設定です。」 320 ページ
01W12	「'%1' への文字セット変換は実行できません。代わりに '%2' が使用されます。」 153 ページ
01W13	「データベース・サーバで文字セット '%1' 間とのデータ変換を実行できません。変換が正しくない可能性があります。」 298 ページ



SQLSTATE	メッセージ・テキスト
01W14	「言語 '%1' はサポートされていないため、'%2' を使用します。」 431 ページ
01W15	「文字セット '%1'、言語 '%2' はサポートされていません。代わりに言語 '%3' が使用されます。」 570 ページ
01W16	「無効なユーザ選択性の評価が指定されました。」 354 ページ
01W17	「'%1' は認識できないオプションです。」 578 ページ
01W18	「非決定的な結果が返されました」 568 ページ
01W20	「プランに仮想インデックスが含まれている可能性があります。」 408 ページ
01W21	「ローが新しいスキーマ・フォーマットに変換されなかったため、ローは削除されました。」 219 ページ
01W23	「文字列カラム '%1' のヒストグラムを出力できません。」 246 ページ
01W24	「参照整合性を保つためにテーブル %1 からローが削除されました。」 435 ページ
01W25	「パブリケーションの述部は評価されませんでした。」 405 ページ
01W26	「オプション '%1' が複数回指定されています。」 374 ページ
01W27	「同じプライマリ・キーを持つ 2 つのローが、テーブル '%1' 用にダウンロードされています」 567 ページ
01WC1	「%1 から %2 に変換するときに、無効なマルチバイトの入力文字が検出されました。」 147 ページ
01WC3	「%1 から %2 に変換するときに文字を置換しました。」 148 ページ
01WC4	「ICU 照合 '%1' は他の照合にデフォルト設定されました。」 467 ページ
02000	「ローが見つかりません。」 423 ページ
04W07	「DB 領域が最大ファイル・サイズに達しています。」 160 ページ
04W08	「サーバが DB 領域の最大ファイル・サイズを超えてページにアクセスしようとしました。」 494 ページ
07001	「ホスト変数が足りません。」 415 ページ
07002	「SQLDA 中のフィールドが足りません。」 370 ページ
07003	「カーソルのオープンがエラーになりました。」 286 ページ

SQLSTATE	メッセージ・テキスト
07005	「SELECT 文以外は記述できません。」 165 ページ
07009	「記述子のインデックスが正しくありません。」 327 ページ
07W01	「DESCRIBE 文で無効な型が指定されました。」 255 ページ
07W02	「文が無効です。」 348 ページ
07W03	「準備文の種類が無効です。」 334 ページ
07W04	「SQLDA フィールドがマルチ・ロー SQLDA と矛盾しています。」 370 ページ
07W05	「SQLDA のデータ型が無効です。」 369 ページ
07W06	「SQL の識別子が無効です。」 269 ページ
07W07	「ホスト変数はバッチで使用できません。」 319 ページ
07W08	「SQLDA に不正な sqlen フィールドがあります。」 270 ページ
08001	「データベースが起動できません -- %1」 301 ページ
08003	「データベースに接続されていません。」 391 ページ
08004	「%1」というユーザ ID はありません。」 457 ページ
08005	「パスワードに不正な文字が含まれています。」 401 ページ
08W01	「データベース・サーバが見つかりません。」 297 ページ
08W02	「接続が見つかりません。」 236 ページ
08W03	「データベース・サーバに接続できる限界数を超えています。」 298 ページ
08W04	「データベースに接続できません。」 194 ページ
08W05	「トランザクション・ログ・ファイルを開けません -- %1」 200 ページ
08W06	「まだデータベースに接続されています。」 524 ページ
08W07	「データベース・サーバを起動することができません。」 498 ページ
08W08	「データベース・サーバのコマンド・ラインが無効です。」 299 ページ
08W09	「指定されたデータベースを起動できません : %1」 553 ページ
08W10	「指定されたデータベースが見つかりません。」 437 ページ

SQLSTATE	メッセージ・テキスト
08W11	「指定されたデータベースは無効です。」 437 ページ
08W12	「通信エラーが発生しました。」 243 ページ
08W13	「起動するのに必要なメモリが不足しています。」 430 ページ
08W14	「サーバを起動するには、データベース名が必要です。」 292 ページ
08W15	「クライアント／サーバの通信プロトコルのバージョンが違います。」 177 ページ
08W16	「データベース・サーバはマルチユーザ・モードで実行していません。」 300 ページ
08W17	「トランザクション・ログ・ファイルへの書き込みエラーが発生しました。」 312 ページ
08W18	「埋め込み SQL を処理しているプリプロセッサと、データベース・インタフェース・ライブラリのバージョンが適合しません。」 455 ページ
08W19	「クライアント・サーバのバージョンとデータベース・サーバのバージョンが適合しません。」 179 ページ
08W20	「データベース名 'utility_db' はユーティリティ・データベース用に予約されています。」 502 ページ
08W21	「認証違反です。」 245 ページ
08W22	「データベースのページ・サイズが大きすぎます:%1」 305 ページ
08W23	「データベース・サーバはすでに起動しています。」 299 ページ
08W24	「不正なパラメータです。」 347 ページ
08W25	「ローカル・データベース・オプションが無効です。」 321 ページ
08W26	「動的メモリが足りません。」 339 ページ
08W27	「データベース名がユニークではありません。」 307 ページ
08W28	「アクティブなデータベースがないため要求は拒否されました。」 371 ページ
08W29	「データベースの起動／停止の要求は拒否されました。」 391 ページ
08W30	「選択されたデータベースは、現在アクティブではありません。」 562 ページ
08W32	「無効なデータベース・ページ・サイズです。」 351 ページ

SQLSTATE	メッセージ・テキスト
08W33	「データベースの作成に失敗しました : %1」 305 ページ
08W34	「ストア DLL ¥"%1¥" をロードできません。」 ページ
08W35	「ストア DLL (%1) のエントリ・ポイントを実行できません。」 187 ページ
08W36	「指定された DB 領域でアイテム (%1) を生成できません。」 230 ページ
08W37	「接続パラメータ・ファイルが見つかりません。」 561 ページ
08W38	「接続パラメータ文字列の解析エラーです。」 336 ページ
08W39	「データベース・ファイルが指定されていません。」 390 ページ
08W40	「データベースはアクティブです。」 306 ページ
08W41	「データベース ¥"%1¥" をリカバリする必要があります。」 ページ
08W42	「データベースのアップグレードに失敗しました。」 303 ページ
08W43	「データベースのアップグレードができません。」 302 ページ
08W44	「バックアップ/リストア用 DLL ¥"%1¥" をロードできません。」 ページ
08W45	「バックアップ/リストア DLL (%1) のエントリ・ポイントを実行できませんでした。」 206 ページ
08W46	「バックアップ/リストア中にエラーが発生しました : %1」 314 ページ
08W47	「データベース・ストア DLL (%1) のバージョンが不正です。」 300 ページ
08W48	「認証に失敗しました。」 244 ページ
08W49	「解析エラー : %1」 428 ページ
08W51	「IQ データベース・コマンド・ラインの不正なオプションまたはパラメータ値 : %1」 260 ページ
08W52	「IQ メモリ・マネージャを初期化できません : %1」 163 ページ
08W53	「System V リソースを割り当てるのができません。」 166 ページ
08W54	「解析エラー : %1」 429 ページ
08W55	「サーバが見つからないため自動起動できません。」 380 ページ
08W56	「指定されたデータベース・ファイルはすでに使用されています。」 436 ページ

SQLSTATE	メッセージ・テキスト
08W57	「データベースのアップグレードができません。ユーザ dbo は RowGenerator テーブルの所有者ではありません。」 302 ページ
08W58	「データベースのアップグレードができません。ユーザ・テーブルに、システム・テーブル範囲のテーブル ID が設定されています。」 303 ページ
08W59	「TLS ハンドシェイクに失敗しました。」 471 ページ
08W60	「接続エラー:%1」 235 ページ
08W61	「サーバ上で TLS の初期化に失敗しました。」 494 ページ
08W62	「暗号化キーが不正であるか、見つかりません。」 322 ページ
08W63	「復号化エラー:%1」 348 ページ
08W64	「データベース・サーバで文字セット '%1' 間とのデータ変換を実行できません。」 297 ページ
08W65	「クライアントでメモリが不足しています。」 181 ページ
08W66	「暗号化エラー:%1」 321 ページ
08W67	「指定されたデータベースを起動できません: データベース %1 を起動するにはサーバをアップグレードする必要があります。」 553 ページ
08W68	「指定されたデータベースを起動できません: ログ・ファイル・エラー」 554 ページ
08W69	「jConnect は暗号化をサポートしていません。」 262 ページ
08W70	「暗号化 DLL ¥"%1¥" をロードできません。」 ページ
08W71	「プロシージャまたは関数 '%2' のパラメータ '%1' にデフォルト値がありません。」 414 ページ
08W72	「指定されたデータベースを開始できません。'%1' は無効なトランザクション・ログ・ミラーです。」 547 ページ
08W73	「指定されたデータベースを開始できません。トランザクション・ログ '%1' または、そのミラー '%2' は無効です。」 549 ページ
08W74	「指定されたデータベースを開始できません。トランザクション・ログで、'%1' は操作を予期していません。」 550 ページ
08W75	「指定されたデータベースを開始できません。不明な暗号化アルゴリズムです。」 552 ページ

SQLSTATE	メッセージ・テキスト
08W76	「指定されたデータベースを開始できません。このサーバで開始するには、'%1' をアップグレードする必要があります (機能 %2 がありません)。」 549 ページ
08W80	「指定されたデータベースを開始できません。ログファイル '%1' を使用できません。これはログ・ファイルがデータベース・ファイルよりも後に使用されているためです。」 552 ページ
08W81	「指定されたデータベースを開始できません。'%1': トランザクション・ログ・ファイルが見つかりません」 548 ページ
08W82	「指定されたデータベースを開始できません。ログ・ファイル '%1' を使用できません。これはオフセットがデータベースのオフセットと一致しないためです。」 551 ページ
08W83	「指定されたデータベースを開始できません。ログ・ファイル '%1' を使用できません。これはデータベース・ファイルがログ・ファイルよりも後に使用されているためです。」 551 ページ
08W84	「指定されたデータベースを開始できません。ログ・ファイル '%1' を使用できません。これは、予想された長さよりも短いためです。」 550 ページ
08W85	「指定されたデータベースを開始できません。'%1' はデータベースではありません。」 546 ページ
08W86	「指定されたデータベースを開始できません。'%1' は異なるバージョンのソフトウェアで作成されています。」 546 ページ
08W87	「指定されたデータベースを開始できません。'%1' は有効なデータベース・ファイルではありません。」 548 ページ
08W88	「指定されたデータベースを開始できません。'%1' は無効なトランザクション・ログです。」 547 ページ
08W89	「データベース・サーバを起動することができません。サーバに致命的なエラーが発生しました。」 499 ページ
08W90	「DBN/DBF パラメータが、この代替サーバ名のデータベースと一致しません。」 465 ページ
08W91	「ミラー・サーバに接続できません。サーバ名 '%1' を使用してプライマリ・サーバを探してください。」 214 ページ
08W93	「データベース %1 を起動できません。監査が有効な場合は、読み込み専用モードを使用できません。」 496 ページ
08W94	「ファンクション '%1' に無効なパラメータ '%2' ('%3') があります。」 316 ページ

SQLSTATE	メッセージ・テキスト
08W95	「ATTACH TRACING は、トレース・データベースに接続できませんでした。」 156 ページ
08W96	「トレース接続はすでにアクティブになっています。」 205 ページ
08W97	「接続できません：サーバは要求された暗号化タイプを受け入れませんでした。」 560 ページ
08W98	「このプラットフォームではデータベース '%1' を起動できません。 <a href="http://www.iAnywhere.jp/sas/os.html">http://www.iAnywhere.jp/sas/os.html</a> を参照してください。」 291 ページ
08W99	「このプラットフォームではデータベース '%1' を起動できません。 <a href="http://www.iAnywhere.jp/sas/os.html">http://www.iAnywhere.jp/sas/os.html</a> を参照してください。」 290 ページ
08WA0	「パスワードの有効期限が切れています。」 402 ページ
08WA1	「パスワードの有効期限が切れていますが、変更できません。データベースは読み込み専用です。」 403 ページ
08WA2	「データベース・サーバを起動できません：ライセンス・ファイルがありません」 499 ページ
09W02	「不正なカーソル処理をしようとしてしました。」 345 ページ
09W03	「'%1' では結果セットは許可されません。」 356 ページ
09W04	「カーソルの INSERT/DELETE は、1つのテーブルしか変更できません。」 285 ページ
09W05	「カーソルでローをユニークに識別できません。」 174 ページ
09W06	「カーソルは FETCH NEXT 操作に制限されています。」 174 ページ
09W07	「文のサイズの制限値が無効です。」 452 ページ
09W08	「テーブル '%1' のすべて NULL のローを更新または削除できません。」 195 ページ
0A000	「'%1' の機能は実装されていません。」 252 ページ
0A001	「呼び出そうとしたメソッドは、お使いのアプリケーションでは使用できません。」 543 ページ
0A002	「このサーバには、'%1' 機能をサポートするためのライセンスが付与されていません」 488 ページ

SQLSTATE	メッセージ・テキスト
0A003	「このサーバには、'%1' 接続をサポートするためのライセンスが付与されていません」 489 ページ
0A004	「このプラットフォームでは、この版の SQL Anywhere を利用できません」 491 ページ
0AQ48	「IQ データベースにはログが必要です。」 162 ページ
0AW01	「言語仕様が変更されました。」 431 ページ
0AW02	「Transact-SQL 機能がサポートされていません。」 472 ページ
0AW03	「行 %2 の '%1' の付近に、言語の使用できない拡張機能が検出されました。」 329 ページ
0AW04	「ランタイム・サーバではトリガおよびプロシージャはサポートされません。」 536 ページ
0AW05	「パススルー・モードでは文を使用できません。」 400 ページ
0AW06	「このデータベースでは、計算カラムはサポートされていません。」 184 ページ
0AW07	「Ultra Light では使用できない機能です。」 272 ページ
0AW08	「コミットされていないトランザクションとの同期またはアップグレードはできません。」 493 ページ
0AW09	「同期サーバがアップロードのコミットに失敗しました。」 443 ページ
0AW10	「DTC トランザクションはこのプラットフォームではサポートされていません。」 255 ページ
0AW11	「既存のローと競合しているため、ダウンロードに失敗しました。」 327 ページ
0AW12	「サーバ %1 でエラーが発生したため、同期に失敗しました。」 379 ページ
0AW13	「前回のアップロードのステータスが不明の場合、同期の user_name は変更できません。」 238 ページ
0AW14	「このタイプの文に対してプランを生成することはできません。」 376 ページ
0AW15	「マテリアライズド・ビューのサポートは、このデータベースでは利用できません」 416 ページ
0AW16	「FIPS モードでは %1 アルゴリズムは使用できません。」 466 ページ



SQLSTATE	メッセージ・テキスト
0AW17	「前回のアップロードのステータスが不明の場合、Mobile Link リモート ID は変更できません。」 237 ページ
0AW18	「リモート・データ・サービス機能はこのプラットフォームではサポートされていません。」 537 ページ
0AW19	「クライアント・バージョンまたはクライアント・インタフェースではサポートされていない機能です。」 287 ページ
0AW20	「使用できるプランがありません。このタイプの文に対しては、NOEXEC プランは生成できません。」 436 ページ
0AW21	「プランがありません。このタイプの文またはデータベースでは、HTML_PLAN 関数はサポートされていません。」 407 ページ
0AW22	「このデータベースでは、DB 領域のパーミッションのサポートを利用できません」 377 ページ
0AW23	「同期ダウンロードは完了しませんでした」 444 ページ
0AW24	「同期はすでに進行中です」 444 ページ
0AWD5	「Mobile Link 通信エラー: コード: %1、パラメータ: %2、システム・コード %3」 363 ページ
0EW00	「テーブル '%1' にはカラムがありません」 504 ページ
0EW01	「インデックス '%1' にはカラムがありません」 279 ページ
21000	「SELECT 文が複数行を返しています。」 368 ページ
21W01	「サブクエリは複数行を返すことはできません。」 384 ページ
22001	「文字列データの右側がトランケートされます。」 454 ページ
22002	「NULL に対して、インジケータ変数が用意されていません。」 363 ページ
22003	「値 %1 は、対象先にとって大きすぎます。」 564 ページ
22005	「割り当てのエラー」 327 ページ
2200B	「エスケープ文字 '%1' が矛盾しています。」 283 ページ
2200C	「エスケープ文字 '%1' の使用が無効です。」 284 ページ
22012	「ゼロで除算しようとしてしました。」 295 ページ

SQLSTATE	メッセージ・テキスト
22019	「エスケープ文字 '%1' が無効です。」 283 ページ
2201B	「正規表現 '%2' 中の '%1' が無効です。」 335 ページ
22024	「C 言語の文字列が完結していません。」 464 ページ
22025	「エスケープ・シーケンス '%1' が無効です。」 282 ページ
22030	「要求されたデータ型として NULL の結果を返すことができません。」 246 ページ
22W02	「最後に読み込まれた後で、ローは更新されています。操作はキャンセルされました。」 434 ページ
22W03	「WRITETEXT または READTEXT に無効な値を持つ TEXTPTR があります。」 272 ページ
22X13	「OLAP 関数の先頭または最後のサイズが無効です。」 266 ページ
23501	「テーブル '%2' のカラム '%1' を NULL にすることはできません。データ・ファイルの行 %3 で LOAD TABLE に無効なデータが指定されました。」 196 ページ
23502	「テーブル '%2' のカラム '%1' を NULL にすることはできません。」 196 ページ
23503	「テーブル '%2' の外部キー '%1' に対応するプライマリ・キーの値がありません。」 396 ページ
23504	「NULL を許可するカラムの数が制限を超えています。」 364 ページ
23505	「テーブル '%2' のインデックス '%1' はユニークでなければなりません。」 309 ページ
23506	「制約 '%1' の違反です: テーブル '%3' のカラム '%2' の値が無効です。」 235 ページ
23507	「指定された外部キー (%1) は使用できません。」 555 ページ
23508	「制約 '%1' の違反です: テーブル '%2' の値が無効です。」 234 ページ
23509	「テーブル '%1' に、MERGE 文の ANSI カーディナリティ違反があります」 392 ページ
23510	「テーブル '%1' の MERGE 文は失敗しました。文で RAISERROR が指定されています」 393 ページ
23W01	「テーブル '%1' のプライマリ・キーがユニークではありません: プライマリ・キー値 (%2)」 393 ページ

SQLSTATE	メッセージ・テキスト
23W05	「テーブル '%1' 内のローのプライマリ・キーがテーブル '%3' 内の外部キー '%2' によって参照されています。」 395 ページ
24000	「カーソルが有効な状態にありません。」 173 ページ
24001	「TRUNCATE の後に value-sensitive カーソルが使用されています」 473 ページ
24501	「カーソルが開きません。」 172 ページ
24502	「カーソルはすでに開いています。」 175 ページ
24503	「カーソルの現在のローがありません。」 375 ページ
24504	「スクロール位置 '%1' が不正です。」 294 ページ
24W01	「カーソルが宣言されていません。」 173 ページ
26501	「SQL 文にエラーがあります。」 369 ページ
28000	「ユーザ ID またはパスワードが無効です。」 320 ページ
28W01	「モジュールの前処理でのユーザ ID またはパスワードが無効です。」 319 ページ
28W02	「統合化ログインが許可されていません。」 338 ページ
28W03	「統合化ログインが必要です。標準ログインは許可されていません。」 338 ページ
28W04	「統合化ログインが失敗しました。」 338 ページ
28W05	「このデータベースでは、統合化ログインはサポートされていません。」 290 ページ
28W06	「統合化ログイン ID ゲストは、ゲスト・データベースのユーザ ID に対してのみマップできます。」 566 ページ
28W07	「sys または public ユーザ ID にログイン ID をマップすることはできません。」 166 ページ
28W08	「ログイン ID '%1' はすでにユーザ ID '%2' にマップされています。」 538 ページ
28W09	「ログイン ID '%1' はどのデータベース・ユーザ ID にもマップされていません。」 539 ページ
28W10	「統合されたユーザに対する個別のグループ・マッピングが多すぎます。」 566 ページ

SQLSTATE	メッセージ・テキスト
28W11	「無効なパスワード:%1」 352 ページ
28W12	「Kerberos ログインが失敗しました。」 264 ページ
28W13	「Kerberos ログインはサポートされていません。」 265 ページ
28W14	「ログイン・モード'%1' は、login_mode 設定で許可されていません。」 425 ページ
28W15	「このユーザのログイン・ポリシーにより接続は許可されませんでした」 184 ページ
2D501	「トリガ・アクション内での COMMIT/ROLLBACK は許可されません。」 202 ページ
33000	「SQL 記述子名が正しくありません。」 270 ページ
37505	「関数'%1' のパラメータ数が誤りです。」 540 ページ
38W01	「システム・コマンドが失敗し、リターン・コード %1 が返されました。」 385 ページ
3B001	「セーブポイント '%1' が見つかりません。」 387 ページ
3B002	「ROLLBACK TO SAVEPOINT は使用できません。」 368 ページ
3BW01	「セーブポイントには、ロールバック・ログが必要です。」 388 ページ
3BW02	「アトミックな複合文では、結果セットは使用できません。」 372 ページ
40000	「実行時 SQL エラーです -- %1」 438 ページ
40001	「デッドロックが検出されました。」 311 ページ
40W01	「データベースの内部エラー %1 -- トランザクションはロールバックされました。」 306 ページ
40W02	「ユーザによって中断させられました -- トランザクションはロールバックされました。」 533 ページ
40W03	「ハードディスクに空き領域がありません。'%1' -- トランザクションはロールバックされました。」 314 ページ
40W04	「I/O エラーです。%1 -- トランザクションはロールバックされました。」 259 ページ

SQLSTATE	メッセージ・テキスト
40W05	「ディスク書き込みの失敗 '%1' -- トランザクションはロールバックされました。」 296 ページ
40W06	「すべてのスレッドがブロックされています。」 189 ページ
40W07	「接続が切断されました。」 237 ページ
40W08	「メモリ・エラー -- トランザクションはロールバックされました。」 418 ページ
42501	「パーミッションがありません:%1」 399 ページ
42R01	「テンポラリー・テーブルに対しては RESTRICT 以外の参照整合性アクションは許可されていません。」 398 ページ
42R02	「キー制約によって関連付けられているテーブルはどちらも、永久テーブルであるか、ON COMMIT DELETE ROWS を指定して作成されていないテンポラリー・テーブルである必要があります。グローバル・テンポラリー・テーブルの場合は、どちらか一方のテーブルが共有されていれば、他方のテーブルも共有されている必要があります。」 487 ページ
42R03	「テンポラリー・テーブル間のキー制約には、一意性制約を持たないプライマリ・キーが必要です。」 312 ページ
42R04	「外部キー・カラムがプライマリ・キーまたは ¥"%1¥" の一意性制約に一致しません」 ページ
42U00	「ビューがテンポラリー・オブジェクトである '%1' を参照しています。ビューは、永久オブジェクトだけを参照できます。」 522 ページ
42U01	「関連名 '%1' への参照が不正です。」 337 ページ
42U02	「修飾されたカラム参照で使用されている所有者 '%1' は関連名 '%2' と一致していません。」 439 ページ
42U03	「カラム '%1' に対する SET 句の使用法が正しくありません。」 376 ページ
42U04	「制約 '%1' が見つかりません。」 234 ページ
42U05	「(メッセージなし)」 580 ページ
42U06	「制約 '%1' への参照または操作が無効です。」 335 ページ
42U07	「テーブル '%1' に指定されたヒントが無効です。」 308 ページ
42U08	「CREATE DATABASE 文では重複オプションは許可されていません」 253 ページ

SQLSTATE	メッセージ・テキスト
42W01	「ユーザ '%1' はすでにパーミッションを付与されています。」 531 ページ
42W02	「この操作はグループ循環を起こします。」 378 ページ
42W03	「ユーザ '%1' はユーザ・グループではありません。」 532 ページ
42W04	「'%1' %2 の近くに構文エラーがあります。」 355 ページ
42W05	「関数 '%1' はありません。」 541 ページ
42W06	「集合関数の使用が無効です。」 332 ページ
42W07	「無効なホスト変数です。」 353 ページ
42W08	「'%1' 付近に無効な式があります。」 252 ページ
42W09	「プロシージャ、トリガ、イベント、またはバッチでは SETUSER を実行できません。」 412 ページ
42W13	「カラム番号が無効です。」 286 ページ
42W14	「変数 '%1' が見つかりません。」 571 ページ
42W15	「'%1' という変数はすでに存在します。」 458 ページ
42W16	「オプション '%1' が無効です -- PUBLIC 設定がありません。」 284 ページ
42W17	「オプション '%1' の設定が無効です。」 285 ページ
42W18	「'%2' のローは、ユーザ '%1' によってロックされています。」 463 ページ
42W19	「'%1' でデータベースを使用している間は許可されません。」 356 ページ
42W20	「CHECKPOINT 文にはロールバック・ログが必要です。」 159 ページ
42W21	「テーブルは使用されています。」 512 ページ
42W22	「アクティブなデータベース要求を 2 つ出そうとしました。」 167 ページ
42W23	「プロシージャは '%1' によって使用されています。」 413 ページ
42W24	「ラベル '%1' は見つかりません。」 419 ページ
42W25	「FETCH 文中の絶対または相対オフセットの指定が無効です。」 256 ページ
42W26	「FETCH 文の中の変数の数が正しくありません。」 466 ページ

SQLSTATE	メッセージ・テキスト
42W28	「アトミックなオペレーション内での COMMIT/ROLLBACK は許可されません。」 168 ページ
42W29	「プロシージャまたはトリガの呼び出しのネストが深すぎます。」 414 ページ
42W30	「読み込み専用のカーソルを更新しようとしてしました。」 567 ページ
42W31	「更新できないクエリに対して、更新しようとしてしました。」 544 ページ
42W32	「テーブル '%2' のカラム '%1' を変更できません。」 197 ページ
42W33	「テーブル '%1' が見つかりません。」 503 ページ
42W34	「ユーザ '%1' はすでにグループ '%2' のメンバです。」 530 ページ
42W35	「更新できないリモート・クエリに対して、更新しようとしてしました。」 544 ページ
42W36	「FOR UPDATE が READ ONLY カーソルに誤って指定されました。」 256 ページ
42W37	「ORDER BY 句にあるため、カラム '%1' を更新できません。」 164 ページ
42W38	「SELECT 句にないため、カラム '%1' を更新できません。」 165 ページ
42W39	「ビュー '%1' の INSTEAD OF トリガと WITH CHECK OPTION が競合しています。」 209 ページ
42W3A	「テーブルまたはビュー '%1' に INSTEAD OF トリガがあるため、操作に失敗しました。」 397 ページ
42W3B	「INSTEAD OF トリガのあるビューで位置付け更新しようとしてしました。」 361 ページ
42W3C	「ビュー '%1' のトリガ・タイプが無効です。」 315 ページ
42W3D	「マテリアライズド・ビュー '%1' でトリガを作成できません。」 526 ページ
42W40	「参照カラムが重複しています。」 330 ページ
42W41	「挿入したカラムが重複しています。」 336 ページ
42W42	「プロシージャ '%1' の呼び出しに必要なパラメータ名がありません。」 409 ページ
42W43	「オプション '%1' は PUBLIC な設定のみが許されています。」 375 ページ

SQLSTATE	メッセージ・テキスト
42W44	「テーブル '%1' から定義されているよりも多いカラムを削除しようとしています。」 392 ページ
42W45	「ユーザ '%1' に対するテンポラリ・オプションを設定することはできません。」 216 ページ
42W46	「DBA のみがオプション '%1' を設定できます。」 360 ページ
42W47	「プロシージャ '%2' にパラメータ '%1' がありません。」 411 ページ
42W48	「構文エラーです。IQ 指定オプションを指定するには IQ PATH が必要です。」 432 ページ
42W49	「TRUNCATE TABLE 文は、ビューには使用できません。」 473 ページ
42W50	「READTEXT 文や WRITETEXT 文はビューを参照できません。」 365 ページ
42W51	「VALIDATE 文はベース・テーブルを参照しなければなりません。」 477 ページ
42W52	「オプション '%1' はテンポラリ・オプションとしてのみ設定できません。」 482 ページ
42W53	「オプション '%1' はプロシージャ内から設定できません。」 482 ページ
42W54	「シグニチャ '%1' はプロシージャのパラメータと一致しません。」 384 ページ
42W55	「ユーザは使用中のプロシージャを所有しています。」 534 ページ
42W56	「ユーザは使用中のテーブルを所有しています。」 534 ページ
42W57	「外部オブジェクト '%1' が見つかりません。」 323 ページ
42W58	「JAR '%1' が見つかりません。」 261 ページ
42W59	「派生テーブル '%1' の select リストに '%2' と一致する式がありません。」 568 ページ
42W60	「エイリアス '%1' がユニークではありません。」 170 ページ
42W61	「エイリアス '%1' の定義は、最初の参照前に記述する必要があります。」 282 ページ
42W62	「テーブル '%1' のローが、BEFORE トリガで修正または削除されました。」 394 ページ
42W63	「プロシージャ '%1' は有効でなくなりました。」 411 ページ



SQLSTATE	メッセージ・テキスト
42W64	「テーブル '%1' のトリガまたは外部キーは有効でなくなりました。」 506 ページ
42W65	「ORDER BY 句で使用されている、'%1' に対する関数またはカラムの参照は不正です。」 267 ページ
42W66	「トリガ名 '%1' はあいまいです。」 520 ページ
42W67	「CREATE/DROP STATISTICS 文では、仮想テーブルを参照できません。」 160 ページ
42W68	「集約式 '%1' に複数のカラムが含まれ、その 1 つ以上が外部参照です。」 233 ページ
42W69	「集約式 '%1' は select リストまたは HAVING 句サブクエリのいずれかに記述されている必要があります。」 559 ページ
42W70	「グループ化されたクエリに、複数の異なる集合関数が含まれています。」 289 ページ
42W71	「文に NUMBER(*) 関数の不正な使用が含まれています。」 451 ページ
42W73	「'%1' にジョインする方法がありません。」 458 ページ
42W74	「インデックス '%1' をクラスタできません。」 280 ページ
42W75	「同期プロファイル '%1' が見つかりません」 445 ページ
42W76	「同期プロファイル '%1' はすでに存在します」 446 ページ
42W77	「同期プロファイル '%1' に無効なパラメータ '%2' があります」 445 ページ
42W78	「このデータベースでは、同期プロファイルはサポートされていません。」 378 ページ
42W79	「文に非決定的関数 '%1' の不正な用法が含まれています。」 451 ページ
42W80	「他の接続が '%1' のローをロックしています」 241 ページ
42W82	「ユーザ設定が存在するため、PUBLIC オプション '%1' を削除できません。」 216 ページ
42W83	「HTTP オプション '%1' の設定が無効です。」 257 ページ
42W84	「HTTP ヘッダ '%1' の設定が無効です。」 258 ページ
42W85	「'%1' は '%2' に対して無効な値です。」 575 ページ

SQLSTATE	メッセージ・テキスト
42W86	「SOAP ヘッダ '%I' の設定が無効です。」 269 ページ
42W90	「集約関数の ORDER BY が不正です。」 332 ページ
42W91	「監査用のトランザクション・ログ・ファイルが必要です。」 224 ページ
42W92	「CREATE SERVICE にはサービス・タイプが必要です。」 360 ページ
42W93	「共通テーブル式参照に循環があります。」 225 ページ
42W94	「'%I' は認識されていないサービス・タイプです。」 578 ページ
42W95	「サービス名 '%I' は無効です。」 294 ページ
42W96	「AUTHORIZATION が Off の場合はユーザ名を指定する必要があります。」 157 ページ
42W97	「サービス '%I' はすでに存在します。」 381 ページ
42W98	「サービス '%I' が見つかりません。」 380 ページ
42W99	「再帰クエリが無効です。」 329 ページ
42W9A	「再帰クエリのカラム・リストがありません。」 433 ページ
42W9B	「サービス定義のホスト変数参照には名前が必要です。」 293 ページ
42W9C	「サービス文定義とサービス・タイプが矛盾しています。」 383 ページ
42W9D	「GROUP BY 句には定数式を使用できません。」 161 ページ
42W9E	「AUTHORIZATION が OFF の場合、サービス定義には文が必要です。」 359 ページ
42WA0	「RECURSIVE キーワードなしの再帰は許可されません。」 366 ページ
42WA1	「ROLLUP、CUBE、または GROUPING SETS 操作に対する GROUP BY リストの式が多すぎます。」 469 ページ
42WA2	「再帰カラム %1 : '%2' から '%3' への変換では、精度が失われます。」 433 ページ
42WA3	「ウィンドウ '%I' が見つかりません。」 481 ページ
42WA4	「ウィンドウ '%I' への参照には、PARTITION BY は許可されません。」 374 ページ

SQLSTATE	メッセージ・テキスト
42WA5	「ウィンドウ '%1' では、ORDER BY は許可されません。」 373 ページ
42WA6	「ウィンドウ '%1' では、フレームは許可されません。」 281 ページ
42WA7	「集合関数 GROUPING への引数は GROUP BY 句のグループ・カラムである必要があります。」 232 ページ
42WA8	「Window 関数が述語に使用されています。」 478 ページ
42WA9	「Window 関数には ORDER BY が必要です。」 478 ページ
42WAA	「複合 ORDER BY は RANGE とは併用できません。」 245 ページ
42WAB	「ユーザ '%1' はすでに EXECUTE パーミッションを付与されています。」 529 ページ
42WAC	「関数またはプロシージャ '%1' に引数が多すぎます。」 541 ページ
42WAD	「サービスの属性 '%1' の値が無効です。」 293 ページ
42WAE	「サービスの属性 '%1' の値がありません。」 382 ページ
42WAF	「USING 属性のサービスにあるプロパティ '%1' はサポートされていません。」 476 ページ
42WB0	「サービスに重複した属性 '%1' があります。」 292 ページ
42WB1	「USING 属性は、FORMAT 属性または GROUP 属性と共存できません。」 477 ページ
42WB2	「サービス・タイプでは、属性 '%1' は許可されません。」 382 ページ
42WB3	「'%1' の近くに構文エラーがあります -- マテリアライズド・ビューの定義では次の構成体を使用できません : '%2'」 357 ページ
42WB4	「'%1' の近くに構文エラーがあります -- マテリアライズド・ビューを即時に変更できません。マテリアライズド・ビューの定義に次の不正な構成体が含まれています : '%2'」 357 ページ
42WB5	「マテリアライズド・ビュー '%1' が見つかりません。」 415 ページ
42WB6	「マテリアライズド・ビューを作成できません。オプション '%1' に不適切な設定があります。」 214 ページ
42WB7	「マテリアライズド・ビューを更新できません。オプション '%1' に不適切な設定があります。」 213 ページ

SQLSTATE	メッセージ・テキスト
42WB8	「スナップショット開始後にテーブルが作成または変更されました。」 495 ページ
42WB9	「スナップショット中は文を使用できません。」 387 ページ
42WBA	「スナップショット・トランザクションで更新の競合が発生しました。」 495 ページ
42WBB	「スナップショット・アイソレーションを非スナップショット・トランザクションで使用しようとしてしました。」 188 ページ
42WBC	「マテリアライズド・ビュー '%1' を使用できません。このビューは初期化されていません。」 213 ページ
42WBD	「計算カラムの依存に循環があります。」 226 ページ
42WBE	「ユーザ '%1' がトランザクションのレプリケーションを実行している間は、これらのパーミッションを取り消すことはできません。」 215 ページ
42WBF	「相関名 '%1' は、ROWID 関数では使用できません。」 239 ページ
42WC0	「重複キー・カラム (%1)」 333 ページ
42WC1	「テーブル '%1' には、ROWID 関数への無効な参照が含まれていません。」 504 ページ
42WC2	「'%1' プロパティはサポートされなくなりました。」 460 ページ
42WC3	「マテリアライズド・ビュー %1 を即時に変更できません。すでに初期化されています。」 525 ページ
42WC4	「指定した時間内でテーブル・ロックを取得できません。」 558 ページ
42WC5	「マテリアライズド・ビューを即時に変更できません。マテリアライズド・ビューの定義に複数のクエリ・ブロックを含めることはできません。」 527 ページ
42WC6	「マテリアライズド・ビューを即時に変更できません。COUNT(*) が SELECT リストの一部に必要です。」 526 ページ
42WC7	「マテリアライズド・ビューを即時に変更できません。非集合の NULL 入力不可のカラムにユニークなインデックスがありません。」 528 ページ
42WC8	「依存する即時マテリアライズド・ビューのメンテナンスに失敗しました。」 427 ページ

SQLSTATE	メッセージ・テキスト
42WC9	「トランザクションで2つ目のスナップショットの起動を試みています。」 200 ページ
42WCA	「マテリアライズド・ビュー %1 を即時に変更できません。NULL 入力不可のカラムにユニークなインデックスがありません。」 525 ページ
42WCB	「マテリアライズド・ビューを即時に変更できません。マテリアライズド・ビューの定義に不正な構成体が含まれています。」 527 ページ
42WCC	「サービス文定義が無効であるか、サポートされていません。」 383 ページ
42WCD	「即時マテリアライズド・ビューの定義に NULL 入力可の式に対する SUM 関数を含めることはできません。」 337 ページ
42WD3	「テーブル '%1' を参照する即時ビューを作成するには、テーブルを所有している必要があります」 395 ページ
42Z00	「書き込みアクセスが拒否されました。」 559 ページ
44000	「ベース・テーブル '%1' の挿入/更新に対して WITH CHECK OPTION が違反しています。」 524 ページ
52002	「カラム '%1' が複数のテーブルで見つかりました。関連名が必要です。」 176 ページ
52003	「カラム '%1' が見つかりません。」 175 ページ
52004	「派生テーブル '%1' にはカラム %2 に対する名前がありません。」 342 ページ
52005	「テーブル '%2' にカラム '%1' がありません。」 195 ページ
52009	「プライマリ・キー・カラム '%1' はすでに定義されています。」 407 ページ
52010	「アイテム '%1' はすでに存在しています。」 273 ページ
52012	「'%1' は複数のテーブルで使用されています。」 358 ページ
52W02	「関連名 '%1' が見つかりません。」 239 ページ
52W03	「インデックス '%1' が見つかりません。」 169 ページ
52W04	「インデックス名 '%1' はユニークではありません。」 281 ページ
52W05	「テーブルに2つのプライマリ・キーを定義することはできません。」 510 ページ

SQLSTATE	メッセージ・テキスト
52W06	「テーブル '%2' の外部キー '%1' は、既存の外部キーと重複していません。」 310 ページ
52W07	「外部キー '%1' は見つかりません。」 324 ページ
52W08	「'%1' を '%2' にジョインするための方法が複数あります。」 460 ページ
52W09	「プロシージャ '%1' は見つかりません。」 410 ページ
52W10	「トリガ '%1' が見つかりません。」 519 ページ
52W11	「トリガの定義が既存のトリガと矛盾しています。」 519 ページ
52W12	「トリガ定義中の REFERENCES 句が無効です。」 313 ページ
52W13	「DB 領域 '%1' が見つかりません。」 253 ページ
52W14	「テーブル '%1' は外部ジョイン循環です。」 508 ページ
52W15	「テーブル '%1' にはユニークな相関名が必要です。」 505 ページ
52W16	「ユーザ・メッセージ %1 はすでに存在しています。」 533 ページ
52W17	「ユーザ・メッセージ %1 が見つかりません。」 532 ページ
52W18	「ユーザ定義データ型 '%1' が見つかりません。」 535 ページ
52W19	「テーブル '%1' の DB 領域が見つかりません。」 308 ページ
52W20	「テーブルのカラム数が多すぎます。」 511 ページ
52W21	「プロシージャまたはトリガ内では、データ定義文は使用できません。」 318 ページ
52W22	「ビューで、カラムのパーミッションを GRANT することはできません。」 315 ページ
52W23	「Transact-SQL の外部ジョインの WHERE 句の式が無効です。」 271 ページ
52W24	「Transact-SQL の外部ジョインで使用されるジョイン・タイプが無効です。」 271 ページ
52W25	「不正な比較です。」 347 ページ
52W26	「共有テンポラリ・テーブルに対して無効なコミット・アクションです。」 328 ページ

SQLSTATE	メッセージ・テキスト
52W40	「インデックス名 '%1' があいまいです。」 280 ページ
52W41	「接続しているテンポラリ・テーブルが多すぎます。」 560 ページ
52W42	「テーブル名 '%1' はあいまいです。」 513 ページ
52W43	「デフォルトの DB 領域 '%1' が見つかりません。」 311 ページ
53002	「INSERT 文に指定した値の数が正しくありません。」 468 ページ
53003	「'%1' に対する関数またはカラムの参照も GROUP BY 句に記述する必要があります。」 250 ページ
53005	「ORDER BY 句の指定が不正です。」 268 ページ
53011	「ビューに定義されるカラムの数が SELECT 文と一致しません。」 406 ページ
53017	「%1 を %2 に変換できません。データ・ファイルのロー %4 のカラム '%3' に不正な値が指定されています。」 149 ページ
53018	「値 %1 をデータ型 %2 に変換できません。」 243 ページ
53019	「プロシージャ '%1' からの戻り値のタイプ void はすべての式で使用できません。」 409 ページ
53023	「select リストの中にカラムが 2 つ以上指定されています。」 368 ページ
53026	「UNION、INTERSECT、または EXCEPT の select リストの長さが一致していません。」 371 ページ
53030	「外部キーのカラム '%1' にプライマリ・キーと異なる定義があります。」 223 ページ
53W01	「ALTER 句が矛盾しています。」 155 ページ
53W02	「式を更新できません。」 232 ページ
53W04	「'%1' を '%2' にジョインできません。」 461 ページ
53W05	「インデックスのカラムを変更することはできません。」 170 ページ
53W06	「トリガの定義で参照されているカラムは削除または名前の変更ができません。」 202 ページ
53W07	「RAISERROR のエラー番号 %1 は、17000 未満にしないでください。」 268 ページ

SQLSTATE	メッセージ・テキスト
53W08	「フォーマット文字列の引数番号 %1 が無効です。」 317 ページ
53W09	「WRITETEXT または READTEXT のカラムのデータ型が無効です。」 273 ページ
54003	「識別子 '%1' が長すぎます。」 331 ページ
54W01	「文のサイズまたは複雑度がサーバの制限を超えています。」 452 ページ
54W02	「データベースの制約が多すぎます。」 501 ページ
54W03	「データベースのページ・サイズが小さすぎます: %1」 304 ページ
54W04	「指定されたリスナを登録できませんでした。」 555 ページ
54W05	「テンポラリ領域の制限を超えています。」 516 ページ
54W06	「文字列が長すぎます (%1)。」 571 ページ
54W07	「パスワードは最低 %1 文字以上でなければなりません。」 403 ページ
54W08	「パスワードの長さは %1 文字以内です。」 402 ページ
54W09	「文字カラム、変数、または値のデータ型のサイズが 32767 を超えました。」 570 ページ
54W10	「データベースのユーザが多すぎます。」 501 ページ
54W11	「BLOB への参照が多すぎます。」 463 ページ
54W12	「オープン・カーソルが多すぎます」 481 ページ
54W13	「SELECT リストのカラムが多すぎます」 470 ページ
54W14	「GROUP BY リストの式が多すぎます」 467 ページ
54W15	「プロシージャ結果セットのカラムが多すぎます」 523 ページ
54W16	「MESSAGE ... FOR CONNECTION メッセージが多すぎます」 468 ページ
54W17	「最大文字列長を超えました。」 435 ページ
54W50	「仮想インデックスの作成に %1 を超えるカラム数が使用されています。」 539 ページ
54W51	「テーブルの再編成はすでにテーブル ¥"%1¥" で実行中です」 ページ



SQLSTATE	メッセージ・テキスト
54W52	「無効なドメイン '%1'」 351 ページ
55008	「テーブル '%1' にはプライマリ・キーが定義されていません。」 505 ページ
55013	「テーブルにはすでにプライマリ・キーが定義されています。」 510 ページ
55W02	「テーブルは空でなければなりません。」 511 ページ
55W03	「ランタイム・システムでは、テーブルを所有しているユーザを削除することはできません。」 217 ページ
55W04	「ランタイム・サーバでは、プロシージャを持つユーザを削除できません。」 217 ページ
55W05	「メッセージまたはデータ型を所有するユーザは削除できません。」 215 ページ
55W06	「レプリケーションでのオブジェクトを持つユーザを削除できません。」 218 ページ
55W07	「db_init が呼び出されていないか db_init の呼び出しに失敗しました。」 254 ページ
55W08	「読み込み専用データ・ベースに対しての修正は禁止されています。」 448 ページ
55W09	「トランザクションにエンリストされている場合は、コミットまたはロールバックできません。」 201 ページ
55W10	「トランザクションにすでにエンリストされている場合は、さらにトランザクションにエンリストすることはできません。」 201 ページ
55W11	「コミットされていないデータを保留にしたままで、トランザクションにエンリストすることはできません。」 185 ページ
55W12	「テキスト設定を所有しているユーザは削除できません。」 199 ページ
55W13	「ランタイム・サーバでは強力な暗号化方式のデータベース・ファイルはサポートされません。」 420 ページ
55W14	「閉じられたオブジェクトに対する操作は無効です。」 350 ページ
55W15	「サービス '%1' は使用中です。」 381 ページ
55W16	「オブジェクト '%1' を削除または変更できません。少なくとも 1 つのオブジェクト (%2 '%3') が依存しています。」 171 ページ

SQLSTATE	メッセージ・テキスト
55W17	「ビュー '%1' を使用できません。このビューは無効になっていません。」 210 ページ
55W18	「ビュー '%1' を使用できません。このビューは無効です。」 210 ページ
55W19	「不正なカラム定義: %1」 345 ページ
55W20	「このデータベースは暗号化されたテーブルをサポートしていません。」 490 ページ
55W21	「即時マテリアライズド・ビューの最後のユニーク・インデックスを削除できません。」 240 ページ
55W23	「スナップショット・アイソレーションが無効または保留になっていません。」 386 ページ
55W24	「トレースを再表示できません: 少なくとも 1 つの有効化されているトレース・レベルを指定する必要があります。」 205 ページ
55W25	「Transact-SQL 外部ジョインは現在無効になっています。」 471 ページ
55W26	「DB 領域 '%1' にテーブルまたはインデックスが含まれているため削除できません。」 464 ページ
55W27	「暗号化が有効になっていません。」 322 ページ
55W28	「トレーシングしたクエリ (%1、%2) は存在しません。」 520 ページ
55W29	「即時マテリアライズド・ビュー %1 が依存している複数のテーブルを更新できません。」 240 ページ
55W30	「TRUNCATE TABLE は許可されません: 初期化された即時マテリアライズド・ビュー %1 は %2 に依存しています」 472 ページ
55W31	「依存する即時マテリアライズド・ビューがあるテーブルでは、オペレーションは認められません。」 426 ページ
55W32	「WRITETEXT は許可されません: 即時マテリアライズド・ビュー %1 は %2 に依存しています」 479 ページ
55W33	「INSERT ... ON EXISTING UPDATE は許可されません: 即時マテリアライズド・ビュー %1 は %2 に依存しています」 260 ページ
55W34	「使用中の設定は変更できません」 229 ページ
56001	「テーブル '%1' には参照動作の外部キーが含まれています。」 506 ページ

SQLSTATE	メッセージ・テキスト
57014	「文の実行がユーザによって中断させられました。」 453 ページ
57015	「再帰反復が多すぎます。」 545 ページ
57W01	「タイムアウトになったため、要求が中断されました。」 389 ページ
57W02	「機能 '%1' の使用は許可されません。」 542 ページ
57W03	「要求された容量分 DB 領域 '%1' を拡張するのに十分な空き領域がデバイスにありません。」 456 ページ
57W04	「機能 '%2' を必要とする文 '%1' の使用は許可されません。」 542 ページ
57W05	「文がタイムアウトになりました : '%1'」 451 ページ
5RW01	「パブリケーション '%1' が見つかりません。」 404 ページ
5RW02	「テーブル '%1' はパブリケーションを持っています。」 507 ページ
5RW03	「'%2' の '%1' に対するサブスクリプションはすでに存在します。」 359 ページ
5RW04	「'%2' の '%1' に対するサブスクリプションが見つかりません。」 358 ページ
5RW05	「ユーザ '%1' はすでにこのデータベースのパブリッシャです。」 530 ページ
5RW06	「ユーザ '%1' はこのデータベースのリモート・ユーザではありません。」 529 ページ
5RW07	「リモート・メッセージ・タイプ '%1' が見つかりません。」 422 ページ
5RW08	「パススルー文は、現在のパススルーと一致しません。」 401 ページ
5RW09	「リモートの文が失敗しました。」 422 ページ
5RW10	「複数の統合ユーザを定義することはできません。」 450 ページ
5RW11	「同期メッセージ・タイプ '%1' が見つかりません。」 446 ページ
5RW12	「'%1' という名前の同期サブスクリプションが見つかりません。」 151 ページ
5RW13	「'%1' にサブスクリプションを作成できません。」 152 ページ
5RW14	「ALTER PUBLICATION を使用して同期エントリを変更できません。」 154 ページ
5RW15	「ALTER SYNCHRONIZATION を使用してパブリケーション・エントリを変更できません。」 155 ページ

SQLSTATE	メッセージ・テキスト
5RW16	「プライマリ・キーがないためテーブル '%1' と同期できません。」 212 ページ
5RW17	「同期処理ではテーブル '%1' にプライマリ・キーを含める必要があります。」 447 ページ
5RW18	「BLOB プライマリ・キーでテーブル '%1' に同期エントリを作成できません。」 158 ページ
5RW19	「パブリケーションで使用するテーブル '%1' のプライマリ・キーを更新できません。」 208 ページ
5RW21	「他の排他インスタンスが実行されているため、'%1' を登録できません。」 242 ページ
5RW22	「他の '%1' を排他アプリケーションとして登録できません。」 241 ページ
5RW23	「アプリケーションの cookie が無効なため接続を登録できません。」 169 ページ
5RW24	「cookie が無効なためアプリケーションの登録を取り消せません。」 159 ページ
5RW25	「アクティブな登録された接続があるため '%1' の登録を取り消せません。」 168 ページ
5RW26	「現在の接続はすでに '%1' に '%2' として登録されています。」 228 ページ
5RW27	「他の接続はすでに '%1' として登録されています。」 242 ページ
5RW28	「登録 cookie が足りないため '%1' を登録できません。」 244 ページ
5RW29	「自動ラベルが足りないため '%1' に接続を登録できません。」 231 ページ
5RW32	「同期オプション '%1' にセミコロン、等号、または中カッコが含まれているか、オプションが NULL です。」 442 ページ
5RW33	「同期オプション '%1' が見つかりません。」 442 ページ
5RW34	「同期オプションが長すぎます。」 443 ページ
5RW35	「テーブル '%1' が同期定義の一部です。」 503 ページ
5RW36	「テーブル '%1' はすでにインクルードされています。」 507 ページ
5RW37	「'%1' という名前の同期ユーザが見つかりません。」 151 ページ
5RW38	「パブリケーション・タイプで操作が競合しています。」 404 ページ
5RW39	「'%1' という名前の同期定義が見つかりません。」 152 ページ

SQLSTATE	メッセージ・テキスト
99999	「ユーザ定義の例外が通知されました。」 535 ページ
WB001	「不明なバックアップ操作です。」 569 ページ
WB002	「データベースのバックアップを起動できません。」 304 ページ
WB003	「トランザクションが終了していないため、トランザクション・ログの名前の変更はできません。」 313 ページ
WB004	「データベース・ファイルが削除できません。」 500 ページ
WB005	「トランザクション・ログはトランケートされました。」 518 ページ
WB006	「バックアップ・ファイルの内容が矛盾しています。」 207 ページ
WB007	「バックアップ・ファイルのフォーマットが無効です。」 207 ページ
WB008	「RESTORE によってファイル '%1' を開くことができません。」 367 ページ
WB009	「RESTORE によってファイル '%1' に書き込むことができません。」 367 ページ
WB010	「RESTORE によってデータベース '%1' を起動できません。」 366 ページ
WB011	「バックアップ・ログ '%1' が開けません。」 521 ページ
WB012	「バックアップ・ファイル '%1' はすでに存在します。」 207 ページ
WB013	「無効なバックアップ操作です。」 353 ページ
WB014	「BACKUP を実行しようとした接続には、コミットされていないトランザクションがあります。」 157 ページ
WB015	「無効なバックアップ・パラメータ値です。」 352 ページ
WB016	「BACKUP 句 '%1' が '%2' と競合します。」 158 ページ
WB017	「バックアップはデータベース・ファイル '%1' を開けません。」 208 ページ
WC001	「'%1' は認識できない文字セット・エンコード・ラベルです。」 579 ページ
WC002	「要求された文字セット '%1' とデータベース側文字セット '%2' 間の変換はできません。」 247 ページ
WC003	「%1 から %2 に変換するときに、無効なマルチバイトの入力文字が検出されました。」 147 ページ

SQLSTATE	メッセージ・テキスト
WC004	「指定した UTF-16 エンディアンは、データで見つかった Byte Order Mark に一致しません」 557 ページ
WC005	「%1 から %2 に変換する場合は文字の置換が必要です。」 148 ページ
WC007	「シングルバイト・コンバータの利用時には、文字変換のエラーまたは警告レポートは使用できません。」 185 ページ
WC008	「要求された文字セット '%1' と '%2' 間の変換はできません。」 247 ページ
WC009	「'%1' は、照合 '%2' で使用するのに有効な文字セット・エンコードではありません。」 576 ページ
WC010	「'%1' は、NCHAR 照合として使用できません。UCA と UTF8BIN のみを使用できます。」 575 ページ
WC011	「文字セット '%1' から '%2' への変換が失敗しました。」 349 ページ
WC012	「dbicu ライブラリが必要ですが、インストールされていません。」 254 ページ
WC013	「照合 '%1' はこのプラットフォームではサポートされていません。」 233 ページ
WC014	「dbicu ライブラリとサーバのバージョンが一致しません。」 465 ページ
WC015	「データベース ¥"%1¥" を開始できません。このプラットフォームでは、CHAR 照合または適合化がサポートされていません。」 ページ
WC016	「データベース ¥"%1¥" を開始できません。このプラットフォームでは、NCHAR 照合または適合化がサポートされていません。」 ページ
WC017	「'%1' を '%2' データのエンコード指定として使用することはできません。」 580 ページ
WE001	「イベント '%1' が見つかりません。」 274 ページ
WE002	「イベント '%1' がすでに存在します。」 274 ページ
WE003	「イベント '%2' に対するスケジュール '%1' が見つかりません。」 372 ページ
WE004	「イベント '%2' に対するスケジュール '%1' はすでに存在します。」 373 ページ
WE005	「イベント '%2' の曜日または月 '%1' が無効です。」 276 ページ
WE006	「イベント '%2' の時刻 '%1' が無効です。」 276 ページ
WE007	「イベント '%1' の開始日時が無効です。」 275 ページ

SQLSTATE	メッセージ・テキスト
WE008	「システムのイベント・タイプ '%1' が見つかりません。」 385 ページ
WE009	「イベント '%1' は使用中です。」 275 ページ
WE010	「繰り返されないイベント '%1' の開始日時が過去に設定されています。」 430 ページ
WE011	「イベント通知キュー '%1' が満杯なため、通知は破棄されました」 278 ページ
WE012	「キュー '%1' でイベント通知が失われました」 287 ページ
WE013	「イベント通知キュー '%1' に警告は見つかりません」 279 ページ
WE014	「イベント通知キュー '%1' が見つかりません」 278 ページ
WE015	「イベント・オブジェクト名 '%1' は無効です」 277 ページ
WE016	「'%1' という名前のイベント・オブジェクトはすでに存在します」 249 ページ
WE017	「タイムアウトするまでに、キュー '%1' で通知がありませんでした」 389 ページ
WE018	「イベント・パラメータ '%1' が見つかりません」 277 ページ
WI002	「テーブル %1、インデックス %2 のインデックスの検証は次のコードで失敗しました :%3」 307 ページ
WI003	「データベース・ページの検証は次のコードで失敗しました :%1」 301 ページ
WI004	「内部ロールバック・ログが破損しています。」 340 ページ
WI005	「テーブル '%2' に対するインデックス '%1' を見つけることができません。」 508 ページ
WI009	「クラス '%1' を使用して Java オブジェクトをシリアル化できません。」 183 ページ
WI010	「オプティマイザは有効なアクセス・プランを構成できませんでした。」 483 ページ
WI011	「必要な演算子が含まれていません。」 449 ページ
WJ001	「メソッド '%1' は現時点では呼び出せません。」 418 ページ
WJ002	「パラメータが出力パラメータとして登録されていません。」 406 ページ
WJ003	「指定されたトランザクションの独立性が不正です。」 555 ページ

SQLSTATE	メッセージ・テキスト
WJ004	「カーソル名 '%1' はすでに存在します。」 484 ページ
WJ005	「入力パラメータ・インデックスが範囲外です。」 341 ページ
WJ006	「戻り値が設定できません。」 455 ページ
WJ007	「JDBC 機能 '%1' はサポートされません。」 263 ページ
WJ008	「開いている準備文または呼び出し可能な文を変更できませんでした。」 223 ページ
WJ009	「'%1' で内部エラーが発生しました。」 150 ページ
WJ010	「閉じられた '%1' に対する操作は無効です。」 349 ページ
WJ011	「クラスを通してインスタンス・メンバにアクセスできません。」 183 ページ
WJ012	「¥"final¥" 変更子で修飾されるメンバ・フィールドを更新できません。」 ページ
WJ013	「'%1' で内部エラーが発生しました。」 150 ページ
WJ014	「閉じられた '%1' に対する操作は無効です。」 350 ページ
WJ015	「JDBC SAStatement バッチ実行は中止されました。」 263 ページ
WJ016	「JDBC SAResultSet で引数に 0 を指定して absolute メソッドを実行しようとしてしました。」 361 ページ
WJ017	「不正な JDBC 結果セット・タイプです。」 344 ページ
WJ018	「不正な JDBC 結果セットの同時実行性です。」 344 ページ
WJ019	「挿入ローにある場合、JDBC 結果セット上の '%1' 関数を呼び出せません。」 238 ページ
WJ020	「'%1' 関数を使用するには、JDBC 結果セットは挿入ロー上にある必要があります。」 461 ページ
WJ021	「現在の JDBC 結果セット内のテーブル '%1' のカラム '%2' を一意に識別できません。」 227 ページ
WJ022	「データベースは Java 仮想マシンをサポートしていません。」 502 ページ
WJ023	「'%1' はパブリック Java クラスでないため、SQL から参照できません。」 576 ページ



SQLSTATE	メッセージ・テキスト
WJ024	「'%1' はパブリック Java 参照でないため、SQL から参照できません。」 577 ページ
WJ025	「JDK '%1' はサポートされている JDK ではありません。」 264 ページ
WJ026	「'%1' の JDK バージョンは '%2' と一致していません。」 459 ページ
WJ027	「Java SecurityManager クラスがありません : %1」 261 ページ
WJ028	「Java SecurityManager をロードしているときに例外が発生しました。」 262 ページ
WJ029	「この Java 関連コマンドを実行するにはデータベースを再起動する必要があります。」 488 ページ
WJ030	「外部環境 '%1' が見つかりませんでした。」 326 ページ
WJ031	「外部環境は結果セットをサポートしていません。」 326 ページ
WL001	「'%1' は既知のファイル形式でないため、テーブルをロードまたはアンロードできません。」 577 ページ
WL002	「ファイル '%1' にアクセスできません -- %2」 211 ページ
WL004	「UNLOAD TABLE は、ビューのアンロードには使用できません。」 475 ページ
WL005	「トランザクションをエンリストできません。DTC がダウンしている可能性があります。」 518 ページ
WL006	「トランザクションを再エンリストできません。DTC がダウンしている可能性があります。」 519 ページ
WL007	「テンポラリ・テーブル上では LOAD TABLE を ON COMMIT DELETE ROWS と併用できません。」 399 ページ
WL008	「ミラーリングされたデータベースで LOAD TABLE は許可されていません。」 417 ページ
WL009	「別のテーブルからの外部キー参照があるテンポラリ・テーブルには、LOAD TABLE は使用できません。」 454 ページ
WL010	「指定したロギング・タイプ ('%1') は無効か、サポートされていないか、または互換性がありません。」 558 ページ
WL011	「テーブル '%1' のカーソルを閉じることができません。LOAD TABLE は実行できません。」 ページ

SQLSTATE	メッセージ・テキスト
WL012	「圧縮または暗号化の使用中は付加できません」 221 ページ
WL013	「LOAD TABLE エラー : %1」 362 ページ
WL014	「マテリアライズド・ビュー %1 では、LOAD TABLE は許可されません」 415 ページ
WL015	「LOAD TABLE は許可されません : 初期化された即時マテリアライズド・ビュー %1 は %2 に依存しています」 362 ページ
WO001	「サーバ '%1' に接続できません : %2」 493 ページ
WO002	「接続できません。サーバ定義が循環しています。」 561 ページ
WO003	「リモート・サーバ '%1' は現在読み込み専用に設定されています。」 421 ページ
WO004	「リモート・サーバ '%1' が見つかりませんでした。」 420 ページ
WO005	「サーバ '%1': %2」 379 ページ
WO006	「後方スクロール・カーソルはリモート・オブジェクトではサポートされません。」 229 ページ
WO007	「リモート・テーブル '%1' が見つかりませんでした。」 537 ページ
WO008	「テーブル '%1' のカラム情報にアクセスできませんでした。」 194 ページ
WO010	「%1」 573 ページ
WO011	「リモート・サーバはオートインクリメントするデータ型をサポートしていません。」 536 ページ
WO012	「リモート・サーバにはこの文をサポートする機能がありません。」 421 ページ
WO013	「サーバ '%1' の外部ログインが見つかりませんでした。」 291 ページ
WO014	「サーバ機能名 '%1' がデータベース内に見つかりませんでした。」 380 ページ
WO015	「カラム '%1' に指定されたデータ型は、実際のデータ型と互換性がありません。」 484 ページ
WO016	「カラム '%1' はリモート・テーブルに存在しません。」 486 ページ
WO017	「カラム '%1' に指定された長さは実際の長さとは異なります。」 485 ページ
WO018	「NULL 属性はカラム '%1' に適合しません。」 364 ページ

SQLSTATE	メッセージ・テキスト
WO019	「Identity 属性はカラム '%1' に適合しません。」 259 ページ
WO020	「テーブル仕様 '%1' が複数のリモート・テーブルを指定していません。」 512 ページ
WO021	「計算カラムを使用したリモート・テーブルの作成はサポートされていません。」 227 ページ
WO022	「カラム '%1' のデータ型はサポートされていません。」 485 ページ
WO023	「ストアド・プロシージャ内のリモート・テーブルに関わる式を処理できません。」 188 ページ
WO024	「指定されたローカル接続 ID が見つかりません。」 438 ページ
WO025	「ローカル接続 ID は現在のデータベースを参照していません。」 423 ページ
WO026	「現在の接続ではないリモート JDBC 接続は閉じることができません。」 228 ページ
WO027	「ファイル・システム・エラー : '%1'」 316 ページ
WO028	「このユーザには外部ログインが存在するため、削除できません。」 492 ページ
WP000	「プロシージャ '%2' の引数 %1 に NULL は指定できません。」 212 ページ
WP001	「プロシージャ '%1' は処理されない例外 '%2' で終了しました。」 410 ページ
WP002	「'%1' は有効なクラス・ファイルではありません。」 579 ページ
WP003	「クラス '%1' を JAR から圧縮解除できませんでした。」 182 ページ
WP004	「クラス '%1' を削除できません : JAR のメンバです。」 182 ページ
WP005	「クラスのバイト・コードが不正です。」 288 ページ
WP006	「'%1' が見つからないため、外部環境を起動できませんでした。」 249 ページ
WP007	「内部関数でネーム・スペースのヒープが足りなくなりました : %1」 448 ページ
WP008	「内部関数で Java VM のヒープが足りなくなりました : %1」 341 ページ
WP009	「%1 のリソース・ガバナーが制限を超えています。」 355 ページ
WP010	「不正な JAR ファイルです。」 343 ページ

SQLSTATE	メッセージ・テキスト
WP011	「前回のエラーが RESIGNAL の前になくなりました。」 441 ページ
WP012	「%1 から返された結果セットのスキーマは予期されているものと異なります。」 574 ページ
WP013	「%1 から複数の結果セットが返されました。」 574 ページ
WP014	「%1 から結果セットが返されません。」 573 ページ
WP015	「Java 仮想マシンを起動するにはキャッシュが不足しています。」 262 ページ
WP016	「SELECT INTO を最適化しているときに検出された警告はエラーとして処理されます。」 469 ページ
WT001	「引数 ¥"%1¥" はカラム参照である必要があります。」 ページ
WT002	「すべてのカラム参照引数は、同じテーブルを参照しなければなりません。」 189 ページ
WT003	「一致するテキスト・インデックスがありません。」 427 ページ
WT004	「テキスト・クエリ文字列が定数ではないか、不明です。」 398 ページ
WT005	「テキスト設定 ¥"%1¥".¥"%2¥" が見つかりません。」 ページ
WT006	「テキスト設定 ¥"%1¥" はすでに存在します。」 ページ
WT007	「単語の長さが許容範囲を超えています。」 564 ページ
WT008	「照合が無効です: ¥"%1¥"」 ページ
WT009	「テキスト・クエリ・パーサ・エラー: %1」 514 ページ
WT010	「テーブル '%2' のテキスト・インデックス '%1' を作成するときにエラーが発生しました。」 309 ページ
WT011	「このデータベースでは、テキスト・インデックスはサポートされていません。」 489 ページ
WT012	「テキスト・インデックスにより参照されているテキスト設定を変更または削除することはできません。」 197 ページ
WT013	「テキスト・インデックスの一部であるテーブルにはアクセスできません。」 198 ページ
WT014	「テキスト設定 '%1' を作成できません。オプション '%2' に不適切な設定があります。」 198 ページ

SQLSTATE	メッセージ・テキスト
WT015	「IMMEDIATE REFRESH テキスト・インデックスにはコマンドを使用できません。」 162 ページ
WT016	「テキスト・クエリで、NEAR 演算子の使用が無効です。」 310 ページ
WT017	「このプロシージャに対する引数はリテラル文字列である必要があります。」 491 ページ
WT018	「指定したストップリストが長すぎます。」 557 ページ
WT019	「テキスト・インデックス %1 を再表示する必要があります。」 513 ページ
WT020	「ビューまたは派生テーブル '%1' では、CONTAINS クエリは許可されません。」 211 ページ
WT021	「¥"%1¥と同じ設定でこのテーブルに新しいテキストを作成できませんでした。」 ページ
WW001	「パターンが長すぎます。」 521 ページ
WW002	「データベース・サーバを停止できません。」 193 ページ
WW003	「データベース・サーバ外の関数呼び出しはサポートされていません。」 193 ページ
WW004	「外部関数のプラットフォーム指定子と、現在のオペレーティング・システムが一致しません。」 429 ページ
WW005	「ダイナミック・ライブラリ名が必要です。」 388 ページ
WW006	「ダイナミック・ライブラリ '%1' をロードできませんでした。」 190 ページ
WW007	「ダイナミック・ライブラリ '%2' に '%1' が見つかりませんでした。」 190 ページ
WW008	「外部関数の呼び出しのためのリソースを割り付けられませんでした。」 224 ページ
WW009	「式にサポートされていないデータ型があります。」 331 ページ
WW010	「この外部プロシージャの呼び出しには、パラメータ数が多すぎます。」 492 ページ
WW011	「内部用のスレッドが起動できませんでした。」 244 ページ
WW012	「RAISERROR が実行されました : %1」 365 ページ
WW013	「クラス '%1' はパブリックなフィールド '%2' がありません。」 181 ページ

SQLSTATE	メッセージ・テキスト
WW014	「フィールドに対して不正な型を参照しました。」 317 ページ
WW015	「クラス '%2' のフィールド '%1' は NULL になることはできません。」 288 ページ
WW016	「'%1' のインデックスの型の指定は不正です。」 250 ページ
WW017	「データベース '%1' の削除に失敗しました。」 192 ページ
WW018	「Java オブジェクトをデシリアライズできません。」 163 ページ
WW019	「プリフェッチの間にデッドロックされたためロールバックが発生しました。」 408 ページ
WW020	「行 %1 に無効な要求ログ・フォーマットがあります。」 328 ページ
WW022	「Java クラス '%1' にインデックスを作成できません。」 164 ページ
WW023	「計算カラム '%1' を挿入または更新できません。」 226 ページ
WW024	「通信環境を作成できませんでした。」 565 ページ
WW025	「テスト・ハーネスによって内部エラーが発生しました。」 199 ページ
WW026	「外部関数呼び出しに互換性がありません。」 540 ページ
WW027	「dbmlsync ダウンロード・フェーズでの競合が検出されました。」 161 ページ
WW028	「指定された DB 領域の少なくとも 1 つが調整されていませんでした。」 230 ページ
WW029	「ワークロード・キャプチャ (%1) はすでに進行中です。」 220 ページ
WW030	「ワークロード・キャプチャは現在行われていません。」 425 ページ
WW031	「スキーマ・ファイル '%1' にアクセスできません。」 186 ページ
WW032	「最後の同期アップロードのステータスは不明です。」 545 ページ
WW033	「スキーマのアップグレードは現在有効ではありません。」 186 ページ
WW034	「データベース '%1' が見つかりませんでした。」 497 ページ
WW035	「この接続はすでに存在します。」 492 ページ
WW036	「同期の情報が不完全か無効です。 '%1' を確認してください。」 340 ページ

SQLSTATE	メッセージ・テキスト
WW037	「圧縮エラー:%1」 220 ページ
WW038	「解凍エラー:%1」 323 ページ
WW039	「入力文字列は base64 でエンコードされていません。」 342 ページ
WW040	「Ultra Light の接続がリストアされました。」 475 ページ
WW041	「Ultra Light のカーソル (あるいは結果セットまたはテーブル) がリストアされました。」 474 ページ
WW042	「チェックサムがこのデータベースで有効にされていません。」 191 ページ
WW043	「'%1' のファイル I/O に失敗しました。」 251 ページ
WW044	「'%1' のボリューム ID が不正です。」 251 ページ
WW045	「操作が失敗しました。カラム '%1' のタイプがストリーミングをサポートしていません。」 563 ページ
WW046	「スクリプト・ファイルの行の区切りに文デリミタ ¥"go¥" がありません」 ページ
WW047	「出力ファイルのディレクトリが存在しません。」 333 ページ
WW048	「出力ファイルを書き込めません。」 440 ページ
WW049	「URI '%1' が無効です。」 476 ページ
WW050	「'%1' で指定されたリモート・ホストに接続できません。」 457 ページ
WW051	「接続がタイムアウトしました。」 236 ページ
WW052	「HTTP 要求に失敗しました。ステータス・コード '%1'」 258 ページ
WW053	「暗号化 DLL を初期化できませんでした:%1」 222 ページ
WW055	「プロシージャ・タイプ '%1' が無効です。」 318 ページ
WW056	「タイプ '%2' のプロシージャ・サブタイプ '%1' が無効です。」 295 ページ
WW057	「HTTP サーバからの応答が無効です。」 257 ページ
WW058	「プロシージャ・タイプ '%1' の NAMESPACE 属性が無効です。」 412 ページ
WW059	「リモート・ホストへの安全な接続に失敗しました:%1」 538 ページ
WW060	「句 '%1' に無効な属性 '%2' があります。」 225 ページ

SQLSTATE	メッセージ・テキスト
WW061	「データベースが作成されました。」 500 ページ
WW062	「オプション '%1' が認識されません。」 481 ページ
WW063	「安全な HTTP 接続はこのプラットフォームではサポートされていません。」 426 ページ
WW064	「プロシージャ・タイプ '%2' の '%1' 属性が無効です。」 522 ページ
WW065	「ローカル・テンポラリとして宣言されたテーブルにコメントを追加できません。」 219 ページ
WW066	「トレースを再表示できません: sa_diagnostic_tracing_level ロー %1 に無効なトレース指定があります。」 203 ページ
WW067	「トレースを再表示できません: ロー %2 でオブジェクト %1 の検出に失敗しました。」 203 ページ
WW068	「トレースを再表示できません: ロー %2 に指定されている %1 を収集するには、volatile_statistics を収集する必要があります。」 204 ページ
WW069	「ATTACH TRACING TO LOCAL DATABASE は、強力な暗号化が施されているデータベースでは使用できません。」 156 ページ
WW070	「HTTP ヘッダ '%1' は予約されてるため変更できません。」 467 ページ
WW071	「指定した HTTP ヘッダに不正な文字または非 ASCII 文字が含まれていません。」 556 ページ
WW072	「指定した HTTP ヘッダは不正です。」 556 ページ
WW073	「カラム '%1' は、それを含んでいるテーブルのどのインデックスにも属していません。」 176 ページ
WW074	「ダウンロードをリトライできません。アップロードが完了していません。」 496 ページ
WW075	「部分ダウンロードが見つかりませんでした。」 450 ページ
WW077	「オペレーションに指定されているパブリケーションが多すぎます」 483 ページ
WW078	「デバイス上のファイルシステムにアクセスできません。」 515 ページ
WW079	「このデータベースはキー不使用の暗号化を使用するため、要求された操作を実行できません。」 490 ページ



SQLSTATE	メッセージ・テキスト
WW080	「同期処理に戻ることができませんでした。」 447 ページ
WW081	「同期の情報が指定されていません。」 339 ページ
WW082	「データベース '%1' に対して指定したファイルシステム・ボリュームが見つかりません。」 390 ページ
WW083	「ローがデータベースのページ・サイズを超えているため、ローを格納できません。」 218 ページ
WW084	「最大パラメータ数 '%1' を超えました。」 330 ページ
WW085	「MIME タイプ '%1' が不正です。」 265 ページ
WW086	「'%1' 属性の '%2' 内でカッコが対応していません。」 462 ページ
WW087	「'%1' 属性の '%2' 内でカンマが見つかりません。」 462 ページ
WW088	「属性 '%1' で、'%3' と互換性のないオプション '%2' が設定されています。」 563 ページ
WW089	「テーブル '%1' の最大ロー・サイズを超過します。」 394 ページ
WW090	「ミラー '%1' がデータベース '%2' と一致しません。」 528 ページ
WW091	「SQL スクリプト DLL をロードできません。」 470 ページ
WW092	「クライアント・アプリケーションでは、データの転送は許可されていません (%1)」 178 ページ
WW093	「クライアント・アプリケーションで、データの転送が許可されませんでした (%1)」 178 ページ
WW094	「クライアント・ライブラリで、転送中のデータにアクセスする際にエラーが発生したことが報告されました (%1)」 180 ページ
WW095	「トランザクション・ログ・ミラーリングは、データベース・ミラーリングで使用できません」 517 ページ
WW096	「オプション・ウォッチ・リストに含まれているため、データベース・オプション ¥"%1¥" を設定できません」 ページ
WW097	「ログイン・ポリシー '%1' はすでに存在します」 423 ページ
WW098	「ログイン・ポリシー ¥"%1¥" が見つかりません」 ページ

SQLSTATE	メッセージ・テキスト
WW099	「このデータベースでは、ログイン・ポリシーはサポートされていません。」 377 ページ
WW100	「ログイン・ポリシー '%1%' は使用中です」 ページ
WW101	「ユーザ '%1' はすでに存在します」 531 ページ
WW102	「クライアント・ライブラリで、転送中のオブジェクト ('%1') を開く際にエラーが発生したことが報告されました」 180 ページ
WW103	「クライアント・ライブラリで、転送中のオブジェクト ('%1') にアクセスする際にパーミッション・エラーが発生したことが報告されました」 179 ページ
WW104	「このデータベースでは、外部環境はサポートされていません。」 289 ページ
WW108	「外部ライブラリ '%1' は使用中です」 325 ページ
WW109	「外部ライブラリ '%1' をロードできませんでした」 325 ページ
WW112	「パススルー SQL スクリプトに失敗しました」 400 ページ
WW114	「Ultra Light データベース・ステータスがリストアされました。」 474 ページ
WW115	「破損したページ (ページ '%1') の読み込みをリトライしています。」 449 ページ
WW116	「ミラー・ファイルには、これより高い checksum_level が必要です。」 417 ページ
WW118	「データベース '%1' の暗号化に失敗しました」 191 ページ
WW119	「データベース '%1' の復号化に失敗しました」 192 ページ
WW120	「ミラーリングされたデータベースに対して '%1' 文を使用することはできません。」 581 ページ
WW229	「パラメータ '%1' に NULL は指定できません」 405 ページ
WW230	「操作は許可されていません」 442 ページ
WW231	「操作 '%1' は次の理由で失敗しました : '%2'」 441 ページ
WW232	「'%1' の変換中にアンダーフローが発生しました」 459 ページ
WW234	「自動データベース・アップグレードが適用されました」 231 ページ
WX001	「カラム名は %1 でなければなりません。」 177 ページ

SQLSTATE	メッセージ・テキスト
WX002	「XML パーサ・エラー : %1」 479 ページ
WX003	「XPath パーサ・エラー : %1」 480 ページ
WX004	「OPENXML に渡されたフラグ値は不正です。」 267 ページ
WX005	「不正な FOR XML EXPLICIT タグ値 : %1」 343 ページ
WX006	「不明な FOR XML EXPLICIT ディレクティブ : %1」 569 ページ
WX007	「不正なカラム名 : %1」 345 ページ
WX008	「親が開いていません : %1」 440 ページ
WX009	「宣言されていないタグ ID : %1」 562 ページ
WX010	「カラム数が少なすぎます。」 486 ページ
WX011	「CDATA に名前が必要です。」 159 ページ
WX012	「XQuery コンストラクタが無効です。」 273 ページ
WX013	「XMLGEN 評価が失敗しました。」 480 ページ
WX014	「引数の名前がありません。」 428 ページ
WX015	「XML 出力に制御文字があります。」 167 ページ
WX016	「OPENXML クエリのメモリが足りません。」 266 ページ

## SQL Anywhere のエラー・メッセージ (Sybase エラー・コード順)

Sybase エラー・コード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージ・テキスト
0	-631	「RAISERROR が実行されました : %1」 365 ページ
102	-171	「カーソルのオープンがエラーになりました。」 286 ページ
102	-199	「カーソルの INSERT/DELETE は、1つのテーブルしか変更できません。」 285 ページ
102	-933	「IQ データベースにはログが必要です。」 162 ページ
102	-275	「ランタイム・サーバではトリガおよびプロシージャはサポートされません。」 536 ページ
102	-273	「トリガ・アクション内での COMMIT/ROLLBACK は許可されません。」 202 ページ
102	-131	「'%1' %2 の近くに構文エラーがあります。」 355 ページ
102	-687	「構文エラーです。IQ 指定オプションを指定するには IQ PATH が必要です。」 432 ページ
102	-875	「'%1' にジョインする方法がありません。」 458 ページ
102	-145	「外部キー '%1' は見つかりません。」 324 ページ
102	-271	「トリガの定義が既存のトリガと矛盾しています。」 519 ページ
102	-272	「トリガ定義中の REFERENCES 句が無効です。」 313 ページ
102	-635	「ビューで、カラムのパーミッションを GRANT することはできません。」 315 ページ
102	-151	「select リストの中にカラムが2つ以上指定されています。」 368 ページ
102	-269	「トリガの定義で参照されているカラムは削除または名前の変更ができません。」 202 ページ
103	-250	「識別子 '%1' が長すぎます。」 331 ページ

Sybase エラー・コード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージ・テキスト
104	-854	「ORDER BY 句で使用されている、'%1' に対する関数またはカラムの参照は不正です。」 267 ページ
108	-152	「ORDER BY 句の指定が不正です。」 268 ページ
133	-262	「ラベル '%1' は見つかりません。」 419 ページ
134	-261	「'%1' という変数はすでに存在します。」 458 ページ
137	-260	「変数 '%1' が見つかりません。」 571 ページ
154	-623	「プロシージャまたはトリガ内では、データ定義文は使用できません。」 318 ページ
155	-200	「オプション '%1' が無効です -- PUBLIC 設定がありません。」 284 ページ
174	-154	「関数 '%1' のパラメータ数が誤りです。」 540 ページ
176	-611	「Transact-SQL 機能がサポートされていません。」 472 ページ
176	-148	「関数 '%1' はありません。」 541 ページ
182	-159	「カラム番号が無効です。」 286 ページ
201	-639	「プロシージャ '%1' の呼び出しに必要なパラメータ名がありません。」 409 ページ
201	-615	「プロシージャ '%2' にパラメータ '%1' がありません。」 411 ページ
201	-737	「シグニチャ '%1' はプロシージャのパラメータと一致しません。」 384 ページ
205	-153	「UNION、INTERSECT、または EXCEPT の select リストの長さが一致していません。」 371 ページ
207	-124	「テーブル '%1' から定義されているよりも多いカラムを削除しようとしています。」 392 ページ
207	-143	「カラム '%1' が見つかりません。」 175 ページ
208	-142	「関連名 '%1' が見つかりません。」 239 ページ

Sybase エラー・コード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージ・テキスト
209	-144	「カラム '%1' が複数のテーブルで見つかりました。相関名が必要です。」 176 ページ
209	-163	「派生テーブル '%1' にはカラム %2 に対する名前がありません。」 342 ページ
213	-207	「INSERT 文に指定した値の数が正しくありません。」 468 ページ
217	-274	「プロシージャまたはトリガの呼び出しのネストが深すぎます。」 414 ページ
220	-158	「値 %1 は、対象先にとって大きすぎます。」 564 ページ
230	-191	「テーブル '%2' のカラム '%1' を変更できません。」 197 ページ
230	-190	「式を更新できません。」 232 ページ
233	-195	「テーブル '%2' のカラム '%1' を NULL にすることはできません。」 196 ページ
233	-733	「NULL を許可するカラムの数が制限を超えています。」 364 ページ
257	-157	「値 %1 をデータ型 %2 に変換できません。」 243 ページ
257	-705	「プロシージャ '%1' からの戻り値のタイプ void はすべての式で使用できません。」 409 ページ
262	-121	「パーミッションがありません : %1」 399 ページ
264	-637	「挿入したカラムが重複しています。」 336 ページ
285	-708	「READTEXT 文や WRITETEXT 文はビューを参照できません。」 365 ページ
301	-147	「'%1' を '%2' にジョインするための方法が複数あります。」 460 ページ
301	-680	「Transact-SQL の外部ジョインの WHERE 句の式が無効です。」 271 ページ
301	-146	「'%1' を '%2' にジョインできません。」 461 ページ

Sybase エラー・コード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージ・テキスト
305	-681	「Transact-SQL の外部ジョインで使用されるジョイン・タイプが無効です。」 271 ページ
311	-295	「カーソルでローをユニークに識別できません。」 174 ページ
314	-122	「この操作はグループ循環を起こします。」 378 ページ
315	-136	「テーブル '%1' は外部ジョイン循環です。」 508 ページ
315	-137	「テーブル '%1' にはユニークな相関名が必要です。」 505 ページ
401	-134	「'%1' の機能は実装されていません。」 252 ページ
401	-135	「言語仕様が変更されました。」 431 ページ
401	-156	「'%1' 付近に無効な式があります。」 252 ページ
401	-994	「関数またはプロシージャ '%1' に引数が多すぎます。」 541 ページ
404	-890	「文のサイズまたは複雑度がサーバの制限を超えています。」 452 ページ
409	109	「集合関数では、NULL 値は無視されます。」 439 ページ
409	-90	「プロシージャ '%2' の引数 %1 に NULL は指定できません。」 212 ページ
504	-265	「プロシージャ '%1' は見つかりません。」 410 ページ
509	-140	「'%1' というユーザ ID はありません。」 457 ページ
512	-186	「サブクエリは複数行を返すことはできません。」 384 ページ
518	103	「不正なデータ変換」 346 ページ
532	104	「最後に読み込まれた後で、ローは更新されていません。」 434 ページ
532	106	「テーブル '%2' のカラム '%1' の値が変更されています。」 509 ページ
538	-627	「行 %2 の '%1' の付近に、言語の使用できない拡張機能が検出されました。」 329 ページ

Sybase エラー・コード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージ・テキスト
546	-194	「テーブル '%2' の外部キー '%1' に対応するプライマリ・キーの値がありません。」 396 ページ
547	-198	「テーブル '%1' 内のローのプライマリ・キーがテーブル '%3' 内の外部キー '%2' によって参照されています。」 395 ページ
547	-677	「テーブル '%1' には参照動作の外部キーが含まれていません。」 506 ページ
548	-196	「テーブル '%2' のインデックス '%1' はユニークでなければなりません。」 309 ページ
548	-209	「制約 '%1' の違反です: テーブル '%3' のカラム '%2' の値が無効です。」 235 ページ
548	-1091	「制約 '%1' の違反です: テーブル '%2' の値が無効です。」 234 ページ
549	-729	「指定された外部キー (%1) は使用できません。」 555 ページ
550	-632	「ベース・テーブル '%1' の挿入/更新に対して WITH CHECK OPTION が違反しています。」 524 ページ
553	-264	「FETCH 文の中の変数の数が正しくありません。」 466 ページ
554	-208	「最後に読み込まれた後で、ローは更新されています。操作はキャンセルされました。」 434 ページ
557	-853	「カーソルが有効な状態にありません。」 173 ページ
557	-170	「カーソルが宣言されていません。」 173 ページ
558	-172	「カーソルはすでに開いています。」 175 ページ
559	-180	「カーソルが開きません。」 172 ページ
560	100	「ローが見つかりません。」 423 ページ
560	-197	「カーソルの現在のローがありません。」 375 ページ
573	-738	「パスワードは最低 %1 文字以上でなければなりません。」 403 ページ
590	111	「文を実行することができませんでした。」 454 ページ



Sybase エラー・コード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージ・テキスト
601	-642	「SQL 記述子名が正しくありません。」 270 ページ
708	-80	「データベース・サーバを起動することができません。」 498 ページ
708	-86	「起動するのに必要なメモリが不足しています。」 430 ページ
708	-1179	「データベース・サーバを起動できません:ライセンス・ファイルがありません」 499 ページ
709	-996	「指定されたローカル接続 ID が見つかりません。」 438 ページ
710	-997	「ローカル接続 ID は現在のデータベースを参照していません。」 423 ページ
711	-998	「現在の接続ではないリモート JDBC 接続は閉じることができません。」 228 ページ
840	-82	「指定されたデータベースを起動できません: %1」 553 ページ
840	-87	「サーバを起動するには、データベース名が必要です。」 292 ページ
840	-1008	「指定されたデータベースを開始できません。'%1' は無効なトランザクション・ログ・ミラーです。」 547 ページ
840	-1009	「指定されたデータベースを開始できません。トランザクション・ログ '%1' または、そのミラー '%2' は無効です。」 549 ページ
840	-1010	「指定されたデータベースを開始できません。トランザクション・ログで、'%1' は操作を予期していません。」 550 ページ
840	-1011	「指定されたデータベースを開始できません。不明な暗号化アルゴリズムです。」 552 ページ
840	-1012	「指定されたデータベースを開始できません。このサーバで開始するには、'%1' をアップグレードする必要があります (機能 %2 がありません)。」 549 ページ

Sybase エラー・コード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージ・テキスト
840	-1016	「指定されたデータベースを開始できません。ログファイル '%1' を使用できません。これはログ・ファイルがデータベース・ファイルよりも後に使用されているためです。」 552 ページ
840	-1017	「指定されたデータベースを開始できません。'%1': トランザクション・ログ・ファイルが見つかりません」 548 ページ
840	-1018	「指定されたデータベースを開始できません。ログ・ファイル '%1' を使用できません。これはオフセットがデータベースのオフセットと一致しないためです。」 551 ページ
840	-1019	「指定されたデータベースを開始できません。ログ・ファイル '%1' を使用できません。これはデータベース・ファイルがログ・ファイルよりも後に使用されているためです。」 551 ページ
840	-1020	「指定されたデータベースを開始できません。ログ・ファイル '%1' を使用できません。これは、予想された長さよりも短いためです。」 550 ページ
840	-1004	「指定されたデータベースを開始できません。'%1' はデータベースではありません。」 546 ページ
840	-1005	「指定されたデータベースを開始できません。'%1' は異なるバージョンのソフトウェアで作成されています。」 546 ページ
840	-1006	「指定されたデータベースを開始できません。'%1' は有効なデータベース・ファイルではありません。」 548 ページ
840	-1007	「指定されたデータベースを開始できません。'%1' は無効なトランザクション・ログです。」 547 ページ
840	-1063	「データベース %1 を起動できません。監査が有効な場合は、読み込み専用モードを使用できません。」 496 ページ
840	-1147	「このプラットフォームではデータベース '%1' を起動できません。 <a href="http://www.iAnywhere.jp/sas/os.html">http://www.iAnywhere.jp/sas/os.html</a> を参照してください。」 291 ページ
840	-1149	「このプラットフォームではデータベース '%1' を起動できません。 <a href="http://www.iAnywhere.jp/sas/os.html">http://www.iAnywhere.jp/sas/os.html</a> を参照してください。」 290 ページ

Sybase エラー・コード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージ・テキスト
911	-83	「指定されたデータベースが見つかりません。」 437 ページ
924	-816	「指定されたデータベース・ファイルはすでに使用されています。」 436 ページ
927	-97	「データベースのページ・サイズが大きすぎます： %1」 305 ページ
927	-644	「無効なデータベース・ページ・サイズです。」 351 ページ
928	-645	「データベースの作成に失敗しました：%1」 305 ページ
932	-311	「内部ロールバック・ログが破損しています。」 340 ページ
950	-76	「アクティブなデータベースがないため要求は拒否されました。」 371 ページ
950	-74	「選択されたデータベースは、現在アクティブではありません。」 562 ページ
1205	-306	「デッドロックが検出されました。」 311 ページ
1205	-307	「すべてのスレッドがブロックされています。」 189 ページ
1205	-684	「プリフェッチの間にデッドロックされたためロールバックが発生しました。」 408 ページ
1601	-102	「データベース・サーバに接続できる限界数を超過しています。」 298 ページ
1602	-85	「通信エラーが発生しました。」 243 ページ
1602	-88	「クライアント／サーバの通信プロトコルのバージョンが違います。」 177 ページ
1702	-616	「テーブルのカラム数が多すぎます。」 511 ページ
1709	-849	「テンポラリ・テーブルに対しては RESTRICT 以外の参照整合性アクションは許可されていません。」 398 ページ

Sybase エラー・コード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージ・テキスト
1709	-850	「キー制約によって関連付けられているテーブルはどちらも、永久テーブルであるか、ON COMMIT DELETE ROWS を指定して作成されていないテンポラリ・テーブルである必要があります。グローバル・テンポラリ・テーブルの場合は、どちらか一方のテーブルが共有されていれば、他方のテーブルも共有されている必要があります。」 487 ページ
1709	-865	「テンポラリ・テーブル間のキー制約には、一意性制約を持たないプライマリ・キーが必要です。」 312 ページ
1719	-118	「テーブル '%1' にはプライマリ・キーが定義されていません。」 505 ページ
1721	-113	「外部キーのカラム '%1' にプライマリ・キーと異なる定義があります。」 223 ページ
1801	-77	「データベース名がユニークではありません。」 307 ページ
1802	-138	「DB 領域 '%1' が見つかりません。」 253 ページ
1909	-636	「参照カラムが重複しています。」 330 ページ
1909	-119	「プライマリ・キー・カラム '%1' はすでに定義されています。」 407 ページ
1909	-251	「テーブル '%2' の外部キー '%1' は、既存の外部キーと重複しています。」 310 ページ
1921	-111	「インデックス名 '%1' はユニークではありません。」 281 ページ
1921	-678	「インデックス名 '%1' があいまいです。」 280 ページ
1923	-126	「テーブルに 2 つのプライマリ・キーを定義することはできません。」 510 ページ
1923	-112	「テーブルにはすでにプライマリ・キーが定義されています。」 510 ページ
2561	-106	「トランザクション・ログ・ファイルを開けません -- %1」 200 ページ
2601	-193	「テーブル '%1' のプライマリ・キーがユニークではありません: プライマリ・キー値 ('%2')」 393 ページ

Sybase エラー・コード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージ・テキスト
2706	-141	「テーブル '%1' が見つかりません。」 503 ページ
2715	-613	「ユーザ定義データ型 '%1' が見つかりません。」 535 ページ
2727	-189	「テーブル '%2' に対するインデックス '%1' を見つけることができません。」 508 ページ
2732	-296	「RAISERROR のエラー番号 %1 は、17000 未満にしないでください。」 268 ページ
2748	-612	「ユーザ・メッセージ %1 が見つかりません。」 532 ページ
2749	-294	「フォーマット文字列の引数番号 %1 が無効です。」 317 ページ
3013	-305	「I/O エラーです。%1 -- トランザクションはロールバックされました。」 259 ページ
3013	-309	「メモリ・エラー -- トランザクションはロールバックされました。」 418 ページ
3206	-240	「不明なバックアップ操作です。」 569 ページ
3206	-241	「データベースのバックアップを起動できません。」 304 ページ
3206	-242	「トランザクションが終了していないため、トランザクション・ログの名前の変更はできません。」 313 ページ
3206	-1021	「無効なバックアップ操作です。」 353 ページ
3451	-672	「データベースのアップグレードに失敗しました。」 303 ページ
3451	-673	「データベースのアップグレードができません。」 302 ページ
3618	-302	「ユーザによって中断させられました -- トランザクションはロールバックされました。」 533 ページ
3618	-304	「ハードディスクに空き領域がありません。'%1' -- トランザクションはロールバックされました。」 314 ページ
3619	-107	「トランザクション・ログ・ファイルへの書き込みエラーが発生しました。」 312 ページ

Sybase エラー・コード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージ・テキスト
3621	-299	「文の実行がユーザによって中断させられました。」 453 ページ
3702	-214	「テーブルは使用されています。」 512 ページ
3702	-215	「プロシージャは '%1' によって使用されています。」 413 ページ
3702	-750	「ユーザは使用中のプロシージャを所有しています。」 534 ページ
3702	-751	「ユーザは使用中のテーブルを所有しています。」 534 ページ
3819	-160	「SELECT 文以外は記述できません。」 165 ページ
4001	-105	「データベースが起動できません -- %1」 301 ページ
4001	-84	「指定されたデータベースは無効です。」 437 ページ
4001	-72	「データベース・ファイルが指定されていません。」 390 ページ
4002	-103	「ユーザ ID またはパスワードが無効です。」 320 ページ
4002	-104	「モジュールの前処理でのユーザ ID またはパスワードが無効です。」 319 ページ
4224	-108	「接続が見つかりません。」 236 ページ
4224	-99	「データベースに接続できません。」 194 ページ
4224	-308	「接続が切断されました。」 237 ページ
4406	-703	「計算カラム '%1' を挿入または更新できません。」 226 ページ
4409	-114	「ビューに定義されるカラムの数が SELECT 文と一致しません。」 406 ページ
4412	-766	「ビューがテンポラリ・オブジェクトである '%1' を参照しています。ビューは、永久オブジェクトだけを参照できます。」 522 ページ
4708	-702	「TRUNCATE TABLE 文は、ビューには使用できません。」 473 ページ

Sybase エラー・コード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージ・テキスト
4901	-116	「テーブルは空でなければなりません。」 511 ページ
4939	-127	「インデックスのカラムを変更することはできません。」 170 ページ
5006	-604	「DB 領域が最大ファイル・サイズに達しています。」 160 ページ
5006	-605	「サーバが DB 領域の最大ファイル・サイズを超えてページにアクセスしようとしてしました。」 494 ページ
5703	107	「行 %2 の '%1' の付近に、言語の拡張機能が検出されました。」 432 ページ
5849	-201	「オプション '%1' の設定が無効です。」 285 ページ
5849	-1053	「'%1' は '%2' に対して無効な値です。」 575 ページ
5864	-81	「データベース・サーバのコマンド・ラインが無効です。」 299 ページ
5864	-735	「不正なパラメータです。」 347 ページ
5864	-79	「ローカル・データベース・オプションが無効です。」 321 ページ
5864	-95	「解析エラー: %1」 428 ページ
5864	-754	「解析エラー: %1」 429 ページ
5878	-204	「DBA のみがオプション '%1' を設定できます。」 360 ページ
5878	-216	「オプション '%1' はテンポラリー・オプションとしてのみ設定できます。」 482 ページ
5878	-217	「オプション '%1' はプロシージャ内から設定できません。」 482 ページ
6001	-109	「まだデータベースに接続されています。」 524 ページ
6004	-75	「データベースの起動/停止の要求は拒否されました。」 391 ページ
6226	-183	「インデックス '%1' が見つかりません。」 169 ページ

Sybase エラー・コード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージ・テキスト
6259	-263	「FETCH 文中の絶対または相対オフセットの指定が無効です。」 256 ページ
6267	-814	「ORDER BY 句にあるため、カラム '%1' を更新できません。」 164 ページ
6401	-220	「セーブポイント '%1' が見つかりません。」 387 ページ
7123	-608	「WRITETEXT または READTEXT に無効な値を持つ TEXTPTR があります。」 272 ページ
7139	-609	「WRITETEXT または READTEXT のカラムのデータ型が無効です。」 273 ページ
7201	-155	「無効なホスト変数です。」 353 ページ
7203	-89	「データベース・サーバはマルチユーザ・モードで実行していません。」 300 ページ
7301	-192	「更新できないクエリに対して、更新しようとした。」 544 ページ
7301	-813	「FOR UPDATE が READ ONLY カーソルに誤って指定されました。」 256 ページ
7321	-149	「'%1' に対する関数またはカラムの参照も GROUP BY 句に記述する必要があります。」 250 ページ
7337	101	「値がトランケートされました。」 565 ページ
7338	-728	「更新できないリモート・クエリに対して、更新しようとした。」 544 ページ
7364	-139	「'%1' は複数のテーブルで使用されています。」 358 ページ
7374	-676	「指定されたトランザクションの独立性が不正です。」 555 ページ
7705	-630	「エスケープ・シーケンス '%1' が無効です。」 282 ページ
7706	-606	「パターンが長すぎます。」 521 ページ
7707	-629	「エスケープ文字 '%1' が無効です。」 283 ページ



Sybase エラー・コード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージ・テキスト
7732	-633	「読み込み専用のカーソルを更新しようとした。」 567 ページ
7740	-815	「SELECT 句にないため、カラム '%1' を更新できません。」 165 ページ
7950	-100	「データベース・サーバが見つかりません。」 297 ページ
7950	-96	「データベース・サーバはすでに起動しています。」 299 ページ
8201	-640	「記述子のインデックスが正しくありません。」 327 ページ
8205	-641	「割り当てのエラー」 327 ページ
8405	-210	「'%2' のローは、ユーザ '%1' によってロックされています。」 463 ページ
9119	-78	「動的メモリが足りません。」 339 ページ
9502	-638	「文字列データの右側がトランケートされます。」 454 ページ
9526	-187	「不正なカーソル処理をしようとした。」 345 ページ
9819	-268	「トリガ '%1' が見つかりません。」 519 ページ
10356	-624	「式にサポートされていないデータ型があります。」 331 ページ
11205	-698	「リモート・サーバはオートインクリメントするデータ型をサポートしていません。」 536 ページ
11205	-732	「計算カラムを使用したリモート・テーブルの作成はサポートしていません。」 227 ページ
11205	-736	「カラム '%1' のデータ型はサポートされていません。」 485 ページ
11206	-656	「サーバ '%1' に接続できません : %2」 493 ページ
11207	-667	「テーブル '%1' のカラム情報にアクセスできませんでした。」 194 ページ
11208	-722	「カラム '%1' はリモート・テーブルに存在しません。」 486 ページ

Sybase エラー・コード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージ・テキスト
11209	-721	「カラム '%1' に指定されたデータ型は、実際のデータ型と互換性がありません。」 484 ページ
11210	-723	「カラム '%1' に指定された長さは実際の長さとは異なります。」 485 ページ
11211	-724	「NULL 属性はカラム '%1' に適合しません。」 364 ページ
11212	-725	「Identity 属性はカラム '%1' に適合しません。」 259 ページ
11214	-659	「リモート・サーバ '%1' が見つかりませんでした。」 420 ページ
11214	-666	「リモート・テーブル '%1' が見つかりませんでした。」 537 ページ
11215	-726	「テーブル仕様 '%1' が複数のリモート・テーブルを指定しています。」 512 ページ
11221	-712	「サーバ '%1' の外部ログインが見つかりませんでした。」 291 ページ
11227	-706	「リモート・サーバにはこの文をサポートする機能がありません。」 421 ページ
11248	-658	「リモート・サーバ '%1' は現在読み込み専用に設定されています。」 421 ページ
12006	-110	「アイテム '%1' はすでに存在しています。」 273 ページ
13075	102	「テンポラリ・テーブルが使用されました。」 516 ページ
13204	-150	「集合関数の使用が無効です。」 332 ページ
13241	-1315	「スクリプト・ファイルの行の区切りに文デリミタ ¥"go¥" がありません」 ページ
13243	-1267	「イベント・パラメータ '%1' が見つかりません」 277 ページ
13244	-1266	「タイムアウトするまでに、キュー '%1' で通知がありませんでした」 389 ページ
13245	-1265	「'%1' という名前のイベント・オブジェクトはすでに存在します」 249 ページ

Sybase エラー・コード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージ・テキスト
13246	-1264	「イベント・オブジェクト名 '%1' は無効です」 277 ページ
13247	-1263	「イベント通知キュー '%1' が見つかりません」 278 ページ
13248	148	「イベント通知キュー '%1' に警告は見つかりません」 279 ページ
13249	147	「キュー '%1' でイベント通知が失われました」 287 ページ
13250	-1269	「サービス文定義が無効であるか、サポートされていません。」 383 ページ
13251	-1262	「このプラットフォームでは、この版の SQL Anywhere を利用できません」 491 ページ
13252	-1261	「このサーバには、'%1' 接続をサポートするためのライセンスが付与されていません」 489 ページ
13253	-1260	「このサーバには、'%1' 機能をサポートするためのライセンスが付与されていません」 488 ページ
13254	145	「同じプライマリ・キーを持つ2つのローが、テーブル '%1' 用にダウンロードされています」 567 ページ
13259	-1254	「テーブル '%1' の MERGE 文は失敗しました。文で RAISERROR が指定されています」 393 ページ
13260	-1253	「テキスト・インデックス %1 を再表示する必要があります。」 513 ページ
13261	-1151	「指定したロギング・タイプ ('%1') は無効か、サポートされていないか、または互換性がありません。」 558 ページ
13266	-1313	「最大文字列長を超えました。」 435 ページ
13270	-1244	「データベース '%1' の復号化に失敗しました」 192 ページ
13271	-1243	「データベース '%1' の暗号化に失敗しました」 191 ページ
13273	-1241	「TRUNCATE の後に value-sensitive カーソルが使用されていません」 473 ページ
13274	144	「ミラー・ファイルには、これより高い checksum_level が必要です。」 417 ページ

Sybase エラー・コード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージ・テキスト
13275	143	「破損したページ (ページ '%1') の読み込みをリトライしていません。」 449 ページ
13276	142	「Ultra Light データベース・ステータスがリストアされました。」 474 ページ
13277	-1240	「指定したストップリストが長すぎます。」 557 ページ
13280	-1238	「パススルー SQL スクリプトに失敗しました」 400 ページ
13281	-1237	「プロシージャ結果セットのカラムが多すぎます」 523 ページ
13282	-1236	「GROUP BY リストの式が多すぎます」 467 ページ
13283	-1235	「SELECT リストのカラムが多すぎます」 470 ページ
13284	-1233	「マテリアライズド・ビュー %1 を即時に変更できません。NULL 入力不可のカラムにユニークなインデックスがありません。」 525 ページ
13285	-1232	「トランザクションで 2 つ目のスナップショットの起動を試みています。」 200 ページ
13286	-1231	「文がタイムアウトになりました : '%1'」 451 ページ
13287	-1230	「オープン・カーソルが多すぎます」 481 ページ
13288	-1229	「テーブルの再編成はすでにテーブル ¥"%1¥" で実行中です」 ページ
13289	141	「パススルー SQL スクリプトに失敗しました」 400 ページ
13291	-1226	「外部キー・カラムがプライマリ・キーまたは ¥"%1¥" の一意性制約に一致しません」 ページ
13292	-1225	「このデータベースでは、同期プロファイルはサポートされていません。」 378 ページ
13293	-1224	「同期プロファイル '%1' に無効なパラメータ '%2' があります」 445 ページ
13294	-1223	「同期プロファイル '%1' はすでに存在します」 446 ページ

Sybase エラー・コード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージ・テキスト
13296	-1221	「CREATE DATABASE 文では重複オプションは許可されていません」 253 ページ
13297	-1216	「このプロシージャに対する引数はリテラル文字列である必要があります。」 491 ページ
13298	-1219	「依存する即時マテリアライズド・ビューのメンテナンスに失敗しました。」 427 ページ
13299	-1218	「マテリアライズド・ビューを即時に変更できません。非集合の NULL 入力不可のカラムにユニークなインデックスがありません。」 528 ページ
13300	-1220	「このユーザには外部ログインが存在するため、削除できません。」 492 ページ
13301	-1213	「外部環境は結果セットをサポートしていません。」 326 ページ
13302	-1217	「同期プロファイル '%1' が見つかりません」 445 ページ
13303	-1212	「このユーザのログイン・ポリシーにより接続は許可されませんでした」 184 ページ
13304	-1211	「テーブル '%1' に、MERGE 文の ANSI カーディナリティ違反があります」 392 ページ
13308	-1207	「テキスト・クエリで、NEAR 演算子の使用が無効です。」 310 ページ
13309	-1206	「このデータベースでは、外部環境はサポートされていません。」 289 ページ
13310	-1205	「外部環境 '%1' が見つかりませんでした。」 326 ページ
13311	-1204	「INSERT ... ON EXISTING UPDATE は許可されません: 即時マテリアライズド・ビュー %1 は %2 に依存しています」 260 ページ
13312	-1203	「WRITETEXT は許可されません: 即時マテリアライズド・ビュー %1 は %2 に依存しています」 479 ページ
13313	-1202	「依存する即時マテリアライズド・ビューがあるテーブルでは、オペレーションは認められません。」 426 ページ

Sybase エラー・コード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージ・テキスト
13314	-1201	「クライアント・ライブラリで、転送中のオブジェクト (%1) を開く際にエラーが発生したことが報告されました」 180 ページ
13315	-1200	「クライアント・ライブラリで、転送中のオブジェクト (%1) にアクセスする際にパーミッション・エラーが発生したことが報告されました」 179 ページ
13316	-1199	「マテリアライズド・ビューを即時に変更できません。COUNT(*) が SELECT リストの一部に必要です。」 526 ページ
13317	-1198	「ユーザ '%1' はすでに存在します」 531 ページ
13318	-1197	「ログイン・ポリシー ¥"%1¥" は使用中です」 ページ
13319	-1196	「このデータベースでは、ログイン・ポリシーはサポートされていません。」 377 ページ
13320	-1195	「ログイン・ポリシー ¥"%1¥" が見つかりません」 ページ
13321	-1194	「ログイン・ポリシー '%1' はすでに存在します」 423 ページ
13322	-1193	「TRUNCATE TABLE は許可されません : 初期化された即時マテリアライズド・ビュー %1 は %2 に依存しています」 472 ページ
13323	-1192	「即時マテリアライズド・ビュー %1 が依存している複数のテーブルを更新できません。」 240 ページ
13324	-1191	「LOAD TABLE は許可されません : 初期化された即時マテリアライズド・ビュー %1 は %2 に依存しています」 362 ページ
13325	-1190	「マテリアライズド・ビュー %1 では、LOAD TABLE は許可されません」 415 ページ
13326	-1189	「指定した UTF-16 エンディアンは、データで見つかった Byte Order Mark に一致しません」 557 ページ
13327	-1188	「LOAD TABLE エラー : %1」 362 ページ
13328	-1187	「圧縮または暗号化の使用中は付加できません」 221 ページ

Sybase エラー・コード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージ・テキスト
13329	-1186	「データベース・ページの検証は次のコードで失敗しました : %1」 301 ページ
13330	-1185	「テーブル %1、インデックス %2 のインデックスの検証は次のコードで失敗しました : %3」 307 ページ
13331	-1184	「即時マテリアライズド・ビューの最後のユニーク・インデックスを削除できません。」 240 ページ
13332	-1183	「このデータベースでは、DB 領域のパーミッションのサポートを利用できません」 377 ページ
13333	-1182	「IMMEDIATE REFRESH テキスト・インデックスにはコマンドを使用できません。」 162 ページ
13334	-1181	「マテリアライズド・ビューを即時に変更できません。マテリアライズド・ビューの定義に複数のクエリ・ブロックを含めることはできません。」 527 ページ
13335	-1180	「オプション・ウォッチ・リストに含まれているため、データベース・オプション '%1%' を設定できません」 ページ
13336	-1178	「トランザクション・ログ・ミラーリングは、データベース・ミラーリングで使用できません」 517 ページ
13337	-1176	「使用できるプランがありません。このタイプの文に対しては、NOEXEC プランは生成できません。」 436 ページ
13338	-1175	「指定した時間内でテーブル・ロックを取得できません。」 558 ページ
13339	-1174	「テキスト設定 '%1%' を作成できません。オプション '%2%' に不適切な設定があります。」 198 ページ
13340	-1173	「クライアント・ライブラリで、転送中のデータにアクセスする際にエラーが発生したことが報告されました (%1)」 180 ページ
13341	-1172	「クライアント・アプリケーションで、データの転送が許可されませんでした (%1)」 178 ページ
13342	-1171	「クライアント・アプリケーションでは、データの転送は許可されていません (%1)」 178 ページ

Sybase エラー・コード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージ・テキスト
13343	-1170	「マテリアライズド・ビュー %1 を即時に変更できません。すでに初期化されています。」 525 ページ
13344	-1169	「テキスト・インデックスの一部であるテーブルにはアクセスできません。」 198 ページ
13345	-1168	「テキスト・インデックスにより参照されているテキスト設定を変更または削除することはできません。」 197 ページ
13346	-1167	「テキスト設定を所有しているユーザは削除できません。」 199 ページ
13347	-1166	「このデータベースでは、テキスト・インデックスはサポートされていません。」 489 ページ
13348	-1165	「テーブル '%2' のテキスト・インデックス '%1' を作成するときにエラーが発生しました。」 309 ページ
13349	-1164	「テキスト・クエリ・パーサ・エラー : %1」 514 ページ
13350	-1163	「照合が無効です : ¥"%1¥"」 ページ
13351	-1162	「単語の長さが許容範囲を超えています。」 564 ページ
13352	-1161	「テキスト設定 ¥"%1¥" はすでに存在します。」 ページ
13353	-1160	「テキスト設定 ¥"%1¥".¥"%2¥" が見つかりません。」 ページ
13354	-1159	「テキスト・クエリ文字列が定数ではないか、不明です。」 398 ページ
13355	-1158	「一致するテキスト・インデックスがありません。」 427 ページ
13356	-1157	「すべてのカラム参照引数は、同じテーブルを参照しなければなりません。」 189 ページ
13357	-1156	「引数 ¥"%1¥" はカラム参照である必要があります。」 ページ
13358	-1155	「テーブル ¥"%1¥" のカーソルを閉じることができません。LOAD TABLE は実行できません。」 ページ
13359	-1154	「トレーシングしたクエリ (%1、%2) は存在しません。」 520 ページ



Sybase エラー・コード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージ・テキスト
13360	-1153	「パスワードの有効期限が切れていますが、変更できません。データベースは読み込み専用です。」 403 ページ
13361	-1152	「パスワードの有効期限が切れています。」 402 ページ
13362	-1150	「SQL スクリプト DLL をロードできません。」 470 ページ
13363	-1148	「クライアント・バージョンまたはクライアント・インタフェースではサポートされていない機能です。」 287 ページ
13366	-1146	「別のテーブルからの外部キー参照があるテンポラリ・テーブルには、LOAD TABLE は使用できません。」 454 ページ
13367	-1145	「接続できません: サーバは要求された暗号化タイプを受け入れませんでした。」 560 ページ
13368	-1144	「'%1' を '%2' データのエンコード指定として使用することはできません。」 580 ページ
13369	140	「暗号化が有効になっていません。」 321 ページ
13370	-1143	「暗号化が有効になっていません。」 322 ページ
13371	-1142	「機能 '%2' を必要とする文 '%1' の使用は許可されません。」 542 ページ
13372	-1141	「データベース ¥"%1¥" を開始できません。このプラットフォームでは、NCHAR 照合または適合化がサポートされていません。」 ページ
13373	-1140	「データベース ¥"%1¥" を開始できません。このプラットフォームでは、CHAR 照合または適合化がサポートされていません。」 ページ
13374	-1139	「リモート・データ・サービス機能はこのプラットフォームではサポートされていません。」 537 ページ
13375	-1138	「ミラー '%1' がデータベース '%2' と一致しません。」 528 ページ
13376	-1137	「エスケープ文字 '%1' が矛盾しています。」 283 ページ
13377	-1136	「エスケープ文字 '%1' の使用が無効です。」 284 ページ
13378	-1135	「正規表現 '%2' 中の '%1' が無効です。」 335 ページ

Sybase エラー・コード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージ・テキスト
13379	-1134	「マテリアライズド・ビュー '%1' でトリガを作成できません。」 526 ページ
13380	-1133	「ビュー '%1' のトリガ・タイプが無効です。」 315 ページ
13381	-1132	「テーブル '%1' の最大ロー・サイズを超過します。」 394 ページ
13382	-1131	「属性 '%1' で、'%3' と互換性のないオプション '%2' が設定されています。」 563 ページ
13383	-1130	「'%1' 属性の '%2' 内でカンマが見つかりません。」 462 ページ
13384	-1129	「'%1' 属性の '%2' 内でカッコが対応していません。」 462 ページ
13385	-1128	「繰り返されないイベント '%1' の開始日時が過去に設定されています。」 430 ページ
13386	-1127	「INSTEAD OF トリガのあるビューで位置付け更新しようとしてしました。」 361 ページ
13387	-1126	「テーブルまたはビュー '%1' に INSTEAD OF トリガがあるため、操作に失敗しました。」 397 ページ
13388	-1125	「ビュー '%1' の INSTEAD OF トリガと WITH CHECK OPTION が競合しています。」 209 ページ
13389	-1124	「dbicu ライブラリとサーバのバージョンが一致しません。」 465 ページ
13390	-1123	「MIME タイプ '%1' が不正です。」 265 ページ
13391	-1122	「最大パラメータ数 '%1' を超えました。」 330 ページ
13392	-1121	「要求された容量分 DB 領域 '%1' を拡張するのに十分な空き領域がデバイスにありません。」 456 ページ
13393	-1120	「DB 領域 '%1' にテーブルまたはインデックスが含まれているため削除できません。」 464 ページ
13394	-1119	「'%1' プロパティはサポートされなくなりました。」 460 ページ

Sybase エラー・コード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージ・テキスト
13395	-1118	「前回のアップロードのステータスが不明の場合、 <a href="#">Mobile Link</a> リモート ID は変更できません。」 237 ページ
13396	-1117	「ローがデータベースのページ・サイズを超えているため、ローを格納できません。」 218 ページ
13397	201	「ICU 照合 '%1' は他の照合にデフォルト設定されました。」 467 ページ
13398	-1116	「照合 '%1' はこのプラットフォームではサポートされていません。」 233 ページ
13399	-1115	「テーブル '%1' には、ROWID 関数への無効な参照が含まれています。」 504 ページ
13400	-1114	「SOAP ヘッダ '%1' の設定が無効です。」 269 ページ
13401	-1113	「相関名 '%1' は、ROWID 関数では使用できません。」 239 ページ
13402	-1112	「データベース '%1' に対して指定したファイルシステム・ボリュームが見つかりません。」 390 ページ
13403	-1111	「同期の情報が指定されていません。」 339 ページ
13404	-1110	「同期処理に戻ることができませんでした。」 447 ページ
13405	-1109	「このデータベースはキー不使用の暗号化を使用するため、要求された操作を実行できません。」 490 ページ
13406	-1108	「デバイス上のファイルシステムにアクセスできません。」 515 ページ
13407	-1107	「BLOB への参照が多すぎます。」 463 ページ
13408	-1106	「オペレーションに指定されているパブリケーションが多すぎます」 483 ページ
13410	-1104	「データベースのユーザが多すぎます。」 501 ページ
13411	-1103	「部分ダウンロードが見つかりませんでした。」 450 ページ
13412	-1102	「ダウンロードをリトライできません。アップロードが完了していません。」 496 ページ

Sybase エラー・コード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージ・テキスト
13413	-1101	「カラム '%1' は、それを含んでいるテーブルのどのインデックスにも属していません。」 176 ページ
13414	-1100	「操作が失敗しました。カラム '%1' のタイプがストリーミングをサポートしていません。」 563 ページ
13415	139	「オプション '%1' が複数回指定されています。」 374 ページ
13416	-1099	「Transact-SQL 外部ジョインは現在無効になっています。」 471 ページ
13417	-1098	「トレース接続はすでにアクティブになっています。」 205 ページ
13418	-1097	「ATTACH TRACING は、トレース・データベースに接続できませんでした。」 156 ページ
13419	-1096	「指定した HTTP ヘッダは不正です。」 556 ページ
13420	-1095	「指定した HTTP ヘッダに不正な文字または非 ASCII 文字が含まれています。」 556 ページ
13421	-1094	「HTTP ヘッダ '%1' は予約されてるため変更できません。」 467 ページ
13422	-1093	「文字カラム、変数、または値のデータ型のサイズが 32767 を超えました。」 570 ページ
13423	138	「パブリケーションの述部は評価されませんでした。」 405 ページ
13424	-1090	「ファンクション '%1' に無効なパラメータ '%2' ('%3') があります。」 316 ページ
13425	-1089	「共有テンポラリ・テーブルに対して無効なコミット・アクションです。」 328 ページ
13426	-1088	「ATTACH TRACING TO LOCAL DATABASE は、強力な暗号化が施されているデータベースでは使用できません。」 156 ページ
13427	-1087	「トレースを再表示できません: ロー %2 に指定されている %1 を収集するには、volatile_statistics を収集する必要があります。」 204 ページ

Sybase エラー・コード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージ・テキスト
13428	-1086	「書き込みアクセスが拒否されました。」 559 ページ
13429	-1085	「重複キー・カラム (%1)」 333 ページ
13430	-1084	「機能 '%1' の使用は許可されません。」 542 ページ
13431	-1083	「トレースを再表示できません: ロー %2 でオブジェクト %1 の検出に失敗しました。」 203 ページ
13432	-1082	「トレースを再表示できません: sa_diagnostic_tracing_level ロー %1 に無効なトレース指定があります。」 203 ページ
13433	-1081	「トレースを再表示できません: 少なくとも 1 つの有効化されているトレース・レベルを指定する必要があります。」 205 ページ
13434	-1080	「ユーザ '%1' がトランザクションのレプリケーションを実行している間は、これらのパーミッションを取り消すことはできません。」 215 ページ
13435	-1079	「バックアップはデータベース・ファイル '%1' を開けません。」 208 ページ
13436	-1078	「計算カラムの依存に循環があります。」 226 ページ
13437	-1077	「マテリアライズド・ビュー '%1' を使用できません。このビューは初期化されていません。」 213 ページ
13438	-1076	「dbicu ライブラリが必要ですが、インストールされていません。」 254 ページ
13439	-1075	「文字セット '%1' から '%2' への変換が失敗しました。」 349 ページ
13440	-1074	「ログイン・モード '%1' は、login_mode 設定で許可されていません。」 425 ページ
13441	-1072	「'%1' は、照合 '%2' で使用するのに有効な文字セット・エンコードではありません。」 576 ページ
13442	-1092	「呼び出そうとしたメソッドは、お使いのアプリケーションでは使用できません。」 543 ページ

Sybase エラー・コード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージ・テキスト
13442	-1071	「FIPS モードでは %1 アルゴリズムは使用できません。」 466 ページ
13442	-1073	「'%1' は、NCHAR 照合として使用できません。UCA と UTF8BIN のみを使用できます。」 575 ページ
13444	-1070	「Kerberos ログインはサポートされていません。」 265 ページ
13445	-1069	「Kerberos ログインが失敗しました。」 264 ページ
13446	-1068	「デフォルトの DB 領域 '%1' が見つかりません。」 311 ページ
13448	-1066	「ファイル・システム・エラー: '%1'」 316 ページ
13449	-1065	「スナップショット・アイソレーションを非スナップショット・トランザクションで使用しようとした。」 188 ページ
13450	-1064	「スナップショット・トランザクションで更新の競合が発生しました。」 495 ページ
13451	-1062	「スナップショット中は文を使用できません。」 387 ページ
13452	-1061	「スナップショット開始後にテーブルが作成または変更されました。」 495 ページ
13453	-1060	「パブリケーション・タイプで操作が競合しています。」 404 ページ
13454	-1305	「Mobile Link 通信エラー: コード: %1、パラメータ: %2、システム・コード %3」 363 ページ
13455	-1304	「¥"%1¥ と同じ設定でこのテーブルに新しいテキストを作成できませんでした。」 ページ
13456	-1057	「BACKUP 句 '%1' が '%2' と競合します。」 158 ページ
13457	-1303	「MESSAGE ... FOR CONNECTION メッセージが多すぎます」 468 ページ
13459	-1054	「スナップショット・アイソレーションが無効または保留になっています。」 386 ページ
13460	-1051	「マテリアライズド・ビューを作成できません。オプション '%1' に不適切な設定があります。」 214 ページ

Sybase エラー・コード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージ・テキスト
13461	-1050	「要求されたデータ型として NULL の結果を返すことができません。」 246 ページ
13461	-1052	「マテリアライズド・ビューを更新できません。オプション '%1' に不適切な設定があります。」 213 ページ
13464	-1047	「このデータベースは暗号化されたテーブルをサポートしていません。」 490 ページ
13465	-1046	「不正なカラム定義: %1」 345 ページ
13466	-1045	「無効なバックアップ・パラメータ値です。」 352 ページ
13467	-1044	「無効なパスワード: %1」 352 ページ
13468	-1043	「タイムアウトになったため、要求が中断されました。」 389 ページ
13469	-1042	「ローカル・テンポラリとして宣言されたテーブルにコメントを追加できません。」 219 ページ
13470	-1041	「マテリアライズド・ビュー '%1' が見つかりません。」 415 ページ
13471	-1040	「ビュー '%1' を使用できません。このビューは無効です。」 210 ページ
13472	-1039	「ミラー・サーバに接続できません。サーバ名 '%1' を使用してプライマリ・サーバを探してください。」 214 ページ
13473	-1038	「ビュー '%1' を使用できません。このビューは無効になっています。」 210 ページ
13474	-1037	「オブジェクト '%1' を削除または変更できません。少なくとも 1 つのオブジェクト (%2 '%3') が依存しています。」 171 ページ
13475	-1036	「DBN/DBF パラメータが、この代替サーバ名のデータベースと一致しません。」 465 ページ
13476	-1035	「ミラーリングされたデータベースで LOAD TABLE は許可されていません。」 417 ページ

Sybase エラー・コード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージ・テキスト
13477	-1034	「プロシージャ・タイプ '%2' の '%1' 属性が無効です。」 522 ページ
13478	-1033	「データベース・サーバを起動することができません。サーバに致命的なエラーが発生しました。」 499 ページ
13479	-1031	「'%1' の近くに構文エラーがあります -- マテリアライズド・ビューの定義では次の構成体を使用できません: '%2'」 357 ページ
13480	-1032	「'%1' の近くに構文エラーがあります -- マテリアライズド・ビューを即時に変更できません。マテリアライズド・ビューの定義に次の不正な構成体が含まれています: '%2'」 357 ページ
13480	-1030	「安全な HTTP 接続はこのプラットフォームではサポートされていません。」 426 ページ
13481	-1029	「マテリアライズド・ビューのサポートは、このデータベースでは利用できません」 416 ページ
13482	-1028	「BACKUP を実行しようとした接続には、コミットされていないトランザクションがあります。」 157 ページ
13483	-1027	「サービス・タイプでは、属性 '%1' は許可されません。」 382 ページ
13484	-1026	「USING 属性は、FORMAT 属性または GROUP 属性と共存できません。」 477 ページ
13485	-1025	「サービスに重複した属性 '%1' があります。」 292 ページ
13486	-1024	「USING 属性のサービスにあるプロパティ '%1' はサポートされていません。」 476 ページ
13487	-1023	「サービスの属性 '%1' の値がありません。」 382 ページ
13488	-1022	「サービスの属性 '%1' の値が無効です。」 293 ページ
13489	137	「参照整合性を保つためにテーブル %1 からローが削除されました。」 435 ページ
13490	-1003	「統合されたユーザに対する個別のグループ・マッピングが多すぎます。」 566 ページ



Sybase エラー・コード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージ・テキスト
13491	-1001	「プロシージャまたは関数 '%2' のパラメータ '%1' にデフォルト値がありません。」 414 ページ
13492	-1000	「テンポラリ領域の制限を超えています。」 516 ページ
13493	-999	「行 %1 に無効な要求ログ・フォーマットがあります。」 328 ページ
13494	136	「データベースが作成されました。」 500 ページ
13494	-1002	「オプション '%1' が認識されません。」 481 ページ
13495	-995	「SELECT INTO を最適化しているときに検出された警告はエラーとして処理されます。」 469 ページ
13496	-993	「テンポラリ・テーブル上では LOAD TABLE を ON COMMIT DELETE ROWS と併用できません。」 399 ページ
13497	-992	「指定されたリスナを登録できませんでした。」 555 ページ
13498	-991	「句 '%1' に無効な属性 '%2' があります。」 225 ページ
13499	-990	「リモート・ホストへの安全な接続に失敗しました : %1」 538 ページ
13500	-989	「プロシージャ・タイプ '%1' の NAMESPACE 属性が無効です。」 412 ページ
13501	-988	「HTTP サーバからの応答が無効です。」 257 ページ
13502	-987	「タイプ '%2' のプロシージャ・サブタイプ '%1' が無効です。」 295 ページ
13503	-986	「プロシージャ・タイプ '%1' が無効です。」 318 ページ
13504	-985	「データベース名 'utility_db' はユーティリティ・データベース用に予約されています。」 502 ページ
13505	-984	「暗号化 DLL を初期化できませんでした : '%1'」 222 ページ
13506	-983	「HTTP 要求に失敗しました。ステータス・コード '%1'」 258 ページ
13507	-982	「接続がタイムアウトしました。」 236 ページ

Sybase エラー・コード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージ・テキスト
13508	-981	「%1' で指定されたリモート・ホストに接続できません。」 457 ページ
13509	-980	「URI '%1' が無効です。」 476 ページ
13510	-979	「出力ファイルを書き込めません。」 440 ページ
13511	-978	「出力ファイルのディレクトリが存在しません。」 333 ページ
13513	-976	「暗号化 DLL ¥"%1¥" をロードできません。」 ページ
13515	-973	「文字列が長すぎます (%1)。」 571 ページ
13516	-972	「データベースのページ・サイズが小さすぎます: %1」 304 ページ
13517	-971	「チェックサムがこのデータベースで有効にされていません。」 191 ページ
13518	134	「Ultra Light のカーソル (あるいは結果セットまたはテーブル) がリストアされました。」 474 ページ
13519	133	「Ultra Light の接続がリストアされました。」 475 ページ
13520	-970	「テーブル '%1' に指定されたヒントが無効です。」 308 ページ
13521	-969	「必要な演算子が含まれていません。」 449 ページ
13522	-968	「ユーザ '%1' はすでに EXECUTE パーミッションを付与されています。」 529 ページ
13523	-967	「バックアップ・ファイル '%1' はすでに存在します。」 207 ページ
13524	-966	「複合 ORDER BY は RANGE とは併用できません。」 245 ページ
13525	-965	「Window 関数には ORDER BY が必要です。」 478 ページ
13526	-964	「Window 関数が述語に使用されています。」 478 ページ
13527	-962	「集合関数 GROUPING への引数は GROUP BY 句のグループ・カラムである必要があります。」 232 ページ
13528	-963	「パスワードに不正な文字が含まれています。」 401 ページ

Sybase エラー・コード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージ・テキスト
13528	-961	「入力文字列は base64 でエンコードされていません。」 342 ページ
13529	-959	「圧縮エラー: %1」 220 ページ
13530	-958	「パスワードの長さは %1 文字以内です。」 402 ページ
13530	-960	「解凍エラー: %1」 323 ページ
13531	-957	「OLAP 関数の先頭または最後のサイズが無効です。」 266 ページ
13532	-956	「同期の情報が不完全か無効です。'%1'を確認してください。」 340 ページ
13533	-955	「この接続はすでに存在します。」 492 ページ
13534	-954	「データベース '%1' が見つかりませんでした。」 497 ページ
13535	-953	「スキーマのアップグレードは現在有効ではありません。」 186 ページ
13536	-952	「最後の同期アップロードのステータスは不明です。」 545 ページ
13537	-951	「スキーマ・ファイル '%1' にアクセスできません。」 186 ページ
13538	-950	「ウィンドウ '%1' では、フレームは許可されません。」 281 ページ
13539	-949	「ウィンドウ '%1' では、ORDER BY は許可されません。」 373 ページ
13540	-948	「ウィンドウ '%1' への参照には、PARTITION BY は許可されません。」 374 ページ
13541	-947	「ウィンドウ '%1' が見つかりません。」 481 ページ
13542	-946	「'%1' では結果セットは許可されません。」 356 ページ
13543	-945	「再帰カラム %1 : '%2' から '%3' への変換では、精度が失われます。」 433 ページ

Sybase エラー・コード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージ・テキスト
13544	-944	「ROLLUP、CUBE、または GROUPING SETS 操作に対する GROUP BY リストの式が多すぎます。」 469 ページ
13545	-943	「ワークロード・キャプチャは現在行われていません。」 425 ページ
13546	-942	「ワークロード・キャプチャ (%1) はすでに進行中です。」 220 ページ
13547	-940	「HTTP ヘッダ '%1' の設定が無効です。」 258 ページ
13548	-941	「jConnect は暗号化をサポートしていません。」 262 ページ
13548	-939	「HTTP オプション '%1' の設定が無効です。」 257 ページ
13549	-938	「RECURSIVE キーワードなしの再帰は許可されません。」 366 ページ
13550	-937	「制約 '%1' への参照または操作が無効です。」 335 ページ
13551	-936	「データベースの制約が多すぎます。」 501 ページ
13552	-934	「指定されたデータベースを起動できません: データベース %1 を起動するにはサーバをアップグレードする必要があります。」 553 ページ
13553	-935	「指定されたデータベースを起動できません: ログ・ファイル・エラー」 554 ページ
13554	-931	「AUTHORIZATION が OFF の場合、サービス定義には文が必要です。」 359 ページ
13555	-930	「(メッセージなし)」 580 ページ
13556	-929	「制約 '%1' が見つかりません。」 234 ページ
13557	-928	「GROUP BY 句には定数式を使用できません。」 161 ページ
13558	-927	「サービス文定義とサービス・タイプが矛盾しています。」 383 ページ
13559	-926	「サービス定義のホスト変数参照には名前が必要です。」 293 ページ
13560	-925	「サービス名 '%1' は無効です。」 294 ページ

Sybase エラー・コード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージ・テキスト
13561	-923	「再帰反復が多すぎます。」 545 ページ
13562	-922	「再帰クエリのカラム・リストがありません。」 433 ページ
13563	-921	「再帰クエリが無効です。」 329 ページ
13564	-920	「サービス '%1' が見つかりません。」 380 ページ
13565	-919	「サービス '%1' はすでに存在します。」 381 ページ
13566	-918	「AUTHORIZATION が Off の場合はユーザ名を指定する必要があります。」 157 ページ
13567	-924	「サービス '%1' は使用中です。」 381 ページ
13568	-916	「'%1' は認識されていないサービス・タイプです。」 578 ページ
13569	-915	「CREATE SERVICE にはサービス・タイプが必要です。」 360 ページ
13570	-914	「共通テーブル式参照に循環があります。」 225 ページ
13571	-913	「監査用のトランザクション・ログ・ファイルが必要です。」 224 ページ
13572	-912	「OPENXML クエリのメモリが足りません。」 266 ページ
13573	-911	「XML 出力に制御文字があります。」 167 ページ
13574	-910	「システム・コマンドが失敗し、リターン・コード %1 が返されました。」 385 ページ
13575	-908	「閉じられたオブジェクトに対する操作は無効です。」 350 ページ
13576	-907	「引数の名前がありません。」 428 ページ
13577	-906	「XMLGEN 評価が失敗しました。」 480 ページ
13578	-905	「XQuery コンストラクタが無効です。」 273 ページ
13579	-904	「集約関数の ORDER BY が不正です。」 332 ページ
13580	-901	「宣言されていないタグ ID: '%1'」 562 ページ

Sybase エラー・コード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージ・テキスト
13580	-903	「CDATA に名前が必要です。」 159 ページ
13581	-900	「親が開いていません: '%1'」 440 ページ
13581	-902	「カラム数が少なすぎます。」 486 ページ
13582	-899	「不正なカラム名: '%1'」 345 ページ
13583	-898	「不明な FOR XML EXPLICIT ディレクティブ: '%1'」 569 ページ
13584	-897	「不正な FOR XML EXPLICIT タグ値: '%1'」 343 ページ
13585	132	「文字列カラム '%1' のヒストグラムを出力できません。」 246 ページ
13587	-896	「ユーザ設定が存在するため、PUBLIC オプション '%1' を削除できません。」 216 ページ
13588	130	「ローが新しいスキーマ・フォーマットに変換されなかったため、ローは削除されました。」 219 ページ
13589	-895	「暗号化エラー: '%1'」 321 ページ
13589	-894	「このタイプの文に対してプランを生成することはできません。」 376 ページ
13590	-893	「OPENXML に渡されたフラグ値は不正です。」 267 ページ
13591	-892	「XPath パーサ・エラー: '%1'」 480 ページ
13592	-891	「要求された文字セット '%1' と '%2' 間の変換はできません。」 247 ページ
13593	-657	「接続できません。サーバ定義が循環しています。」 561 ページ
13594	-889	「文に非決定的関数 '%1' の不正な用法が含まれています。」 451 ページ
13595	-888	「XML パーサ・エラー: '%1'」 479 ページ
13596	129	「プランに仮想インデックスが含まれている可能性があります。」 408 ページ

Sybase エラー・コード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージ・テキスト
13597	-887	「仮想インデックスの作成に %1 を超えるカラム数が使用されています。」 539 ページ
13600	0	「(メッセージなし)」 581 ページ
13601	-690	「戻り値が設定できません。」 455 ページ
13602	-693	「JDBC 機能 '%1' はサポートされません。」 263 ページ
13603	-694	「開いている準備文または呼び出し可能な文を変更できませんでした。」 223 ページ
13604	-695	「'%1' で内部エラーが発生しました。」 150 ページ
13605	-696	「閉じられた '%1' に対する操作は無効です。」 349 ページ
13606	-699	「¥"final¥" 変更子で修飾されるメンバ・フィールドを更新できません。」 ページ
13607	-701	「クラスを通してインスタンス・メンバにアクセスできません。」 183 ページ
13608	-713	「'%1' で内部エラーが発生しました。」 150 ページ
13609	-714	「閉じられた '%1' に対する操作は無効です。」 350 ページ
13613	114	「'%1' への文字セット変換は実行できません。代わりに '%2' が使用されます。」 153 ページ
13614	115	「データベース・サーバで文字セット '%1' 間とのデータ変換を実行できません。変換が正しくない可能性があります。」 298 ページ
13615	116	「言語 '%1' はサポートされていないため、'%2' を使用します。」 431 ページ
13616	117	「文字セット '%1'、言語 '%2' はサポートされていません。代わりに言語 '%3' が使用されます。」 570 ページ
13617	118	「無効なユーザ選択性の評価が指定されました。」 354 ページ
13618	105	「プロシージャが完了しました。」 413 ページ
13619	200	「警告 : %1」 543 ページ

Sybase エラー・コード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージ・テキスト
13620	-98	「認証違反です。」 245 ページ
13621	-218	「認証に失敗しました。」 244 ページ
13622	-101	「データベースに接続されていません。」 391 ページ
13623	-125	「ALTER 句が矛盾しています。」 155 ページ
13624	-610	「ユーザ・メッセージ %1 はすでに存在しています。」 533 ページ
13625	-120	「ユーザ '%1' はすでにパーミッションを付与されています。」 531 ページ
13626	-123	「ユーザ '%1' はユーザ・グループではありません。」 532 ページ
13627	-312	「ユーザ '%1' はすでにグループ '%2' のメンバーです。」 530 ページ
13628	-130	「文が無効です。」 348 ページ
13629	-132	「SQL 文にエラーがあります。」 369 ページ
13630	-133	「準備文の種類が無効です。」 334 ページ
13631	-707	「パススルー・モードでは文を使用できません。」 400 ページ
13632	-614	「メッセージまたはデータ型を所有するユーザは削除できません。」 215 ページ
13633	-731	「レプリケーションでのオブジェクトを持つユーザを削除できません。」 218 ページ
13634	-161	「DESCRIBE 文で無効な型が指定されました。」 255 ページ
13635	-181	「NULL に対して、インジケータ変数が用意されていません。」 363 ページ
13636	-182	「SQLDA 中のフィールドが足りません。」 370 ページ
13637	-185	「SELECT 文が複数行を返しています。」 368 ページ
13638	-188	「ホスト変数が足りません。」 415 ページ



Sybase エラー・コード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージ・テキスト
13640	-267	「アトミックなオペレーション内での COMMIT/ROLLBACK は許可されません。」 168 ページ
13641	-270	「ランタイム・サーバでは、プロシージャを持つユーザを削除できません。」 217 ページ
13642	-280	「パブリケーション '%1' が見つかりません。」 404 ページ
13643	-281	「テーブル '%1' はパブリケーションを持っています。」 507 ページ
13644	-282	「'%2' の '%1' に対するサブスクリプションはすでに存在します。」 359 ページ
13645	-283	「'%2' の '%1' に対するサブスクリプションが見つかりません。」 358 ページ
13646	-284	「ユーザ '%1' はすでにこのデータベースのパブリッシャです。」 530 ページ
13647	-285	「ユーザ '%1' はこのデータベースのリモート・ユーザではありません。」 529 ページ
13648	-286	「リモート・メッセージ・タイプ '%1' が見つかりません。」 422 ページ
13649	-287	「パススルー文は、現在のパススルーと一致しません。」 401 ページ
13650	-288	「リモートの文が失敗しました。」 422 ページ
13652	-211	「'%1' でデータベースを使用している間は許可されません。」 356 ページ
13653	-212	「CHECKPOINT 文にはロールバック・ログが必要です。」 159 ページ
13654	-221	「ROLLBACK TO SAVEPOINT は使用できません。」 368 ページ
13655	-222	「アトミックな複合文では、結果セットは使用できません。」 372 ページ

Sybase エラー・コード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージ・テキスト
13656	-213	「セーブポイントには、ロールバック・ログが必要です。」 388 ページ
13657	-230	「埋め込み SQL を処理しているプリプロセッサと、データベース・インタフェース・ライブラリのバージョンが適合しません。」 455 ページ
13658	-231	「クライアント・サーバのバージョンとデータベース・サーバのバージョンが適合しません。」 179 ページ
13660	-243	「データベース・ファイルが削除できません。」 500 ページ
13661	-244	「トランザクション・ログはトランケートされました。」 518 ページ
13662	-297	「ユーザ定義の例外が通知されました。」 535 ページ
13663	-298	「アクティブなデータベース要求を 2 つ出そうとしました。」 167 ページ
13664	-300	「実行時 SQL エラーです -- %1」 438 ページ
13665	-301	「データベースの内部エラー %1 -- トランザクションはロールバックされました。」 306 ページ
13666	-1288	「ミラーリングされたデータベースに対して '%1' 文を使用することはできません。」 581 ページ
13668	-1286	「即時マテリアライズド・ビューの定義に NULL 入力可の式に対する SUM 関数を含めることはできません。」 337 ページ
13669	-601	「'%1' は既知のファイル形式でないため、テーブルをロードまたはアンロードできません。」 577 ページ
13670	-602	「ファイル '%1' にアクセスできません -- %2」 211 ページ
13672	-643	「UNLOAD TABLE は、ビューのアンロードには使用できません。」 475 ページ
13673	-607	「データベース・サーバを停止できません。」 193 ページ
13674	-617	「データベース・サーバ外の関数呼び出しはサポートされていません。」 193 ページ

Sybase エラー・コード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージ・テキスト
13675	-618	「外部関数のプラットフォーム指定子と、現在のオペレーティング・システムが一致しません。」 429 ページ
13676	-619	「ダイナミック・ライブラリ名が必要です。」 388 ページ
13677	-620	「ダイナミック・ライブラリ '%1' をロードできませんでした。」 190 ページ
13678	-621	「ダイナミック・ライブラリ '%2' に '%1' が見つかりませんでした。」 190 ページ
13679	-622	「外部関数の呼び出しのためのリソースを割り付けられませんでした。」 224 ページ
13680	-625	「この外部プロシージャの呼び出しには、パラメータ数が多すぎます。」 492 ページ
13681	-626	「内部用のスレッドが起動できませんでした。」 244 ページ
13682	-634	「C 言語の文字列が完結していません。」 464 ページ
13683	110	「トランザクション・ログ・バックアップ・ページの一部だけが、満杯になっています。」 517 ページ
13684	149	「自動データベース・アップグレードが適用されました」 231 ページ
13685	-202	「オプション '%1' は PUBLIC な設定のみが許されています。」 375 ページ
13686	112	「もっと情報が必要です。」 419 ページ
13687	-203	「ユーザ '%1' に対するテンポラリ・オプションを設定することはできません。」 216 ページ
13688	113	「ユーザ '%2' に対するデータベース・オプション '%1' は不正な設定です。」 320 ページ
13689	-205	「統合化ログインが許可されていません。」 338 ページ
13690	-206	「統合化ログインが必要です。標準ログインは許可されていません。」 338 ページ
13691	-245	「統合化ログインが失敗しました。」 338 ページ

Sybase エラー・コード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージ・テキスト
13694	-246	「このデータベースでは、統合化ログインはサポートされていません。」 290 ページ
13695	-247	「統合化ログイン ID ゲストは、ゲスト・データベースのユーザ ID に対してのみマップできます。」 566 ページ
13696	-248	「sys または public ユーザ ID にログイン ID をマップすることはできません。」 166 ページ
13697	-249	「ログイン ID '%1' はすでにユーザ ID '%2' にマップされています。」 538 ページ
13698	-313	「ログイン ID '%1' はどのデータベース・ユーザ ID にもマップされていません。」 539 ページ
13699	-646	「ストア DLL ¥"%1¥" をロードできません。」 ページ
13700	-647	「ストア DLL (%1) のエントリ・ポイントを実行できません。」 187 ページ
13701	-711	「データベース・ストア DLL (%1) のバージョンが不正です。」 300 ページ
13702	-648	「指定された DB 領域でアイテム (%1) を生成できません。」 230 ページ
13703	-93	「クラス '%1' はパブリックなフィールド '%2' がありません。」 181 ページ
13704	-650	「'%1' のインデックスの型の指定は不正です。」 250 ページ
13705	-651	「データベース '%1' の削除に失敗しました。」 192 ページ
13706	-654	「接続パラメータ・ファイルが見つかりません。」 561 ページ
13707	-655	「接続パラメータ文字列の解析エラーです。」 336 ページ
13708	-664	「データベースはアクティブです。」 306 ページ
13709	-665	「データベース ¥"%1¥" をリカバリする必要があります。」 ページ
13710	-668	「カーソルは FETCH NEXT 操作に制限されています。」 174 ページ

Sybase エラー・コード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージ・テキスト
13711	-669	「メソッド '%1' は現時点では呼び出せません。」 418 ページ
13712	-671	「パラメータが出力パラメータとして登録されていません。」 406 ページ
13713	-674	「文のサイズの制限値が無効です。」 452 ページ
13714	-683	「カーソル名 '%1' はすでに存在します。」 484 ページ
13715	-685	「%1 のリソース・ガバナーが制限を超えています。」 355 ページ
13717	-689	「入力パラメータ・インデックスが範囲外です。」 341 ページ
13718	-691	「バックアップ/リストア用 DLL ¥"%1¥" をロードできません。」 ページ
13719	-692	「バックアップ/リストア DLL (%1) のエントリ・ポイントを実行できませんでした。」 206 ページ
13720	-697	「バックアップ/リストア中にエラーが発生しました: %1」 314 ページ
13721	-700	「SQLDA フィールドがマルチ・ロー SQLDA と矛盾しています。」 370 ページ
13722	-709	「このデータベースでは、計算カラムはサポートされていません。」 184 ページ
13723	-761	「サーバ機能名 '%1' がデータベース内に見つかりませんでした。」 380 ページ
13724	-715	「バックアップ・ファイルの内容が矛盾しています。」 207 ページ
13725	-716	「バックアップ・ファイルのフォーマットが無効です。」 207 ページ
13726	-717	「RESTORE によってファイル '%1' を開くことができません。」 367 ページ
13727	-718	「RESTORE によってファイル '%1' に書き込むことができません。」 367 ページ

Sybase エラー・コード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージ・テキスト
13728	-719	「RESTORE によってデータベース '%1' を起動できません。」 366 ページ
13729	-720	「VALIDATE 文はベース・テーブルを参照しなければなりません。」 477 ページ
13730	-727	「オプティマイザは有効なアクセス・プランを構成できませんでした。」 483 ページ
13731	-128	「ランタイム・システムでは、テーブルを所有しているユーザを削除することはできません。」 217 ページ
13732	-660	「サーバ '%1': %2」 379 ページ
13733	-661	「後方スクロール・カーソルはリモート・オブジェクトではサポートされません。」 229 ページ
13734	-682	「%1」 573 ページ
13735	-91	「プロシージャ '%1' は処理されない例外 '%2' で終了しました。」 410 ページ
13736	-92	「%1' は有効なクラス・ファイルではありません。」 579 ページ
13737	-730	「不正な JAR ファイルです。」 343 ページ
13738	-94	「フィールドに対して不正な型を参照しました。」 317 ページ
13739	-164	「内部関数でネーム・スペースのヒープが足りなくなりました: %1」 448 ページ
13740	-165	「内部関数で Java VM のヒープが足りなくなりました: %1」 341 ページ
13741	-649	「クラス '%2' のフィールド '%1' は NULL になることはできません。」 288 ページ
13742	-652	「クラス '%1' を JAR から圧縮解除できませんでした。」 182 ページ
13743	-653	「クラス '%1' を削除できません: JAR のメンバです。」 182 ページ

Sybase エラー・コード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージ・テキスト
13744	-662	「クラス '%1' を使用して Java オブジェクトをシリアル化できません。」 183 ページ
13745	-663	「Java オブジェクトをデシリアライズできません。」 163 ページ
13746	-670	「クラスのバイト・コードが不正です。」 288 ページ
13747	-675	「'%1' が見つからないため、外部環境を起動できませんでした。」 249 ページ
13748	-704	「Java クラス '%1' にインデックスを作成できません。」 164 ページ
13749	-710	「不正な比較です。」 347 ページ
13750	-734	「テーブル '%1' のすべて NULL のローを更新または削除できません。」 195 ページ
13751	120	「'%1' は認識できないオプションです。」 578 ページ
13752	-739	「db_init が呼び出されていないか db_init の呼び出しに失敗しました。」 254 ページ
13753	-740	「通信環境を作成できませんでした。」 565 ページ
13754	-1270	「テーブル '%1' を参照する即時ビューを作成するには、テーブルを所有している必要があります」 395 ページ
13755	-742	「JDBC SAStatement バッチ実行は中止されました。」 263 ページ
13756	-743	「JDBC SAResultSet で引数に 0 を指定して absolute メソッドを実行しようとしてしました。」 361 ページ
13757	-744	「IQ データベース・コマンド・ラインの不正なオプションまたはパラメータ値: %1」 260 ページ
13758	-745	「IQ メモリ・マネージャを初期化できません: %1」 163 ページ
13759	-746	「System V リソースを割り当てることができません。」 166 ページ

Sybase エラー・コード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージ・テキスト
13760	-747	「不正な JDBC 結果セット・タイプです。」 344 ページ
13761	-748	「不正な JDBC 結果セットの同時実行性です。」 344 ページ
13762	-749	「Ultra Light では使用できない機能です。」 272 ページ
13763	-752	「挿入ローにある場合、JDBC 結果セット上の '%1' 関数を呼び出せません。」 238 ページ
13764	-753	「'%1' 関数を使用するには、JDBC 結果セットは挿入ロー上にある必要があります。」 461 ページ
13765	-755	「コミットされていないトランザクションとの同期またはアップグレードはできません。」 493 ページ
13766	-756	「現在の JDBC 結果セット内のテーブル '%1' のカラム '%2' を一意に識別できません。」 227 ページ
13767	-289	「複数の統合ユーザを定義することはできません。」 450 ページ
13768	-757	「読み込み専用データ・ベースに対しての修正は禁止されています。」 448 ページ
13769	-758	「データベースは Java 仮想マシンをサポートしていません。」 502 ページ
13770	-759	「SQLDA のデータ型が無効です。」 369 ページ
13771	-760	「SQL の識別子が無効です。」 269 ページ
13772	-762	「'%1' はパブリック Java クラスでないため、SQL から参照できません。」 576 ページ
13773	-763	「'%1' はパブリック Java 参照でないため、SQL から参照できません。」 577 ページ
13774	-764	「サーバが見つからないため自動起動できません。」 380 ページ
13775	-765	「同期メッセージ・タイプ '%1' が見つかりません。」 446 ページ
13776	119	「バックアップ・ログ '%1' が開けません。」 521 ページ



Sybase エラー・コード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージ・テキスト
13777	-767	「'%1' という名前の同期サブスクリプションが見つかりません。」 151 ページ
13778	-768	「'%1' にサブスクリプションを作成できません。」 152 ページ
13779	-769	「ALTER PUBLICATION を使用して同期エントリを変更できません。」 154 ページ
13780	-770	「ALTER SYNCHRONIZATION を使用してパブリケーション・エントリを変更できません。」 155 ページ
13781	-771	「イベント '%1' が見つかりません。」 274 ページ
13782	-772	「イベント '%1' がすでに存在します。」 274 ページ
13783	-773	「イベント '%2' に対するスケジュール '%1' が見つかりません。」 372 ページ
13784	-774	「イベント '%2' に対するスケジュール '%1' はすでに存在します。」 373 ページ
13785	146	「イベント通知キュー '%1' が満杯なため、通知は破棄されました」 278 ページ
13786	-1268	「マテリアライズド・ビューを即時に変更できません。マテリアライズド・ビューの定義に不正な構成体が含まれています。」 527 ページ
13787	-777	「プライマリ・キーがないためテーブル '%1' と同期できません。」 212 ページ
13788	-778	「同期処理ではテーブル '%1' にプライマリ・キーを含める必要があります。」 447 ページ
13789	-779	「BLOB プライマリ・キーでテーブル '%1' に同期エントリを作成できません。」 158 ページ
13790	-780	「パブリケーションで使用するテーブル '%1' のプライマリ・キーを更新できません。」 208 ページ
13791	-1283	「ビューまたは派生テーブル '%1' では、CONTAINS クエリは許可されません。」 211 ページ

Sybase エラー・コード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージ・テキスト
13792	-782	「他の排他インスタンスが実行されているため、'%1' を登録できません。」 242 ページ
13793	-783	「他の '%1' を排他アプリケーションとして登録できません。」 241 ページ
13794	-784	「アプリケーションの cookie が無効なため接続を登録できません。」 169 ページ
13795	-785	「cookie が無効なためアプリケーションの登録を取り消せません。」 159 ページ
13796	-786	「アクティブな登録された接続があるため '%1' の登録を取り消せません。」 168 ページ
13797	-787	「現在の接続はすでに '%1' に '%2' として登録されています。」 228 ページ
13798	-788	「他の接続はすでに '%1' として登録されています。」 242 ページ
13799	-789	「登録 cookie が足りないため '%1' を登録できません。」 244 ページ
13800	-790	「自動ラベルが足りないため '%1' に接続を登録できません。」 231 ページ
13801	-791	「イベント '%2' の曜日または月 '%1' が無効です。」 276 ページ
13802	-792	「イベント '%2' の時刻 '%1' が無効です。」 276 ページ
13803	-793	「イベント '%1' の開始日時が無効です。」 275 ページ
13804	-794	「同期サーバがアップロードのコミットに失敗しました。」 443 ページ
13805	-1281	「他の接続が '%1' のローをロックしています」 241 ページ
13806	-1280	「'%1' の変換中にアンダーフローが発生しました」 459 ページ
13807	-797	「同期オプション '%1' にセミコロン、等号、または中カッコが含まれているか、オプションが NULL です。」 442 ページ

Sybase エラー・コード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージ・テキスト
13808	-1279	「操作 '%1' は次の理由で失敗しました : '%2」 441 ページ
13809	-799	「DTC トランザクションはこのプラットフォームではサポートされていません。」 255 ページ
13810	-800	「トランザクションにエンリストされている場合は、コミットまたはロールバックできません。」 201 ページ
13811	-801	「トランザクションにすでにエンリストされている場合は、さらにトランザクションにエンリストすることはできません。」 201 ページ
13812	-802	「コミットされていないデータを保留にしたままで、トランザクションにエンリストすることはできません。」 185 ページ
13813	-803	「トランザクションをエンリストできません。DTC がダウンしている可能性があります。」 518 ページ
13814	-804	「トランザクションを再エンリストできません。DTC がダウンしている可能性があります。」 519 ページ
13815	-805	「同期オプション '%1' が見つかりません。」 442 ページ
13816	-806	「システムのイベント・タイプ '%1' が見つかりません。」 385 ページ
13817	-807	「ホスト変数はバッチで使用できません。」 319 ページ
13818	-808	「テスト・ハーネスによって内部エラーが発生しました。」 199 ページ
13819	-809	「同期オプションが長すぎます。」 443 ページ
13820	-810	「外部オブジェクト '%1' が見つかりません。」 323 ページ
13821	-811	「JAR '%1' が見つかりません。」 261 ページ
13822	-812	「派生テーブル '%1' の select リストに '%2' と一致する式がありません。」 568 ページ
13823	-817	「接続しているテンポラリ・テーブルが多すぎます。」 560 ページ
13824	-818	「外部関数呼び出しに互換性がありません。」 540 ページ

Sybase エラー・コード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージ・テキスト
13825	-819	「テーブル '%1' が同期定義の一部です。」 503 ページ
13826	-820	「スクロール位置 '%1' が不正です。」 294 ページ
13827	-821	「テーブル '%1' の DB 領域が見つかりません。」 308 ページ
13828	-822	「テーブル '%1' はすでにインクルードされています。」 507 ページ
13829	-823	「ストアド・プロシージャ内のリモート・テーブルに関わる式を処理できません。」 188 ページ
13830	-824	「関連名 '%1' への参照が不正です。」 337 ページ
13831	-825	「前回のエラーが RESIGNAL の前になくなりました。」 441 ページ
13832	-826	「データベースのアップグレードができません。ユーザ dbo は RowGenerator テーブルの所有者ではありません。」 302 ページ
13833	-827	「データベースのアップグレードができません。ユーザ・テーブルに、システム・テーブル範囲のテーブル ID が設定されています。」 303 ページ
13834	-828	「dbmsync ダウンロード・フェーズでの競合が検出されました。」 161 ページ
13835	-829	「TLS ハンドシェイクに失敗しました。」 471 ページ
13836	-830	「エイリアス '%1' がユニークではありません。」 170 ページ
13837	-831	「エイリアス '%1' の定義は、最初の参照前に記述する必要があります。」 282 ページ
13838	-832	「接続エラー: %1」 235 ページ
13839	-833	「テーブル '%1' のローが、BEFORE トリガで修正または削除されました。」 394 ページ
13840	-834	「テーブル '%2' にカラム '%1' がありません。」 195 ページ
13841	-835	「イベント '%1' は使用中です。」 275 ページ
13842	-836	「プロシージャ '%1' は有効でなくなりました。」 411 ページ

Sybase エラー・コード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージ・テキスト
13843	-837	「テーブル'%1'のトリガまたは外部キーは有効でなくなりました。」 506 ページ
13844	-838	「サーバ上で TLS の初期化に失敗しました。」 494 ページ
13845	-839	「既存のローと競合しているため、ダウンロードに失敗しました。」 327 ページ
13846	-1278	「操作は許可されていません」 442 ページ
13847	-841	「'%1'の JDK バージョンは '%2' と一致していません。」 459 ページ
13848	-842	「JDK '%1' はサポートされている JDK ではありません。」 264 ページ
13849	-843	「'%1' という名前の同期ユーザが見つかりません。」 151 ページ
13850	-844	「'%1' という名前の同期定義が見つかりません。」 152 ページ
13851	-845	「修飾されたカラム参照で使用されている所有者 '%1' は関連名 '%2' と一致していません。」 439 ページ
13852	-846	「カラム '%1' に対する SET 句の使用法が正しくありません。」 376 ページ
13853	-847	「Java SecurityManager クラスがありません: %1」 261 ページ
13854	-848	「Java SecurityManager をロードしているときに例外が発生しました。」 262 ページ
13855	-851	「復号化エラー: %1」 348 ページ
13856	-852	「テーブル名 '%1' はあいまいです。」 513 ページ
13857	121	「カーソル・オプションの値が変更されました。」 172 ページ
13858	-855	「トリガ名 '%1' はあいまいです。」 520 ページ
13859	-856	「SQLDA に不正な sqllen フィールドがあります。」 270 ページ
13860	-857	「サーバ %1 でエラーが発生したため、同期に失敗しました。」 379 ページ

Sybase エラー・コード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージ・テキスト
13861	-858	「CREATE/DROP STATISTICS 文では、仮想テーブルを参照できません。」 160 ページ
13862	-1277	「パラメータ '%1' に NULL は指定できません」 405 ページ
13863	-1276	「使用中の設定は変更できません」 229 ページ
13864	-860	「指定された DB 領域の少なくとも 1 つが調整されていませんでした。」 230 ページ
13865	-861	「集約式 '%1' に複数のカラムが含まれ、その 1 つ以上が外部参照です。」 233 ページ
13866	-862	「集約式 '%1' は select リストまたは HAVING 句サブクエリのいずれかに記述されている必要があります。」 559 ページ
13867	-863	「グループ化されたクエリに、複数の異なる集合関数が含まれています。」 289 ページ
13868	-303	「ディスク書き込みの失敗 '%1' -- トランザクションはロールバックされました。」 296 ページ
13869	-864	「文に NUMBER(*) 関数の不正な使用が含まれています。」 451 ページ
13870	-866	「%1 から返された結果セットのスキーマは予期されているものと異なります。」 574 ページ
13871	-867	「前回のアップロードのステータスが不明の場合、同期の user_name は変更できません。」 238 ページ
13872	-868	「'%1' は認識できない文字セット・エンコード・ラベルです。」 579 ページ
13873	-869	「データベース・サーバで文字セット '%1' 間とのデータ変換を実行できません。」 297 ページ
13874	-870	「要求された文字セット '%1' とデータベース側文字セット '%2' 間の変換はできません。」 247 ページ
13875	-871	「この Java 関連コマンドを実行するにはデータベースを再起動する必要があります。」 488 ページ
13876	-872	「%1 から結果セットが返されません。」 573 ページ

Sybase エラー・コード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージ・テキスト
13877	-873	「%1 から複数の結果セットが返されました。」 574 ページ
13878	-686	「Java 仮想マシンを起動するにはキャッシュが不足しています。」 262 ページ
13879	-688	「ランタイム・サーバでは強力な暗号化方式のデータベース・ファイルはサポートされません。」 420 ページ
13880	-874	「カラム名は %1 でなければなりません。」 177 ページ
13881	-1275	「無効なドメイン '%1'」 351 ページ
13882	-876	「クライアントでメモリが不足しています。」 181 ページ
13883	122	「非決定的な結果が返されました」 568 ページ
13884	-1274	「インデックス '%1' にはカラムがありません」 279 ページ
13885	-184	「テーブル '%2' のカラム '%1' を NULL にすることはできません。データ・ファイルの行 %3 で LOAD TABLE に無効なデータが指定されました。」 196 ページ
13886	124	「不正なデータ変換: ロー %2 のカラム '%1' に NULL が挿入されました。」 346 ページ
13887	-162	「%1 を %2 に変換できません。データ・ファイルのロー %4 のカラム '%3' に不正な値が指定されています。」 149 ページ
13888	-877	「プロシージャ、トリガ、イベント、またはバッチでは SETUSER を実行できません。」 412 ページ
13889	-878	「インデックス '%1' をクラスタできません。」 280 ページ
13890	-879	「%1 から %2 に変換するときに、無効なマルチバイトの入力文字が検出されました。」 147 ページ
13891	-1273	「テーブル '%1' にはカラムがありません」 504 ページ
13892	125	「%1 から %2 に変換するときに、無効なマルチバイトの入力文字が検出されました。」 147 ページ
13893	-1272	「同期はすでに進行中です」 444 ページ
13894	-881	「%1 から %2 に変換する場合は文字の置換が必要です。」 148 ページ

Sybase エラー・コード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージ・テキスト
13895	-1215	「外部ライブラリ '%1' をロードできませんでした」 325 ページ
13896	127	「%1 から %2 に変換するときに文字を置換しました。」 148 ページ
13897	-1214	「外部ライブラリ '%1' は使用中です」 325 ページ
13898	-883	「シングルバイト・コンバータの利用時には、文字変換のエラーまたは警告レポートは使用できません。」 185 ページ
13899	-1271	「同期ダウンロードは完了しませんでした」 444 ページ
13959	-974	「'%1' のファイル I/O に失敗しました。」 251 ページ
13960	-975	「'%1' のボリューム ID が不正です。」 251 ページ
16846	-840	「暗号化キーが不正であるか、見つかりません。」 322 ページ
36007	-628	「ゼロで除算しようとしてしました。」 295 ページ
1333336	-1177	「プランがありません。このタイプの文またはデータベースでは、HTML_PLAN 関数はサポートされていません。」 407 ページ



## SQL Anywhere のエラー・メッセージ (五十音順、英数字)

**%1 から %2 に変換するときに、無効なマルチバイトの入力文字が検出されました。**

エラー定数	SQLE_ILLEGAL_MULTIBYTE_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	入力文字列の文字セット。
パラメータ 2	出力文字列の文字セット。
重大度	16
SQLCODE	-879
SQLSTATE	WC003
Sybase エラー・コード	13890

### 考えられる原因

サーバで入力文字列に対して文字セット変換を実行しているときに、無効なマルチバイト文字が検出されました。処理がアボートされました。

**%1 から %2 に変換するときに、無効なマルチバイトの入力文字が検出されました。**

エラー定数	SQLE_ILLEGAL_MULTIBYTE_WARNING
ODBC 2 ステータス	01000
ODBC 3 ステータス	01000
パラメータ 1	入力文字列の文字セット。
パラメータ 2	出力文字列の文字セット。
重大度	10
SQLCODE	125

SQLSTATE	01WC1
Sybase エラー・コード	13892

**考えられる原因**

サーバで入力文字列に対して文字セット変換を実行しているときに、無効なマルチバイト文字が検出されました。不正な文字は変換されないまま直接コピーされました。不正な文字の後のデータは正しく解釈されていない可能性があります。on\_charset\_conversion\_failure オプションを参照してください。

**%1 から %2 に変換するときに文字を置換しました。**

エラー定数	SQLE_SIMPLE_SUBSTITUTION_WARNING
ODBC 2 ステータス	01000
ODBC 3 ステータス	01000
パラメータ 1	入力文字列の文字セット。
パラメータ 2	出力文字列の文字セット。
重大度	10
SQLCODE	127
SQLSTATE	01WC3
Sybase エラー・コード	13896

**考えられる原因**

サーバで入力文字列に対して文字セット変換を実行しているときに、データベース文字セットで表現できない文字がありました。そのような文字は置換されました。on\_charset\_conversion\_failure オプションを参照してください。

**%1 から %2 に変換する場合は文字の置換が必要です。**

エラー定数	SQLE_SIMPLE_SUBSTITUTION_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	入力文字列の文字セット。

パラメータ 2	出力文字列の文字セット。
重大度	16
SQLCODE	-881
SQLSTATE	WC005
Sybase エラー・コード	13894

**考えられる原因**

サーバで入力文字列に対して文字セット変換を実行しているときに、データベース文字セットで表現できない文字がありました。処理がアボートされました。on\_charset\_conversion\_failure オプションを参照してください。

## %1 を %2 に変換できません。データ・ファイルのロー %4 の カラム '%3' に不正な値が指定されています。

エラー定数	SQL_E_CONVERSION_ERROR_LOAD_TABLE
ODBC 2 ステータス	07006
ODBC 3 ステータス	07006
パラメータ 1	変換できなかった値。
パラメータ 2	変換しようとしたデータ型。
パラメータ 3	値を挿入しようとしたカラム名。
パラメータ 4	無効なデータが発生したデータ・ファイルの行番号。
重大度	16
SQLCODE	-162
SQLSTATE	53017
Sybase エラー・コード	13887

**考えられる原因**

LOAD TABLE に指定したデータ・ファイルに、必要なデータ型に変換できない値があります。

**'%1' で内部エラーが発生しました。**

エラー定数	SQLE_JDBC_OBJ_INTERNAL_ERR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	エラーになったオブジェクトの Java クラス。
重大度	20
SQLCODE	-695
SQLSTATE	WJ009
Sybase エラー・コード	13604

**考えられる原因**

このエラーは、内部 JDBC オブジェクト・エラーです。このエラーを再現できた場合は、Sybase に連絡してください。

**'%1' で内部エラーが発生しました。**

エラー定数	SQLE_JNAT_OBJ_INTERNAL_ERR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	エラーになったオブジェクトの Java クラス。
重大度	20
SQLCODE	-713
SQLSTATE	WJ013
Sybase エラー・コード	13608

**考えられる原因**

このエラーは、内部ネイティブ Java オブジェクト・エラーです。このエラーを再現できた場合は、Sybase に連絡してください。

**'%1' という名前の同期サブスクリプションが見つかりません。**

エラー定数	SQLE_SYNCHRONIZATION_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	サブスクリプションの名前。
重大度	16
SQLCODE	-767
SQLSTATE	5RW12
Sybase エラー・コード	13777

**考えられる原因**

同期サブスクリプションの名前のスペルを間違えたか、同期サブスクリプション名をユーザ名で正しく修飾しませんでした。

**'%1' という名前の同期ユーザが見つかりません。**

エラー定数	SQLE_SYNC_SITE_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	同期ユーザの名前。
重大度	16
SQLCODE	-843
SQLSTATE	5RW37
Sybase エラー・コード	13849

**考えられる原因**

同期サイトの名前のスペルを間違えたか、同期サイト名をユーザ名で正しく修飾しませんでした。

**'%1' という名前の同期定義が見つかりません。**

エラー定数	SQLE_SYNC_DEFINITION_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	同期定義の名前。
重大度	16
SQLCODE	-844
SQLSTATE	5RW39
Sybase エラー・コード	13850

**考えられる原因**

同期定義の名前のスペルを間違えたか、同期定義名をユーザ名で正しく修飾しませんでした。

**'%1' にサブスクリプションを作成できません。**

エラー定数	SQLE_CANNOT_SUBSCRIBE
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	パブリケーションの名前。
重大度	16
SQLCODE	-768
SQLSTATE	5RW13
Sybase エラー・コード	13778

**考えられる原因**

同期パブリケーションなど、一部のパブリケーションはサブスクリプションを作成できません。

**'%1' への文字セット変換は実行できません。代わりに '%2' が使用されます。**

エラー定数	SQLE_CANNOT_PERFORM_CHAR_TRANSLATION
ODBC 2 ステータス	01000
ODBC 3 ステータス	01000
パラメータ 1	アプリケーションが要求した文字セットの名前。
パラメータ 2	データベースが使用する文字セットの名前。
重大度	10
SQLCODE	114
SQLSTATE	01W12
Sybase エラー・コード	13613

#### 考えられる原因

サーバは、データベースが使用する文字セットからアプリケーションが要求した文字セットに文字変換を実行できません。

**!%"%1\ と同じ設定でこのテーブルに新しいテキストを作成できませんでした。**

エラー定数	SQLE_TEXT_INDEX_SAME_SETTING_IDX
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	同じ設定を持つもう一方のテキスト・インデックスの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1304
SQLSTATE	WT021
Sybase エラー・コード	13455

**考えられる原因**

1つのテーブルに対して、同じカラム・リストおよび設定を持つ2つのテキスト・インデックスは作成できません。

## "final" 変更子で修飾されるメンバ・フィールドを更新できません。

エラー定数	SQLE_CANNOT_UPDATE_FINAL_FIELD
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-699
SQLSTATE	WJ012
Sybase エラー・コード	13606

**考えられる原因**

"final" 変更子で修飾される Java メンバを修正しようとしてしました。これらのメンバは定数で、修正できません。

## ALTER PUBLICATION を使用して同期エントリを変更できません。

エラー定数	SQLE_CANNOT_MODIFY_SYNC_AS_PUB
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42S02
重大度	16
SQLCODE	-769
SQLSTATE	5RW14
Sybase エラー・コード	13779



**考えられる原因**

ALTER PUBLICATION 文を使用して、同期エントリを修正しようとした。

## ALTER SYNCHRONIZATION を使用してパブリケーション・エントリを変更できません。

エラー定数	SQLE_CANNOT_MODIFY_PUB_AS_SYNC
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42S02
重大度	16
SQLCODE	-770
SQLSTATE	5RW15
Sybase エラー・コード	13780

**考えられる原因**

ALTER SYNCHRONIZATION 文を使用して、パブリケーション・エントリを修正しようとした。

## ALTER 句が矛盾しています。

エラー定数	SQLE_ALTER_CLAUSE_CONFLICT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	15
SQLCODE	-125
SQLSTATE	53W01
Sybase エラー・コード	13623

**考えられる原因**

PRIMARY KEY 句、FOREIGN KEY 句、または UNIQUE 句は、ALTER TABLE 文のただ 1 つの句である必要があります。

## ATTACH TRACING TO LOCAL DATABASE は、強力な暗号化が施されているデータベースでは使用できません。

エラー定数	SQLE_NO_LOCAL_CONNECTIONS_TO_ENCRYPTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1088
SQLSTATE	WW069
Sybase エラー・コード	13426

### 考えられる原因

ローカル・データベースは強力に暗号化されているので、ATTACH TRACING 文の LOCAL DATABASE 句を使用できません。接続文字列でデータベースの暗号化キーを指定する必要があります。

## ATTACH TRACING は、トレース・データベースに接続できませんでした。

エラー定数	SQLE_ATTACH_TRACING_FAILED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1097
SQLSTATE	08W95
Sybase エラー・コード	13418

### 考えられる原因

トレーシング・データベースへの接続を確立できませんでした。接続文字列を確認し、他のクライアントが接続できることを確認してください。別のサーバにトレーシングを追加しようとしている場合は、接続がファイアウォールでブロックされている可能性があります。

## AUTHORIZATION が Off の場合はユーザ名を指定する必要があります。

エラー定数	SQLE_SERVICE_REQUIRES_USER_NAME
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-918
SQLSTATE	42W96
Sybase エラー・コード	13566

### 考えられる原因

AUTHORIZATION が Off の場合は、有効なユーザ名を指定する必要があります。

## BACKUP を実行しようとした接続には、コミットされていないトランザクションがあります。

エラー定数	SQLE_BACKUP_HAS_UNCOMMITTED_TRANS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1028
SQLSTATE	WB014
Sybase エラー・コード	13482

### 考えられる原因

BACKUP ... WAIT BEFORE START または BACKUP ... WAIT AFTER END を実行しようとした接続には、コミットされていないトランザクションがあります。COMMIT または ROLLBACK を実行してからバックアップを実行する必要があります。

**BACKUP 句 '%1' が '%2' と競合します。**

エラー定数	SQLE_INVALID_BACKUP_STATEMENT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	最初の BACKUP 句。
パラメータ 2	2 番目の BACKUP 句。
重大度	16
SQLCODE	-1057
SQLSTATE	WB016
Sybase エラー・コード	13456

**考えられる原因**

BACKUP 文で指定した句が相互に排他的です。

**BLOB プライマリ・キーでテーブル '%1' に同期エントリを作成できません。**

エラー定数	SQLE_BLOB_IN_SYNC_TABLE_PK
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	テーブルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-779
SQLSTATE	5RW18
Sybase エラー・コード	13789

**考えられる原因**

BLOB プライマリ・キーでテーブルの同期エントリを作成しようとした。

**CDATA に名前が必要です。**

エラー定数	SQLE_FOR_XML_EXPLICIT_NAMED_CDATA
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-903
SQLSTATE	WX011
Sybase エラー・コード	13580

**考えられる原因**

FOR XML EXPLICIT クエリの CDATA ディレクティブに、名前が指定されていません。

**CHECKPOINT 文にはロールバック・ログが必要です。**

エラー定数	SQLE_CHECKPOINT_REQUIRES_UNDO
ODBC 2 ステータス	40001
ODBC 3 ステータス	40001
重大度	16
SQLCODE	-212
SQLSTATE	42W20
Sybase エラー・コード	13653

**考えられる原因**

データベース・サーバがロールバック・ログなしのバルク・モードで実行されているときは、CHECKPOINT 文は使用できません。

**cookie が無効なためアプリケーションの登録を取り消せません。**

エラー定数	SQLE_DEREG_APP_NOT_FOUND
-------	--------------------------

ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42S02
重大度	16
SQLCODE	-785
SQLSTATE	5RW24
Sybase エラー・コード	13795

**考えられる原因**

アプリケーションが正常に登録されていないか、すでに登録が解除されています。

## CREATE/DROP STATISTICS 文では、仮想テーブルを参照できません。

エラー定数	SQLE_HISTOGRAMS_NOT_SUPPORTED_ON_OBJECT
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-858
SQLSTATE	42W67
Sybase エラー・コード	13861

**考えられる原因**

CREATE/DROP STATISTICS を使用して、ビューまたはリモート・テーブルなど、仮想データベース・オブジェクトの1つ以上のヒストグラムを作成/削除しようとした。CREATE STATISTICS 文および DROP STATISTICS 文が参照できるのは、接続している SQL Anywhere データベースにあるベース・テーブル、ローカル・テンポラリ・テーブル、またはグローバル・テンポラリ・テーブルのみです。

## DB 領域が最大ファイル・サイズに達しています。

エラー定数	SQLE_DBSPACE_FULL
-------	-------------------

ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-604
SQLSTATE	04W07
Sybase エラー・コード	5006

**考えられる原因**

DB 領域がディスク・ページの最大数に達しました。DB 領域は通常、オペレーティング・システムの最大ファイル・サイズに制限されています。これは致命的なエラーです。

**dbmlsync ダウンロード・フェーズでの競合が検出されました。**

エラー定数	SQL_E_RECORDING_CONFLICT_DETECTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	11
SQLCODE	-828
SQLSTATE	WW027
Sybase エラー・コード	13834

**考えられる原因**

Dbmlsync はこのエラーを使用して、他の接続によって修正されたローとのダウンロード・フェーズ競合を検出します。

**GROUP BY 句には定数式を使用できません。**

エラー定数	SQL_E_NO_CONSTANTS_IN_GROUP_BY
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000

重大度	15
SQLCODE	-928
SQLSTATE	42W9D
Sybase エラー・コード	13557

**考えられる原因**

GROUP BY 句で定数を使用しました。定数は、クエリの GROUP BY 句に使用しないでください。GROUP BY 句では、定数であるビュー内のカラムを参照することができます。また、定数であるビューのカラムを使用する式を使用できます。

**IMMEDIATE REFRESH テキスト・インデックスにはコマンドを使用できません。**

エラー定数	SQLE_TEXT_IMMEDIATE_NOT_ALLOWED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1182
SQLSTATE	WT015
Sybase エラー・コード	13333

**考えられる原因**

immediate refresh を指定して作成されたインデックスには、REFRESH TEXT INDEX および TRUNCATE TEXT INDEX を使用できません。テキスト・インデックスを、immediate refresh を使用するように変更することや、immediate refresh の使用を停止するように変更することはできません。

**IQ データベースにはログが必要です。**

エラー定数	SQLE_IQ_LOG_REQUIRED
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000



重大度	16
SQLCODE	-933
SQLSTATE	0AQ48
Sybase エラー・コード	102

**考えられる原因**

IQ データベースには、トランザクション・ログ・ファイルを使用する必要があります。

**IQ メモリ・マネージャを初期化できません : %1**

エラー定数	SQLE_IQ_MEMORY_MANAGER_FAILED
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメータ 1	発生したエラーを説明するメッセージ。
重大度	18
SQLCODE	-745
SQLSTATE	08W52
Sybase エラー・コード	13758

**考えられる原因**

System V 共有メモリが要求されましたが、割り当てることができませんでした。

**Java オブジェクトをデシリアライズできません。**

エラー定数	SQLE_JAVA_DESERIALIZATION_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-663

SQLSTATE	WW018
Sybase エラー・コード	13745

**考えられる原因**

永続的な Java オブジェクトをデータベース・カラムから読み込むことはできません。オブジェクトのクラスが削除されたか、修正された可能性があります。

**Java クラス '%1' にインデックスを作成できません。**

エラー定数	SQLE_CANNOT_INDEX_ON_JAVA_CLASS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	クラスの名前。
重大度	16
SQLCODE	-704
SQLSTATE	WW022
Sybase エラー・コード	13748

**考えられる原因**

Java クラスの型でインデックスを作成しようとしてしました。このようなインデックスを必要とする操作を行おうとしてしました。

**ORDER BY 句にあるため、カラム '%1' を更新できません。**

エラー定数	SQLE_CANNOT_UPDATE_ORDER_BY_COLUMN
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	ORDER BY 句にあるカラムの名前。
重大度	15
SQLCODE	-814

SQLSTATE	42W37
Sybase エラー・コード	6267

**考えられる原因**

ORDER BY 句にあるカラムを更新しようとした。ansi\_update\_constraints オプションは、この更新が許可されるかどうかを制御します。

**SELECT 句にないため、カラム '%1' を更新できません。**

エラー定数	SQLE_UPDATE_NOT_IN_SELECT
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	SELECT 句にないカラムの名前。
重大度	15
SQLCODE	-815
SQLSTATE	42W38
Sybase エラー・コード	7740

**考えられる原因**

select リストに明示的にないカラムを更新しようとした。ansi\_update\_constraints オプションは、この更新が許可されるかどうかを制御します。

**SELECT 文以外は記述できません。**

エラー定数	SQLE_DESCRIBE_NONSELECT
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
重大度	16
SQLCODE	-160
SQLSTATE	07005

Sybase エラー・コード	3819
----------------	------

**考えられる原因**

C 言語インタフェースで、SELECT 文以外の文の select リストを記述しようとした。Ultra Light では、SELECT 以外の文のスキーマを取り出そうとするとこのエラーが発生する可能性があります。

**sys または public ユーザ ID にログイン ID をマップすることはできません。**

エラー定数	SQLE_LOGON_SYSMAP
ODBC 2 ステータス	28000
ODBC 3 ステータス	28000
重大度	16
SQLCODE	-248
SQLSTATE	28W07
Sybase エラー・コード	13696

**考えられる原因**

ログイン ID に SYS または PUBLIC を割り当てようとした。

**System V リソースを割り当てることができません。**

エラー定数	SQLE_IQ_SYSTEM_V_FAILURE
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	18
SQLCODE	-746
SQLSTATE	08W53
Sybase エラー・コード	13759

**考えられる原因**

IQ が System V リソースを割り当てることができませんでした。使用していない System V セマフォと共有メモリのセグメントを削除するか、これらのリソースのオペレーティング・システム設定値を大きくしてください。

**XML 出力に制御文字があります。**

エラー定数	SQLE_CONTROL_CHARACTER_IN_XML_OUTPUT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-911
SQLSTATE	WX015
Sybase エラー・コード	13573

**考えられる原因**

XML コンテンツを生成するときに、16 進数の 20 未満のスペース以外の文字が検出されました。XML コンテンツとして使用する前に、制御文字を含む文字列を Base64 でエンコードすることを検討してください。そのためには、FOR XML クエリまたは SQLX 関数で、LONG BINARY などの型に文字列をキャストします。

**アクティブなデータベース要求を 2 つ出そうとしました。**

エラー定数	SQLE_DOUBLE_REQUEST
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-298
SQLSTATE	42W22
Sybase エラー・コード	13663

**考えられる原因**

Embedded SQL で、処理中の要求があるのにデータベースに要求を送信しようとした。データベースにアクセスしている各スレッドに対して個別の SQLCA および接続を使用するか、スレッド同期呼び出しを使用して SQLCA が一度に 1 つのスレッドのみによってアクセスされるようにしてください。

## アクティブな登録された接続があるため '%1' の登録を取り消せません。

エラー定数	SQLE_DEREG_APP_IN_USE
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	アプリケーションの名前。
重大度	16
SQLCODE	-786
SQLSTATE	5RW25
Sybase エラー・コード	13796

**考えられる原因**

アプリケーションに登録されているアクティブな接続があるにもかかわらず、アプリケーションの登録を取り消そうとしました。

## アトミックなオペレーション内での COMMIT/ROLLBACK は許可されません。

エラー定数	SQLE_ATOMIC_OPERATION
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-267
SQLSTATE	42W28

Sybase エラー・コード	13640
----------------	-------

**考えられる原因**

アトミック操作中に、COMMIT または ROLLBACK 文を実行しようとしてしました。

## アプリケーションの cookie が無効なため接続を登録できません。

エラー定数	SQLE_CANNOT_REG_CONN
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42S02
重大度	16
SQLCODE	-784
SQLSTATE	5RW23
Sybase エラー・コード	13794

**考えられる原因**

指定した cookie に対してアプリケーション登録が見つかりませんでした。

## インデックス '%1' が見つかりません。

エラー定数	SQLE_INDEX_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	S0012
ODBC 3 ステータス	42S12
パラメータ 1	見つからなかったインデックスの名前。
重大度	16
SQLCODE	-183
SQLSTATE	52W03
Sybase エラー・コード	6226

**考えられる原因**

存在しないインデックスを使用して、操作を実行しようとした。スペルが間違っていないかチェックしてください。インデックス名をユーザ ID で修飾する必要があるかどうかをチェックしてください。

**インデックスのカラムを変更することはできません。**

エラー定数	SQLE_COLUMN_IN_INDEX
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-127
SQLSTATE	53W05
Sybase エラー・コード	4939

**考えられる原因**

プライマリ・キーまたは外部キーの一部であるカラムの定義を、削除または修正しようとした。インデックスのあるカラムを削除しようとした。この場合は、インデックスまたはキーを削除し、ALTER 文を実行して、インデックスまたはキーを元に戻してください。

**エイリアス '%1' がユニークではありません。**

エラー定数	SQLE_ALIAS_NOT_UNIQUE
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	エイリアスの名前。
重大度	15
SQLCODE	-830
SQLSTATE	42W60
Sybase エラー・コード	13836



**考えられる原因**

同じエイリアスが select リストで 2 回以上使用されています。

## オブジェクト '%1' を削除または変更できません。少なくとも 1 つのオブジェクト (%2 '%3') が依存しています。

エラー定数	SQLE_OBJECT_HAS_DEPENDENTS
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	削除または修正できなかったオブジェクトの名前。
パラメータ 2	削除または修正できなかったオブジェクトに依存するオブジェクトのタイプ。
パラメータ 3	削除または修正できなかったオブジェクトに依存するオブジェクトの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1037
SQLSTATE	55W16
Sybase エラー・コード	13474

**考えられる原因**

削除または修正しようとしたテーブルまたはカラムなどのオブジェクトは、マテリアライズド・ビューなど別のオブジェクトで使用されているので、自動的に無効にできません。このオブジェクトに依存しているオブジェクトを無効にするか、削除すると、このオブジェクトを削除または修正できません。

## オプション・ウォッチ・リストに含まれているため、データベース・オプション \"%1\" を設定できません

エラー定数	SQLE_OPTION_ON_WATCH_LIST
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	オプションの名前。

重大度	16
SQLCODE	-1180
SQLSTATE	WW096
Sybase エラー・コード	13335

**考えられる原因**

オプション・ウォッチ・リストに含まれているデータベース・オプションを設定しようとしてしました。オプション・ウォッチ・リストは、削除されているか旧式になっているオプションの参照を検出しやすくするために使用されます。

**カーソル・オプションの値が変更されました。**

エラー定数	SQLE_CURSOR_OPTIONS_CHANGED
ODBC 2 ステータス	01S02
ODBC 3 ステータス	01S02
重大度	10
SQLCODE	121
SQLSTATE	01S02
Sybase エラー・コード	13857

**考えられる原因**

関連するクエリに対して要求されたカーソル・オプションの値が、データベース・サーバでサポートされていませんでした。類似したオプション設定で置き換えられました。

**カーソルが開きません。**

エラー定数	SQLE_CURSOR_NOT_OPEN
ODBC 2 ステータス	34000
ODBC 3 ステータス	34000
重大度	16
SQLCODE	-180

SQLSTATE	24501
Sybase エラー・コード	559

**考えられる原因**

開いていないカーソルを使用しようとしてしました。

**カーソルが宣言されていません。**

エラー定数	SQLE_CURSOR_NOT_DECLARED
ODBC 2 ステータス	24000
ODBC 3 ステータス	24000
重大度	16
SQLCODE	-170
SQLSTATE	24W01
Sybase エラー・コード	557

**考えられる原因**

宣言されていないカーソルを OPEN しようとしてしました。

**カーソルが有効な状態にありません。**

エラー定数	SQLE_CURSOR_INVALID_STATE
ODBC 2 ステータス	24000
ODBC 3 ステータス	24000
重大度	16
SQLCODE	-853
SQLSTATE	24000
Sybase エラー・コード	557

**考えられる原因**

操作に対して有効な状態でないカーソルを使用しようとしてしました。たとえば、カーソルにエラーが発生している可能性があります。

**カーソルでローをユニークに識別できません。**

エラー定数	SQLE_CANNOT_UNIQUELY_IDENTIFY_ROWS
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-295
SQLSTATE	09W05
Sybase エラー・コード	311

**考えられる原因**

ローをユニークに識別するカラム・セットが作成できない SELECT 文で、UNIQUE カーソルを開きました。テーブルの 1 つがプライマリ・キーまたは一意性制約で定義できません。あるいは SELECT 文に UNION、INTERSECT、EXCEPT、または GROUP BY が含まれています。

**カーソルは FETCH NEXT 操作に制限されています。**

エラー定数	SQLE_NO_SCROLL_CURSOR
ODBC 2 ステータス	S1106
ODBC 3 ステータス	HY106
重大度	16
SQLCODE	-668
SQLSTATE	09W06
Sybase エラー・コード	13710

**考えられる原因**

NO SCROLL カーソルで無効な FETCH 操作が検出されました。前方専用カーソルの場合、許可されている FETCH 操作は FETCH RELATIVE 0 と FETCH NEXT (FETCH RELATIVE 1) だけです。

**カーソルはすでに開いています。**

エラー定数	SQLE_CURSOR_ALREADY_OPEN
ODBC 2 ステータス	24000
ODBC 3 ステータス	24000
重大度	16
SQLCODE	-172
SQLSTATE	24502
Sybase エラー・コード	558

**考えられる原因**

すでに開いているカーソルを OPEN しようとしました。

**カラム '%1' が見つかりません。**

エラー定数	SQLE_COLUMN_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S22
パラメータ 1	見つからなかったカラムの名前。
重大度	16
SQLCODE	-143
SQLSTATE	52003
Sybase エラー・コード	207

**考えられる原因**

カラム名のスペルを間違えたか、探しているカラムは別のテーブルにあります。

## カラム '%1' が複数のテーブルで見つかりました。相関名が必要です。

エラー定数	SQLC_COLUMN_AMBIGUOUS
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	あいまいなカラムの名前。
重大度	16
SQLCODE	-144
SQLSTATE	52002
Sybase エラー・コード	209

### 考えられる原因

カラムがクエリの対象になっている複数のテーブルに存在し、かつカラムに相関名を使用していない。参照に相関名を追加する必要があります。

## カラム '%1' は、それを含んでいるテーブルのどのインデックスにも属していません。

エラー定数	SQLC_COLUMN_NOT_INDEXED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	インデックスで見つからなかったカラムの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1101
SQLSTATE	WW073
Sybase エラー・コード	13413

### 考えられる原因

指定したカラムは、それを含んでいるテーブルのどのインデックスにも属していません。

## カラム名は %1 でなければなりません。

エラー定数	SQLE_NO_XML_IDENTIFIER
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	名前を付ける必要があるカラムの番号。
重大度	16
SQLCODE	-874
SQLSTATE	WX001
Sybase エラー・コード	13880

### 考えられる原因

名前のないカラムは、XML 要素名または属性名として使用できません。AS を使用して、select リストの名前のないカラムに名前を付けてください。

## クライアント／サーバの通信プロトコルのバージョンが違います。

エラー定数	SQLE_PROTOCOL_MISMATCH
ODBC 2 ステータス	08S01
ODBC 3 ステータス	08S01
重大度	21
SQLCODE	-88
SQLSTATE	08W15
Sybase エラー・コード	1602

### 考えられる原因

クライアントとサーバのプロトコル・バージョンが異なるため、接続に失敗しました。クライアントとサーバのソフトウェア・バージョンは必ず同一にしてください。

## クライアント・アプリケーションで、データの転送が許可されませんでした ('%1')

エラー定数	SQLE_CLIENT_TRANSFER_DISALLOWED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	アプリケーションとの間で転送されているオブジェクトの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1172
SQLSTATE	WW093
Sybase エラー・コード	13341

### 考えられる原因

クライアント・アプリケーションで、サーバによって開始されたデータの転送が拒否されました。サーバによって開始されたデータの転送を許可するために、アプリケーションで、要求されたデータの転送を拒否する検証コールバックが登録されました。

## クライアント・アプリケーションでは、データの転送は許可されていません ('%1')

エラー定数	SQLE_CLIENT_TRANSFER_NO_VALIDATION
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	アプリケーションとの間で転送されているオブジェクトの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1171
SQLSTATE	WW092
Sybase エラー・コード	13342



**考えられる原因**

クライアント・アプリケーションでは、サーバによって開始されたデータの転送は許可されていません。サーバによって開始されたデータの転送を許可するために、アプリケーションで、クライアント・ライブラリを使用して検証コールバック・メカニズムを登録する必要があります。

## クライアント・サーバのバージョンとデータベース・サーバのバージョンが適合しません。

エラー定数	SQLE_DBLIB_ENGINE_MISMATCH
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	21
SQLCODE	-231
SQLSTATE	08W19
Sybase エラー・コード	13658

**考えられる原因**

実行ファイルで、データベース・サーバのバージョン番号に一致しないデータベース・インタフェース・ライブラリが使用されました。

## クライアント・ライブラリで、転送中のオブジェクト ('%1') にアクセスする際にパーミッション・エラーが発生したことが報告されました

エラー定数	SQLE_CLIENT_TRANSFER_PERMS_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	アプリケーションとの間で転送されているオブジェクトの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1200
SQLSTATE	WW103

Sybase エラー・コード	13315
----------------	-------

**考えられる原因**

クライアント・アプリケーションで、サーバからのデータ転送要求に対してオブジェクトにアクセスしようとしたときにパーミッション・エラーが発生したことが報告されました。オブジェクトにアクセスするために必要なオペレーティング・システム認証がクライアント・アプリケーションにない可能性があります。

## クライアント・ライブラリで、転送中のオブジェクト ('%1') を開く際にエラーが発生したことが報告されました

エラー定数	SQLE_CLIENT_TRANSFER_OPEN_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	アプリケーションとの間で転送されているオブジェクトの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1201
SQLSTATE	WW102
Sybase エラー・コード	13314

**考えられる原因**

クライアント・アプリケーションで、サーバからのデータ転送要求に対してオブジェクトを開こうとしたときにエラーが発生したことが報告されました。オブジェクトの名前が無効であることや、オブジェクトがないことなどの理由が考えられます。

## クライアント・ライブラリで、転送中のデータにアクセスする際にエラーが発生したことが報告されました ('%1')

エラー定数	SQLE_CLIENT_TRANSFER_ACCESS_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	アプリケーションとの間で転送されているオブジェクトの名前。

重大度	16
SQLCODE	-1173
SQLSTATE	WW094
Sybase エラー・コード	13340

**考えられる原因**

クライアント・アプリケーションで、サーバからの転送要求に対してデータにアクセスしようとしたときにエラーが発生したことが報告されました。クライアント・アプリケーションでデータ・オブジェクトに対するパーミッションが不足していることや、オペレーティング・システムで報告された他のエラーなどの理由が考えられます。

**クライアントでメモリが不足しています。**

エラー定数	SQLE_CLIENT_OUT_OF_MEMORY
ODBC 2 ステータス	S1001
ODBC 3 ステータス	HY001
重大度	17
SQLCODE	-876
SQLSTATE	08W65
Sybase エラー・コード	13882

**考えられる原因**

データベース・クライアントがメモリを割り当てようとしたときに、エラーが発生しました。

**クラス '%1' はパブリックなフィールド '%2' がありません。**

エラー定数	SQLE_FIELD_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	指定したフィールドが見つからなかったクラスの名前。
パラメータ 2	見つからなかったフィールドの名前。

重大度	16
SQLCODE	-93
SQLSTATE	WW013
Sybase エラー・コード	13703

**考えられる原因**

式が参照したフィールドは、存在しないか、パブリックではありません。

**クラス '%1' を JAR から圧縮解除できませんでした。**

エラー定数	SQLE_CANNOT_DECOMPRESS_CLASS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	JAR 内のクラス・ファイルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-652
SQLSTATE	WP003
Sybase エラー・コード	13742

**考えられる原因**

ZIP ファイルまたは JAR ファイルからクラス・ファイルが抽出されるには、Java ランタイム・ライブラリをインストールする必要があります。

**クラス '%1' を削除できません : JAR のメンバです。**

エラー定数	SQLE_CLASS_MEMBER_OF_JAR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	削除できないクラス・ファイルの名前。
重大度	16

SQLCODE	-653
SQLSTATE	WP004
Sybase エラー・コード	13743

**考えられる原因**

まだ JAR の一部であるクラス・ファイルを削除しようとした (クラス・ファイルは JAR とともに削除する必要があります)。

## クラス '%1' を使用して Java オブジェクトをシリアル化できません。

エラー定数	SQLE_JAVA_SERIALIZATION_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	シリアル化できない値のクラス。
重大度	16
SQLCODE	-662
SQLSTATE	WI009
Sybase エラー・コード	13744

**考えられる原因**

Java オブジェクトは、永続的なデータベース・カラムとしてシリアル化できません。

## クラスを通してインスタンス・メンバにアクセスできません。

エラー定数	SQLE_CANNOT_ACCESS_INSTANCE_MEMBER
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-701

SQLSTATE	WJ011
Sybase エラー・コード	13607

**考えられる原因**

非静的なフィールドまたはメソッドには、オブジェクト・インスタンスを介してアクセスする必要があります。

**このデータベースでは、計算カラムはサポートされていません。**

エラー定数	SQLE_COMPUTED_COLUMNS_NOT_SUPPORTED
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-709
SQLSTATE	0AW06
Sybase エラー・コード	13722

**考えられる原因**

現在のデータベースが古いデータベースで、計算 (マテリアライズされた) カラム用のカタログ・サポートを持っていません。この機能を使用するには、データベースを最新版にアップグレードしてください。

**このユーザのログイン・ポリシーにより接続は許可されませんでした**

エラー定数	SQLE_CONNECTION_DISALLOWED_BY_LOGIN_POLICY
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1212
SQLSTATE	28W15

Sybase エラー・コード	13303
----------------	-------

**考えられる原因**

ユーザのログイン・ポリシーに従って、接続試行は許可されませんでした。DBA 権限を持つユーザが ALTER USER 文を使用してこのユーザをリセットすることが必要な場合があります。

## コミットされていないデータを保留にしたままで、トランザクションにエンリストすることはできません。

エラー定数	SQLE_CANNOT_ENLIST_WITH_UNCOMMITTED_DATA
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-802
SQLSTATE	55W11
Sybase エラー・コード	13812

**考えられる原因**

コミットされていない保留中のデータがある状態では、接続をトランザクションにエンリストすることはできません。

## シングルバイト・コンバータの利用時には、文字変換のエラーまたは警告レポートは使用できません。

エラー定数	SQLE_CHARACTER_CONVERSION_REPORT_NOT_AVAILABLE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-883
SQLSTATE	WC007

Sybase エラー・コード	13898
----------------	-------

**考えられる原因**

on\_charset\_conversion\_failure オプションを設定し、警告またはエラーをレポートしようとした。シングルバイトからシングルバイトへのコンバータを使用する場合、この設定は使用できません。

**スキーマ・ファイル '%1' にアクセスできません。**

エラー定数	SQLE_CANNOT_ACCESS_SCHEMA_FILE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	ファイル名、または名前が指定されていないことを示す値。
重大度	16
SQLCODE	-951
SQLSTATE	WW031
Sybase エラー・コード	13537

**考えられる原因**

現在の操作を実行するには、Ultra Light にスキーマ・ファイルが必要です。スキーマ・ファイルが指定されていない、指定したファイルにアクセスできない、または指定したファイルが破損しています。

**スキーマのアップグレードは現在有効ではありません。**

エラー定数	SQLE_SCHEMA_UPGRADE_NOT_ALLOWED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-953
SQLSTATE	WW033



Sybase エラー・コード	13535
----------------	-------

**考えられる原因**

データベースが同時に使用中であるため、スキーマをアップグレードできません。たとえば、すべてのカーソルを閉じないと、スキーマをアップグレードできません。

**ストア DLL (%1) のエン트리・ポイントを実行できません。**

エラー定数	SQLE_STORE_ENTRY_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	エン트리・ポイントが失敗したストア DLL の名前。
重大度	19
SQLCODE	-647
SQLSTATE	08W35
Sybase エラー・コード	13700

**考えられる原因**

ストア DLL エン트리・ポイントを検索または実行しようとしたますが、失敗しました。

**ストア DLL \"%1\" をロードできません。**

エラー定数	SQLE_STORE_NOT_LOADED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	ロードできなかったストア DLL の名前。
重大度	19
SQLCODE	-646
SQLSTATE	08W34
Sybase エラー・コード	13699

**考えられる原因**

ストア DLL をロードしようとしたのですが、失敗しました。

## ストアド・プロシージャ内のリモート・テーブルに関わる式を処理できません。

エラー定数	SQLE_OMNI_EXPRESSION_IN_PROC
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	12
SQLCODE	-823
SQLSTATE	WO023
Sybase エラー・コード	13829

**考えられる原因**

ストアド・プロシージャ内にリモート・テーブルを含む式がサーバで発生しました。式が複雑すぎて処理できませんでした。

## スナップショット・アイソレーションを非スナップショット・トランザクションで使用しようとした。

エラー定数	SQLE_NON_SNAPSHOT_TRANSACTION
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1065
SQLSTATE	42WBB
Sybase エラー・コード	13449

**考えられる原因**

トランザクションでスナップショット・アイソレーションを使用しようとしたのですが、このトランザクションはスナップショット・アイソレーションを指定して開始されていません。

**すべてのカラム参照引数は、同じテーブルを参照しなければなりません。**

エラー定数	SQLE_TEXT_TOO_MANY_TABLE_REFERENCES
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1157
SQLSTATE	WT002
Sybase エラー・コード	13356

**考えられる原因**

CONTAINS クエリ内のすべてのカラム参照は、同じテーブルを参照しなければなりません。

**すべてのスレッドがブロックされています。**

エラー定数	SQLE_THREAD_DEADLOCK
ODBC 2 ステータス	40001
ODBC 3 ステータス	40001
重大度	13
SQLCODE	-307
SQLSTATE	40W06
Sybase エラー・コード	1205

**考えられる原因**

ローの読み込み／書き込みを行おうとしたのですが、他のユーザがそのローをロックしています。また、他のすべてのスレッド(-gn サーバ・オプションを参照してください)は、ロックが解除さ

れるのを待ってブロックされています。これはデッドロック状態であり、トランザクションがロールバックされるよう選択されました。

## ダイナミック・ライブラリ '%1' をロードできませんでした。

エラー定数	SQLE_COULD_NOT_LOAD_LIBRARY
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	ロードできなかったダイナミック・ライブラリの名前。
重大度	19
SQLCODE	-620
SQLSTATE	WW006
Sybase エラー・コード	13677

### 考えられる原因

このエラーは、通常、外部関数呼び出しで名前が指定されたダイナミック・ライブラリのロードに失敗した場合に発生します。

## ダイナミック・ライブラリ '%2' に '%1' が見つかりませんでした。

エラー定数	SQLE_COULD_NOT_FIND_FUNCTION
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	見つからなかった関数の名前。
パラメータ 2	関数が見つからなかったダイナミック・ライブラリの名前。
重大度	19
SQLCODE	-621
SQLSTATE	WW007
Sybase エラー・コード	13678

**考えられる原因**

ダイナミック・ライブラリ内に外部関数を見つけることができませんでした。

**チェックサムがこのデータベースで有効にされていません。**

エラー定数	SQLE_CHECKSUMS_NOT_ENABLED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-971
SQLSTATE	WW042
Sybase エラー・コード	13517

**考えられる原因**

チェックサムが有効でないデータベースで、チェックサム検証を実行しようとした。

**データベース '%1' の暗号化に失敗しました**

エラー定数	SQLE_ENCRYPT_DATABASE_FAILED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	暗号化できなかったデータベースの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1243
SQLSTATE	WW118
Sybase エラー・コード	13271

**考えられる原因**

データベース・ファイルの暗号化に失敗しました。

## データベース '%1' の削除に失敗しました。

エラー定数	SQLE_DROP_DATABASE_FAILED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	削除できなかったデータベースの名前。
重大度	16
SQLCODE	-651
SQLSTATE	WW017
Sybase エラー・コード	13705

### 考えられる原因

データベース・ファイルの削除に失敗しました。実行中のデータベースを削除しようとした。エラーが発生する前に、データベースの一部が削除されました。

## データベース '%1' の復号化に失敗しました

エラー定数	SQLE_DECRYPT_DATABASE_FAILED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	復号化できなかったデータベースの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1244
SQLSTATE	WW119
Sybase エラー・コード	13270

### 考えられる原因

データベース・ファイルの復号化に失敗しました。

## データベース・サーバを停止できません。

エラー定数	SQLE_CANNOT_STOP_SERVER
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-607
SQLSTATE	WW002
Sybase エラー・コード	13673

### 考えられる原因

サーバが、現時点ではサーバ自身を停止できないと決定しました。通常は、このエラーは発生しません。

## データベース・サーバ外の関数呼び出しはサポートされていません。

エラー定数	SQLE_EXTERNAL_CALLS_NOT_SUPPORTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-617
SQLSTATE	WW003
Sybase エラー・コード	13674

### 考えられる原因

動的にロードされたモジュールに含まれる関数を呼び出すストアド・プロシージャを呼び出そうとしました。ストアド・プロシージャを呼び出したオペレーティング・システムでは、このような動作はサポートされていません。

## データベースに接続できません。

エラー定数	SQLE_CONNECTIONS_DISABLED
ODBC 2 ステータス	08005
ODBC 3 ステータス	08005
重大度	16
SQLCODE	-99
SQLSTATE	08W04
Sybase エラー・コード	4224

### 考えられる原因

ネットワーク・データベース・サーバへの接続が無効になりました。接続が有効になるまで、このエラー・メッセージが表示されます。

## テーブル '%1' のカラム情報にアクセスできませんでした。

エラー定数	SQLE_OMNI_RMT_COLUMNS_NOTFOUND
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	リモート・テーブルの完全な名前。
重大度	11
SQLCODE	-667
SQLSTATE	WO008
Sybase エラー・コード	11207

### 考えられる原因

テーブルのカラム情報にアクセスできませんでした。テーブルのパーミッションをチェックしてください。



## テーブル '%1' のすべて NULL のローを更新または削除できません。

エラー定数	SQLE_CANNOT_UPDATE_NULL_ROW
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	修正できないテーブルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-734
SQLSTATE	09W08
Sybase エラー・コード	13750

### 考えられる原因

指定したテーブル内のローを修正または削除しようとしてしました。そのローは、外部ジョインの NULL 入力テーブルの一部です。しかし、1つ以上の ON 条件で評価が TRUE とならなかったために、このテーブルですべてが NULL のローが生成されました。現在カーソルはそのローに位置しています。UPDATE 文または DELETE 文が正しいことを確認してください。

## テーブル '%2' にカラム '%1' がありません。

エラー定数	SQLE_COLUMN_NOT_FOUND_IN_TABLE
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S22
パラメータ 1	見つからなかったカラムの名前。
パラメータ 2	カラムを含んでいると予想されたテーブルの名前。
重大度	11
SQLCODE	-834
SQLSTATE	52005
Sybase エラー・コード	13840

**考えられる原因**

カラム名のスペルを間違えたか、探しているカラムは別のテーブルにあります。

**テーブル '%2' のカラム '%1' を NULL にすることはできません。**

エラー定数	SQLE_COLUMN_CANNOT_BE_NULL
ODBC 2 ステータス	23000
ODBC 3 ステータス	23000
パラメータ 1	NULL であってはならないカラムの名前。
パラメータ 2	そのカラムを含むテーブルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-195
SQLSTATE	23502
Sybase エラー・コード	233

**考えられる原因**

値が必要な場所にその値が指定されていません。カラム定義で NULL 値が禁止されているか、カラムは NOT NULL 外部キーの一部です。

**テーブル '%2' のカラム '%1' を NULL にすることはできません。データ・ファイルの行 %3 で LOAD TABLE に無効なデータが指定されました。**

エラー定数	SQLE_COLUMN_CANNOT_BE_NULL_LOAD_TABLE
ODBC 2 ステータス	23000
ODBC 3 ステータス	23000
パラメータ 1	NULL であってはならないカラムの名前。
パラメータ 2	そのカラムを含むテーブルの名前。
パラメータ 3	無効なデータが含まれているデータ・ファイルの行番号。

重大度	16
SQLCODE	-184
SQLSTATE	23501
Sybase エラー・コード	13885

**考えられる原因**

値が必要な場合に値を指定しなかったか、データ変換が必要だったため、NULL 値になりました。カラム定義で NULL 値が禁止されているか、カラムは NOT NULL 外部キーの一部です。

**テーブル '%2' のカラム '%1' を変更できません。**

エラー定数	SQLE_CANNOT_MODIFY
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	変更できなかったカラムの名前。
パラメータ 2	そのカラムを含むテーブルの名前。
重大度	14
SQLCODE	-191
SQLSTATE	42W32
Sybase エラー・コード	230

**考えられる原因**

修正するパーミッションがないカラムを修正しようとしてしました。ビュー内で式 (たとえば column1 + column2) として定義されているカラムを修正しようとしてしました。

**テキスト・インデックスにより参照されているテキスト設定を変更または削除することはできません。**

エラー定数	SQLE_TEXT_CANNOT_ALTER_CONFIG
ODBC 2 ステータス	ERROR

ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1168
SQLSTATE	WT012
Sybase エラー・コード	13345

**考えられる原因**

移植されたテキスト・インデックスにより参照されているテキスト設定や、テキスト・プロシージャにより現在使用されているテキスト設定を変更または削除することはできません。設定をコピーし、そのコピーを変更するか、テキスト・プロシージャですべてのカーソルを閉じ、設定を使用するすべてのインデックスをトランケートします。

**テキスト・インデックスの一部であるテーブルにはアクセスできません。**

エラー定数	SQLE_TEXT_CANNOT_USE_TEXT_INDEX
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1169
SQLSTATE	WT013
Sybase エラー・コード	13344

**考えられる原因**

テキスト・インデックスの一部として作成されたテーブルを直接操作することはできません。

**テキスト設定 '%1' を作成できません。オプション '%2' に不適切な設定があります。**

エラー定数	SQLE_TEXT_BAD_OPTION
ODBC 2 ステータス	ERROR

ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	設定の名前。
パラメータ 2	設定が間違っているオプションの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1174
SQLSTATE	WT014
Sybase エラー・コード	13339

**考えられる原因**

テキスト設定のデータベース・オプション設定を作成または変更する必要がある操作を実行しようとしたが、オプションのいずれかが現在、テキスト設定に対して許可されていない値に設定されています。

**テキスト設定を所有しているユーザは削除できません。**

エラー定数	SQLE_USER_OWNS_TEXT_CONFIG
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-1167
SQLSTATE	55W12
Sybase エラー・コード	13346

**考えられる原因**

テキスト設定の作成者であるユーザを削除しようとした。まず、テキスト設定を削除してください。

**テスト・ハーネスによって内部エラーが発生しました。**

エラー定数	SQLE_TEST_HARNESS
ODBC 2 ステータス	ERROR

ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	18
SQLCODE	-808
SQLSTATE	WW025
Sybase エラー・コード	13818

**考えられる原因**

テスト・ハーネスによって内部エラーが発生しました。

**トランザクション・ログ・ファイルを開けません -- %1**

エラー定数	SQLE_CANNOT_OPEN_LOG
ODBC 2 ステータス	08003
ODBC 3 ステータス	08003
パラメータ 1	トランザクション・ログ・ファイルを開けなかった理由。
重大度	16
SQLCODE	-106
SQLSTATE	08W05
Sybase エラー・コード	2561

**考えられる原因**

データベース・サーバが指定したトランザクション・ログ・ファイルを開くことができませんでした。ログ・ファイル名に無効なデバイスまたはディレクトリが含まれていることがあります。その場合はトランザクション・ログ・ユーティリティ (dblog) を使用して、トランザクション・ログ・ファイルのある位置を確認し、変更できます。

**トランザクションで 2 つ目のスナップショットの起動を試みています。**

エラー定数	SQLE_SNAPSHOT_ALREADY_STARTED
ODBC 2 ステータス	ERROR

ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1232
SQLSTATE	42WC9
Sybase エラー・コード	13285

**考えられる原因**

トランザクションが、別のスナップショットがすでにアクティブであるときに、新しいスナップショットの開始 (たとえば、BEGIN SNAPSHOT 文を参照) を試みました。

**トランザクションにエンリストされている場合は、コミットまたはロールバックできません。**

エラー定数	SQLE_CANNOT_COMMIT_OR_ROLLBACK_WHILE_ENLISTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-800
SQLSTATE	55W09
Sybase エラー・コード	13810

**考えられる原因**

トランザクションにエンリストされている接続で、コミットやロールバックを明示的に実行しようとした。トランザクションの Commit/Abort プロトコルを使用する必要があります。

**トランザクションにすでにエンリストされている場合は、さらにトランザクションにエンリストすることはできません。**

エラー定数	SQLE_CANNOT_ENLIST_WHILE_ALREADY_ENLISTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR

重大度	16
SQLCODE	-801
SQLSTATE	55W10
Sybase エラー・コード	13811

**考えられる原因**

トランザクションにすでにエンリストされている接続を、別のトランザクションにエンリストしようとした。

## トリガ・アクション内での COMMIT/ROLLBACK は許可されません。

エラー定数	SQLE_INVALID_TRIGGER_STATEMENT
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	15
SQLCODE	-273
SQLSTATE	2D501
Sybase エラー・コード	102

**考えられる原因**

トリガ・アクションの実行中に、許可されていない文を実行しようとした。COMMIT と ROLLBACK 文はトリガからは実行できません。

## トリガの定義で参照されているカラムは削除または名前の変更ができません。

エラー定数	SQLE_COLUMN_IN_TRIGGER
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	15



SQLCODE	-269
SQLSTATE	53W06
Sybase エラー・コード	102

**考えられる原因**

トリガの定義で参照されているカラムを削除しようとしたか、その名前を変更しようとした。ALTER 文を実行する前に、トリガを削除してください。

## トレースを再表示できません : sa\_diagnostic\_tracing\_level ロー %1 に無効なトレース指定があります。

エラー定数	SQLE_INVALID_TRACING_SPEC
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	無効なローのプライマリ・キー。
重大度	16
SQLCODE	-1082
SQLSTATE	WW066
Sybase エラー・コード	13432

**考えられる原因**

トレーシング・レベルに無効な値の組み合わせを指定しました。たとえば、指定した条件がトレーシング・タイプに有効ではないか、指定したトレーシング・タイプがスコープに有効ではない可能性があります。

## トレースを再表示できません : ロー %2 でオブジェクト %1 の 検出に失敗しました。

エラー定数	SQLE_TRACING_OBJ_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR

パラメータ 1	指定したオブジェクトの名前。
パラメータ 2	チェックに失敗したローのプライマリ・キー。
重大度	11
SQLCODE	-1083
SQLSTATE	WW067
Sybase エラー・コード	13431

**考えられる原因**

オブジェクト名のスペルを間違えたか、オブジェクト名をユーザ名(テーブル名)で修飾しませんでした。たとえば、"DBA"."Employees"ではなく Employees を参照しているか、"DBA"."Employees"."Employees\_trigger"ではなく Employees\_trigger を参照している可能性があります。

**トレースを再表示できません：ロー %2 に指定されている %1 を収集するには、volatile\_statistics を収集する必要があります。**

エラー定数	SQLE_NO_VOLATILE_LEVEL_SPEC
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	エラーの原因となったトレーシング・レベル。
パラメータ 2	チェックに失敗したローのプライマリ・キー。
重大度	16
SQLCODE	-1087
SQLSTATE	WW068
Sybase エラー・コード	13427

**考えられる原因**

不揮発性と接続の統計値を収集するには、揮発性の統計値を収集する必要があります。

## トレースを再表示できません：少なくとも1つの有効化されているトレース・レベルを指定する必要があります。

エラー定数	SQLE_NO_TRACING_LEVELS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1081
SQLSTATE	55W24
Sybase エラー・コード	13433

### 考えられる原因

テーブル sa\_diagnostic\_tracing\_level にロー (トレーシング・レベル) がないか、有効になっているトレーシング・レベルがありません。

## トレース接続はすでにアクティブになっています。

エラー定数	SQLE_TRACING_ALREADY_ATTACHED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1098
SQLSTATE	08W96
Sybase エラー・コード	13417

### 考えられる原因

このデータベースは、送信側 (トレース対象のデータベース) または受信側 (トレーシング・データベース) として、すでにトレース接続が確立しています。1つのデータベースでは、一度に1ストリームのトレーシング・データだけを送信または受信できます。

## バックアップ／リストア DLL (%1) のエン트리・ポイントを実行できませんでした。

エラー定数	SQLE_BACKUP_ENTRY_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	見つからなかったエン트리・ポイントの名前。
重大度	19
SQLCODE	-692
SQLSTATE	08W45
Sybase エラー・コード	13719

### 考えられる原因

バックアップ／リストア DLL エン트리・ポイントを検索または実行しようとしたが、失敗しました。

## バックアップ／リストア用 DLL \"%1\" をロードできません。

エラー定数	SQLE_BACKUP_NOT_LOADED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	ロードできなかった DLL の名前。
重大度	19
SQLCODE	-691
SQLSTATE	08W44
Sybase エラー・コード	13718

### 考えられる原因

バックアップ／リストア DLL をロードしようとしたが、失敗しました。

**バックアップ・ファイル '%1' はすでに存在します。**

エラー定数	SQLE_BACKUP_FILE_EXISTS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	ファイルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-967
SQLSTATE	WB012
Sybase エラー・コード	13523

**考えられる原因**

通常この BACKUP 文で作成されるファイルが、すでに存在しています。

**バックアップ・ファイルのフォーマットが無効です。**

エラー定数	SQLE_RESTORE_INVALID_FORMAT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	21
SQLCODE	-716
SQLSTATE	WB007
Sybase エラー・コード	13725

**考えられる原因**

RESTORE に使用するアーカイブ・ファイルのフォーマットが無効です。

**バックアップ・ファイルの内容が矛盾しています。**

エラー定数	SQLE_RESTORE_INCONSISTENT
-------	---------------------------

ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	23
SQLCODE	-715
SQLSTATE	WB006
Sybase エラー・コード	13724

**考えられる原因**

複数のディスク・デバイスまたはテープ・デバイスにバックアップされた内容の不一致が RESTORE 中に検出されました。

**バックアップはデータベース・ファイル '%1' を開けません。**

エラー定数	SQLE_BACKUP_UNABLE_TO_OPEN_FILE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	ファイルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1079
SQLSTATE	WB017
Sybase エラー・コード	13435

**考えられる原因**

バックアップ時にデータベース・ファイルを開くことができません。ファイルが消去されたか、破損している可能性があります。

**パブリケーションで使用するテーブル '%1' のプライマリ・キーを更新できません。**

エラー定数	SQLE_ARTICLE_PK_CANNOT_BE_UPDATED
-------	-----------------------------------

ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	テーブルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-780
SQLSTATE	5RW19
Sybase エラー・コード	13790

**考えられる原因**

パブリケーションに含まれるテーブルのプライマリ・キーは更新できません。データベース・オプションの `prevent_article_pkey_update` を 'off' に設定すると、パブリケーションに含まれるテーブルのプライマリ・キーを更新できます。

## ビュー '%1' の INSTEAD OF トリガと WITH CHECK OPTION が競合しています。

エラー定数	SQLE_CHECK_TRIGGER_CONFLICT
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	INSTEAD OF トリガのあるビューの名前。
重大度	15
SQLCODE	-1125
SQLSTATE	42W39
Sybase エラー・コード	13388

**考えられる原因**

INSTEAD OF トリガと競合している WITH CHECK OPTION 句が含まれるオペレーションを試みました。WITH CHECK OPTION 句で定義されたビューは、INSTEAD OF トリガのあるビュー (ネストされている可能性あり) を参照できません。

**ビュー '%1' を使用できません。このビューは無効です。**

エラー定数	SQLE_VIEW_INVALID
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	ビューの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1040
SQLSTATE	55W18
Sybase エラー・コード	13471

**考えられる原因**

無効なビューを参照しようとしてしました。ビューを有効にすると、再度使用できるようになります。

**ビュー '%1' を使用できません。このビューは無効になっています。**

エラー定数	SQLE_VIEW_DISABLED
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	ビューの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1038
SQLSTATE	55W17
Sybase エラー・コード	13473

**考えられる原因**

無効になっているビューを参照しようとしてしました。ビューを有効にすると、再度使用できるようになります。



## ビューまたは派生テーブル '%1' では、CONTAINS クエリは許可されません。

エラー定数	SQLE_TEXT_INVALID_VIEW_FOR_CONTAINS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	CONTAINS を使用して問い合わせることができないビューまたは派生テーブルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1283
SQLSTATE	WT020
Sybase エラー・コード	13791

### 考えられる原因

CONTAINS を使用してビューまたは派生テーブルに問い合わせることができるのは、ビューまたは派生テーブルによって TOP、FIRST、DISTINCT、GROUP BY、FOR XML のいずれも使用していない場合のみです。また、検索するカラムのリストは、ビューの FROM 句内の 1 つのベース・テーブルによって揃うものにしてください。カラムを複数のテーブルのカラムにしたり、FROM 句内の別のビューや派生テーブルのカラムにしたりすることはできません。

## ファイル '%1' にアクセスできません -- %2

エラー定数	SQLE_CANNOT_ACCESS_FILE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	ファイル名。
パラメータ 2	エラーの原因。
重大度	19
SQLCODE	-602
SQLSTATE	WL002
Sybase エラー・コード	13670

**考えられる原因**

ファイルにアクセスできません。たとえば、LOAD TABLE が参照したファイルが存在しないか、読み込むことができません。メッセージでは、エラーの原因が説明されています。

**プライマリ・キーがないためテーブル '%1' と同期できません。**

エラー定数	SQLE_CANNOT_SYNC_TABLE_WITHOUT_PK
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	テーブルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-777
SQLSTATE	5RW16
Sybase エラー・コード	13787

**考えられる原因**

同期するテーブルには、プライマリ・キーが含まれている必要があります。

**プロシージャ '%2' の引数 %1 に NULL は指定できません。**

エラー定数	SQLE_ARGUMENT_CANNOT_BE_NULL
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	NULL であってはならない引数番号。
パラメータ 2	NULL パラメータを受け取ることができないプロシージャの名前。
重大度	16
SQLCODE	-90
SQLSTATE	WP000
Sybase エラー・コード	409

**考えられる原因**

スカラ引数を予期しているプロシージャに NULL 値を引き渡しました。たとえば、'int' 引数を持つ Java プロシージャは、NULL 値を受け取ることができません。

## マテリアライズド・ビュー '%1' を使用できません。このビューは初期化されていません。

エラー定数	SQLE_CANNOT_USE_MATVIEW
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	マテリアライズド・ビューの名前。
重大度	14
SQLCODE	-1077
SQLSTATE	42WBC
Sybase エラー・コード	13437

**考えられる原因**

マテリアライズド・ビューを使用しようとしたのですが、ビューはまだ初期化されていません。マテリアライズド・ビューを作成または有効にした後に初めて使用するには、REFRESH MATERIALIZED VIEW 文を使用して 1 回以上初期化する必要があります。

## マテリアライズド・ビューを更新できません。オプション '%1' に不適切な設定があります。

エラー定数	SQLE_CANNOT_UPDATE_MATVIEW
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	設定が間違っているオプションの名前。
重大度	14
SQLCODE	-1052
SQLSTATE	42WB7

Sybase エラー・コード	13461
----------------	-------

**考えられる原因**

マテリアライズド・ビューを更新または再表示しようとしたますが、データベース・オプションのいずれかが現在、マテリアライズド・ビューの更新時に許可されない値に設定されているか、オプションの設定が、ビュー作成時の値と一致しません。

## マテリアライズド・ビューを作成できません。オプション '%1' に不適切な設定があります。

エラー定数	SQLE_CANNOT_CREATE_MATVIEW
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	設定が間違っているオプションの名前。
重大度	14
SQLCODE	-1051
SQLSTATE	42WB6
Sybase エラー・コード	13460

**考えられる原因**

マテリアライズド・ビューを作成しようとしたますが、データベース・オプションのいずれかが現在、マテリアライズド・ビューの作成時に許可されない値に設定されています。

## ミラー・サーバに接続できません。サーバ名 '%1' を使用してプライマリ・サーバを探してください。

エラー定数	SQLE_CONNECTED_TO_MIRROR_SERVER
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメータ 1	ミラーリング・システムのサーバ名。
重大度	11

SQLCODE	-1039
SQLSTATE	08W91
Sybase エラー・コード	13472

**考えられる原因**

ミラーリング・システムでミラー・サーバに接続しようとしてしました。ミラーリング・システムのサーバ名を使用するように接続文字列または DSN を変更してください。

**メッセージまたはデータ型を所有するユーザは削除できません。**

エラー定数	SQLE_USER_OWNS_MESSAGES_OR_DATATYPES
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-614
SQLSTATE	55W05
Sybase エラー・コード	13632

**考えられる原因**

メッセージまたはユーザ定義データ型の作成者であるユーザを削除しようとしてしました。まず、メッセージまたはユーザ定義のデータ型を削除してください。

**ユーザ '%1' がトランザクションのレプリケーションを実行している間は、これらのパーミッションを取り消すことはできません。**

エラー定数	SQLE_MUST_NOT_BE_REPLICATING
ODBC 2 ステータス	40001
ODBC 3 ステータス	40001
パラメータ 1	ユーザの名前。
重大度	16

SQLCODE	-1080
SQLSTATE	42WBE
Sybase エラー・コード	13434

**考えられる原因**

レプリケーションを実行中のトランザクションがあるユーザのパーミッションを取り消そうとしました。これは許可されていません。

## ユーザ '%1' に対するテンポラリ・オプションを設定することはできません。

エラー定数	SQL_E_TEMPORARY_NOT_ALLOWED
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	オプションを変更する必要があるユーザ ID。
重大度	16
SQLCODE	-203
SQLSTATE	42W45
Sybase エラー・コード	13687

**考えられる原因**

TEMPORARY オプションは接続単位に設定するものであり、データベース・サーバに認識されている特定のオプションに対してのみ指定します。別のユーザのオプションを変更するには、SET OPTION 文に TEMPORARY を指定しないでください。

## ユーザ設定が存在するため、PUBLIC オプション '%1' を削除できません。

エラー定数	SQL_E_UNSET_PUBLIC_ID
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000

パラメータ 1	オプションの名前。
重大度	15
SQLCODE	-896
SQLSTATE	42W82
Sybase エラー・コード	13587

**考えられる原因**

PUBLIC オプションを削除しようとしたますが、同じオプションを対象としたユーザ設定が存在します。ユーザ設定を削除してから、PUBLIC オプションを削除してください。

## ランタイム・サーバでは、プロシージャを持つユーザを削除できません。

エラー定数	SQLE_USER_OWNS_PROCEDURES
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-270
SQLSTATE	55W04
Sybase エラー・コード	13641

**考えられる原因**

ランタイム・サーバの使用中に、プロシージャを所有しているユーザを削除しようとした。この操作を行うと、プロシージャが削除されますが、ランタイム・サーバではプロシージャを削除できません。フル・サーバを使用してください。

## ランタイム・システムでは、テーブルを所有しているユーザを削除することはできません。

エラー定数	SQLE_USER_OWNS_TABLES
ODBC 2 ステータス	42000

ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-128
SQLSTATE	55W03
Sybase エラー・コード	13731

**考えられる原因**

ランタイム・サーバの使用中に、テーブルを持つユーザを削除しようとした。この操作を行うと、テーブルが削除されますが、ランタイム・サーバではテーブルを削除できません。フル・サーバを使用してください。

## レプリケーションでのオブジェクトを持つユーザを削除できません。

エラー定数	SQLE_USER_OWNS_REPLICATED_OBJECTS
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-731
SQLSTATE	55W06
Sybase エラー・コード	13633

**考えられる原因**

レプリケーションに含まれるデータベース・オブジェクトの作成者であるユーザを削除しようとした。たとえば、ユーザはパブリケーションの一部であるテーブルを所有していることがあります。

## ローがデータベースのページ・サイズを超えているため、ローを格納できません。

エラー定数	SQLE_ROW_EXCEEDS_PAGE_SIZE
ODBC 2 ステータス	ERROR



ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1117
SQLSTATE	WW083
Sybase エラー・コード	13396

**考えられる原因**

データベースのページに格納するには大きすぎるローを挿入または更新しようとした。  
Ultra Light では、BLOB カラムを除き、ロー全体が単一のデータベース・ページに収まる必要があります。ページ・サイズを大きくすると、大きいローを格納できます。

## ローカル・テンポラリとして宣言されたテーブルにコメントを追加できません。

エラー定数	SQLE_COMMENT_NOT_ALLOWED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	11
SQLCODE	-1042
SQLSTATE	WW065
Sybase エラー・コード	13469

**考えられる原因**

LOCAL TEMPORARY と宣言されたテーブルにコメントを追加しようとした。これは許可されていません。

## ローが新しいスキーマ・フォーマットに変換されなかったため、ローは削除されました。

エラー定数	SQLE_ROW_DROPPED_DURING_SCHEMA_UPGRADE
ODBC 2 ステータス	OK

ODBC 3 ステータス	OK
重大度	10
SQLCODE	130
SQLSTATE	01W21
Sybase エラー・コード	13588

**考えられる原因**

古いスキーマで有効だったローが無効になりました。これは、カラム・ドメインが変更され、古い値を新しいドメインにキャストできないことが原因の場合があります。一意性制約または外部キー制約が守られない場合も、ローが削除されます。

**ワークロード・キャプチャ (%1) はすでに進行中です。**

エラー定数	SQLE_WORKLOAD_CAPTURE_ALREADY_EXISTS
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	すでに進行中のワークロード・キャプチャの名前。
重大度	16
SQLCODE	-942
SQLSTATE	WW029
Sybase エラー・コード	13546

**考えられる原因**

ワークロード・キャプチャがすでに進行中であるときに、これを初期化しようとした。進行中のキャプチャが完了するまで待つ必要があります。

**圧縮エラー : %1**

エラー定数	SQLE_COMPRESSION_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR

パラメータ 1	エラー・メッセージ。
重大度	16
SQLCODE	-959
SQLSTATE	WW037
Sybase エラー・コード	13529

**考えられる原因**

圧縮中にエラーが発生しました。

**圧縮または暗号化の使用中は付加できません**

エラー定数	SQLE_UNLOAD_CANNOT_APPEND
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1187
SQLSTATE	WL012
Sybase エラー・コード	13328

**考えられる原因**

圧縮または暗号化の使用中は、UNLOAD 文によってファイルに付加することはできません。  
compressed キーワードまたは encrypted キーワードが指定されたか、付加先のファイルが圧縮または暗号化されています。

**暗号化 DLL "%1" をロードできません。**

エラー定数	SQLE_MISSING_ENCRYPTION_DLL
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	ロードできなかった暗号化 DLL の名前。

重大度	19
SQLCODE	-976
SQLSTATE	08W70
Sybase エラー・コード	13513

**考えられる原因**

暗号化 DLL をロードしようとしたが、失敗しました。

**暗号化 DLL を初期化できませんでした : '%1'**

エラー定数	SQLE_ENCRYPTION_INITIALIZATION_FAILED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	初期化に失敗した理由 (理由が判明している場合)。
重大度	19
SQLCODE	-984
SQLSTATE	WW053
Sybase エラー・コード	13505

**考えられる原因**

暗号化 DLL を初期化しようとしたが、失敗しました。

**引数 \"%1\" はカラム参照である必要があります。**

エラー定数	SQLE_TEXT_BAD_COLUMN_REFERENCE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	引数番号。
重大度	16

SQLCODE	-1156
SQLSTATE	WT001
Sybase エラー・コード	13357

**考えられる原因**

CONTAINS の引数はカラム参照である必要があります。

## 開いている準備文または呼び出し可能な文を変更できませんでした。

エラー定数	SQLE_CANNOT_CHANGE_OPENED_STATEMENT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-694
SQLSTATE	WJ008
Sybase エラー・コード	13603

**考えられる原因**

開いている準備文または呼び出し可能な文の SQL 文を変更しようとした。準備文と呼び出し可能な文は、このような変更を行う前に閉じてください。

## 外部キーのカラム '%1' にプライマリ・キーと異なる定義があります。

エラー定数	SQLE_INVALID_FOREIGN_KEY_DEF
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	問題のあるカラムの名前。
重大度	16

SQLCODE	-113
SQLSTATE	53030
Sybase エラー・コード	1721

**考えられる原因**

外部キーのカラムのデータ型が、プライマリ・キーのカラムのデータ型と異なります。ALTER TABLE を使用して、いずれかのカラム定義を変更してください。

## 外部関数の呼び出しのためのリソースを割り付けられませんでした。

エラー定数	SQLE_ERROR_CALLING_FUNCTION
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	19
SQLCODE	-622
SQLSTATE	WW008
Sybase エラー・コード	13679

**考えられる原因**

オペレーティング・システムのリソースが不足しているため、外部関数を呼び出すことができませんでした。オペレーティング・システムでスレッドがサポートされている場合は、スレッド数を最大に増やしてください。

## 監査用のトランザクション・ログ・ファイルが必要です。

エラー定数	SQLE_AUDITING_WITHOUT_TRANSACTION_LOG
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-913

SQLSTATE	42W91
Sybase エラー・コード	13571

**考えられる原因**

このデータベースは、トランザクション・ログ・ファイルを使用せずに実行されています。トランザクション・ログ・ユーティリティ (dblog) を使用してトランザクション・ログ・ファイルを作成してから、監査を行ってください。

**共通テーブル式参照に循環があります。**

エラー定数	SQLE_COMMON_TABLE_EXPRESSION_CYCLE
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-914
SQLSTATE	42W93
Sybase エラー・コード	13570

**考えられる原因**

複数の共通テーブル式では、循環は許容されません。

**句 '%1' に無効な属性 '%2' があります。**

エラー定数	SQLE_INVALID_PROCEDURE_ATTRIBUTE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	プロシージャの属性。
パラメータ 2	属性の値またはエラーの原因。
重大度	16
SQLCODE	-991

SQLSTATE	WW060
Sybase エラー・コード	13498

**考えられる原因**

プロシージャに指定した属性値が無効です。

**計算カラム '%1' を挿入または更新できません。**

エラー定数	SQLE_COMPUTED_COLUMN_WRITE_ATTEMPTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	カラムの名前。
重大度	16
SQLCODE	-703
SQLSTATE	WW023
Sybase エラー・コード	4406

**考えられる原因**

計算カラム値は明示的に修正できません。値は、計算式の値から暗黙的に決定されます。

**計算カラムの依存に循環があります。**

エラー定数	SQLE_COMPUTED_COLUMN_CYCLE
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-1078
SQLSTATE	42WBD
Sybase エラー・コード	13436



**考えられる原因**

テーブルの計算カラム間の依存に循環があります。循環は許可されていません。

## 計算カラムを使用したリモート・テーブルの作成はサポートされていません。

エラー定数	SQLE_OMNI_COMPUTED_NOT_SUPPORTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	12
SQLCODE	-732
SQLSTATE	WO021
Sybase エラー・コード	11205

**考えられる原因**

計算カラムは、リモート・ロケーションを指定する CREATE TABLE 文ではサポートされません。

## 現在の JDBC 結果セット内のテーブル '%1' のカラム '%2' を一意に識別できません。

エラー定数	SQLE_JDBC_TBL_COL_NOT_FOUND_IN_RESULTSET
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	テーブル名。
パラメータ 2	カラム名。
重大度	16
SQLCODE	-756
SQLSTATE	WJ021
Sybase エラー・コード	13766

**考えられる原因**

指定したテーブル名とカラム名では、JDBC 結果セットのカラムを識別できませんでした。指定した名前が見つからないか、あいまいです。

**現在の接続ではないリモート JDBC 接続は閉じることができません。**

エラー定数	SQLE_CANNOT_CLOSE_JDBC_CONNECTION
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-998
SQLSTATE	WO026
Sybase エラー・コード	711

**考えられる原因**

リモート JDBC 接続を閉じようとするとき、指定する接続はローカル接続でなければなりません。

**現在の接続はすでに '%1' に '%2' として登録されています。**

エラー定数	SQLE_CONN_ALREADY_REGISTERED
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	アプリケーションの名前。
パラメータ 2	登録済みの接続ラベル。
重大度	16
SQLCODE	-787
SQLSTATE	5RW26
Sybase エラー・コード	13797

**考えられる原因**

この接続を 2 回以上登録しようとしてしました。

## 後方スクロール・カーソルはリモート・オブジェクトではサポートされません。

エラー定数	SQLE_OMNI_BACKWARDS_CURSOR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-661
SQLSTATE	WO006
Sybase エラー・コード	13733

**考えられる原因**

後方スクロール・カーソルはリモート・オブジェクトではサポートされません。前方スクロール・カーソルだけを使用してください。

## 使用中の設定は変更できません

エラー定数	SQLE_CONFIG_IN_USE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-1276
SQLSTATE	55W34
Sybase エラー・コード	13863

**考えられる原因**

開かれた接続によって使用されている設定オブジェクトを修正しようとしてしました。

**指定された DB 領域でアイテム (%1) を生成できません。**

エラー定数	SQLE_INVALID_DBSPACE_FOR_CREATE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	作成できなかったアイテムの名前。
重大度	16
SQLCODE	-648
SQLSTATE	08W36
Sybase エラー・コード	13702

**考えられる原因**

指定した DB 領域が無効です。たとえば、インデックスは基本となるテーブルと同じ型の DB 領域に作成してください。

**指定された DB 領域の少なくとも 1 つが調整されていませんでした。**

エラー定数	SQLE_DBSPACE_NOT_CALIBRATED
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-860
SQLSTATE	WW028
Sybase エラー・コード	13864

**考えられる原因**

開いていない DB 領域、または小さすぎる DB 領域を調整しようとしてしました。

## 自動データベース・アップグレードが適用されました

エラー定数	SQLE_DATABASE_UPGRADE_WARNING
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
重大度	10
SQLCODE	149
SQLSTATE	WW234
Sybase エラー・コード	13684

### 考えられる原因

データベースが以前のバージョンのソフトウェアによるものです。起動中に自動データベース・アップグレードが発生します。その後は、データベースを以前のバージョンのソフトウェアで開くことができません。

## 自動ラベルが足りないため '%1' に接続を登録できません。

エラー定数	SQLE_CONN_REG_AUTO_LABEL_EXHAUSTED
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	アプリケーションの名前。
重大度	16
SQLCODE	-790
SQLSTATE	5RW29
Sybase エラー・コード	13800

### 考えられる原因

代わりに、指定のラベルを使用して登録できます。

**式を更新できません。**

エラー定数	SQLE_NON_UPDATEABLE_COLUMN
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	14
SQLCODE	-190
SQLSTATE	53W02
Sybase エラー・コード	230

**考えられる原因**

更新しようとしたクエリのカラムは、テーブルのカラムではなく、データベースの式です。

**集合関数 GROUPING への引数は GROUP BY 句のグループ・カラムである必要があります。**

エラー定数	SQLE_INVALID_GROUPING_AGGREGATE
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	15
SQLCODE	-962
SQLSTATE	42WA7
Sybase エラー・コード	13527

**考えられる原因**

集合関数 GROUPING への引数として指定できるのは、グループ・カラムだけです。1つのグループ・カラム式以外のものが含まれている引数は、使用できません。

## 集約式 '%1' に複数のカラムが含まれ、その 1 つ以上が外部参照です。

エラー定数	SQLE_MULTIPLE_AGGREGATE_COLUMNS
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	エラーになった集約式。
重大度	15
SQLCODE	-861
SQLSTATE	42W68
Sybase エラー・コード	13865

### 考えられる原因

ネストされたクエリに含まれている subselect の中に、外部参照を含むパラメータを指定した集合関数があります。この場合、外部参照に指定できるのは式で参照されるカラムのみです。

## 照合 '%1' はこのプラットフォームではサポートされていません。

エラー定数	SQLE_COLLATION_NOT_SUPPORTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	サポートされていない照合。
重大度	16
SQLCODE	-1116
SQLSTATE	WC013
Sybase エラー・コード	13398

### 考えられる原因

指定した照合は、現在のプラットフォームではサポートされていません。

**制約 '%1' が見つかりません。**

エラー定数	SQLE_CONSTRAINT_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S23
パラメータ 1	見つからなかった制約の名前。
重大度	16
SQLCODE	-929
SQLSTATE	42U04
Sybase エラー・コード	13556

**考えられる原因**

制約名のスペルを間違えたか、探している制約は別のテーブルにあります。

**制約 '%1' の違反です : テーブル '%2' の値が無効です。**

エラー定数	SQLE_TABLE_CONSTRAINT_VIOLATED
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	23000
パラメータ 1	無効な値によって違反となった制約の名前 (定義されている場合)。
パラメータ 2	そのカラムを含むテーブルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1091
SQLSTATE	23508
Sybase エラー・コード	548

**考えられる原因**

CHECK 制約に違反する挿入または更新をしようとした。CHECK 制約は FALSE のとき違反になり、条件が TRUE または UNKNOWN と評価されるときはそのままの状態になります。



## 制約 '%1' の違反です : テーブル '%3' のカラム '%2' の値が無効です。

エラー定数	SQLE_INVALID_COLUMN_VALUE
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	23000
パラメータ 1	無効な値によって違反となった制約の名前 (定義されている場合)。
パラメータ 2	無効な値を割り当てられたカラムの名前。
パラメータ 3	そのカラムを含むテーブルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-209
SQLSTATE	23506
Sybase エラー・コード	548

### 考えられる原因

CHECK 制約に違反する挿入または更新をしようとした。CHECK 制約は FALSE のとき違反になり、条件が TRUE または UNKNOWN と評価されるときはそのままの状態になります。

## 接続エラー : %1

エラー定数	SQLE_CONNECTION_ERROR
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメータ 1	接続エラーの説明。
重大度	16
SQLCODE	-832
SQLSTATE	08W60
Sybase エラー・コード	13838

### 考えられる原因

データベース・サーバとの接続を確立しようとして、データベースとの接続を試みる前にエラーが発生しました。このエラーの例としては、接続時の通信リンクの初期化失敗があります。LogFile 接続パラメータを使用してデバッグ・ログ・ファイルを作成すると、詳細な情報が記載されている場合があります。

## 接続がタイムアウトしました。

エラー定数	SQLE_REMOTE_CONNECTION_TIMED_OUT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	19
SQLCODE	-982
SQLSTATE	WW051
Sybase エラー・コード	13507

### 考えられる原因

活動がないため、リモート・ホストへの接続がタイムアウトになりました。

## 接続が見つかりません。

エラー定数	SQLE_CONNECTION_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	08003
ODBC 3 ステータス	08003
重大度	16
SQLCODE	-108
SQLSTATE	08W02
Sybase エラー・コード	4224

### 考えられる原因

DISCONNECT または SET CONNECTION 文で指定した接続名が無効です。

## 接続が切断されました。

エラー定数	SQLE_CONNECTION_TERMINATED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-308
SQLSTATE	40W07
Sybase エラー・コード	4224

### 考えられる原因

データベース接続は終了され、トランザクションはロールバックされました。接続が終了した理由には、DBA が DROP CONNECTION 文を実行した、データベース・サーバが停止した、またはデータベース・サーバへのネットワーク接続で割り込みが発生した、などが考えられます。

## 前回のアップロードのステータスが不明の場合、Mobile Link リモート ID は変更できません。

エラー定数	SQLE_CANNOT_CHANGE_ML_REMOTE_ID
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1118
SQLSTATE	0AW17
Sybase エラー・コード	13395

### 考えられる原因

Mobile Link サーバは、リモート ID を使用して同期の進行状況を追跡します。前回行われたアップロードのステータスが不明な場合は、この状態を解消してからリモート ID を変更してください。

## 前回のアップロードのステータスが不明の場合、同期の user\_name は変更できません。

エラー定数	SQLE_CANNOT_CHANGE_USER_NAME
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-867
SQLSTATE	0AW13
Sybase エラー・コード	13871

### 考えられる原因

Mobile Link サーバは、user\_name を使用して同期を追跡します。前回行われたアップロードのステータスが不明な場合は、この状態を解消してからユーザを変更してください。

## 挿入ローにある場合、JDBC 結果セット上の '%1' 関数を呼び出せません。

エラー定数	SQLE_JDBC_INVALID_OPER_ON_INSERT_ROW
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	呼び出されている結果セット関数の名前。
重大度	16
SQLCODE	-752
SQLSTATE	WJ019
Sybase エラー・コード	13763

### 考えられる原因

結果セットのカーソルが挿入ローにある場合、updateRow や deleteRow などの結果セットの関数は無効です。

## 相関名 '%1' が見つかりません。

エラー定数	SQLE_CORRELATION_NAME_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	無効な相関名。
重大度	16
SQLCODE	-142
SQLSTATE	52W02
Sybase エラー・コード	208

### 考えられる原因

相関名のスペルを間違えたか、相関名のかわりにテーブル名を使用しました。

## 相関名 '%1' は、ROWID 関数では使用できません。

エラー定数	SQLE_INVALID_CORRELATION_FOR_ROWID
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	無効な相関名。
重大度	15
SQLCODE	-1113
SQLSTATE	42WBF
Sybase エラー・コード	13401

### 考えられる原因

使用した相関名は ROWID 関数に有効ではありませんでした。ROWID 関数には、ベース・テーブル、テンポラリ・テーブル、グローバル・テンポラリ・テーブル、またはプロキシ・テーブルの相関名だけを使用できます。ROWID 関数の引数では、ビュー、派生テーブル、共通テーブル式、またはプロシージャを参照できません。

## 即時マテリアライズド・ビュー %1 が依存している複数のテーブルを更新できません。

エラー定数	SQLE_CANNOT_UPDATE_TWO_TABLES_IMV
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	update 文で 2 つ以上のテーブルに依存しているビューの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1192
SQLSTATE	55W29
Sybase エラー・コード	13323

### 考えられる原因

初期化された即時マテリアライズド・ビューが依存している 2 つ以上のテーブルを同時に更新しようとした。即時マテリアライズド・ビューが依存しているベース・テーブルを文で複数更新することはできません。

## 即時マテリアライズド・ビューの最後のユニーク・インデックスを削除できません。

エラー定数	SQLE_DELETE_UPDATABLE_MATVIEW_INDEX_ERR
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1184
SQLSTATE	55W21
Sybase エラー・コード	13331

### 考えられる原因

即時マテリアライズド・ビューの、NULL 入力不可のカラムにある最後のユニーク・インデックスを削除しようとした。即時マテリアライズド・ビューを有効にするには、NULL 入力不可のカラムにユニーク・インデックスが 1 つ以上必要です。

## 他の '%1' を排他アプリケーションとして登録できません。

エラー定数	SQLE_SAME_APP_RUNNING
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	アプリケーションの名前。
重大度	16
SQLCODE	-783
SQLSTATE	5RW22
Sybase エラー・コード	13793

### 考えられる原因

排他アプリケーションを登録しようとしたのですが、同じアプリケーションの他のインスタンスがすでに登録されています。

## 他の接続が '%1' のローをロックしています

エラー定数	SQLE_ROW_LOCKED
ODBC 2 ステータス	40001
ODBC 3 ステータス	40001
パラメータ 1	エラーを引き起こすテーブル。
重大度	21
SQLCODE	-1281
SQLSTATE	42W80
Sybase エラー・コード	13805

### 考えられる原因

他の接続によってロックされているローの修正または削除を行おうとした。その接続がコミットまたはロールバックすると、ローのロックが解除されます。

## 他の接続はすでに '%1' として登録されています。

エラー定数	SQLE_NOT_UNIQUE_CONN_REG_LABEL
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	登録済みの接続ラベル。
重大度	16
SQLCODE	-788
SQLSTATE	5RW27
Sybase エラー・コード	13798

### 考えられる原因

同じアプリケーションですでに使用されているラベルで接続を登録しようとした。

## 他の排他インスタンスが実行されているため、'%1' を登録できません。

エラー定数	SQLE_SAME_EXCLUSIVE_APP_RUNNING
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	アプリケーションの名前。
重大度	16
SQLCODE	-782
SQLSTATE	5RW21
Sybase エラー・コード	13792

### 考えられる原因

アプリケーションを開こうとしたが、同じアプリケーションの他の排他インスタンスがすでに登録されています。



**値 %1 をデータ型 %2 に変換できません。**

エラー定数	SQLE_CONVERSION_ERROR
ODBC 2 ステータス	07006
ODBC 3 ステータス	07006
パラメータ 1	変換できなかった値。
パラメータ 2	変換の対象となるデータ型の名前。
重大度	16
SQLCODE	-157
SQLSTATE	53018
Sybase エラー・コード	257

**考えられる原因**

値を別のデータ型に変換しようとしたときにエラーが発生しました。

**通信エラーが発生しました。**

エラー定数	SQLE_COMMUNICATIONS_ERROR
ODBC 2 ステータス	08S01
ODBC 3 ステータス	08S01
重大度	21
SQLCODE	-85
SQLSTATE	08W12
Sybase エラー・コード	1602

**考えられる原因**

アプリケーションとサーバ間の通信に問題があります。

**登録 cookie が足りないため '%1' を登録できません。**

エラー定数	SQLE_APP_REG_COOKIE_EXHAUSTED
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	アプリケーションの名前。
重大度	16
SQLCODE	-789
SQLSTATE	5RW28
Sybase エラー・コード	13799

**考えられる原因**

アプリケーションの登録を 1 つ解除しないと、このアプリケーションを登録できません。

**内部用のスレッドが起動できませんでした。**

エラー定数	SQLE_THREAD_START_FAILURE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	19
SQLCODE	-626
SQLSTATE	WW011
Sybase エラー・コード	13681

**考えられる原因**

このエラーは、Windows 95 固有のエラーです。外部関数の実行に必要なオペレーティング・システムのスレッドを開始できませんでした。

**認証に失敗しました。**

エラー定数	SQLE_AUTHENTICATION_FAILED
-------	----------------------------

ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	16
SQLCODE	-218
SQLSTATE	08W48
Sybase エラー・コード	13621

**考えられる原因**

database\_authentication オプションまたは connection\_authentication オプションの設定が正しくありません。

**認証違反です。**

エラー定数	SQLE_AUTHENTICATION_VIOLATION
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	16
SQLCODE	-98
SQLSTATE	08W21
Sybase エラー・コード	13620

**考えられる原因**

特定のアプリケーションだけが使用できるように設定されたサーバに接続しようとしてしました。

**複合 ORDER BY は RANGE とは併用できません。**

エラー定数	SQLE_ILLEGAL_COMPOSITE_ORDERBY
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16

SQLCODE	-966
SQLSTATE	42WAA
Sybase エラー・コード	13524

**考えられる原因**

RANGE キーワードを使用する Window 関数には、1つのカラムでのみ ORDER BY を指定できません。

**文字列カラム '%1' のヒストグラムを出力できません。**

エラー定数	SQLE_CANNOT_DUMP_STRING_HISTOGRAM
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
パラメータ 1	文字列データが含まれているカラムの名前。
重大度	10
SQLCODE	132
SQLSTATE	01W23
Sybase エラー・コード	13585

**考えられる原因**

文字列が含まれているカラムのヒストグラムを取得しようとしてしました。文字列情報のヒストグラムは、読み込み可能なフォーマットで出力できません。この結果、情報は取得されません。カラムの特定の値または範囲の情報を取得するには、ESTIMATE 関数の使用を検討してください。

**要求されたデータ型として NULL の結果を返すことができません。**

エラー定数	SQLE_VALUE_IS_NULL
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16

SQLCODE	-1050
SQLSTATE	22030
Sybase エラー・コード	13461

**考えられる原因**

データベースから NULL である値を取り出し、NULL にはできない変数に割り当てようとした。

**要求された文字セット '%1' と '%2' 間の変換はできません。**

エラー定数	SQLE_FAILED_TO_START_CONVERTER_2_CHARSETS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	1 番目の要求された文字セット・エンコードの名前。
パラメータ 2	2 番目の要求された文字セット・エンコードの名前。
重大度	16
SQLCODE	-891
SQLSTATE	WC008
Sybase エラー・コード	13592

**考えられる原因**

サーバは、指定された 2 つの文字セット間で変換できません。これは、dbicu と dbicudt の各 DLL がインストールされていない場合に発生する可能性があります。

**要求された文字セット '%1' とデータベース側文字セット '%2' 間の変換はできません。**

エラー定数	SQLE_FAILED_TO_START_CONVERTER
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR

パラメータ 1	要求された文字セット・エンコードの名前。
パラメータ 2	データベースの文字セット・エンコードの名前。
重大度	16
SQLCODE	-870
SQLSTATE	WC002
Sybase エラー・コード	13874

**考えられる原因**

サーバは、指定された接続文字セットをデータベース文字セットに変換できません。これは、dbicu と dbicudt の各 DLL がインストールされていない場合に発生する可能性があります。

## SQL Anywhere のエラー・メッセージ (五十音順、あ～さ)

**'%1' が見つからないため、外部環境を起動できませんでした。**

エラー定数	SQLE_EXTENV_NOT_STARTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	VM の実行に必要なが見つからなかったコンポーネント (実行可能プログラムまたはファイル)。
重大度	16
SQLCODE	-675
SQLSTATE	WP006
Sybase エラー・コード	13747

### 考えられる原因

外部環境の起動時に問題が発生しました。外部環境の実行に必要なコンポーネントが見つかりませんでした。

**'%1' という名前のイベント・オブジェクトはすでに存在します**

エラー定数	SQLE_EVENT_OBJECT_ALREADY_EXISTS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	イベント・オブジェクトの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1265
SQLSTATE	WE016
Sybase エラー・コード	13245

**考えられる原因**

指定された名前のイベント・オブジェクト (通知キューまたはユーザ・イベント) はすでに存在します。

## '%1' に対する関数またはカラムの参照も GROUP BY 句に記述する必要があります。

エラー定数	SQLE_INVALID_GROUP_SELECT
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	直接または式の中で参照される、GROUP BY 句に入れる必要があるカラムの名前。
重大度	15
SQLCODE	-149
SQLSTATE	53003
Sybase エラー・コード	7321

**考えられる原因**

select リストまたはネストされたクエリ・ブロックの中で、GROUP BY 句にない非集合関数またはカラム参照を使用しました。GROUP BY を使ったクエリでは、集合関数以外の select リスト項目は GROUP BY 句中にも入れてください。select リスト項目がカラム参照またはエイリアスである場合は、GROUP BY 句にカラム名かエイリアスを追加します。select リスト項目がスカラ関数である場合は、GROUP BY 句中の関数の引数が、select リスト内のものと必ず一致するようにしてください。場合によっては、GROUP BY 句にカラムを追加する代わりに、カラム名に MAX 関数 (または別の集合関数) を使った方がよいこともあります。

## '%1' のインデックスの型の指定は不正です。

エラー定数	SQLE_INVALID_INDEX_TYPE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	無効なインデックスの型指定。
重大度	16



SQLCODE	-650
SQLSTATE	WW016
Sybase エラー・コード	13704

**考えられる原因**

IQ インデックス・データ型は IQ インデックスだけに指定できます。Ultra Light では、LONG 型のカラムにインデックスを指定できません。

**'%1' のファイル I/O に失敗しました。**

エラー定数	SQLE_DEVICE_IO_FAILED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	ファイル名。
重大度	16
SQLCODE	-974
SQLSTATE	WW043
Sybase エラー・コード	13959

**考えられる原因**

ファイルにアクセスしようとしてエラーが発生しました。ファイルがリムーバブル・メディア・カードにある場合は、カードが取り出された可能性があります。

**'%1' のボリューム ID が不正です。**

エラー定数	SQLE_INCORRECT_VOLUME_ID
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	ファイル名。
重大度	16

SQLCODE	-975
SQLSTATE	WW044
Sybase エラー・コード	13960

**考えられる原因**

ファイルにはアクセスできますが、ボリューム ID が変更されています。元のリムーバブル・メディア・カードを挿入してください。

**'%1' の機能は実装されていません。**

エラー定数	SQLE_NOT_IMPLEMENTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	実装されていない機能の名前。
重大度	16
SQLCODE	-134
SQLSTATE	0A000
Sybase エラー・コード	401

**考えられる原因**

このバージョンの SQL Anywhere で実装されていない操作を実行したり、機能を使用しようとしました。

**'%1' 付近に無効な式があります。**

エラー定数	SQLE_EXPRESSION_ERROR
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	無効な式。
重大度	16

SQLCODE	-156
SQLSTATE	42W08
Sybase エラー・コード	401

**考えられる原因**

データベース・サーバが理解できない式を指定しました。たとえば、2つの日付を加算しようとしてしました。

**CREATE DATABASE 文では重複オプションは許可されていません**

エラー定数	SQLE_DUPLICATE_CREATE_DB_OPTION
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	11
SQLCODE	-1221
SQLSTATE	42U08
Sybase エラー・コード	13296

**考えられる原因**

CREATE DATABASE 文を実行するときに、オプションのいずれかを複数回指定しました。

**DB 領域 '%1' が見つかりません。**

エラー定数	SQLE_DBSPACE_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	見つからなかった DB 領域の名前。
重大度	11
SQLCODE	-138

SQLSTATE	52W13
Sybase エラー・コード	1802

**考えられる原因**

データベース・サーバが見つめることができない DB 領域にアクセスしようとした。

## db\_init が呼び出されていないか db\_init の呼び出しに失敗しました。

エラー定数	SQLE_DB_INIT_NOT_CALLED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-739
SQLSTATE	55W07
Sybase エラー・コード	13752

**考えられる原因**

dblib エントリ・ポイントに渡された SQLCA が db\_init の呼び出しによって初期化されていないか、db\_init の呼び出しが失敗しました。

## dbicu ライブラリが必要ですが、インストールされていません。

エラー定数	SQLE_ICU_NOT_AVAILABLE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1076
SQLSTATE	WC012
Sybase エラー・コード	13438

**考えられる原因**

このデータベースに必要な ICU コンポーネントをサーバにロードできません。dbicu と dbicudt の各 DLL がインストールされていることを確認してください。

**DESCRIBE 文で無効な型が指定されました。**

エラー定数	SQLE_INVALID_DESCRIBE_TYPE
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
重大度	16
SQLCODE	-161
SQLSTATE	07W01
Sybase エラー・コード	13634

**考えられる原因**

DESCRIBE 文で指定した Java タイプに、対応する SQL タイプがありません。

**DTC トランザクションはこのプラットフォームではサポートされていません。**

エラー定数	SQLE_DTC_TRANSACTIONS_NOT_SUPPORTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-799
SQLSTATE	0AW10
Sybase エラー・コード	13809

**考えられる原因**

DTC トランザクションをサポートしていないプラットフォームにこの機能を登録しようとしてしました。

**FETCH 文中の絶対または相対オフセットの指定が無効です。**

エラー定数	SQLE_INVALID_FETCH_POSITION
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-263
SQLSTATE	42W25
Sybase エラー・コード	6259

**考えられる原因**

無効か NULL のオフセットを FETCH 文で指定しました。

**FOR UPDATE が READ ONLY カーソルに誤って指定されました。**

エラー定数	SQLE_NON_UPDATEABLE_CURSOR
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	15
SQLCODE	-813
SQLSTATE	42W36
Sybase エラー・コード	7301

**考えられる原因**

更新可能でないクエリに対し、カーソル FOR UPDATE を宣言しようとしてしました。DISTINCT、GROUP BY、HAVING、INTERSECT、EXCEPT、UNION を含むクエリや、集合関数を含むクエリは、読み込み専用です。ansi\_update\_constraints オプションがオンの場合は、ジョインを含むクエリは、読み込み専用になります。クエリがビューを参照する場合は、そのビューが更新不可になる場合があります。

## HTTP オプション '%1' の設定が無効です。

エラー定数	SQLE_INVALID_HTTP_OPTION_SETTING
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	無効な HTTP オプションの名前。
重大度	16
SQLCODE	-939
SQLSTATE	42W83
Sybase エラー・コード	13548

### 考えられる原因

無効な値を HTTP オプションに指定しました。数値だけを許可するオプションや、On と Off の値だけを許可するオプションがあります。

## HTTP サーバからの応答が無効です。

エラー定数	SQLE_INVALID_HTTP_RESPONSE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	19
SQLCODE	-988
SQLSTATE	WW057
Sybase エラー・コード	13501

### 考えられる原因

リモート HTTP サーバからの応答が無効でした。空か、形式が間違っているか、ヘッダ情報が欠けていた可能性があります。

## HTTP ヘッダ '%1' の設定が無効です。

エラー定数	SQLE_INVALID_HTTP_HEADER_SETTING
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	無効な HTTP ヘッダの名前。
重大度	16
SQLCODE	-940
SQLSTATE	42W84
Sybase エラー・コード	13547

### 考えられる原因

無効な値を HTTP ヘッダに指定しました。

## HTTP 要求に失敗しました。ステータス・コード '%1'

エラー定数	SQLE_HTTP_REQUEST_FAILED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	HTTP ステータス・コード。
重大度	19
SQLCODE	-983
SQLSTATE	WW052
Sybase エラー・コード	13506

### 考えられる原因

HTTP 要求から失敗を示すステータス・コードが返されました。



## I/O エラーです。%1 -- トランザクションはロールバックされました。

エラー定数	SQLE_DEVICE_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	発生したエラーを説明するメッセージ。
重大度	24
SQLCODE	-305
SQLSTATE	40W04
Sybase エラー・コード	3013

### 考えられる原因

SQL Anywhere がハードディスクに障害を検出しました。ROLLBACK 文は自動的に実行されました。

## Identity 属性はカラム '%1' に適合しません。

エラー定数	SQLE_OMNI_IDENTITY_MISMATCH
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
パラメータ 1	カラムの名前。
重大度	16
SQLCODE	-725
SQLSTATE	WO019
Sybase エラー・コード	11212

### 考えられる原因

CREATE EXISTING 文で指定したカラムの identity 属性が実際のカラムの identity 属性と異なります。

## INSERT ... ON EXISTING UPDATE は許可されません : 即時マテリアライズド・ビュー %1 は %2 に依存しています

エラー定数	SQLE_UPDATE_ON_EXISTING_DEP_IMV
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	依存している即時マテリアライズド・ビューの名前。
パラメータ 2	挿入が実行されたベース・テーブルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1204
SQLSTATE	55W33
Sybase エラー・コード	13311

### 考えられる原因

依存している初期化された即時マテリアライズド・ビューがベース・テーブルにある場合は、そのベース・テーブルに対して ON EXISTING 句を含む Insert 文を使用することはできません。

## IQ データベース・コマンド・ラインの不正なオプションまたはパラメータ値 : %1

エラー定数	SQLE_IQ_INVALID_COMMAND_LINE
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメータ 1	無効なコマンド・ライン・オプション。
重大度	18
SQLCODE	-744
SQLSTATE	08W51
Sybase エラー・コード	13757

**考えられる原因**

無効なコマンド・ライン・オプションが使用されました。オプションは -iq で始まっていますが、オプションが無効か、不正なパラメータが含まれています。

**JAR '%1' が見つかりません。**

エラー定数	SQLE_JAR_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	JAR の名前。
重大度	16
SQLCODE	-811
SQLSTATE	42W58
Sybase エラー・コード	13821

**考えられる原因**

この名前の JAR はデータベースには存在しません。

**Java SecurityManager クラスがありません : %1**

エラー定数	SQLE_JAVA_SECMGR_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	Java SecurityManager のクラス名。
重大度	16
SQLCODE	-847
SQLSTATE	WJ027
Sybase エラー・コード	13853

**考えられる原因**

指定したクラスが SecurityManager サブクラスでないか、見つかりません。

## Java SecurityManager をロードしているときに例外が発生しました。

エラー定数	SQLE_JAVA_SECMGR_EXCEPTION
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-848
SQLSTATE	WJ028
Sybase エラー・コード	13854

### 考えられる原因

この接続について Java SecurityManager をロード中に Java 例外が発生しました。

## Java 仮想マシンを起動するにはキャッシュが不足しています。

エラー定数	SQLE_JAVA_VM_INSUFFICIENT_CACHE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-686
SQLSTATE	WP015
Sybase エラー・コード	13878

### 考えられる原因

使用できるキャッシュが不足しているために Java 仮想マシンを起動できませんでした。キャッシュ・サイズを大きくしてデータベース・サーバを再起動してください。

## jConnect は暗号化をサポートしていません。

エラー定数	SQLE_NO_ENCRYPTION_FOR_JCONNECT
-------	---------------------------------

ODBC 2 ステータス	08004
ODBC 3 ステータス	08004
重大度	18
SQLCODE	-941
SQLSTATE	08W69
Sybase エラー・コード	13548

**考えられる原因**

jConnect を使用して、接続の暗号化タイプを指定しました。jConnect は暗号化をサポートしていません。

**JDBC SASTatement バッチ実行は中止されました。**

エラー定数	SQLE_JDBC_BATCH_EXECUTE_ABANDONED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-742
SQLSTATE	WJ015
Sybase エラー・コード	13755

**考えられる原因**

バッチ内で文を実行したときにエラーが発生しました。バッチ内の残りの文は中止されます。

**JDBC 機能 '%1' はサポートされません。**

エラー定数	SQLE_UNSUPPORTED_JDBC_FEATURE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	試行した機能の名前。

重大度	16
SQLCODE	-693
SQLSTATE	WJ007
Sybase エラー・コード	13602

**考えられる原因**

サポートされていない JDBC の機能を使用しようとしてしました。

**JDK '%1' はサポートされている JDK ではありません。**

エラー定数	SQLE_UNSUPPORTED_JDK
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	JDK バージョン文字列。
重大度	16
SQLCODE	-842
SQLSTATE	WJ025
Sybase エラー・コード	13848

**考えられる原因**

CREATE DATABASE 文に指定した JDK バージョンがサポートされていないか、JDK JAR ファイルのマニフェスト・ファイルのバージョンがサポートされていません。

**Kerberos ログインが失敗しました。**

エラー定数	SQLE_KERBEROS_LOGON_FAILED
ODBC 2 ステータス	28000
ODBC 3 ステータス	28000
重大度	16
SQLCODE	-1069

SQLSTATE	28W12
Sybase エラー・コード	13445

#### 考えられる原因

Kerberos ログインに失敗しました。クライアントでユーザのプリンシパルを KDC に対して認証できなかったか、サーバでクライアントを認証できませんでした。考えられる主な原因は、Kerberos のプリンシパルがサインインしていないか、プリンシパルのチケットの期限が切れているか、クライアント、サーバ、または KDC のシステム時刻の差が数分を超えていることです。LogFile 接続パラメータまたはサーバの -z オプションを使用すると、詳細情報を確認できます。

## Kerberos ログインはサポートされていません。

エラー定数	SQLE_KERBEROS_LOGONS_UNSUPPORTED
ODBC 2 ステータス	28000
ODBC 3 ステータス	28000
重大度	16
SQLCODE	-1070
SQLSTATE	28W13
Sybase エラー・コード	13444

#### 考えられる原因

クライアントかサーバまたはその両方で Kerberos ログインがサポートされていません。Kerberos がプラットフォームでサポートされていないか、GSS-API ランタイムを含む Kerberos クライアント・ソフトウェアがクライアントにインストールされていない、またはクライアントで見つからないか、Kerberos がサーバで有効になっていません。LogFile 接続パラメータまたはサーバの -z オプションを使用すると、詳細情報を確認できます。

## MIME タイプ '%1' が不正です。

エラー定数	SQLE_INVALID_MIMETYPE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	MIME タイプの名前。

重大度	16
SQLCODE	-1123
SQLSTATE	WW085
Sybase エラー・コード	13390

**考えられる原因**

MIME タイプの指定子が不正です。

**OLAP 関数の先頭または最後のサイズが無効です。**

エラー定数	SQLE_INVALID_FRAME_BOUNDARY
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-957
SQLSTATE	22X13
Sybase エラー・コード	13531

**考えられる原因**

先頭または最後のサイズの式が、NULL または負の値に評価されました。

**OPENXML クエリのメモリが足りません。**

エラー定数	SQLE_XQUERY_MEMORY_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	17
SQLCODE	-912
SQLSTATE	WX016



Sybase エラー・コード	13572
----------------	-------

### 考えられる原因

OPENXML クエリによって使用されるメモリは、単一のローによって返される要素または属性の最大距離に比例することがあります。たとえば、一部のローがドキュメントの最初と最後の両要素の値を使用しているクエリは、ドキュメントのサイズに比例したメモリを使用することがあります。解決法の1つとして、キャッシュ・サイズを増やすことが挙げられます。また、離れた要素を参照するクエリを複数のクエリに分割して、それぞれが近くの要素を参照するようにし、結果を結合する方法もあります。

## OPENXML に渡されたフラグ値は不正です。

エラー定数	SQLE_BAD_OPENXML_FLAG
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-893
SQLSTATE	WX004
Sybase エラー・コード	13590

### 考えられる原因

3番目の引数として OPENXML に渡されるフラグ値は、1 (属性中心のマッピング) または 2 (要素中心のマッピング) でなければなりません。

## ORDER BY 句で使用されている、'%1' に対する関数またはカラムの参照は不正です。

エラー定数	SQLE_INVALID_ORDERBY_COLUMN
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	ORDER BY 句内で、直接または式の中で参照されているカラムの名前。
重大度	15

SQLCODE	-854
SQLSTATE	42W65
Sybase エラー・コード	104

**考えられる原因**

ORDER BY 句に関数またはカラムの参照を指定しましたが、セマンティック上無効です。たとえば、DISTINCT クエリでは ORDER BY 句で参照できるのはクエリの select リスト内の項目のみです。

**ORDER BY 句の指定が不正です。**

エラー定数	SQLE_INVALID_ORDER
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	15
SQLCODE	-152
SQLSTATE	53005
Sybase エラー・コード	108

**考えられる原因**

ORDER BY リスト内で使用した整数が select リストのカラム数を上回ったか、セマンティック上無効な ORDER BY 式を指定しました。たとえば、UNION クエリでは、結果の順序を指定するために整数のみ指定できます。

**RAISERROR のエラー番号 %1 は、17000 未満にしないでください。**

エラー定数	SQLE_ERROR_NUMBER_OUT_OF_RANGE
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	エラー番号。

重大度	16
SQLCODE	-296
SQLSTATE	53W07
Sybase エラー・コード	2732

**考えられる原因**

RAISERROR 文に無効なエラー番号を指定しました。番号は、17000 以上にしてください。

**SOAP ヘッダ '%1' の設定が無効です。**

エラー定数	SQLE_INVALID_SOAP_HEADER_SETTING
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	無効な SOAP ヘッダの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1114
SQLSTATE	42W86
Sybase エラー・コード	13400

**考えられる原因**

無効な値を SOAP ヘッダに指定しました。

**SQL の識別子が無効です。**

エラー定数	SQLE_INVALID_SQL_IDENTIFIER
ODBC 2 ステータス	07001
ODBC 3 ステータス	07W06
重大度	16
SQLCODE	-760

SQLSTATE	07W06
Sybase エラー・コード	13771

**考えられる原因**

C 言語インタフェースを通して、無効な識別子を指定しました。たとえば、カーソル名に NULL 文字列を指定した可能性があります。

**SQL 記述子名が正しくありません。**

エラー定数	SQLE_INVALID_DESCRIPTOR_NAME
ODBC 2 ステータス	33000
ODBC 3 ステータス	33000
重大度	21
SQLCODE	-642
SQLSTATE	33000
Sybase エラー・コード	601

**考えられる原因**

まだ割り当てられていない記述子を解除しようとしてしました。

**SQLDA に不正な sqllen フィールドがあります。**

エラー定数	SQLE_INVALID_SQLLEN
ODBC 2 ステータス	HY090
ODBC 3 ステータス	HY090
重大度	16
SQLCODE	-856
SQLSTATE	07W08
Sybase エラー・コード	13859

**考えられる原因**

SQLDA の `sqllen` フィールドに指定された長さが無効です。可変長のデータ型の長さには負の数を指定しないでください。DT\_BINARY 型と DT\_VARCHAR 型の長さは 1 より大きい必要があります。

**Transact-SQL の外部ジョインで使用されるジョイン・タイプが無効です。**

エラー定数	SQLE_INVALID_TSQL_JOIN_TYPE
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-681
SQLSTATE	52W24
Sybase エラー・コード	305

**考えられる原因**

無効なジョイン・タイプが、Transact-SQL 外部ジョイン比較演算子のあるクエリによって使用されました。

**Transact-SQL の外部ジョインの WHERE 句の式が無効です。**

エラー定数	SQLE_INVALID_TSQL_OJ_EXPRESSION
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-680
SQLSTATE	52W23
Sybase エラー・コード	301

**考えられる原因**

Transact-SQL 構文を使用するクエリの WHERE 句の式の中に、別のテーブルからカラムを参照しているサブクエリや式と、NULL 入力テーブルのカラムの比較が含まれています。

**Ultra Light では使用できない機能です。**

エラー定数	SQLE_NOT_SUPPORTED_IN_ULTRALITE
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-749
SQLSTATE	0AW07
Sybase エラー・コード	13762

**考えられる原因**

Ultra Light データベースでサポートされていない文を実行したり、機能を使用したりしようとしました。

**WRITETEXT または READTEXT に無効な値を持つ TEXTPTR があります。**

エラー定数	SQLE_INVALID_TEXTPTR_VALUE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-608
SQLSTATE	22W03
Sybase エラー・コード	7123

**考えられる原因**

WRITETEXT または READTEXT 文に無効な TEXTPTR 値を指定しました。

## WRITETEXT または READTEXT のカラムのデータ型が無効です。

エラー定数	SQLE_INVALID_TEXT_IMAGE_DATATYPE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-609
SQLSTATE	53W09
Sybase エラー・コード	7139

### 考えられる原因

テキスト (text) またはイメージ (image) データを格納するように定義されていないカラムを WRITETEXT または READTEXT 文で参照しました。

## XQuery コンストラクタが無効です。

エラー定数	SQLE_INVALID_XQUERY_CONSTRUCTOR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-905
SQLSTATE	WX012
Sybase エラー・コード	13578

### 考えられる原因

XMLGEN に最初の引数として渡された XQuery コンストラクタが無効です。

## アイテム '%1' はすでに存在しています。

エラー定数	SQLE_NAME_NOT_UNIQUE
-------	----------------------

ODBC 2 ステータス	S0001
ODBC 3 ステータス	42S01
パラメータ 1	すでに存在するアイテムの名前。
重大度	16
SQLCODE	-110
SQLSTATE	52010
Sybase エラー・コード	12006

**考えられる原因**

ファイル、テーブル、ビュー、カラム、制約、外部キー、またはパブリケーションを、既存のものと同じ名前を使って作成しようとしてしました。

**イベント '%1' がすでに存在します。**

エラー定数	SQLE_EVENT_ALREADY_EXISTS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	すでに存在するイベントの名前。
重大度	16
SQLCODE	-772
SQLSTATE	WE002
Sybase エラー・コード	13782

**考えられる原因**

データベースにすでに存在する名前でイベントを作成しようとしてしました。

**イベント '%1' が見つかりません。**

エラー定数	SQLE_EVENT_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	ERROR



ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	見つからなかったイベントの名前。
重大度	11
SQLCODE	-771
SQLSTATE	WE001
Sybase エラー・コード	13781

**考えられる原因**

データベースに存在しない名前イベントを参照しようとした。

**イベント '%1' の開始日時が無効です。**

エラー定数	SQLE_INVALID_EVENT_START
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	スケジュールされているイベントの名前。
重大度	15
SQLCODE	-793
SQLSTATE	WE007
Sybase エラー・コード	13803

**考えられる原因**

イベントの開始日に無効な日付を指定しました。

**イベント '%1' は使用中です。**

エラー定数	SQLE_EVENT_IN_USE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR

パラメータ 1	使用中のイベントの名前。
重大度	16
SQLCODE	-835
SQLSTATE	WE009
Sybase エラー・コード	13841

**考えられる原因**

現在使用中のイベントを削除しようとした。

**イベント '%2' の時刻 '%1' が無効です。**

エラー定数	SQLE_INVALID_EVENT_TIME
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	時刻の値。
パラメータ 2	スケジュールされているイベントの名前。
重大度	15
SQLCODE	-792
SQLSTATE	WE006
Sybase エラー・コード	13802

**考えられる原因**

無効な起動時刻や終了時刻でスケジュールを作成しようとした。

**イベント '%2' の曜日または月 '%1' が無効です。**

エラー定数	SQLE_INVALID_EVENT_DAY
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR

パラメータ 1	曜日または日付。
パラメータ 2	スケジュールされているイベントの名前。
重大度	15
SQLCODE	-791
SQLSTATE	WE005
Sybase エラー・コード	13801

**考えられる原因**

無効な曜日または日付でスケジュール作成しようとしました。

**イベント・オブジェクト名 '%1' は無効です**

エラー定数	SQLE_INVALID_EVENT_OBJECT_NAME
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	イベント・オブジェクトの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1264
SQLSTATE	WE015
Sybase エラー・コード	13246

**考えられる原因**

指定された名前は、イベント・オブジェクト (通知キューまたはユーザ・イベント) では無効です。名前は、長さ 32 文字 (バイト) までに制限され、'\*' や '@' など、特定の文字を使用することはできません。

**イベント・パラメータ '%1' が見つかりません**

エラー定数	SQLE_EVENT_PARAMETER_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	ERROR

ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	イベント・パラメータの名前。
重大度	11
SQLCODE	-1267
SQLSTATE	WE018
Sybase エラー・コード	13243

**考えられる原因**

イベント通知に、指定されたイベント・パラメータが見つかりませんでした。

**イベント通知キュー '%1' が見つかりません**

エラー定数	SQLE_EVENT_NOTIFICATION_QUEUE_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	イベント通知キューの名前。
重大度	11
SQLCODE	-1263
SQLSTATE	WE014
Sybase エラー・コード	13247

**考えられる原因**

指定されたイベント通知キューは見つかりませんでした。操作が失敗しました。

**イベント通知キュー '%1' が満杯なため、通知は破棄されました**

エラー定数	SQLE_EVENT_NOTIFICATION_QUEUE_FULL
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK

パラメータ 1	イベント通知キューの名前。
重大度	10
SQLCODE	146
SQLSTATE	WE011
Sybase エラー・コード	13785

**考えられる原因**

指定されたキューが満杯であり、キューから通知が読み込まれるまでイベント通知を受信しません。保留中の通知は廃棄されています。

**イベント通知キュー '%1' に警告は見つかりません**

エラー定数	SQLE_EVENT_NOTIFICATION_QUEUE_NOT_FOUND_WARN
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
パラメータ 1	イベント通知キューの名前。
重大度	10
SQLCODE	148
SQLSTATE	WE013
Sybase エラー・コード	13248

**考えられる原因**

指定されたイベント通知キューは見つかりませんでした。操作はスキップされます。

**インデックス '%1' にはカラムがありません**

エラー定数	SQLE_INDEX_HAS_NO_COLUMNS
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	インデックスの名前。

重大度	16
SQLCODE	-1274
SQLSTATE	0EW01
Sybase エラー・コード	13884

**考えられる原因**

カラムなしのインデックスを作成しようとした。

**インデックス '%1' をクラスタできません。**

エラー定数	SQLE_CLUSTERED_INDEX_NOT_ALLOWED
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	クラスタード・インデックスにできなかったインデックスの名前。
重大度	16
SQLCODE	-878
SQLSTATE	42W74
Sybase エラー・コード	13889

**考えられる原因**

クラスタード・インデックス (キー・インデックスを含む) を作成しようとしたが、新しいインデックスを作成できませんでした。理由としては、たとえばテーブルにクラスタード・インデックスがすでにあることが考えられます。

**インデックス名 '%1' があいまいです。**

エラー定数	SQLE_AMBIGUOUS_INDEX_NAME
ODBC 2 ステータス	S0011
ODBC 3 ステータス	42S11
パラメータ 1	あいまいなインデックスの名前。

重大度	16
SQLCODE	-678
SQLSTATE	52W40
Sybase エラー・コード	1921

**考えられる原因**

文がユニークでないインデックス名を参照しました。インデックス名には、はじめにテーブル名か所有者名またはその両方を付けてください。

**インデックス名 '%1' はユニークではありません。**

エラー定数	SQLE_INDEX_NAME_NOT_UNIQUE
ODBC 2 ステータス	S0011
ODBC 3 ステータス	42S11
パラメータ 1	無効なインデックスの名前。
重大度	16
SQLCODE	-111
SQLSTATE	52W04
Sybase エラー・コード	1921

**考えられる原因**

既存のインデックスと同じ名前を使って、インデックスを作成しようとしてしました。

**ウィンドウ '%1' では、フレームは許可されません。**

エラー定数	SQLE_FRAME_NOT_ALLOWED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	ウィンドウまたは関数の名前。
重大度	16

SQLCODE	-950
SQLSTATE	42WA6
Sybase エラー・コード	13538

**考えられる原因**

RANK 関数、またはインラインのウィンドウ指定から参照されるウィンドウでは、フレームを使用できません。

## エイリアス '%1' の定義は、最初の参照前に記述する必要があります。

エラー定数	SQLE_ALIAS_NOT_YET_DEFINED
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	エイリアスの名前。
重大度	15
SQLCODE	-831
SQLSTATE	42W61
Sybase エラー・コード	13837

**考えられる原因**

式にエイリアスへの参照が入っていますが、このエイリアスは、select リストの後の部分で定義されています。エイリアスへの参照の前にエイリアスを定義してください。

## エスケープ・シーケンス '%1' が無効です。

エラー定数	SQLE_INVALID_ESCAPE_SEQ
ODBC 2 ステータス	S1000
ODBC 3 ステータス	22025
パラメータ 1	エスケープ文字。



重大度	16
SQLCODE	-630
SQLSTATE	22025
Sybase エラー・コード	7705

**考えられる原因**

LIKE パターンで使用されているエスケープ文字が無効です。エスケープ文字に続く文字は、特殊文字の '%', '\_', '[' またはエスケープ文字そのものです。

**エスケープ文字 '%1' が無効です。**

エラー定数	SQLE_INVALID_ESCAPE_CHAR
ODBC 2 ステータス	S1000
ODBC 3 ステータス	22019
パラメータ 1	無効なエスケープ文字。
重大度	16
SQLCODE	-629
SQLSTATE	22019
Sybase エラー・コード	7707

**考えられる原因**

エスケープ文字の文字長は 1 バイトにしてください。

**エスケープ文字 '%1' が矛盾しています。**

エラー定数	SQLE_ESCAPE_CHARACTER_CONFLICT
ODBC 2 ステータス	S1000
ODBC 3 ステータス	2200B
パラメータ 1	無効なエスケープ文字。
重大度	16

SQLCODE	-1137
SQLSTATE	2200B
Sybase エラー・コード	13376

**考えられる原因**

指定されたエスケープ文字は使用できません。

**エスケープ文字 '%1' の使用が無効です。**

エラー定数	SQLE_INVALID_USE_OF_ESCAPE_CHARACTER
ODBC 2 ステータス	S1000
ODBC 3 ステータス	2200C
パラメータ 1	無効なエスケープ文字。
重大度	16
SQLCODE	-1136
SQLSTATE	2200C
Sybase エラー・コード	13377

**考えられる原因**

指定されたエスケープ文字は使用できません。

**オプション '%1' が無効です -- PUBLIC 設定がありません。**

エラー定数	SQLE_INVALID_OPTION
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	無効なオプションの名前。
重大度	15
SQLCODE	-200

SQLSTATE	42W16
Sybase エラー・コード	155

**考えられる原因**

SET OPTION 文のオプション名が間違っている可能性があります。ユーザに対してオプションを設定できるのは、そのオプションにデータベース管理者が PUBLIC 値を与えている場合だけです。

**オプション '%1' の設定が無効です。**

エラー定数	SQLE_INVALID_OPTION_SETTING
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	無効なオプションの名前。
重大度	16
SQLCODE	-201
SQLSTATE	42W17
Sybase エラー・コード	5849

**考えられる原因**

SET 文のオプションに無効な値が指定されました。数値だけを許可するオプションや、On と Off の値だけを許可するオプションがあります。

**カーソルの INSERT/DELETE は、1 つのテーブルしか変更できません。**

エラー定数	SQLE_ONLY_ONE_TABLE
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	15
SQLCODE	-199

SQLSTATE	09W04
Sybase エラー・コード	102

**考えられる原因**

複数のテーブルの値を指定して、カーソルに INSERT を行おうとしました。またはジョインを含むカーソルから DELETE を行おうとしました。INSERT は一度に 1 つのテーブルに対して行ってください。DELETE の場合は、FROM 句を使ってどのテーブルから削除するのかを指定してください。

**カーソルのオープンがエラーになりました。**

エラー定数	SQLE_OPEN_CURSOR_ERROR
ODBC 2 ステータス	24000
ODBC 3 ステータス	24000
重大度	15
SQLCODE	-171
SQLSTATE	07003
Sybase エラー・コード	102

**考えられる原因**

SELECT、CALL、または EXEC ではない文でカーソルを開こうとしました。

**カラム番号が無効です。**

エラー定数	SQLE_INVALID_COLUMN_NUMBER
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	15
SQLCODE	-159
SQLSTATE	42W13
Sybase エラー・コード	182

**考えられる原因**

無効なカラム番号を指定したか、探しているカラムは別のテーブルにあります。

**キュー '%1' でイベント通知が失われました**

エラー定数	SQLE_EVENT_NOTIFICATIONS_LOST
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
パラメータ 1	イベント通知キューの名前。
重大度	10
SQLCODE	147
SQLSTATE	WE012
Sybase エラー・コード	13249

**考えられる原因**

指定されたキューでイベント通知が失われています。これは、キューが破棄されるときに保留中の通知があった場合に発生します。保留中の通知は破棄されます。

**クライアント・バージョンまたはクライアント・インタフェースではサポートされていない機能です。**

エラー定数	SQLE_NOT_SUPPORTED_BY_CLIENT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1148
SQLSTATE	0AW19
Sybase エラー・コード	13363

**考えられる原因**

サーバによってサポートされているが、クライアントによってサポートされていない機能を使用しようとした。機能を使用するには、クライアント・ライブラリをアップグレードするか、他のクライアント・インタフェースを使用してください。いくつかの機能は、JConnect クライアント・インタフェースおよび Open Client クライアント・インタフェースによってサポートされていません。

## クラス '%2' のフィールド '%1' は NULL になることはできません。

エラー定数	SQLE_FIELD_CANNOT_BE_NULL
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	NULL にできないフィールドの名前。
パラメータ 2	フィールドを持つクラスの名前。
重大度	16
SQLCODE	-649
SQLSTATE	WW015
Sybase エラー・コード	13741

**考えられる原因**

NULL 値にできない Java データ型の Java オブジェクト・フィールドに SQL の NULL 値を保存しようとした。たとえば、Java の 'int' データ型は NULL にできません。

## クラスのバイト・コードが不正です。

エラー定数	SQLE_BAD_CLASS_BYTE_CODE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-670

SQLSTATE	WP005
Sybase エラー・コード	13746

**考えられる原因**

INSTALL JAVA 文に渡されたバイナリ式は、不正な Java クラスです。

**グループ化されたクエリに、複数の異なる集合関数が含まれています。**

エラー定数	SQLE_INVALID_DISTINCT_AGGREGATE
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	15
SQLCODE	-863
SQLSTATE	42W70
Sybase エラー・コード	13867

**考えられる原因**

複数の DISTINCT 集合関数が、グループ化された同じクエリに指定されています。これが許容されるのは、Hash Group By 演算子を使用できる場合だけです。Hash Group By 演算子を使用できない場合は、クエリ・ブロックに含めることが可能な DISTINCT 集合関数は最大で 1 つです。

**このデータベースでは、外部環境はサポートされていません。**

エラー定数	SQLE_EXTERN_ENV_UPGRADE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1206
SQLSTATE	WW104

Sybase エラー・コード	13309
----------------	-------

**考えられる原因**

現在のデータベースに外部環境用のカタログ・サポートがありません。この機能を使用するには、データベースを最新版にアップグレードしてください。

**このデータベースでは、統合化ログインはサポートされていません。**

エラー定数	SQLE_INTEGRATED_LOGON_UNSUPPORTED
ODBC 2 ステータス	28000
ODBC 3 ステータス	28000
重大度	16
SQLCODE	-246
SQLSTATE	28W05
Sybase エラー・コード	13694

**考えられる原因**

現在のデータベースは古いバージョンのデータベースなので、統合化ログイン ID をデータベース・ユーザ ID にマッピングするための情報がありません。統合化ログインを使用するには、データベースをアップグレードする必要があります。

**このプラットフォームではデータベース '%1' を起動できません。 <http://www.iAnywhere.jp/sas/os.html> を参照してください。**

エラー定数	SQLE_DATABASE_ENDIAN_FAILURE
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメータ 1	データベースの名前。
重大度	11



SQLCODE	-1149
SQLSTATE	08W99
Sybase エラー・コード	840

#### 考えられる原因

データベースを現在のプラットフォームで起動すると、エンディアンに起因したデータベース・ファイルの破損が起こる可能性があるため、データベースを起動できないと判断されました。逆のエンディアンを使用したプラットフォームでは、問題なく起動処理が続行されます。詳細情報と処理の続行方法については、<http://www.iAnywhere.jp/sas/os.html> を参照してください。

**このプラットフォームではデータベース '%1' を起動できません。<http://www.iAnywhere.jp/sas/os.html> を参照してください。**

エラー定数	SQLE_POSSIBLE_DATABASE_CORRUPTION
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメータ 1	データベースの名前。
重大度	11
SQLCODE	-1147
SQLSTATE	08W98
Sybase エラー・コード	840

#### 考えられる原因

データベースが破損している可能性があるとして判断されました。詳細情報と処理の続行方法については、<http://www.iAnywhere.jp/sas/os.html> を参照してください。

**サーバ '%1' の外部ログインが見つかりませんでした。**

エラー定数	SQLE_OMNI_EXTLOGIN_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR

パラメータ 1	リモート・サーバの名前。
重大度	11
SQLCODE	-712
SQLSTATE	WO013
Sybase エラー・コード	11221

**考えられる原因**

サーバに外部ログインが行われましたが、ユーザが存在しません。

**サーバを起動するには、データベース名が必要です。**

エラー定数	SQLE_DATABASE_NAME_REQUIRED
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	17
SQLCODE	-87
SQLSTATE	08W14
Sybase エラー・コード	840

**考えられる原因**

データベース名が指定されていません。データベース・サーバを起動するには、データベース名が必要です。

**サービスに重複した属性 '%1' があります。**

エラー定数	SQLSE_SERVICE_PARM_DUPLICATE_PROPERTY
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	重複する属性の名前。
重大度	16

SQLCODE	-1025
SQLSTATE	42WB0
Sybase エラー・コード	13485

**考えられる原因**

サービス定義に重複する属性が含まれています。

**サービスの属性 '%1' の値が無効です。**

エラー定数	SQLLE_SERVICE_PARM_INVALID_VALUE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	無効な属性の名前。
重大度	16
SQLCODE	-1022
SQLSTATE	42WAD
Sybase エラー・コード	13488

**考えられる原因**

サービス定義に無効な値の USING、FORMAT、または GROUP 属性が含まれています。

**サービス定義のホスト変数参照には名前が必要です。**

エラー定数	SQLLE_HOSTVAR_MUST_BE_NAMED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-926
SQLSTATE	42W9B

Sybase エラー・コード	13559
----------------	-------

**考えられる原因**

名前のないホスト変数参照を使用してサービスを作成しようとした。

**サービス名 '%1' は無効です。**

エラー定数	SQL_E_INVALID_SERVICE_NAME
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	サービスの名前。
重大度	16
SQLCODE	-925
SQLSTATE	42W95
Sybase エラー・コード	13560

**考えられる原因**

無効な名前でサービスを作成しようとした。使用できない文字が名前に含まれているか、サービスに指定された URL PATH 設定と名前が競合している可能性があります。

**スクロール位置 '%1' が不正です。**

エラー定数	SQL_E_INVALID_POSITION
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	不正なスクロール位置。
重大度	16
SQLCODE	-820
SQLSTATE	24504
Sybase エラー・コード	13826

**考えられる原因**

サポートされていない場所へスクロールしようとしてしました。スクロールする場所は、-2147483647 と 2147483646 の間である必要があります。

**ゼロで除算しようとしてしました。**

エラー定数	SQLE_DIV_ZERO_ERROR
ODBC 2 ステータス	22012
ODBC 3 ステータス	22012
重大度	16
SQLCODE	-628
SQLSTATE	22012
Sybase エラー・コード	36007

**考えられる原因**

0 による除算を伴う操作が検出されました。

**タイプ '%2' のプロシージャ・サブタイプ '%1' が無効です。**

エラー定数	SQLE_INVALID_PROCEDURE_SUBTYPE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	プロシージャのサブタイプ。
パラメータ 2	プロシージャのタイプ。
重大度	16
SQLCODE	-987
SQLSTATE	WW056
Sybase エラー・コード	13502

**考えられる原因**

関数またはプロシージャがそのプロシージャ・タイプに無効のサブタイプを使って指定されました。

## ディスク書き込みの失敗 '%1' -- トランザクションはロールバックされました。

エラー定数	SQLE_DISK_WRITE_FAILED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	書き込めなかったファイルの名前。
重大度	21
SQLCODE	-303
SQLSTATE	40W05
Sybase エラー・コード	13868

**考えられる原因**

ディスクへの書き込みに失敗しました。ROLLBACK 文は自動的に実行されました。

## データベース \"%1\" をリカバリする必要があります。

エラー定数	SQLE_DATABASE_NEEDS_RECOVERY
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	リカバリが必要なデータベースのファイル名。
重大度	21
SQLCODE	-665
SQLSTATE	08W41
Sybase エラー・コード	13709

**考えられる原因**

データベースは最後に使用されたときに異常終了しました。データベース・リカバリを実行しなければなりません。

**データベース・サーバが見つかりません。**

エラー定数	SQLE_ENGINE_NOT_RUNNING
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	16
SQLCODE	-100
SQLSTATE	08W01
Sybase エラー・コード	7950

**考えられる原因**

データベース・サーバが実行されていないか、起動または停止の途中であるか、インタフェース・ライブラリでデータベース・サーバを見つけることができません。

**データベース・サーバで文字セット '%1' 間とのデータ変換を実行できません。**

エラー定数	SQLE_UNSUPPORTED_CHARACTER_SET_ERROR
ODBC 2 ステータス	08S01
ODBC 3 ステータス	08S01
パラメータ 1	要求された文字セットの名前。
重大度	21
SQLCODE	-869
SQLSTATE	08W64
Sybase エラー・コード	13873

**考えられる原因**

アプリケーションによって要求された文字セットがサポートされていないので、データベース・サーバで、要求された文字セットとの間で文字データを変換できません。接続は失敗します。

## データベース・サーバで文字セット '%1' 間とのデータ変換を実行できません。変換が正しくない可能性があります。

エラー定数	SQLE_UNSUPPORTED_CHARACTER_SET_WARNING
ODBC 2 ステータス	01000
ODBC 3 ステータス	01000
パラメータ 1	要求された文字セットの名前。
重大度	10
SQLCODE	115
SQLSTATE	01W13
Sybase エラー・コード	13614

**考えられる原因**

アプリケーションによって要求された文字セットがサポートされていないので、データベース・サーバで、要求された文字セットとの間で文字データを変換できません。接続は成功しますが、すべての文字が正確に変換されない可能性があります。

## データベース・サーバに接続できる限界数を超えています。

エラー定数	SQLE_TOO_MANY_CONNECTIONS
ODBC 2 ステータス	08004
ODBC 3 ステータス	08004
重大度	21
SQLCODE	-102
SQLSTATE	08W03
Sybase エラー・コード	1601



**考えられる原因**

サーバに接続できるコンピュータ数を超過してしまいました。ネットワーク・データベース・サーバを実行している場合は、制限数がライセンス契約に明記されています。サーバは少量のキャッシュを使用して実行されているため、これ以上のデータベース接続を受け入れることはできません。パーソナル・データベース・サーバの接続は、10 に制限されています。

**データベース・サーバのコマンド・ラインが無効です。**

エラー定数	SQLE_INVALID_COMMAND_LINE
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	18
SQLCODE	-81
SQLSTATE	08W08
Sybase エラー・コード	5864

**考えられる原因**

コマンド・ラインが無効だったため、データベース・サーバを起動できませんでした。

**データベース・サーバはすでに起動しています。**

エラー定数	SQLE_ENGINE_ALREADY_RUNNING
ODBC 2 ステータス	S1000
ODBC 3 ステータス	HY000
重大度	18
SQLCODE	-96
SQLSTATE	08W23
Sybase エラー・コード	7950

**考えられる原因**

同じ名前前のサーバがすでに実行されているためデータベース・サーバを起動できませんでした。

## データベース・サーバはマルチユーザ・モードで実行していません。

エラー定数	SQLE_ENGINE_NOT_MULTIUSER
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	17
SQLCODE	-89
SQLSTATE	08W16
Sybase エラー・コード	7203

### 考えられる原因

データベース・サーバはバルク・ロード (-b オプション) 用に起動されており、ネットワーク・サーバとしては使用できません。データベース・サーバを停止して、-b スイッチなしで再起動してください。

## データベース・ストア DLL (%1) のバージョンが不正です。

エラー定数	SQLE_STORE_VERSION_MISMATCH
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	データベース・ストア DLL の名前。
重大度	19
SQLCODE	-711
SQLSTATE	08W47
Sybase エラー・コード	13701

### 考えられる原因

データベース・ストア DLL とサーバ DLL のバージョンが一致しません。

**データベース・ページの検証は次のコードで失敗しました : %1**

エラー定数	SQLE_CORRUPT_ULTRALITE_DATABASE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	見つかった破損の具体的な種類。
重大度	23
SQLCODE	-1186
SQLSTATE	WI003
Sybase エラー・コード	13329

**考えられる原因**

Ultra Light データベース検証が、データベース・ページの検証中に失敗しました。コードによって、検証の失敗に関するより具体的な情報がわかります。

**データベースが起動できません -- %1**

エラー定数	SQLE_UNABLE_TO_CONNECT
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメータ 1	データベースが起動できなかった理由。
重大度	11
SQLCODE	-105
SQLSTATE	08001
Sybase エラー・コード	4001

**考えられる原因**

指定したデータベースが起動できません。そのデータベースが存在しない、データベースではない、破壊されている、またはサポートされていない古いフォーマットであるなどの原因が考えられます。

## データベースのアップグレードができません。

エラー定数	SQLE_DATABASE_UPGRADE_NOT_POSSIBLE
ODBC 2 ステータス	08004
ODBC 3 ステータス	08004
重大度	21
SQLCODE	-673
SQLSTATE	08W43
Sybase エラー・コード	3451

### 考えられる原因

データベースをアップグレードしようとしたのですが、失敗しました。データベースが古すぎるためアップグレードできません。

## データベースのアップグレードができません。ユーザ dbo は RowGenerator テーブルの所有者ではありません。

エラー定数	SQLE_DBO_DOES_NOT_OWN_ROWGENERATOR
ODBC 2 ステータス	08004
ODBC 3 ステータス	08004
重大度	21
SQLCODE	-826
SQLSTATE	08W57
Sybase エラー・コード	13832

### 考えられる原因

データベースをアップグレードしようとしたのですが、失敗しました。ユーザ dbo は RowGenerator テーブルの所有者ではありません。

**データベースのアップグレードができません。ユーザ・テーブルに、システム・テーブル範囲のテーブル ID が設定されています。**

エラー定数	SQLE_USER_TABLES_IN_SYSTEM_RANGE
ODBC 2 ステータス	08004
ODBC 3 ステータス	08004
重大度	21
SQLCODE	-827
SQLSTATE	08W58
Sybase エラー・コード	13833

#### 考えられる原因

データベースをアップグレードしようとしたのですが、失敗しました。ユーザ dbo は RowGenerator テーブルの所有者ではありません。

**データベースのアップグレードに失敗しました。**

エラー定数	SQLE_DATABASE_UPGRADE_FAILED
ODBC 2 ステータス	08004
ODBC 3 ステータス	08004
重大度	20
SQLCODE	-672
SQLSTATE	08W42
Sybase エラー・コード	3451

#### 考えられる原因

データベースをアップグレードしようとしたのですが、失敗しました。これは、システム・テーブル変更の定義に使用する SQL スクリプト・ファイルのいずれかを見つけられなかったために起こります。

## データベースのバックアップを起動できません。

エラー定数	SQLE_BACKUP_NOT_STARTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	20
SQLCODE	-241
SQLSTATE	WB002
Sybase エラー・コード	3206

### 考えられる原因

データベースのバックアップを開始できませんでした。バックアップがすでに実行中であるか、必要な権限 (BACKUP、DBA、または REMOTE DBA) がありません。

## データベースのページ・サイズが小さすぎます : %1

エラー定数	SQLE_PAGE_SIZE_TOO_SMALL
ODBC 2 ステータス	08004
ODBC 3 ステータス	08004
パラメータ 1	データベース名。
重大度	14
SQLCODE	-972
SQLSTATE	54W03
Sybase エラー・コード	13516

### 考えられる原因

ロードしようとした統計情報が、現在のデータベースのページ・サイズに対して大きすぎました。ページ・サイズを大きくしてこのデータベースを再構築すると、このエラーを防ぐことができます。

## データベースのページ・サイズが大きすぎます : %1

エラー定数	SQLE_PAGE_SIZE_TOO_BIG
ODBC 2 ステータス	08004
ODBC 3 ステータス	08004
パラメータ 1	データベース名。
重大度	14
SQLCODE	-97
SQLSTATE	08W22
Sybase エラー・コード	927

### 考えられる原因

実行中のサーバの最大ページ・サイズを超えるページ・サイズのデータベースを起動しようとして、コマンド・ラインからこのデータベースを指定するか、必要なページ・サイズで、サーバを再起動してください。

## データベースの作成に失敗しました : %1

エラー定数	SQLE_DATABASE_NOT_CREATED
ODBC 2 ステータス	08004
ODBC 3 ステータス	08004
パラメータ 1	データベースが作成されなかった理由。
重大度	14
SQLCODE	-645
SQLSTATE	08W33
Sybase エラー・コード	928

### 考えられる原因

データベース・ファイルの初期化に失敗しました。

## データベースの内部エラー %1 -- トランザクションはロールバックされました。

エラー定数	SQLE_DATABASE_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	エラーの ID。
重大度	18
SQLCODE	-301
SQLSTATE	40W01
Sybase エラー・コード	13665

### 考えられる原因

内部データベース・エラーが発生しました。このエラーを再現できた場合は、Sybase に連絡してください。ROLLBACK 文は自動的に実行されました。

## データベースはアクティブです。

エラー定数	SQLE_DATABASE_ACTIVE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-664
SQLSTATE	08W40
Sybase エラー・コード	13708

### 考えられる原因

実行しようとした操作 (CREATE ENCRYPTED、CREATE DECRYPTED、ALTER DATABASE) は、データベースの実行中には行うことができません。データベースを停止すると、操作を行うことができます。



**データベース名がユニークではありません。**

エラー定数	SQLE_ALIAS_CLASH
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	16
SQLCODE	-77
SQLSTATE	08W27
Sybase エラー・コード	1801

**考えられる原因**

先に起動したデータベースと名前が競合するため、データベースを起動できませんでした。

**テーブル %1、インデックス %2 のインデックスの検証は次のコードで失敗しました : %3**

エラー定数	SQLE_CORRUPT_ULTRALITE_INDEX
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	テーブルの名前。
パラメータ 2	インデックスの名前。
パラメータ 3	見つかった破損の具体的な種類。
重大度	23
SQLCODE	-1185
SQLSTATE	WI002
Sybase エラー・コード	13330

**考えられる原因**

Ultra Light データベース検証が、指定されたインデックスの検証中に失敗しました。コードによって、検証の失敗に関するより具体的な情報がわかります。

**テーブル '%1' に指定されたヒントが無効です。**

エラー定数	SQLE_INVALID_HINT
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	ヒントが指定されたテーブルの名前。
重大度	15
SQLCODE	-970
SQLSTATE	42U07
Sybase エラー・コード	13520

**考えられる原因**

現在の文で指定されたヒントが、このコンテキストでは無効です。1つの文の中では、テーブルへのすべての参照は同じヒントを指定するか、ヒントをまったく指定しないでください。

**テーブル '%1' の DB 領域が見つかりません。**

エラー定数	SQLE_DBSPACE_FOR_TABLE_UNAVAILABLE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	DB 領域が見つからなかったテーブルの名前。
重大度	11
SQLCODE	-821
SQLSTATE	52W19
Sybase エラー・コード	13827

**考えられる原因**

データベース・サーバが見つめることができない DB 領域のテーブルにアクセスしようとした。ALTER DBSPACE 文を使用して、その DB 領域に関連するファイル名を変更することが必要な場合があります。

## テーブル '%2' のインデックス '%1' はユニークでなければなりません。

エラー定数	SQLE_INDEX_NOT_UNIQUE
ODBC 2 ステータス	23000
ODBC 3 ステータス	23000
パラメータ 1	ユニークにならないインデックスの名前。
パラメータ 2	そのインデックスがあるテーブルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-196
SQLSTATE	23505
Sybase エラー・コード	548

### 考えられる原因

挿入または更新しようとしたローと同じ値を持つローがカラム中に存在し、そのカラムには、複数のローが同じ値を持つことができない制約があります。

## テーブル '%2' のテキスト・インデックス '%1' を作成するときにエラーが発生しました。

エラー定数	SQLE_TEXT_INDEX_CREATION_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	テキスト・インデックスの名前。
パラメータ 2	テーブルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1165
SQLSTATE	WT010
Sybase エラー・コード	13348

**考えられる原因**

テキスト・インデックスの作成中に内部エラーが発生しました。

**テーブル '%2' の外部キー '%1' は、既存の外部キーと重複しています。**

エラー定数	SQLE_DUPLICATE_FOREIGN_KEY
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	新しい外部キーの役割名。
パラメータ 2	外部キーを持つテーブル。
重大度	16
SQLCODE	-251
SQLSTATE	52W06
Sybase エラー・コード	1909

**考えられる原因**

すでに存在する外部キーを定義しようとした。

**テキスト・クエリで、NEAR 演算子の使用が無効です。**

エラー定数	SQLE_TEXT_INVALID_NEAR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1207
SQLSTATE	WT016
Sybase エラー・コード	13308

**考えられる原因**

NEAR 演算子への引数としては、単語、プレフィクス、および他の NEAR 演算子のみ許可されます。

**デッドロックが検出されました。**

エラー定数	SQLE_DEADLOCK
ODBC 2 ステータス	40001
ODBC 3 ステータス	40001
重大度	13
SQLCODE	-306
SQLSTATE	40001
Sybase エラー・コード	1205

**考えられる原因**

ローの読み込み／書き込みを行おうとしましたが、他のユーザがそのローをロックしています。またそのユーザは直接的または間接的に、トランザクションによってブロックされています。これはデッドロック状態であり、トランザクションがロールバックされるよう選択されました。

**デフォルトの DB 領域 '%1' が見つかりません。**

エラー定数	SQLE_DEFAULT_DBSPACE_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	見つからなかったデフォルトの DB 領域の名前。
重大度	11
SQLCODE	-1068
SQLSTATE	52W43
Sybase エラー・コード	13446

**考えられる原因**

テーブルを作成するときに default\_dbpace オプションで設定した DB 領域が見つかりませんでした。

## テンポラリ・テーブル間のキー制約には、一意性制約を持たないプライマリ・キーが必要です。

エラー定数	SQLE_INVALID_FOREIGN_KEY_INDEX
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-865
SQLSTATE	42R03
Sybase エラー・コード	1709

**考えられる原因**

結合されたインデックスをデータベースで使用している場合は、テンポラリ・テーブル間のキー制約には(一意性制約ではない)プライマリ・キーが必要です。ALTER TABLE を使用してプライマリ・テーブルの定義を変更するか、データベースを再構築してください。

## トランザクション・ログ・ファイルへの書き込みエラーが発生しました。

エラー定数	SQLE_ERROR_WRITING_LOG
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	17
SQLCODE	-107
SQLSTATE	08W17
Sybase エラー・コード	3619

**考えられる原因**

データベース・サーバが、トランザクション・ログ・ファイルの書き込み中に I/O エラーを受け取りました。ディスクがいっぱいであるか、ログ・ファイル名が無効である可能性があります。

## トランザクションが終了していないため、トランザクション・ログの名前の変更はできません。

エラー定数	SQLLE_BACKUP_CANNOT_RENAME_LOG_YET
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	20
SQLCODE	-242
SQLSTATE	WB003
Sybase エラー・コード	3206

**考えられる原因**

db\_backup への呼び出しが、トランザクション・ログの最後のページを読み込みました。現在アクティブな接続のいくつかは、トランザクションを部分的に終了しており、トランザクション・ログの名前が変更できません。db\_backup 呼び出しを再発行してください。

## トリガ定義中の REFERENCES 句が無効です。

エラー定数	SQLLE_INVALID_TRIGGER_COL_REFS
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	15
SQLCODE	-272
SQLSTATE	52W12
Sybase エラー・コード	102

**考えられる原因**

トリガ定義に無効な REFERENCES 句を指定しました。BEFORE INSERT トリガ中で古い関連名を指定した可能性があります。または AFTER DELETE トリガ中で新しい関連名を指定した可能性があります。いずれの場合でも値は存在しないため、参照できません。

## ハードディスクに空き領域がありません。'%1' -- トランザクションはロールバックされました。

エラー定数	SQLE_DEVICE_FULL
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	ディスクに書き込めなかったファイルの名前。
重大度	17
SQLCODE	-304
SQLSTATE	40W03
Sybase エラー・コード	3618

**考えられる原因**

ハードディスクに空き領域がありません。ROLLBACK 文は自動的に実行されました。

## バックアップ／リストア中にエラーが発生しました : %1

エラー定数	SQLE_BACKUP_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	発生したエラーを説明するメッセージ。
重大度	21
SQLCODE	-697
SQLSTATE	08W46
Sybase エラー・コード	13720



**考えられる原因**

BACKUP 文または RESTORE 文の実行中にエラーが発生しました。

**ビュー '%1' のトリガ・タイプが無効です。**

エラー定数	SQLE_INVALID_TRIGGER_VIEW
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	ビューの名前。
重大度	14
SQLCODE	-1133
SQLSTATE	42W3C
Sybase エラー・コード	13380

**考えられる原因**

ビューにトリガを作成しようとしたのですが、そのトリガのタイプはベース・テーブルのみでサポートされています。ビューに作成できるのは INSTEAD OF トリガだけです。

**ビューで、カラムのパーミッションを GRANT することはできません。**

エラー定数	SQLE_NO_COLUMN_PERMS_FOR_VIEWS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	15
SQLCODE	-635
SQLSTATE	52W22
Sybase エラー・コード	102

**考えられる原因**

ビューに対して、カラムのパーミッションを付与することはできません。

## ファイル・システム・エラー : '%1'

エラー定数	SQLE_OMNI_FILE_SYSTEM_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	エラーの説明。
重大度	12
SQLCODE	-1066
SQLSTATE	WO027
Sybase エラー・コード	13448

### 考えられる原因

このエラーは、ファイル・ディレクトリをプロキシ・テーブルとしてアクセスしているときに発生した、基本となるファイル・システムのエラーに起因します。

## ファンクション '%1' に無効なパラメータ '%2' ('%3') があります。

エラー定数	SQLE_INVALID_PARAMETER_W_PARM
ODBC 2 ステータス	08004
ODBC 3 ステータス	08004
パラメータ 1	関数の名前。
パラメータ 2	パラメータの名前。
パラメータ 3	エラーの原因となったパラメータに関する情報。
重大度	18
SQLCODE	-1090
SQLSTATE	08W94
Sybase エラー・コード	13424

**考えられる原因**

パラメータを評価中にエラーが発生しました。

**フィールドに対して不正な型を参照しました。**

エラー定数	SQLE_INVALID_FIELD_REFERENCE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-94
SQLSTATE	WW014
Sybase エラー・コード	13738

**考えられる原因**

式が非 Java 値のフィールドまたはメソッドを参照しようとして、. と >> によるフィールド参照は、Java オブジェクトに適用された場合だけ有効です。

**フォーマット文字列の引数番号 %1 が無効です。**

エラー定数	SQLE_INVALID_FORMAT_STRING_ARG_NUM
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	引数番号。
重大度	16
SQLCODE	-294
SQLSTATE	53W08
Sybase エラー・コード	2749

**考えられる原因**

PRINT または RAISERROR 文のフォーマット文字列で無効な引数番号を指定しました。この番号は、1 ～ 20 の数値でなければならず、指定した引数の数を超えることはできません。

**プロシージャ・タイプ '%1' が無効です。**

エラー定数	SQLE_INVALID_PROCEDURE_TYPE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	プロシージャのタイプ。
重大度	16
SQLCODE	-986
SQLSTATE	WW055
Sybase エラー・コード	13503

**考えられる原因**

関数またはプロシージャが無効のタイプを使って指定されました。

**プロシージャまたはトリガ内では、データ定義文は使用できません。**

エラー定数	SQLE_DDL_NOT_ALLOWED_IN_PROCEDURES
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	15
SQLCODE	-623
SQLSTATE	52W21
Sybase エラー・コード	154

**考えられる原因**

プロシージャまたはトリガの定義にデータ定義文(CREATE、DROP、GRANT、REVOKE、ALTER など)が含まれています。これらの文は、プロシージャまたはトリガの内部では使用できません。

## ホスト変数はバッチで使用できません。

エラー定数	SQLE_HOSTVARS_IN_BATCH
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	15
SQLCODE	-807
SQLSTATE	07W07
Sybase エラー・コード	13817

### 考えられる原因

ホスト変数の参照を含むバッチを実行しようとした。ホスト変数は、バッチ内ではサポートされていません。

## モジュールの前処理でのユーザ ID またはパスワードが無効です。

エラー定数	SQLE_INVALID_MODULE_LOGON
ODBC 2 ステータス	28000
ODBC 3 ステータス	28000
重大度	14
SQLCODE	-104
SQLSTATE	28W01
Sybase エラー・コード	4002

### 考えられる原因

モジュールの前処理で、無効なユーザ ID またはパスワードを指定しました。

## ユーザ '%2' に対するデータベース・オプション '%1' は不正な設定です。

エラー定数	SQLE_INVALID_OPTION_ON_CONNECT
ODBC 2 ステータス	01000
ODBC 3 ステータス	01000
パラメータ 1	無効な値を持つデータベース・オプションの名前。
パラメータ 2	接続しようとしたユーザの名前。
重大度	10
SQLCODE	113
SQLSTATE	01W11
Sybase エラー・コード	13688

### 考えられる原因

特定ユーザの接続要求を処理するときに、サーバが、無効な値が設定されているデータベース・オプションを処理しました。サーバではデフォルトのオプション値が使用されます。

## ユーザ ID またはパスワードが無効です。

エラー定数	SQLE_INVALID_LOGON
ODBC 2 ステータス	28000
ODBC 3 ステータス	28000
重大度	14
SQLCODE	-103
SQLSTATE	28000
Sybase エラー・コード	4002

### 考えられる原因

無効なユーザ ID または間違ったパスワードを入力しました。

**ローカル・データベース・オプションが無効です。**

エラー定数	SQLE_INVALID_LOCAL_OPTION
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	18
SQLCODE	-79
SQLSTATE	08W25
Sybase エラー・コード	5864

**考えられる原因**

DBS (DatabaseSwitches) 接続パラメータで無効なデータベース・オプションが見つかりました。

**暗号化エラー : %1**

エラー定数	SQLE_ENCRYPT_ERROR
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメータ 1	発生したエラーの説明。
重大度	11
SQLCODE	-895
SQLSTATE	08W66
Sybase エラー・コード	13589

**考えられる原因**

暗号化中にエラーが発生しました。

**暗号化が有効になっていません。**

エラー定数	SQLE_ENCRYPTION_NOT_ENABLED_WARNING
-------	-------------------------------------

ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
重大度	10
SQLCODE	140
SQLSTATE	01005
Sybase エラー・コード	13369

**考えられる原因**

暗号化キーを指定したが暗号化が有効になっておらず、データベースも暗号化されていません。

**暗号化が有効になっていません。**

エラー定数	SQLE_ENCRYPTION_NOT_ENABLED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1143
SQLSTATE	55W27
Sybase エラー・コード	13370

**考えられる原因**

暗号化を有効にしないで暗号化を使用しようとしてしました。ULEnableStrongEncryption を呼び出して暗号化を有効にしてください。

**暗号化キーが不正であるか、見つかりません。**

エラー定数	SQLE_BAD_ENCRYPTION_KEY
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	21



SQLCODE	-840
SQLSTATE	08W62
Sybase エラー・コード	16846

**考えられる原因**

データベースはキーで暗号化されています。データベースを起動するためのキーが指定されていないか、キーが間違っていました。

**解凍エラー : %1**

エラー定数	SQLE_DECOMPRESSION_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	エラー・メッセージ。
重大度	16
SQLCODE	-960
SQLSTATE	WW038
Sybase エラー・コード	13530

**考えられる原因**

解凍中にエラーが発生しました。

**外部オブジェクト '%1' が見つかりません。**

エラー定数	SQLE_EXTENV_OBJECT_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	Java クラスまたは外部オブジェクトの名前。
重大度	16
SQLCODE	-810

SQLSTATE	42W57
Sybase エラー・コード	13820

**考えられる原因**

この名前の Java クラスまたは外部オブジェクトはデータベースには存在しません。

**外部キー '%1' は見つかりません。**

エラー定数	SQLE_FOREIGN_KEY_NAME_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	存在しない外部キーの名前。
重大度	15
SQLCODE	-145
SQLSTATE	52W07
Sybase エラー・コード	102

**考えられる原因**

外部キーのスペルを間違えたか、外部キーが存在しません。

**外部キー・カラムがプライマリ・キーまたは \"%1\" の一意性制約に一致しません**

エラー定数	SQLE_NO_MATCHING_INDEX
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	プライマリ・テーブルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1226
SQLSTATE	42R04

Sybase エラー・コード	13291
----------------	-------

**考えられる原因**

外部キーを作成しようとしたのですが、指定されたカラムは参照先テーブルのプライマリ・キーまたは一意性制約に一致しません。

**外部ライブラリ '%1' は使用中です**

エラー定数	SQLE_EXTERNAL_LIBRARY_IN_USE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	使用中の外部ライブラリ。
重大度	16
SQLCODE	-1214
SQLSTATE	WW108
Sybase エラー・コード	13897

**考えられる原因**

外部ライブラリは、現在使用中であるため、アンロードできません。

**外部ライブラリ '%1' をロードできませんでした**

エラー定数	SQLE_EXTERNAL_LIBRARY_NOT_LOADED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	ロードされていない外部ライブラリ。
重大度	16
SQLCODE	-1215
SQLSTATE	WW109
Sybase エラー・コード	13895

**考えられる原因**

外部ライブラリは、現在ロードされていないため、アンロードできません。

**外部環境 '%1' が見つかりませんでした。**

エラー定数	SQLE_EXTERN_ENV_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	外部環境の名前。
重大度	11
SQLCODE	-1205
SQLSTATE	WJ030
Sybase エラー・コード	13310

**考えられる原因**

追加されていない外部環境に対してオブジェクトを定義しようとしてしました。

**外部環境は結果セットをサポートしていません。**

エラー定数	SQLE_EXTERN_ENV_NO_RESULT_SET_SUPPORT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	11
SQLCODE	-1213
SQLSTATE	WJ031
Sybase エラー・コード	13301

**考えられる原因**

結果セットをサポートしていない外部環境に対して動的結果セットを定義しようとしてしました。

## 割り当てのエラー

エラー定数	SQLE_ERROR_IN_ASSIGNMENT
ODBC 2 ステータス	22005
ODBC 3 ステータス	22018
重大度	20
SQLCODE	-641
SQLSTATE	22005
Sybase エラー・コード	8205

### 考えられる原因

GET DESCRIPTOR 文では、ホスト変数のデータ型は記述子項目のデータ型に対応している必要があります。

## 既存のローと競合しているため、ダウンロードに失敗しました。

エラー定数	SQLE_DOWNLOAD_CONFLICT
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-839
SQLSTATE	0AW11
Sybase エラー・コード	13845

### 考えられる原因

Ultra Light データベースの修正されたローでダウンロード専用同期を実行しようとした。修正されたローは、ダウンロード・ストリーム内の 1 つ以上のローと Ultra Light データベース内のローの間で競合が発生しました。

## 記述子のインデックスが正しくありません。

エラー定数	SQLE_INVALID_DESCRIPTOR_INDEX
-------	-------------------------------

ODBC 2 ステータス	S1002
ODBC 3 ステータス	07009
重大度	26
SQLCODE	-640
SQLSTATE	07009
Sybase エラー・コード	8201

**考えられる原因**

記述子領域に関して使用されているインデックス番号が範囲を超えています。

## 共有テンポラリ・テーブルに対して無効なコミット・アクションです。

エラー定数	SQLE_INVALID_SHARED_COMMIT_ACTION
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1089
SQLSTATE	52W26
Sybase エラー・コード	13425

**考えられる原因**

ON COMMIT PRESERVE ROWS または NOT TRANSACTIONAL としてグローバル共有テンポラリ・テーブルを宣言する必要があります。

## 行 %1 に無効な要求ログ・フォーマットがあります。

エラー定数	SQLE_INVALID_REQUEST_LOG_FORMAT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR

パラメータ 1	ログ・ファイル内の行番号。
重大度	16
SQLCODE	-999
SQLSTATE	WW020
Sybase エラー・コード	13493

**考えられる原因**

要求ログ・ファイルのフォーマットが無効です。この要求ログ・ファイルはソフトウェアの古いバージョンを使って作成されている可能性があります。

## 行 %2 の '%1' の付近に、言語の使用できない拡張機能が検出されました。

エラー定数	SQLE_INVALID_SYNTAX_EXTENSION
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	構文が検出された場所にある単語または記号。
パラメータ 2	行番号。
重大度	16
SQLCODE	-627
SQLSTATE	0AW03
Sybase エラー・コード	538

**考えられる原因**

実行しようとしている文には、`sql_flagger_error_level` オプションの現在の設定では許可されていない構文が含まれます。文を修正するか、`sql_flagger_error_level` オプションを別の値に設定してください。

## 再帰クエリが無効です。

エラー定数	SQLE_INVALID_RECURSION
-------	------------------------

ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-921
SQLSTATE	42W99
Sybase エラー・コード	13563

### 考えられる原因

再帰クエリは、最初のクエリと反復クエリの UNION ALL で構成されている必要があります。反復クエリで使用できる唯一の集合操作が UNION ALL です。共通テーブル式の名前への再帰参照は、反復クエリにのみ使用可能であり、DISTINCT、ORDER BY、または集合関数を使用する SELECT 内では使用できません。また、再帰参照は、外部ジョインの NULL 入力テーブルやサブクエリでは使用できません。

## 最大パラメータ数 '%1' を超えました。

エラー定数	SQLE_INVALID_MAXIMUM_PARAMETERS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	許容されるパラメータの最大数。
重大度	16
SQLCODE	-1122
SQLSTATE	WW084
Sybase エラー・コード	13391

### 考えられる原因

当該 Web クライアント・プロシージャまたは関数の許容される最大パラメータ数を超えました。

## 参照カラムが重複しています。

エラー定数	SQLE_DUPLICATE_REFERENCING_COLUMN
-------	-----------------------------------



ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-636
SQLSTATE	42W40
Sybase エラー・コード	1909

**考えられる原因**

参照している選択リストに重複したカラム名を指定しました。

**式にサポートされていないデータ型があります。**

エラー定数	SQLE_DATATYPE_NOT_ALLOWED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	14
SQLCODE	-624
SQLSTATE	WW009
Sybase エラー・コード	10356

**考えられる原因**

サポートされていないパラメータまたは結果データ型で、外部関数または Java メソッドが宣言されました。または、サポートされていない結果データ型の Java フィールド参照を行おうとしました。

**識別子 '%1' が長すぎます。**

エラー定数	SQLE_IDENTIFIER_TOO_LONG
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000

パラメータ 1	長すぎる識別子。
重大度	15
SQLCODE	-250
SQLSTATE	54003
Sybase エラー・コード	103

**考えられる原因**

長さ 128 バイトを超える識別子を指定しました。

**集合関数の使用が無効です。**

エラー定数	SQLE_AGGREGATES_NOT_ALLOWED
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	15
SQLCODE	-150
SQLSTATE	42W06
Sybase エラー・コード	13204

**考えられる原因**

集合関数の使用が不適切です。たとえば、SELECT 文では、集合関数が外部参照を構成していないかぎり、その集合関数を WHERE 句の述部の中に指定できません。また、集合関数を、UPDATE 文の SET 句の中に指定したり、CHECK 制約の中で使用したりすることはできません。

**集約関数の ORDER BY が不正です。**

エラー定数	SQLE_INVALID_ORDERBY_IN_AGGREGATE
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	15

SQLCODE	-904
SQLSTATE	42W90
Sybase エラー・コード	13579

**考えられる原因**

集合関数で ORDER BY を使用できるのは、select リストに DISTINCT 集合関数がないか、ORDER BY の最初のカラムと等しい DISTINCT カラムのある DISTINCT 集合関数が 1 つある場合だけです。また、ORDER BY 句が完全に同じでないかぎり、並べ替えた複数の集合関数を同じ select リストの中で使用することはできません。

**重複キー・カラム (%1)**

エラー定数	SQLE_DUPLICATE_KEY_COLUMN
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	重複するカラムの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1085
SQLSTATE	42WC0
Sybase エラー・コード	13429

**考えられる原因**

プライマリ・キー、外部キー、または一意性制約のキー、またはインデックスに対するカラムのリストで重複するカラム名を指定しました。

**出力ファイルのディレクトリが存在しません。**

エラー定数	SQLE_DIRECTORY_INACCESSIBLE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	20

SQLCODE	-978
SQLSTATE	WW047
Sybase エラー・コード	13511

**考えられる原因**

ディレクトリが存在しないので、ファイルを書き込むことができません。

**準備文の種類が無効です。**

エラー定数	SQLE_INVALID_STATEMENT_TYPE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-133
SQLSTATE	07W03
Sybase エラー・コード	13630

**考えられる原因**

これは内部エラーです。このエラーを再現できた場合は、Sybase に連絡してください。

**照合が無効です : \"%1\"**

エラー定数	SQLE_TEXT_BAD_COLLATION
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	無効な照合文字列。
重大度	16
SQLCODE	-1163
SQLSTATE	WT008

Sybase エラー・コード	13350
----------------	-------

**考えられる原因**

照合が見つからなかったか、適合化オプションが無効でした。

**制約 '%1' への参照または操作が無効です。**

エラー定数	SQLE_INVALID_CONSTRAINT_REF
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S23
パラメータ 1	指定した目的に使用できない制約の名前。
重大度	16
SQLCODE	-937
SQLSTATE	42U06
Sybase エラー・コード	13550

**考えられる原因**

制約に対して無効な操作を指定しました。たとえば、主キー制約を変更しようとした。

**正規表現 '%2' 中の '%1' が無効です。**

エラー定数	SQLE_INVALID_REGULAR_EXPRESSION
ODBC 2 ステータス	S1000
ODBC 3 ステータス	2201B
パラメータ 1	正規表現が無効である理由。
パラメータ 2	無効な正規表現。
重大度	16
SQLCODE	-1135
SQLSTATE	2201B

Sybase エラー・コード	13378
----------------	-------

**考えられる原因**

指定された正規表現は無効です。

**接続パラメータ文字列の解析エラーです。**

エラー定数	SQLE_GEN_PARSE_ERROR
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	16
SQLCODE	-655
SQLSTATE	08W38
Sybase エラー・コード	13707

**考えられる原因**

接続文字列を解析できませんでした。文字列または接続パラメータ・ファイルに構文エラーがあります。

**挿入したカラムが重複しています。**

エラー定数	SQLE_DUPLICATE_INSERT_COLUMN
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-637
SQLSTATE	42W41
Sybase エラー・コード	264

**考えられる原因**

Insert 文のカラム名のリストに重複したカラム名を指定しました。

**相関名 '%1' への参照が不正です。**

エラー定数	SQLE_INVALID_CORRELATION_NAME_REFERENCE
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	正しく参照されていない相関名。
重大度	15
SQLCODE	-824
SQLSTATE	42U01
Sybase エラー・コード	13830

**考えられる原因**

クエリのテーブル式に、そのテーブル式に入っていない相関名への参照が含まれています。

**即時マテリアライズド・ビューの定義に NULL 入力可の式に対する SUM 関数を含めることはできません。**

エラー定数	SQLE_UPDATABLE_MATVIEW_SUM_NULL_EXPR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	15
SQLCODE	-1286
SQLSTATE	42WCD
Sybase エラー・コード	13668

**考えられる原因**

定義に NULL 入力可の式に対する SUM 関数を含む即時マテリアライズド・ビューの再表示タイプを「即時」に変更しようとした。

**統合化ログインが許可されていません。**

エラー定数	SQLE_INVALID_STANDARD_LOGON
ODBC 2 ステータス	28000
ODBC 3 ステータス	28000
重大度	16
SQLCODE	-205
SQLSTATE	28W02
Sybase エラー・コード	13689

**考えられる原因**

login\_mode データベース・オプションが Standard に設定されていますが、統合化ログインを行おうとしました。オプション設定を変更するか、明示的なユーザ ID を指定してください。

**統合化ログインが失敗しました。**

エラー定数	SQLE_INTEGRATED_LOGON_FAILED
ODBC 2 ステータス	28000
ODBC 3 ステータス	28000
重大度	16
SQLCODE	-245
SQLSTATE	28W04
Sybase エラー・コード	13691

**考えられる原因**

統合化ログインに失敗しました。サーバ・マシンのシステム・アカウントを持っていません。

**統合化ログインが必要です。標準ログインは許可されていません。**

エラー定数	SQLE_INVALID_INTEGRATED_LOGON
-------	-------------------------------



ODBC 2 ステータス	28000
ODBC 3 ステータス	28000
重大度	16
SQLCODE	-206
SQLSTATE	28W03
Sybase エラー・コード	13690

**考えられる原因**

login\_mode データベース・オプションに Integrated が設定されていますが、標準ログインを行おうとしました。オプション設定を変更するか、統合化ログインを使用してください。

**動的メモリが足りません。**

エラー定数	SQLE_DYNAMIC_MEMORY_EXHAUSTED
ODBC 2 ステータス	S1001
ODBC 3 ステータス	HY001
重大度	17
SQLCODE	-78
SQLSTATE	08W26
Sybase エラー・コード	9119

**考えられる原因**

データベース・サーバが動的メモリを割り当てようとしたときに、エラーが発生しました。

**同期の情報が指定されていません。**

エラー定数	SQLE_SYNC_INFO_REQUIRED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16

SQLCODE	-1111
SQLSTATE	WW081
Sybase エラー・コード	13403

**考えられる原因**

同期の情報を指定する必要があります。情報は同期の呼び出し時に直接指定するか、同期の前に SetSynchInfo を使用して指定します。Palm HotSync コンジットでは、終了前にアプリケーションで SetSynchInfo 呼び出しを使用しなかった場合、または SetSynchInfo が正常に終了しなかった場合に、同期時にこのエラーが発生します。

**同期の情報が不完全か無効です。'%1'を確認してください。**

エラー定数	SQLE_SYNC_INFO_INVALID
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	正しく初期化されていないパラメータの名前。
重大度	16
SQLCODE	-956
SQLSTATE	WW036
Sybase エラー・コード	13532

**考えられる原因**

同期の情報が不完全か無効です。示されたパラメータを修正してから、同期を再度実行してください。init\_verify と示されている場合は、ULInitSynchInfo 関数が呼び出されていません。

**内部ロールバック・ログが破損しています。**

エラー定数	SQLE_LOG_CORRUPTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	22

SQLCODE	-311
SQLSTATE	WI004
Sybase エラー・コード	932

**考えられる原因**

COMMIT または ROLLBACK の処理中に、内部ロールバック・ログに破損が発見されました。これは致命的な内部エラーです。

**内部関数で Java VM のヒープが足りなくなりました : %1**

エラー定数	SQLE_JAVA_VM_HEAP_EXHAUSTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	内部関数はデバッグ用。
重大度	16
SQLCODE	-165
SQLSTATE	WP008
Sybase エラー・コード	13740

**考えられる原因**

Java 仮想マシンに割り当てられた領域の量が不十分なため、新規オブジェクトの割り当てを続行できません。次のように指定してサイズを増やしてください。SET OPTION PUBLIC.java\_heap\_size = nnnnnnnn

**入力パラメータ・インデックスが範囲外です。**

エラー定数	SQLE_BAD_PARAM_INDEX
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-689

SQLSTATE	WJ005
Sybase エラー・コード	13717

**考えられる原因**

有効なパラメータの範囲は、1 から、準備された文または呼び出し可能な文に指定したホスト変数の数までです。

**入力文字列は base64 でエンコードされていません。**

エラー定数	SQLE_BASE64_DECODING_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-961
SQLSTATE	WW039
Sybase エラー・コード	13528

**考えられる原因**

base64 の復号化中にエラーが発生しました。

**派生テーブル '%1' にはカラム %2 に対する名前がありません。**

エラー定数	SQLE_NO_COLUMN_NAME
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	派生テーブルの名前。
パラメータ 2	名前がないカラムの番号。
重大度	16
SQLCODE	-163
SQLSTATE	52004

Sybase エラー・コード	209
----------------	-----

**考えられる原因**

派生テーブルの指定カラムには、カラム名がありません。クエリの指定に select リストのエイリアスを使用するか、派生カラム指定子を使用してください。

**不正な FOR XML EXPLICIT タグ値 : '%1'**

エラー定数	SQLE_BAD_FOR_XML_EXPLICIT_TAG
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	不正なタグ値。
重大度	16
SQLCODE	-897
SQLSTATE	WX005
Sybase エラー・コード	13584

**考えられる原因**

FOR XML EXPLICIT タグ値は、0 より大きく、256 より小さい値でなければなりません。また、Tag カラムでは NULL 値は使用できません。

**不正な JAR ファイルです。**

エラー定数	SQLE_BAD_JAR_FILE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-730
SQLSTATE	WP010
Sybase エラー・コード	13737

**考えられる原因**

INSTALL JAVA 文に受け渡されるファイルが、有効な JAR ファイルではありませんでした。

**不正な JDBC 結果セット・タイプです。**

エラー定数	SQLE_JDBC_INVALID_RESULTSET_TYPE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-747
SQLSTATE	WJ017
Sybase エラー・コード	13760

**考えられる原因**

JDBC 文の作成時に、不正な結果セット・タイプが使用されました。

**不正な JDBC 結果セットの同時実行性です。**

エラー定数	SQLE_JDBC_INVALID_RESULTSET_CONCURRENCY
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-748
SQLSTATE	WJ018
Sybase エラー・コード	13761

**考えられる原因**

JDBC 文の作成時に、不正な結果セットの同時実行性が使用されました。

## 不正なカーソル処理をしようとしてしました。

エラー定数	SQLE_CURSOROP_NOT_ALLOWED
ODBC 2 ステータス	07005
ODBC 3 ステータス	07005
重大度	16
SQLCODE	-187
SQLSTATE	09W02
Sybase エラー・コード	9526

### 考えられる原因

不正なカーソル処理をしようとしてしました。たとえば、SELECT でも BATCH でもない文のカーソルを OPEN しています。

## 不正なカラム定義 : %1

エラー定数	SQLE_ILLEGAL_COLUMN_DEFINITION
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	発生したエラーを説明するメッセージ。
重大度	16
SQLCODE	-1046
SQLSTATE	55W19
Sybase エラー・コード	13465

### 考えられる原因

許可されていない方法でカラムを定義しようとしています。

## 不正なカラム名 : '%1'

エラー定数	SQLE_BAD_FOR_XML_EXPLICIT_COLUMN_NAME
-------	---------------------------------------

ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	カラム名が不正である理由。
重大度	16
SQLCODE	-899
SQLSTATE	WX007
Sybase エラー・コード	13582

### 考えられる原因

FOR XML EXPLICIT カラムの名前は、感嘆符 (!) で区切られた最大 4 個のフィールドで構成できます。最初の 2 つのカラムの名前は、Tag と Parent でなければなりません。

## 不正なデータ変換

エラー定数	SQL_E_CANNOT_CONVERT
ODBC 2 ステータス	01S01
ODBC 3 ステータス	01S01
重大度	10
SQLCODE	103
SQLSTATE	01W03
Sybase エラー・コード	518

### 考えられる原因

データベースは、値を要求された型に変換できませんでした。変換しようとしている値は、挿入時、更新時、またはホストのバインド変数としてデータベースに提供された値か、データベースからホスト変数または SQLDA に取り出された値です。

## 不正なデータ変換 : ロー %2 のカラム '%1' に NULL が挿入されました。

エラー定数	SQL_E_CANNOT_CONVERT_LOAD_TABLE
-------	---------------------------------



ODBC 2 ステータス	07006
ODBC 3 ステータス	07006
パラメータ 1	NULL が挿入されたカラムの名前。
パラメータ 2	無効なデータ変換が発生したデータ・ファイルのロー番号。
重大度	10
SQLCODE	124
SQLSTATE	01W01
Sybase エラー・コード	13886

**考えられる原因**

データベースは、値を要求された型に変換できませんでした。変換しようとしている値は、データ・ファイルでデータベースに提供され、LOAD TABLE を使用して挿入されました。カラムに NULL 値が挿入されています。

**不正なパラメータです。**

エラー定数	SQLE_INVALID_PARAMETER
ODBC 2 ステータス	08004
ODBC 3 ステータス	08004
重大度	18
SQLCODE	-735
SQLSTATE	08W24
Sybase エラー・コード	5864

**考えられる原因**

パラメータを評価中にエラーが発生しました。

**不正な比較です。**

エラー定数	SQLE_INVALID_COMPARISON
-------	-------------------------

ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-710
SQLSTATE	52W25
Sybase エラー・コード	13749

**考えられる原因**

サポートされていない 2 つの引数を比較しようとした。たとえば、オブジェクトのクラスが有効な `compareTo` メソッドをサポートしている場合を除いて、Java オブジェクトを他の Java オブジェクトと比較はできません。

**復号化エラー : %1**

エラー定数	SQLE_DECRYPT_ERROR
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメータ 1	発生したエラーの説明。
重大度	11
SQLCODE	-851
SQLSTATE	08W63
Sybase エラー・コード	13855

**考えられる原因**

復号化中にエラーが発生しました。

**文が無効です。**

エラー定数	SQLE_INVALID_STATEMENT
ODBC 2 ステータス	ERROR

ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-130
SQLSTATE	07W02
Sybase エラー・コード	13628

**考えられる原因**

次の操作を行うためにデータベースに渡された、文の識別子 (PREPARE によって生成されます) が無効です。

**文字セット '%1' から '%2' への変換が失敗しました。**

エラー定数	SQLE_FAILED_TO_CONVERT_CHARSET
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	入力文字列の文字セット。
パラメータ 2	出力文字列の文字セット。
重大度	16
SQLCODE	-1075
SQLSTATE	WC011
Sybase エラー・コード	13439

**考えられる原因**

サーバは、指定された 2 つの文字セット間で変換できませんでした。これは、dbicu と dbicudt の各 DLL がインストールされていない場合に発生する可能性があります。

**閉じられた '%1' に対する操作は無効です。**

エラー定数	SQLE_JDBC_OBJ_CLOSED
ODBC 2 ステータス	ERROR

ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	閉じたオブジェクトの Java クラス。
重大度	16
SQLCODE	-696
SQLSTATE	WJ010
Sybase エラー・コード	13605

**考えられる原因**

閉じられた JDBC オブジェクトにアクセスしようとした。

**閉じられた '%1' に対する操作は無効です。**

エラー定数	SQLE_JNAT_OBJ_CLOSED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	閉じたオブジェクトの Java クラス。
重大度	16
SQLCODE	-714
SQLSTATE	WJ014
Sybase エラー・コード	13609

**考えられる原因**

閉じられたネイティブ Java オブジェクトにアクセスしようとした。

**閉じられたオブジェクトに対する操作は無効です。**

エラー定数	SQLE_ULTRALITE_OBJ_CLOSED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR

重大度	16
SQLCODE	-908
SQLSTATE	55W14
Sybase エラー・コード	13575

**考えられる原因**

閉じられた Ultra Light オブジェクトにアクセスしようとした。

**無効なデータベース・ページ・サイズです。**

エラー定数	SQLE_PAGE_SIZE_INVALID
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	14
SQLCODE	-644
SQLSTATE	08W32
Sybase エラー・コード	927

**考えられる原因**

無効なページ・サイズのデータベースを作成しようとした。SQL Anywhere データベースのページ・サイズは、2048、4096、8192、16384、または 32768 バイトである必要があります。Ultra Light データベースのページ・サイズは、1024、2048、4096、8192、または 16384 バイトである必要があります。

**無効なドメイン '%1'**

エラー定数	SQLE_INVALID_DOMAIN
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	無効なドメイン指定。
重大度	16

SQLCODE	-1275
SQLSTATE	54W52
Sybase エラー・コード	13881

**考えられる原因**

無効なドメインを作成しようとしてしました。サイズ、位取り、精度が無効です。

**無効なパスワード : %1**

エラー定数	SQLE_INVALID_NEW_PASSWORD
ODBC 2 ステータス	28000
ODBC 3 ステータス	28000
パラメータ 1	パスワードが無効である理由、またはパスワードを検証する関数を呼び出せなかった理由。
重大度	16
SQLCODE	-1044
SQLSTATE	28W11
Sybase エラー・コード	13467

**考えられる原因**

新しいユーザ ID の作成、またはパスワードの変更に失敗しました。verify\_password\_function オプションで指定した関数によってパスワードが無効になりました。

**無効なバックアップ・パラメータ値です。**

エラー定数	SQLE_INVALID_BACKUP_PARM_VALUE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1045

SQLSTATE	WB015
Sybase エラー・コード	13466

**考えられる原因**

バックアップ操作に指定した 1 つまたは複数のパラメータに無効な値があります。

**無効なバックアップ操作です。**

エラー定数	SQLE_INVALID_BACKUP_OPERATION
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1021
SQLSTATE	WB013
Sybase エラー・コード	3206

**考えられる原因**

前回のバックアップ操作が原因で、指定したバックアップ操作は無効です。

**無効なホスト変数です。**

エラー定数	SQLE_VARIABLE_INVALID
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	17
SQLCODE	-155
SQLSTATE	42W07
Sybase エラー・コード	7201

**考えられる原因**

C 言語インタフェースを使用して、データベースに無効なホスト変数を指定しました。変数をホスト変数として指定したか、SQLDA を通して指定した可能性があります。

**無効なユーザ選択性の評価が指定されました。**

エラー定数	SQLE_INVALID_USER_ESTIMATE
ODBC 2 ステータス	01000
ODBC 3 ステータス	01000
重大度	10
SQLCODE	118
SQLSTATE	01W16
Sybase エラー・コード	13617

**考えられる原因**

リテラル定数でないか、0.0 から 100.0 (推定値はパーセントで指定されます) の範囲を超えたユーザ選択推定値を指定しました。推定値は無視されました。



## SQL Anywhere のエラー・メッセージ (五十音順、た～は)

### %1 のリソース・ガバナーが制限を超えています。

エラー定数	SQLE_RESOURCE_GOVERNOR_EXCEEDED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	制限を超えたリソース。
重大度	19
SQLCODE	-685
SQLSTATE	WP009
Sybase エラー・コード	13715

#### 考えられる原因

表示されているリソースのリソース・ガバナーが、リソースの使用率が制限を超えていると判断しました。

### '%1' %2 の近くに構文エラーがあります。

エラー定数	SQLE_SYNTAX_ERROR
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	構文エラーが見つかった単語または記号。
パラメータ 2	行番号。
重大度	15
SQLCODE	-131
SQLSTATE	42W04
Sybase エラー・コード	102

**考えられる原因**

実行しようとしている文を、データベース・サーバが理解できません。カラム名にキーワードを使う場合は、キーワードを引用符で囲んでください(たとえば DATE は "DATE")。

**'%1' でデータベースを使用している間は許可されません。**

エラー定数	SQLE_MUST_BE_ONLY_CONNECTION
ODBC 2 ステータス	40001
ODBC 3 ステータス	40001
パラメータ 1	データベースを使用している接続の名前。
重大度	16
SQLCODE	-211
SQLSTATE	42W19
Sybase エラー・コード	13652

**考えられる原因**

データ定義言語操作を行おうとしましたが、この操作は他のユーザが接続しているときには実行できません。

**'%1' では結果セットは許可されません。**

エラー定数	SQLE_RESULT_SET_NOT_PERMITTED
ODBC 2 ステータス	07005
ODBC 3 ステータス	07005
パラメータ 1	無効な文を含むオブジェクトの名前。
重大度	16
SQLCODE	-946
SQLSTATE	09W03
Sybase エラー・コード	13542

**考えられる原因**

結果セットが許可されないコンテキストで、SELECT 文を実行しようとした。

## '%1' の近くに構文エラーがあります -- マテリアライズド・ビューの定義では次の構成体を使用できません : '%2'

エラー定数	SQLE_MATVIEW_SYNTAX_ERROR
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	使用できない機能のロケーション。
パラメータ 2	使用できない機能。
重大度	15
SQLCODE	-1031
SQLSTATE	42WB3
Sybase エラー・コード	13479

**考えられる原因**

定義が制限の 1 つに違反するマテリアライズド・ビューを作成しようとした。

## '%1' の近くに構文エラーがあります -- マテリアライズド・ビューを即時に変更できません。マテリアライズド・ビューの定義に次の不正な構成体が含まれています : '%2'

エラー定数	SQLE_UPDATABLE_MATVIEW_SYNTAX_ERROR
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	使用できない機能のロケーション。
パラメータ 2	使用できない機能。
重大度	15

SQLCODE	-1032
SQLSTATE	42WB4
Sybase エラー・コード	13480

**考えられる原因**

定義が制限の1つに違反するマテリアライズド・ビューの再表示タイプを「即時」に変更しようとしていました。

**'%1' は複数のテーブルで使用されています。**

エラー定数	SQLE_CORRELATION_NAME_AMBIGUOUS
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	あいまいな相関名。
重大度	16
SQLCODE	-139
SQLSTATE	52012
Sybase エラー・コード	7364

**考えられる原因**

同じ FROM 句の中で、同じ相関名を使ってテーブルを 2 つ指定しました。

**'%2' の '%1' に対するサブスクリプションが見つかりません。**

エラー定数	SQLE_SUBSCRIPTION_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	パブリケーションの名前。
パラメータ 2	ユーザの名前。
重大度	16

SQLCODE	-283
SQLSTATE	5RW04
Sybase エラー・コード	13645

**考えられる原因**

存在しないサブスクリプションを削除、開始、または同期しようとしてしました。

**'%2' の '%1' に対するサブスクリプションはすでに存在します。**

エラー定数	SQLE_SUBSCRIPTION_NOT_UNIQUE
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	パブリケーションの名前。
パラメータ 2	ユーザの名前。
重大度	16
SQLCODE	-282
SQLSTATE	5RW03
Sybase エラー・コード	13644

**考えられる原因**

すでに存在するサブスクリプションを作成しようとしてしました。

**AUTHORIZATION が OFF の場合、サービス定義には文が必要です。**

エラー定数	SQLE_SERVICE_AUTH_REQUIRED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-931

SQLSTATE	42W9E
Sybase エラー・コード	13554

**考えられる原因**

AUTHORIZATION が Off に設定されている場合、指定したサービス・タイプのサービス定義には、文の指定が必要です。

**CREATE SERVICE にはサービス・タイプが必要です。**

エラー定数	SQLE_SERVICE_TYPE_REQUIRED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-915
SQLSTATE	42W92
Sybase エラー・コード	13569

**考えられる原因**

CREATE SERVICE 文では、サービス・タイプを指定する必要があります。

**DBA のみがオプション '%1' を設定できます。**

エラー定数	SQLE_OPTION_REQUIRES_DBA
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	設定できなかったオプションの名前。
重大度	14
SQLCODE	-204
SQLSTATE	42W46
Sybase エラー・コード	5878

**考えられる原因**

SET OPTION 文に指定したオプションは、DBA 権限を持つユーザのみ設定できます。

**INSTEAD OF トリガのあるビューで位置付け更新しようとした。**

エラー定数	SQLE_INSTEAD_TRIGGER_POSITIONED
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	15
SQLCODE	-1127
SQLSTATE	42W3B
Sybase エラー・コード	13386

**考えられる原因**

ビューの INSTEAD OF トリガ (ネストされている可能性あり) が含まれる位置付け更新、位置付け削除、プット、ワイド挿入操作を試行しました。これらの操作は、ビューの INSTEAD OF トリガでサポートされていません。

**JDBC ResultSet で引数に 0 を指定して absolute メソッドを実行しようとした。**

エラー定数	SQLE_JDBC_RESULTSET_SEEK_ABSOLUTE_ZERO
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-743
SQLSTATE	WJ016
Sybase エラー・コード	13756

**考えられる原因**

JDBC resultSets には 0 というロー番号は存在しません。有効なローの番号は、1、2、～-2、-1 です。

**LOAD TABLE エラー : %1**

エラー定数	SQLE_LOAD_TABLE_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	検出されたエラーの説明
重大度	16
SQLCODE	-1188
SQLSTATE	WL013
Sybase エラー・コード	13327

**考えられる原因**

LOAD TABLE 文が失敗しました。メッセージによって、発生した実際の問題が特定されます。

**LOAD TABLE は許可されません : 初期化された即時マテリアライズド・ビュー %1 は %2 に依存しています**

エラー定数	SQLE_LOAD_TABLE_WITH_IMV
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	依存している初期化された即時マテリアライズド・ビューの名前。
パラメータ 2	ロードが実行されたテーブルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1191
SQLSTATE	WL015



Sybase エラー・コード	13324
----------------	-------

**考えられる原因**

依存している初期化された即時マテリアライズド・ビューがあるテーブルでは、LOAD TABLE は許可されません。

## Mobile Link 通信エラー：コード：%1、パラメータ：%2、システム・コード %3

エラー定数	SQLE_MOBILINK_COMMUNICATIONS_ERROR
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	ストリーム・エラー・コード。
パラメータ 2	ストリーム・エラーのパラメータ (存在する場合)。
パラメータ 3	システム・エラー・コード。
重大度	16
SQLCODE	-1305
SQLSTATE	0AWD5
Sybase エラー・コード	13454

**考えられる原因**

Mobile Link サーバとの通信中にエラーが発生しました。

## NULL に対して、インジケータ変数が用意されていません。

エラー定数	SQLE_NO_INDICATOR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-181

SQLSTATE	22002
Sybase エラー・コード	13635

**考えられる原因**

データベースから NULL の値を検索しようとしたのですが、その値にインジケータ変数を指定しませんでした。

**NULL を許可するカラムの数が制限を超えています。**

エラー定数	SQLE_TOO_MANY_NULL_COLUMNS
ODBC 2 ステータス	23000
ODBC 3 ステータス	23000
重大度	16
SQLCODE	-733
SQLSTATE	23504
Sybase エラー・コード	233

**考えられる原因**

NULL が許可されるカラム数とそのカラムに許可されている制限を超えるように、テーブル定義を作成または変更しようとした。制限値はデータベース・ページ・サイズの機能で、約  $8 * (\text{page-size} - 30)$  です。

**NULL 属性はカラム '%1' に適合しません。**

エラー定数	SQLE_OMNI_NULL_MISMATCH
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
パラメータ 1	カラムの名前。
重大度	16
SQLCODE	-724
SQLSTATE	WO018

Sybase エラー・コード	11211
----------------	-------

**考えられる原因**

CREATE EXISTING 文で指定したカラムの NULL 属性が実際のカラムの NULL 属性と異なります。

**RAISERROR が実行されました : %1**

エラー定数	SQLE_RAISERROR_STMT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	RAISERROR メッセージ文字列。
重大度	16
SQLCODE	-631
SQLSTATE	WW012
Sybase エラー・コード	0

**考えられる原因**

RAISERROR 文が実行されました。RAISERROR 文に関連する文字列がエラー・メッセージの本文に含まれます。

**READTEXT 文や WRITETEXT 文はビューを参照できません。**

エラー定数	SQLE_TEXT_OPERATION_ON_VIEW
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-708
SQLSTATE	42W50
Sybase エラー・コード	285

**考えられる原因**

Transact-SQL READTEXT 文または WRITETEXT 文がビュー内のテキスト・カラムを参照できません。ビューの参照をベース・テーブルの名前と置き換えてください。

**RECURSIVE キーワードなしの再帰は許可されません。**

エラー定数	SQLE_RECURSIVE_KEYWORD_REQUIRED
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-938
SQLSTATE	42WA0
Sybase エラー・コード	13549

**考えられる原因**

再帰クエリの共通テーブル式は、WITH RECURSIVE 句を使用して定義する必要があります。

**RESTORE によってデータベース '%1' を起動できません。**

エラー定数	SQLE_RESTORE_UNABLE_TO_START
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	データベース・ファイルのファイル名。
重大度	21
SQLCODE	-719
SQLSTATE	WB010
Sybase エラー・コード	13728

**考えられる原因**

RESTORE を実行したデータベースが起動できませんでした。

## RESTORE によってファイル '%1' に書き込むことができません。

エラー定数	SQLLE_RESTORE_UNABLE_TO_WRITE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	データベース・ファイルのファイル名。
重大度	21
SQLCODE	-718
SQLSTATE	WB009
Sybase エラー・コード	13727

### 考えられる原因

RESTORE がデータベース・ファイルの 1 つに書き込みができませんでした。

## RESTORE によってファイル '%1' を開くことができません。

エラー定数	SQLLE_RESTORE_UNABLE_TO_OPEN
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	データベース・ファイルのファイル名。
重大度	21
SQLCODE	-717
SQLSTATE	WB008
Sybase エラー・コード	13726

### 考えられる原因

RESTORE がデータベース・ファイルの 1 つを開けませんでした。

**ROLLBACK TO SAVEPOINT は使用できません。**

エラー定数	SQLE_ROLLBACK_NOT_ALLOWED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-221
SQLSTATE	3B002
Sybase エラー・コード	13654

**考えられる原因**

アトミック操作内で、ROLLBACK TO SAVEPOINT をアトミック操作前に確立されたセーブポイントに対して実行しようとした。

**select リストの中にカラムが 2 つ以上指定されています。**

エラー定数	SQLE_SUBQUERY_SELECT_LIST
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	15
SQLCODE	-151
SQLSTATE	53023
Sybase エラー・コード	102

**考えられる原因**

複数のカラムを持つサブクエリを select リストに入力しました。カラムが 1 つだけになるように select リストを変更してください。

**SELECT 文が複数行を返しています。**

エラー定数	SQLE_TOO_MANY_RECORDS
-------	-----------------------

ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-185
SQLSTATE	21000
Sybase エラー・コード	13637

**考えられる原因**

SELECT 文をカーソルなしで使用しようとしたましたが、文カーソルは複数のローを返しました。このコンテキストでは、単一のローの SELECT 文だけを使用できます。

**SQL 文にエラーがあります。**

エラー定数	SQLE_STATEMENT_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-132
SQLSTATE	26501
Sybase エラー・コード	13629

**考えられる原因**

次の操作を行うためにデータベースに渡された、文の識別子 (PREPARE によって生成されます) が無効です。

**SQLDA のデータ型が無効です。**

エラー定数	SQLE_SQLDA_INVALID_DATATYPE
ODBC 2 ステータス	07001
ODBC 3 ステータス	07W05

重大度	16
SQLCODE	-759
SQLSTATE	07W05
Sybase エラー・コード	13770

**考えられる原因**

SQLDA 変数に指定したデータ型が無効です。

**SQLDA フィールドがマルチ・ロー SQLDA と矛盾しています。**

エラー定数	SQLE_SQLDA_INCONSISTENT
ODBC 2 ステータス	07001
ODBC 3 ステータス	07W04
重大度	16
SQLCODE	-700
SQLSTATE	07W04
Sybase エラー・コード	13721

**考えられる原因**

マルチロー SQLDA のローの一部または全部が、配列操作(挿入、フェッチ、実行)に対して同等に定義されていません。指定されたカラムは、個々のローでは同じ(型、長さ)に定義する必要があります。

**SQLDA 中のフィールドが足りません。**

エラー定数	SQLE_SQLDA_TOO_SMALL
ODBC 2 ステータス	07001
ODBC 3 ステータス	07002
重大度	16
SQLCODE	-182



SQLSTATE	07002
Sybase エラー・コード	13636

**考えられる原因**

要求された値をすべて検索するだけのフィールドが SQLDA にありません。

## UNION、INTERSECT、または EXCEPT の select リストの長さが一致していません。

エラー定数	SQLE_INVALID_UNION
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-153
SQLSTATE	53026
Sybase エラー・コード	205

**考えられる原因**

UNION、INTERSECT、または EXCEPT を指定しましたが、その操作の SELECT 文が select リストのカラム数と同じ数を持っていません。

## アクティブなデータベースがないため要求は拒否されました。

エラー定数	SQLE_REQUEST_DENIED_NO_DATABASES
ODBC 2 ステータス	08004
ODBC 3 ステータス	08004
重大度	14
SQLCODE	-76
SQLSTATE	08W28
Sybase エラー・コード	950

**考えられる原因**

現在、稼働中のデータベースがないため、サーバは要求を拒否しました。

**アトミックな複合文では、結果セットは使用できません。**

エラー定数	SQLE_RESULT_NOT_ALLOWED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-222
SQLSTATE	3BW02
Sybase エラー・コード	13655

**考えられる原因**

アトミック複合文内で、INTO 句のない SELECT 文、または RESULT CURSOR 文を使用しました。

**イベント '%2' に対するスケジュール '%1' が見つかりません。**

エラー定数	SQLE_SCHEDULE_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	見つからなかったスケジュールの名前。
パラメータ 2	スケジュールされているイベントの名前。
重大度	11
SQLCODE	-773
SQLSTATE	WE003
Sybase エラー・コード	13783

**考えられる原因**

指定したイベントに関して、データベースに存在していない名前ですケジュールを参照しようとしました。

**イベント '%2' に対するスケジュール '%1' はすでに存在します。**

エラー定数	SQLE_SCHEDULE_ALREADY_EXISTS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	すでに存在するスケジュールの名前。
パラメータ 2	スケジュールされているイベントの名前。
重大度	16
SQLCODE	-774
SQLSTATE	WE004
Sybase エラー・コード	13784

**考えられる原因**

指定したイベントに関して、データベースですでに存在する名前ですケジュールを作成しようとしました。

**ウィンドウ '%1' では、ORDER BY は許可されません。**

エラー定数	SQLE_ORDERBY_NOT_ALLOWED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	ウィンドウの名前。
重大度	16
SQLCODE	-949
SQLSTATE	42WA5
Sybase エラー・コード	13539

**考えられる原因**

インラインのウィンドウ指定から既存のウィンドウ名が参照されるときに、インラインのウィンドウまたは参照されるウィンドウのいずれかに ORDER BY がある場合があります。

## ウィンドウ '%1' への参照には、PARTITION BY は許可されません。

エラー定数	SQLE_PARTITIONBY_NOT_ALLOWED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	ウィンドウの名前。
重大度	16
SQLCODE	-948
SQLSTATE	42WA4
Sybase エラー・コード	13540

**考えられる原因**

インラインのウィンドウ指定から既存のウィンドウ名が参照されるときは、インラインの指定に PARTITION BY 句を含めないでください。

## オプション '%1' が複数回指定されています。

エラー定数	SQLE_DUPLICATE_OPTION
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
パラメータ 1	重複するオプションの名前。
重大度	10
SQLCODE	139
SQLSTATE	01W26
Sybase エラー・コード	13415

**考えられる原因**

特定のオプションを複数回指定しました。オプションの最後のインスタンスだけが使用され、その前のインスタンスは無視されます。

**オプション '%1' は PUBLIC な設定のみが許されています。**

エラー定数	SQLE_NOT_PUBLIC_ID
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	オプションの名前。
重大度	16
SQLCODE	-202
SQLSTATE	42W43
Sybase エラー・コード	13685

**考えられる原因**

SET OPTION 文に指定したオプションは PUBLIC だけです。このオプションを他のユーザに定義することはできません。

**カーソルの現在のローがありません。**

エラー定数	SQLE_NO_CURRENT_ROW
ODBC 2 ステータス	24000
ODBC 3 ステータス	24000
重大度	16
SQLCODE	-197
SQLSTATE	24503
Sybase エラー・コード	560

**考えられる原因**

カーソルの現在のローで操作をしようとしたますが、カーソルがロー上にありませんでした。カーソルは、カーソルの先頭のローの前か、末尾のローの後か、削除されたローの中にあります。

**カラム '%1' に対する SET 句の使用法が正しくありません。**

エラー定数	SQLE_INVALID_SET_CLAUSE
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S03
パラメータ 1	無効な SET 句。
重大度	15
SQLCODE	-846
SQLSTATE	42U03
Sybase エラー・コード	13852

**考えられる原因**

同じカラムに対して SET 句が複数あるなど、UPDATE 文に無効な SET 句が含まれています。

**このタイプの文に対してプランを生成することはできません。**

エラー定数	SQLE_STMT_NOT_ALLOWED_IN_PLAN
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	15
SQLCODE	-894
SQLSTATE	0AW14
Sybase エラー・コード	13589

**考えられる原因**

サポートされていない文のタイプの実行プランを表示しようとした。

## このデータベースでは、DB 領域のパーミッションのサポートを利用できません

エラー定数	SQLE_DBSPACE_PERMS_NOT_SUPPORTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	15
SQLCODE	-1183
SQLSTATE	0AW22
Sybase エラー・コード	13332

### 考えられる原因

実行されている文には、DB 領域のパーミッションのサポートが必要ですが、使用されているデータベースにはこの機能がありません。DB 領域のパーミッションをサポートしているバージョンのサーバを使用して、データベースを再作成またはアップグレードしてください。

## このデータベースでは、ログイン・ポリシーはサポートされていません。

エラー定数	SQLE_LOGIN_POLICY_UPGRADE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1196
SQLSTATE	WW099
Sybase エラー・コード	13319

### 考えられる原因

現在のデータベースにログイン・ポリシー用のカタログ・サポートがありません。この機能を使用するには、データベースを最新版にアップグレードしてください。

## このデータベースでは、同期プロファイルはサポートされていません。

エラー定数	SQLE_SYNC_PROFILE_UPGRADE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1225
SQLSTATE	42W78
Sybase エラー・コード	13292

### 考えられる原因

現在のデータベースに同期プロファイル用のカタログ・サポートがありません。この機能を使用するには、データベースを最新版にアップグレードしてください。

## この操作はグループ循環を起こします。

エラー定数	SQLE_GROUP_CYCLE
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-122
SQLSTATE	42W02
Sybase エラー・コード	314

### 考えられる原因

グループにメンバを追加しようとしたのですが、メンバが自分自身に属する結果になっています。メンバシップは直接と間接の場合があります。



**サーバ %1 でエラーが発生したため、同期に失敗しました。**

エラー定数	SQLE_SERVER_SYNCHRONIZATION_ERROR
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	サーバからのエラー番号。
重大度	16
SQLCODE	-857
SQLSTATE	0AW12
Sybase エラー・コード	13860

**考えられる原因**

サーバで同期が失敗しました。詳細については同期ログ・ファイルを参照してください。

**サーバ '%1': %2**

エラー定数	SQLE_OMNI_REMOTE_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	リモート・サーバの名前。
パラメータ 2	リモート・サーバからのメッセージ。
重大度	16
SQLCODE	-660
SQLSTATE	WO005
Sybase エラー・コード	13732

**考えられる原因**

リモート・サーバによってメッセージが生成されました。これには、メッセージ・テキストが含まれています。

**サーバが見つからないため自動起動できません。**

エラー定数	SQLE_UNABLE_TO_CONNECT_OR_START
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	11
SQLCODE	-764
SQLSTATE	08W55
Sybase エラー・コード	13774

**考えられる原因**

サーバに接続できないので、サーバの自動起動ができませんでした。データベース・ファイルが指定されなかったため、自動起動できませんでした。

**サーバ機能名 '%1' がデータベース内に見つかりませんでした。**

エラー定数	SQLE_CAPABILITY_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	サーバ機能の名前。
重大度	16
SQLCODE	-761
SQLSTATE	WO014
Sybase エラー・コード	13723

**考えられる原因**

ALTER SERVER 文が定義されていない機能に対して実行されました。

**サービス '%1' が見つかりません。**

エラー定数	SQLE_SERVICE_NOT_FOUND
-------	------------------------

ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	指定したが、見つからなかったサービスの名前。
重大度	16
SQLCODE	-920
SQLSTATE	42W98
Sybase エラー・コード	13564

**考えられる原因**

データベースに存在しない名前ですサービスを参照しようとした。

**サービス '%1' はすでに存在します。**

エラー定数	SQLE_SERVICE_ALREADY_EXISTS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	すでに存在するサービスの名前。
重大度	16
SQLCODE	-919
SQLSTATE	42W97
Sybase エラー・コード	13565

**考えられる原因**

データベースにすでに存在する名前ですサービスを作成しようとした。

**サービス '%1' は使用中です。**

エラー定数	SQLE_SERVICE_IN_USE
ODBC 2 ステータス	ERROR

ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	使用中のサービスの名前。
重大度	16
SQLCODE	-924
SQLSTATE	55W15
Sybase エラー・コード	13567

**考えられる原因**

現在使用中のサービスを削除しようとした。

**サービス・タイプでは、属性 '%1' は許可されません。**

エラー定数	SQLE_SERVICE_ATTR_NOT_ALLOWED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	許可されない属性の名前。
重大度	16
SQLCODE	-1027
SQLSTATE	42WB2
Sybase エラー・コード	13483

**考えられる原因**

指定したサービス・タイプのサービス定義では、その属性を指定できません。

**サービスの属性 '%1' の値がありません。**

エラー定数	SQLE_SERVICE_PARM_MISSING_VALUE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR

パラメータ 1	無効な属性の名前。
重大度	16
SQLCODE	-1023
SQLSTATE	42WAE
Sybase エラー・コード	13487

**考えられる原因**

値のない USING、FORMAT、または GROUP 属性がサービス定義に含まれています。

**サービス文定義が無効であるか、サポートされていません。**

エラー定数	SQLE_SERVICE_STATEMENT_INVALID
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1269
SQLSTATE	42WCC
Sybase エラー・コード	13250

**考えられる原因**

指定された文は無効か、サービスのコンテキスト内ではサポートされていません。

**サービス文定義とサービス・タイプが矛盾しています。**

エラー定数	SQLE_SERVICE_STATEMENT_MISMATCH
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-927

SQLSTATE	42W9C
Sybase エラー・コード	13558

**考えられる原因**

文が必要なタイプのサービスに対して文が指定されていないか、そのサービス・タイプに文を定義できないのに文を指定しました。

**サブクエリは複数行を返すことはできません。**

エラー定数	SQLE_SUBQUERY_RESULT_NOT_UNIQUE
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-186
SQLSTATE	21W01
Sybase エラー・コード	512

**考えられる原因**

単一のローだけが使用できるコンテキストで、複数行を返すサブクエリを使用しました。サブクエリが WHERE 句にある場合は、IN キーワードを使用できることがあります。

**シグニチャ '%1' はプロシージャのパラメータと一致しません。**

エラー定数	SQLE_SIGNATURE_MISMATCH
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	シグニチャの値。
重大度	16
SQLCODE	-737
SQLSTATE	42W54

Sybase エラー・コード	201
----------------	-----

**考えられる原因**

シグニチャでのタイプの数はプロシージャ・パラメータの数と一致する必要があります。  
DYNAMIC RESULT SETS 句が指定されている場合、動的結果セットの数はシグニチャにある数と一致する必要があります。

## システム・コマンドが失敗し、リターン・コード %1 が返されました。

エラー定数	SQLE_SYSTEM_COMMAND_FAILED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	リターン・コードの値。
重大度	16
SQLCODE	-910
SQLSTATE	38W01
Sybase エラー・コード	13574

**考えられる原因**

システム・コマンドの実行時に、0 以外のリターン・コードが返されました。

## システムのイベント・タイプ '%1' が見つかりません。

エラー定数	SQLE_EVENT_TYPE_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	見つからなかったシステムのイベント・タイプの名前。
重大度	11
SQLCODE	-806

SQLSTATE	WE008
Sybase エラー・コード	13816

**考えられる原因**

データベースに存在しないシステムのイベント・タイプの名前でイベントを作成しようとした。

**スクリプト・ファイルの行の区切りに文デリミタ \"go\" がありません**

エラー定数	SQLE_SCRIPT_MISSING_DELIMITER
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	15
SQLCODE	-1315
SQLSTATE	WW046
Sybase エラー・コード	13241

**考えられる原因**

Ultra Light では、スクリプト・ファイル内でコメント化されていないすべての SQL 文 (最後の文を含む) の後に、独立した行で "go" を続ける必要があります。文字列の場合は、文を終了するために "¥ngo" を使用できます。

**スナップショット・アイソレーションが無効または保留になっています。**

エラー定数	SQLE_SNAPSHOT_ISOLATION_DISABLED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1054



SQLSTATE	55W23
Sybase エラー・コード	13459

**考えられる原因**

スナップショット・アイソレーションが無効になっているか、そのアクティブ化が保留になっています。スナップショット・アイソレーションを有効にしてから、使用してください。

**スナップショット中は文を使用できません。**

エラー定数	SQLE_STATEMENT_NOT_ALLOWED_IN_SNAPSHOT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1062
SQLSTATE	42WB9
Sybase エラー・コード	13451

**考えられる原因**

未完了のスナップショットがある接続で CREATE INDEX、DROP INDEX、ALTER INDEX、または ALTER TABLE を使用しようとしてしました。接続のカーソルがすべて閉じていることを確認してください。

**セーブポイント '%1' が見つかりません。**

エラー定数	SQLE_SAVEPOINT_NOTFOUND
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	セーブポイントの名前。
重大度	16
SQLCODE	-220
SQLSTATE	3B001

Sybase エラー・コード	6401
----------------	------

**考えられる原因**

存在しないセーブポイントへロールバックしようとした。

**セーブポイントには、ロールバック・ログが必要です。**

エラー定数	SQLE_SAVEPOINTS_REQUIRE_UNDO
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-213
SQLSTATE	3BW01
Sybase エラー・コード	13656

**考えられる原因**

データベース・サーバが、ロールバック・ログなしでバルク・モードで実行されているときは、セーブポイントは使用できません。

**ダイナミック・ライブラリ名が必要です。**

エラー定数	SQLE_REQUIRE_DLL_NAME
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	19
SQLCODE	-619
SQLSTATE	WW005
Sybase エラー・コード	13676

**考えられる原因**

呼び出す外部関数の名前にライブラリ名指定子を指定する必要があります。

## タイムアウトするまでに、キュー '%1' で通知がありませんでした

エラー定数	SQLE_EVENT_NOTIFICATION_QUEUE_TIMEOUT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	イベント通知キューの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1266
SQLSTATE	WE017
Sybase エラー・コード	13244

### 考えられる原因

保留中の通知取得操作がタイムアウトしました。指定されたタイムアウトが経過する前に通知が届きませんでした。

## タイムアウトになったため、要求が中断されました。

エラー定数	SQLE_REQUEST_TIMEOUT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1043
SQLSTATE	57W01
Sybase エラー・コード	13468

### 考えられる原因

現在の要求は、データベース・オプション `request_timeout` の値よりも長く実行されたので、実行中にキャンセルされました。データベースはロールバックなしで操作を停止できました。文が INSERT、UPDATE、または DELETE の場合、変更はすべてキャンセルされます。文がデータ定義文 (CREATE TABLE など) の場合、その文はキャンセルされますが、関連する動作として実行された COMMIT はキャンセルされません。

## データベース '%1' に対して指定したファイルシステム・ボリュームが見つかりません。

エラー定数	SQLE_FILE_VOLUME_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	データベースの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1112
SQLSTATE	WW082
Sybase エラー・コード	13402

### 考えられる原因

データベース・ファイル名で指定したファイルシステム・ボリュームが見つかりませんでした。ボリューム名または序数を確認してください。

## データベース・ファイルが指定されていません。

エラー定数	SQLE_NO_DATABASE_FILE
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	11
SQLCODE	-72
SQLSTATE	08W39
Sybase エラー・コード	4001

### 考えられる原因

データベース・サーバは起動しましたが、データベース・ファイルが指定されていません。サーバは停止しました。

## データベースに接続されていません。

エラー定数	SQLE_NOT_CONNECTED
ODBC 2 ステータス	08003
ODBC 3 ステータス	08003
重大度	16
SQLCODE	-101
SQLSTATE	08003
Sybase エラー・コード	13622

### 考えられる原因

データベースに接続していません。または、DISCONNECT 文を実行した後、データベースに再接続していません。

## データベースの起動／停止の要求は拒否されました。

エラー定数	SQLE_START_STOP_DATABASE_DENIED
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	14
SQLCODE	-75
SQLSTATE	08W29
Sybase エラー・コード	6004

### 考えられる原因

データベースを起動または停止するパーミッションがありません。必要なパーミッションはサーバ・コマンド・ラインで決定されます。

## テーブル '%1' から定義されているよりも多いカラムを削除しようとしています。

エラー定数	SQLE_TOO_MANY_COLUMNS_DELETED
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	カラムが削除できなかったテーブルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-124
SQLSTATE	42W44
Sybase エラー・コード	207

### 考えられる原因

テーブル内のカラム数が 1 未満になることはありません。ALTER TABLE には、カラム削除を行う (DROP/DELETE) 句が現在のテーブル内のカラム数よりも多く存在します。

## テーブル '%1' に、MERGE 文の ANSI カーディナリティ違反があります

エラー定数	SQLE_MERGE_CARDINALITY_VIOLATION
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	更新するテーブルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1211
SQLSTATE	23509
Sybase エラー・コード	13304

### 考えられる原因

MERGE 文を実行しようとしていて、かつ同じローが複数回 WHEN MATCHED 句のターゲットになっています。

## テーブル '%1' の MERGE 文は失敗しました。文で RAISERROR が指定されています

エラー定数	SQLE_MERGE_USER_SPECIFIED_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	マージ先のテーブルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1254
SQLSTATE	23510
Sybase エラー・コード	13259

### 考えられる原因

1 つ以上のマージ操作分岐で RAISERROR 句を含む MERGE 文を実行しようとしていて、かつ入力ローのいずれかがこれらの分岐のいずれかの条件を満たしています。

## テーブル '%1' のプライマリ・キーがユニークではありません：プライマリ・キー値 ('%2')

エラー定数	SQLE_PRIMARY_KEY_NOT_UNIQUE
ODBC 2 ステータス	23000
ODBC 3 ステータス	23000
パラメータ 1	問題が検出されたテーブルの名前。
パラメータ 2	エラーの原因となった、重複したプライマリ・キー値。
重大度	14
SQLCODE	-193
SQLSTATE	23W01
Sybase エラー・コード	2601

**考えられる原因**

新しいローをテーブルに追加しようとしたのですが、新しいローが既存のローと同じプライマリ・キー値を使っています。データベースは追加を行っていません。たとえば、学生番号 86004 の学生を追加しようとした場合で、すでに同じ番号の学生がいたときに起こります。

**テーブル '%1' のローが、BEFORE トリガで修正または削除されました。**

エラー定数	SQLE_ROW_REMODIFIED_OR_DELETED
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	テーブルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-833
SQLSTATE	42W62
Sybase エラー・コード	13839

**考えられる原因**

BEFORE トリガがローを更新または削除したためにトリガが起動して、元のオペレーションを完了できませんでした。UPDATE 文または DELETE 文によってローが変更されないようにトリガを書き直してください。

**テーブル '%1' の最大ロー・サイズを超過します。**

エラー定数	SQLE_MAX_ROW_SIZE_EXCEEDED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	テーブル名。
重大度	16
SQLCODE	-1132
SQLSTATE	WW089



Sybase エラー・コード	13381
----------------	-------

**考えられる原因**

最大ロー・サイズが 64KB よりも大きいテーブルを作成または変更しようとした。Ultra Light では、最大ロー・サイズ (各カラムの格納に必要なバイト数の合計) が 64KB 未満になるようにテーブルを定義する必要があります。

## テーブル '%1' を参照する即時ビューを作成するには、テーブルを所有する必要があります

エラー定数	SQLE_NO_PERMS_FOR_IMV
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	テーブルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1270
SQLSTATE	42WD3
Sybase エラー・コード	13754

**考えられる原因**

マテリアライズド・ビューの再表示タイプを「即時」に変更しようとしていて、かつ所有していないテーブルがビューによって参照されています。この操作を実行するには、マテリアライズド・ビューによって参照されているすべてのテーブルを所有しているか、DBA 権限を持っている必要があります。

## テーブル '%1' 内のローのプライマリ・キーがテーブル '%3' 内の外部キー '%2' によって参照されています。

エラー定数	SQLE_PRIMARY_KEY_VALUE_REF
ODBC 2 ステータス	23000
ODBC 3 ステータス	23000
パラメータ 1	修正されているローを含むテーブルの名前。

パラメータ 2	参照元テーブルの外部インデックス (またはロール) の名前。
パラメータ 3	プライマリ・ローを参照する外部テーブルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-198
SQLSTATE	23W05
Sybase エラー・コード	547

**考えられる原因**

ローを削除または修正しようとしたますが、そのローのプライマリ・キー値がデータベースのどこかで参照されています。

## テーブル '%2' の外部キー '%1' に対応するプライマリ・キーの値がありません。

エラー定数	SQLLE_INVALID_FOREIGN_KEY
ODBC 2 ステータス	23000
ODBC 3 ステータス	23000
パラメータ 1	外部キーの名前。
パラメータ 2	外部キーを持つテーブルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-194
SQLSTATE	23503
Sybase エラー・コード	546

**考えられる原因**

他のテーブルの外部キーがあるローに挿入または更新をしようとした。外部キーの値は NULL ではなく、プライマリ・キーには対応する値がありません。

## テーブルの再編成はすでにテーブル '%1' で実行中です

エラー定数	SQLE_REORG_ALREADY_IN_PROGRESS
ODBC 2 ステータス	54000
ODBC 3 ステータス	54000
パラメータ 1	テーブルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1229
SQLSTATE	54W51
Sybase エラー・コード	13288

### 考えられる原因

このテーブルで実行されている REORGANIZE TABLE 文がすでに存在します。このような文は、1つのテーブルに対して常に1つしか実行できません。

## テーブルまたはビュー '%1' に INSTEAD OF トリガがあるため、操作に失敗しました。

エラー定数	SQLE_INSTEAD_TRIGGER
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	INSTEAD OF トリガのあるビューまたはテーブルの名前。
重大度	15
SQLCODE	-1126
SQLSTATE	42W3A
Sybase エラー・コード	13387

### 考えられる原因

INSTEAD OF トリガがターゲットのテーブルまたはビュー (別のビューにネストされている場合あり) で定義されているため成功することはない操作を実行しようとして失敗しました。

## テキスト・クエリ文字列が定数ではないか、不明です。

エラー定数	SQLE_TEXT_QUERY_NOT_KNOWN
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1159
SQLSTATE	WT004
Sybase エラー・コード	13354

### 考えられる原因

CONTAINS クエリへのクエリ文字列引数は、定数にするか、変数で NULL 以外の値にしてください。

## テンポラリ・テーブルに対しては RESTRICT 以外の参照整合性アクションは許可されていません。

エラー定数	SQLE_INVALID_FOREIGN_KEY_ACTION
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-849
SQLSTATE	42R01
Sybase エラー・コード	1709

### 考えられる原因

テンポラリ・テーブルに対してサポートされていない参照整合性アクションを指定しようとした。

## テンポラリ・テーブル上では LOAD TABLE を ON COMMIT DELETE ROWS と併用できません。

エラー定数	SQLE_INVALID_TEMP_TABLE_COMMIT_ACTION
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-993
SQLSTATE	WL007
Sybase エラー・コード	13496

### 考えられる原因

LOAD TABLE 文は完了時に自動的にコミットします。ロードされるテンポラリ・テーブルが ON COMMIT DELETE ROWS を使って宣言された場合、ローは完了時に破棄されます。

## パーミッションがありません : %1

エラー定数	SQLE_PERMISSION_DENIED
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	必要なパーミッションの説明。
重大度	16
SQLCODE	-121
SQLSTATE	42501
Sybase エラー・コード	262

### 考えられる原因

特定の動作を行うために必要なパーミッションがありません。メッセージは、実際に必要なパーミッションと動作が行われているオブジェクトを指定します。

## パススルー SQL スクリプトに失敗しました

エラー定数	SQLE_PASSTHROUGH_SQL_SCRIPT_FAILED_E
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1238
SQLSTATE	WW112
Sybase エラー・コード	13280

### 考えられる原因

パススルー SQL スクリプトが、不明なエラーで失敗しました。エラーを Mobile Link にレポートするためにデータベースを同期してください。サーバ管理者に問い合わせる必要がある場合があります。

## パススルー SQL スクリプトに失敗しました

エラー定数	SQLE_PASSTHROUGH_SQL_SCRIPT_FAILED_W
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
重大度	10
SQLCODE	141
SQLSTATE	01006
Sybase エラー・コード	13289

### 考えられる原因

パススルー SQL スクリプトが失敗しました。エラーを Mobile Link にレポートするためにデータベースを同期してください。サーバ管理者に問い合わせる必要がある場合があります。

## パススルー・モードでは文を使用できません。

エラー定数	SQLE_STMT_NOT_ALLOWED_IN_PASSTHROUGH
-------	--------------------------------------

ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-707
SQLSTATE	0AW05
Sybase エラー・コード	13631

**考えられる原因**

文を実行しようとしたのですが、パススルー・モードでは実行できません。たとえば、バッチ文を実行しました。

**パススルー文は、現在のパススルーと一致しません。**

エラー定数	SQLE_PASSTHROUGH_INCONSISTENT
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S02
重大度	16
SQLCODE	-287
SQLSTATE	5RW08
Sybase エラー・コード	13649

**考えられる原因**

パススルーは追加されます。つまり、後続する PASSTHROUGH 文によって、パススルーを受信するユーザのリストにユーザが追加されます。PASSTHROUGH 文は、すべて PASSTHROUGH ONLY であるか、すべて PASSTHROUGH ONLY 以外にしてください。

**パスワードに不正な文字が含まれています。**

エラー定数	SQLE_ILLEGAL_PASSWORD
ODBC 2 ステータス	28000
ODBC 3 ステータス	28000

重大度	11
SQLCODE	-963
SQLSTATE	08005
Sybase エラー・コード	13528

**考えられる原因**

指定したパスワードに不正な文字が含まれています。

**パスワードの長さは %1 文字以内です。**

エラー定数	SQLE_PASSWORD_TOO_LONG
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	54000
パラメータ 1	パスワードの最大長。
重大度	15
SQLCODE	-958
SQLSTATE	54W08
Sybase エラー・コード	13530

**考えられる原因**

パスワードの長さが、サーバで許可されている長さを超えています。

**パスワードの有効期限が切れています。**

エラー定数	SQLE_PASSWORD_EXPIRED
ODBC 2 ステータス	28000
ODBC 3 ステータス	28000
重大度	16
SQLCODE	-1152



SQLSTATE	08WA0
Sybase エラー・コード	13361

**考えられる原因**

有効なユーザ ID を使用して接続しようとしたのですが、有効期限が切れたパスワードが使用されました。有効期限が切れた現在のパスワードとともに NewPassword 接続パラメータを指定することによって、パスワードを変更できます。

## パスワードの有効期限が切れていますが、変更できません。データベースは読み込み専用です。

エラー定数	SQLE_PASSWORD_EXPIRED_READONLY_DB
ODBC 2 ステータス	28000
ODBC 3 ステータス	28000
重大度	16
SQLCODE	-1153
SQLSTATE	08WA1
Sybase エラー・コード	13360

**考えられる原因**

有効なユーザ ID を使用して読み込み専用データベースに接続しようとしたのですが、有効期限が切れたパスワードが使用されました。データベース・サーバ・コマンド・ラインで -r オプションなしでデータベースを起動しないと、パスワードを変更できません。-r を削除すると、データベースを修正できます。

## パスワードは最低 %1 文字以上でなければなりません。

エラー定数	SQLE_PASSWORD_TOO_SHORT
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	54000
パラメータ 1	パスワードの最小長。
重大度	14

SQLCODE	-738
SQLSTATE	54W07
Sybase エラー・コード	573

**考えられる原因**

min\_password\_length の現在のオプション設定で許可されているよりも短いパスワードを指定しています。

**パブリケーション '%1' が見つかりません。**

エラー定数	SQLE_PUBLICATION_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	見つからなかったパブリケーションの名前。
重大度	16
SQLCODE	-280
SQLSTATE	5RW01
Sybase エラー・コード	13642

**考えられる原因**

パブリケーションの名前のスペルを間違えたか、パブリケーション名をユーザ名で修飾しませんでした。

**パブリケーション・タイプで操作が競合しています。**

エラー定数	SQLE_CONFLICTING_PUB_TYPE
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42S02
重大度	16
SQLCODE	-1060

SQLSTATE	5RW38
Sybase エラー・コード	13453

### 考えられる原因

パブリケーションのタイプに適用できない操作を実行しようとしてしました。たとえば、スクリプト化されたアップロード・パブリケーションに固有の操作をログ・スキャンのパブリケーションに適用しました。

## パブリケーションの述部は評価されませんでした。

エラー定数	SQLE_PUBLICATION_PREDICATE_IGNORED
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
重大度	10
SQLCODE	138
SQLSTATE	01W25
Sybase エラー・コード	13423

### 考えられる原因

SQL サポートなしで Ultra Light が初期化されたので、パブリケーションの述部が評価されませんでした。テーブルは、パブリケーションの述部が指定されていない場合と同じようにアップロードされます。

## パラメータ '%1' に NULL は指定できません

エラー定数	SQLE_PARAMETER_CANNOT_BE_NULL
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	パラメータの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1277

SQLSTATE	WW229
Sybase エラー・コード	13862

**考えられる原因**

指定されたパラメータには NULL を指定できません。

**パラメータが出力パラメータとして登録されていません。**

エラー定数	SQLE_PARAM_NOT_REGISTERED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-671
SQLSTATE	WJ002
Sybase エラー・コード	13712

**考えられる原因**

パラメータは、値の取得前に出力パラメータとして登録されなければなりません。

**ビューに定義されるカラムの数が SELECT 文と一致しません。**

エラー定数	SQLE_VIEW_DEFINITION_ERROR
ODBC 2 ステータス	21S02
ODBC 3 ステータス	21S02
重大度	20
SQLCODE	-114
SQLSTATE	53011
Sybase エラー・コード	4409

**考えられる原因**

ビューを作成しようとしたのですが、CREATE VIEW 文の一部として指定したカラム・リストは、ビューの SELECT 文の項目リストと対応しません。

**プライマリ・キー・カラム '%1' はすでに定義されています。**

エラー定数	SQLE_PRIMARY_KEY_COLUMN_DEFINED
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	すでにプライマリ・キーに入っているカラムの名前。
重大度	16
SQLCODE	-119
SQLSTATE	52009
Sybase エラー・コード	1909

**考えられる原因**

プライマリ・キーの定義の中に、同じカラム名を2度リストしました。

**プランがありません。このタイプの文またはデータベースでは、HTML\_PLAN 関数はサポートされていません。**

エラー定数	SQLE_HTML_PLAN_NOT_SUPPORTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	15
SQLCODE	-1177
SQLSTATE	0AW21
Sybase エラー・コード	133336

**考えられる原因**

クエリ (SQL Anywhere クエリまたは OMNI/CIS 分解クエリ) の HTML プランを取得しようとした。純正な IQ クエリでは HTML\_PLAN はサポートされています。

**プランに仮想インデックスが含まれている可能性があります。**

エラー定数	SQLE_USING_VIRTUAL_INDEXES
ODBC 2 ステータス	01S01
ODBC 3 ステータス	01S01
重大度	10
SQLCODE	129
SQLSTATE	01W20
Sybase エラー・コード	13596

**考えられる原因**

仮想インデックスが、この接続で現在有効になっています。生成されるプランには、仮想インデックスが含まれていることがあります。

**プリフェッチの間にデッドロックされたためロールバックが発生しました。**

エラー定数	SQLE_ROLLBACK_ON_PREFETCH
ODBC 2 ステータス	40001
ODBC 3 ステータス	40001
重大度	13
SQLCODE	-684
SQLSTATE	WW019
Sybase エラー・コード	1205

**考えられる原因**

プリフェッチ可能としてオープン・カーソルのいずれかがフェッチ操作を実行中であり、プリフェッチ中にデッドロックが発生しました。これはデッドロック状態であり、トランザクション

がロールバックされるよう選択されました。このエラーを受け取った要求は実行されませんでした。ただし、カーソルを閉じる要求の場合、カーソルは閉じられました。

## プロシージャ '%1' からの戻り値のタイプ void はすべての式で使用できません。

エラー定数	SQLE_PROCEDURE_RETURNS_VOID
ODBC 2 ステータス	07006
ODBC 3 ステータス	07006
パラメータ 1	プロシージャの名前。
重大度	16
SQLCODE	-705
SQLSTATE	53019
Sybase エラー・コード	257

### 考えられる原因

Java の void 型は、SQL のどの型にもマッピングされません。したがって、void を返すプロシージャは SQL 式で使用できません。

## プロシージャ '%1' の呼び出しに必要なパラメータ名がありません。

エラー定数	SQLE_PARAMETER_NAME_MISSING
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	プロシージャ名。
重大度	16
SQLCODE	-639
SQLSTATE	42W42
Sybase エラー・コード	201

**考えられる原因**

このプロシージャの呼び出しで、位置を指定する引数が名前付きパラメータの後に指定されています。

**プロシージャ '%1' は見つかりません。**

エラー定数	SQLE_PROCEDURE_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	見つからなかったプロシージャの名前。
重大度	11
SQLCODE	-265
SQLSTATE	52W09
Sybase エラー・コード	504

**考えられる原因**

プロシージャの名前のスペルを間違えたか、プロシージャ名をユーザ名で修飾しませんでした。

**プロシージャ '%1' は処理されない例外 '%2' で終了しました。**

エラー定数	SQLE_UNHANDLED_EXTENV_EXCEPTION
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	未処理の例外を返したプロシージャの名前。
パラメータ 2	未処理の例外の、Java クラスの完全修飾名。
重大度	16
SQLCODE	-91
SQLSTATE	WP001
Sybase エラー・コード	13735



**考えられる原因**

Java プロシージャは、アクティブな例外によって終了しました。また、この例外は、SQL ではエラー・ステータスとして示されます。

**プロシージャ '%1' は有効でなくなりました。**

エラー定数	SQLE_PROCEDURE_NO_LONGER_VALID
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	プロシージャの名前。
重大度	15
SQLCODE	-836
SQLSTATE	42W63
Sybase エラー・コード	13842

**考えられる原因**

プロシージャ定義をカタログからロードできません。テーブルまたはカラムの名前が変更されていないか、予約語が使用されていないかを調べてください。

**プロシージャ '%2' にパラメータ '%1' がありません。**

エラー定数	SQLE_INVALID_PARAMETER_NAME
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	見つからなかったパラメータの名前。
パラメータ 2	パラメータが見つからなかったプロシージャの名前。
重大度	16
SQLCODE	-615
SQLSTATE	42W47
Sybase エラー・コード	201

**考えられる原因**

このプロシージャのパラメータと一致しないプロシージャのパラメータ名を指定しました。パラメータ名のスペルをチェックしてください。

## プロシージャ、トリガ、イベント、またはバッチでは SETUSER を実行できません。

エラー定数	SQLE_SETUSER_NOT_IN_PROCEDURES
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-877
SQLSTATE	42W09
Sybase エラー・コード	13888

**考えられる原因**

ストアド・プロシージャ、トリガ、イベント・ハンドラ、またはバッチでは SETUSER 文を使用できません。また、EXECUTE IMMEDIATE 文から SETUSER 文を呼び出すこともできません。

## プロシージャ・タイプ '%1' の NAMESPACE 属性が無効です。

エラー定数	SQLE_INVALID_NAMESPACE_ATTRIBUTE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	プロシージャの NAMESPACE 属性。
重大度	16
SQLCODE	-989
SQLSTATE	WW058
Sybase エラー・コード	13500

**考えられる原因**

NAMESPACE 属性はタイプ SOAP のプロシージャにのみ適用可能です。

**プロシージャが完了しました。**

エラー定数	SQLE_PROCEDURE_COMPLETE
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
重大度	10
SQLCODE	105
SQLSTATE	01W05
Sybase エラー・コード	13618

**考えられる原因**

このプロシージャで取得できる結果セットはこれ以上ありません。OPEN 文または RESUME 文によってプロシージャの実行が完了された可能性があります。

**プロシージャは '%1' によって使用されています。**

エラー定数	SQLE_PROCEDURE_IN_USE
ODBC 2 ステータス	40001
ODBC 3 ステータス	40001
パラメータ 1	ユーザの名前。
重大度	16
SQLCODE	-215
SQLSTATE	42W23
Sybase エラー・コード	3702

**考えられる原因**

データベースの他のアクティブ・ユーザが使用しているプロシージャを、削除しようとした。

## プロシージャまたはトリガの呼び出しのネストが深すぎます。

エラー定数	SQLE_NESTING_TOO_DEEP
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-274
SQLSTATE	42W29
Sybase エラー・コード	217

### 考えられる原因

定義されたプロシージャまたはトリガが、無限再帰の原因となっています。

## プロシージャまたは関数 '%2' のパラメータ '%1' にデフォルト値がありません。

エラー定数	SQLE_NO_DEFAULT_FOR_PARM
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	パラメータの名前。
パラメータ 2	プロシージャまたは関数の名前。
重大度	16
SQLCODE	-1001
SQLSTATE	08W71
Sybase エラー・コード	13491

### 考えられる原因

プロシージャまたは関数の引数として DEFAULT を使おうとしましたが、対応するパラメータにデフォルト値がありません。

## ホスト変数が足りません。

エラー定数	SQLE_NOT_ENOUGH_HOST_VARS
ODBC 2 ステータス	07002
ODBC 3 ステータス	07002
重大度	16
SQLCODE	-188
SQLSTATE	07001
Sybase エラー・コード	13638

### 考えられる原因

バインド変数、文、select リスト項目のいずれかに、ホスト変数の数が不足しています。

## マテリアライズド・ビュー %1 では、LOAD TABLE は許可されません

エラー定数	SQLE_LOAD_TABLE_ON_MATVIEW_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	ロードが試行されたマテリアライズド・ビューの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1190
SQLSTATE	WL014
Sybase エラー・コード	13325

### 考えられる原因

マテリアライズド・ビューでは、LOAD TABLE 文は許可されません。

## マテリアライズド・ビュー '%1' が見つかりません。

エラー定数	SQLE_MATVIEW_NOT_FOUND
-------	------------------------

ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	見つからなかったマテリアライズド・ビューの名前。
重大度	11
SQLCODE	-1041
SQLSTATE	42WB5
Sybase エラー・コード	13470

**考えられる原因**

マテリアライズド・ビューの名前のスペルを間違えたか、マテリアライズド・ビュー名をユーザ名で修飾しませんでした。たとえば、"DBA"."Employees" ではなく "Employees" を参照しています。

## マテリアライズド・ビューのサポートは、このデータベースでは利用できません

エラー定数	SQLE_MAT_VIEWS_NOT_SUPPORTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	15
SQLCODE	-1029
SQLSTATE	0AW15
Sybase エラー・コード	13481

**考えられる原因**

実行している文には、マテリアライズド・ビューのサポートが必要ですが、使用されているデータベースにはマテリアライズド・ビューの機能がありません。

**ミラー・ファイルには、これより高い checksum\_level が必要です。**

エラー定数	SQLE_MIRROR_FILE_REQUIRES_CHECKSUMS
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
重大度	10
SQLCODE	144
SQLSTATE	WW116
Sybase エラー・コード	13274

#### 考えられる原因

メディア障害から効果的に保護するために、ミラー・ファイルを使用しているときはページ・チェックサムを有効にしてください。checksum\_level データベース作成オプションを指定してください。

**ミラーリングされたデータベースで LOAD TABLE は許可されていません。**

エラー定数	SQLE_LOAD_TABLE_ON_MIRRORED_DB
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1035
SQLSTATE	WL008
Sybase エラー・コード	13476

#### 考えられる原因

データベースをミラーリングしているときは、LOAD TABLE 文を使用できません。ロード対象のファイルが、他方のサーバからアクセスできない可能性があります。

## メソッド '%1' は現時点では呼び出せません。

エラー定数	SQLE_METHOD_CANNOT_BE_CALLED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	メソッドの名前。
重大度	16
SQLCODE	-669
SQLSTATE	WJ001
Sybase エラー・コード	13711

### 考えられる原因

このメソッドは今回呼び出すことができません。メソッドが適切に呼び出されているかどうかを確認してください。

## メモリ・エラー -- トランザクションはロールバックされました。

エラー定数	SQLE_MEMORY_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	24
SQLCODE	-309
SQLSTATE	40W08
Sybase エラー・コード	3013

### 考えられる原因

Ultra Light ランタイムは、Ultra Light データベースを格納するために使用されるシステム・コールから予期しないエラーを受け取りました。たとえば、永続的なメモリへの書き込みの失敗などです。このエラーは、デバイス上に不良または破損した記憶領域があることを示す内部エラーです。ROLLBACK 文は自動的に実行されました。



**もっと情報が必要です。**

エラー定数	SQLE_MORE_INFO
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	OK
重大度	10
SQLCODE	112
SQLSTATE	01W09
Sybase エラー・コード	13686

**考えられる原因**

この処理を完了するには、より詳細な情報が必要です。この情報は、統一化ログインを処理するために、データベース・インタフェース・ライブラリの内部で使用されます。アプリケーションには返しません。

**ラベル '%1' は見つかりません。**

エラー定数	SQLE_LABEL_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	見つからなかったラベルの名前。
重大度	15
SQLCODE	-262
SQLSTATE	42W24
Sybase エラー・コード	133

**考えられる原因**

LEAVE 文でラベルを参照しましたが、ラベルは見つかりませんでした。

## ランタイム・サーバでは強力な暗号化方式のデータベース・ファイルはサポートされません。

エラー定数	SQLE_NO_ENCRYPTION_IN_RUNTIME
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-688
SQLSTATE	55W13
Sybase エラー・コード	13879

### 考えられる原因

強力的に暗号化されたデータベースをランタイム・サーバで起動しようとした。フル・サーバを使用してください。

## リモート・サーバ '%1' が見つかりませんでした。

エラー定数	SQLE_OMNI_SERVER_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	リモート・サーバの名前。
重大度	11
SQLCODE	-659
SQLSTATE	WO004
Sybase エラー・コード	11214

### 考えられる原因

追加されていないサーバに対してオブジェクトを定義しようとした。CREATE SERVER を使用して、リモート・サーバ定義を追加してください。

## リモート・サーバ '%1' は現在読み込み専用を設定されています。

エラー定数	SQLE_OMNI_READONLY
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	リモート・サーバの名前。
重大度	16
SQLCODE	-658
SQLSTATE	WO003
Sybase エラー・コード	11248

### 考えられる原因

読み込み専用として設定されているサーバに配置されたオブジェクトを更新しようとした。ALTER SERVER を使用して、リモート・サーバを更新可能に再設定してください。

## リモート・サーバにはこの文をサポートする機能がありません。

エラー定数	SQLE_OMNI_SERVER_NOT_CAPABLE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-706
SQLSTATE	WO012
Sybase エラー・コード	11227

### 考えられる原因

リモート・サーバでサポートされていない機能を必要とする文を実行しようとした。

## リモート・メッセージ・タイプ '%1' が見つかりません。

エラー定数	SQLE_NOT_REMOTE_TYPE
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	リモート・メッセージ・タイプの名前。
重大度	16
SQLCODE	-286
SQLSTATE	5RW07
Sybase エラー・コード	13648

### 考えられる原因

このデータベースで定義されていないリモート・メッセージ・タイプを参照しました。リモート・メッセージ・タイプを定義するには、CREATE REMOTE TYPE を使用します。

## リモートの文が失敗しました。

エラー定数	SQLE_REMOTE_STATEMENT_FAILED
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S02
重大度	16
SQLCODE	-288
SQLSTATE	5RW09
Sybase エラー・コード	13650

### 考えられる原因

この SQLSTATE は、トリガ内だけで信号を送ることができ、SQL Remote Message Agent (dbremote) が出力装置にエラー・メッセージを表示できないようにします。この例外は、トリガまたはプロシージャが信号を送るときに発生します。これは、設計上許容されているレプリケーション・エラーを無視するときに役立ちます。

**ローカル接続 ID は現在のデータベースを参照していません。**

エラー定数	SQLE_LOCAL_CONNECTION_NOT_TO_CURRENT_DB
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-997
SQLSTATE	WO025
Sybase エラー・コード	710

**考えられる原因**

指定した接続 ID は、現在のデータベース以外のデータベースへの接続の ID です。

**ローが見つかりません。**

エラー定数	SQLE_NOTFOUND
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
重大度	16
SQLCODE	100
SQLSTATE	02000
Sybase エラー・コード	560

**考えられる原因**

クエリの先頭または末尾を超えた位置にカーソルを配置しています。その位置にはローはありません。

**ログイン・ポリシー '%1' はすでに存在します**

エラー定数	SQLE_LOGIN_POLICY_ALREADY_EXISTS
ODBC 2 ステータス	ERROR

ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	ログイン・ポリシーの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1194
SQLSTATE	WW097
Sybase エラー・コード	13321

**考えられる原因**

データベースにすでに存在するログイン・ポリシーを作成しようとした。

**ログイン・ポリシー \"%1\" が見つかりません**

エラー定数	SQLE_LOGIN_POLICY_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	ログイン・ポリシーの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1195
SQLSTATE	WW098
Sybase エラー・コード	13320

**考えられる原因**

データベースに、指定されたログイン・ポリシーが見つかりませんでした。

**ログイン・ポリシー \"%1\" は使用中です**

エラー定数	SQLE_LOGIN_POLICY_IN_USE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR

パラメータ 1	ログイン・ポリシーの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1197
SQLSTATE	WW100
Sybase エラー・コード	13318

**考えられる原因**

指定されたログイン・ポリシーは、データベース内のユーザに関連付けられています。ログイン・ポリシーに関連付けられているすべてのユーザを他のログイン・ポリシーに割り当ててから、指定されたログイン・ポリシーを削除してください。

## ログイン・モード '%1' は、login\_mode 設定で許可されていません。

エラー定数	SQLE_LOGON_MODE_NOT_PERMITTED
ODBC 2 ステータス	28000
ODBC 3 ステータス	28000
パラメータ 1	現在の login_mode データベース・オプション設定にはないログイン・モードの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1074
SQLSTATE	28W14
Sybase エラー・コード	13440

**考えられる原因**

現在の login\_mode データベース・オプション設定にはないログイン・モードを使用して接続しようとした。オプションの設定を変更するか、別のログイン・モードで接続してください。

## ワークロード・キャプチャは現在行われていません。

エラー定数	SQLE_WORKLOAD_CAPTURE_DOES_NOT_EXIST
-------	--------------------------------------

ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-943
SQLSTATE	WW030
Sybase エラー・コード	13545

**考えられる原因**

ワークロード・キャプチャの停止、一時停止、再開、またはステータスの取得を実行しましたが、ワークロード・キャプチャは現在存在しません。

**安全な HTTP 接続はこのプラットフォームではサポートされていません。**

エラー定数	SQLE_SECURE_CONNECTION_UNAVAILABLE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	19
SQLCODE	-1030
SQLSTATE	WW063
Sybase エラー・コード	13480

**考えられる原因**

安全な HTTP 接続が試行されましたが、このプラットフォームではサポートされていません。

**依存する即時マテリアライズド・ビューがあるテーブルでは、オペレーションは認められません。**

エラー定数	SQLE_INVALID_OPERATION_FOR_TBL_WITH_IMV
ODBC 2 ステータス	ERROR



ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1202
SQLSTATE	55W31
Sybase エラー・コード	13313

**考えられる原因**

依存する即時マテリアライズド・ビューがあるテーブルには、要求されたオペレーションは適用できません。

## 依存する即時マテリアライズド・ビューのメンテナンスに失敗しました。

エラー定数	SQLE_MAINTENANCE_OF_IMV_FAILED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1219
SQLSTATE	42WC8
Sybase エラー・コード	13298

**考えられる原因**

ベース・テーブルに依存する即時マテリアライズド・ビューのメンテナンスに失敗しました。

## 一致するテキスト・インデックスがありません。

エラー定数	SQLE_TEXT_NO_MATCHING_INDEX
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16

SQLCODE	-1158
SQLSTATE	WT003
Sybase エラー・コード	13355

**考えられる原因**

CONTAINS クエリで参照されているすべてのカラムに単一のテキスト・インデックスが存在する必要があります。

**引数の名前がありません。**

エラー定数	SQLE_NO_SQLX_ARGUMENT_NAME
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-907
SQLSTATE	WX014
Sybase エラー・コード	13576

**考えられる原因**

名前のない引数は、XML 要素名または属性名として使用できません。AS を使用して、引数リストの名前のない項目に名前を付けてください。

**解析エラー : %1**

エラー定数	SQLE_INVALID_PARSE_PARAMETER
ODBC 2 ステータス	08004
ODBC 3 ステータス	08004
パラメータ 1	解析エラーの説明。
重大度	18
SQLCODE	-95

SQLSTATE	08W49
Sybase エラー・コード	5864

**考えられる原因**

接続文字列を解析中にエラーが発生しました。

**解析エラー : %1**

エラー定数	SQLE_INVALID_DSN_NAME
ODBC 2 ステータス	08004
ODBC 3 ステータス	08004
パラメータ 1	無効なデータ・ソース名。
重大度	18
SQLCODE	-754
SQLSTATE	08W54
Sybase エラー・コード	5864

**考えられる原因**

接続文字列で無効なデータ・ソース名が使用されました。

**外部関数のプラットフォーム指定子と、現在のオペレーティング・システムが一致しません。**

エラー定数	SQLE_EXTERNAL_PLATFORM_FAILURE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-618
SQLSTATE	WW004
Sybase エラー・コード	13675

**考えられる原因**

動的にロードされたモジュールの外部エントリ・ポイント呼び出しに使われたオペレーティング・システムが、現在稼働中の OS と異なります。

**起動するのに必要なメモリが不足しています。**

エラー定数	SQLE_NO_MEMORY
ODBC 2 ステータス	S1001
ODBC 3 ステータス	HY001
重大度	17
SQLCODE	-86
SQLSTATE	08W13
Sybase エラー・コード	708

**考えられる原因**

データベース・サーバを起動しましたが、十分なメモリがなかったため終了しました。

**繰り返されないイベント '%1' の開始日時が過去に設定されています。**

エラー定数	SQLE_EVENT_START_TIME_IN_PAST
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	スケジュールされているイベントの名前。
重大度	15
SQLCODE	-1128
SQLSTATE	WE010
Sybase エラー・コード	13385

**考えられる原因**

イベントを開始する日付や時刻に、すでに過ぎた日時を設定しましたが、イベントは繰り返されません。

**言語 '%1' はサポートされていないため、'%2' を使用します。**

エラー定数	SQLE_UNSUPPORTED_LANGUAGE
ODBC 2 ステータス	01000
ODBC 3 ステータス	01000
パラメータ 1	クライアントが要求した言語の名前。
パラメータ 2	サーバがメッセージ文字列を送信するために使用する言語の名前。
重大度	10
SQLCODE	116
SQLSTATE	01W14
Sybase エラー・コード	13615

**考えられる原因**

アプリケーションが要求した言語は、アプリケーションが接続しているサーバではサポートされていません。代わりに、サーバは示されている言語でメッセージ文字列を送信します。

**言語仕様が変更されました。**

エラー定数	SQLE_LANGUAGE_EXTENSION
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-135
SQLSTATE	0AW01
Sybase エラー・コード	401

**考えられる原因**

使用した SQL 文は特定のバージョンの SQL では有効かもしれませんが、SQL Anywhere では無効です。

## 構文エラーです。IQ 指定オプションを指定するには IQ PATH が必要です。

エラー定数	SQLE_IQ_PATH_SYNTAX_ERROR
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	15
SQLCODE	-687
SQLSTATE	42W48
Sybase エラー・コード	102

**考えられる原因**

実行しようとしている文を、データベース・サーバが理解できません。カラム名にキーワードを使う場合は、キーワードを引用符で囲んでください(たとえば DATE は "DATE")。

## 行 %2 の '%1' の付近に、言語の拡張機能が検出されました。

エラー定数	SQLE_SYNTAX_EXTENSION_WARNING
ODBC 2 ステータス	01000
ODBC 3 ステータス	01000
パラメータ 1	構文が検出された場所にある単語または記号。
パラメータ 2	行番号。
重大度	10
SQLCODE	107
SQLSTATE	01W07
Sybase エラー・コード	5703

**考えられる原因**

実行している文に、SQL\_FLAGGER\_WARNING\_LEVEL オプションの現在の設定では許可されていない構文が含まれます。文を修正するか、SQL\_FLAGGER\_WARNING\_LEVEL オプションを別の値に設定してください。

**再帰カラム %1 : '%2' から '%3' への変換では、精度が失われます。**

エラー定数	SQLLE_BAD_RECURSIVE_COLUMN_CONVERSION
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	再帰サブクエリのカラム番号。
パラメータ 2	変換前のデータ。
パラメータ 3	変換後のデータ。
重大度	16
SQLCODE	-945
SQLSTATE	42WA2
Sybase エラー・コード	13543

**考えられる原因**

再帰サブクエリの各カラムは、最初のサブクエリの対応するカラムのデータ型に、精度を失わずに変換できる必要があります。最初のサブクエリのカラムを適切なデータ型にキャストしてみてください。

**再帰クエリのカラム・リストがありません。**

エラー定数	SQLLE_NO_RECURSIVE_COLUMN_LIST
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-922

SQLSTATE	42W9A
Sybase エラー・コード	13562

**考えられる原因**

再帰クエリを定義する共通テーブル式には、カラム・リストがなければなりません。

**最後に読み込まれた後で、ローは更新されています。**

エラー定数	SQLE_ROW_UPDATED_WARNING
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
重大度	10
SQLCODE	104
SQLSTATE	01W04
Sybase エラー・コード	532

**考えられる原因**

SCROLL カーソルからローをフェッチしました。ローは以前同じカーソルからフェッチされており、その時点から、そのローの1つか複数のカラムが更新されています。更新されたカラムがカーソルによってフェッチされた可能性があります。この警告は単にテーブルのローが更新されていることを示しています。カーソルが複数のテーブルに関係している場合、複数のテーブルからのローが更新されています。

**最後に読み込まれた後で、ローは更新されています。操作はキャンセルされました。**

エラー定数	SQLE_ROW_UPDATED_SINCE_READ
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-208



SQLSTATE	22W02
Sybase エラー・コード	554

**考えられる原因**

SCROLL カーソルとして宣言されたカーソルに、UPDATE (位置付け) 操作または DELETE (位置付け) 操作を行おうとしましたが、変更するローは最後に読み出してから更新されています。このエラーは「更新内容が失われる」問題が発生するのを防ぎます。

**最大文字列長を超えました。**

エラー定数	SQLLE_MAX_STRING_LENGTH_EXCEEDED
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	54000
重大度	15
SQLCODE	-1313
SQLSTATE	54W17
Sybase エラー・コード	13266

**考えられる原因**

文字列操作で、サーバで許可されている最大長を超える文字列が作成されようとなりました。

**参照整合性を保つためにテーブル %1 からローが削除されました。**

エラー定数	SQLLE_ROW_DELETED_TO_MAINTAIN_REFERENTIAL_INTEGRITY
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
パラメータ 1	テーブルの名前。
重大度	10
SQLCODE	137

SQLSTATE	01W24
Sybase エラー・コード	13489

**考えられる原因**

ダウンロード中にプライマリ・ローを削除したため、参照の整合性を保つためにその外部ローも削除されました。

## 使用できるプランがありません。このタイプの文に対しては、**NOEXEC** プランは生成できません。

エラー定数	SQLE_STMT_NOT_ALLOWED_FOR_NOEXEC_PLAN
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	15
SQLCODE	-1176
SQLSTATE	0AW20
Sybase エラー・コード	13337

**考えられる原因**

IQ によって NOEXEC プランを生成できない文のタイプの NOEXEC プランを取得しようとした。

## 指定されたデータベース・ファイルはすでに使用されています。

エラー定数	SQLE_FILE_IN_USE
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	14
SQLCODE	-816
SQLSTATE	08W56

Sybase エラー・コード	924
----------------	-----

**考えられる原因**

ファイルがすでに使用されているため、データベース・サーバは指定したデータベースを起動できませんでした。

**指定されたデータベースが見つかりません。**

エラー定数	SQLE_DATABASE_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	16
SQLCODE	-83
SQLSTATE	08W10
Sybase エラー・コード	911

**考えられる原因**

データベース・サーバが、指定したデータベースを見つけられませんでした。データベース・サーバが、開けないデータベース・ファイル、またはネットワークで見つからなかったデータベース・ファイルを起動しようとした。稼働中でないデータベース名に接続しようとした可能性もあります。

**指定されたデータベースは無効です。**

エラー定数	SQLE_INVALID_DATABASE
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	11
SQLCODE	-84
SQLSTATE	08W11
Sybase エラー・コード	4001

**考えられる原因**

指定したデータベース・ファイルは無効です。データベース・サーバは停止しました。

**指定されたローカル接続 ID が見つかりません。**

エラー定数	SQLE_LOCAL_CONNECTION_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-996
SQLSTATE	WO024
Sybase エラー・コード	709

**考えられる原因**

指定した接続 ID の接続がありません。

**実行時 SQL エラーです -- %1**

エラー定数	SQLE_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	エラーの ID。
重大度	18
SQLCODE	-300
SQLSTATE	40000
Sybase エラー・コード	13664

**考えられる原因**

内部データベース・エラーが発生しました。このエラーを再現できた場合は、Sybase に連絡してください。関連するクエリ文を変更することによって、この問題を回避できます。

## 修飾されたカラム参照で使用されている所有者 '%1' は関連名 '%2' と一致していません。

エラー定数	SQLE_INVALID_COLUMN_QUALIFICATION
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	カラム参照で指定された所有者名。
パラメータ 2	正しく参照されていない関連名。
重大度	15
SQLCODE	-845
SQLSTATE	42U02
Sybase エラー・コード	13851

### 考えられる原因

テーブル名に対する、修飾されたカラム参照がクエリにあります。関連名がそのテーブルについて使用されたか、テーブルの所有者がカラム参照で指定された所有者名と一致しません。所有者による修飾を削除し、関連名のみでカラム参照を修飾してください。

## 集合関数では、NULL 値は無視されます。

エラー定数	SQLE_NULL_VALUE_ELIMINATED
ODBC 2 ステータス	01000
ODBC 3 ステータス	01003
重大度	10
SQLCODE	109
SQLSTATE	01003
Sybase エラー・コード	409

### 考えられる原因

集合関数の式引数が、1 つまたは複数のローについて NULL と評価されました。

## 出力ファイルを書き込めません。

エラー定数	SQLE_CANNOT_WRITE_FILE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	20
SQLCODE	-979
SQLSTATE	WW048
Sybase エラー・コード	13510

### 考えられる原因

出力ファイルの作成または書き込みができません。ファイルがロックされているか、読み込み専用である可能性があります。

## 親が開いていません : '%1'

エラー定数	SQLE_EXPLICIT_TAG_NOT_OPEN
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	開いているタグの中にある親のタグ ID。
重大度	16
SQLCODE	-900
SQLSTATE	WX008
Sybase エラー・コード	13581

### 考えられる原因

FOR XML EXPLICIT には、ローが読み込まれたときに開かれるローの親のタグが必要です。FOR XML EXPLICIT 句を削除した状態で、クエリによって返されるローの順序を確認してください。

## 前回のエラーが RESIGNAL の前になりました。

エラー定数	SQLE_PREVIOUS_ERROR_LOST
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-825
SQLSTATE	WP011
Sybase エラー・コード	13831

### 考えられる原因

ストアド・プロシージャの例外ハンドラ中の RESIGNAL 文が実行されましたが、前回のエラーの内容が使用できませんでした。このエラーの原因としては、SELECT 文が例外ハンドラで結果セットを返していることが考えられます。

## 操作 '%1' は次の理由で失敗しました : '%2'

エラー定数	SQLE_ULTRALITEJ_OPERATION_FAILED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	操作の名前。
パラメータ 2	障害の原因。
重大度	16
SQLCODE	-1279
SQLSTATE	WW231
Sybase エラー・コード	13808

### 考えられる原因

要求された操作が失敗しました。

## 操作は許可されていません

エラー定数	SQLE_ULTRALITEJ_OPERATION_NOT_ALLOWED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-1278
SQLSTATE	WW230
Sybase エラー・コード	13846

### 考えられる原因

要求された操作は、スキーマの修正中には許可されていません。

## 同期オプション '%1' が見つかりません。

エラー定数	SQLE_SYNC_OPTION_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	同期オプションの名前。
重大度	16
SQLCODE	-805
SQLSTATE	5RW33
Sybase エラー・コード	13815

### 考えられる原因

定義されていない同期オプションを削除しようとしてしました。

## 同期オプション '%1' にセミコロン、等号、または中カッコが含まれているか、オプションが NULL です。

エラー定数	SQLE_BAD_SYNC_OPTION_VALUE
-------	----------------------------



ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	同期オプションの名前。
重大度	16
SQLCODE	-797
SQLSTATE	5RW32
Sybase エラー・コード	13807

**考えられる原因**

無効な値で同期オプションを設定しようとしました。

**同期オプションが長すぎます。**

エラー定数	SQLE_SYNC_OPTION_TOO_LONG
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42S02
重大度	16
SQLCODE	-809
SQLSTATE	5RW34
Sybase エラー・コード	13819

**考えられる原因**

同期オプションのリストをデータベースのページ・サイズよりも長くすることはできません。

**同期サーバがアップロードのコミットに失敗しました。**

エラー定数	SQLE_UPLOAD_FAILED_AT_SERVER
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000

重大度	16
SQLCODE	-794
SQLSTATE	0AW09
Sybase エラー・コード	13804

**考えられる原因**

Ultra Light データベースを同期しようとしてしました。同期セッション中に完全なアップロード・ストリームが送信されましたが、統合データベースにコミットできませんでした。アップロードが失敗した理由は、同期ログ・ファイルを参照してください。

**同期ダウンロードは完了しませんでした**

エラー定数	SQLE_INCOMPLETE_SYNCHRONIZATION
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-1271
SQLSTATE	0AW23
Sybase エラー・コード	13899

**考えられる原因**

Ultra Light データベースを同期しようとしてしました。同期セッション中、統合データベースから不完全なダウンロード・ストリームを受信しました。アップロードが失敗した理由は、同期ログ・ファイルを参照してください。

**同期はすでに進行中です**

エラー定数	SQLE_SYNCHRONIZATION_IN_PROGRESS
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16

SQLCODE	-1272
SQLSTATE	0AW24
Sybase エラー・コード	13893

**考えられる原因**

Ultra Light データベースを同期しようとしたのですが、このデータベースは別のスレッドで同期中です。

**同期プロファイル '%1' が見つかりません**

エラー定数	SQLE_SYNC_PROFILE_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	同期プロファイルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1217
SQLSTATE	42W75
Sybase エラー・コード	13302

**考えられる原因**

データベースが見つめることができない同期プロファイルにアクセスしようとした。

**同期プロファイル '%1' に無効なパラメータ '%2' があります**

エラー定数	SQLE_SYNC_PROFILE_INVALID
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	無効な同期プロファイルの名前。
パラメータ 2	問題があるプロファイルのパラメータの名前。
重大度	16

SQLCODE	-1224
SQLSTATE	42W77
Sybase エラー・コード	13293

**考えられる原因**

無効なパラメータ設定を含む文字列を使用して、同期プロファイルを作成または変更しようとしてきました。

**同期プロファイル '%1' はすでに存在します**

エラー定数	SQLE_SYNC_PROFILE_ALREADY_EXISTS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	同期プロファイルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1223
SQLSTATE	42W76
Sybase エラー・コード	13294

**考えられる原因**

すでに存在する同期プロファイルを作成しようとしてきました。

**同期メッセージ・タイプ '%1' が見つかりません。**

エラー定数	SQLE_NOT_SYNC_TYPE
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	同期メッセージ・タイプの名前。
重大度	16
SQLCODE	-765

SQLSTATE	5RW11
Sybase エラー・コード	13775

**考えられる原因**

このデータベースで定義されていない同期メッセージ・タイプを参照しました。

## 同期処理ではテーブル '%1' にプライマリ・キーを含める必要があります。

エラー定数	SQLE_PK_NOT_IN_SYNC_ARTICLE
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	テーブルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-778
SQLSTATE	5RW17
Sybase エラー・コード	13788

**考えられる原因**

テーブルのプライマリ・キーを同期のエントリに含める必要があります。

## 同期処理に戻ることができませんでした。

エラー定数	SQLE_SYNC_NOT_REENTRANT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1110
SQLSTATE	WW080
Sybase エラー・コード	13404

**考えられる原因**

同期処理に戻ることができませんでした。2つの異なるスレッドが同時に同期の呼び出しを実行しようとした可能性があります。

## 読み込み専用データ・ベースに対しての修正は禁止されています。

エラー定数	SQLE_READ_ONLY_DATABASE
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	14
SQLCODE	-757
SQLSTATE	55W08
Sybase エラー・コード	13768

**考えられる原因**

読み込み専用と宣言されているデータベース上で更新操作を実行しようとしました。

## 内部関数でネーム・スペースのヒープが足りなくなりました： %1

エラー定数	SQLE_NAMESPACE_HEAP_EXHAUSTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	内部関数はデバッグ用。
重大度	16
SQLCODE	-164
SQLSTATE	WP007
Sybase エラー・コード	13739

**考えられる原因**

Java の Namespace に割り当てた領域の量が不十分なため、Java クラスのロードを続行できません。次のように指定してサイズを増やしてください。SET OPTION PUBLIC.java\_namespace\_size = nnnnnnnn

**破損したページ (ページ '%1') の読み込みをリトライしていません。**

エラー定数	SQLE_CORRUPT_PAGE_READ_RETRY
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
パラメータ 1	ページ ID
重大度	10
SQLCODE	143
SQLSTATE	WW115
Sybase エラー・コード	13275

**考えられる原因**

Ultra Light が、破損したデータベース・ページを検出したため、読み込み操作を再度試みます。ミラー・ファイルは、有効になっている場合、再試行に使用されます。再試行が失敗した場合、エラーが通知されます。

**必要な演算子が含まれていません。**

エラー定数	SQLE_REQUIRED_OPERATORS_EXCLUDED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	18
SQLCODE	-969
SQLSTATE	WI011
Sybase エラー・コード	13521

**考えられる原因**

exclude\_operators オプションによって必要なデータ・フロー演算子が除外されているため、データベース・サーバは、指定された要求に対して有効なアクセス・プランを作成できませんでした。必要な演算子を再び有効にして、文を実行してください。

**部分ダウンロードが見つかりませんでした。**

エラー定数	SQLE_PARTIAL_DOWNLOAD_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1103
SQLSTATE	WW075
Sybase エラー・コード	13411

**考えられる原因**

同期しているユーザの部分ダウンロードが見つかりませんでした。このエラーは、存在しない部分ダウンロードから再開しようとしたとき、または存在しない部分ダウンロードをロールバックしようとしたときに発生する可能性があります。

**複数の統合ユーザを定義することはできません。**

エラー定数	SQLE_CONSOLIDATED_USER_ALREADY_EXISTS
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S02
重大度	16
SQLCODE	-289
SQLSTATE	5RW10
Sybase エラー・コード	13767

**考えられる原因**

データベースにすでに統合ユーザが存在するときに、統合パーミッションを付与しようとしたか、1つの文で複数のユーザに統合パーミッションを付与しようとした。



**文がタイムアウトになりました : '%1'**

エラー定数	SQLE_STATEMENT_TIMEOUT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	文のタイプ
重大度	16
SQLCODE	-1231
SQLSTATE	57W05
Sybase エラー・コード	13286

**考えられる原因**

文が、割り当てられた時間または指定された時間内に完了しなかったため、失敗しました。

**文に NUMBER(\*) 関数の不正な使用が含まれています。**

エラー定数	SQLE_INVALID_NUMBER
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	15
SQLCODE	-864
SQLSTATE	42W71
Sybase エラー・コード	13869

**考えられる原因**

NUMBER 関数と IDENTITY 関数は、最も外側にある SELECT ブロックの select リストの中でのみ使用できます。サブクエリまたは述部の中では使用できません。

**文に非決定的関数 '%1' の不正な用法が含まれています。**

エラー定数	SQLE_NONDETERMINISTIC_FUNCTION
-------	--------------------------------

ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	エラーが発生したユーザ定義非決定的関数の名前。
重大度	15
SQLCODE	-889
SQLSTATE	42W79
Sybase エラー・コード	13594

**考えられる原因**

非決定的関数は、検査制約またはその他の種類の整合性制約に表示できません。クエリ、ビュー、または派生テーブル内であれば、どこにでも表示できます。ただし、`select` リストのエイリアスの式に非決定的関数が含まれる場合、そのエイリアスはクエリの他の場所で参照できません。

**文のサイズの制限値が無効です。**

エラー定数	SQLE_INVALID_CURSOR_RANGE
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	15
SQLCODE	-674
SQLSTATE	09W07
Sybase エラー・コード	13713

**考えられる原因**

FIRST n または TOP n は、結果のサイズを制限するために SELECT 文で使用されます。サイズ制限は定数で、1 ~ 32766 の整数にしてください。

**文のサイズまたは複雑度がサーバの制限を超えています。**

エラー定数	SQLE_SYNTACTIC_LIMIT
-------	----------------------

ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	54000
重大度	19
SQLCODE	-890
SQLSTATE	54W01
Sybase エラー・コード	404

### 考えられる原因

文に、処理が不可能なサイズの構成が1つ以上含まれています。最大キャッシュ・サイズ、ページ・サイズ、またはスタック・サイズを増やすと、このエラーが解決する場合があります。内部の制限を超えないようにクエリを再作成することを検討してください。たとえば、サイズの大きい IN-list がクエリに含まれている場合は、IN-list の値をテンポラリ・テーブルに挿入することを検討します。次に、このテンポラリ・テーブルを、元の文の中の別のテーブルにジョインするクエリを再作成します。

## 文の実行がユーザによって中断させられました。

エラー定数	SQLE_INTERRUPTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-299
SQLSTATE	57014
Sybase エラー・コード	3621

### 考えられる原因

文を実行中にキャンセルしました。データベースはロールバックなしで操作を停止できました。文が INSERT、UPDATE、または DELETE の場合、変更はすべてキャンセルされます。文がデータ定義文 (CREATE TABLE など) の場合、その文はキャンセルされますが、関連する動作として実行された COMMIT はキャンセルされません。

## 文を実行することができませんでした。

エラー定数	SQLE_CANNOT_EXECUTE_STMT
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
重大度	10
SQLCODE	111
SQLSTATE	01W08
Sybase エラー・コード	590

### 考えられる原因

PREPARE ...WITH EXECUTE 文に、実行できない SQL 文を指定しました。出力 SQLDA を指定している場合は、その中に準備した文の DESCRIBE が格納されます。

## 文字列データの右側がトランケートされます。

エラー定数	SQLE_STRING_RIGHT_TRUNCATION
ODBC 2 ステータス	22001
ODBC 3 ステータス	22001
重大度	16
SQLCODE	-638
SQLSTATE	22001
Sybase エラー・コード	9502

### 考えられる原因

文字列データを割り当てるときに、スペースではない文字がトランケートされました。

## 別のテーブルからの外部キー参照があるテンポラリ・テーブルには、LOAD TABLE は使用できません。

エラー定数	SQLE_INVALID_LOAD_TABLE_WITH_FOREIGN_KEY
-------	--

ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1146
SQLSTATE	WL009
Sybase エラー・コード	13366

**考えられる原因**

LOAD TABLE 文は、障害が発生するとテンポラリ・テーブル内のすべてのローを削除します。ロードされるテンポラリ・テーブルによってエラーが発生する場合、外部キーが孤立します。

## 埋め込み SQL を処理しているプリプロセッサと、データベース・インタフェース・ライブラリのバージョンが適合しません。

エラー定数	SQLE_PP_DBLIB_MISMATCH
ODBC 2 ステータス	08801
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	21
SQLCODE	-230
SQLSTATE	08W18
Sybase エラー・コード	13657

**考えられる原因**

実行プログラムが、データベース・インタフェース・ライブラリと一致しないバージョンの sqlpp で前処理された Embedded SQL のソース・ファイルを保有しています。

## 戻り値が設定できません。

エラー定数	SQLE_RETVAL_CANNOT_BE_SET
ODBC 2 ステータス	ERROR

ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-690
SQLSTATE	WJ006
Sybase エラー・コード	13601

**考えられる原因**

呼び出し可能な文にリターン・パラメータの設定値は使用できません。

## 要求された容量分 DB 領域 '%1' を拡張するのに十分な空き領域がデバイスにありません。

エラー定数	SQLE_NO_ROOM_TO_GROW_DBSPACE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	DB 領域の名前。
重大度	16
SQLCODE	-1121
SQLSTATE	57W03
Sybase エラー・コード	13392

**考えられる原因**

ALTER DBSPACE 文を使用して DB 領域を拡張しようとしたますが、指定した容量分拡張するのに十分な空き領域がデバイスにありません。

## SQL Anywhere のエラー・メッセージ (五十音順、ま〜わ)

**'%1' で指定されたリモート・ホストに接続できません。**

エラー定数	SQLE_UNABLE_TO_CONNECT_TO_HOST
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	リモート・ホストを参照している URI。
重大度	19
SQLCODE	-981
SQLSTATE	WW050
Sybase エラー・コード	13508

### 考えられる原因

リモート・サーバへの接続を開始できませんでした。

**'%1' というユーザ ID はありません。**

エラー定数	SQLE_UNKNOWN_USERID
ODBC 2 ステータス	28000
ODBC 3 ステータス	28000
パラメータ 1	見つからなかったユーザ ID の名前。
重大度	11
SQLCODE	-140
SQLSTATE	08004
Sybase エラー・コード	509

### 考えられる原因

存在しないユーザ ID を使用しました。

**'%1' という変数はすでに存在します。**

エラー定数	SQLE_VARIABLE_EXISTS
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	すでに存在する変数の名前。
重大度	15
SQLCODE	-261
SQLSTATE	42W15
Sybase エラー・コード	134

**考えられる原因**

すでに存在する変数の名前を使って、変数を作成しようとしてしました。

**'%1' にジョインする方法がありません。**

エラー定数	SQLE_CANNOT_JOIN_TABEXPR
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	ジョインできないテーブルまたはビューの名前。
重大度	15
SQLCODE	-875
SQLSTATE	42W73
Sybase エラー・コード	102

**考えられる原因**

このテーブルに関する有効なジョイン条件をサーバが検出できませんでした。ジョインが外部ジョインである場合は、ON 句が欠落している可能性があります。ジョインが KEY JOIN である場合は、ジョイン条件を生成するために使用できるこのテーブルの外部キーとプライマリ・キーの関係をサーバが検出できませんでした。ジョインが NATURAL JOIN である場合は、テーブルに、ジョインされるテーブル式と共通のカラム名がありません。



**'%1' の JDK バージョンは '%2' と一致していません。**

エラー定数	SQLE_JDK_VERSION_MISMATCH
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	JDK JAR ファイル名。
パラメータ 2	JDK バージョン文字列。
重大度	16
SQLCODE	-841
SQLSTATE	WJ026
Sybase エラー・コード	13847

**考えられる原因**

CREATE DATABASE 文に指定した JDK バージョンが、JDK JAR ファイルの JDK バージョンと一致しません。

**'%1' の変換中にアンダーフローが発生しました**

エラー定数	SQLE_UNDERFLOW
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	変換する型。
重大度	16
SQLCODE	-1280
SQLSTATE	WW232
Sybase エラー・コード	13806

**考えられる原因**

指定された型の変換中にアンダーフローが発生しました。変換元の型が小さすぎる (たとえば、長さ 0 のバイナリ) 場合もあれば、変換先の型によって表現するには値が小さすぎる場合もあります。

**'%1' プロパティはサポートされなくなりました。**

エラー定数	SQLE_UNSUPPORTED_PROPERTY
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	無効なプロパティの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1119
SQLSTATE	42WC2
Sybase エラー・コード	13394

**考えられる原因**

指定したプロパティは、現在のリリースではサポートされていません。

**'%1' を '%2' にジョインするための方法が複数あります。**

エラー定数	SQLE_AMBIGUOUS_JOIN
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	ジョインできない最初のテーブルの名前。
パラメータ 2	ジョインできない 2 番目のテーブルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-147
SQLSTATE	52W08
Sybase エラー・コード	301

**考えられる原因**

2つのテーブルをキー・ジョインしようとしたのですが、それらのテーブルが2つ以上の外部キーで関連付けられていました。最初のテーブルから2番目のテーブルに外部キーが2つある可能性があります。その原因は、それぞれのテーブルに、他方のテーブルへの外部キーがあるからで

す。プライマリ・キー・テーブルには、相関名を使用してください。これは外部キー関係の役割名と同じです。

## '%1' を '%2' にジョインできません。

エラー定数	SQLE_CANNOT_JOIN
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	ジョインできない最初のテーブルの名前。
パラメータ 2	ジョインできない 2 番目のテーブルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-146
SQLSTATE	53W04
Sybase エラー・コード	301

### 考えられる原因

2つのテーブル間でKEY JOINを行おうとしましたが、一方のテーブルのプライマリ・キーを参照する外部キーが、もう一方のテーブルにありません。または、NATURAL JOINを行おうとしましたが、テーブル間に共通のカラム名がありません。

## '%1' 関数を使用するには、JDBC 結果セットは挿入ロー上にある必要があります。

エラー定数	SQLE_JDBC_MUST_OPER_ON_INSERT_ROW
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	呼び出されている結果セット関数の名前。
重大度	16
SQLCODE	-753
SQLSTATE	WJ020

Sybase エラー・コード	13764
----------------	-------

**考えられる原因**

insertRow などの結果セット関数は、結果セットが挿入ローにある場合だけ呼び出すことができます。

**'%1' 属性の '%2' 内でカッコが対応していません。**

エラー定数	SQLE_INVALID_ATTRIBUTE_MISMATCH_BRACES
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	プロシージャの属性。
パラメータ 2	属性の値。
重大度	16
SQLCODE	-1129
SQLSTATE	WW086
Sybase エラー・コード	13384

**考えられる原因**

丸カッコ (ポート・オプションを指定した場合は中カッコ) が対応していないため、属性の値が無効です。

**'%1' 属性の '%2' 内でカンマが見つかりません。**

エラー定数	SQLE_INVALID_ATTRIBUTE_MISSING_COMMA
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	プロシージャの属性。
パラメータ 2	属性の値。
重大度	16

SQLCODE	-1130
SQLSTATE	WW087
Sybase エラー・コード	13383

**考えられる原因**

カンマがないため、属性の値が無効です。

**'%2' のローは、ユーザ '%1' によってロックされています。**

エラー定数	SQLE_LOCKED
ODBC 2 ステータス	40001
ODBC 3 ステータス	40001
パラメータ 1	別のユーザの名前。
パラメータ 2	エラーを引き起こすテーブル。
重大度	21
SQLCODE	-210
SQLSTATE	42W18
Sybase エラー・コード	8405

**考えられる原因**

データベース・オプション 'blocking' が Off に設定されている状態で、別のユーザがロックしているローの読み込みや書き込みをしようとした。

**BLOB への参照が多すぎます。**

エラー定数	SQLE_TOO_MANY_BLOB_REFS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1107

SQLSTATE	54W11
Sybase エラー・コード	13407

**考えられる原因**

特定の BLOB への参照の最大数を超過しました。Ultra Light では、単一の BLOB への参照は最大で 256 です。

**C 言語の文字列が完結していません。**

エラー定数	SQLE_UNTERMINATED_C_STR
ODBC 2 ステータス	22024
ODBC 3 ステータス	22024
重大度	16
SQLCODE	-634
SQLSTATE	22024
Sybase エラー・コード	13682

**考えられる原因**

C 文字列ホスト変数の最後のバイトには、NULL 文字が含まれている必要があります。

**DB 領域 '%1' にテーブルまたはインデックスが含まれているため削除できません。**

エラー定数	SQLE_DBSPACE_CONTAINS_TABLES
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	DB 領域の名前。
重大度	16
SQLCODE	-1120
SQLSTATE	55W26

Sybase エラー・コード	13393
----------------	-------

**考えられる原因**

DB 領域を削除しようとしたのですが、この DB 領域にはテーブルまたはインデックスが含まれます。テーブルかインデックスまたはその両方を削除してから、DB 領域を削除してください。

**dbicu ライブラリとサーバのバージョンが一致しません。**

エラー定数	SQLE_ICU_DLL_VERSION_MISMATCH
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1124
SQLSTATE	WC014
Sybase エラー・コード	13389

**考えられる原因**

このデータベースに必要な ICU コンポーネントをサーバにロードできません。dbicu ライブラリの適切なバージョンがインストールされていることを確認してください。

**DBN/DBF パラメータが、この代替サーバ名のデータベースと一致しません。**

エラー定数	SQLE_WRONG_DB_ON_ALT_SERVER_NAME
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	11
SQLCODE	-1036
SQLSTATE	08W90
Sybase エラー・コード	13475

**考えられる原因**

指定した DBN または DBF パラメータが、指定した代替サーバ名を使用しているデータベースと一致しません。

**FETCH 文の中の変数の数が正しくありません。**

エラー定数	SQLE_WRONG_NUM_OF_FETCH_VARIABLES
ODBC 2 ステータス	S1002
ODBC 3 ステータス	07009
重大度	16
SQLCODE	-264
SQLSTATE	42W26
Sybase エラー・コード	553

**考えられる原因**

FETCH 文で指定した変数の数が、select リストの項目数と一致しません。

**FIPS モードでは %1 アルゴリズムは使用できません。**

エラー定数	SQLE_FIPS_NOT_AVAILABLE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	08001
パラメータ 1	アルゴリズムの名前。
重大度	19
SQLCODE	-1071
SQLSTATE	0AW16
Sybase エラー・コード	13442

**考えられる原因**

サーバが FIPS モードで実行されているときは、指定したアルゴリズムを使用できません。



## GROUP BY リストの式が多すぎます

エラー定数	SQLE_TOO_MANY_COLUMNS_IN_GROUPBY
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1236
SQLSTATE	54W14
Sybase エラー・コード	13282

### 考えられる原因

GROUP BY リスト内の式が多すぎる文を実行しました。GROUP BY リスト内の式の数は 60000 個までに制限されています。

## HTTP ヘッダ '%1' は予約されてるため変更できません。

エラー定数	SQLE_HTTP_HEADER_ATTRIBUTE_RESERVED_XXX
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	エラーの原因となっているヘッダ。
重大度	16
SQLCODE	-1094
SQLSTATE	WW070
Sybase エラー・コード	13421

### 考えられる原因

指定した HTTP ヘッダは予約されてるため変更できません。

## ICU 照合 '%1' は他の照合にデフォルト設定されました。

エラー定数	SQLE_COLLATION_DEFAULT_WARNING
-------	--------------------------------

ODBC 2 ステータス	01000
ODBC 3 ステータス	01000
パラメータ 1	ICU 照合の指定子。
重大度	10
SQLCODE	201
SQLSTATE	01WC4
Sybase エラー・コード	13397

**考えられる原因**

指定された ICU 照合は使用できません。他の照合が代用されました。これによって、適した結果が生成される場合もあれば、そうでない場合もあります。ICU の構造のために、使用された照合は認識されていませんが、指定された照合に対する最善の代替照合でした。このデータベースが他のプラットフォームで使用されている場合、異なる照合が選択されることがあり、操作は異なる結果を生成することがあります。

**INSERT 文に指定した値の数が正しくありません。**

エラー定数	SQLE_WRONG_NUM_OF_INSERT_COLS
ODBC 2 ステータス	21S01
ODBC 3 ステータス	21S01
重大度	16
SQLCODE	-207
SQLSTATE	53002
Sybase エラー・コード	213

**考えられる原因**

挿入しようとする値の数が、INSERT 文で指定したカラム数と一致しません。またはカラムが指定されていない場合は、テーブル内のカラム数と一致しません。

**MESSAGE ... FOR CONNECTION メッセージが多すぎます**

エラー定数	SQLE_CONNECTION_MESSAGE_QUEUE_FULL
-------	------------------------------------

ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	54000
重大度	19
SQLCODE	-1303
SQLSTATE	54W16
Sybase エラー・コード	13457

**考えられる原因**

MESSAGE... FOR CONNECTION 文が実行され、接続に対して最大数のメッセージがすでにキューイングされています。

## ROLLUP、CUBE、または GROUPING SETS 操作に対する GROUP BY リストの式が多すぎます。

エラー定数	SQLE_TOO_MANY_GROUPING_EXPRESSIONS
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	15
SQLCODE	-944
SQLSTATE	42WA1
Sybase エラー・コード	13544

**考えられる原因**

要求された ROLLUP、CUBE、または GROUPING SETS 操作に対して、GROUP BY リストで指定した式が多すぎます。SQL Anywhere を実行している現在の環境では、この数の式は、要求した操作に対して GROUP BY リストで使用できません。

## SELECT INTO を最適化しているときに検出された警告はエラーとして処理されます。

エラー定数	SQLE_SELECT_INTO_WARNING_TREATED_AS_ERROR
-------	---

ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-995
SQLSTATE	WP016
Sybase エラー・コード	13495

**考えられる原因**

クエリの最適化中に警告が検出された場合、SELECT ...INTO #TEMPTABLE 文を続行できません。この問題を修正するには、INTO 句を削除してクエリをテストし、報告された警告を解決してください。

**SELECT リストの列が多すぎます**

エラー定数	SQLE_TOO_MANY_COLUMNS_IN_SELECT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1235
SQLSTATE	54W13
Sybase エラー・コード	13283

**考えられる原因**

SELECT リスト内の式が多すぎる文を実行しました。SELECT リスト内の式の数には 60000 個までに制限されています。

**SQL スクリプト DLL をロードできません。**

エラー定数	SQLE_INVALID_SCRIPT_DLL
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR

重大度	16
SQLCODE	-1150
SQLSTATE	WW091
Sybase エラー・コード	13362

**考えられる原因**

SQL スクリプト DLL をロードできません。DLL がないか、見つかったバージョンが使用中のデータベース・サーバのバージョンと一致しない可能性があります。

**TLS ハンドシェイクに失敗しました。**

エラー定数	SQLE_TLS_HANDSHAKE_FAILED
ODBC 2 ステータス	08S01
ODBC 3 ステータス	08S01
重大度	21
SQLCODE	-829
SQLSTATE	08W59
Sybase エラー・コード	13835

**考えられる原因**

TLS ハンドシェイク・プロセスでエラーが発生したため、接続に失敗しました。

**Transact-SQL 外部ジョインは現在無効になっています。**

エラー定数	SQLE_TSQL_OUTER_JOINS_DISABLED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	15
SQLCODE	-1099
SQLSTATE	55W25

Sybase エラー・コード	13416
----------------	-------

**考えられる原因**

tsql\_outer\_joins 接続オプションの設定によって、クエリで Transact-SQL の外部ジョインを指定する機能が現在無効になっています。Transact-SQL の外部ジョインは、このリリースの SQL Anywhere では推奨されなくなりました。

**Transact-SQL 機能がサポートされていません。**

エラー定数	SQLE_TSQL_FEATURE_NOT_SUPPORTED
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	15
SQLCODE	-611
SQLSTATE	0AW02
Sybase エラー・コード	176

**考えられる原因**

SQL Anywhere でサポートされていない Transact-SQL 機能を使用しようとしました。

**TRUNCATE TABLE は許可されません：初期化された即時マテリアライズド・ビュー %1 は %2 に依存しています**

エラー定数	SQLE_TRUNCATE_TABLE_WITH_IMV
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	依存している初期化された即時マテリアライズド・ビューの名前。
パラメータ 2	TRUNCATE TABLE が実行されたテーブルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1193

SQLSTATE	55W30
Sybase エラー・コード	13322

**考えられる原因**

依存している初期化された即時マテリアライズド・ビューがあるテーブルでは、TRUNCATE TABLE は許可されません。

**TRUNCATE TABLE 文は、ビューには使用できません。**

エラー定数	SQLE_CANNOT_TRUNCATE_VIEW
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-702
SQLSTATE	42W49
Sybase エラー・コード	4708

**考えられる原因**

ビューに TRUNCATE TABLE を使用しようとしてしました。TRUNCATE TABLE はビューに使用できません。

**TRUNCATE の後に value-sensitive カーソルが使用されていま  
す**

エラー定数	SQLE_HOLD_CURSOR_AFTER_TRUNCATE
ODBC 2 ステータス	24000
ODBC 3 ステータス	24000
重大度	16
SQLCODE	-1241
SQLSTATE	24001

Sybase エラー・コード	13273
----------------	-------

**考えられる原因**

TRUNCATE の後、または COMMIT によってすべてのローが ON COMMIT DELETE ROWS として宣言されたテンポラリ・テーブルから削除された後、WITH HOLD で開かれた value-sensitive カーソルを使用しようとしてしました。

**Ultra Light データベース・ステータスがリストアされました。**

エラー定数	SQLE_DATABASE_STATE_RESTORED
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
重大度	10
SQLCODE	142
SQLSTATE	WW114
Sybase エラー・コード	13276

**考えられる原因**

テンポラリ・ファイルからデータベース・ステータスがリストアされました。これには、サスペンドされた接続、トランザクション、カーソルが含まれます。

**Ultra Light のカーソル (あるいは結果セットまたはテーブル) がリストアされました。**

エラー定数	SQLE_CURSOR_RESTORED
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
重大度	10
SQLCODE	134
SQLSTATE	WW041
Sybase エラー・コード	13518



**考えられる原因**

カーソル (あるいは結果セットまたはテーブル) が正しく開き、カーソル位置がサスペンド状態からリストアされました。

**Ultra Light の接続がリストアされました。**

エラー定数	SQLE_CONNECTION_RESTORED
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
重大度	10
SQLCODE	133
SQLSTATE	WW040
Sybase エラー・コード	13519

**考えられる原因**

接続が正しく行われ、トランザクションがサスペンド状態からリストアされました。

**UNLOAD TABLE は、ビューのアンロードには使用できません。**

エラー定数	SQLE_CANNOT_UNLOAD_A_VIEW
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-643
SQLSTATE	WL004
Sybase エラー・コード	13672

**考えられる原因**

UNLOAD TABLE がビューの名前で指定されています。UNLOAD TABLE は、テーブルのアンロードにだけ使用できます。

**URI '%1' が無効です。**

エラー定数	SQLE_INVALID_URI
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	無効な URI。
重大度	16
SQLCODE	-980
SQLSTATE	WW049
Sybase エラー・コード	13509

**考えられる原因**

指定した URI は無効です。

**USING 属性のサービスにあるプロパティ '%1' はサポートされていません。**

エラー定数	SQLE_SERVICE_PARM_UNSUPPORTED_PROPERTY
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	サポートされていないプロパティの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1024
SQLSTATE	42WAF
Sybase エラー・コード	13486

**考えられる原因**

サポートされていないプロパティの USING 属性がサービス定義に含まれています。

## USING 属性は、FORMAT 属性または GROUP 属性と共存できません。

エラー定数	SQLE_SERVICE_ATTR_COEXIST
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1026
SQLSTATE	42WB1
Sybase エラー・コード	13484

### 考えられる原因

指定したサービス・タイプのサービス定義では、USING 属性を FORMAT または GROUP 属性と一緒に指定できません。

## VALIDATE 文はベース・テーブルを参照しなければなりません。

エラー定数	SQLE_CANNOT_VALIDATE_OBJECT
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-720
SQLSTATE	42W51
Sybase エラー・コード	13729

### 考えられる原因

VALIDATE 文は、ローカル・ベース・テーブルを参照する必要があります。ビュー、IQ テーブル、またはリモート・サーバのオブジェクトは参照できません。

## Window 関数が述語に使用されています。

エラー定数	SQLE_ILLEGAL_WINDOW_PREDICATE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-964
SQLSTATE	42WA8
Sybase エラー・コード	13526

### 考えられる原因

Window 関数が、SELECT 文の WHERE 句または HAVING 句で使用されています。SELECT 文を派生テーブルにする、Window 関数を派生テーブルの select リストに設定する、または派生カラムを参照するように述語を変更することを検討してください。

## Window 関数には ORDER BY が必要です。

エラー定数	SQLE_ORDERBY_REQUIRED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-965
SQLSTATE	42WA9
Sybase エラー・コード	13525

### 考えられる原因

RANK 関数と RANGE キーワードを使用する Window 関数には、ORDER BY 句を指定する必要があります。

## WRITETEXT は許可されません : 即時マテリアライズド・ビュー %1 は %2 に依存しています

エラー定数	SQLE_WRITETEXT_TABLE_WITH_IMV
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	依存している即時マテリアライズド・ビューの名前。
パラメータ 2	ベース・テーブルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1203
SQLSTATE	55W32
Sybase エラー・コード	13312

### 考えられる原因

依存している初期化された即時マテリアライズド・ビューがあるベース・テーブルでは、WRITETEXT は許可されません。依存している初期化された即時マテリアライズド・ビューがあるベース・テーブルでは、トリガを起動しないオペレーションは許可されません。

## XML パーサ・エラー : %1

エラー定数	SQLE_XML_PARSER_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	XML パーサによって返されたエラー・メッセージ。
重大度	16
SQLCODE	-888
SQLSTATE	WX002
Sybase エラー・コード	13595

**考えられる原因**

XML インスタンスが正しく解析されるのは、XML 1.0 仕様の定義に従った正しい形式である場合だけです。

**XMLGEN 評価が失敗しました。**

エラー定数	SQLE_XMLGEN_EVALUATION_FAILURE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-906
SQLSTATE	WX013
Sybase エラー・コード	13577

**考えられる原因**

XQuery コンストラクタで参照される変数のいずれかが、引数のリストで見つかりませんでした。

**XPath パーサ・エラー : %1**

エラー定数	SQLE_XQUERY_PARSER_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	XPath パーサによって返されたエラー・メッセージ。
重大度	16
SQLCODE	-892
SQLSTATE	WX003
Sybase エラー・コード	13591

**考えられる原因**

XPath の式が正しくないか、現在サポートされていない機能を使用しています。

## ウィンドウ '%1' が見つかりません。

エラー定数	SQLE_WINDOW_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	見つからなかったウィンドウの名前。
重大度	16
SQLCODE	-947
SQLSTATE	42WA3
Sybase エラー・コード	13541

### 考えられる原因

SELECT 文のウィンドウ・リストで定義されていないウィンドウ名を参照しようとした。

## オープン・カーソルが多すぎます

エラー定数	SQLE_TOO_MANY_CURSORS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	17
SQLCODE	-1230
SQLSTATE	54W12
Sybase エラー・コード	13287

### 考えられる原因

単一の Ultra Light データベースで開いていることが可能なカーソルの数を超えました。文を使用し終わったら文を解放していることを確認してください。

## オプション '%1' が認識されません。

エラー定数	SQLE_UNRECOGNIZED_OPTION
-------	--------------------------

ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	オプションの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1002
SQLSTATE	WW062
Sybase エラー・コード	13494

**考えられる原因**

指定したオプションが認識されませんでした。このオプションのスペルが間違っている可能性があります。

## オプション '%1' はテンポラリ・オプションとしてのみ設定できます。

エラー定数	SQLE_OPTION_IS_TEMP_ONLY
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	設定できなかったオプションの名前。
重大度	14
SQLCODE	-216
SQLSTATE	42W52
Sybase エラー・コード	5878

**考えられる原因**

SET OPTION 文で指定したオプションは、テンポラリ・オプションとしてのみ設定できます。

## オプション '%1' はプロシージャ内から設定できません。

エラー定数	SQLE_OPTION_IN_PROCEDURE
-------	--------------------------



ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	設定できなかったオプションの名前。
重大度	14
SQLCODE	-217
SQLSTATE	42W53
Sybase エラー・コード	5878

**考えられる原因**

SET OPTION 文に指定したオプションは、プロシージャ内から設定できません。

**オプティマイザは有効なアクセス・プランを構成できませんでした。**

エラー定数	SQLE_CANNOT_OPTIMIZE_QUERY
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	18
SQLCODE	-727
SQLSTATE	WI010
Sybase エラー・コード	13730

**考えられる原因**

データベース・サーバは、指定された要求に対して有効なアクセス・プランを作成できませんでした。これは SQL Anywhere の内部エラーです。このエラーを再現できた場合は、Sybase に連絡してください。クエリ文を変更することによって、この問題を回避できます。

**オペレーションに指定されているパブリケーションが多すぎます**

エラー定数	SQLE_TOO_MANY_PUBLICATIONS
-------	----------------------------

ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1106
SQLSTATE	WW077
Sybase エラー・コード	13408

**考えられる原因**

必要なオペレーションに指定されているパブリケーションが多すぎます。たとえば、最終ダウンロード・タイムスタンプを取り出すときは、パブリケーションを1つだけ選択できます。

**カーソル名 '%1' はすでに存在します。**

エラー定数	SQLE_DUPLICATE_CURSOR_NAME
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	カーソルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-683
SQLSTATE	WJ004
Sybase エラー・コード	13714

**考えられる原因**

カーソルをすでに存在している名前宣言しようとした。カーソル名は1つの接続内で必ずユニークにしてください。

**カラム '%1' に指定されたデータ型は、実際のデータ型と互換性がありません。**

エラー定数	SQLE_OMNI_DATATYPE_MISMATCH
-------	-----------------------------

ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	カラムの名前。
重大度	12
SQLCODE	-721
SQLSTATE	WO015
Sybase エラー・コード	11209

**考えられる原因**

CREATE EXISTING 文で指定されたカラムのデータ型は、リモート・テーブルにあるカラムの実際のデータ型と互換性がありません。

**カラム '%1' に指定された長さは実際の長さとは異なります。**

エラー定数	SQLE_OMNI_LENGTH_MISMATCH
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
パラメータ 1	カラムの名前。
重大度	16
SQLCODE	-723
SQLSTATE	WO017
Sybase エラー・コード	11210

**考えられる原因**

CREATE EXISTING 文で指定されたカラムの長さがリモート・テーブル内のカラムの長さとは異なります。

**カラム '%1' のデータ型はサポートされていません。**

エラー定数	SQLE_OMNI_UNSUPPORTED_DATATYPE
-------	--------------------------------

ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	カラムの名前。
重大度	12
SQLCODE	-736
SQLSTATE	WO022
Sybase エラー・コード	11205

**考えられる原因**

カラムが、リモート・テーブルではサポートされていないデータ型で定義されています。

**カラム '%1' はリモート・テーブルに存在しません。**

エラー定数	SQLE_OMNI_NOSUCH_COLUMN
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	カラムの名前。
重大度	11
SQLCODE	-722
SQLSTATE	WO016
Sybase エラー・コード	11208

**考えられる原因**

CREATE EXISTING 文内で指定されるカラムがリモート・テーブルにありません。

**カラム数が少なすぎます。**

エラー定数	SQLE_FOR_XML_EXPLICIT_TOO_FEW_COLUMNS
ODBC 2 ステータス	ERROR

ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-902
SQLSTATE	WX010
Sybase エラー・コード	13581

**考えられる原因**

FOR XML EXPLICIT には、タグのカラム、親のカラム、1つ以上のデータ・カラムの3つのカラムが少なくとも必要です。

**キー制約によって関連付けられているテーブルはどちらも、永久テーブルであるか、ON COMMIT DELETE ROWS を指定して作成されていないテンポラリ・テーブルである必要があります。グローバル・テンポラリ・テーブルの場合は、どちらか一方のテーブルが共有されていれば、他方のテーブルも共有されている必要があります。**

エラー定数	SQLE_INVALID_FOREIGN_KEY_TABLE
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-850
SQLSTATE	42R02
Sybase エラー・コード	1709

**考えられる原因**

キー制約関係にあるテーブルは、ともに永久ユーザ・テーブルであるか、ON COMMIT DELETE ROWS を指定して作成されていないテンポラリ・テーブルである必要があります。ALTER TABLE を使用して、いずれか、または両方のテーブルの定義を変更してください。

## この Java 関連コマンドを実行するにはデータベースを再起動する必要があります。

エラー定数	SQLE_JAVA_DB_RESTART_NEEDED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-871
SQLSTATE	WJ029
Sybase エラー・コード	13875

### 考えられる原因

データベース内の Java サポートでは、一部の Java 関連コマンドを実行した後にデータベースの再起動が必要です。たとえば、ALTER DATABASE UPGRADE JAVA ON のような一部の Java コマンドについては、Java クラスをデータベースにロードする Java 関連コマンドを実行する前に再起動が必要です。

## このサーバには、'%1' 機能をサポートするためのライセンスが付与されていません

エラー定数	SQLE_FEATURE_NOT_LICENSED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	ライセンスが付与されていない機能。
重大度	16
SQLCODE	-1260
SQLSTATE	0A002
Sybase エラー・コード	13253

### 考えられる原因

この版の SQL Anywhere でライセンスが付与されていない操作を実行したり、機能を使用しようとしました。

## このサーバには、'%1' 接続をサポートするためのライセンスが付与されていません

エラー定数	SQLE_CONNECTION_PROTOCOL_NOT_LICENSED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	ライセンスが付与されていない接続タイプ。
重大度	16
SQLCODE	-1261
SQLSTATE	0A003
Sybase エラー・コード	13252

### 考えられる原因

この版の SQL Anywhere でライセンスが付与されていない接続プロトコルまたは API を使用しようとした。

## このデータベースでは、テキスト・インデックスはサポートされていません。

エラー定数	SQLE_TEXT_UPGRADE_REQUIRED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1166
SQLSTATE	WT011
Sybase エラー・コード	13347

### 考えられる原因

現在のデータベースにテキスト・インデックス用のカタログ・サポートがありません。この機能を使用するには、データベースを最新版にアップグレードしてください。

## このデータベースはキー不使用の暗号化を使用するため、要求された操作を実行できません。

エラー定数	SQLE_KEYLESS_ENCRYPTION
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1109
SQLSTATE	WW079
Sybase エラー・コード	13405

### 考えられる原因

暗号化キーに対して要求した操作に失敗しました。この Ultra Light データベースでは、キーを使用しない暗号化が使用されています。このエラーは、キーを使用しないデータベースの暗号化キーを変更しようとしたときに発生する可能性があります。

## このデータベースは暗号化されたテーブルをサポートしていません。

エラー定数	SQLE_ENCRYPTED_TABLES_NOT_SUPPORTED
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-1047
SQLSTATE	55W20
Sybase エラー・コード	13464

### 考えられる原因

暗号化がサポートされていないデータベースに、暗号化されたテーブルを作成しようとしました。



## このプラットフォームでは、この版の SQL Anywhere を利用できません

エラー定数	SQLE_PLATFORM_NOT_LICENSED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1262
SQLSTATE	0A004
Sybase エラー・コード	13251

### 考えられる原因

このプラットフォームでは、この版の SQL Anywhere を利用できません。このプラットフォームで SQL Anywhere を使用するための異なるライセンス・キーを使用してください。

## このプロシージャに対する引数はリテラル文字列である必要があります。

エラー定数	SQLE_TEXT_NEED_CONSTANT_ARGUMENT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1216
SQLSTATE	WT017
Sybase エラー・コード	13297

### 考えられる原因

このプロシージャは、引数としてリテラル文字列のみを受け入れます。

**このユーザには外部ログインが存在するため、削除できません。**

エラー定数	SQLE_USER_HAS_EXTERNLOGINS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	11
SQLCODE	-1220
SQLSTATE	WO028
Sybase エラー・コード	13300

**考えられる原因**

ユーザの外部ログインがまだ存在するため、削除できません。

**この外部プロシージャの呼び出しには、パラメータ数が多すぎます。**

エラー定数	SQLE_TOO_MANY_PARAMETERS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	19
SQLCODE	-625
SQLSTATE	WW010
Sybase エラー・コード	13680

**考えられる原因**

32 ビット Windows の外部関数の呼び出しには、最大 256 のパラメータしか使用できません。

**この接続はすでに存在します。**

エラー定数	SQLE_CONNECTION_ALREADY_EXISTS
ODBC 2 ステータス	ERROR

ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-955
SQLSTATE	WW035
Sybase エラー・コード	13533

**考えられる原因**

指定した SQLCA と名前の (または名前のない) 接続は、すでに存在します。接続する前に、既存の接続を切断するか、別の接続名を指定してください。

## コミットされていないトランザクションとの同期またはアップグレードはできません。

エラー定数	SQLE_UNCOMMITTED_TRANSACTIONS
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-755
SQLSTATE	0AW08
Sybase エラー・コード	13765

**考えられる原因**

Ultra Light データベースの同期またはスキーマのアップグレードを実行しようとしたが、Ultra Light データベースの中にコミットされていない変更があります。

## サーバ '%1' に接続できません : %2

エラー定数	SQLE_OMNI_CONNECT_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR

パラメータ 1	接続できなかったサーバの名前。
パラメータ 2	サーバ・クラス・ドライバから返された、より詳しい原因の情報。
重大度	16
SQLCODE	-656
SQLSTATE	WO001
Sybase エラー・コード	11206

**考えられる原因**

リモート・サーバに接続しようとしてしました。リモート・サーバが実行されているかどうかをチェックしてください。

## サーバが DB 領域の最大ファイル・サイズを超えてページにアクセスしようとしてしました。

エラー定数	SQLE_ACCESS_BEYOND_END_OF_MAX_DBSPACE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-605
SQLSTATE	04W08
Sybase エラー・コード	5006

**考えられる原因**

データベースが、最大ディスク・ページを超えたページ番号にアクセスしようとしてしました。これは致命的な内部エラーです。

## サーバ上で TLS の初期化に失敗しました。

エラー定数	SQLE_TLS_INIT_FAILED_ON_SRV
ODBC 2 ステータス	08S01

ODBC 3 ステータス	08S01
重大度	21
SQLCODE	-838
SQLSTATE	08W61
Sybase エラー・コード	13844

**考えられる原因**

サーバで TLS ライブラリを初期化できなかったため、接続に失敗しました。

**スナップショット・トランザクションで更新の競合が発生しました。**

エラー定数	SQLE_SNAPSHOT_UPDATE_CONFLICT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1064
SQLSTATE	42WBA
Sybase エラー・コード	13450

**考えられる原因**

スナップショット・トランザクションで更新または削除しようとしたローは、スナップショットの開始後に別のトランザクションによって変更されています。

**スナップショット開始後にテーブルが作成または変更されました。**

エラー定数	SQLE_SNAPSHOT_TABLE_CHANGED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR

重大度	16
SQLCODE	-1061
SQLSTATE	42WB8
Sybase エラー・コード	13452

**考えられる原因**

スナップショット・トランザクションで使用しようとしたテーブルは、トランザクション開始後に作成または変更されています。

## ダウンロードをリトライできません。アップロードが完了していません。

エラー定数	SQLE_DOWNLOAD_RESTART_FAILED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1102
SQLSTATE	WW074
Sybase エラー・コード	13412

**考えられる原因**

Mobile Link サーバでダウンロードを再開できませんでした。Mobile Link サーバで完全なアップロード・ストリームが受信されていません。

## データベース %1 を起動できません。監査が有効な場合は、読み込み専用モードを使用できません。

エラー定数	SQLE_AUDITING_DB_READ_ONLY
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメータ 1	データベースの名前。

重大度	11
SQLCODE	-1063
SQLSTATE	08W93
Sybase エラー・コード	840

**考えられる原因**

指定したデータベースは監査が有効になっているので、読み込み専用で起動できません。

**データベース '%1' が見つかりませんでした。**

エラー定数	SQLE_ULTRALITE_DATABASE_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	指定されたデータベースの名前またはデフォルトのデータベース名。
重大度	16
SQLCODE	-954
SQLSTATE	WW034
Sybase エラー・コード	13534

**考えられる原因**

指定されたデータベースが見つかりませんでした。接続文字列で、目的のデータベースを正しく指定してください。

**データベース \"'%1\" を開始できません。このプラットフォームでは、CHAR 照合または適合化がサポートされていません。**

エラー定数	SQLE_CHAR_COLLATION_NOT_SUPPORTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR

パラメータ 1	データベース名。
重大度	16
SQLCODE	-1140
SQLSTATE	WC015
Sybase エラー・コード	13373

**考えられる原因**

指定した CHAR 照合は、現在のプラットフォームではサポートされていません。

**データベース "\"%1\" を開始できません。このプラットフォームでは、NCHAR 照合または適合化がサポートされていません。**

エラー定数	SQLE_NCHAR_COLLATION_NOT_SUPPORTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	データベース名。
重大度	16
SQLCODE	-1141
SQLSTATE	WC016
Sybase エラー・コード	13372

**考えられる原因**

指定した NCHAR 照合は、現在のプラットフォームではサポートされていません。

**データベース・サーバを起動することができません。**

エラー定数	SQLE_UNABLE_TO_START_ENGINE
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001



重大度	17
SQLCODE	-80
SQLSTATE	08W07
Sybase エラー・コード	708

**考えられる原因**

データベース・サーバを起動できませんでした。データベース・サーバの実行に十分なメモリがありません。実行プログラムが見つかりませんでした。

## データベース・サーバを起動することができません。サーバに致命的なエラーが発生しました。

エラー定数	SQLE_UNABLE_TO_START_ENGINE_FATAL_ERROR
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	17
SQLCODE	-1033
SQLSTATE	08W89
Sybase エラー・コード	13478

**考えられる原因**

致命的なエラーまたはアサーション・エラーが発生したため、データベース・サーバの起動に失敗しました。詳細については、Windows のイベント・ログまたは UNIX のシステム・ログを参照するか、データベース・サーバを手動で起動してください。

## データベース・サーバを起動できません：ライセンス・ファイルがありません

エラー定数	SQLE_UNABLE_TO_START_ENGINE_MISSING_LICENSE
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001

重大度	17
SQLCODE	-1179
SQLSTATE	08WA2
Sybase エラー・コード	708

**考えられる原因**

サーバ・ライセンス・ファイルが見つからなかったため、データベース・サーバを起動できませんでした。サーバ・ライセンス・ファイルはサーバ実行プログラムと同じ名前で拡張子 ".lic" が付いています。

**データベース・ファイルが削除できません。**

エラー定数	SQLE_BACKUP_UNABLE_TO_DELETE_FILE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-243
SQLSTATE	WB004
Sybase エラー・コード	13660

**考えられる原因**

データベース・ファイルを削除しようとしたのですが、削除できませんでした。現在使用中のデータベース・ファイルと同名のファイルを指定しないでください。

**データベースが作成されました。**

エラー定数	SQLE_DATABASE_CREATED
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
重大度	10
SQLCODE	136

SQLSTATE	WW061
Sybase エラー・コード	13494

**考えられる原因**

接続が開いたときに指定したスキーマを使用して、指定した Ultra Light データベースが作成されました。

**データベースのユーザが多すぎます。**

エラー定数	SQLE_TOO_MANY_USERS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1104
SQLSTATE	54W10
Sybase エラー・コード	13410

**考えられる原因**

データベースへのアクセスが許可されているユーザの最大数を超えました。単一の Ultra Light データベースへのアクセスが許可されているユーザの最大数は 4 です。

**データベースの制約が多すぎます。**

エラー定数	SQLE_TOO_MANY_CONSTRAINTS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-936
SQLSTATE	54W02
Sybase エラー・コード	13551

**考えられる原因**

対応するシステム・テーブルがいっぱいであるため、新しい制約を作成できませんでした。データベースを再ロードすると、未使用の領域が解放されます。

**データベースは Java 仮想マシンをサポートしていません。**

エラー定数	SQLE_NO_JAVA_SUPPORT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-758
SQLSTATE	WJ022
Sybase エラー・コード	13769

**考えられる原因**

データベースが適切なサポートをしていないため、Java 仮想マシンを起動できません。データベースが古いバージョンのソフトウェアで作成されたか、Java サポートを無効にして作成されました。データベースが古いバージョンのソフトウェアで作成されていた場合は、データベースを最新バージョンにアップグレードしてください。データベースが Java サポートを無効にして作成された場合は、Java サポートを有効にするため、instjava.sql スクリプトをデータベースに対して実行してください。

**データベース名 'utility\_db' はユーティリティ・データベース用に予約されています。**

エラー定数	SQLE_DB_ALIAS_RESERVED_UTILDB
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	19
SQLCODE	-985
SQLSTATE	08W20
Sybase エラー・コード	13504

**考えられる原因**

"utility\_db" という名前のデータベースを起動しようとしています。この名前は、ユーティリティ・データベースのために予約されています。

**テーブル '%1' が見つかりません。**

エラー定数	SQLE_TABLE_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	見つからなかったテーブルの名前。
重大度	11
SQLCODE	-141
SQLSTATE	42W33
Sybase エラー・コード	2706

**考えられる原因**

テーブルの名前のスペルを間違えたか、テーブル名を所有者名で修飾しませんでした。たとえば、"DBA"."Employees" ではなく "Employees" を参照しています。

**テーブル '%1' が同期定義の一部です。**

エラー定数	SQLE_SYNC_CONTAINS_TABLE
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	テーブルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-819
SQLSTATE	5RW35
Sybase エラー・コード	13825

**考えられる原因**

同期の定義に属しているテーブルは、dbmlsync 以外では削除または変更できません。

## テーブル '%1' には、ROWID 関数への無効な参照が含まれています。

エラー定数	SQLE_INVALID_ROWID_PLACEMENT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	無効な参照があるテーブルの名前。
重大度	15
SQLCODE	-1115
SQLSTATE	42WC1
Sybase エラー・コード	13399

**考えられる原因**

計算カラム式または CHECK 制約内では ROWID 関数を使用できません。

## テーブル '%1' にはカラムがありません

エラー定数	SQLE_TABLE_HAS_NO_COLUMNS
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	テーブルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1273
SQLSTATE	0EW00
Sybase エラー・コード	13891

**考えられる原因**

カラムなしのテーブルを作成しようとしてしました。

**テーブル '%1' にはプライマリ・キーが定義されていません。**

エラー定数	SQLE_NO_PRIMARY_KEY
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	プライマリ・キーを持たないテーブルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-118
SQLSTATE	55008
Sybase エラー・コード	1719

**考えられる原因**

この操作を実行するには、参照テーブルにプライマリ・キーが必要です。たとえば、プライマリ・キーがないテーブルを参照しながら外部キーを追加したり、INSERT 文の ON EXISTING 句を使用したりした可能性があります。参照テーブルにプライマリ・キーを追加する必要があります。

**テーブル '%1' にはユニークな相関名が必要です。**

エラー定数	SQLE_CORRELATION_NAME_NEEDED
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	ユニークな相関名が必要なテーブルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-137
SQLSTATE	52W15
Sybase エラー・コード	315

**考えられる原因**

テーブルをそれ自身にジョインするジョインを指定しました。テーブルを何度も使用するには、ユニークな関連名が必要です。

**テーブル '%1' には参照動作の外部キーが含まれています。**

エラー定数	SQLE_TABLE_HAS_REFACTION
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	参照動作を伴うテーブルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-677
SQLSTATE	56001
Sybase エラー・コード	547

**考えられる原因**

テーブル名の変更ができませんでした。テーブルには参照動作の外部キーが含まれています。テーブル名を変更するには、外部キー制約を削除してください。

**テーブル '%1' のトリガまたは外部キーは有効でなくなりました。**

エラー定数	SQLE_TRIGGER_NO_LONGER_VALID
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	テーブルの名前。
重大度	15
SQLCODE	-837
SQLSTATE	42W64
Sybase エラー・コード	13843



**考えられる原因**

トリガ定義をカタログからロードできません。テーブルまたはカラムの名前が変更されていないか、予約語が使用されていないかを調べてください。外部キーの参照動作を施行するには、システム生成トリガを使用できます。

**テーブル '%1' はすでにインクルードされています。**

エラー定数	SQLE_TABLE_ALREADY_INCLUDED
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	テーブルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-822
SQLSTATE	5RW36
Sybase エラー・コード	13828

**考えられる原因**

パブリケーションまたは同期の定義を追加または更新しようとして、同じテーブルを 2 回含めました。

**テーブル '%1' はパブリケーションを持っています。**

エラー定数	SQLE_TABLE_HAS_PUBLICATIONS
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	パブリケーションを持つテーブルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-281
SQLSTATE	5RW02
Sybase エラー・コード	13643

**考えられる原因**

パブリケーションが定義されているテーブルを削除しようとしてしました。

**テーブル '%1' は外部ジョイン循環です。**

エラー定数	SQLE_OUTER_JOIN_CYCLE
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	循環されるテーブルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-136
SQLSTATE	52W14
Sybase エラー・コード	315

**考えられる原因**

テーブルの循環を引き起こす外部ジョインを指定しました。

**テーブル '%2' に対するインデックス '%1' を見つけることができません。**

エラー定数	SQLE_NOT_FOUND_IN_INDEX
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	無効なインデックスの名前。
パラメータ 2	無効なインデックスを持つテーブルの名前。
重大度	11
SQLCODE	-189
SQLSTATE	WI005
Sybase エラー・コード	2727

**考えられる原因**

これは内部エラーです。このエラーを再現できた場合は、Sybase に連絡してください。このインデックスを削除して再作成すれば、操作を続行できます。

**テーブル '%2' のカラム '%1' の値が変更されています。**

エラー定数	SQLE_COLUMN_VALUE_CHANGED
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
パラメータ 1	変更された値を含むカラムの名前。
パラメータ 2	そのカラムを含むテーブルの名前。
重大度	10
SQLCODE	106
SQLSTATE	01W06
Sybase エラー・コード	532

**考えられる原因**

レプリケートされた UPDATE によって、更新されたカラムの値がオリジナルの UPDATE を実行したときの値と一致しないことが検出されました。

**テーブル \"%1\" のカーソルを閉じることができません。  
LOAD TABLE は実行できません。**

エラー定数	SQLE_CANNOT_LOAD_TEMP_WITH_CURSOR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	テーブルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1155
SQLSTATE	WL011

Sybase エラー・コード	13358
----------------	-------

**考えられる原因**

オープン・カーソルがあるテンポラリ・テーブルで LOAD TABLE を実行することはできません。カーソルを閉じようとしたが、失敗しました。失敗した LOAD TABLE によって、テンポラリ・テーブル内のすべてのローが削除され、そのためにカーソルが無効になります。

**テーブルに 2 つのプライマリ・キーを定義することはできません。**

エラー定数	SQLE_PRIMARY_KEY_TWICE
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-126
SQLSTATE	52W05
Sybase エラー・コード	1923

**考えられる原因**

CREATE TABLE 文中で、プライマリ・キーを 2 度指定しました。

**テーブルにはすでにプライマリ・キーが定義されています。**

エラー定数	SQLE_EXISTING_PRIMARY_KEY
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-112
SQLSTATE	55013
Sybase エラー・コード	1923

**考えられる原因**

プライマリ・キーがすでに定義されたテーブルにプライマリ・キーを追加しようとしてしまいました。新しいキーを追加する前に、現在のキーを削除してください。

**テーブルのカラム数が多すぎます。**

エラー定数	SQLE_TOO_MANY_COLUMNS_IN_TABLE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-616
SQLSTATE	52W20
Sybase エラー・コード	1702

**考えられる原因**

CREATE TABLE または ALTER TABLE 文でテーブルにカラムを追加しようとしてしまいました。結果的にテーブル内に作成されたカラム数が現在のデータベースのページ・サイズの制限を超えています。

**テーブルは空でなければなりません。**

エラー定数	SQLE_TABLE_MUST_BE_EMPTY
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-116
SQLSTATE	55W02
Sybase エラー・コード	4901

**考えられる原因**

テーブルを修正しようとしていましたが、データベース・サーバは、そのテーブルにローがない場合だけ修正できます。

**テーブルは使用されています。**

エラー定数	SQLE_TABLE_IN_USE
ODBC 2 ステータス	40001
ODBC 3 ステータス	40001
重大度	16
SQLCODE	-214
SQLSTATE	42W21
Sybase エラー・コード	3702

**考えられる原因**

他のアクティブなユーザが使用中のテーブルを変更または削除しようとした。

**テーブル仕様 '%1' が複数のリモート・テーブルを指定しています。**

エラー定数	SQLE_OMNI_RMT_TABLE_NOTUNIQUE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	リモート・テーブルの完全な名前。
重大度	11
SQLCODE	-726
SQLSTATE	WO020
Sybase エラー・コード	11215

**考えられる原因**

指定したテーブル仕様に対して、リモート・サーバ上で複数のテーブルが見つかりました。データベース名または所有者名を仕様に追加してください。

## テーブル名 '%1' はあいまいです。

エラー定数	SQLE_AMBIGUOUS_TABLE_NAME
ODBC 2 ステータス	S0013
ODBC 3 ステータス	42S13
パラメータ 1	あいまいなテーブルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-852
SQLSTATE	52W42
Sybase エラー・コード	13856

### 考えられる原因

文がユニークでないテーブル名を参照しました。テーブル名には、はじめに所有者名を付けてください。

## テキスト・インデックス %1 を再表示する必要があります。

エラー定数	SQLE_TEXT_MATCHING_INDEX_NOT_REFRESHED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	再表示する必要があるテキスト・インデックスの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1253
SQLSTATE	WT019
Sybase エラー・コード	13260

### 考えられる原因

クエリに一致するテキスト・インデックスがありますが、使用する前に再表示する必要があります。

## テキスト・クエリ・パーサ・エラー : %1

エラー定数	SQLE_TEXT_PARSER_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	テキスト・クエリ・パーサによって返されたエラー・メッセージ。
重大度	16
SQLCODE	-1164
SQLSTATE	WT009
Sybase エラー・コード	13349

### 考えられる原因

テキスト・クエリを解析できませんでした。

## テキスト設定 \"%1\" はすでに存在します。

エラー定数	SQLE_TEXT_CONFIG_ALREADY_EXISTS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	テキスト設定名。
重大度	16
SQLCODE	-1161
SQLSTATE	WT006
Sybase エラー・コード	13352

### 考えられる原因

指定されたテキスト設定名はすでに存在します。



## テキスト設定 \"%1\". \"%2\" が見つかりません。

エラー定数	SQLE_TEXT_CONFIG_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	テキスト設定の作成者。
パラメータ 2	テキスト設定名。
重大度	16
SQLCODE	-1160
SQLSTATE	WT005
Sybase エラー・コード	13353

### 考えられる原因

指定されたテキスト設定は存在しません。

## デバイス上のファイルシステムにアクセスできません。

エラー定数	SQLE_CANNOT_ACCESS_FILESYSTEM
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1108
SQLSTATE	WW078
Sybase エラー・コード	13406

### 考えられる原因

Palm デバイスで VFS ファイルシステムを使用しましたが、この機能がデバイスで有効になっていませんでした。

## テンポラリ・テーブルが使用されました。

エラー定数	SQLE_TEMPORARY_TABLE
ODBC 2 ステータス	01000
ODBC 3 ステータス	01000
重大度	10
SQLCODE	102
SQLSTATE	01W02
Sybase エラー・コード	13075

### 考えられる原因

クエリの条件を満たすためにテンポラリ・テーブルが作成されました。この警告は OPEN 文でのみ発生します。

## テンポラリ領域の制限を超えています。

エラー定数	SQLE_TEMP_SPACE_LIMIT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	19
SQLCODE	-1000
SQLSTATE	54W05
Sybase エラー・コード	13492

### 考えられる原因

接続がテンポラリ領域の使用制限を越えました。この制限は、テンポラリ・ファイルのあるドライブに残っている空き領域の容量にも基づきます。使用していないファイルをドライブから削除するか、空き領域がこれより大きいドライブにテンポラリ・ファイルを格納してください。テンポラリ・ファイルのディレクトリを指定する `-dt` サーバ・オプションを確認してください。

## トランザクション・ログ・バックアップ・ページの一部だけが、満杯になっています。

エラー定数	SQLE_BACKUP_PAGE_INCOMPLETE
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
重大度	10
SQLCODE	110
SQLSTATE	01W10
Sybase エラー・コード	13683

### 考えられる原因

トランザクション・ログに対して DB\_LOG\_BACKUP\_READ\_WAIT が発行され、返されたページが満杯ではありませんでした。同じページに対して要求を再発行してください。

## トランザクション・ログ・ミラーリングは、データベース・ミラーリングで使用できません

エラー定数	SQLE_MIRROR_LOG_WITH_DB_MIRROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1178
SQLSTATE	WW095
Sybase エラー・コード	13336

### 考えられる原因

トランザクション・ログ・ミラーリングは、データベース・ミラーリングで使用できません。DBLOG ユーティリティを使用して、トランザクション・ログ・ミラーリングを無効にしてください。

## トランザクション・ログはトランケートされました。

エラー定数	SQLE_LOG_TRUNCATED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-244
SQLSTATE	WB005
Sybase エラー・コード	13661

### 考えられる原因

処理中の SQL Remote または Replication Agent などのトランザクション・ログに操作が実行され、トランザクション・ログがその操作中に独立したバックアップによってトランケートされました。

## トランザクションをエンリストできません。DTC がダウンしている可能性があります。

エラー定数	SQLE_FAILED_TO_ENLIST
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	17
SQLCODE	-803
SQLSTATE	WL005
Sybase エラー・コード	13813

### 考えられる原因

トランザクションをエンリストしようとしたますが、現在、DTC を使用できません。

## トランザクションを再エンリストできません。DTC がダウンしている可能性があります。

エラー定数	SQLE_FAILED_TO_REENLIST
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	17
SQLCODE	-804
SQLSTATE	WL006
Sybase エラー・コード	13814

### 考えられる原因

トランザクションをリカバリしようとしたますが、現在、DTC を使用できません。

## トリガ '%1' が見つかりません。

エラー定数	SQLE_TRIGGER_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	見つからなかったトリガの名前。
重大度	11
SQLCODE	-268
SQLSTATE	52W10
Sybase エラー・コード	9819

### 考えられる原因

トリガの名前のスペルを間違えたか、トリガ名をユーザ名で修飾しませんでした。

## トリガの定義が既存のトリガと矛盾しています。

エラー定数	SQLE_TRIGGER_DEFN_CONFLICT
-------	----------------------------

ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S01
重大度	15
SQLCODE	-271
SQLSTATE	52W11
Sybase エラー・コード	102

**考えられる原因**

トリガを作成しようとしたますが、同じ名前のトリガがすでに存在しています。

**トリガ名 '%1' はあいまいです。**

エラー定数	SQLE_AMBIGUOUS_TRIGGER_NAME
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	あいまいなトリガの名前。
重大度	16
SQLCODE	-855
SQLSTATE	42W66
Sybase エラー・コード	13858

**考えられる原因**

文がユニークでないトリガ名を参照しました。トリガ名は、テーブル名か所有者名または両方で修飾してください。

**トレーシングしたクエリ (%1、%2) は存在しません。**

エラー定数	SQLE_INVALID_TRACED_PLAN
ODBC 2 ステータス	28000
ODBC 3 ステータス	28000

パラメータ 1	指定されたロギング・セッション ID。
パラメータ 2	指定されたクエリ ID。
重大度	16
SQLCODE	-1154
SQLSTATE	55W28
Sybase エラー・コード	13359

### 考えられる原因

診断トレーシングによって保存され、`logging_session_id` とクエリ ID によって識別されるクエリのグラフィカルなプランを生成しようとした。しかし、このデータベースにそのようなクエリは存在しません。クエリは、トレーニングされた場合、他のデータベースに送信されました。

## パターンが長すぎます。

エラー定数	SQLE_PATTERN_TOO_LONG
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-606
SQLSTATE	WW001
Sybase エラー・コード	7706

### 考えられる原因

LIKE 演算子のパターンが長すぎます。126 文字以下のパターンは、すべてサポートされています。内容によっては、254 文字の長さのパターンもサポートされています。254 文字より長いパターンはサポートされていません。

## バックアップ・ログ '%1' が開けません。

エラー定数	SQLE_UNABLE_TO_OPEN_BACKUP_LOG
ODBC 2 ステータス	OK

ODBC 3 ステータス	OK
パラメータ 1	バックアップのログ・ファイル名。
重大度	10
SQLCODE	119
SQLSTATE	WB011
Sybase エラー・コード	13776

**考えられる原因**

サーバで、バックアップ・ログを開くことができず、BACKUP または RESTORE 文の実行を記録できません。バックアップ・ログ・ファイルを見つけるのに使用した環境変数の設定を確認してください。ログを保存するディレクトリは、すでに存在している必要があります。

**ビューがテンポラリ・オブジェクトである '%1' を参照していません。ビューは、永久オブジェクトだけを参照できます。**

エラー定数	SQLE_VIEW_OVER_TEMP_OBJECT
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	テンポラリ・オブジェクトの名前。
重大度	16
SQLCODE	-766
SQLSTATE	42U00
Sybase エラー・コード	4412

**考えられる原因**

ローカル・テンポラリ・テーブルなどの一時的なオブジェクトではなく、永久オブジェクトだけを参照してください。

**プロシージャ・タイプ '%2' の '%1' 属性が無効です。**

エラー定数	SQLE_INVALID_ATTRIBUTE_WITH_TYPE
-------	----------------------------------



ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	プロシージャの属性。
パラメータ 2	プロシージャのタイプ。
重大度	16
SQLCODE	-1034
SQLSTATE	WW064
Sybase エラー・コード	13477

**考えられる原因**

このプロシージャ・タイプには、この属性を使用できません。

**プロシージャ結果セットのカラムが多すぎます**

エラー定数	SQLE_TOO_MANY_COLUMNS_IN_PROC_RES
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1237
SQLSTATE	54W15
Sybase エラー・コード	13281

**考えられる原因**

GROUP BY リスト内の式が多すぎる文を実行しました。GROUP BY リスト内の式の数は 60000 個までに制限されています。CREATE PROCEDURE 文または ALTER PROCEDURE 文を実行しました。結果的にプロシージャの結果セット内に作成されたカラムの数がサーバの制限を超えています。

## ベース・テーブル '%1' の挿入／更新に対して WITH CHECK OPTION が違反しています。

エラー定数	SQLE_WITH_CHECK_OPTION_VIOLATION
ODBC 2 ステータス	S1000
ODBC 3 ステータス	44000
パラメータ 1	更新するベース・テーブルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-632
SQLSTATE	44000
Sybase エラー・コード	550

### 考えられる原因

ビューによって (ネストされて) 示されたベース・テーブルで、挿入または更新操作を実行しようとした。しかし、修正したロー内の 1 つ以上の値が WITH CHECK OPTION 違反をトリガしました。この違反は、そのローの FALSE または UNKNOWN を評価するビューの WHERE 句を作成することで、修正された値によって 1 つ以上のローがビューの範囲外になったときに発生します。

## まだデータベースに接続されています。

エラー定数	SQLE_STILL_ACTIVE_CONNECTIONS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-109
SQLSTATE	08W06
Sybase エラー・コード	6001

### 考えられる原因

まだ接続しているデータベースを停止しようとした。

## マテリアライズド・ビュー %1 を即時に変更できません。NULL 入力不可のカラムにユニークなインデックスがありません。

エラー定数	SQLE_IMMEDIATE_MV_NO_UNIQUE_INDEX
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	マテリアライズド・ビューの名前。
重大度	14
SQLCODE	-1233
SQLSTATE	42WCA
Sybase エラー・コード	13284

### 考えられる原因

NULL 入力不可のカラムにユニーク・インデックスがないマテリアライズド・ビューの再表示タイプを「即時」に変更しようとしてしました。マテリアライズド・ビューにユニーク・インデックスを作成してから、再表示タイプを変更してください。

## マテリアライズド・ビュー %1 を即時に変更できません。すでに初期化されています。

エラー定数	SQLE_IMMEDIATE_MV_REFRESH_NOT_ALLOWED
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	マテリアライズド・ビューの名前。
重大度	14
SQLCODE	-1170
SQLSTATE	42WC3
Sybase エラー・コード	13343

**考えられる原因**

初期化済みのステータスにすでになっているマテリアライズド・ビューの再表示タイプを「即時」に変更しようとした。ビューをトランケートしてから、再表示タイプを変更してください。

**マテリアライズド・ビュー '%1' でトリガを作成できません。**

エラー定数	SQLE_INVALID_TRIGGER_MATVIEW
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	マテリアライズド・ビューの名前
重大度	14
SQLCODE	-1134
SQLSTATE	42W3D
Sybase エラー・コード	13379

**考えられる原因**

マテリアライズド・ビューでトリガを作成しようとした。マテリアライズド・ビューは、トリガの有効な対象ではありません。

**マテリアライズド・ビューを即時に変更できません。COUNT(\*) が SELECT リストの一部に必要です。**

エラー定数	SQLE_UPDATABLE_MATVIEW_MISSING_COUNT
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	15
SQLCODE	-1199
SQLSTATE	42WC6
Sybase エラー・コード	13316

**考えられる原因**

定義の SELECT リストに COUNT(\*) が含まれていないマテリアライズド・ビューの再表示タイプを「即時」に変更しようとしてしました。

**マテリアライズド・ビューを即時に変更できません。マテリアライズド・ビューの定義に不正な構成体が含まれています。**

エラー定数	SQLE_UPDATABLE_MATVIEW_ERR
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	15
SQLCODE	-1268
SQLSTATE	42WCB
Sybase エラー・コード	13786

**考えられる原因**

定義に不正な構成体が含まれているマテリアライズド・ビューの再表示タイプを「即時」に変更しようとしてしました。

**マテリアライズド・ビューを即時に変更できません。マテリアライズド・ビューの定義に複数のクエリ・ブロックを含めることはできません。**

エラー定数	SQLE_UPDATABLE_MATVIEW_MULTIBLE_BLOCK_ERR
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	15
SQLCODE	-1181
SQLSTATE	42WC5
Sybase エラー・コード	13334

**考えられる原因**

定義に複数のクエリ・ブロックが含まれているマテリアライズド・ビューの再表示タイプを「即時」に変更しようとした。

**マテリアライズド・ビューを即時に変更できません。非集合の NULL 入力不可のカラムにユニークなインデックスがありません。**

エラー定数	SQLE_UPDATABLE_MATVIEW_NON_AGGR_INDEX
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1218
SQLSTATE	42WC7
Sybase エラー・コード	13299

**考えられる原因**

非集合の NULL 入力不可のカラムにユニーク・インデックスがないマテリアライズド・ビューの再表示タイプを「即時」に変更しようとした。マテリアライズド・ビューにユニーク・インデックスを作成してから、再表示タイプを変更してください。

**ミラー '%1' がデータベース '%2' と一致しません。**

エラー定数	SQLE_MIRROR_FILE_MISMATCH
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	ミラー・ファイルの名前
パラメータ 2	データベース・ファイルの名前
重大度	16
SQLCODE	-1138
SQLSTATE	WW090

Sybase エラー・コード	13375
----------------	-------

**考えられる原因**

指定したミラー・ファイルが、データベース・ファイルと対応していません。このエラーは、データベースが正常に停止されなかった場合、または誤ったミラー・ファイルが指定された場合に発生します。ミラー・ファイルを移動または破棄してから続行するか、別のミラーを指定する必要があります。

**ユーザ '%1' はこのデータベースのリモート・ユーザではありません。**

エラー定数	SQLE_NOT_REMOTE_USER
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメータ 1	ユーザの名前。
重大度	16
SQLCODE	-285
SQLSTATE	5RW06
Sybase エラー・コード	13647

**考えられる原因**

このデータベースのリモート・ユーザではないユーザに対して CREATE SUBSCRIPTION または PASSTHROUGH を実行しようとした。このユーザに対して GRANT REMOTE または GRANT CONSOLIDATE を実行してから、この操作を続行してください。

**ユーザ '%1' はすでに EXECUTE パーミッションを付与されています。**

エラー定数	SQLE_ALREADY_HAS_EXEC_PERMS
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	すでに EXECUTE パーミッションを持つユーザ ID の名前。

重大度	16
SQLCODE	-968
SQLSTATE	42WAB
Sybase エラー・コード	13522

**考えられる原因**

ストアド・プロシージャの EXECUTE パーミッションをユーザに与えようとしたましたが、そのユーザは、該当するプロシージャの EXECUTE パーミッションをすでに持っていました。

**ユーザ '%1' はすでにグループ '%2' のメンバです。**

エラー定数	SQLE_ALREADY_HAS_GROUP_MEMBERSHIP
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	すでにメンバシップを持つユーザ ID の名前。
パラメータ 2	グループの名前。
重大度	16
SQLCODE	-312
SQLSTATE	42W34
Sybase エラー・コード	13627

**考えられる原因**

特定のグループのメンバシップをあるユーザに与えようとしたましたが、そのユーザはすでにそのメンバシップを持っています。

**ユーザ '%1' はすでにこのデータベースのパブリッシャです。**

エラー定数	SQLE_ONLY_ONE_PUBLISHER
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S02



パラメータ 1	パブリッシャの名前。
重大度	16
SQLCODE	-284
SQLSTATE	5RW05
Sybase エラー・コード	13646

**考えられる原因**

パブリッシャがすでに存在するときに、ユーザ ID に GRANT PUBLISH を実行しようとした。

**ユーザ '%1' はすでにパーミッションを付与されています。**

エラー定数	SQLE_ALREADY_HAS_GRANT_PERMS
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	すでに GRANT パーミッションを持つユーザ ID の名前。
重大度	16
SQLCODE	-120
SQLSTATE	42W01
Sybase エラー・コード	13625

**考えられる原因**

GRANT OPTION パーミッションを付与しようとしたユーザには、すでにそのパーミッションがあります。

**ユーザ '%1' はすでに存在します**

エラー定数	SQLE_USER_ALREADY_EXISTS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR

パラメータ 1	ユーザの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1198
SQLSTATE	WW101
Sybase エラー・コード	13317

**考えられる原因**

データベースにすでに存在するユーザを作成しようとした。

**ユーザ '%1' はユーザ・グループではありません。**

エラー定数	SQLE_NOT_A_GROUP
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	グループと認識していたユーザの名前。
重大度	16
SQLCODE	-123
SQLSTATE	42W03
Sybase エラー・コード	13626

**考えられる原因**

グループにメンバを追加しようとしたが、そのグループに指定したユーザ ID は GROUP パーミッションを付与されていませんでした (つまり、それはグループではありませんでした)。

**ユーザ・メッセージ %1 が見つかりません。**

エラー定数	SQLE_MESSAGE_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	メッセージ番号。

重大度	16
SQLCODE	-612
SQLSTATE	52W17
Sybase エラー・コード	2748

**考えられる原因**

このエラー番号のメッセージは、データベースには存在しません。

**ユーザ・メッセージ %1 はすでに存在しています。**

エラー定数	SQLE_MESSAGE_ALREADY_EXISTS
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	データベースに存在するユーザ・メッセージのエラー番号。
重大度	16
SQLCODE	-610
SQLSTATE	52W16
Sybase エラー・コード	13624

**考えられる原因**

このエラー番号のメッセージはすでにデータベースに存在します。

**ユーザによって中断させられました -- トランザクションはロールバックされました。**

エラー定数	SQLE_TERMINATED_BY_USER
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-302

SQLSTATE	40W02
Sybase エラー・コード	3618

**考えられる原因**

データベースが文を実行中にその文をキャンセルしました。ROLLBACK 文は自動的に実行されました。

**ユーザは使用中のテーブルを所有しています。**

エラー定数	SQL_USER_OWNS_TABLES_IN_USE
ODBC 2 ステータス	40001
ODBC 3 ステータス	40001
重大度	16
SQLCODE	-751
SQLSTATE	42W56
Sybase エラー・コード	3702

**考えられる原因**

データベースの他のアクティブ・ユーザが使用中のテーブルを所有するユーザから、REVOKE CONNECT を実行しようとした。

**ユーザは使用中のプロシージャを所有しています。**

エラー定数	SQL_USER_OWNS_PROCEDURES_IN_USE
ODBC 2 ステータス	40001
ODBC 3 ステータス	40001
重大度	16
SQLCODE	-750
SQLSTATE	42W55
Sybase エラー・コード	3702

**考えられる原因**

データベースの他のアクティブ・ユーザが使用中のプロシージャを所有しているユーザを削除しようとした。

**ユーザ定義データ型 '%1' が見つかりません。**

エラー定数	SQLE_USER_TYPE_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	ユーザ定義型の名前。
重大度	16
SQLCODE	-613
SQLSTATE	52W18
Sybase エラー・コード	2715

**考えられる原因**

この名前のユーザ定義型はデータベースには存在しません。

**ユーザ定義の例外が通知されました。**

エラー定数	SQLE_USER_DEFINED_EXCEPTION
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-297
SQLSTATE	99999
Sybase エラー・コード	13662

**考えられる原因**

ストアド・プロシージャまたはトリガにより、ユーザ定義の例外が通知されました。このエラーは、例外ハンドラのあるストアド・プロシージャまたはトリガ内でしか使用できません。データベース・サーバによるエラー発生ではないことが確実な、例外通知に使用されます。有効な

SQLSTATE 値は 99000 ～ 99999 です。この値は、例外通知の SQL 文を実行するときにユーザによって設定されます。

## ランタイム・サーバではトリガおよびプロシージャはサポートされません。

エラー定数	SQLE_PROCEDURES_NOT_IN_DESKTOP
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	15
SQLCODE	-275
SQLSTATE	0AW04
Sybase エラー・コード	102

### 考えられる原因

ランタイム・サーバを使用している状態で、ストアド・プロシージャを呼び出すか、トリガの定義されたテーブルのローを変更しようとしてしました。トリガとプロシージャは、ランタイム・サーバではサポートされません。フル・サーバを使用する必要があります。

## リモート・サーバはオートインクリメントするデータ型をサポートしていません。

エラー定数	SQLE_OMNI_AUTOINC_NOT_SUPPORTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	12
SQLCODE	-698
SQLSTATE	WO011
Sybase エラー・コード	11205

**考えられる原因**

オートインクリメント・データ型は、リモート・サーバがその機能をサポートしている場合にプロキシ・テーブルでのみサポートされます。

## リモート・データ・サービス機能はこのプラットフォームではサポートされていません。

エラー定数	SQLE_OMNI_FEATURE_NOT_SUPPORTED
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	15
SQLCODE	-1139
SQLSTATE	0AW18
Sybase エラー・コード	13374

**考えられる原因**

リモート・データ・サービス機能を使用しようとしたが、リモート・データ・サービスはこのプラットフォームではサポートされていません。

## リモート・テーブル '%1' が見つかりませんでした。

エラー定数	SQLE_OMNI_RMT_TABLE_NOTFOUND
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	リモート・テーブルの完全な名前。
重大度	11
SQLCODE	-666
SQLSTATE	WO007
Sybase エラー・コード	11214

**考えられる原因**

リモート・サーバにはテーブルが見つかりませんでした。リモート・テーブルの名前と、そのテーブルのユーザ権限をチェックしてください。

**リモート・ホストへの安全な接続に失敗しました : %1**

エラー定数	SQLE_SECURE_CONNECTION_FAILED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	発生したエラーを説明するメッセージ。
重大度	19
SQLCODE	-990
SQLSTATE	WW059
Sybase エラー・コード	13499

**考えられる原因**

サーバがリモート・ホストとの安全な接続を開始できませんでした。

**ログイン ID '%1' はすでにユーザ ID '%2' にマップされています。**

エラー定数	SQLE_LOGON_MAPPED
ODBC 2 ステータス	28000
ODBC 3 ステータス	28000
パラメータ 1	マッピング済みのログイン ID の名前。
パラメータ 2	そのログイン ID がマッピングされたユーザ ID の名前。
重大度	16
SQLCODE	-249
SQLSTATE	28W08
Sybase エラー・コード	13697



**考えられる原因**

ログイン ID を 2 回マッピングしようとしてしました。

## ログイン ID '%1' はどのデータベース・ユーザ ID にもマップされていません。

エラー定数	SQLE_LOGON_UNMAPPED
ODBC 2 ステータス	28000
ODBC 3 ステータス	28000
パラメータ 1	マッピングされていないログイン ID の名前。
重大度	16
SQLCODE	-313
SQLSTATE	28W09
Sybase エラー・コード	13698

**考えられる原因**

データベース・ユーザ ID にマッピングされていないログイン ID を使用して接続しようとし、データベース・ユーザ ID がゲストがないか、マッピングされていないログイン ID を取り消そうとしてしました。このエラーは、マッピングされた複数のグループのメンバである統合化ログイン ID を使用して接続しようとした場合にも発生する可能性があります。

## 仮想インデックスの作成に %1 を超えるカラム数で使用されています。

エラー定数	SQLE_TOO_MANY_VIRTUAL_INDEX_COLUMNS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	仮想インデックスのカラムの最大数。
重大度	16
SQLCODE	-887
SQLSTATE	54W50

Sybase エラー・コード	13597
----------------	-------

**考えられる原因**

最大数を超えるカラム数で仮想インデックスを作成しようとした。

**外部関数呼び出しに互換性がありません。**

エラー定数	SQLE_INCOMPATIBLE_EXTERNAL_CALL
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-818
SQLSTATE	WW026
Sybase エラー・コード	13824

**考えられる原因**

外部関数を呼び出そうとした。サーバとの互換性がないため、目的のライブラリをロードしようとしたが失敗しました。ダイナミック・ライブラリが、サーバがサポートしていない外部関数 API や、サーバがサポートしているよりも新しい外部関数 API を使用しているため、互換性の不一致が発生しました。

**関数 '%1' のパラメータ数が誤りです。**

エラー定数	SQLE_WRONG_PARAMETER_COUNT
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	関数の名前。
重大度	15
SQLCODE	-154
SQLSTATE	37505
Sybase エラー・コード	174

**考えられる原因**

データベース関数に与えたパラメータの数が違います。

**関数 '%1' はありません。**

エラー定数	SQLE_UNKNOWN_FUNC
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	データベース関数ではない関数の名前。
重大度	15
SQLCODE	-148
SQLSTATE	42W05
Sybase エラー・コード	176

**考えられる原因**

クエリ定義またはクエリ・カラム名中で、データベース関数の名前を間違えています。たとえば、MAX の代わりに MAXIMUM を使っています。

**関数またはプロシージャ '%1' に引数が多すぎます。**

エラー定数	SQLE_TOO_MANY_ARGUMENTS
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	関数またはプロシージャの名前。
重大度	16
SQLCODE	-994
SQLSTATE	42WAC
Sybase エラー・コード	401

**考えられる原因**

データベース・サーバで処理できない引数リストを指定しました。これは、関数またはストアド・プロシージャの引数リストが長すぎる場合に起こることがあります。ページ・サイズを大きくしてデータベースを再構築すると、このエラーを防ぐことができます。

**機能 '%1' の使用は許可されません。**

エラー定数	SQLE_SECURE_FEATURE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	SQL 文または機能の名前。
重大度	14
SQLCODE	-1084
SQLSTATE	57W02
Sybase エラー・コード	13430

**考えられる原因**

使用しようとした機能は、データベース・サーバの起動時にサーバの管理者によって無効にされています。

**機能 '%2' を必要とする文 '%1' の使用は許可されません。**

エラー定数	SQLE_SECURE_STATEMENT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	SQL 文の名前。
パラメータ 2	機能の名前。
重大度	14
SQLCODE	-1142
SQLSTATE	57W04

Sybase エラー・コード	13371
----------------	-------

**考えられる原因**

使用しようとした文は、データベース・サーバの起動時にサーバの管理者によって無効にされている機能を必要とします。

**警告 : %1**

エラー定数	SQLE_WARNING
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
パラメータ 1	警告メッセージ。
重大度	10
SQLCODE	200
SQLSTATE	01000
Sybase エラー・コード	13619

**考えられる原因**

警告が発生しました。警告の原因となった状況がメッセージに示されます。

**呼び出そうとしたメソッドは、お使いのアプリケーションでは使用できません。**

エラー定数	SQLE_FEATURE_NOT_ENABLED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1092
SQLSTATE	0A001
Sybase エラー・コード	13442

**考えられる原因**

有効になっていないメソッドを呼び出そうとしたか、有効になっていない機能を使用しようとしていました。Ultra Light では、ULEnable 関数を使用するか、ULInitDatabaseManagerNoSQL ではなく ULInitDatabaseManager を使用して機能を有効にします。

**更新できないクエリに対して、更新しようとしてしました。**

エラー定数	SQLE_NON_UPDATEABLE_VIEW
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	15
SQLCODE	-192
SQLSTATE	42W31
Sybase エラー・コード	7301

**考えられる原因**

暗黙的に読み込み専用であるクエリを対象に、挿入、更新、または削除の操作を行おうとしました。DISTINCT、GROUP BY、HAVING、EXCEPT、INTERSECT、または UNION を含むクエリや、集合関数を含むクエリ、またはジョインを含むクエリは、暗黙的に読み込み専用です。クエリがビューを参照する場合は、そのビューが更新不可になる場合があります。

**更新できないリモート・クエリに対して、更新しようとしてしました。**

エラー定数	SQLE_NON_UPDATEABLE_EXT_TAB
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	15
SQLCODE	-728
SQLSTATE	42W35
Sybase エラー・コード	7338

**考えられる原因**

現在は実装されていないリモート・テーブル上で、更新、または削除の操作を行おうとしました。このような操作の例には、位置付け更新と作業テーブルの構築を必要とする更新があります。

**再帰反復が多すぎます。**

エラー定数	SQLE_TOO_MANY_RECURSIVE_ITERATIONS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-923
SQLSTATE	57015
Sybase エラー・コード	13561

**考えられる原因**

現在の `max_recursive_iterations` オプションの設定で許容されている回数よりも多くの反復を再帰クエリが実行しました。

**最後の同期アップロードのステータスは不明です。**

エラー定数	SQLE_SYNC_STATUS_UNKNOWN
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-952
SQLSTATE	WW032
Sybase エラー・コード	13536

**考えられる原因**

最後の同期アップロードのステータスは不明です。現在の操作は、成功したアップロードが同期されるまで実行できません。

## 指定されたデータベースを開始できません。'%1' はデータベースではありません。

エラー定数	SQLE_FILE_NOT_DB
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメータ 1	データベース・ファイルの名前。
重大度	11
SQLCODE	-1004
SQLSTATE	08W85
Sybase エラー・コード	840

### 考えられる原因

指定したファイルは有効なデータベース・ファイルではありません。

## 指定されたデータベースを開始できません。'%1' は異なるバージョンのソフトウェアで作成されています。

エラー定数	SQLE_FILE_WRONG_VERSION
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメータ 1	データベース・ファイルの名前。
重大度	11
SQLCODE	-1005
SQLSTATE	08W86
Sybase エラー・コード	840

### 考えられる原因

指定したデータベース・ファイルは別のバージョンのソフトウェアで作成されたので、このバージョンで読み込むことができません。



## 指定されたデータベースを開始できません。'%1' は無効なトランザクション・ログ・ミラーです。

エラー定数	SQLE_CORRUPT_REDO_MIRROR
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメータ 1	トランザクション・ログのミラー・ファイルの名前。
重大度	11
SQLCODE	-1008
SQLSTATE	08W72
Sybase エラー・コード	840

### 考えられる原因

指定したファイルは有効なトランザクション・ログ・ミラーではありません。

## 指定されたデータベースを開始できません。'%1' は無効なトランザクション・ログです。

エラー定数	SQLE_CORRUPT_REDO
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメータ 1	トランザクション・ログ・ファイルの名前。
重大度	11
SQLCODE	-1007
SQLSTATE	08W88
Sybase エラー・コード	840

### 考えられる原因

指定したファイルは有効なトランザクション・ログではありません。

## 指定されたデータベースを開始できません。'%1' は有効なデータベース・ファイルではありません。

エラー定数	SQLE_FILE_BAD_DB
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメータ 1	データベース・ファイルの名前。
重大度	11
SQLCODE	-1006
SQLSTATE	08W87
Sybase エラー・コード	840

### 考えられる原因

指定したファイルは有効なデータベースではありません。

## 指定されたデータベースを開始できません。'%1': トランザクション・ログ・ファイルが見つかりません

エラー定数	SQLE_LOG_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメータ 1	トランザクション・ログ・ファイルの名前。
重大度	11
SQLCODE	-1017
SQLSTATE	08W81
Sybase エラー・コード	840

### 考えられる原因

トランザクション・ログ・ファイルが見つかりませんでした。

**指定されたデータベースを開始できません。このサーバで開始するには、'%1' をアップグレードする必要があります (機能 %2 がありません)。**

エラー定数	SQLE_UPGRADE_DATABASE
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメータ 1	データベース・ファイルの名前。
パラメータ 2	データベース・ファイルにない機能。
重大度	11
SQLCODE	-1012
SQLSTATE	08W76
Sybase エラー・コード	840

#### 考えられる原因

このサーバで開始するには、指定したデータベースをアップグレードする必要があります。

**指定されたデータベースを開始できません。トランザクション・ログ '%1' または、そのミラー '%2' は無効です。**

エラー定数	SQLE_CORRUPT_REDO_OR_MIRROR
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメータ 1	トランザクション・ログ・ファイルの名前。
パラメータ 2	トランザクション・ログのミラー・ファイルの名前。
重大度	11
SQLCODE	-1009
SQLSTATE	08W73
Sybase エラー・コード	840

**考えられる原因**

トランザクション・ログがトランザクション・ログ・ミラーと異なります。トランザクション・ログ、またはそのミラーが無効です。

## 指定されたデータベースを開始できません。トランザクション・ログで、'%1' は操作を予期していません。

エラー定数	SQLE_EXPECTING_NO_REDO
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメータ 1	トランザクション・ログ・ファイルの名前。
重大度	11
SQLCODE	-1010
SQLSTATE	08W74
Sybase エラー・コード	840

**考えられる原因**

トランザクション・ログに操作が含まれますが、データベース・サーバでは操作が想定されていませんでした。

## 指定されたデータベースを開始できません。ログ・ファイル '%1' を使用できません。これは、予想された長さよりも短いからです。

エラー定数	SQLE_LOG_TOO_SHORT
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメータ 1	トランザクション・ログ・ファイルの名前。
重大度	11
SQLCODE	-1020

SQLSTATE	08W84
Sybase エラー・コード	840

**考えられる原因**

トランザクション・ログ・ファイルが短すぎます。

**指定されたデータベースを開始できません。ログ・ファイル '%1' を使用できません。これはオフセットがデータベースのオフセットと一致しないためです。**

エラー定数	SQLE_LOG_OFFSETS_DONT_MATCH
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメータ 1	トランザクション・ログ・ファイルの名前。
重大度	11
SQLCODE	-1018
SQLSTATE	08W82
Sybase エラー・コード	840

**考えられる原因**

トランザクション・ログ・ファイルに、データベース・ファイルで予想していたオフセットと一致しないオフセットがあります。

**指定されたデータベースを開始できません。ログ・ファイル '%1' を使用できません。これはデータベース・ファイルがログ・ファイルよりも後に使用されているためです。**

エラー定数	SQLE_LOG_OLDER_THAN_DB
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001

パラメータ 1	トランザクション・ログ・ファイルの名前。
重大度	11
SQLCODE	-1019
SQLSTATE	08W83
Sybase エラー・コード	840

**考えられる原因**

データベース・ファイルがトランザクション・ログ・ファイルよりも最近使用されています。

**指定されたデータベースを開始できません。ログファイル '%1' を使用できません。これはログ・ファイルがデータベース・ファイルよりも後に使用されているためです。**

エラー定数	SQLE_LOG_NEWER_THAN_DB
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメータ 1	トランザクション・ログのミラー・ファイルの名前。
重大度	11
SQLCODE	-1016
SQLSTATE	08W80
Sybase エラー・コード	840

**考えられる原因**

トランザクション・ログ・ファイルがデータベース・ファイルよりも最近使用されています。

**指定されたデータベースを開始できません。不明な暗号化アルゴリズムです。**

エラー定数	SQLE_UNKNOWN_ENCRYPTION_ALGORITHM
ODBC 2 ステータス	08001

ODBC 3 ステータス	08001
重大度	11
SQLCODE	-1011
SQLSTATE	08W75
Sybase エラー・コード	840

**考えられる原因**

このサーバでサポートされていないアルゴリズムでデータベースが暗号化されています。

**指定されたデータベースを起動できません : %1**

エラー定数	SQLE_UNABLE_TO_START_DATABASE
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメータ 1	データベースを起動できなかった理由 (理由が判明している場合)。
重大度	11
SQLCODE	-82
SQLSTATE	08W09
Sybase エラー・コード	840

**考えられる原因**

データベース・サーバが、指定されたデータベースを起動できませんでした。詳細については、サーバ・ウィンドウのメッセージ領域を参照してください。サーバが自動的に起動されていた場合は、-o サーバ・オプションを使用するか、サーバを手動で起動すると、詳細が表示されることがあります。

**指定されたデータベースを起動できません : データベース %1 を起動するにはサーバをアップグレードする必要があります。**

エラー定数	SQLE_UNABLE_TO_START_DATABASE_VER_NEWER
-------	---

ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメータ 1	起動できなかったデータベースの名前 (名前が判明している場合)。
重大度	11
SQLCODE	-934
SQLSTATE	08W67
Sybase エラー・コード	13552

**考えられる原因**

データベースのバージョンがサーバのバージョンよりも新しいため、データベース・サーバはデータベースを起動できませんでした。データベースを起動できるようにするには、データベースのバージョン以降にサーバをアップグレードする必要があります。

**指定されたデータベースを起動できません：ログ・ファイル・エラー**

エラー定数	SQLE_UNABLE_TO_START_DATABASE_LOG_ERROR
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	11
SQLCODE	-935
SQLSTATE	08W68
Sybase エラー・コード	13553

**考えられる原因**

ログ・ファイルが見つからないか別のデータベースのログ・ファイルである、またはその他の理由により、データベース・サーバはデータベースを起動できませんでした。詳細については、サーバ・ウィンドウのメッセージ領域を参照してください。



**指定されたトランザクションの独立性が不正です。**

エラー定数	SQLE_INVALID_TRANSACTION_ISOLATION
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	15
SQLCODE	-676
SQLSTATE	WJ003
Sybase エラー・コード	7374

**考えられる原因**

指定したトランザクション独立性は無効です。

**指定されたリスナを登録できませんでした。**

エラー定数	SQLE_CANNOT_REGISTER_LISTENER
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	17
SQLCODE	-992
SQLSTATE	54W04
Sybase エラー・コード	13497

**考えられる原因**

リスナの最大数に達した、クラス名がすでに使用されている、またはシステム・リソースがないために、指定したリスナを登録できませんでした。

**指定された外部キー (%1) は使用できません。**

エラー定数	SQLE_UNENFORCEABLE_FOREIGN_KEY
ODBC 2 ステータス	23000

ODBC 3 ステータス	23000
パラメータ 1	外部キーの名前。
重大度	16
SQLCODE	-729
SQLSTATE	23507
Sybase エラー・コード	549

**考えられる原因**

実行できない外部キーを作成しようとしてしました。実行可能にするためには、指定したキーに対するプライマリ・テーブルと外部テーブルが同じサーバにある必要があります。UNENFORCED キーワードを使用して、実行できない外部キー仕様を作成できます。

## 指定した HTTP ヘッダに不正な文字または非 ASCII 文字が含まれています。

エラー定数	SQLE_HTTP_HEADER_ATTRIBUTE_ASCII
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1095
SQLSTATE	WW071
Sybase エラー・コード	13420

**考えられる原因**

HTTP ヘッダには印刷可能な ASCII 文字が含まれる必要があります。

## 指定した HTTP ヘッダは不正です。

エラー定数	SQLE_HTTP_HEADER_ATTRIBUTE_MALFORMED
ODBC 2 ステータス	ERROR

ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1096
SQLSTATE	WW072
Sybase エラー・コード	13419

**考えられる原因**

HTTP ヘッダにコロンの区切り文字がないか、折り返しの構造が間違っています。

## 指定した UTF-16 エンディアンは、データで見つかった Byte Order Mark に一致しません

エラー定数	SQLE_UTF16_ENDIAN_MISMATCH
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1189
SQLSTATE	WC004
Sybase エラー・コード	13326

**考えられる原因**

指定した UTF-16 エンコードは、データの予期されるエンディアンを明示的に指定していますが、データの最初で見つかった Byte Order Mark は、データが逆のエンディアンでエンコードされていることを示しています。

## 指定したストップリストが長すぎます。

エラー定数	SQLE_TEXT_STOPLIST_TOO_LONG
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR

重大度	16
SQLCODE	-1240
SQLSTATE	WT018
Sybase エラー・コード	13277

**考えられる原因**

テキスト設定のストップ・リストは 8000 バイト未満にしてください。

## 指定したロギング・タイプ ('%1') は無効か、サポートされていないか、または互換性がありません。

エラー定数	SQLE_INVALID_LOAD_LOGGING_TYPE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	指定されたロギング・タイプ。
重大度	19
SQLCODE	-1151
SQLSTATE	WL010
Sybase エラー・コード	13261

**考えられる原因**

LOAD TABLE に対して指定されたロギング・タイプは、使用されているバージョンのデータベースではサポートされていないか、文の他の指定と互換性がないか、ロード先の特定のテーブルではサポートされていません。

## 指定した時間内でテーブル・ロックを取得できません。

エラー定数	SQLE_LOCK_TIMEOUT
ODBC 2 ステータス	40001
ODBC 3 ステータス	40001

重大度	21
SQLCODE	-1175
SQLSTATE	42WC4
Sybase エラー・コード	13338

**考えられる原因**

LOCK TABLE コマンドが、指定された時間内ですべてのロックを取得することはできませんでした。

## 集約式 '%1' は select リストまたは HAVING 句サブクエリのいずれかに記述されている必要があります。

エラー定数	SQLE_INVALID_AGGREGATE_PLACEMENT
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	エラーになった集約式。
重大度	15
SQLCODE	-862
SQLSTATE	42W69
Sybase エラー・コード	13866

**考えられる原因**

外部参照を含む集約式は、select リスト式 (subselect) の中、または FROM 句の中に集約されるカラムを持つテーブルが含まれているクエリの HAVING 句サブクエリの中で使用する必要があります。

## 書き込みアクセスが拒否されました。

エラー定数	SQLE_ULTRALITE_WRITE_ACCESS_DENIED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR

重大度	14
SQLCODE	-1086
SQLSTATE	42Z00
Sybase エラー・コード	13428

**考えられる原因**

読み込み専用モードで Ultra Light データベースに書き込もうとして拒否されました。Ultra Light データベースは、Mobile Link へのアップロードの送信中は変更できません。

**接続しているテンポラリ・テーブルが多すぎます。**

エラー定数	SQLE_TOO_MANY_TEMP_TABLES
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-817
SQLSTATE	52W41
Sybase エラー・コード	13823

**考えられる原因**

CREATE TABLE または DECLARE TABLE 文でテンポラリ・テーブルを作成しようとしたが、その結果テンポラリ・テーブルに使用される個別のテーブル ID の数が、現在の接続では制限を超えています。

**接続できません：サーバは要求された暗号化タイプを受け入れませんでした。**

エラー定数	SQLE_ENCRYPTION_TYPE_NOT_ACCEPTED
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	16

SQLCODE	-1145
SQLSTATE	08W97
Sybase エラー・コード	13367

**考えられる原因**

サーバは特定の暗号化タイプのみを受け入れますが、接続の暗号化タイプは受け入れられるタイプのいずれでもありません。サーバが受け入れる暗号化タイプを設定するには、`-ec` サーバ・オプションを使用します。

**接続できません。サーバ定義が循環しています。**

エラー定数	SQLE_OMNI_CIRCULAR_CONNECT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-657
SQLSTATE	WO002
Sybase エラー・コード	13593

**考えられる原因**

ローカル・データベースにマッピングされているリモート・サーバに接続しようとした。

**接続パラメータ・ファイルが見つかりません。**

エラー定数	SQLE_NO_PROFILE_FILE
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	16
SQLCODE	-654
SQLSTATE	08W37

Sybase エラー・コード	13706
----------------	-------

**考えられる原因**

接続プロファイルがある接続文字列を解析しようとしたますが、接続パラメータ・ファイルが見つかりませんでした。

**宣言されていないタグ ID : '%1'**

エラー定数	SQLE_UNDECLARED_FOR_XML_EXPLICIT_TAG
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	宣言されていないタグ ID の値。
重大度	16
SQLCODE	-901
SQLSTATE	WX009
Sybase エラー・コード	13580

**考えられる原因**

テーブルの Tag カラムのそれぞれの値は、少なくとも 1 つのカラム名の TagNumber フィールドで宣言する必要があります。

**選択されたデータベースは、現在アクティブではありません。**

エラー定数	SQLE_DATABASE_NOT_ACTIVE
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	14
SQLCODE	-74
SQLSTATE	08W30
Sybase エラー・コード	950



**考えられる原因**

選択されたデータベースはアクティブではありません。データベースは起動中か、停止中です。

## 操作が失敗しました。カラム '%1' のタイプがストリーミングをサポートしていません。

エラー定数	SQLE_COLUMN_NOT_STREAMABLE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	型が無効なカラムの番号。
重大度	16
SQLCODE	-1100
SQLSTATE	WW045
Sybase エラー・コード	13414

**考えられる原因**

ストリーミングをサポートするカラムの型は、BINARY、LONG BINARY、VARCHAR、LONG VARCHAR だけです。このエラーは、同じカラムにストリーム・オブジェクトを 2 回割り付けた場合にも発生する可能性があります。

## 属性 '%1' で、'%3' と互換性のないオプション '%2' が設定されています。

エラー定数	SQLE_INVALID_ATTRIBUTE_OPTIONS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	プロシージャの属性。
パラメータ 2	属性の 1 番目のオプション。
パラメータ 3	属性の 2 番目のオプション。
重大度	16

SQLCODE	-1131
SQLSTATE	WW088
Sybase エラー・コード	13382

**考えられる原因**

この属性に指定されたオプションは互換性がありません。

**単語の長さが許容範囲を超えています。**

エラー定数	SQLE_TEXT_BAD_TERM_LENGTH
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1162
SQLSTATE	WT007
Sybase エラー・コード	13351

**考えられる原因**

単語の最小長と最大長はどちらも、0 より大きく、かつ 60 以下にしてください。

**値 %1 は、対象先にとって大きすぎます。**

エラー定数	SQLE_OVERFLOW_ERROR
ODBC 2 ステータス	22003
ODBC 3 ステータス	22003
パラメータ 1	オーバフローを引き起こした値。
重大度	16
SQLCODE	-158
SQLSTATE	22003

Sybase エラー・コード	220
----------------	-----

**考えられる原因**

送信先カラムまたはホスト変数に対して大きすぎる値が、データベースに入力されたか、データベースからフェッチされました。たとえば、値 10 が、DECIMAL (3,2) フィールドに与えられました。

**値がトランケートされました。**

エラー定数	SQLE_TRUNCATED
ODBC 2 ステータス	01004
ODBC 3 ステータス	01004
重大度	10
SQLCODE	101
SQLSTATE	01004
Sybase エラー・コード	7337

**考えられる原因**

値に対して十分大きくないホスト変数または SQLDA 変数に、データをフェッチしようとした。

**通信環境を作成できませんでした。**

エラー定数	SQLE_FAILED_TO_CREATE_STREAMS_ENV
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-740
SQLSTATE	WW024
Sybase エラー・コード	13753

**考えられる原因**

通信環境を作成できませんでした。環境を作成するためのリソースが不足しているか、言語リソース・ファイルが見つかりません。

## 統合されたユーザに対する個別のグループ・マッピングが多すぎます。

エラー定数	SQLE_INTEGRATED_LOGON_TOO_MANY_MAPPINGS
ODBC 2 ステータス	28000
ODBC 3 ステータス	28000
重大度	16
SQLCODE	-1003
SQLSTATE	28W10
Sybase エラー・コード	13490

**考えられる原因**

統合されたユーザはデータベースに明示的なマッピングがありませんが、グループ・マッピングがあります。ただし、個別のグループ・マッピングが多すぎます。このユーザの個別のグループ・マッピング数を減らすか、明示的なマッピングを追加する必要があります。

## 統合化ログイン ID ゲストは、ゲスト・データベースのユーザ ID に対してのみマップできます。

エラー定数	SQLE_INTEGRATED_LOGON_GUESTMAP
ODBC 2 ステータス	28000
ODBC 3 ステータス	28000
重大度	16
SQLCODE	-247
SQLSTATE	28W06
Sybase エラー・コード	13695

**考えられる原因**

ゲスト・ログイン ID をゲスト以外にマッピングしようとした。

## 同じプライマリ・キーを持つ 2 つのローが、テーブル '%1' 用にダウンロードされています

エラー定数	SQLE_DUPLICATE_ROW_FOUND_IN_DOWNLOAD
ODBC 2 ステータス	01000
ODBC 3 ステータス	01000
パラメータ 1	ダウンロードするテーブルの名前。
重大度	10
SQLCODE	145
SQLSTATE	01W27
Sybase エラー・コード	13254

**考えられる原因**

同期スクリプトが、ダウンロードで同じプライマリ・キーを持つ重複ローを生成しています。これは一般に、同期スクリプトに問題があることを示しています。ダウンロードされたローのうちのどれがデータベースに適用されるかについての保証はありません。

## 読み込み専用のカーソルを更新しようとした。

エラー定数	SQLE_READ_ONLY_CURSOR
ODBC 2 ステータス	S1009
ODBC 3 ステータス	HY092
重大度	16
SQLCODE	-633
SQLSTATE	42W30
Sybase エラー・コード	7732

**考えられる原因**

読み込み専用と明示的に宣言されているカーソル上で、更新操作を実行しようとした。

## 派生テーブル '%1' の select リストに '%2' と一致する式がありません。

エラー定数	SQLE_NO_MATCHING_SELECT_ITEM
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	派生テーブルの名前。
パラメータ 2	一致する式がないエイリアスの名前。
重大度	15
SQLCODE	-812
SQLSTATE	42W59
Sybase エラー・コード	13822

**考えられる原因**

派生テーブルの AS 句で指定したエイリアスには、派生テーブルの SELECT 文で一致する式がありません。select リストの各項目には、派生テーブルの AS 句に一致するエイリアスがあることを確認します。その逆も確認します。

## 非決定的な結果が返されました

エラー定数	SQLE_NONDETERMINISTIC_RESULT
ODBC 2 ステータス	01000
ODBC 3 ステータス	01000
重大度	10
SQLCODE	122
SQLSTATE	01W18
Sybase エラー・コード	13883

**考えられる原因**

FIRST n または TOP n は、結果のサイズを制限するために SELECT 文で使用されます。また、結果を適切に定義するためには、文に ORDER BY を指定する必要があります。文に ORDER BY がない場合は、サーバは、要求された数のローが含まれていれば、どのような結果のサブセットでも返すことができます。

**不明な FOR XML EXPLICIT ディレクティブ: '%1'**

エラー定数	SQLE_BAD_FOR_XML_EXPLICIT_DIRECTIVE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	不明なディレクティブ。
重大度	16
SQLCODE	-898
SQLSTATE	WX006
Sybase エラー・コード	13583

**考えられる原因**

有効な FOR XML EXPLICIT ディレクティブは、id、idref、idrefs、hide、element、xml、cdata です。

**不明なバックアップ操作です。**

エラー定数	SQLE_UNKNOWN_BACKUP_OPERATION
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	20
SQLCODE	-240
SQLSTATE	WB001
Sybase エラー・コード	3206

**考えられる原因**

db\_backup への呼び出し中に、無効なバックアップ文操作が指定されました。

## 文字カラム、変数、または値のデータ型のサイズが 32767 を超えました。

エラー定数	SQLE_CHAR_FIELD_SIZE_EXCEEDED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	19
SQLCODE	-1093
SQLSTATE	54W09
Sybase エラー・コード	13422

**考えられる原因**

宣言または変換で、バイト長が 32767 を超える文字型が指定されました。

## 文字セット '%1'、言語 '%2' はサポートされていません。代わりに言語 '%3' が使用されます。

エラー定数	SQLE_UNSUPPORTED_CHARSET_AND_LANGUAGE
ODBC 2 ステータス	01000
ODBC 3 ステータス	01000
パラメータ 1	サポートできない文字セットの名前。
パラメータ 2	サポートできない言語の名前。
パラメータ 3	サーバが言語文字列を送信するために使用する言語の名前。
重大度	10
SQLCODE	117
SQLSTATE	01W15



Sybase エラー・コード	13616
----------------	-------

**考えられる原因**

アプリケーションが要求した文字セットは、アプリケーションが接続しているサーバではサポートされていません。アプリケーションが要求した言語もサポートされていません。言語文字列は指定した言語で送信されます。

**文字列が長すぎます (%1)。**

エラー定数	SQLE_STRING_PARM_TOO_LONG
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	54000
パラメータ 1	サーバで許可されている長さを超えている文字列。
重大度	15
SQLCODE	-973
SQLSTATE	54W06
Sybase エラー・コード	13515

**考えられる原因**

文字列の長さが、サーバで許可されている長さを超えています。

**変数 '%1' が見つかりません。**

エラー定数	SQLE_VARIABLE_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	見つからなかった変数の名前。
重大度	15
SQLCODE	-260
SQLSTATE	42W14

Sybase エラー・コード	137
----------------	-----

**考えられる原因**

作成されていない SQL 変数または削除された SQL 変数を削除しようとしたか、値を設定しようとした。

## SQL Anywhere のエラー・メッセージ (五十音順、特殊文字)

### %1

エラー定数	SQLE_OMNI_DEBUG
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
パラメータ 1	コンソール用のデバッグ・メッセージ。
重大度	16
SQLCODE	-682
SQLSTATE	WO010
Sybase エラー・コード	13734

#### 考えられる原因

このメッセージは、コンソール上にコンポーネント統合サービスのデバッグ・メッセージを表示する場合に使用されます。

### %1 から結果セットが返されません。

エラー定数	SQLE_NO_RESULT_SET
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	プロシージャの名前。
重大度	16
SQLCODE	-872
SQLSTATE	WP014
Sybase エラー・コード	13876

#### 考えられる原因

SELECT 文の FROM 句で呼び出されたプロシージャが結果セットを返す必要があります。

**%1 から複数の結果セットが返されました。**

エラー定数	SQLE_TOO_MANY_RESULT_SETS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	プロシージャの名前。
重大度	16
SQLCODE	-873
SQLSTATE	WP013
Sybase エラー・コード	13877

**考えられる原因**

SELECT 文の FROM 句で呼び出されたプロシージャは、複数の結果セットを返すことができません。

**%1 から返された結果セットのスキーマは预期されているものと異なります。**

エラー定数	SQLE_BAD_RESULT_SET
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	不正な結果セットを返すプロシージャの名前。
重大度	12
SQLCODE	-866
SQLSTATE	WP012
Sybase エラー・コード	13870

**考えられる原因**

SELECT 文の FROM 句でプロシージャを呼び出す場合、预期される結果のスキーマが WITH 句から取得されます。WITH 句を使用しない場合、预期されるスキーマはシステム・カタログから

取得されます。呼び出しから返される結果セットは、予期されるスキーマに一致するか、一致するように各カラムを変換できるようになっている必要があります。

## '%1' は '%2' に対して無効な値です。

エラー定数	SQLE_INVALID_OPTION_VALUE
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメータ 1	無効な値。
パラメータ 2	オプションの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1053
SQLSTATE	42W85
Sybase エラー・コード	5849

### 考えられる原因

無効な値をオプションに指定しました。オプションには、数値だけを指定できるオプションや、true または false だけを指定できるオプションがあります。また、多くのオプションでは、値として空の文字列を指定できません。

## '%1' は、NCHAR 照合として使用できません。UCA と UTF8BIN のみを使用できます。

エラー定数	SQLE_INVALID_NCHAR_COLLATION
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	NCHAR 照合として使用できない照合。
重大度	16
SQLCODE	-1073
SQLSTATE	WC010

Sybase エラー・コード	13442
----------------	-------

**考えられる原因**

指定した照合は NCHAR 照合として使用できません。NCHAR では常に UTF-8 が使用されるので、照合は UCA または UTF8BIN である必要があります。

## '%1' は、照合 '%2' で使用するのに有効な文字セット・エンコードではありません。

エラー定数	SQLE_INVALID_ENCODING_FOR_COLLATION
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	無効な文字セット・エンコード。
パラメータ 2	文字セット・エンコードが無効な照合。
重大度	16
SQLCODE	-1072
SQLSTATE	WC009
Sybase エラー・コード	13441

**考えられる原因**

指定した文字セットは、指定した照合で使用できません。

## '%1' はパブリック Java クラスでないため、SQL から参照できません。

エラー定数	SQLE_NON_PUBLIC_JAVA_CLASS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	Java クラス名。
重大度	16

SQLCODE	-762
SQLSTATE	WJ023
Sybase エラー・コード	13772

**考えられる原因**

SQL からは、データベースにインストールされたパブリック Java クラスにだけアクセスできません。

**'%1' はパブリック Java 参照でないため、SQL から参照できません。**

エラー定数	SQLE_UNKNOWN_JAVA_REF
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	ドット文字 (.) を使用した式。
重大度	16
SQLCODE	-763
SQLSTATE	WJ024
Sybase エラー・コード	13773

**考えられる原因**

このドット文字 (.) を使用した式は、パブリック Java クラスでも Java 変数でもありません。

**'%1' は既知のファイル形式でないため、テーブルをロードまたはアンロードできません。**

エラー定数	SQLE_UNSUPPORTED_LOAD_FORMAT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	指定したフォーマット。

重大度	19
SQLCODE	-601
SQLSTATE	WL001
Sybase エラー・コード	13669

**考えられる原因**

LOAD TABLE または UNLOAD TABLE でサポートされていないファイル・フォーマットが指定されました。

**'%1' は認識されていないサービス・タイプです。**

エラー定数	SQLE_UNKNOWN_SERVICE_TYPE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	認識されていないサービス・タイプ。
重大度	16
SQLCODE	-916
SQLSTATE	42W94
Sybase エラー・コード	13568

**考えられる原因**

認識できないサービス・タイプを指定しました。

**'%1' は認識できないオプションです。**

エラー定数	SQLE_UNKNOWN_OPTION
ODBC 2 ステータス	01000
ODBC 3 ステータス	01000
パラメータ 1	サーバに認識されないオプション。
重大度	10



SQLCODE	120
SQLSTATE	01W17
Sybase エラー・コード	13751

**考えられる原因**

サーバに認識されていないオプションの値を設定しようとした。

**'%1' は認識できない文字セット・エンコード・ラベルです。**

エラー定数	SQLE_UNKNOWN_CHARSET
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	認識されない文字セット・エンコード・ラベル。
重大度	16
SQLCODE	-868
SQLSTATE	WC001
Sybase エラー・コード	13872

**考えられる原因**

指定した文字セット・ラベルが認識されないので、その文字セットとの変換を実行できません。

**'%1' は有効なクラス・ファイルではありません。**

エラー定数	SQLE_BAD_CLASS_FILE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	無効なファイルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-92

SQLSTATE	WP002
Sybase エラー・コード	13736

**考えられる原因**

INSTALL JAVA 文に受け渡されるファイルが、有効な Java クラス・ファイルではありませんでした。

**'%1' を '%2' データのエンコード指定として使用することはできません。**

エラー定数	SQLE_INVALID_OPENSTRING_ENCODING
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	指定されたエンコード
パラメータ 2	エンコードが指定されたデータ型
重大度	16
SQLCODE	-1144
SQLSTATE	WC017
Sybase エラー・コード	13368

**考えられる原因**

指定されたエンコードは、指定されたデータを解釈するために使用することはできません。エンコードは、CHAR データの場合はデータベースの CHAR 文字エンコード、NCHAR データの場合はデータベースの NCHAR 文字エンコードにしてください。

**(メッセージなし)**

エラー定数	SQLE_AMBIGUOUS_CONSTRAINT
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S24
重大度	16

SQLCODE	-930
SQLSTATE	42U05
Sybase エラー・コード	13555

**考えられる原因**

名前のないカラムの制約の変更を要求しましたが、1つ以上の名前付き制約があります。

**(メッセージなし)**

エラー定数	SQLE_NOERROR
ODBC 2 ステータス	00000
ODBC 3 ステータス	00000
重大度	10
SQLCODE	0
SQLSTATE	00000
Sybase エラー・コード	13600

**考えられる原因**

このコードは、エラーまたは警告がなかったことを示します。

**ミラーリングされたデータベースに対して '%1' 文を使用することはできません。**

エラー定数	SQLE_STMT_NOT_ALLOWED_WITH_MIRRORING
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメータ 1	エラーを起こす文。
重大度	16
SQLCODE	-1288
SQLSTATE	WW120

Sybase エラー・コード	13666
----------------	-------

**考えられる原因**

ミラーリングされたデータベースの使用中に、許可されていない文を実行しようとした。

---

# Mobile Link サーバのエラー・メッセージ

## 目次

Mobile Link サーバのエラー・メッセージ (エラー・コード順) .....	584
Mobile Link サーバのエラー・メッセージ (五十音順) .....	600

---

## Mobile Link サーバのエラー・メッセージ (エラー・コード順)

エラー・コード	メッセージ・テキスト
0	「エラーがないか、または不明なエラーです」 623 ページ
-10001	「プロトコル・エラー:%1」 662 ページ
-10002	「統合データベース・サーバまたは ODBC エラー:%1」 677 ページ
-10003	「メモリ割り付けが失敗しました。%1 バイトを割り付けようとしてしました。」 664 ページ
-10004	「プロトコルのバージョンが一致しません。%1!d! を予期していましたが、%2!d! を受け取りました。」 662 ページ
-10013	「バージョン '%1' が ml_script_version テーブルに見つかりません。同期できません。」 659 ページ
-10016	「'%1' をユニコードに変換できません。」 603 ページ
-10017	「プロトコル・エラー: テーブル '%1' を含むパブリケーションがありません。」 661 ページ
-10018	「接続スクリプト %1 をフェッチしているときにエラーが発生しました。」 674 ページ
-10019	「テーブル・スクリプト %1.%2 をフェッチしているときにエラーが発生しました。」 655 ページ
-10020	「スクリプトをフラッシュできません。」 645 ページ
-10021	「統合データベースでのデッドロック後に現在のトランザクションをリトライできません。リトライの制限回数に達しました。」 678 ページ
-10022	「ml_subscription.progress に格納されている同期シーケンス番号は負です。この値を 0 に設定して、リモート ID '%1' の同期処理を再度有効にしてください。」 614 ページ
-10023	「リモート・データベースがバックアップからリストアされたか、またはリモート ID '%1' が別のリモート・データベースによって使用されている可能性があります。ml_subscription.progress を 0 に設定して、このリモート・データベースの同期処理を再度有効にしてください。」 669 ページ
-10024	「ドメイン ID %1 は認識できません。」 657 ページ

エラー・コード	メッセージ・テキスト
-10028	「統合データベースに接続できません。同期処理をアボートします。」 678 ページ
-10029	「NULL を使用できないカラムに NULL を設定しようとしています。」 619 ページ
-10030	「ネットワークの読み込みに失敗しました。リモート・クライアントからデータを読み込めません。」 659 ページ
-10031	「進行状況情報を統合データベースに格納しようとしたときにエラーが発生しました。」 674 ページ
-10032	「クライアント・エラー %1 が発生し、アップロードに失敗しました。」 626 ページ
-10033	「ローが大きすぎます。サイズ (%1 バイト) が最大サイズ (%2 バイト) を超えています。」 670 ページ
-10034	「リモート・データベースからダウンロード確認がありません。」 669 ページ
-10035	「クライアント・エラー %1 が発生し、ダウンロードに失敗しました。」 626 ページ
-10038	「テーブル '%1' (カラム #%2) にダウンロードされた値は、リモート・スキーマ・タイプには大きすぎるか不正です。」 651 ページ
-10039	「スクリプトを NULL として定義することはできません。」 645 ページ
-10041	「内部エラー : BLOB の取得中に発生しました -- 読み込み」 679 ページ
-10047	「スクリプトで %1 パラメータを予期しましたが、%2 しか見つかりませんでした : %3」 644 ページ
-10048	「スクリプトで最低 %1 のパラメータを予期しましたが、%2 しか見つかりませんでした : %3」 644 ページ
-10050	「カーソルで %1 カラムを予期しましたが、%2 が見つかりました。」 625 ページ
-10051	「内部エラー : 誤ったファンクション '%1' が呼び出されました。テクニカル・サポートに連絡してください。」 679 ページ
-10052	「%1 スクリプトが %2 を返しました。」 600 ページ
-10054	「ユーザ名 '%1' を ml_user テーブルに挿入できません。」 666 ページ

エラー・コード	メッセージ・テキスト
-10055	「ユーザ %1 を認証できません」 665 ページ
-10056	「ユーザ名 '%1' が ml_user テーブルに見つかりません。」 666 ページ
-10057	「ユーザ %1 のパスワードは不正です。」 664 ページ
-10058	「ファイル %1 を開けません。」 660 ページ
-10060	「メモリの割り付けに失敗しました。」 664 ページ
-10061	「テーブル '%1' への挿入ローをアップロード中にエラーが発生しました。挿入したカラムの値は次のとおりです。」 655 ページ
-10062	「テーブル '%1' への削除ローのアップロード中にエラーが発生しました。削除されたカラムの値は次のとおりです。」 654 ページ
-10063	「テーブル '%1' への更新ローのアップロード中にエラーが発生しました。更新されたカラム値は次のとおりです。」 654 ページ
-10064	「トランザクションをロールバックできません:%1」 657 ページ
-10065	「トランザクションをコミットできません:%1 -- ロールバックを試みません。」 657 ページ
-10066	「ODBC を初期化できません。」 619 ページ
-10067	「接続を割り付けることができません。」 675 ページ
-10071	「%2 を使用してテーブル '%1' からフェッチできません。」 601 ページ
-10072	「%2 を使用してテーブル '%1' に挿入できません。」 602 ページ
-10073	「%2 を使用してテーブル '%1' から削除できません。」 602 ページ
-10074	「%2 を使用してテーブル '%1' を更新できません。」 602 ページ
-10075	「必須 ODBC 関数 %1 がドライバでサポートされていません。」 680 ページ
-10076	「Mobile Link サーバは、ml_scripts_modified テーブルを使用して統合データベースのタイムスタンプ精度を計算できませんでした。タイムスタンプ精度に関する警告は生成されません。」 617 ページ
-10077	「Mobile Link サーバは、modify_error_message スクリプトを使用してエラー・メッセージを変更できませんでした。」 617 ページ



エラー・コード	メッセージ・テキスト
-10081	「Mobile Link サーバの DLL または共有オブジェクトのバージョンが、データ・レイヤの DLL または共有オブジェクトのバージョンと一致しません。」 616 ページ
-10083	「ユーザ名 '%1' を ml_user_table から削除できません。」 666 ページ
-10084	「LANG: %1 - スレッドの付加に失敗しました。」 613 ページ
-10085	「LANG: %1 - データベース接続の割り付けに失敗しました。」 613 ページ
-10086	「DLL または共有オブジェクト '%1' (スクリプト言語: %2) をロードできません。」 607 ページ
-10087	「DLL または共有オブジェクト (%1) のバージョンの不一致。必要なバージョン: %2、取得したバージョン: %3」 608 ページ
-10088	「DLL (%1) からエントリ・ポイントをロードできません。」 607 ページ
-10089	「クライアントは、テーブル '%1' に対するトランケート要求を処理できません。」 627 ページ
-10090	「クライアントはクライアント・トランザクション・ログから統合プロセス・オフセットを見つけられません。」 628 ページ
-10091	「この接続は、以前のエラーのために中止されます。」 633 ページ
-10092	「テーブル '%1' に定義されたアップロード・データ・スクリプトがありません。アップロード・データが失われても同期処理を行う場合は、-fr コマンド・ライン・オプションを使用します。」 653 ページ
-10093	「テーブル '%1' に定義されたダウンロード・データ・スクリプトがありません。ダウンロード・データが失われても同期処理を行う場合は、-fr コマンド・ライン・オプションを使用します。」 654 ページ
-10094	「クライアントから %1 認証パラメータを予期していましたが、スクリプト %3 に対して %2 を受信しました。」 627 ページ
-10099	「UNILIB 照合 %1 をロードできません: %2」 620 ページ
-10100	「Mobile Link システム・テーブル '%1' がないか、テーブル・カラムがありません。」 617 ページ
-10105	「不正なストリーム指定: %1」 681 ページ
-10106	「不正なストリーム・タイプ: %1」 681 ページ

エラー・コード	メッセージ・テキスト
-10107	「DLL または共有オブジェクトをロードできません:%1」 608 ページ
-10108	「ストリーム %2 の DLL または共有オブジェクト %1 をロードできません:%3」 646 ページ
-10109	「1 つ以上のパラメータが無効なため起動できません。」 607 ページ
-10110	「通信ストリーム %1 を初期化できません:%2」 675 ページ
-10112	「バックグラウンド・スレッドを作成できません。」 660 ページ
-10117	「ストリーム・エラー:%1」 648 ページ
-10118	「Java 例外を取得しました。タイプ:%1 例外メッセージ:%2」 611 ページ
-10119	「例外情報をダンプできません。例外処理中に例外を受け取りました。」 685 ページ
-10120	「%1 は ScriptExecutionException の認識できないサブクラスです。」 601 ページ
-10121	「バージョン・エラーのため Java VM をロードできません。」 659 ページ
-10122	「メモリ・エラーのため Java VM をロードできません。」 663 ページ
-10123	「未知のエラーのため Java VM をロードできません。」 684 ページ
-10124	「次の非デーモン・スレッドは破壊されました:%1」 673 ページ
-10125	「スクリプト %1 のクラスおよびメソッド名を解析できません。」 634 ページ
-10126	「スレッドを Java VM に付加しているときにエラーが発生しました。」 649 ページ
-10127	「必要な Java クラス %1 をロードできませんでした。」 680 ページ
-10128	「Java クラス %2 に必要なメソッド '%1' をロードできませんでした。」 610 ページ
-10130	「スクリプト '%1.%2' を実行するための引数が足りません。%3 の引数が必要なのに対し、利用できるのは %4 だけです。」 642 ページ
-10131	「<void> またはオブジェクトを予期していましたが、代わりにタイプ '%1' のプリミティブが返されました。」 603 ページ
-10132	「返されたクラス '%1' は ianywhere.ml.script.RowReader または java.lang.String のサブクラスではありません。」 683 ページ

エラー・コード	メッセージ・テキスト
-10133	「%1」 600 ページ
-10134	「java.lang.String のインスタンスまたはサブクラスを予期していましたが、代わりにクラス '%1' が見つかりました。」 611 ページ
-10135	「ianywhere.ml.script.RowReader のインスタンスまたはサブクラスを予期していましたが、代わりにクラス '%1' が見つかりました。」 609 ページ
-10136	「JVM 設定ファイル %1 内に不正な行があります。行はすべて、「#」または「-」で始まる必要があります。」 613 ページ
-10137	「JVM 設定ファイル %1 に不正な行があります。行が長すぎます。」 612 ページ
-10138	「JVM 設定ファイル %1 にエントリがありません。」 612 ページ
-10139	「オプション '%1' および '%2' は同時に使用しないでください。」 623 ページ
-10140	「オプション '%1' にはパスが必要です。」 624 ページ
-10141	「クラスパス '%1' が長すぎます。」 630 ページ
-10142	「インストール・ディレクトリまたはクラスパス内に JAR ファイル '%1' が見つかりません。」 623 ページ
-10143	「共有コンポーネント・ディレクトリを見つけられません。JRE の格納場所がオプションで指定されていません。JRE がどこに格納されているかわかりません。」 671 ページ
-10144	「共有インストール・ディレクトリが不正です:%1」 671 ページ
-10145	「%1 にある JRE にアクセスできません。」 601 ページ
-10146	「オプションが多すぎて、Java VM に送ることができません。」 625 ページ
-10147	「JVM 設定ファイル %1 内にエントリが多すぎます。」 612 ページ
-10148	「Java 例外」 611 ページ
-10149	「クラス '%1' のイニシャライザで例外がスローされました。エラーの説明:%'2'スタック・トレース:%'3'」 628 ページ
-10150	「クラス '%1' をロードしているときにリンク・エラーが発生しました。エラーの説明:%'2'」 630 ページ
-10151	「スクリプト・クラス '%1' にパブリック・メソッドがありませんでした。」 643 ページ

エラー・コード	メッセージ・テキスト
-10152	「スクリプトを解析できません。'%1' という名前の 2 つのメソッドがクラス '%2' 内に見つかりました。」 646 ページ
-10153	「クラス '%1' に適当なコンストラクタが見つかりませんでした。」 628 ページ
-10154	「クラス '%1' のコンストラクタで例外がスローされました。エラーの説明 : '%2' スタック・トレース : '%3'」 629 ページ
-10155	「クラス '%1' のコンストラクタでシステム例外がスローされました。エラーの説明 : '%2'」 629 ページ
-10156	「内部エラー : '%1'」 679 ページ
-10157	「タイプ '%2' の引数を持つメソッド '%1' を呼び出せませんでした。」 651 ページ
-10158	「メソッド '%1' で例外がスローされました。エラーの説明 : '%2' スタック・トレース : '%3'」 663 ページ
-10159	「新規データベース接続を作成できません。」 674 ページ
-10160	「JDBC 接続を付加できません。」 611 ページ
-10161	「クラス '%1' の有効なコンストラクタが見つかりませんでした。」 630 ページ
-10162	「オプション '%1' は以前に、Mobile Link コマンド・ラインで値 '%2' を使用して定義されました。」 624 ページ
-10163	「オプション '%1' は無効であるか、Mobile Link コマンド・ラインで正しく指定されませんでした。」 624 ページ
-10164	「.NET Framework CLR バージョン %1 をロードできません。」 604 ページ
-10165	「.NET CLR Host DLL をロードできません。」 604 ページ
-10166	「ファイル '%1' が見つかりません。」 661 ページ
-10167	「.NET CLR Host で予期しないエラーが発生しました。」 604 ページ
-10168	「スレッドを .NET ランタイムに付加できません。」 648 ページ
-10169	「ワーカを VM から分離できません。」 670 ページ
-10170	「スクリプトの実行に必要なメモリを割り付けることができません。」 645 ページ

エラー・コード	メッセージ・テキスト
-10171	「アセンブリ '%1' は、'%3' のバージョン %2 に対してコンパイルされています。バージョン %4 に対して再コンパイルしてください。」 621 ページ
-10172	「アセンブリ '%1' に '%2' が含まれていません。」 621 ページ
-10173	「スクリプト '%1' は '%2' オブジェクトを返しますが、戻り値のタイプは 'System.Void' および 'System.String' のみがサポートされています。」 639 ページ
-10174	「.NET スクリプト VM には Mobile Link ODBC Bridge DLL のバージョン %1 が必要ですが、バージョン %2 が指定されています。」 605 ページ
-10175	「.NET スクリプト VM には Mobile Link Script DLL のバージョン %1 が必要ですが、バージョン %2 が指定されています。」 605 ページ
-10176	「.NET ドメイン設定ファイルが壊れています。」 606 ページ
-10177	「名前 '%1' は、有効な .NET 開始クラス名ではありません。」 684 ページ
-10178	「ドメイン '%1' はドメイン設定ファイルで指定されていません。」 656 ページ
-10179	「ドメイン '%1' にタイプ '%2' のアセンブリがありません。」 656 ページ
-10180	「.NET スクリプト VM をシャットダウンできません。」 605 ページ
-10181	「.NET スクリプト VM をシャットダウンできません。%1 ワーカーがまだ付加されています。」 606 ページ
-10182	「スクリプト '%1' に不正なフォーマットが使用されています。」 638 ページ
-10183	「スクリプト・バージョンごとに1つのドメインのみ使用できます。スクリプト '%2' がドメイン '%3' の使用を試みたとき、ドメイン '%1' は使用中でした。」 643 ページ
-10184	「スクリプト '%1' には %2 パラメータが必要ですが、%3 パラメータが指定されています。」 636 ページ
-10185	「スクリプト '%1' からタイプ '%2' のオブジェクトが返されましたが、このタイプは、'System.Void' または 'System.String' のサブタイプではありません。」 635 ページ
-10186	「スクリプト '%1' で同期エラーが報告されました。」 636 ページ
-10187	「.NET 開始クラス '%1' をロードできませんでした。」 606 ページ
-10188	「スクリプト '%1' でサーバ・エラーが報告されました。」 635 ページ

エラー・コード	メッセージ・テキスト
-10189	「スクリプト '%1' でエラーが発生しました。」 635 ページ
-10190	「スクリプト '%1' で致命的なエラーが報告されました。」 636 ページ
-10191	「.NET ドメイン設定ファイル '%1' が見つかりません。」 606 ページ
-10192	「ドメイン '%1' を作成できませんでした。」 657 ページ
-10193	「アセンブリ '%1' をドメイン '%2' にロードできません。」 622 ページ
-10194	「MLDBCommand.Close() を呼び出した後に、SQL 文 '%1' を準備しようとした。」 614 ページ
-10195	「NULL SQL 文を準備しようとした。MLDBCommand.CommandText の値を設定してから MLDBCommand.Prepare() を呼び出してください。」 618 ページ
-10196	「NULL SQL 文を実行しようとした。MLDBCommand.CommandText の値を設定してから MLDBCommand.Execute メソッドを呼び出してください。」 618 ページ
-10197	「MLDBCommand.Close() を呼び出した後に、SQL 文 '%1' を実行しようとした。」 614 ページ
-10198	「作成された SQL 文 '%1' には %2 パラメータが必要ですが、パラメータ %3 が指定されていません。」 673 ページ
-10199	「MLDBCommand.Prepare() を呼び出す前にバウンド・パラメータを持つ SQL 文を実行しようとした。」 615 ページ
-10200	「作成された SQL 文 '%1' には %2 パラメータが必要ですが、パラメータ %3 が指定されています。」 672 ページ
-10201	「パラメータ %1 のバインドには、タイプ '%2' の値が必要ですが、'%3' が指定されました。」 660 ページ
-10202	「この接続のトランザクションは、コミットまたはロールバックできません。」 632 ページ
-10203	「無効なハンドルを持つ接続を使用しようとした。」 684 ページ
-10204	「スクリプト '%1' は、'%2' のメンバですが、スクリプト・バージョンでは %3 クラスのみ許可されています。」 639 ページ
-10205	「スクリプト '%1' を実行できません。」 642 ページ
-10206	「'%1'」 603 ページ

エラー・コード	メッセージ・テキスト
-10207	「認識されないイベント名 : %1」 680 ページ
-10209	「Java VM 共有ライブラリをロードできません。共有ライブラリのパスおよび LD_PRELOAD が正しく設定されており、ダイナミック・ローダのバージョンでサポートされていることを確認してください。」 610 ページ
-10211	「テーブル '%1' (カラム #%2) にダウンロードされた値に、変換できない文字データが含まれています。」 651 ページ
-10212	「テンポラリ・ファイル '%1' を開けません。」 656 ページ
-10213	「文字列 %1 を数値に変換できません。」 683 ページ
-10214	「%1 スクリプトから不正な戻り値 (%2) が返されました。デフォルトのアクション・コード (%3) を使用します。」 600 ページ
-10215	「不正なパラメータ '%1' です。」 681 ページ
-10216	「テーブル '%1' (カラム #%2) にダウンロードされた値は、無効なユニーク識別子の文字列です。」 652 ページ
-10217	「ストリーム %2 の無効なストリーム・パラメータ %1 : %3」 647 ページ
-10218	「ストリーム %3 の無効な値 %1 のストリーム・パラメータ %2 : %4」 647 ページ
-10219	「ストリーム %2 のストリーム・パラメータ %1 の無効なコンテキスト : %3」 647 ページ
-10220	「upload_fetch または upload_fetch_columns スクリプトのいずれか 1 つしかテーブル '%1' に定義できません。」 620 ページ
-10221	「DownloadData インスタンスにメモリを割り付けることができません。」 608 ページ
-10222	「UploadData インスタンスにメモリを割り付けることができません。」 621 ページ
-10223	「handle_UploadData イベント・スクリプトを void にするか、NULL を返す必要があります。」 609 ページ
-10224	「テーブル '%1' には BLOB が含まれているため、カラム・レベルの競合を検出することはできません。」 653 ページ

エラー・コード	メッセージ・テキスト
-10225	「ユーザが指定したコードをサーバで実行中にエラーが発生しました。」 665 ページ
-10226	「スクリプト '%1' のパラメータ名が無効です (名前が短すぎるか長すぎます)。」 638 ページ
-10227	「スクリプト '%2' のシステム・パラメータ '%1' が不明です。」 642 ページ
-10228	「スクリプト '%2' のシステム・パラメータ '%1' が無効です。」 643 ページ
-10229	「システム・パラメータ %1 に NULL が設定されています。」 634 ページ
-10230	「パラメータ %1 に NULL が設定されています。」 660 ページ
-10231	「スクリプト '%1' はロー・データを処理できません。」 641 ページ
-10232	「名前付きロー・パラメータを使用するには、ml_column テーブルでカラム名を設定する必要があります。」 684 ページ
-10233	「テーブル '%1' には '%2' という名前のカラムがありません。」 653 ページ
-10234	「スクリプト '%1' はプレイメージのロー・データを処理できません。」 641 ページ
-10235	「スクリプト '%1' には、無効な文字を含む名前付きパラメータが含まれています。」 637 ページ
-10236	「スクリプト '%1' には、名前付きパラメータを使用するための無効な構文が含まれています。」 638 ページ
-10237	「スクリプト '%1' は、入出力パラメータ '%2' を 2 回以上参照していません。」 640 ページ
-10238	「リモート ID '%1' で識別されるリモート・データベースはすでに同期しています。同じリモート ID を使用した同時同期処理は実行できません。」 668 ページ
-10239	「スクリプト '%1' には、無効なパラメータ参照が含まれています： '%2'」 637 ページ
-10240	「スクリプト '%1' には、無効なユーザ・パラメータが含まれています： '%2'」 637 ページ
-10241	「スクリプト '%1' は、テーブル '%2' のカラム %3 を参照していますが、テーブルには %4 カラムしかありません。」 639 ページ



エラー・コード	メッセージ・テキスト
-10242	「スクリプト '%1' は、認証パラメータ %2 を参照していますが、%3 しかありません。」 640 ページ
-10243	「スクリプト '%1' は、不明な認証パラメータ '%2' を参照していません。」 641 ページ
-10244	「Mobile Link サーバでエラーが発生したため、同期がアボートされました。」 616 ページ
-10245	「アップロード・テーブル '%1' (カラム #%2) にはデータ型 '%3' がありますが、ODBC ドライバは '%4' をサポートしていません。」 622 ページ
-10246	「統合データベースでのスナップショット・アイソレーションで競合する更新を検出後に、現在のトランザクションをリトライできません。リトライの制限回数に達しました。」 677 ページ
-10247	「スナップショットにトランザクションの独立性レベルを設定できません。」 648 ページ
-10248	「カーソルベースのアップロードはサポートされなくなりました。文ベースのアップロードを行うようにテーブル '%1' のスクリプトを変更してください。」 625 ページ
-10249	「ファイル転送のルート・ディレクトリ '%1' が見つかりませんでした。」 661 ページ
-10250	「要求ファイルを転送できませんでした。転送ルートが設定されていません。」 685 ページ
-10251	「ユーザ '%2' の要求ファイル '%1' が見つかりませんでした。」 665 ページ
-10252	「転送用にファイル '%1' を開けませんでした。」 676 ページ
-10253	「転送用にファイル '%1' を読み込めませんでした。」 677 ページ
-10254	「スクリプトのバージョン '%1' を追加できませんでした。」 645 ページ
-10255	「再起動可能な同期を開始できません。」 672 ページ
-10256	「同じリモート ID を持つ、新しい同期 <%1> のために、この同期はキャンセルされました。」 679 ページ
-10257	「同じリモート ID を持つ、既存の同期 <%1> のために、この同期は一時停止されました。」 678 ページ

エラー・コード	メッセージ・テキスト
-10258	「I/O 完了ポートを作成できません (システム・エラー : %1)」 609 ページ
-10259	「ネットワーク・アドレス '%1' はローカルのアドレスではありません。」 658 ページ
-10260	「リスナ・ソケットを作成できません (システム・エラー : %1)」 667 ページ
-10261	「リスナ・ソケットをポートにバインドできません (システム・エラー : %1)」 667 ページ
-10262	「ポートで受信できません (システム・エラー : %1)」 662 ページ
-10263	「ソケットを完了ポートに関連付けられませんでした (システム・エラー : %1)」 650 ページ
-10264	「接続ソケットを作成できません (システム・エラー : %1)」 674 ページ
-10265	「接続の受け入れを開始できません (システム・エラー : %1)」 675 ページ
-10266	「ソケット '%1' でハード・クローズを実行できません。」 649 ページ
-10267	「ソケット削除要求を完了キューに通知できません (システム・エラー : %1)」 650 ページ
-10268	「リスナ・ソケットでハード・クローズを実行できません。」 667 ページ
-10269	「リスナ削除要求を完了キューに通知できません (システム・エラー : %1)」 667 ページ
-10270	「完了ポートで待機できません (システム・エラー : %1)」 671 ページ
-10271	「ソケットを閉じられません (システム・エラー : %1)」 650 ページ
-10272	「ソケット・セレクト通知の UNIX パイプを作成できません (システム・エラー : %1)」 649 ページ
-10273	「アドレスを再利用できません (システム・エラー : %1)」 623 ページ
-10274	「ソケットをポーリングできません (システム・エラー : %1)」 649 ページ
-10275	「通知できません (システム・エラー : %1)」 676 ページ
-10276	「受信接続を受け入れられません (システム・エラー : %1)」 673 ページ
-10277	「通知パイプからの読み込み中にエラーが発生しました (システム・エラー : %1)」 676 ページ

エラー・コード	メッセージ・テキスト
-10278	「通知パイプでエラーが発生しました。」 676 ページ
-10279	「ネットワーク・アクティビティがないため、接続が切断されました。」 658 ページ
-10280	「クライアント・テーブル '%1' のカラム数が ml_column で定義された値と一致していません。」 626 ページ
-10281	「テーブル '%1' で、ml_column テーブルでのカラム名が '%2' であるカラムのインデックスが、リモート・カラムの数よりも大きくなっています。」 652 ページ
-10282	「共有メモリ・ファイルを作成できません。」 672 ページ
-10283	「ホスト名 '%1' を解決できません (エラー: '%2')。」 663 ページ
-10284	「この同期は、ブロッキング・ダウンロード確認を使用していますが、非ブロッキング・ダウンロード確認イベントが定義されています。」 633 ページ
-10285	「QAnywhere を使用する場合、非ブロッキング・ダウンロード確認モードのみサポートされています。」 619 ページ
-10286	「DTC トランザクション・マネージャを取得できません -- システム・エラー: '%1'」 609 ページ
-10287	「分散トランザクションを初期化できません -- システム・エラー: '%1'」 683 ページ
-10288	「分散トランザクション・コーディネータにデータベースをエンリストできません。」 682 ページ
-10289	「分散トランザクションをコミットできません (イベント: %1) -- システム・エラー: '%2'」 682 ページ
-10290	「分散トランザクションをアボートできません (イベント: %1) -- システム・エラー: '%2'」 682 ページ
-10291	「クライアントから受信したサブスクリプション・リストは、破損しているか無効です。」 627 ページ
-10292	「ネットワーク・リスナ・ポートで新規接続を受け入れられません。」 658 ページ
-10293	「Mobile Link サーバ (ファーム・バージョン '%1') を実行できません。バージョンの異なる別の Mobile Link サーバが、Mobile Link サーバ・ファームで実行されています。」 615 ページ

エラー・コード	メッセージ・テキスト
-10294	「'%1' という名前の Mobile Link サーバは登録できません。」 603 ページ
-10295	「Mobile Link サーバと クライアントの実装 ID が一致しません。」 616 ページ
-10296	「MLSD をサポートできません。」 615 ページ
-10297	「不明なスクリプト・フラグ '%1' のため、SQL パススルー・スクリプトを送信できません。」 682 ページ
-10298	「SQL パススルーの修復中は、SQL パススルー・スクリプト ID を更新できません。」 620 ページ
-10299	「このユーザに対する SQL パススルーの修復アクション '%1' は無効です。このユーザの SQL パススルーは中止されました。」 632 ページ
-10300	「SQL パススルー・プロトコル・エラー: '%1'。テクニカル・サポートに連絡してください。」 619 ページ
-10301	「サーバ共有ステータスを初期化できません。」 634 ページ
-10302	「サーバ共有ステータスに内部エラーが発生しました。 '%1'」 633 ページ
-10303	「共有サーバ・ステータス活性を維持できません。」 671 ページ
-10304	「サーバ名が設定されていないため、共有サーバ・ステータスで開始できません。 -zs オプションを使用してサーバ名を設定してください。」 634 ページ
-10305	「ローカル・サーバの接続文字列が指定されましたが、共有サーバ・ステータスが有効ではありません。 Mobile Link プロパティ 'ml_server_farm' を使用して共有サーバ・ステータスを有効にしてください。」 670 ページ
-10306	「リモート・クライアントで使用されている文字セット (%1) を、Mobile Link サーバがマップできません。」 668 ページ
-10307	「リモート・クライアントで使用されている文字セット (%1) を、Mobile Link サーバがマップできません。」 668 ページ
-10308	「テーブル '%2' のカラム %1 のアップロード・データが無効です。」 655 ページ
-10309	「このサーバには、次のタイプの統合データベースに接続するためのライセンスが付与されていません: %1」 631 ページ
-10310	「ユーザを認証できません。」 665 ページ

エラー・コード	メッセージ・テキスト
-10311	「このサーバでは共有サーバ・ステータスが有効ではありませんが、この統合データベースに接続している他のサーバでは共有サーバ・ステータスが有効です。」 631 ページ
-10312	「このサーバにはダイレクト・ロー API を使用するためのライセンスが付与されていません。」 632 ページ
-10313	「このサーバには QAnywhere を使用するためのライセンスが付与されていません。」 631 ページ
-10314	「このサーバには dbmsync を使用するためのライセンスが付与されていません。」 631 ページ
-10315	「modify_next_last_download_timestamp スクリプトがないと、次の最終ダウンロード・タイムスタンプの生成を省略できません。」 618 ページ

## Mobile Link サーバのエラー・メッセージ (五十音順)

### %1

エラー・コード	-10133
エラー定数	EL_JAVA_GENERIC_ERROR
パラメータ 1	メッセージ文字列。

#### 考えられる原因

Java 同期論理の一般エラーです。詳細は、メッセージの本文にあります。

### %1 スクリプトが %2 を返しました。

エラー・コード	-10052
エラー定数	GENERIC_ERROR_HANDLER_RETURN
パラメータ 1	ユーザ認証スクリプト名。
パラメータ 2	スクリプトの戻り値。

#### 考えられる原因

ユーザ認証スクリプトが 3000 より大きな値を返しました。

### %1 スクリプトから不正な戻り値 (%2) が返されました。デフォルトのアクション・コード (%3) を使用します。

エラー・コード	-10214
エラー定数	ERROR_HANDLER_BAD_RETURN
パラメータ 1	不正な値を返すスクリプトの名前。
パラメータ 2	スクリプトから返されたアクションの値。
パラメータ 3	使用されるアクションの値。

#### 考えられる原因

呼び出されたエラー・ハンドラのスクリプトが許容値の範囲外の値を返しました。デフォルト値が使用されます。

## %1 にある JRE にアクセスできません。

エラー・コード	-10145
エラー定数	EL_JAVA_JRE_PATH_INCORRECT
パラメータ 1	JRE のパス。

### 考えられる原因

-jrepath オプションの引数を修正して、Mobile Link が必要な Java 仮想マシンをロードできるようにしてください。

## %1 は ScriptExecutionException の認識できないサブクラスです。

エラー・コード	-10120
エラー定数	EL_JAVA_UNKNOWN_SCRIPTEXECUTIONEXCEPTION
パラメータ 1	クラス名。

### 考えられる原因

指定したクラス名は、ScriptExecutionException の認識できないサブクラスです。指定できるサブクラス名には 'SynchronizationException' と 'ServerException' があります。

## %2 を使用してテーブル '%1' からフェッチできません。

エラー・コード	-10071
エラー定数	FETCH_FROM
パラメータ 1	テーブル名。
パラメータ 2	スクリプト名。

### 考えられる原因

Mobile Link サーバが統合データベースの指定されたテーブルからローを検索しているときに、エラーが発生しました。

## %2 を使用してテーブル '%1' から削除できません。

エラー・コード	-10073
エラー定数	DELETE_FROM
パラメータ 1	テーブル名。
パラメータ 2	スクリプト名。

### 考えられる原因

Mobile Link サーバが統合データベースの指定されたテーブルからローを削除しているときに、エラーが発生しました。

## %2 を使用してテーブル '%1' に挿入できません。

エラー・コード	-10072
エラー定数	INSERT_INT0
パラメータ 1	テーブル名。
パラメータ 2	スクリプト名。

### 考えられる原因

Mobile Link サーバが統合データベースの指定されたテーブルにローを挿入しているときに、エラーが発生しました。

## %2 を使用してテーブル '%1' を更新できません。

エラー・コード	-10074
エラー定数	UPDATE
パラメータ 1	テーブル名。
パラメータ 2	スクリプト名。

### 考えられる原因

Mobile Link サーバが統合データベースの指定されたテーブルに対してローを更新しているときに、エラーが発生しました。



**'%1'**

エラー・コード	-10206
エラー定数	EL_DNET_WRITE_STREAM_ERROR
パラメータ 1	エラー・メッセージ。

**考えられる原因**

.Net CLR、または同期中に呼び出されたメソッドによって生成される一般エラー・メッセージです。

**'%1' という名前の Mobile Link サーバは登録できません。**

エラー・コード	-10294
エラー定数	FARM_CANT_REGISTER
パラメータ 1	サーバ名。

**考えられる原因**

Mobile Link サーバが、自身のサーバ名を Mobile Link サーバ・ファームに登録できませんでした。Mobile Link サーバ名が Mobile Link サーバ・ファーム内でユニークであることを確認してください。

**'%1' をユニコードに変換できません。**

エラー・コード	-10016
エラー定数	ERROR_CANNOT_CONVERT_TO_UNICODE
パラメータ 1	変換される文字列。

**考えられる原因**

Mobile Link サーバは、Unilib を使用して指定された文字列を Unicode に変換できませんでした。

**<void> またはオブジェクトを予期していましたが、代わりにタイプ '%1' のプリミティブが返されました。**

エラー・コード	-10131
---------	--------

エラー定数	EL_JAVA_EXPECTED_RETURN_OBJECT
パラメータ 1	クラス名。

**考えられる原因**

Java 同期論理を実装するメソッドは、<void> またはオブジェクトを返す必要があります。

**.NET CLR Host DLL をロードできません。**

エラー・コード	-10165
エラー定数	EL_DNET_HOST_LOAD_FAIL

**考えられる原因**

.NET CLR はロードを拒否しました。.NET CLR ユーティリティを使用してバインドとロードのログを記録して、問題を特定してください。

**.NET CLR Host で予期しないエラーが発生しました。**

エラー・コード	-10167
エラー定数	EL_DNET_SERVER_ERROR_FAIL

**考えられる原因**

Mobile Link は、ルーチン .NET 呼び出しの実行時にエラーを受け取りました。使用している .NET のインストール環境を確認してください。

**.NET Framework CLR バージョン %1 をロードできません。**

エラー・コード	-10164
エラー定数	EL_DNET_CLR_LOAD_FAIL
パラメータ 1	CLR バージョン。

**考えられる原因**

この CLR バージョンがインストールされていることを確認してください。

## .NET スクリプト VM には Mobile Link ODBC Bridge DLL のバージョン %1 が必要ですが、バージョン %2 が指定されています。

エラー・コード	-10174
エラー定数	EL_DNET_ODBC_VER_MISMATCH
パラメータ 1	必要なバージョン。
パラメータ 2	指定したバージョン。

### 考えられる原因

おそらくインストールの問題です。弊社製品の保守契約を結んでいるサポート・センタにお問い合わせください。

## .NET スクリプト VM には Mobile Link Script DLL のバージョン %1 が必要ですが、バージョン %2 が指定されています。

エラー・コード	-10175
エラー定数	EL_DNET_SCRIPT_DLL_VER_MISMATCH
パラメータ 1	必要なバージョン。
パラメータ 2	指定したバージョン。

### 考えられる原因

おそらくインストールの問題です。弊社製品の保守契約を結んでいるサポート・センタにお問い合わせください。

## .NET スクリプト VM をシャットダウンできません。

エラー・コード	-10180
エラー定数	EL_DNET_VM_FINI_FAIL

### 考えられる原因

Mobile Link サーバで .NET スクリプト VM を停止できませんでした。起動クラスによって実行されたシャットダウン処理が正常に完了しない可能性があります。

## .NET スクリプト VM をシャットダウンできません。%1 ワーカがまだ付加されています。

エラー・コード	-10181
エラー定数	EL_DNET_WORKERS_NOT_DETACHED
パラメータ 1	ワーカ・スレッドの数。

### 考えられる原因

ワーカ・スレッドがまだ付加されているので、Mobile Link サーバで .NET スクリプト VM を停止できませんでした。シャットダウンに従っていないか、シャットダウンへの応答を遅らせている起動クラスがある可能性があります。

## .NET ドメイン設定ファイル '%1' が見つかりません。

エラー・コード	-10191
エラー定数	EL_DNET_DOMAIN_CONFIG_FILE_MISSING
パラメータ 1	ファイル名。

### 考えられる原因

指定されたドメイン設定ファイルが見つかりません。ファイルの場所と設定ファイルの設定を確認してください。

## .NET ドメイン設定ファイルが壊れています。

エラー・コード	-10176
エラー定数	EL_DNET_DOMAIN_CONFIG_FILE_CORRUPT

### 考えられる原因

.NET 設定ファイルの内容にエラーがないか確認してください。

## .NET 開始クラス '%1' をロードできませんでした。

エラー・コード	-10187
エラー定数	EL_DNET_STARTCLASS_LOAD_FAIL

パラメータ 1	クラス名。
---------	-------

**考えられる原因**

Mobile Link サーバで、起動時にこのクラスをロードできませんでした。

**1 つ以上のパラメータが無効なため起動できません。**

エラー・コード	-10109
エラー定数	NETIO_INVALID_PARAMETERS

**考えられる原因**

コマンド・ライン・パラメータが無効であるため、アプリケーションを起動できませんでした。マニュアルでアプリケーションのコマンド・ラインに関する説明を参照してください。

**DLL ('%1') からエントリ・ポイントをロードできません。**

エラー・コード	-10088
エラー定数	EL_UNABLE_TO_LOAD_ENTRY_POINTS
パラメータ 1	DLL または共有オブジェクトの名前。

**考えられる原因**

使用している Mobile Link サーバのインストール環境を確認してください。

**DLL または共有オブジェクト '%1' (スクリプト言語 : '%2') をロードできません。**

エラー・コード	-10086
エラー定数	EL_UNABLE_TO_LOAD_LANG_DLL
パラメータ 1	DLL または共有オブジェクトの名前。
パラメータ 2	スクリプト言語名。

**考えられる原因**

スクリプト言語が有効であることを確認してください。現在のところ、Mobile Link サーバがサポートするスクリプト言語は、SQL (sql)、Java (java)、.NET (dnet) です。

## DLL または共有オブジェクト ('%1') のバージョンの不一致。必要なバージョン : %2、取得したバージョン : %3

エラー・コード	-10087
エラー定数	EL_WRONG_LANG_DLL_VERSION
パラメータ 1	DLL または共有オブジェクトの名前。
パラメータ 2	必要なバージョン番号。
パラメータ 3	指定したバージョン番号。

### 考えられる原因

使用している Mobile Link サーバのインストール環境を確認してください。

## DLL または共有オブジェクトをロードできません : %1

エラー・コード	-10107
エラー定数	CANNOT_LOAD_DLL
パラメータ 1	DLL または共有オブジェクトの名前。

### 考えられる原因

この DLL または共有オブジェクトをロードできませんでした。正しいバージョンの DLL または共有オブジェクトが正しいロケーションにあることを確認してください。

## DownloadData インスタンスにメモリを割り付けることができません。

エラー・コード	-10221
エラー定数	EL_JAVA_FAILED_ALLOC_DOWNLOAD_DATA

### 考えられる原因

JAVA VM がメモリ不足です。Java VM に使用できるメモリ容量を増やしてみてください。

## DTC トランザクション・マネージャを取得できません -- システム・エラー : '%1'

エラー・コード	-10286
エラー定数	DTC_UNABLE_TO_GET_TRANS_MANAGER

### 考えられる原因

Mobile Link サーバが、トランザクション・マネージャを取得できませんでした。ローカル・コンピュータで分散トランザクション・コーディネータ (DTC) のサービスが実行されていることを確認してください。

## handle\_UploadData イベント・スクリプトを void にするか、NULL を返す必要があります。

エラー・コード	-10223
エラー定数	HANDLE_UPLOAD_DATA_SHOULD_BE_VOID

### 考えられる原因

この handle\_UploadData スクリプトを書き直し、戻り値のタイプを void にするか、戻り値を NULL にしてください。

## I/O 完了ポートを作成できません (システム・エラー : %1)

エラー・コード	-10258
エラー定数	CANNOT_CREATE_COMPLETION_PORT
パラメータ 1	システム・エラー。

### 考えられる原因

弊社製品の保守契約を結んでいるサポート・センタにお問い合わせください。

## ianywhere.ml.script.RowReader のインスタンスまたはサブクラスを予期していましたが、代わりにクラス '%1' が見つかりました。

エラー・コード	-10135
---------	--------

エラー定数	EL_JAVA_EXPECTED_ROWREADER
パラメータ 1	クラス名。

**考えられる原因**

Java コードを検査し、返されたオブジェクトを RowReader にキャストできることを確認してください。

**Java VM 共有ライブラリをロードできません。共有ライブラリのパスおよび LD\_PRELOAD が正しく設定されており、ダイナミック・ローダのバージョンでサポートされていることを確認してください。**

エラー・コード	-10209
エラー定数	EL_JAVA_VM_HP_ERROR

**考えられる原因**

Mobile Link サーバで Java VM 共有ライブラリをロードできませんでした。Java VM 共有ライブラリがインストールされ、パスが正しく設定されているか、また LD\_PRELOAD が正しく設定され、使用しているダイナミック・ローダのバージョンでサポートされているか確認してください。

**Java クラス %2 に必要なメソッド '%1' をロードできませんでした。**

エラー・コード	-10128
エラー定数	EL_JAVA_BOOT_CLASS_METH_LOAD_ERR
パラメータ 1	メソッド名。
パラメータ 2	クラス名。

**考えられる原因**

これは内部の起動エラーです。保守契約を結んでいるサポート・センタに問い合わせてください。



## Java 例外

エラー・コード	-10148
エラー定数	EL_JAVA_EXCEPTION

### 考えられる原因

詳細については、Mobile Link ログの、このエラーに隣接するエラー・メッセージを確認してください。

## Java 例外を取得しました。タイプ : %1 例外メッセージ : %2

エラー・コード	-10118
エラー定数	EL_JAVA_CAUGHT_JAVA_EXCEPTION_WITH_TYPE
パラメータ 1	クラス名。
パラメータ 2	エラー・メッセージ。

### 考えられる原因

Java スクリプトが原因で例外が発生しました。例外の原因となった問題を解決するか、コードを変更して例外を回避してください。

## java.lang.String のインスタンスまたはサブクラスを予期していましたが、代わりにクラス '%1' が見つかりました。

エラー・コード	-10134
エラー定数	EL_JAVA_EXPECTED_STRING
パラメータ 1	クラス名。

### 考えられる原因

SQL スクリプトを返す Java 同期論理を実装するメソッドは、java.lang.String オブジェクトまたはサブクラスを返す必要があります。

## JDBC 接続を付加できません。

エラー・コード	-10160
---------	--------

エラー定数	EL_JAVA_JDBC_UNABLE_TO_ATTACH
-------	-------------------------------

**考えられる原因**

JDBC 接続を作成するために ODBC 接続をラップできませんでした。

**JVM 設定ファイル %1 にエントリがありません。**

エラー・コード	-10138
エラー定数	EL_JAVA_NO_ENTRIES_IN_JVM_CFG
パラメータ 1	設定ファイル名。

**考えられる原因**

jvm.cfg ファイルが見つかった場合は、1 行以上あることが予期されます。jvm.cfg を削除するか設定してください。

**JVM 設定ファイル %1 に不正な行があります。行が長すぎます。**

エラー・コード	-10137
エラー定数	EL_JAVA_LINE_TOO_LONG_IN_JVM_CFG
パラメータ 1	設定ファイル名。

**考えられる原因**

jvm.cfg 設定ファイルを解析できませんでした。行が最大長を超えています。このファイルの内容が有効であることを確認してください。

**JVM 設定ファイル %1 内にエントリが多すぎます。**

エラー・コード	-10147
エラー定数	EL_JAVA_TOO_MANY_ENTRIES_IN_JVM_CFG
パラメータ 1	設定ファイル。

**考えられる原因**

jvm.cfg が破損している可能性があります。jvm.cfg ファイルの内容を確認してください。

## JVM 設定ファイル %1 内に不正な行があります。行はすべて、「#」または「-」で始まる必要があります。

エラー・コード	-10136
エラー定数	EL_JAVA_INVALID_LINE_IN_JVM_CFG
パラメータ 1	設定ファイル名。

### 考えられる原因

jvm.cfg 設定ファイルを解析できませんでした。このファイルの内容が有効であることを確認してください。

## LANG: %1 - スレッドの付加に失敗しました。

エラー・コード	-10084
エラー定数	EL_FAILED_TO_ATTACH_THREAD
パラメータ 1	スクリプト言語の名前。

### 考えられる原因

Mobile Link サーバのスレッドが、指定されたスクリプト言語を処理するのに使用される DLL または共有オブジェクトにスレッド自身を付加できませんでした。Mobile Link サーバのインストール環境に、必要な DLL または共有オブジェクトがすべて含まれていることを確認してください。

## LANG: %1 - データベース接続の割り付けに失敗しました。

エラー・コード	-10085
エラー定数	EL_FAILED_TO_ALLOCATE_CONNECTION
パラメータ 1	スクリプト言語の名前。

### 考えられる原因

データベース・サーバに接続できませんでした。

**ml\_subscription.progress に格納されている同期シーケンス番号は負です。この値を 0 に設定して、リモート ID '%1' の同期処理を再度有効にしてください。**

エラー・コード	-10022
エラー定数	NEGATIVE_SEQUENCE_NUMBER_IN_CONSOLIDATED
パラメータ 1	リモート ID。

#### 考えられる原因

統合データベースの ml\_subscription テーブルに格納されているシーケンス番号が負の値です。この番号は、Mobile Link サーバによって管理されています。ほとんどの場合、この番号を直接修正しないでください。

**MLDBCommand.Close() を呼び出した後に、SQL 文 '%1' を実行しようとした。**

エラー・コード	-10197
エラー定数	EL_DNET_NO_EXECUTE_ON_CLOSED
パラメータ 1	SQL 文。

#### 考えられる原因

データベース接続が閉じているときに SQL 文が実行されています。データベース接続が開いていることを確認してから、文を実行してください。

**MLDBCommand.Close() を呼び出した後に、SQL 文 '%1' を準備しようとした。**

エラー・コード	-10194
エラー定数	EL_DNET_NO_PREPARE_ON_CLOSED
パラメータ 1	SQL 文。

#### 考えられる原因

データベース接続が閉じているときに SQL 文が準備されています。データベース接続が開いていることを確認してから、文を準備してください。

## MLDBCommand.Prepare() を呼び出す前にバウンド・パラメータを持つ SQL 文を実行しようとしました。

エラー・コード	-10199
エラー定数	EL_DNET_NO_STMT_PREPARED_ON_BIND

### 考えられる原因

準備されていない文にパラメータをバインドしようとしました。文を準備してからパラメータをバインドしてください。

## MLSD をサポートできません。

エラー・コード	-10296
エラー定数	MLSD_NOT_SUPPORTED

### 考えられる原因

Mobile Link サーバが、統合データベース以外のデータベースに格納されているシステム・オブジェクトをサポートできませんでした。このデータベース・サーバの ODBC ドライバは Microsoft 分散トランザクションをサポートしていません。統合データベースに Mobile Link サーバ・システム・オブジェクトをインストールし、`-cs` オプションをコマンド・ラインから削除してください。

## Mobile Link サーバ (ファーム・バージョン '%1') を実行できません。バージョンの異なる別の Mobile Link サーバが、Mobile Link サーバ・ファームで実行されています。

エラー・コード	-10293
エラー定数	FARM_VERSION_MISMATCH
パラメータ 1	バージョン番号。

### 考えられる原因

Mobile Link サーバが起動するのを拒否しました。バージョンの異なる別の Mobile Link サーバが、同じ統合データベースに対して現在実行されています。複数の Mobile Link サーバが同じデータベース・サーバに対して実行されているときは、すべての Mobile Link サーバが同じバージョンであることを確認してください。

## Mobile Link サーバでエラーが発生したため、同期がアボートされました。

エラー・コード	-10244
エラー定数	DEFAULT_SERVER_ERROR

### 考えられる原因

Mobile Link サーバでエラーが発生しました。このエラーの詳細については、Mobile Link サーバ・メッセージ・ログを参照してください。

## Mobile Link サーバとクライアントの実装 ID が一致しません。

エラー・コード	-10295
エラー定数	MISMATCH_IMPLEMENTATION_ID

### 考えられる原因

サーバとクライアントの実装 ID が一致しないため、Mobile Link サーバは同期要求を受け入れることができませんでした。

## Mobile Link サーバの DLL または共有オブジェクトのバージョンが、データ・レイヤの DLL または共有オブジェクトのバージョンと一致しません。

エラー・コード	-10081
エラー定数	DL_VERSION_MISMATCH

### 考えられる原因

アップロード・データとダウンロード・データを処理する Mobile Link サーバの DLL または共有オブジェクトが、データベースと対話するために使用されるデータ・レイヤ DLL または共有オブジェクト (ODBC) のバージョンと一貫性がありません。使用している Mobile Link サーバのインストール環境を確認してください。

**Mobile Link サーバは、ml\_scripts\_modified テーブルを使用して統合データベースのタイムスタンプ精度を計算できませんでした。タイムスタンプ精度に関する警告は生成されません。**

エラー・コード	-10076
エラー定数	UNKNOWN_CONSOLIDATED_TIMESTAMP_PRECISION

#### 考えられる原因

Mobile Link サーバは、時間関係のすべての値を適切に同期するために統合データベースの最大タイムスタンプ精度を計算する必要があります。このエラーは通常、推奨されていない ODBC ドライバが使用されている場合に発生します。推奨された ODBC ドライバを使用して Mobile Link サーバを起動してください。

**Mobile Link サーバは、modify\_error\_message スクリプトを使用してエラー・メッセージを変更できませんでした。**

エラー・コード	-10077
エラー定数	ERROR_MODIFY_ERROR_MSG_SCRIPT

#### 考えられる原因

同期中にエラーが発生しましたが、Mobile Link サーバは指定されたスクリプトを使用してエラー・メッセージを修正できませんでした。modify\_error\_message スクリプトを確認してください。

**Mobile Link システム・テーブル '%1' がないか、テーブル・カラムがありません。**

エラー・コード	-10100
エラー定数	ML_TABLE_OR_COLUMN_MISSING
パラメータ 1	テーブル名。

#### 考えられる原因

統合データベースにテーブルまたはテーブル・カラムが見つかりません。Mobile Link テーブルがインストールされていないか、アップグレードが必要です。

**modify\_next\_last\_download\_timestamp スクリプトがないと、次の最終ダウンロード・タイムスタンプの生成を省略できません。**

エラー・コード	-10315
エラー定数	CANNOT_SKIP_GEN_NLDT_WITHOUT_MOD_NLDT

#### 考えられる原因

Mobile Link サーバは、次の同期におけるダウンロード・ストリームの作成に使用される次の最終ダウンロード・タイムスタンプの生成を、ユーザ定義の `prepare_for_download` スクリプトと `modify_next_last_download_timestamp` スクリプトに依存します。

**NULL SQL 文を実行しようとした。  
MLDBCommand.CommandText の値を設定してから  
MLDBCommand.Execute メソッドを呼び出してください。**

エラー・コード	-10196
エラー定数	EL_DNET_NO_EXECUTE_ON_NULL

#### 考えられる原因

NULL の SQL 文が実行されています。SQL 文が NULL ではないことを確認してから、実行してください。

**NULL SQL 文を準備しようとした。  
MLDBCommand.CommandText の値を設定してから  
MLDBCommand.Prepare() を呼び出してください。**

エラー・コード	-10195
エラー定数	EL_DNET_NO_PREPARE_ON_NULL

#### 考えられる原因

NULL の SQL 文が準備されています。SQL 文が NULL ではないことを確認してから、準備してください。



## NULL を使用できないカラムに NULL を設定しようとしています。

エラー・コード	-10029
エラー定数	NULL_FOR_NONNULL

### 考えられる原因

Mobile Link サーバが、NULL 入力が不可能なカラムに NULL をダウンロードしようとした。

## ODBC を初期化できません。

エラー・コード	-10066
エラー定数	ODBC_UNABLE_TO_INITIALIZE

### 考えられる原因

Mobile Link サーバが、ODBC レイヤを初期化できませんでした。Mobile Link サーバを起動するのに十分なメモリがあることを確認し、推奨された ODBC ドライバで Mobile Link サーバを起動してください。

## QAnywhere を使用する場合、非ブロッキング・ダウンロード確認モードのみサポートされています。

エラー・コード	-10285
エラー定数	QANYWHERE_FORCES_NONBLOCKING_MODE

### 考えられる原因

-nba- オプションを Mobile Link コマンド・ラインから削除してください。

## SQL パススルー・プロトコル・エラー : '%1'。テクニカル・サポートに連絡してください。

エラー・コード	-10300
エラー定数	SQL_PASSTHROUGH_PROTOCOL_ERROR

### 考えられる原因

弊社製品の保守契約を結んでいるサポート・センタにお問い合わせください。Mobile Link サーバ・ログを含めてください。

## SQL パススルーの修復中は、SQL パススルー・スクリプト ID を更新できません。

エラー・コード	-10298
エラー定数	UNABLE_TO_UPDATE_SQL_PASSTHROUGH_SCRIPT_ID

### 考えられる原因

SQL パススルー・スクリプトを修復しようとしているときに、Mobile Link サーバでデータベース・エラーが発生しました。解決策を見つけるには、データベース・エラーを確認してください。

## UNILIB 照合 %1 をロードできません : %2

エラー・コード	-10099
エラー定数	UNABLE_TO_LOAD_CID2
パラメータ 1	Unilib 文字セット ID。
パラメータ 2	Unilib エラー文字列。

### 考えられる原因

Mobile Link サーバが Unilib コンバータを初期化できません。インストールが破損しているか、必要な照合が使用不可です。

## upload\_fetch または upload\_fetch\_columns スクリプトのいずれか 1 つしかテーブル '%1' に定義できません。

エラー・コード	-10220
エラー定数	MULTIPLE_UPLOAD_FETCH_SCRIPTS
パラメータ 1	テーブル名。

**考えられる原因**

Mobile Link サーバでは、これらのいずれか1つのスクリプトを使用して競合が検出されます。いずれか1つのスクリプトだけを定義してください。

## UploadData インスタンスにメモリを割り付けることができません。

エラー・コード	-10222
エラー定数	EL_JAVA_FAILED_ALLOC_UPLOADED_TRANSACTION

**考えられる原因**

JAVA VM がメモリ不足です。Java VM に使用できるメモリ容量を増やしてみてください。

## アセンブリ '%1' に '%2' が含まれていません。

エラー・コード	-10172
エラー定数	EL_DNET_SCRIPT_NOT_IN_ASM
パラメータ 1	アセンブリ名。
パラメータ 2	見つからないメソッド名。

**考えられる原因**

メソッドは実装されているが、名前が間違っている場合は、名前を変更してください。メソッドがない場合は、アセンブリにメソッドを追加する必要があります。

## アセンブリ '%1' は、'%3' のバージョン %2 に対してコンパイルされています。バージョン %4 に対して再コンパイルしてください。

エラー・コード	-10171
エラー定数	EL_DNET_SCRIPT_VER_MISMATCH
パラメータ 1	アセンブリ名。
パラメータ 2	アセンブリのバージョン。

パラメータ 3	DLL 名。
パラメータ 4	必要なアセンブリのバージョン。

**考えられる原因**

表示されたバージョンの不一致を修正してから再実行してください。

**アセンブリ '%1' をドメイン '%2' にロードできません。**

エラー・コード	-10193
エラー定数	EL_DNET_ASM_LOAD_FAIL
パラメータ 1	アセンブリ名。
パラメータ 2	ドメイン名。

**考えられる原因**

指定されたアセンブリをロードできませんでした。 .NET CLR ユーティリティを使用してバインドとロードのログを記録して、問題を特定してください。

**アップロード・テーブル '%1' (カラム #%2) にはデータ型 '%3' がありますが、ODBC ドライバは '%4' をサポートしていません。**

エラー・コード	-10245
エラー定数	DATATYPE_NOT_SUPPORTED_BY_DRIVER
パラメータ 1	テーブル名。
パラメータ 2	カラムのインデックス。
パラメータ 3	SQL Anywhere データ型。
パラメータ 4	ODBC データ型。

**考えられる原因**

アップロード・テーブルに、ODBC ドライバでサポートされていないデータ型のカラムがあります。 Mobile Link サーバで、推奨される ODBC ドライバを使用していることを確認してください。

## アドレスを再利用できません (システム・エラー : %1)

エラー・コード	-10273
エラー定数	UNABLE_TO_REUSE_ADDRESS
パラメータ 1	システム・エラー。

### 考えられる原因

弊社製品の保守契約を結んでいるサポート・センタにお問い合わせください。

## インストール・ディレクトリまたはクラスパス内に JAR ファイル '%1' が見つかりません。

エラー・コード	-10142
エラー定数	EL_JAVA_JAR_NOT_FOUND
パラメータ 1	JAR ファイル名。

### 考えられる原因

見つからない JAR ファイルをインストールしてください。

## エラーがないか、または不明なエラーです

エラー・コード	0
エラー定数	NONE

### 考えられる原因

このコードは、エラーが発生しなかったか、未知のエラーが発生したことを示します。Mobile Link サーバは、エラー番号を割り当てませんでした。

## オプション '%1' および '%2' は同時に使用しないでください。

エラー・コード	-10139
エラー定数	EL_JAVA_EXCLUSIVE_FLAGS
パラメータ 1	オプション名。

パラメータ 2	オプション名。
---------	---------

**考えられる原因**

いずれか一方のオプションを使用するか、両方とも使用しないことを検討してください。両方とも使用することはできません。

**オプション '%1' にはパスが必要です。**

エラー・コード	-10140
エラー定数	EL_JAVA_FLAG_NEEDS_PATH
パラメータ 1	オプション名。

**考えられる原因**

このオプションに続いてパスを指定する必要があります。

**オプション '%1' は以前に、Mobile Link コマンド・ラインで値 '%2' を使用して定義されました。**

エラー・コード	-10162
エラー定数	EL_DNET_OPTION_DEFINED
パラメータ 1	オプションの名前。
パラメータ 2	余分なオプションの値。

**考えられる原因**

指定したオプションは、複数回指定できません。

**オプション '%1' は無効であるか、Mobile Link コマンド・ラインで正しく指定されませんでした。**

エラー・コード	-10163
エラー定数	EL_DNET_INVALID_OPTION
パラメータ 1	オプションの名前。

**考えられる原因**

オプションの指定方法が間違っています。

**オプションが多すぎて、Java VM に送ることができません。**

エラー・コード	-10146
エラー定数	EL_JAVA_TOO_MANY_OPTIONS

**考えられる原因**

Java VM に渡されたオプションの数が多すぎます。コマンド・ライン引数の数を減らしてください。

**カーソルで %1 カラムを予期しましたが、%2 が見つかりました。**

エラー・コード	-10050
エラー定数	ODBC_WRONG_NUM_COLUMNS
パラメータ 1	想定されていたカラム数。
パラメータ 2	見つかったカラム数。

**考えられる原因**

アップロード・スクリプトまたはダウンロード・スクリプトで検出されたパラメータの数が、指定されたテーブルに対するカラム数またはプライマリ・キー・カラム数と一致しません。指定されたスクリプトに対するパラメータの数を確認してください。

**カーソルベースのアップロードはサポートされなくなりました。文ベースのアップロードを行うようにテーブル '%1' のスクリプトを変更してください。**

エラー・コード	-10248
エラー定数	CURSORED_UPLOAD_NOT_SUPPORTED_XXX
パラメータ 1	テーブル名。

### 考えられる原因

Mobile Link サーバでカーソルベースのアップロードがサポートされなくなりました。文ベースのアップロードを使用するようにアップロード・テーブル・スクリプトを書き直してください。

## クライアント・エラー %1 が発生し、アップロードに失敗しました。

エラー・コード	-10032
エラー定数	UPLOAD_FAILED
パラメータ 1	クライアントが送信したエラー番号。

### 考えられる原因

クライアントがアップロード中にリモート・サイトに問題があることを示したので、Mobile Link サーバは同期をアボートしました。

## クライアント・エラー %1 が発生し、ダウンロードに失敗しました。

エラー・コード	-10035
エラー定数	DOWNLOAD_FAILED_WITH_ERROR
パラメータ 1	クライアントが送信したエラー番号。

### 考えられる原因

クライアントがダウンロード中にリモート・サイトに問題があることを示した場合、Mobile Link サーバは同期をアボートします。

## クライアント・テーブル '%1' のカラム数が ml\_column で定義された値と一致していません。

エラー・コード	-10280
エラー定数	INVALID_NUMBER_OF_CLIENT_COLUMNS
パラメータ 1	テーブルの名前。



**考えられる原因**

クライアントからテーブルに対して送信されたカラムの数が `ml_column` で定義された数よりも多くなっています。`ml_column` が最新の状態であることを確認してください。

**クライアントから %1 認証パラメータを予期していましたが、スクリプト %3 に対して %2 を受信しました。**

エラー・コード	-10094
エラー定数	WRONG_AUTH_PARM_COUNT
パラメータ 1	想定されていたパラメータ数。
パラメータ 2	クライアントから渡されたパラメータ数。
パラメータ 3	パラメータが必要なスクリプト。

**考えられる原因**

クライアントから受信した認証パラメータの数が、予期した数と一致しません。クライアント・パラメータの数は、`authenticate_parameters` スクリプトが要求する数より 2 小さい数です。

**クライアントから受信したサブスクリプション・リストは、破損しているか無効です。**

エラー・コード	-10291
エラー定数	CORRUPT_MLSUBS_DATA

**考えられる原因**

Mobile Link サーバが、クライアントから破損しているデータを受信しました。弊社製品の保守契約を結んでいるサポート・センタに問い合わせてください。

**クライアントは、テーブル '%1' に対するトランケート要求を処理できません。**

エラー・コード	-10089
エラー定数	CLIENT_TOO_OLD_FOR_TRUNCATE
パラメータ 1	テーブル名。

**考えられる原因**

download\_delete\_cursor スクリプトが、テーブルをトランケートすることを要求しています。このアクションを処理するには、クライアントを新しいバージョンに更新する必要があります。

## クライアントはクライアント・トランザクション・ログから統合プロセス・オフセットを見つけられません。

エラー・コード	-10090
エラー定数	CANNOT_FIND_PROG_OFFSET

**考えられる原因**

統合データベースとリモート・データベースで進行オフセットが異なっていると、Mobile Link サーバは統合データベースからの進行オフセットを使用して再度同期をやり直すよう、クライアントに依頼する場合があります。しかし、古いトランザクション・ログが削除されたか、要求されたオフセットがまだ作成されていないため、要求された統合進行オフセットをリモート・データベースのトランザクション・ログで検出できません。この問題の原因となったソースを発見し、-ra または -rb オプションを使用して dbmlsync を再実行してください。

## クラス '%1' に適当なコンストラクタが見つかりませんでした。

エラー・コード	-10153
エラー定数	EL_JAVA_NO_SUITABLE_CONSTRUCTOR
パラメータ 1	クラス名。

**考えられる原因**

インスタンスを作成するために Mobile Link が呼び出しできるパブリック・コンストラクタがユーザ指定クラスにあることを確認してください。

## クラス '%1' のイニシャライザで例外がスローされました。エラーの説明 : '%2' スタック・トレース : '%3'

エラー・コード	-10149
エラー定数	EL_JAVA_USER_EXCEPTION_IN_INIT
パラメータ 1	クラス名。
パラメータ 2	エラー・テキスト。

パラメータ 3	スタック・トレース。
---------	------------

**考えられる原因**

ユーザ指定のクラスのスタック初期化で例外がスローされました。スタック・トレースを確認し、問題を修正してください。

## クラス '%1' のコンストラクタでシステム例外がスローされました。エラーの説明 : '%2'

エラー・コード	-10155
エラー定数	EL_JAVA_SYSTEM_EXCEPTION_IN_CONSTRUCTOR
パラメータ 1	クラス名。
パラメータ 2	エラー・テキスト。

**考えられる原因**

ユーザ・クラスのコンストラクタの呼び出し時にシステム例外がスローされました。スタック・トレースを確認し、エラーを修正してください。

## クラス '%1' のコンストラクタで例外がスローされました。エラーの説明 : '%2' スタック・トレース : '%3'

エラー・コード	-10154
エラー定数	EL_JAVA_USER_EXCEPTION_IN_CONSTRUCTOR
パラメータ 1	クラス名。
パラメータ 2	エラー・テキスト。
パラメータ 3	スタック・トレース。

**考えられる原因**

ユーザ・クラスのコンストラクタの呼び出し時にユーザ例外がスローされました。スタック・トレースを確認し、エラーを修正してください。

## クラス '%1' の有効なコンストラクタが見つかりませんでした。

エラー・コード	-10161
エラー定数	EL_DNET_NO_VALID_CONSTRUCTOR_ERROR
パラメータ 1	クラス名。

### 考えられる原因

Mobile Link サーバで、このクラスの有効なコンストラクタを見つけることができませんでした。

## クラス '%1' をロードしているときにリンク・エラーが発生しました。エラーの説明 : '%2'

エラー・コード	-10150
エラー定数	EL_JAVA_LINKAGE_ERROR
パラメータ 1	クラス名。
パラメータ 2	エラー・テキスト。

### 考えられる原因

Java VM がクラスをロードできませんでした。出力されたエラーの説明を確認し、問題を修正してください。

## クラスパス '%1' が長すぎます。

エラー・コード	-10141
エラー定数	EL_JAVA_CLASSPATH_TOO_LONG
パラメータ 1	クラスパス。

### 考えられる原因

クラスパスが長すぎます。長さが短くなるようにクラスパスを修正してください。

このサーバでは共有サーバ・ステータスが有効ではありませんが、この統合データベースに接続している他のサーバでは共有サーバ・ステータスが有効です。

エラー・コード	-10311
エラー定数	SHARED_STATE_OTHERS_IN_SHARED_MODE

#### 考えられる原因

同じ統合データベースに接続されているすべてのサーバで、共有サーバ・ステータスが有効になっている必要があります。このサーバの起動時に、'-ss' オプションを使用してください。

このサーバには **dbmlsync** を使用するためのライセンスが付与されていません。

エラー・コード	-10314
エラー定数	UNLICENSED_FOR_MLSYNC

#### 考えられる原因

Mobile Link サーバの一部のライセンスでは、dbmlsync の使用が許可されていません。このサーバとの同期に dbmlsync を使用することはできません。

このサーバには **QAnywhere** を使用するためのライセンスが付与されていません。

エラー・コード	-10313
エラー定数	UNLICENSED_FOR_QANYWHERE

#### 考えられる原因

Mobile Link サーバの一部のライセンスでは、QAnywhere の使用が許可されていません。-m オプションは使用できません。

このサーバには、次のタイプの統合データベースに接続するためのライセンスが付与されていません：**%1**

エラー・コード	-10309
---------	--------

エラー定数	UNLICENSED_FOR_THIS_CONSOLIDATED_TYPE
パラメータ 1	統合データベースのタイプ。

**考えられる原因**

いくつかの Mobile Link サーバ・ライセンスが特定のタイプの統合データベースに制限されています。ライセンスが付与されているタイプの統合データベースに接続する DSN を使用してください。

## このサーバにはダイレクト・ロー API を使用するためのライセンスが付与されていません。

エラー・コード	-10312
エラー定数	UNLICENSED_FOR_DIRECT_ROW_API

**考えられる原因**

Mobile Link サーバの一部のライセンスでは、ダイレクト・ロー API の使用が許可されていません。handle\_UploadData または handle\_DownloadData スクリプトを指定することはできません。

## このユーザに対する SQL パススルーの修復アクション '%1' は無効です。このユーザの SQL パススルーは中止されました。

エラー・コード	-10299
エラー定数	UNKNOWN_PASSTHROUGH_REPAIR_ACTION

**考えられる原因**

この失敗した SQL パススルー・スクリプトに対して指定されている、SQL パススルーの不明な修復アクションを修正してください。

## この接続のトランザクションは、コミットまたはロールバックできません。

エラー・コード	-10202
エラー定数	EL_DNET_TRANSACTS_NOT_ALLOWED

**考えられる原因**

Mobile Link サーバによって制御されているデータベース接続でトランザクションのコミットまたはロールバックが試行されました。スクリプトとして呼び出されるメソッドから、Mobile Link サーバのデータベース接続をコミットまたはロールバックしないでください。

**この接続は、以前のエラーのために中止されます。**

エラー・コード	-10091
エラー定数	CONNECTION_ABANDONED

**考えられる原因**

アップロード・ストリームの処理中に発生したエラーが重大なため、今後の作業は無効になります。おそらく I/O エラーまたはプロトコルの問題が原因です。

**この同期は、ブロッキング・ダウンロード確認を使用していますが、非ブロッキング・ダウンロード確認イベントが定義されています。**

エラー・コード	-10284
エラー定数	NONBLOCKING_EVENTS_FOR_BLOCKING_ACK

**考えられる原因**

ブロッキング・ダウンロード確認を使用している同期に対して `nonblocking_download_ack` イベントおよび `publication_nonblocking_download_ack` イベントを定義することはできません。-nba フラグの設定を確認するか、イベントを削除してください。

**サーバ共有ステータスに内部エラーが発生しました。 '%1'**

エラー・コード	-10302
エラー定数	SHARED_STATE_INTERNAL_ERROR

**考えられる原因**

Mobile Link がサーバ共有ステータスにエラーを検出しました。サーバ設定や統合データベースに設定の問題がないか確認してください。

**サーバ共有ステータスを初期化できません。**

エラー・コード	-10301
エラー定数	SHARED_STATE_INTIALIZATION_ERROR

**考えられる原因**

Mobile Link サーバが、サーバ共有ステータスを初期化できませんでした。使用している統合データベースの設定を確認してください。

**サーバ名が設定されていないため、共有サーバ・ステータスで開始できません。-zs オプションを使用してサーバ名を設定してください。**

エラー・コード	-10304
エラー定数	SHARED_STATE_SERVER_NAME_NOT_SPECIFIED

**考えられる原因**

サーバ共有ステータスを使用している場合は、サーバ名を指定してください。-zs オプションを使用してサーバ名を設定してください。

**システム・パラメータ %1 に NULL が設定されています。**

エラー・コード	-10229
エラー定数	SYSTEM_PARAMETER_NULL
パラメータ 1	システム・パラメータ名。

**考えられる原因**

システム・パラメータは変更できますが、NULL には設定できません。

**スクリプト %1 のクラスおよびメソッド名を解析できません。**

エラー・コード	-10125
エラー定数	EL_JAVA_SCRIPT_FORMAT_ERROR
パラメータ 1	スクリプト名。



**考えられる原因**

Java 同期スクリプトの正しいフォーマットは 'myPackage.myClass.myMethod' です。

**スクリプト '%1' からタイプ '%2' のオブジェクトが返されましたが、このタイプは、'System.Void' または 'System.String' のサブタイプではありません。**

エラー・コード	-10185
エラー定数	EL_DNET_INVALID_RETURN_OBJ
パラメータ 1	メソッド名。
パラメータ 2	返されたオブジェクトのタイプ。

**考えられる原因**

スクリプトを呼び出したときに、予期しないタイプのオブジェクトが返されました。常に正しいタイプのオブジェクトを返すようにメソッドを変更してください。

**スクリプト '%1' でエラーが発生しました。**

エラー・コード	-10189
エラー定数	EL_DNET_USER_SCRIPT_ERROR
パラメータ 1	スクリプト。

**考えられる原因**

スクリプトを呼び出したときに ScriptExecutionException がトリガされました。

**スクリプト '%1' でサーバ・エラーが報告されました。**

エラー・コード	-10188
エラー定数	EL_DNET_SERVER_ERROR
パラメータ 1	スクリプト。

**考えられる原因**

スクリプトを呼び出したときに ServerException がトリガされました。

## スクリプト '%1' で致命的なエラーが報告されました。

エラー・コード	-10190
エラー定数	EL_DNET_FATAL_ERROR
パラメータ 1	スクリプト。

### 考えられる原因

スクリプトを呼び出したときに FatalException がトリガされました。

## スクリプト '%1' で同期エラーが報告されました。

エラー・コード	-10186
エラー定数	EL_DNET_SYNC_ERROR
パラメータ 1	スクリプト。

### 考えられる原因

スクリプトを呼び出したときに SynchronizationException がトリガされました。

## スクリプト '%1' には %2 パラメータが必要ですが、%3 パラメータが指定されています。

エラー・コード	-10184
エラー定数	EL_DNET_NUM_PARAMS_MISMATCH
パラメータ 1	スクリプト。
パラメータ 2	メソッド・パラメータの必要な数。
パラメータ 3	メソッド・パラメータの指定した数。

### 考えられる原因

スクリプトによって呼び出されるメソッドには、この数のパラメータを指定できる必要があります。メソッドを変更してください。

## スクリプト '%1' には、無効なパラメータ参照が含まれていません : '%2'

エラー・コード	-10239
エラー定数	INVALID_NAMED_PARAMETER_NUMBER
パラメータ 1	スクリプト名。
パラメータ 2	パラメータ番号。

### 考えられる原因

スクリプトに、0 であるか、大きすぎるパラメータへの数値参照が含まれます。

## スクリプト '%1' には、無効なユーザ・パラメータが含まれています : '%2'

エラー・コード	-10240
エラー定数	INVALID_NAMED_USER_PARAMETER
パラメータ 1	スクリプト名。
パラメータ 2	パラメータ番号。

### 考えられる原因

スクリプトに、ユーザ・パラメータへの数値参照が含まれます。

## スクリプト '%1' には、無効な文字を含む名前付きパラメータが含まれています。

エラー・コード	-10235
エラー定数	INVALID_NAMED_PARAMETER_CHAR
パラメータ 1	スクリプト名。

### 考えられる原因

SQL Anywhere 識別子の命名規則に従う必要があります。

## スクリプト '%1' には、名前付きパラメータを使用するための無効な構文が含まれています。

エラー・コード	-10236
エラー定数	INVALID_NAMED_PARAMETER_SCRIPT
パラメータ 1	スクリプト名。

### 考えられる原因

スクリプトに、正しい形式の名前付きパラメータ・シーケンスが含まれません。スクリプト・パラメータを名前で参照するには、`{ml parameter}` のように、パラメータを中カッコで囲み、前に `ml` を付けます。たとえば、`{ml s.action_code}` のように指定します。

## スクリプト '%1' に不正なフォーマットが使用されています。

エラー・コード	-10182
エラー定数	EL_DNET_INVALID_SCRIPT_NAME
パラメータ 1	スクリプト。

### 考えられる原因

スクリプトのフォーマットが無効です。正しいフォーマットは `myDomain:myClass.myMethod` または `just myClass.myMethod` です。

## スクリプト '%1' のパラメータ名が無効です (名前が短すぎるか長すぎます)。

エラー・コード	-10226
エラー定数	INVALID_NAMED_PARAMETER_LENGTH
パラメータ 1	スクリプト名。

### 考えられる原因

名前付きパラメータが検出されましたが、名前がないか、名前が長すぎます。

スクリプト '%1' は '%2' オブジェクトを返しますが、戻り値のタイプは 'System.Void' および 'System.String' のみがサポートされています。

エラー・コード	-10173
エラー定数	EL_DNET_INVALID_RETURN_TYPE
パラメータ 1	メソッド名。
パラメータ 2	返されたオブジェクトのタイプ。

#### 考えられる原因

メソッドは、予期しないタイプを返すように宣言されています。正しいタイプを返すようにメソッドを変更してください。

スクリプト '%1' は、'%2' のメンバですが、スクリプト・バージョンでは %3 クラスのみ許可されています。

エラー・コード	-10204
エラー定数	EL_DNET_TOO_MANY_CLASSES_PER_VERSION
パラメータ 1	メソッド名。
パラメータ 2	クラス名。
パラメータ 3	許可されているクラス数。

#### 考えられる原因

1つのスクリプト・バージョンで、この数よりも多いクラス数を明示的に参照することはできません。このエラーが発生した場合は、各イベントで使用しているすべてのメソッドを含むラップ・クラスを作成してください。

スクリプト '%1' は、テーブル '%2' のカラム %3 を参照していますが、テーブルには %4 カラムしかありません。

エラー・コード	-10241
エラー定数	INVALID_TABLE_COLUMN

パラメータ 1	スクリプト名。
パラメータ 2	テーブルの名前。
パラメータ 3	パラメータ番号。
パラメータ 4	テーブル・カラムの数。

**考えられる原因**

スクリプトに、0 であるか、大きすぎるパラメータへの参照が含まれます。

**スクリプト '%1' は、入出力パラメータ '%2' を 2 回以上参照しています。**

エラー・コード	-10237
エラー定数	MULTI_USE_INOUT_PARAMETER
パラメータ 1	スクリプト名。
パラメータ 2	パラメータ名。

**考えられる原因**

入出力パラメータは、スクリプトに 1 回だけ渡すことができます。

**スクリプト '%1' は、認証パラメータ %2 を参照していますが、%3 しかありません。**

エラー・コード	-10242
エラー定数	INVALID_AUTH_PARM_NUMBER
パラメータ 1	スクリプト名。
パラメータ 2	パラメータ番号。
パラメータ 3	パラメータ数。

**考えられる原因**

スクリプトに、存在しない認証パラメータへの参照が含まれます。

**スクリプト '%1' は、不明な認証パラメータ '%2' を参照しています。**

エラー・コード	-10243
エラー定数	UNKNOWN_AUTH_PARM
パラメータ 1	スクリプト名。
パラメータ 2	パラメータ名。

#### 考えられる原因

スクリプトに、存在しない認証パラメータへの参照が含まれます。

**スクリプト '%1' はプレイメージのロー・データを処理できません。**

エラー・コード	-10234
エラー定数	SCRIPT_NO_OLD_ROW_DATA
パラメータ 1	スクリプト名。

#### 考えられる原因

プレイメージのロー・データを参照する名前付きパラメータを使用できるのは、プレイメージのロー・データを処理するスクリプトだけです。

**スクリプト '%1' はロー・データを処理できません。**

エラー・コード	-10231
エラー定数	SCRIPT_NO_ROW_DATA
パラメータ 1	スクリプト名。

#### 考えられる原因

ロー・データを参照する名前付きパラメータを使用できるのは、ロー・データを処理するスクリプトだけです。

## スクリプト '%1' を実行できません。

エラー・コード	-10205
エラー定数	EL_DNET_SCRIPT_EXEC_FAIL
パラメータ 1	スクリプト。

### 考えられる原因

Mobile Link サーバで、このスクリプトを呼び出すことができませんでした。Mobile Link サーバのログで以前のエラーを確認してください。

## スクリプト '%1.%2' を実行するための引数が足りません。%3の引数が必要なのに、利用できるのは %4 だけです。

エラー・コード	-10130
エラー定数	EL_JAVA_NOT_ENOUGH_PARMS
パラメータ 1	クラス名。
パラメータ 2	メソッド名。
パラメータ 3	必要なパラメータ数。
パラメータ 4	指定したパラメータ数。

### 考えられる原因

マニュアルで、このスクリプトに関連するイベントに関する説明を参照してください。

## スクリプト '%2' のシステム・パラメータ '%1' が不明です。

エラー・コード	-10227
エラー定数	UNKNOWN_NAMED_SYSTEM_PARAMETER
パラメータ 1	不明なシステム・パラメータ名。
パラメータ 2	スクリプト名。

### 考えられる原因

この名前付きシステム・パラメータは、有効なシステム・パラメータのリストにありません。



## スクリプト '%2' のシステム・パラメータ '%1' が無効です。

エラー・コード	-10228
エラー定数	INVALID_NAMED_SYSTEM_PARAMETER
パラメータ 1	無効なシステム・パラメータ名。
パラメータ 2	スクリプト名。

### 考えられる原因

このスクリプトでは名前付きシステム・パラメータを使用できません。

## スクリプト・クラス '%1' にパブリック・メソッドがありませんでした。

エラー・コード	-10151
エラー定数	EL_JAVA_NO_PUBLIC_METHODS
パラメータ 1	クラス名。

### 考えられる原因

Mobile Link によって呼び出すことができるように、スクリプト・クラスにはパブリック・メソッドが必要です。修正したクラスを指定してください。

## スクリプト・バージョンごとに 1 つのドメインのみ使用できません。スクリプト '%2' がドメイン '%3' の使用を試みたとき、ドメイン '%1' は使用中でした。

エラー・コード	-10183
エラー定数	EL_DNET_ONE_DOMAIN_PER_VERSION
パラメータ 1	ドメイン名。
パラメータ 2	スクリプト。
パラメータ 3	余分なドメイン名。

**考えられる原因**

スクリプトが myDomain:myClass.myMethod の形式で、同じスクリプト・バージョンの別のスクリプトで別のドメイン名が使用されました。同じスクリプト・バージョンのスクリプトには同じドメインを使用してください。

## スクリプトで %1 パラメータを予期しましたが、%2 しか見つかりませんでした : %3

エラー・コード	-10047
エラー定数	ODBC_WRONG_NUM_PARAMETERS
パラメータ 1	想定されていたパラメータ数。
パラメータ 2	見つかったパラメータ数。
パラメータ 3	スクリプト名。

**考えられる原因**

指定されたスクリプトで検出されたパラメータの数が多すぎます。指定されたスクリプトに対するパラメータの数を確認してください。

## スクリプトで最低 %1 のパラメータを予期しましたが、%2 しか見つかりませんでした : %3

エラー・コード	-10048
エラー定数	ODBC_WRONG_NUM_PARAMETERS_AT_LEAST
パラメータ 1	想定されていたパラメータの最小数。
パラメータ 2	見つかったパラメータ数。
パラメータ 3	スクリプト名。

**考えられる原因**

指定されたスクリプトで検出されたパラメータの数が十分ではありません。指定されたスクリプトに対するパラメータの数を確認してください。

## スクリプトのバージョン '%1' を追加できませんでした。

エラー・コード	-10254
エラー定数	UNABLE_TO_ADD_VERSION
パラメータ 1	バージョン文字列。

### 考えられる原因

サーバでこのスクリプト・バージョンを自動的に追加できませんでした。このエラーは、通常はモニタを接続するときに発生します。モニタでは、for\_ML\_Monitor\_only というスクリプト・バージョンが使用されます。データベースのパーミッションを確認するか、スクリプト・バージョンを直接追加してください。

## スクリプトの実行に必要なメモリを割り付けることができません。

エラー・コード	-10170
エラー定数	EL_DNET_MEM_ALLOC_FAIL

### 考えられる原因

RAM を追加するか、他のプログラムを終了するか、.NET 同期スクリプトに必要なメモリを減らすことを検討してください。

## スクリプトを NULL として定義することはできません。

エラー・コード	-10039
エラー定数	CURSOR_SCRIPTS_MUST_BE_NON_NULL

### 考えられる原因

スクリプトは NULL または空の文字列として定義できません。NULL または空の文字列として定義されているスクリプトがないか、スクリプトの定義を確認してください。

## スクリプトをフラッシュできません。

エラー・コード	-10020
エラー定数	ERROR_FLUSH_SCRIPTS

**考えられる原因**

Mobile Link サーバは、統合データベース・サーバに接続して ml\_scripts\_modified テーブルを問い合わせることによって、常に各同期の始めにキャッシュされたスクリプトを更新します。Mobile Link サーバが、スクリプトをフラッシュしているときに問題が発生しました。

## スクリプトを解析できません。'%1' という名前の 2 つのメソッドがクラス '%2' 内に見つかりました。

エラー・コード	-10152
エラー定数	EL_JAVA_DUPLICATE_METHODS
パラメータ 1	メソッド名。
パラメータ 2	クラス名。

**考えられる原因**

ユーザ指定クラスで呼び出すメソッド名が指定された場合、そのクラスにはその名前のメソッドが 1 つのみ存在していなければなりません。メソッドのオーバーロードはサポートされていません。クラスを変更してください。

## ストリーム %2 の DLL または共有オブジェクト %1 をロードできません : %3

エラー・コード	-10108
エラー定数	CANNOT_LOAD_DLL_FOR_STREAM
パラメータ 1	DLL または共有オブジェクトの名前。
パラメータ 2	ストリーム・タイプ。
パラメータ 3	ストリーム名。

**考えられる原因**

このストリームの DLL または共有オブジェクトをロードできませんでした。正しいバージョンの DLL または共有オブジェクトが正しいロケーションにあることを確認してください。

## ストリーム %2 のストリーム・パラメータ %1 の無効なコンテキスト : %3

エラー・コード	-10219
エラー定数	BAD_STREAM_PARM_CONTEXT
パラメータ 1	パラメータ名。
パラメータ 2	ストリーム番号。
パラメータ 3	ストリーム指定。

### 考えられる原因

指定したパラメータは、このストリームでは無効です。一部のパラメータはサーバ環境で指定できますが、クライアントのためにはできません。

## ストリーム %2 の無効なストリーム・パラメータ %1 : %3

エラー・コード	-10217
エラー定数	BAD_STREAM_PARM
パラメータ 1	パラメータ名。
パラメータ 2	ストリーム番号。
パラメータ 3	ストリーム指定。

### 考えられる原因

指定したパラメータは、このストリームでは無効です。スペル・ミスがないか確認してください。

## ストリーム %3 の無効な値 %1 のストリーム・パラメータ %2 : %4

エラー・コード	-10218
エラー定数	BAD_STREAM_PARM_VALUE
パラメータ 1	パラメータ値。
パラメータ 2	パラメータ名。

パラメータ 3	ストリーム番号。
パラメータ 4	ストリーム指定。

#### 考えられる原因

指定したパラメータの値は、このストリームでは無効です。

## ストリーム・エラー : %1

エラー・コード	-10117
エラー定数	STREAM_ERROR
パラメータ 1	エラー・メッセージ。

#### 考えられる原因

一般的なストリーム・エラーです。エラーの詳細は、メッセージの本文にあります。

## スナップショットにトランザクションの独立性レベルを設定できません。

エラー・コード	-10247
エラー定数	UNABLE_TO_SET_SNAPSHOT_ISOLATION

#### 考えられる原因

Mobile Link サーバでトランザクションの独立性レベルをスナップショットに設定できませんでした。Mobile Link サーバを統合データベースに接続するためのユーザ ID に、独立性レベルを変更するパーミッションがあることと、データベースでスナップショット・アイソレーションが許可されていることを確認してください。

## スレッドを .NET ランタイムに付加できません。

エラー・コード	-10168
エラー定数	EL_DNET_WORKER_ATTACH_FAIL

#### 考えられる原因

これは内部の起動エラーです。弊社製品の保守契約を結んでいるサポート・センタにお問い合わせください。

## スレッドを Java VM に付加しているときにエラーが発生しました。

エラー・コード	-10126
エラー定数	EL_JAVA_THREAD_ATTACH_ERROR

### 考えられる原因

これは内部の起動エラーです。保守契約を結んでいるサポート・センタにお問い合わせください。

## ソケット '%1' でハード・クローズを実行できません。

エラー・コード	-10266
エラー定数	UNABLE_TO_PERFORM_HARD_CLOSE_ON_SOCKET
パラメータ 1	ソケット。

### 考えられる原因

弊社製品の保守契約を結んでいるサポート・センタにお問い合わせください。

## ソケット・セレクタ通知の UNIX パイプを作成できません (システム・エラー : %1)

エラー・コード	-10272
エラー定数	UNABLE_TO_CREATE_UNIX_PIPE
パラメータ 1	システム・エラー。

### 考えられる原因

弊社製品の保守契約を結んでいるサポート・センタにお問い合わせください。

## ソケットをポーリングできません (システム・エラー : %1)

エラー・コード	-10274
エラー定数	UNABLE_TO_POLL_SOCKET

パラメータ 1	システム・エラー。
---------	-----------

**考えられる原因**

弊社製品の保守契約を結んでいるサポート・センタにお問い合わせください。

**ソケットを完了ポートに関連付けられませんでした (システム・エラー : %1)**

エラー・コード	-10263
エラー定数	UNABLE_TO_ASSOCIATE_SOCKET_WITH_COMPL_PORT
パラメータ 1	システム・エラー。

**考えられる原因**

弊社製品の保守契約を結んでいるサポート・センタにお問い合わせください。

**ソケットを閉じられません (システム・エラー : %1)**

エラー・コード	-10271
エラー定数	UNABLE_TO_CLOSE_SOCKET
パラメータ 1	システム・エラー。

**考えられる原因**

弊社製品の保守契約を結んでいるサポート・センタにお問い合わせください。

**ソケット削除要求を完了キューに通知できません (システム・エラー : %1)**

エラー・コード	-10267
エラー定数	UNABLE_TO_POST_SOCKET_DELETION_REQUEST
パラメータ 1	システム・エラー。

**考えられる原因**

弊社製品の保守契約を結んでいるサポート・センタにお問い合わせください。



**タイプ '%2' の引数を持つメソッド '%1' を呼び出せませんでした。**

エラー・コード	-10157
エラー定数	EL_JAVA_WRONG_PARM_TYPE
パラメータ 1	メソッド名。
パラメータ 2	タイプ名。

#### 考えられる原因

この呼び出しで予期されている引数のタイプを判断するには、Mobile Link のマニュアルを参照してください。

**テーブル '%1' (カラム #%2) にダウンロードされた値に、変換できない文字データが含まれています。**

エラー・コード	-10211
エラー定数	DOWNLOAD_DATA_TRANS_ERROR
パラメータ 1	テーブル名。
パラメータ 2	カラムのインデックス。

#### 考えられる原因

統合データベースで生成された文字データは、クライアントの文字セットに変換してからクライアントに送信する必要がありますが、Mobile Link サーバがデータを変換できませんでした。

**テーブル '%1' (カラム #%2) にダウンロードされた値は、リモート・スキーマ・タイプには大きすぎるか不正です。**

エラー・コード	-10038
エラー定数	STRING_TOO_BIG
パラメータ 1	テーブル名。
パラメータ 2	カラムのインデックス。

**考えられる原因**

指定されたテーブルのカラム幅が、統合データベースとリモート・データベースで一貫して定義されていない可能性があります。テーブルの定義を確認してください。

## テーブル '%1' (カラム #%2) にダウンロードされた値は、無効なユニーク識別子の文字列です。

エラー・コード	-10216
エラー定数	INVALID_UUID_STRING
パラメータ 1	テーブル名。
パラメータ 2	カラムのインデックス。

**考えられる原因**

Mobile Link サーバが文字列をユニークな識別子に変換できません。SQL Anywhere 以外の統合データベースでデータ型 CHAR または VARCHAR を使用して、リモート・データベースの UNIQUEIDENTIFIER をマッピングし、統合データベースの文字列が有効でユニークな識別子であることを確認してください。

## テーブル '%1' で、ml\_column テーブルでのカラム名が '%2' であるカラムのインデックスが、リモート・カラムの数よりも大きくなっています。

エラー・コード	-10281
エラー定数	INVALID_REF_TO_ML_COLUMN_NAME
パラメータ 1	テーブルの名前。
パラメータ 2	ml_column テーブルのカラムの名前。

**考えられる原因**

同期スクリプトに無効な名前付きパラメータ参照が含まれています。このスクリプトのバージョンやテーブルを ml\_column テーブルで確認し、カラムの名前と順序がリモートからの名前や順序と一致するようにします。最も考えられる原因は、名前付きパラメータで無効なカラムが指定されたか、有効なカラム・エン트리よりも前に ml\_column テーブルに無効なエン트리があります。

**テーブル '%1' には '%2' という名前のカラムがありません。**

エラー・コード	-10233
エラー定数	UNKNOWN_TABLE_COLUMN
パラメータ 1	テーブルの名前。
パラメータ 2	カラムの名前。

**考えられる原因**

スクリプトで参照しているカラム名が、テーブルのカラム名のリストにありません。

**テーブル '%1' には BLOB が含まれているため、カラム・レベルの競合を検出することはできません。**

エラー・コード	-10224
エラー定数	COLUMN_CONFLICT_DET_WITH_BLOB
パラメータ 1	テーブル名。

**考えられる原因**

BLOB を含むテーブルには、カラム・レベルの競合検出を使用できません。BLOB を含むテーブルには、ロー・レベルの競合検出スクリプト `upload_fetch` を使用してください。

**テーブル '%1' に定義されたアップロード・データ・スクリプトがありません。アップロード・データが失われても同期処理を行う場合は、-fr コマンド・ライン・オプションを使用します。**

エラー・コード	-10092
エラー定数	NO_UPLOAD_DATA_SCRIPT
パラメータ 1	テーブル名。

**考えられる原因**

テーブルのダウンロード・データ・スクリプトがない場合、アップロード・データを失う可能性があります。この状況を回避するため、同期はアボートされます。アップロード・データが失われてもかまわない場合は、-fr を使用して強制的に同期を継続できます。

**テーブル '%1' に定義されたダウンロード・データ・スクリプトがありません。ダウンロード・データが失われても同期処理を行う場合は、-fr コマンド・ライン・オプションを使用します。**

エラー・コード	-10093
エラー定数	NO_DOWNLOAD_DATA_SCRIPT
パラメータ 1	テーブル名。

#### 考えられる原因

テーブルのダウンロード・データ・スクリプトがなく、同期がダウンロードのみである場合、ダウンロード・データを失う可能性があります。この状況を回避するため、同期はアボートされます。ダウンロード・データが失われてもかまわない場合は、-fr を使用して強制的に同期を継続できます。

**テーブル '%1' への更新ローのアップロード中にエラーが発生しました。更新されたカラム値は次のとおりです。**

エラー・コード	-10063
エラー定数	UPDATED_ROW_ERROR
パラメータ 1	スクリプト名。

#### 考えられる原因

Mobile Link サーバが更新されたローを統合データベースの指定されたテーブルにアップロードしているときに、エラーが発生しました。

**テーブル '%1' への削除ローのアップロード中にエラーが発生しました。削除されたカラムの値は次のとおりです。**

エラー・コード	-10062
エラー定数	DELETED_ROW_ERROR
パラメータ 1	スクリプト名。

#### 考えられる原因

Mobile Link サーバが削除されたローを統合データベースの指定されたテーブルにアップロードしているときに、エラーが発生しました。

**テーブル '%1' への挿入ローをアップロード中にエラーが発生しました。挿入したカラムの値は次のとおりです。**

エラー・コード	-10061
エラー定数	INSERTED_ROW_ERROR
パラメータ 1	スクリプト名。

#### 考えられる原因

Mobile Link サーバが挿入されたローを統合データベースの指定されたテーブルにアップロードしているときに、エラーが発生しました。

**テーブル '%2' のカラム %1 のアップロード・データが無効です。**

エラー・コード	-10308
エラー定数	INVALID_TABLE_DATA
パラメータ 1	カラムのインデックス。
パラメータ 2	テーブル名。

#### 考えられる原因

クライアントからアップロードされたデータを処理できません。データが範囲外であるか、データを変換できません。

**テーブル・スクリプト %1.%2 をフェッチしているときにエラーが発生しました。**

エラー・コード	-10019
エラー定数	ERROR_FETCHING_TABLE_SCRIPT
パラメータ 1	テーブル名。
パラメータ 2	スクリプト名。

### 考えられる原因

Mobile Link サーバが、テーブル・スクリプトをリフレッシュできませんでした。データベース・サーバが稼働中であり、ネットワークに異常がないか確認してください。

## テンポラリ・ファイル '%1' を開けません。

エラー・コード	-10212
エラー定数	CANNOT_OPEN_TEMP_FILE
パラメータ 1	ファイル名。

### 考えられる原因

Mobile Link サーバは中間データの保管にテンポラリ・ファイルを使用する場合があります。Mobile Link サーバにテンポラリ・ファイルを作成するパーミッションがあることを確認してください。

## ドメイン '%1' にタイプ '%2' のアセンブリがありません。

エラー・コード	-10179
エラー定数	EL_DNET_NO_ASM_CONTAINS_TYPE
パラメータ 1	ドメイン名。
パラメータ 2	タイプ名。

### 考えられる原因

指定したドメインでタイプが定義されていることを確認してください。

## ドメイン '%1' はドメイン設定ファイルで指定されていません。

エラー・コード	-10178
エラー定数	EL_DNET_DOMAIN_NOT_FOUND
パラメータ 1	ドメイン名。

### 考えられる原因

イベント・スクリプトのドメイン名は、設定済みのいずれのドメインにも一致しません。

## ドメイン '%1' を作成できませんでした。

エラー・コード	-10192
エラー定数	EL_DNET_CREATE_DOMAIN_FAIL
パラメータ 1	ドメイン名。

### 考えられる原因

.NET CLR は、示されたドメインの作成を拒否しました。ドメインの設定を修正してから再実行してください。

## ドメイン ID %1 は認識できません。

エラー・コード	-10024
エラー定数	ERROR_UNSUPPORTED_DOMAIN_ID
パラメータ 1	ドメイン ID。

### 考えられる原因

クライアントが要求したドメイン ID (データ型) がサポートされていません。使用している Mobile Link サーバが最新のものであるか確認してください。

## トランザクションをコミットできません : %1 -- ロールバックを試みます。

エラー・コード	-10065
エラー定数	UNABLE_TO_COMMIT
パラメータ 1	スクリプト名。

### 考えられる原因

Mobile Link サーバは、指定されたスクリプトのトランザクションをコミットできませんでした。常にデッドロックを避けるようにスクリプトを作成することをおすすめします。

## トランザクションをロールバックできません : %1

エラー・コード	-10064
---------	--------

エラー定数	UNABLE_TO_ROLLBACK
パラメータ 1	スクリプト名。

**考えられる原因**

Mobile Link サーバが、トランザクションをロールバックできませんでした。

**ネットワーク・アクティビティがないため、接続が切断されました。**

エラー・コード	-10279
エラー定数	CONNECTION_DROPPED_DUE_TO_IDLE_TIMEOUT

**考えられる原因**

アクティビティがなかったため、Mobile Link サーバがこの接続を切断しました。リモートの場合は、ネットワーク接続が失われている可能性があります。

**ネットワーク・アドレス '%1' はローカルのアドレスではありません。**

エラー・コード	-10259
エラー定数	NOT_LOCAL_IP_ADDRESS
パラメータ 1	ホスト名。

**考えられる原因**

指定されたネットワーク・アドレスは、このマシンのネットワーク・アダプタに解決されませんでした。

**ネットワーク・リスナ・ポートで新規接続を受け入れられません。**

エラー・コード	-10292
エラー定数	UNABLE_TO_ACCEPT_ON_LISTEN_PORT



**考えられる原因**

Mobile Link サーバが、受信接続を受け入れられませんでした。弊社製品の保守契約を結んでいるサポート・センタにお問い合わせください。

## ネットワークの読み込みに失敗しました。リモート・クライアントからデータを読み込めません。

エラー・コード	-10030
エラー定数	STREAM_READ_ERROR

**考えられる原因**

Mobile Link サーバは、ネットワークの読み込みを完了できませんでした。ネットワークを確認してください。

## バージョン '%1' が ml\_script\_version テーブルに見つかりません。同期できません。

エラー・コード	-10013
エラー定数	VERSION_NOT_FOUND
パラメータ 1	バージョン文字列。

**考えられる原因**

クライアントが指定したバージョンが、統合データベースに存在しません。スクリプト・バージョンを作成してください。

## バージョン・エラーのため Java VM をロードできません。

エラー・コード	-10121
エラー定数	EL_JAVA_VM_VER_ERROR

**考えられる原因**

Mobile Link サーバに Java VM をロードできませんでした。正しい Java VM がインストールされていることを確認してください。

## バックグラウンド・スレッドを作成できません。

エラー・コード	-10112
エラー定数	UNABLE_TO_CREATE_BACKGROUND_THREAD

### 考えられる原因

Mobile Link サーバでバックグラウンド処理用のスレッドを作成できませんでした。メモリ不足が主な原因と考えられます。

## パラメータ %1 に NULL が設定されています。

エラー・コード	-10230
エラー定数	PARAMETER_N_NULL
パラメータ 1	パラメータ番号。

### 考えられる原因

パラメータは変更できますが、NULL には設定できません。

## パラメータ %1 のバインドには、タイプ '%2' の値が必要ですが、'%3' が指定されました。

エラー・コード	-10201
エラー定数	EL_DNET_PARAM_TYPE_MISMATCH
パラメータ 1	パラメータ番号。
パラメータ 2	必要なタイプ。
パラメータ 3	指定したタイプ。

### 考えられる原因

指定したパラメータ・タイプが間違っています。パラメータを正しいタイプに変更してください。

## ファイル %1 を開けません。

エラー・コード	-10058
---------	--------

エラー定数	UNABLE_TO_OPEN_TABLE_SCRIPT
パラメータ 1	スクリプト名。

**考えられる原因**

Mobile Link サーバが、指定されたテーブル・スクリプトの実行に失敗しました。スクリプトに有効な SQL が含まれていることを確認してください。

**ファイル '%1' が見つかりません。**

エラー・コード	-10166
エラー定数	EL_DNET_MDGHOST_DLL_NOT_FOUND
パラメータ 1	ファイル名。

**考えられる原因**

.NET スクリプトを起動するために必要ないずれかのファイルが見つかりませんでした。インストール環境と環境変数を確認してください。

**ファイル転送のルート・ディレクトリ '%1' が見つかりませんでした。**

エラー・コード	-10249
エラー定数	FILETRANSFER_ROOT_DIR_NOT_FOUND
パラメータ 1	ユーザが指定したルート・パス。

**考えられる原因**

指定したパスがサーバで見つかりませんでした。指定したパスが正しいことを確認してください。

**プロトコル・エラー: テーブル '%1' を含むパブリケーションがありません。**

エラー・コード	-10017
エラー定数	INVALID_TABLE_PUBLICATION_COUNT_XX

パラメータ 1	テーブル名。
---------	--------

**考えられる原因**

クライアントによってテーブルの同期が要求されています。しかし、そのテーブルはどのパブリケーションにも含まれていません。そのテーブルがリモート・データベースで削除されなかったことを確認してください。

**プロトコル・エラー : %1**

エラー・コード	-10001
エラー定数	PROTOCOL_ERROR
パラメータ 1	エラー番号。

**考えられる原因**

Mobile Link サーバは、クライアントが送信した要求を理解できません。クライアントが Mobile Link サーバより新しい場合、このエラーが発生することがあります。弊社製品の保守契約を結んでいるサポート・センタにお問い合わせください。

**プロトコルのバージョンが一致しません。%1!d! を予期していましたが、%2!d! を受け取りました。**

エラー・コード	-10004
エラー定数	STREAM_INCORRECT_VERSION
パラメータ 1	許容される最大バージョン。
パラメータ 2	クライアントから送信されたバージョン。

**考えられる原因**

Mobile Link サーバは、別のプロトコル・バージョンを使用してクライアントと通信しています。クライアントが Mobile Link サーバでサポートされていないバージョンを送信すると、このエラーが発生します。Mobile Link サーバの古いバージョンと通信するために、より新しいクライアント (DBMLSync または Ultra Light アプリケーション) を使用していないか確認してください。

**ポートで受信できません (システム・エラー : %1)**

エラー・コード	-10262
---------	--------

エラー定数	UNABLE_TO_LISTEN_ON_PORT
パラメータ 1	システム・エラー。

**考えられる原因**

弊社製品の保守契約を結んでいるサポート・センタにお問い合わせください。

**ホスト名 '%1' を解決できません (エラー : '%2')。**

エラー・コード	-10283
エラー定数	UNABLE_TO_RESOLVE_HOST_NAME
パラメータ 1	ホスト名。
パラメータ 2	エラー番号。

**考えられる原因**

指定されたホスト名を解決できませんでした。OS 固有のエラー番号が表示されます。

**メソッド '%1' で例外がスローされました。エラーの説明 : '%2'  
スタック・トレース : '%3'**

エラー・コード	-10158
エラー定数	EL_JAVA_USER_EXCEPTION_IN_METHOD
パラメータ 1	メソッド名。
パラメータ 2	エラー・テキスト。
パラメータ 3	スタック・トレース。

**考えられる原因**

ユーザ指定のコードでエラーが発生しました。例外情報を確認し、エラーを修正してください。

**メモリ・エラーのため Java VM をロードできません。**

エラー・コード	-10122
エラー定数	EL_JAVA_VM_MEM_ERROR

### 考えられる原因

Mobile Link サーバに Java VM をロードできませんでした。RAM を増やすか、他のプロセスを終了することでメモリを解放することを検討してください。

## メモリの割り付けに失敗しました。

エラー・コード	-10060
エラー定数	OUT_OF_MEMORY

### 考えられる原因

使用しているシステムのメモリが不足しています。アプリケーションを閉じるか、システムにメモリを追加する必要があります。

## メモリ割り付けが失敗しました。%1 バイトを割り付けようとしてしました。

エラー・コード	-10003
エラー定数	MEMORY_ALLOCATION_FAILED
パラメータ 1	割り付けようとしていたバイト数。

### 考えられる原因

使用しているシステムのメモリが不足しています。アプリケーションを閉じるか、システムにメモリを追加する必要があります。

## ユーザ %1 のパスワードは不正です。

エラー・コード	-10057
エラー定数	USER_BAD_PASSWORD
パラメータ 1	ユーザ名。

### 考えられる原因

リモートから送信されたパスワードは、指定されたユーザに対して無効です。パスワードでは大文字と小文字が区別されることに注意してください。

## ユーザ %1 を認証できません

エラー・コード	-10055
エラー定数	ERROR_AUTHENTICATING
パラメータ 1	ユーザ名。

### 考えられる原因

Mobile Link サーバが、指定されたユーザを認証できませんでした。

## ユーザ '%2' の要求ファイル '%1' が見つかりませんでした。

エラー・コード	-10251
エラー定数	FILETRANSFER_FILE_NOT_FOUND
パラメータ 1	ファイル名。
パラメータ 2	ユーザ名。

### 考えられる原因

転送が要求されたファイルがサーバで見つかりませんでした。

## ユーザが指定したコードをサーバで実行中にエラーが発生しました。

エラー・コード	-10225
エラー定数	EL_FAILURE_IN_USER_CODE

### 考えられる原因

ユーザが指定したコードを実行中にエラーが発生しました。サーバのログを確認し、ユーザが指定したコードを修正してください。

## ユーザを認証できません。

エラー・コード	-10310
エラー定数	UNABLE_TO_AUTH_USER

### 考えられる原因

Mobile Link サーバが、ユーザを認証できませんでした。詳細については、Mobile Link サーバ・メッセージ・ログを確認してください。

## ユーザ名 '%1' が ml\_user テーブルに見つかりません。

エラー・コード	-10056
エラー定数	USER_NOT_FOUND
パラメータ 1	ユーザ名。

### 考えられる原因

Mobile Link サーバが、ml\_user テーブルからユーザを検出できませんでした。mluser を使用してこのユーザを ml\_user テーブルに追加するか、-zu+ オプションで Mobile Link サーバを起動してください。

## ユーザ名 '%1' を ml\_user テーブルに挿入できません。

エラー・コード	-10054
エラー定数	ERROR_ADDING_USER
パラメータ 1	ユーザ名。

### 考えられる原因

Mobile Link サーバは、指定されたユーザを ml\_user テーブルに追加できませんでした。統合データベース・サーバが稼働中で、Mobile Link ユーザが ml\_user テーブルを修正するパーミッションを持っているか確認してください。

## ユーザ名 '%1' を ml\_user\_table から削除できません。

エラー・コード	-10083
エラー定数	ERROR_DELETING_USER
パラメータ 1	削除するユーザの名前。

### 考えられる原因

Mobile Link ユーザが有効であり、現在他のスレッドによって使用されていないことを確認してください。



## リスナ・ソケットでハード・クローズを実行できません。

エラー・コード	-10268
エラー定数	UNABLE_TO_CLOSE_LISTENER_SOCKET

### 考えられる原因

弊社製品の保守契約を結んでいるサポート・センタにお問い合わせください。

## リスナ・ソケットをポートにバインドできません (システム・エラー : %1)

エラー・コード	-10261
エラー定数	UNABLE_TO_BIND_LISTENER_PORT
パラメータ 1	システム・エラー。

### 考えられる原因

弊社製品の保守契約を結んでいるサポート・センタにお問い合わせください。

## リスナ・ソケットを作成できません (システム・エラー : %1)

エラー・コード	-10260
エラー定数	UNABLE_TO_CREATE_LISTENER_SOCKET
パラメータ 1	システム・エラー。

### 考えられる原因

弊社製品の保守契約を結んでいるサポート・センタにお問い合わせください。

## リスナ削除要求を完了キューに通知できません (システム・エラー : %1)

エラー・コード	-10269
エラー定数	UNABLE_TO_POST_LISTENER_DELETION_REQUEST
パラメータ 1	システム・エラー。

**考えられる原因**

弊社製品の保守契約を結んでいるサポート・センタにお問い合わせください。

**リモート ID '%1' で識別されるリモート・データベースはすでに同期しています。同じリモート ID を使用した同時同期処理は実行できません。**

エラー・コード	-10238
エラー定数	REMOTEID_ALREADY_IN_USE
パラメータ 1	リモート ID。

**考えられる原因**

リモート ID で指定したリモート・データベースはすでに同期しています。後で同期を試行してください。

**リモート・クライアントで使用されている文字セット (%1) を、Mobile Link サーバがマップできません。**

エラー・コード	-10306
エラー定数	UNKNOWN_CID
パラメータ 1	文字セット ID。

**考えられる原因**

リモートによって提供された文字データを、統合データベースに必要な文字セットに変換できません。

**リモート・クライアントで使用されている文字セット (%1) を、Mobile Link サーバがマップできません。**

エラー・コード	-10307
エラー定数	UNKNOWN_CHARSET
パラメータ 1	文字セット・ラベル。

**考えられる原因**

リモートによって提供された文字データを、統合データベースに必要な文字セットに変換できません。

**リモート・データベースがバックアップからリストアされたか、またはリモート ID '%1' が別のリモート・データベースによって使用されている可能性があります。**

**ml\_subscription.progress を 0 に設定して、このリモート・データベースの同期処理を再度有効にしてください。**

エラー・コード	-10023
エラー定数	SEQUENCE_NUMBER_TOO_SMALL
パラメータ 1	リモート ID。

**考えられる原因**

Mobile Link サーバは、同期を行う前に、クライアントが送信したシーケンス番号と統合データベースに格納されているシーケンス番号を比較して、それらが一致するかどうか確認します。リモート・データベースがバックアップからリストアされたり、最後の同期が中断されたりした場合、シーケンス番号は統合データベースのシーケンス番号より小さくなる可能性があります。ml\_subscription.progress を 0 に設定して、このリモート・データベースの同期処理を再度有効にしてください。

**リモート・データベースからダウンロード確認がありません。**

エラー・コード	-10034
エラー定数	NO_CONFIRMATION

**考えられる原因**

クライアントが、ダウンロードした後に Mobile Link サーバへ確認ステータスを送信するはずでした。Mobile Link サーバは、この確認を受信しませんでした。このエラーは、同期が中断されたり、ネットワークに問題があると発生します。

**ローカル・サーバの接続文字列が指定されましたが、共有サーバ・ステータスが有効ではありません。Mobile Link プロパティ 'ml\_server\_farm' を使用して共有サーバ・ステータスを有効にしてください。**

エラー・コード	-10305
エラー定数	SHARED_STATE_CONN_INFO_WITHOUT_DB_PROP

#### 考えられる原因

ローカル・サーバの接続文字列は、共有サーバ・ステータスを使用している場合にのみ指定してください。Mobile Link プロパティ 'ml\_server\_farm' を使用して共有サーバ・ステータスを有効にしてください。

**ローが大きすぎます。サイズ (%1 バイト) が最大サイズ (%2 バイト) を超えています。**

エラー・コード	-10033
エラー定数	ROW_TOO_BIG
パラメータ 1	ダウンロードする実際のロー・サイズ。
パラメータ 2	クライアントで許容される最大ロー・サイズ。

#### 考えられる原因

Ultra Light アプリケーションがローのサイズを制限している可能性があります。統合データベースの同期テーブルのロー・サイズがこの制限を超えている場合、テーブルはダウンロードできません。同期テーブルを再設計してください。

**ワーカを VM から分離できません。**

エラー・コード	-10169
エラー定数	EL_DNET_WORKER_DETACH_FAIL

#### 考えられる原因

これは内部のシャットダウン・エラーです。弊社製品の保守契約を結んでいるサポート・センタに問い合わせてください。

## 完了ポートで待機できません (システム・エラー : %1)

エラー・コード	-10270
エラー定数	UNABLE_TO_WAIT_ON_COMPLETION_PORT
パラメータ 1	システム・エラー。

### 考えられる原因

弊社製品の保守契約を結んでいるサポート・センタにお問い合わせください。

## 共有インストール・ディレクトリが不正です : %1

エラー・コード	-10144
エラー定数	EL_JAVA_SHARED_LOCATION_INCORRECT
パラメータ 1	SQL Anywhere の共有ディレクトリ。

### 考えられる原因

正しい場所を指すように共有コンポーネント環境変数を修正してください。

## 共有コンポーネント・ディレクトリを見つけられません。JRE の格納場所がオプションで指定されていません。JRE がどこに格納されているかわかりません。

エラー・コード	-10143
エラー定数	EL_JAVA_COULD_NOT_FIND_JRE

### 考えられる原因

正しい場所を指すように共有コンポーネント環境変数を設定するか、-jrepath オプションを使用して JRE の場所を指定してください。

## 共有サーバ・ステータス活性を維持できません。

エラー・コード	-10303
エラー定数	SHARED_STATE_FAILED_PERFORM_LIVENESS

### 考えられる原因

Mobile Link サーバが、サーバ共有ステータス活性を維持できませんでした。統合データベースの接続状態を確認してください。

## 共有メモリ・ファイルを作成できません。

エラー・コード	-10282
エラー定数	UNABLE_TO_CREATE_SHARED_MEMORY

### 考えられる原因

Mobile Link サーバは、指定された Mobile Link サーバ名を使用して共有メモリ・ファイルを作成できませんでした。ローカル・マシンで同名の Mobile Link サーバが実行中であるかどうかを確認してください。

## 再起動可能な同期を開始できません。

エラー・コード	-10255
エラー定数	UNABLE_TO_RESTART_SYNC

### 考えられる原因

クライアントから要求された再起動可能な同期を Mobile Link サーバで開始できませんでした。同期はすでに完了しているか、Mobile Link サーバが再起動された可能性があります。

## 作成された SQL 文 '%1' には %2 パラメータが必要ですが、パラメータ %3 が指定されています。

エラー・コード	-10200
エラー定数	EL_DNET_NUM_BOUND_PARAM_MISMATCH
パラメータ 1	SQL 文。
パラメータ 2	必要なパラメータ数。
パラメータ 3	指定したパラメータ数。

### 考えられる原因

実行した文のパラメータ数が間違っています。正しい数のパラメータを指定してから文を実行してください。

## 作成された SQL 文 '%1' には %2 パラメータが必要ですが、パラメータ %3 が指定されていません。

エラー・コード	-10198
エラー定数	EL_DNET_PARAM_NOT_BOUND
パラメータ 1	SQL 文。
パラメータ 2	必要なパラメータ数。
パラメータ 3	指定したパラメータ数。

### 考えられる原因

実行した文のパラメータ数が少なすぎます。正しい数のパラメータを指定してから文を実行してください。

## 次の非デーモン・スレッドは破壊されました : %1

エラー・コード	-10124
エラー定数	EL_JAVA_THREADS_DESTROYED
パラメータ 1	スレッド識別子のリスト。

### 考えられる原因

これらの Java スレッドはシャットダウン中に強制的に破棄されました。ShutdownListener インタフェースを使用して、Mobile Link サーバのシャットダウン時にスレッドを正常に終了してください。

## 受信接続を受け入れられません (システム・エラー : %1)

エラー・コード	-10276
エラー定数	UNABLE_TO_ACCEPT_INCOMING_CONNECTION
パラメータ 1	システム・エラー。

### 考えられる原因

弊社製品の保守契約を結んでいるサポート・センタにお問い合わせください。

## 新規データベース接続を作成できません。

エラー・コード	-10159
エラー定数	EL_JAVA_JDBC_UNABLE_TO_CONNECT

### 考えられる原因

新しい JDBC ラッパを作成するために必要な新しい ODBC 接続を作成できませんでした。

## 進行状況情報を統合データベースに格納しようとしていたときにエラーが発生しました。

エラー・コード	-10031
エラー定数	TXN_LOG_COOKIE_UPDATE_ERROR

### 考えられる原因

Mobile Link サーバは、同期ステータスを統合データベースに保存できません。データベース・サーバが稼働中であり、ネットワークに異常がないか確認してください。

## 接続スクリプト %1 をフェッチしているときにエラーが発生しました。

エラー・コード	-10018
エラー定数	ERROR_FETCHING_CONNECTION_SCRIPT
パラメータ 1	接続スクリプト名。

### 考えられる原因

Mobile Link サーバが、接続スクリプトをリフレッシュできませんでした。データベース・サーバが稼働中であり、ネットワークに異常がないか確認してください。

## 接続ソケットを作成できません (システム・エラー : %1)

エラー・コード	-10264
エラー定数	UNABLE_TO_CREATE_CONNECT_SOCKET
パラメータ 1	システム・エラー。



**考えられる原因**

弊社製品の保守契約を結んでいるサポート・センタにお問い合わせください。

**接続の受け入れを開始できません (システム・エラー : %1)**

エラー・コード	-10265
エラー定数	UNABLE_TO_START_ACCEPTING_CONNECT
パラメータ 1	システム・エラー。

**考えられる原因**

弊社製品の保守契約を結んでいるサポート・センタにお問い合わせください。

**接続を割り付けることができません。**

エラー・コード	-10067
エラー定数	ODBC_UNABLE_TO_ALLOCATE_A_CONNECTION

**考えられる原因**

Mobile Link サーバが、接続を割り付けられませんでした。Mobile Link サーバを起動するのに十分なメモリがあることを確認してください。また、データベース・サーバが稼働中で、ユーザ ID とパスワードが有効であることを確認してください。

**通信ストリーム %1 を初期化できません : %2**

エラー・コード	-10110
エラー定数	UNABLE_TO_CREATE_STREAM
パラメータ 1	ストリーム番号。
パラメータ 2	ストリーム指定。

**考えられる原因**

ストリームを初期化できませんでした。ストリーム名とストリーム・オプションが有効であることを確認してください。

## 通知できません (システム・エラー : %1)

エラー・コード	-10275
エラー定数	UNABLE_TO_NOTIFY
パラメータ 1	システム・エラー。

### 考えられる原因

弊社製品の保守契約を結んでいるサポート・センタにお問い合わせください。

## 通知パイプからの読み込み中にエラーが発生しました (システム・エラー : %1)

エラー・コード	-10277
エラー定数	ERROR_IN_READ_FROM_NOTIFICATION_PIPE
パラメータ 1	システム・エラー。

### 考えられる原因

弊社製品の保守契約を結んでいるサポート・センタにお問い合わせください。

## 通知パイプでエラーが発生しました。

エラー・コード	-10278
エラー定数	ERROR_ON_NOTIFICATION_PIPE

### 考えられる原因

弊社製品の保守契約を結んでいるサポート・センタにお問い合わせください。

## 転送用にファイル '%1' を開けませんでした。

エラー・コード	-10252
エラー定数	FILETRANSFER_OPEN_FAILED
パラメータ 1	ファイル名。

**考えられる原因**

転送が要求されたファイルはサーバで見つかりましたが、ファイルを開くことができませんでした。ファイルのパーミッションを確認してください。

**転送用にファイル '%1' を読み込めませんでした。**

エラー・コード	-10253
エラー定数	FILETRANSFER_READ_FAILED
パラメータ 1	ファイル名。

**考えられる原因**

転送が要求されたファイルはサーバで見つかりましたが、ファイルを読み込むことができませんでした。ファイルのパーミッションを確認してください。

**統合データベース・サーバまたは ODBC エラー : %1**

エラー・コード	-10002
エラー定数	ERROR_SQL_ERROR
パラメータ 1	データベース・サーバまたは ODBC ドライバによって送信される実際のエラー・メッセージ。

**考えられる原因**

これは、構文エラーなどの SQL エラーである可能性があります。

**統合データベースでのスナップショット・アイソレーションで競合する更新を検出後に、現在のトランザクションをリトライできません。リトライの制限回数に達しました。**

エラー・コード	-10246
エラー定数	CANNOT_RETRY_AFTER_CONFLICT_UPDATE

**考えられる原因**

Mobile Link サーバが現在のトランザクションをリトライしましたが、依然として競合する更新の問題が発生しています。統合データベースに対して実行中の開いているトランザクションをすべてコミットし、同期の実行を再試行してください。

## 統合データベースでのデッドロック後に現在のトランザクションをリトライできません。リトライの制限回数に達しました。

エラー・コード	-10021
エラー定数	CANNOT_RETRY_AFTER_DEADLOCK

### 考えられる原因

Mobile Link サーバが現在のトランザクションをリトライしましたが、依然としてデッドロック問題が発生しています。同期論理を再設計するか、Mobile Link サーバのコマンド・ライン・オプション `r` を使用してください。

## 統合データベースに接続できません。同期処理をアボートします。

エラー・コード	-10028
エラー定数	UNABLE_TO_CONNECT_TO_CONSOLIDATED

### 考えられる原因

Mobile Link サーバは、統合データベースへ接続できませんでした。データベース・サーバが稼働中であり、ネットワークに異常がないか確認してください。

## 同じリモート ID を持つ、既存の同期 <%1> のために、この同期は一時停止されました。

エラー・コード	-10257
エラー定数	SYNC_PAUSED_FOR_OLD_SYNC_WITH_REMOTE_ID
パラメータ 1	同期 ID。

### 考えられる原因

既存の同期 <%1!d!> と同じリモートから新しい同期が開始されました。サーバによって既存の同期がキャンセルされ、この同期が一時的に停止されました。

## 同じリモート ID を持つ、新しい同期 <%1> のために、この同期はキャンセルされました。

エラー・コード	-10256
エラー定数	SYNC_STOPPED_FOR_NEW_SYNC_WITH_REMOTE_ID
パラメータ 1	同期 ID。

### 考えられる原因

この同期と同じリモートから新しい同期が開始されました。リモートは接続が切断されたはずなので、この接続はサーバによってキャンセルされました。

## 内部エラー : BLOB の取得中に発生しました -- 読み込み

エラー・コード	-10041
エラー定数	BLOB_READ_ERROR

### 考えられる原因

Mobile Link サーバが、メモリまたはテンポラリ・ファイルからアップロード・データを検索できません。これは内部エラーです。弊社製品の保守契約を結んでいるサポート・センタに問い合わせてください。

## 内部エラー : 誤ったファンクション '%1' が呼び出されました。テクニカル・サポートに連絡してください。

エラー・コード	-10051
エラー定数	INTERNAL_ERR_WRONG_FUNC_IS_CALLED
パラメータ 1	関数名。

### 考えられる原因

これは内部エラーです。弊社製品の保守契約を結んでいるサポート・センタに問い合わせてください。

## 内部エラー : '%1'

エラー・コード	-10156
---------	--------

エラー定数	EL_JAVA_INTERNAL_ERROR
パラメータ 1	エラー・テキスト。

**考えられる原因**

Java 内部エラーが発生しました。出力されたエラー情報を確認し、問題を修正してください。

**認識されないイベント名 : %1**

エラー・コード	-10207
エラー定数	UNKNOWN_EVENT
パラメータ 1	認識されないイベントの名前。

**考えられる原因**

Mobile Link サーバでは、接続イベントとテーブル・イベントだけが認識され、これらのイベントは ml\_connection\_script と ml\_table\_script のテーブルに格納されています。すべての接続イベントとテーブル・イベントが有効であることを確認してください。

**必須 ODBC 関数 %1 がドライバでサポートされていません。**

エラー・コード	-10075
エラー定数	ODBC_MISSING_REQUIRED_FUNCTION
パラメータ 1	ODBC 関数の名前。

**考えられる原因**

Mobile Link サーバは、ODBC ドライバから関数を検出できませんでした。推奨された ODBC ドライバを使用して Mobile Link サーバを起動してください。

**必要な Java クラス %1 をロードできませんでした。**

エラー・コード	-10127
エラー定数	EL_JAVA_BOOT_CLASS_LOAD_ERR
パラメータ 1	クラス名。

**考えられる原因**

これは内部の起動エラーです。保守契約を結んでいるサポート・センタにお問い合わせください。

**不正なストリーム・タイプ : %1**

エラー・コード	-10106
エラー定数	BAD_STREAM_TYPE
パラメータ 1	ストリーム・タイプ。

**考えられる原因**

このストリーム・タイプを認識できません。有効な名前は、'tcpip'、'http'、'tls'、'https' です。

**不正なストリーム指定 : %1**

エラー・コード	-10105
エラー定数	BAD_STREAM_SPEC
パラメータ 1	ストリーム名。

**考えられる原因**

ストリーム名が間違っていて指定されました。マニュアルで -x スイッチと -xo スイッチに関する説明を参照してください。

**不正なパラメータ '%1' です。**

エラー・コード	-10215
エラー定数	INVALID_STREAM_PARAMETER
パラメータ 1	無効なパラメータの名前。

**考えられる原因**

通信プロトコルに 1 つまたは複数の無効なパラメータが検出されました。コマンド・ライン・オプションを調べて、プロトコル・オプションがすべて有効かどうか確認してください。

## 不明なスクリプト・フラグ '%1' のため、SQL パススルー・スクリプトを送信できません。

エラー・コード	-10297
エラー定数	UNKNOWN_PASSTHROUGH_SCRIPT_FLAG

### 考えられる原因

Mobile Link サーバで、このユーザの不明な SQL パススルー・スクリプト・フラグが見つかりました。このユーザのスクリプトを確認してください。

## 分散トランザクション・コーディネータにデータベースをエンリストできません。

エラー・コード	-10288
エラー定数	DTC_UNABLE_TO_ENLIST_TRANS

### 考えられる原因

Mobile Link サーバが、データベースを分散トランザクション・コーディネータにエンリストできませんでした。

## 分散トランザクションをアボートできません (イベント : %1) -- システム・エラー : '%2'

エラー・コード	-10290
エラー定数	DTC_UNABLE_TO_ABORT

### 考えられる原因

Mobile Link サーバが、分散トランザクションをアボートできませんでした。

## 分散トランザクションをコミットできません (イベント : %1) -- システム・エラー : '%2'

エラー・コード	-10289
エラー定数	DTC_UNABLE_TO_COMMIT



**考えられる原因**

Mobile Link サーバが、分散トランザクションをコミットできませんでした。

**分散トランザクションを初期化できません -- システム・エラー: '%1'**

エラー・コード	-10287
エラー定数	DTC_UNABLE_TO_START_TRANS

**考えられる原因**

Mobile Link サーバが、分散トランザクションを初期化できませんでした。データベースのトランザクション・ログが満杯でないことを確認してください。

**文字列 %1 を数値に変換できません。**

エラー・コード	-10213
エラー定数	UNABLE_TO_CONVERT_STR_TO_NUMERIC
パラメータ 1	変換される文字列。

**考えられる原因**

Mobile Link サーバが文字列を数値に変換できません。これは内部エラーです。弊社製品の保守契約を結んでいるサポート・センタに問い合わせてください。

**返されたクラス '%1' は `ianywhere.ml.script.RowReader` または `java.lang.String` のサブクラスではありません。**

エラー・コード	-10132
エラー定数	EL_JAVA_INVALID_RETURN_OBJECT
パラメータ 1	クラス名。

**考えられる原因**

適切な型を返すようにクラスを変更してください。

**未知のエラーのため Java VM をロードできません。**

エラー・コード	-10123
エラー定数	EL_JAVA_VM_LOAD_ERROR

**考えられる原因**

Mobile Link サーバに Java VM をロードできませんでした。理由は以前の出力に表示されています。

**無効なハンドルを持つ接続を使用しようとしてしました。**

エラー・コード	-10203
エラー定数	EL_DNET_INVALID_CONN_HANDLE

**考えられる原因**

接続ハンドルが有効であることを確認してから使用してください。

**名前 '%1' は、有効な .NET 開始クラス名ではありません。**

エラー・コード	-10177
エラー定数	EL_DNET_INVALID_STARTCLASS_NAME
パラメータ 1	開始クラス名。

**考えられる原因**

開始クラス名の形式が不正です。名前を修正してから再実行してください。

**名前付きロー・パラメータを使用するには、ml\_column テーブルでカラム名を設定する必要があります。**

エラー・コード	-10232
エラー定数	NO_COLUMN_NAMES

**考えられる原因**

名前付きパラメータ機能を使用するには、スクリプトで使用するリモート・カラム名を ml\_column テーブルで定義する必要があります。

**要求ファイルを転送できませんでした。転送ルートが設定されていません。**

エラー・コード	-10250
エラー定数	FILETRANSFER_ROOT_DIR_NOT_SET

**考えられる原因**

サーバがクライアントのファイル転送要求を受け取りましたが、サーバで転送のルート・ディレクトリが設定されていません。

**例外情報をダンプできません。例外処理中に例外を受け取りました。**

エラー・コード	-10119
エラー定数	EL_JAVA_EXCEPTION_WHILE_PROCESSING_EXCEPTION

**考えられる原因**

Java スクリプトが原因で例外が発生しましたが、続いて例外が発生したので、Mobile Link サーバで例外情報を表示できませんでした。

---

---

# Mobile Link サーバの警告メッセージ

## 目次

Mobile Link サーバの警告メッセージの概要 .....	688
Mobile Link サーバの警告メッセージ (エラー・コード順) .....	689
Mobile Link サーバの警告メッセージ (五十音順) .....	694

---

## Mobile Link サーバの警告メッセージの概要

警告メッセージは、Mobile Link サーバのメッセージ・ログに書き込まれます。

各警告には、1～5のレベルが割り当てられます。次の表は、各レベルの説明を示します。

レベル	説明
1	Mobile Link サーバの起動または停止時に発生するサーバ・レベルまたは高い ODBC レベルの警告
2	同期の開始および終了時に発生する同期レベルとユーザ・レベルの警告
3	スキーマ・レベル (パブリケーションとテーブルを含む) の警告
4	スクリプト・レベルと低い ODBC レベルの警告
5	テーブル・レベルとロー・レベルの警告

## Mobile Link サーバの警告メッセージ (エラー・コード順)

エラー・コード	レベル	メッセージ・テキスト
10001	1	「データベース最大接続数が %1 に設定されました (データベース・ワーカ・スレッド数+1 以上に指定します)。」 702 ページ
10003	1	「ODBC 独立性レベル (%1) はサポートされていません。」 697 ページ
10004	1	「ODBC 関数 %1 がドライバでサポートされていません。」 697 ページ
10005	1	「ODBC 文のオプション %1 は %2 (%3) から %4 (%5) に変更されています。」 697 ページ
10006	1	「ODBC 文のオプション %1 は %2 から %3 に変更されています。」 698 ページ
10007	2	「統合データベースでのデッドロック後に begin_connection トランザクションをリトライします。」 713 ページ
10009	2	「Mobile Link テーブル '%1' が破損しています。」 696 ページ
10010	2	「handle_error スクリプトが定義されていません。エラー動作はデフォルト・アクション・コード (%1) に従います。」 695 ページ
10012	2	「統合データベースとリモート・データベース間で、最後に同期をとった時点が一致しません。既知の最後の同期時点から始まる新規アップロードの送信をリモート・データベースに要求しています。」 716 ページ
10014	4	「カーソルのパラメータとして予期していたのは最大 %1 個ですが、%2 個見つかりました。」 700 ページ
10015	3	「テーブル '%1' には少なくとも 1 つのタイムスタンプ・カラムがあります。タイムスタンプ精度の不一致により、アップロードされるタイムスタンプの精度が失われ、ダウンロード・フィルタリングが無効になる場合があります。」 705 ページ
10016	3	「テーブル '%1' には少なくとも 1 つのタイムスタンプ・カラムがあります。タイムスタンプ精度の不一致により、ダウンロードされるタイムスタンプの精度が失われ、データの一貫性が失われる場合があります。」 705 ページ

エラー・コード	レベル	メッセージ・テキスト
10017	3	「統合データベースとリモート・データベースでタイムスタンプの精度が異なります。統合データベースのタイムスタンプ精度は秒の小数点以下第 %1 位、リモート・データベースのタイムスタンプ精度は小数点第 %2 位です。」 715 ページ
10018	3	「タイムスタンプ精度の不一致を解決するには、リモート・データベースの SQL Anywhere DEFAULT_TIMESTAMP_INCREMENT オプションを %!d! に、TRUNCATE_TIMESTAMP_VALUES を 'On' に設定してください。Ultra Light リモートでは、TIMESTAMP_INCREMENT オプションを %!d! に設定してください。」 702 ページ
10019	3	「リモート・データベースでは、統合データベースのタイムスタンプ精度を一致させることができません。アプリケーション、スキーマ、スクリプト側で精度の不一致に対処するロジックを用意する必要があります。」 710 ページ
10020	3	「タイムスタンプ精度の不一致は、アップロード時の競合の検出に影響を及ぼす場合があります。-zp オプションを使用すると、Mobile Link サーバは最も低い精度のタイムスタンプを使用して競合の検出を行います。」 701 ページ
10021	3	「リモート・データベースと統合データベースでタイムスタンプ精度が異なります。競合を検出するために、精度の低い側よりも高い精度のタイムスタンプ値が使用されました。-zp オプションの使用を検討してください。」 711 ページ
10022	3	「パブリケーション '%l' は、いずれのテーブルでも参照されていません。」 708 ページ
10023	3	「アップロードはロールバックされ、同期はアボートされます。次回このリモートから同期を実行するときに、前回のアップロードの結果について確認を促されます。」 699 ページ
10024	3	「テーブル '%l' には、ml_table テーブルのエントリがありません。」 704 ページ
10032	2	「クライアントの同期ログを格納するファイルを開けません。ファイル名は '%l' です。」 700 ページ
10033	2	「リモート・クライアントの同期ログを読み込んでいるときにエラーが発生しました。」 710 ページ
10034	2	「リモート同期ログを含むローカル・ファイルに書き込めません。」 711 ページ



エラー・コード	レベル	メッセージ・テキスト
10035	2	「リモート・クライアントの同期ログが不完全なまま終了しています。トランケートされたと思われます。」 709 ページ
10036	2	「クライアント同期ログは、Mobile Link サーバのメッセージ・ログ・ファイルまたは Mobile Link サーバのメッセージ・ウィンドウに表示されません。」 701 ページ
10037	5	「更新されたローを無視しています (新しい値)。」 712 ページ
10038	5	「更新されたローを無視しています (古い値)。」 712 ページ
10039	2	「マルチ・ロー操作中にエラーが検出されました。シングル・ロー・モードでリトライする前にロールバックを実行しています。」 709 ページ
10040	2	「テーブル %2 へのデータのアップロードで %1 ローが無視されました。」 704 ページ
10041	2	「アップロードはコミットされ、同期はアボートされます。次回このリモートから同期を実行するときに、前回のアップロードの結果について確認を促されます。」 699 ページ
10043	4	「統合データベースから現在のタイムスタンプを決定できません。」 713 ページ
10044	5	「テーブル '%1' のローは、統合データベースからなくなっているので、更新できませんでした。」 707 ページ
10045	2	「統合データベースでのデッドロック後にアップロードをリトライします。」 714 ページ
10048	2	「統合データベースでのデッドロック後に begin_synchronization トランザクションをリトライします。」 714 ページ
10049	2	「統合データベースでのデッドロック後に end_synchronization トランザクションをリトライします。」 714 ページ
10050	4	「%1」 694 ページ
10051	1	「認識されない ODBC ドライバ '%1' です。ODBC ドライバは、種類によって機能と品質が大幅に異なります。このドライバには同期に必要な機能がありません。ユーザ自身の責任でご使用ください。」 717 ページ
10055	2	「クライアントから %1 認証パラメータが提供されましたが、authenticate_parameters スクリプトがありません。」 700 ページ

エラー・コード	レベル	メッセージ・テキスト
10056	4	「テーブル %1 に定義されたダウンロード・データ・スクリプトがありません。同期処理を行うと、ダウンロード・データが失われる場合があります。」 703 ページ
10057	4	「テーブル %1 に定義されたアップロード・データ・スクリプトがありません。同期処理を行うと、アップロード・データが失われる場合があります。」 703 ページ
10064	1	「未知のユーザは自動的に追加されます (authenticate_user スクリプトがない場合)。」 717 ページ
10066	1	「mlstop では、このサーバを停止できません。」 695 ページ
10068	5	「%1」 694 ページ
10069	5	「テーブル '%1' の upload_insert スクリプトが存在しないため、このテーブルのすべての挿入ローは無視されます。」 706 ページ
10070	5	「テーブル '%1' の upload_update スクリプトが存在しないため、このテーブルのすべての更新ローは無視されます。」 706 ページ
10071	5	「テーブル '%1' の upload_delete スクリプトが存在しないため、このテーブルのすべての削除ローは無視されます。」 706 ページ
10072	5	「テーブル '%1' の更新ローは競合する更新であるため、このローは無視されます。」 707 ページ
10073	1	「Windows XP ファイアウォールが有効であり、Mobile Link サーバが例外リストにありません。リモート・マシン上のクライアントがこのサーバに接続できない可能性があります。」 699 ページ
10074	4	「統合データベースからダウンロード・タイムスタンプをフェッチできません。」 712 ページ
10075	1	「ORACLE テーブル 'v_\$transaction' にアクセスできません。タイムスタンプベースのダウンロードを利用する場合は、データの損失を防ぐためにアクセスが必要です。」 698 ページ
10076	5	「テーブル '%1' の競合検出スクリプトは定義されていますが、競合解決スクリプトは定義されていません。」 707 ページ
10077	1	「古い ODBC ドライバ '%1' を使用して作成した DSN を使用しています。http://www.sybase.com/detail?id=1011880 で説明されている推奨ドライバを使用して作成した DSN を使用してください。」 711 ページ

エラー・コード	レベル	メッセージ・テキスト
10078	1	「Microsoft SQL Server 仮想テーブル 'sys.dm_tran_active_transactions' にアクセスできません。Mobile Link サーバは、スナップショット・アイソレーションを使用しません。」 695 ページ
10079	1	「コマンド・ライン・オプション '%1' は無視されます。」 701 ページ
10080	5	「統合データベースでの競合する更新後にアップロードをリトライします。」 714 ページ
10081	3	「統合データベースからテーブル '%1' のカラムのデータ型を取得できません。」 713 ページ
10082	1	「Mobile Link サーバがデータ・ページをスワップしました。ディスク・アウト : %1 ページ、ディスク・イン : %2 ページ、同時使用可能 : %3 ページ」 696 ページ
10083	1	「同時同期上の制限のため、Mobile Link サーバはこの同期でのネットワークの読み込みを停止しています。」 716 ページ
10084	1	「同時同期数が減少したため、Mobile Link サーバはこの同期でのネットワークの読み込みを再開しました。」 716 ページ
10085	1	「テーブル '%1' で、ml_column テーブルのエントリ数が、リモート・テーブルのカラム数よりも大きくなっています。」 704 ページ
10086	1	「ODBC ドライバ '%1' は推奨されていません。」 696 ページ
10087	1	「ASE テーブル 'master..systransactions' にアクセスできません。Mobile Link サーバはダウンロードにシステム時間を使用します。」 694 ページ
10088	5	「統合データベースで現在実行されている SQL 文の実行時間が長すぎます。接続 ID は %1 です。」 715 ページ
10089	1	「パフォーマンス警告 -- データベース接続の再使用率が %1% です。」 708 ページ
10090	1	「無効な活性値 '%1' -- 最小値は '%2' です。Mobile Link はデフォルト値 '%2' を使用します。」 718 ページ
10091	2	「リモート・クライアントでパススルー・スクリプトが失敗しました。実行順序 : %1、スクリプト ID : %2、エラー・コード : %3、エラー・テキスト : %4」 709 ページ
10092	2	「無効なログの冗長性オプション : %1!s!」 717 ページ

## Mobile Link サーバの警告メッセージ (五十音順)

### %1

エラー・コード	10050
エラー定数	WARN_SQL_SUCCESS_WITH_INFO
パラメータ 1	ODBC ドライバからのメッセージ。

#### 考えられる原因

Mobile Link サーバからの ODBC 呼び出しは成功しましたが、ODBC ドライバは警告メッセージを表示しました。このメッセージを回避する方法は、特定の警告に依存します。

### '%1'

エラー・コード	10068
エラー定数	EL_DNET_WRITE_STREAM_WARNING
パラメータ 1	警告メッセージ。

#### 考えられる原因

.Net CLR によって生成された警告メッセージです。

**ASE テーブル 'master..systransactions' にアクセスできません。Mobile Link サーバはダウンロードにシステム時間を使用します。**

エラー・コード	10087
エラー定数	ASE_ACCESS_MASTER_PERMISSION

#### 考えられる原因

Mobile Link サーバは、同期時にトランザクションの開始時刻を取得するために、マスタ・データベース内のいくつかのテーブルにアクセスする必要があります。Mobile Link サーバと Microsoft SQL Server の接続に使用するユーザ ID に、'master..systransactions' テーブルにアクセスするパーミッションがあることを確認してください。

## handle\_error スクリプトが定義されていません。エラー動作はデフォルト・アクション・コード (%1) に従います。

エラー・コード	10010
エラー定数	NO_ERROR_HANDLER
パラメータ 1	エラー・アクション・コード。

### 考えられる原因

同期中に Mobile Link サーバでエラーが発生しました。しかし、統合データベースには定義された handle\_error スクリプトがありません。サーバは、そのエラーに対してデフォルトのアクションを実行します。この警告を回避するには、handle\_error スクリプトを定義してください。

## Microsoft SQL Server 仮想テーブル

### 'sys.dm\_tran\_active\_transactions' にアクセスできません。Mobile Link サーバは、スナップショット・アイソレーションを使用しません。

エラー・コード	10078
エラー定数	MSS_SNAPSHOT_PERMISSION

### 考えられる原因

Mobile Link サーバは、同期時にスナップショット・アイソレーションを使用するために、いくつかの仮想テーブルにアクセスする必要があります。Mobile Link サーバと Microsoft SQL Server の接続に使用するユーザ ID に、'sys.dm\_tran\_active\_transactions' テーブルにアクセスするパーミッションがあることを確認してください。

## mlstop では、このサーバを停止できません。

エラー・コード	10066
エラー定数	NO_DBMLSTOP

### 考えられる原因

同じ名前の別のサーバが現在実行中のため、mlstop を使って Mobile Link サーバを停止できません。

## Mobile Link サーバがデータ・ページをスワップしました。ディスク・アウト : %1 ページ、ディスク・イン : %2 ページ、同時使用可能 : %3 ページ

エラー・コード	10082
エラー定数	SWAPPED_LOTS_OF_PAGES
パラメータ 1	スワップ・アウトされたページの合計数。
パラメータ 2	スワップ・インされたページの合計数。
パラメータ 3	同時使用可能なディスク・ページの数。

### 考えられる原因

Mobile Link サーバは、キャッシュ・メモリに収まらなかったときにディスクに書き出す場合があります。この場合、これがパフォーマンスの問題であるかどうかをユーザが判断できるように、ログに警告メッセージが出力されます。-cm オプションでサーバのキャッシュ・メモリのサイズを制御できます。

## Mobile Link テーブル '%1' が破損しています。

エラー・コード	10009
エラー定数	TABLE_DAMAGED
パラメータ 1	Mobile Link システム・テーブル名。

### 考えられる原因

Mobile Link サーバは、リストされたテーブルから情報を取得できませんでした。そのテーブルが存在し、データベース・サーバが実行されていることを確認してください。

## ODBC ドライバ '%1' は推奨されていません。

エラー・コード	10086
エラー定数	DD_DRIVER_IS_DEPRECATED
パラメータ 1	ODBC ドライバ名。

**考えられる原因**

ODBC ドライバが非推奨であり、今後のリリースでは Mobile Link サーバでサポートされなくなる可能性があります。Mobile Link サーバでサポートされている適切な ODBC ドライバをマニュアルで確認してください。

**ODBC 関数 %1 がドライバでサポートされていません。**

エラー・コード	10004
エラー定数	ODBC_MISSING_FUNCTION
パラメータ 1	ODBC 関数名。

**考えられる原因**

この関数は、Mobile Link サーバが動作するのに必要です。ODBC ドライバを更新してください。

**ODBC 独立性レベル (%1) はサポートされていません。**

エラー・コード	10003
エラー定数	ODBC_MISSING_REQUIRED_ISOLATION_LEVEL
パラメータ 1	要求された独立性レベル。

**考えられる原因**

要求された独立性レベルは、統合データベースではサポートされていません。他のレベルが適切かどうか判断してください。

**ODBC 文のオプション %1 は %2 (%3) から %4 (%5) に変更されています。**

エラー・コード	10005
エラー定数	OPTION_CHANGED_1
パラメータ 1	ODBC 文オプションの名前。
パラメータ 2	設定の元の名前。
パラメータ 3	設定の元の値。
パラメータ 4	設定の新しい名前。

パラメータ 5	設定の新しい値。
---------	----------

**考えられる原因**

オプションが ODBC ドライバによって変更されています。この変更は望ましくない場合があります。

**ODBC 文のオプション %1 は %2 から %3 に変更されています。**

エラー・コード	10006
エラー定数	OPTION_CHANGED_2
パラメータ 1	ODBC 文オプションの名前。
パラメータ 2	設定の元の値。
パラメータ 3	設定の新しい値。

**考えられる原因**

オプションが ODBC ドライバによって変更されています。この変更は望ましくない場合があります。

**ORACLE テーブル 'v\_\$transaction' にアクセスできません。タイムスタンプベースのダウンロードを利用する場合は、データの損失を防ぐためにアクセスが必要です。**

エラー・コード	10075
エラー定数	ORACLE_VTXN_PERMISSION

**考えられる原因**

ORACLE の非ブロッキング読み込み機能が原因で、ダウンロードのフィルタ用に生成されたタイムスタンプが正しくない可能性があります。Mobile Link サーバと ORACLE データベースの接続に使用するユーザ ID に、v\_\$transaction テーブルにアクセスするパーミッションがあることを確認してください。



**Windows XP ファイアウォールが有効であり、Mobile Link サーバが例外リストにありません。リモート・マシン上のクライアントがこのサーバに接続できない可能性があります。**

エラー・コード	10073
エラー定数	XP_FIREWALL_ENABLED

#### 考えられる原因

Windows XP ファイアウォールが有効になり、Mobile Link サーバが例外リストにないか、例外リストにあっても無効になっています。この設定では、リモート・クライアントがサーバに接続できません。

**アップロードはコミットされ、同期はアボートされます。次回このリモートから同期を実行するときに、前回のアップロードの結果について確認を促されます。**

エラー・コード	10041
エラー定数	LOSE_COMMITTED_UPLOAD

#### 考えられる原因

これは、主にテスト用に使用される内部警告ですが、テクニカル・サポート契約の一部です。

**アップロードはロールバックされ、同期はアボートされます。次回このリモートから同期を実行するときに、前回のアップロードの結果について確認を促されます。**

エラー・コード	10023
エラー定数	LOSE_UPLOAD

#### 考えられる原因

これは、主にテスト用に使用される内部警告ですが、テクニカル・サポート契約の一部です。

**カーソルのパラメータとして予期していたのは最大 %1 個ですが、%2 個見つかりました。**

エラー・コード	10014
エラー定数	ODBC_EXTRA_PARAMETERS
パラメータ 1	想定されていたパラメータの最大数。
パラメータ 2	見つかったパラメータ数。

**考えられる原因**

Mobile Link サーバには、各カーソル・スクリプトについてパラメータの最大数が決まっています。指定したカーソル・スクリプトのパラメータの数がパラメータの最大数より多い場合、サーバはこの警告を表示します。

**クライアントから %1 認証パラメータが提供されましたが、authenticate\_parameters スクリプトがありません。**

エラー・コード	10055
エラー定数	NO_AUTH_PARMS_SCRIPT
パラメータ 1	認証パラメータの数。

**考えられる原因**

Mobile Link 同期クライアントは、リストされた数の同期パラメータを送信しました。しかし、統合データベースには定義された同期パラメータがありません。この警告を回避するには、同期サーバにある authenticate\_parameters スクリプトを定義してください。または、クライアントから同期パラメータを送信しないでください。

**クライアントの同期ログを格納するファイルを開けません。ファイル名は '%1' です。**

エラー・コード	10032
エラー定数	ERROR_OPENING_ERROR_LOG
パラメータ 1	ファイル名。

**考えられる原因**

Mobile Link サーバは、`-e` または `-et` オプションによって指定されたローカルのリモート・ログ・ファイルを開けませんでした。ファイル名およびパスが有効で、ファイルが書き込み可能であることを確認してください。

## クライアント同期ログは、Mobile Link サーバのメッセージ・ログ・ファイルまたは Mobile Link サーバのメッセージ・ウィンドウに表示されます。

エラー・コード	10036
エラー定数	ERROR_LOG_TO_OUTPUT_LOG

**考えられる原因**

同期中にクライアント側でエラーが発生した場合、クライアントはサーバに出力ファイルを送信し、サーバはコマンド・ライン・オプション `-e` または `-et` を使用して指定されたファイルにこの出力ファイルを保存します。しかし、Mobile Link サーバが書き込み時にこのファイルを開けなかった場合、この警告メッセージが表示され、リモート・ログはメッセージ・ログ・ファイルまたはメッセージ・ウィンドウに書き込まれます。この警告を回避するには、Mobile Link サーバにそのファイルへの書き込み権限があることを確認してください。

## コマンド・ライン・オプション '%1' は無視されます。

エラー・コード	10079
エラー定数	CMD_SWITCH_IGNORED
パラメータ 1	コマンド・ライン・オプション。

**考えられる原因**

Mobile Link サーバがコマンド・ライン・オプションを無視しました。コマンド・ライン・オプションを適用できるかどうかを確認してください。

## タイムスタンプ精度の不一致は、アップロード時の競合の検出に影響を及ぼす場合があります。-zp オプションを使用すると、Mobile Link サーバは最も低い精度のタイムスタンプを使用して競合の検出を行います。

エラー・コード	10020
---------	-------

エラー定数	MAY_USE_AUTO_TIMESTAMP_TOLERANCE
-------	----------------------------------

### 考えられる原因

タイムスタンプ精度が、リモート・データベースと統合データベースの間で一致していないことが検出されました。Mobile Link サーバが2つのデータベースのローを比較するときに、精度の不一致はアップロード競合検出に影響する場合があります。使用している同期システムに関連するデータベースの精度を揃えないと決定した場合、-zp スイッチを使用して、Mobile Link サーバを起動できます。-zp コマンド・ライン・オプションが使用されている場合、Mobile Link サーバは、2つのデータベース間で精度が低い方より小さいタイムスタンプの違いによって発生した競合は許容します。

**タイムスタンプ精度の不一致を解決するには、リモート・データベースの SQL Anywhere DEFAULT\_TIMESTAMP\_INCREMENT オプションを %1!d! に、TRUNCATE\_TIMESTAMP\_VALUES を 'On' に設定してください。Ultra Light リモートでは、TIMESTAMP\_INCREMENT オプションを %1!d! に設定してください。**

エラー・コード	10018
エラー定数	REMOTE_MAY_MATCH_CONSOLIDATE_TIMESTAMP_PRECISION
パラメータ 1	秒の小数点以下第何位という形式で表した統合データベースのタイムスタンプ精度。

### 考えられる原因

これは、タイムスタンプ精度を揃える方法を通知する警告です。SQL Anywhere クライアント・データベースまたは Ultra Light クライアント用の SQL Anywhere リファレンス・データベースでタイムスタンプ精度を調整します。精度を調整してから、Ultra Light クライアントを再生成する必要があります。

**データベース最大接続数が %1 に設定されました (データベース・ワーカ・スレッド数 + 1 以上に指定します)。**

エラー・コード	10001
エラー定数	MAX_DB_CONNECTIONS_SET_TO

パラメータ 1	接続の最大数。
---------	---------

**考えられる原因**

Mobile Link サーバはデータベース・ワーカ・スレッドごとに1つの接続を確立し、ステータス管理用にもう1つの接続を確立します。したがって、接続の最大数は、データベース・ワーカ・スレッド数+1以上にしてください。

**テーブル %1 に定義されたアップロード・データ・スクリプトがありません。同期処理を行うと、アップロード・データが失われる場合があります。**

エラー・コード	10057
エラー定数	WARN_NO_UPLOAD_DATA_SCRIPT
パラメータ 1	テーブル名。

**考えられる原因**

リストされたテーブルは同期に関係しますが、リモート・データでこのテーブルに変更がありました。しかし、統合データベースには、このテーブル用のアップロード・スクリプトがありません。この警告を回避するには、統合データベースでこのテーブル用のアップロード・スクリプトを定義するか、Mobile Link 同期クライアント以外のアプリケーションを使用してリモート・データベースに変更を行わないでください。

**テーブル %1 に定義されたダウンロード・データ・スクリプトがありません。同期処理を行うと、ダウンロード・データが失われる場合があります。**

エラー・コード	10056
エラー定数	WARN_NO_DOWNLOAD_DATA_SCRIPT
パラメータ 1	テーブル名。

**考えられる原因**

リストされたテーブルは、ダウンロード専用同期に関連しています。しかし、統合データベースには、このテーブル用のダウンロード・スクリプトがありません。この警告を回避するには、統合データベースでこのテーブル用のダウンロード・スクリプトを定義するか、常に完全な同期を行ってください。

## テーブル %2 へのデータのアップロードで %1 ローが無視されました。

エラー・コード	10040
エラー定数	IGNORED_ROWS_FOR_TABLE
パラメータ 1	無視されたローの合計数。
パラメータ 2	テーブル名。

### 考えられる原因

Mobile Link サーバは、統合データベースに適用されなかったすべてのアップロード・ローを無視されたローとして数えます。これは、クライアントからアップロードされる挿入、更新、削除があっても、リストされているテーブルの `upload_insert`、`upload_update`、`upload_delete` スクリプトが統合データベースにない場合か、このテーブルにデータをアップロード中にエラーが発生しても `handle_error` または `handle_odbc_error` が 1000 を返した場合に発生します。

## テーブル '%1' で、ml\_column テーブルのエントリ数が、リモート・テーブルのカラム数よりも大きくなっています。

エラー・コード	10085
エラー定数	TOO_MANY_ML_COLUMN_ENTRIES
パラメータ 1	テーブル名。

### 考えられる原因

この警告は、指定されたテーブルで `ml_column` テーブルに余計なカラム・エントリがあることを示します。これは、(1) 同期スクリプトが名前付きパラメータによってカラム名を参照していて、(2) テーブルのカラム数よりも大きいインデックスのカラム名を参照している場合にかぎり、問題になります。この場合は、この警告後にエラーが発行されます。

## テーブル '%1' には、ml\_table テーブルのエントリがありません。

エラー・コード	10024
エラー定数	TABLE_NO_ENTRY
パラメータ 1	テーブル名。

**考えられる原因**

テーブル ml\_table、ml\_table\_script、ml\_script には、同期に参加する各テーブル用のスクリプトが含まれています。Mobile Link サーバは、スクリプトを持たない、またはテーブル ml\_table にエントリがないすべての同期テーブルについてこの警告を表示します。

**テーブル '%1' には少なくとも 1 つのタイムスタンプ・カラムがあります。タイムスタンプ精度の不一致により、アップロードされるタイムスタンプの精度が失われ、ダウンロード・フィルタリングが無効になる場合があります。**

エラー・コード	10015
エラー定数	LOSING_UPLOAD_TIMESTAMP_PRECISION
パラメータ 1	テーブル名。

**考えられる原因**

リモート・データベースは少なくとも 1 つのタイムスタンプ・カラムを持つテーブルを同期していますが、リモート・データベースのタイムスタンプ精度は統合データベースのタイムスタンプ精度よりも高くなっています。アップロードされた値は、統合データベースに格納されると正確さを失います。Mobile Link サーバは、アップロード・ローとダウンロード・ローを比較し、冗長なダウンロード・ローをフィルタします。精度が失われるため、事実上の相違が生じてダウンロード・フィルタリングが無効になる場合があります。この状況は、ダウンロードのパフォーマンスに影響する可能性があります。このパフォーマンスの低下を回避するには、使用している同期システムに関連するすべてのデータベースでタイムスタンプ精度を揃える必要があります。

**テーブル '%1' には少なくとも 1 つのタイムスタンプ・カラムがあります。タイムスタンプ精度の不一致により、ダウンロードされるタイムスタンプの精度が失われ、データの一貫性が失われる場合があります。**

エラー・コード	10016
エラー定数	LOSING_DOWNLOAD_TIMESTAMP_PRECISION
パラメータ 1	テーブル名。

**考えられる原因**

リモート・データベースは少なくとも 1 つのタイムスタンプ・カラムを持つテーブルを同期していますが、リモート・データベースのタイムスタンプ精度は統合データベースのタイムスタンプ

精度よりも低くなっています。ダウンロードされた値は、リモート・データベースに格納されると正確さを失います。この状況によって、統合データベースとリモート・データベースの間で、同期されたタイムスタンプ・データが事実上異なることとなります。このデータ整合性の問題を回避するには、使用している同期システムに関連するすべてのデータベースでタイムスタンプ精度を揃える必要があります。

## テーブル '%1' の upload\_delete スクリプトが存在しないため、このテーブルのすべての削除ローは無視されます。

エラー・コード	10071
エラー定数	NO_SCRIPT_IGNORE_DELETE
パラメータ 1	テーブル名。

### 考えられる原因

クライアントが特定のテーブルの削除ローを送信しても、対応する upload\_delete スクリプトが統合データベースに定義されていない場合に、Mobile Link サーバがこの警告メッセージを発行します。

## テーブル '%1' の upload\_insert スクリプトが存在しないため、このテーブルのすべての挿入ローは無視されます。

エラー・コード	10069
エラー定数	NO_SCRIPT_IGNORE_INSERT
パラメータ 1	テーブル名。

### 考えられる原因

クライアントが特定のテーブルの挿入ローを送信しても、対応する upload\_insert スクリプトが統合データベースに定義されていない場合に、Mobile Link サーバがこの警告メッセージを発行します。

## テーブル '%1' の upload\_update スクリプトが存在しないため、このテーブルのすべての更新ローは無視されます。

エラー・コード	10070
エラー定数	NO_SCRIPT_IGNORE_UPDATE



パラメータ 1	テーブル名。
---------	--------

**考えられる原因**

クライアントが特定のテーブルの更新ローを送信しても、対応する `upload_update` スクリプトが統合データベースに定義されていない場合に、Mobile Link サーバがこの警告メッセージを発行します。

**テーブル '%1' のローは、統合データベースからなくなっている  
ので、更新できませんでした。**

エラー・コード	10044
エラー定数	UPDATE_NO_ROW
パラメータ 1	テーブル名。

**考えられる原因**

統合データベース内のテーブルに元のローがないため、`update` 文が失敗しました。

**テーブル '%1' の競合検出スクリプトは定義されていますが、競  
合解決スクリプトは定義されていません。**

エラー・コード	10076
エラー定数	NO_CONFLICT_RESOLVE_SCRIPT
パラメータ 1	テーブル名。

**考えられる原因**

テーブルに競合解決スクリプトがなかった場合、Mobile Link サーバではそのテーブルの競合検出スクリプトが呼び出されません。このテーブルに競合解決スクリプトを定義するか、テーブルの競合検出スクリプトを削除してください。

**テーブル '%1' の更新ローは競合する更新であるため、このロー  
は無視されます。**

エラー・コード	10072
エラー定数	NO_CONFLICT_SCRIPT_IGNORE_UPDATE

パラメータ 1	テーブル名。
---------	--------

#### 考えられる原因

競合アップデートが発生しましたが、このテーブルに競合解決のスキプトが定義されていません。

## パフォーマンス警告 -- データベース接続の再使用率が %1%% です。

エラー・コード	10089
エラー定数	CONN_THRASHING
パラメータ 1	接続の再使用率。

#### 考えられる原因

Mobile Link サーバは、パフォーマンスを向上させるために統合データベースへの接続のプールを維持しています。プールにあるそれぞれの接続は、スクリプト・バージョンに関連付けられています。プールが満杯であり、かつ要求されたバージョンに対して使用可能な接続がない場合、プールにある接続は、必要なバージョンを取得するために再接続されます。詳細については、-cn スイッチを参照してください。

## パブリケーション '%1' は、いずれのテーブルでも参照されていません。

エラー・コード	10022
エラー定数	WARN_PUB_NO_TABLE
パラメータ 1	パブリケーション名。

#### 考えられる原因

Mobile Link 同期クライアントは、アップロード・データ、アップロード・テーブル、パブリケーションなどのアップロード・ストリームを送信します。これらのパブリケーションはすべて、1つ以上のアップロード・テーブルによって参照される必要があります。アップロード・テーブルによって参照されないパブリケーションがある場合、サーバはこの警告を表示します。この問題が発生した場合は、弊社製品の保守契約を結んでいるサポート・センタに問い合わせてください。

**マルチ・ロー操作中にエラーが検出されました。シングル・ロー・モードでリトライする前にロールバックを実行していません。**

エラー・コード	10039
エラー定数	RETRY_AFTER_MULTIPLE_ROW

#### 考えられる原因

Mobile Link サーバがマルチ・ロー・モードを使用してアップロード・ストリームを適用したときに、エラーが検出されました。アップロード・ストリームをロールバックし、シングル・ロー・モードを使用してアップロード・トランザクションを再試行します。

**リモート・クライアントでパススルー・スクリプトが失敗しました。実行順序 : '%1'、スクリプト ID : '%2'、エラー・コード : '%3'、エラー・テキスト : '%4'**

エラー・コード	10091
エラー定数	PASSTHROUGH_SCRIPT_FAILED
パラメータ 1	失敗したパススルー・スクリプトの実行順序。
パラメータ 2	失敗したパススルー・スクリプトのスクリプト ID。
パラメータ 3	失敗したパススルー・スクリプトのエラー・コード。
パラメータ 4	失敗したパススルー・スクリプトのエラー・テキスト。

#### 考えられる原因

エラー・コードとエラー・テキストを確認し、このスクリプトの修復アクションを作成してください。

**リモート・クライアントの同期ログが不完全なまま終了しています。トランケートされたと思われます。**

エラー・コード	10035
エラー定数	ERROR_LOG_TRUNCATED

### 考えられる原因

Mobile Link サーバは、クライアントからリモート・エラー・ログを完全には取得できませんでした。そのため、リモート・エラー・ログはトランケートされた可能性があります。この警告を回避するには、実行中のクライアントを強制終了しないで、ネットワーク接続に異常がないかどうかを確認してください。

## リモート・クライアントの同期ログを読み込んでいるときにエラーが発生しました。

エラー・コード	10033
エラー定数	ERROR_READING_ERROR_LOG

### 考えられる原因

Mobile Link サーバは、クライアントからリモート・エラー・ログを取得できませんでした。この警告を回避するには、実行中のクライアントを強制終了しないで、ネットワーク接続に異常がないかどうかを確認してください。

## リモート・データベースでは、統合データベースのタイムスタンプ精度を一致させることができません。アプリケーション、スキーマ、スクリプト側で精度の不一致に対処するロジックを用意する必要があります。

エラー・コード	10019
エラー定数	REMOTE_CANNOT_MATCH_CONSOLIDATE_TIMESTAMP_PRECISION

### 考えられる原因

統合データベースのタイムスタンプ精度が、リモート・データベースにより達成可能な精度より高いことが分かりました。可能であれば統合データベースのタイムスタンプ精度を低くして、リモート・データベースと統合データベースの間のタイムスタンプ・データの不整合を回避します。それ以外の場合、同期スキーマにおけるタイムスタンプの同期を回避するか、実質的な相違を検出する競合検出スクリプトを作成するか、`-zp` コマンド・ライン・オプションを使用して競合を許容する必要があります。また、使用しているアプリケーションが不整合を処理できる必要があります。

**リモート・データベースと統合データベースでタイムスタンプ精度が異なります。競合を検出するために、精度の低い側よりも高い精度のタイムスタンプ値が使用されました。-zp オプションの使用を検討してください。**

エラー・コード	10021
エラー定数	SUSPICIOUS_TIMESTAMP_DIFFERENCE

#### 考えられる原因

-zp コマンド・ライン・オプションが使用されていない場合に、許容できるタイムスタンプの違いに基づいて、アップロードの競合が検出されました。使用している同期システムに関連するデータベースの精度を揃えないと決定した場合、-zp スイッチを使用して、Mobile Link サーバを起動できます。-zp コマンド・ライン・オプションが使用されている場合、Mobile Link サーバは、2つのデータベース間で精度が低い方より小さいタイムスタンプの違いによって発生した競合は許容します。

**リモート同期ログを含むローカル・ファイルに書き込みません。**

エラー・コード	10034
エラー定数	ERROR_WRITING_ERROR_LOG

#### 考えられる原因

Mobile Link サーバは、リモート・エラー・ログをローカル・ファイルに書き込みませんでした。この警告を回避するには、-e または -et オプションによって指定されたファイル名およびパスが有効で、ファイルが書き込み可能であることを確認してください。

**古い ODBC ドライバ '%1' を使用して作成した DSN を使用しています。http://www.sybase.com/detail?id=1011880 で説明されている推奨ドライバを使用して作成した DSN を使用してください。**

エラー・コード	10077
エラー定数	DRIVER_IS_OUT_OF_DATE
パラメータ 1	ドライバ名。

### 考えられる原因

古いODBC ドライバを使用しています。古いODBC ドライバは、新しい機能がなく、またバグ・フィックスが不十分である可能性があります。最新の推奨ドライバを使用してください。

## 更新されたローを無視しています (古い値)。

エラー・コード	10038
エラー定数	IGNORING_UPDATED_ROW_OLD_VALUES

### 考えられる原因

競合する更新がありますが、統合データベースでそのテーブル用に定義された upload\_old\_row\_insert スクリプトがありません。

## 更新されたローを無視しています (新しい値)。

エラー・コード	10037
エラー定数	IGNORING_UPDATED_ROW_NEW_VALUES

### 考えられる原因

競合する更新がありますが、統合データベースでそのテーブル用に定義された upload\_new\_row\_insert スクリプトがありません。

## 統合データベースからダウンロード・タイムスタンプをフェッチできません。

エラー・コード	10074
エラー定数	ODBC_UNABLE_TO_GET_DOWNLOAD_TIMESTAMP

### 考えられる原因

Mobile Link サーバは、統合データベースからダウンロード・タイムスタンプを取得できませんでした。データベース・サーバが実行中であり、ネットワーク接続に異常がないかどうか確認してください。

## 統合データベースからテーブル '%1' のカラムのデータ型を取得できません。

エラー・コード	10081
エラー定数	UNABLE_TO_RETRIEVE_DATA_TYPES
パラメータ 1	テーブル名。

### 考えられる原因

Mobile Link サーバで、SQLDescribeParam を使用して、統合データベースからこのテーブルのカラムのデータ型を取得できませんでした。したがって、サーバでは、統合データベース内のこのテーブルのデータ型は、リモート・データベースで定義されているデータ型と同じであると見なされます。

## 統合データベースから現在のタイムスタンプを決定できません。

エラー・コード	10043
エラー定数	ODBC_UNABLE_TO_GET_TIMESTAMP

### 考えられる原因

Mobile Link サーバは、統合データベースから現在のタイムスタンプを取得できませんでした。データベース・サーバが実行中であり、ネットワーク接続に異常がないかどうか確認してください。

## 統合データベースでのデッドロック後に begin\_connection トランザクションをリトライします。

エラー・コード	10007
エラー定数	RETRY_BC_AFTER_DEADLOCK

### 考えられる原因

統合データベースの begin\_transaction のトランザクションで、デッドロックが発生しました。この警告を回避するには、デッドロックを発生させないように begin\_connection スクリプトを書き直してください。

## 統合データベースでのデッドロック後に begin\_synchronization トランザクションをリトライします。

エラー・コード	10048
エラー定数	RETRY_BS_AFTER_DEADLOCK

### 考えられる原因

Mobile Link サーバが begin\_synchronization スクリプトを実行したときに、デッドロックが発生しました。トランザクションをロールバックして、このスクリプトをリトライします。

## 統合データベースでのデッドロック後に end\_synchronization トランザクションをリトライします。

エラー・コード	10049
エラー定数	RETRY_ES_AFTER_DEADLOCK

### 考えられる原因

Mobile Link サーバが end\_synchronization スクリプトを実行したときに、デッドロックが発生しました。トランザクションをロールバックして、このスクリプトをリトライします。

## 統合データベースでのデッドロック後にアップロードをリトライします。

エラー・コード	10045
エラー定数	RETRY_AFTER_DEADLOCK

### 考えられる原因

Mobile Link サーバがアップロード・ストリームを適用したときに、デッドロックが発生しました。トランザクションをロールバックして、このスクリプトをリトライします。この警告を回避するには、同期スクリプト間の競合を解消してください。同期スクリプトと他のアプリケーション間で競合が発生している場合もあります。

## 統合データベースでの競合する更新後にアップロードをリトライします。

エラー・コード	10080
---------	-------



エラー定数	RETRY_AFTER_CONFLICT_UPDATE
-------	-----------------------------

**考えられる原因**

Mobile Link サーバが、スナップショット・アイソレーションでアップロード・ストリームを適用しているときに競合する更新が発生しました。トランザクションをロールバックして、このスクリプトをリトライします。この警告を回避するには、この統合データベースに接続している他のすべてのアプリケーションで開いているすべてのトランザクションをコミットしてください。

## 統合データベースで現在実行されている SQL 文の実行時間が長すぎます。接続 ID は %1 です。

エラー・コード	10088
エラー定数	SQL_STMT_TIMEOUT

**考えられる原因**

Mobile Link サーバが、現在実行されている SQL 文の実行時間が長すぎて同期がスタック状態になっている可能性があることを検出しました。統合データベース・サーバをチェックして、接続がまだ正常であるかどうかを確認してください。

## 統合データベースとリモート・データベースでタイムスタンプの精度が異なります。統合データベースのタイムスタンプ精度は秒の小数点以下第 %1 位、リモート・データベースのタイムスタンプ精度は小数点第 %2 位です。

エラー・コード	10017
エラー定数	LOSING_TIMESTAMP_PRECISION
パラメータ 1	秒の小数点以下第何位という形式で表した統合データベースのタイムスタンプ精度。
パラメータ 2	秒の小数点以下第何位という形で表した、リモート・データベースのタイムスタンプ精度。

**考えられる原因**

リモート・データベースと統合データベースの間で、タイムスタンプ精度の整合性が失われています。パフォーマンスの低下またはデータの不整合を避けるために、両データベースの精度を揃えてください。

**統合データベースとリモート・データベース間で、最後に同期をとった時点が一致しません。既知の最後の同期時点から始まる新規アップロードの送信をリモート・データベースに要求しています。**

エラー・コード	10012
エラー定数	TXN_LOG_COOKIE_MISMATCH

#### 考えられる原因

各同期の後、Mobile Link サーバはシステム・テーブルにリモート終了ログ・オフセットを格納し、新しい同期が発生するとこれらの終了ログ・オフセットをリモート開始オフセットと比較します。終了オフセットが開始オフセットと一致しない場合は、サーバはこの警告を表示し、オフセットの不一致に関する情報をクライアントに通知します。

**同時同期上の制限のため、Mobile Link サーバはこの同期でのネットワークの読み込みを停止しています。**

エラー・コード	10083
エラー定数	PLACED_SYNCHRONIZATION_IN_BACKLOG

#### 考えられる原因

同時同期が最大数を越えた場合、Mobile Link サーバは新しい同期接続をすべて中断します。この制限は、-sm オプションを使用して設定されます。

**同時同期数が減少したため、Mobile Link サーバはこの同期でのネットワークの読み込みを再開しました。**

エラー・コード	10084
エラー定数	RESTARTED_SYNCHRONIZATION_IN_BACKLOG

#### 考えられる原因

Mobile Link サーバは、同時同期の制限によって停止された同期の読み込みを再開します。この制限は、-sm オプションを使用して設定されます。

**認識されない ODBC ドライバ '%1' です。ODBC ドライバは、種類によって機能と品質が大幅に異なります。このドライバには同期に必要な機能がありません。ユーザ自身の責任でご使用ください。**

エラー・コード	10051
エラー定数	DRIVER_IS_NOT_RECOMMENDED
パラメータ 1	ODBC ドライバのファイル名。

#### 考えられる原因

Mobile Link サーバは、一連の ODBC ドライバを使用して十分なテストを行っています。しかし、現在使用している ODBC ドライバはリストにありません。この警告を回避するには、推奨された ODBC ドライバを使用して Mobile Link サーバを実行してください。

**未知のユーザは自動的に追加されます (authenticate\_user スクリプトがない場合)。**

エラー・コード	10064
エラー定数	REPORT_AUTO_ADD_USERS

#### 考えられる原因

これは、Mobile Link サーバのコマンド・ライン・オプション `-zu+` が使用されるときのお知らせメッセージです。

**無効なログの冗長性オプション : '%1!s!'**

エラー・コード	10092
エラー定数	INVALID_LOG_VERBOSITY
パラメータ 1	冗長性オプション。

#### 考えられる原因

`ml_property` テーブルのログの冗長性オプションが無効です。有効な冗長性オプションは、Mobile Link サーバの使用法ウィンドウに記載されています。

## 無効な活性値 '%1' -- 最小値は '%2' です。Mobile Link はデフォルト値 '%2' を使用します。

エラー・コード	10090
エラー定数	INVALID_LIVENESS
パラメータ 1	ml_property テーブル内の活性値。
パラメータ 2	指定できる最小の活性値。
パラメータ 3	デフォルトの活性値。

### 考えられる原因

Mobile Link サーバは活性値を ml\_property テーブルから取り出します。この値は特定の値以上である必要があります。この値が小さすぎる場合、サーバのパフォーマンスが低下する可能性があります。その場合、サーバはデフォルトの活性値を使用します。

---

# Mobile Link 通信エラー・メッセージ

## 目次

Mobile Link 通信エラー・メッセージの概要 .....	720
Mobile Link 通信エラー・メッセージ (エラー・コード順) .....	721
Mobile Link 通信エラー・メッセージ (エラー定数順) .....	728
Mobile Link 通信エラー・メッセージ (五十音順) .....	738

---

## Mobile Link 通信エラー・メッセージの概要

エラー・メッセージは、Mobile Link サーバのメッセージ・ログと Mobile Link SQL Anywhere クライアントのメッセージ・ログに書き込まれます。エラー・コードは、**stream\_error** パラメータの **ss\_error\_code** メンバで Ultra Light クライアントに返されます。

## Mobile Link 通信エラー・メッセージ (エラー・コード順)

エラー・コード	メッセージ・テキスト
0	「エラーがないか、または不明なエラーです」 749 ページ
1	「不正なパラメータ '%1' です。」 775 ページ
2	「パラメータ値 '%1' は符号なし整数ではありません。」 760 ページ
3	「パラメータ値 '%1' は符号なし整数値または範囲ではありません。範囲の形式は NNN-NNN です。」 760 ページ
4	「パラメータ値 '%1' は有効なブール値ではありません。値を 0 または 1 に指定します。」 761 ページ
5	「パラメータ値 '%1' は有効な 16 進数値ではありません。」 761 ページ
6	「十分なメモリを割り付けることができません。」 767 ページ
7	「パラメータ文字列 '%1' を解析できません。」 761 ページ
8	「%1 バイトを読み込めません。」 739 ページ
9	「%1 バイトを書き込めません。」 738 ページ
10	「終了書き込みが失敗しました。」 767 ページ
11	「終了読み込みが失敗しました。」 767 ページ
12	「この機能は実装されていません。」 751 ページ
13	「この操作を行うとブロッキングが発生します。」 751 ページ
14	「乱数を生成できません。」 779 ページ
15	「乱数ジェネレータを初期化できません。」 779 ページ
16	「乱数ジェネレータにシードを設定できません。」 779 ページ
17	「乱数オブジェクトを作成できません。」 778 ページ
18	「シャットダウン時にエラーが発生しました。」 753 ページ
19	「接続キューからデキューできません。」 771 ページ

エラー・コード	メッセージ・テキスト
20	「不正なルート証明書です。」 775 ページ
21	「認識されない組織 '%1' です。」 773 ページ
24	「信頼できないサーバ証明書です。」 770 ページ
25	「セキュリティ・コンテキストを複製できません。」 754 ページ
26	「ネットワーク・レイヤをセキュリティ・レイヤに付加できません。」 759 ページ
33	「証明書ファイル '%1' を開けません。」 768 ページ
34	「証明書を読み込めません。」 769 ページ
35	「プライベート・キーを読み込めません。」 763 ページ
36	「プライベート・キーを設定できません。」 762 ページ
37	「証明書有効期日をフェッチできません。」 769 ページ
38	「証明書をコピーできません。」 768 ページ
39	「証明書を証明書チェーンに追加できません。」 769 ページ
40	「信頼できる証明書ファイル '%1' を見つけられません。」 771 ページ
41	「信頼できる証明書ファイル '%1' から読み込み中にエラーが発生しました。」 770 ページ
42	「信頼できる証明書が %1 で見つかりません。」 770 ページ
43	「証明書を割り付けることができません。」 769 ページ
44	「証明書をインポートできません。」 768 ページ
48	「信頼できる証明書を追加できません。」 771 ページ
49	「プライベート・キー・オブジェクトを作成できません。」 762 ページ
50	「証明書が失効しました。」 767 ページ
51	「認識されない組織単位 '%1' です。」 774 ページ
52	「認識されない通称 '%1' です。」 774 ページ



エラー・コード	メッセージ・テキスト
53	「ハンドシェイク・エラー」 762 ページ
54	「認識されない HTTP バージョン:%1」 773 ページ
57	「ホスト名 '%1' を見つけられませんでした。」 764 ページ
58	「TCP/IP ソケットを作成できません。」 748 ページ
59	「UDP ソケットを作成できません。」 748 ページ
60	「ポート %1 にソケットをバインドできません。」 764 ページ
61	「ソケット・レイヤをクリーンアップできません。」 754 ページ
62	「ソケットを閉じられません。」 757 ページ
63	「ソケットを接続できません。」 757 ページ
64	「ソケットのローカル名を取得できません。」 756 ページ
65	「ソケットのオプション番号 %1 を取得できません。」 755 ページ
66	「ソケットのオプション番号 %1 を設定できません。」 755 ページ
67	「ソケットで受信できません。バックログは %1 です。」 755 ページ
68	「ソケットをシャットダウンできません。」 756 ページ
69	「ソケットのステータスを選択できません。」 756 ページ
70	「ソケット・レイヤを初期化できません。」 754 ページ
71	「localhost を判別できません。」 747 ページ
72	「アドレスからホストを取得できません。」 748 ページ
73	「ネットワーク・インタフェース・ライブラリをロードできません。」 759 ページ
74	「不正なポート番号 %1 です。値は、0 ～ 65535 でなければなりません。」 775 ページ
75	「ActiveSync 同期をアプリケーション側から開始できません。」 741 ページ
76	「ActiveSync プロバイダがインストールされていません。」 741 ページ

エラー・コード	メッセージ・テキスト
77	「'%1' は未知の内容タイプです。」 740 ページ
78	「クライアント ID は HTTP ヘッダでは使用できません。」 750 ページ
79	「指定された HTTP バッファ・サイズは有効な範囲を越えています。」 766 ページ
80	「HTTP 本文に余分なデータが見つかりました : %1」 747 ページ
81	「コード化された CR LF の読み込みに失敗しました。」 750 ページ
82	「CR LF の読み込みに失敗しました。」 742 ページ
83	「この同期で次の HTTP 要求を待機中にタイムアウトが発生しました。」 751 ページ
84	「コード化されたチャンク長の読み込みに失敗しました。」 751 ページ
85	「チャンク長を解析中に予期しない文字が読み込まれました。 %1」 758 ページ
86	「エラー・ステータスが返されました : '%1'」 749 ページ
87	「未知の転送エンコードです : '%1'」 776 ページ
88	「cookie を解析できません : '%1'」 741 ページ
89	「リモートからの予期されたデータですが、現在の要求は POST ではありません。」 765 ページ
200	「活性タイムアウト値 %1 が無効です。値は 0 ~ 65535 の範囲でなければなりません。」 766 ページ
201	「%1 バイトを読み込もうとしてタイムアウトになりました。」 739 ページ
202	「%1 バイトを書き込もうとしてタイムアウトになりました。」 738 ページ
203	「自動ダイヤルアップはこのマシンではサポートされていません。」 766 ページ
204	「%1 へのダイヤル接続に失敗しました。」 740 ページ
205	「サーバ証明書が指定されていません。」 752 ページ
206	「サーバ証明書のパスワードが指定されていません。」 752 ページ
207	「信頼できるルート証明書が指定されていません。」 770 ページ

エラー・コード	メッセージ・テキスト
208	「暗号化されていないサーバ・キーに対してパスワードが指定されました。」 765 ページ
209	「HTTP 認証にはユーザ ID とパスワードが必要です。」 746 ページ
210	「HTTP プロキシ認証にはユーザ ID とパスワードが必要です。」 745 ページ
211	「HTTP 認証に失敗しました。」 746 ページ
212	「HTTP プロキシの認証に失敗しました。」 745 ページ
213	「ユーザ ID が指定されていません。」 764 ページ
214	「パスワードが指定されていません。」 759 ページ
215	「HTTP 認証アルゴリズムがサポートされていません:%1」 746 ページ
216	「HTTP ヘッダの解析エラーです:%1」 746 ページ
217	「HTTP サーバの認証に失敗しました。」 745 ページ
218	「操作が中断されました。」 772 ページ
219	「無効な HTTP 文字です。」 776 ページ
220	「内部エラー (%1) です。」 772 ページ
221	「システム証明書ストアを開けませんでした。」 753 ページ
222	「システム証明書ストアから証明書をインポートできませんでした。」 752 ページ
223	「システム証明書ストアに証明書がありませんでした。」 753 ページ
224	「ライブラリ %1 をロードできませんでした。」 765 ページ
225	「関数 %1 が見つかりませんでした。」 766 ページ
226	「無効な同期プロトコルです:%1」 777 ページ
227	「内部プロトコルがロードされませんでした:%1」 773 ページ
228	「サーバ・エラー %1 です。」 752 ページ
229	「パラメータがありません:%1」 760 ページ

エラー・コード	メッセージ・テキスト
230	「%1 を書き込み用に 開けませんでした。」 740 ページ
231	「プロトコル・エラー」 763 ページ
232	「無効な圧縮型です : %1」 776 ページ
233	「%1 に指定した値が範囲から外れています。」 738 ページ
234	「予期しない要求タイプです : %1」 778 ページ
235	「不正なセッション cookie (ML_SESSION_ID) 値です : %1」 775 ページ
236	「ヘッダを復号化しているときに予期しない HTTP ステータス %1 になりました。」 763 ページ
237	「予期しない内部 HTTP 要求タイプ %1 です。」 778 ページ
238	「内部エラー : %1 が %2 を返しました。」 772 ページ
239	「ECC 暗号化は、FIPS に準拠していません。」 744 ページ
240	「認識できない TLS タイプ %1 です。」 774 ページ
241	「接続試行がタイムアウトになりました。」 772 ページ
242	「セキュア・ストリームの FIPS は明示的に無効になっていますが、-fips オプションが有効になっています。」 753 ページ
243	「ダウンロードしたファイルのローカル・パス %1 が無効です。」 757 ページ
244	「'%1' は未知のセッション・キー・タイプです。」 740 ページ
245	「ネットワーク・インタフェース・ライブラリが不正か破損しています : %1」 758 ページ
248	「ネットワーク・インタフェース・ライブラリのバージョンが一致しません。予期されたバージョンは %1.%2 ですが、バージョン %3.%4 が見つかりました。」 758 ページ
249	「Mobile Link 認証に失敗しました。」 747 ページ
250	「SACI 実装が一致しません。」 747 ページ
251	「クライアントから、不明なパブリック・キー・エンドツーエンド暗号化タイプ %1 が送信されました。」 750 ページ

エラー・コード	メッセージ・テキスト
252	「予期しないパブリック・キー・エンドツーエンド暗号化タイプです。%1 を予期していましたが、%2 を受信しました。」 777 ページ
253	「エンドツーエンド暗号化キーが一致しません。」 749 ページ
254	「予期しないプライベート・キー・タイプです。%1 を予期していましたが、e2ee_private_key ファイル'%3' に %2 が見つかりました。」 777 ページ
255	「e2ee_private_key ファイル'%1' を読み込めません。エラー・コードは %2 です。」 743 ページ
256	「e2ee_private_key ファイル'%1' にプライベート・キーがありません。」 742 ページ
257	「e2ee_private_key ファイル'%1' を復号化できません。エラー・コードは %2 です。」 744 ページ
258	「e2ee_private_key ファイル'%1' を読み込めません。エラー・コードは %2 です。」 743 ページ
259	「e2ee_private_key ファイル'%1' の e2ee_private_key_password がありません。」 743 ページ
260	「e2ee_private_key がありません。」 742 ページ
261	「e2ee_type '%1' が不正です。」 744 ページ
262	「エンドツーエンド暗号化の ECC を初期化できません。エラー・コードは %1 です。」 749 ページ
263	「e2ee パブリック・キーを読み込めません。」 742 ページ
264	「ファイル'%1' を開けません。」 762 ページ

## Mobile Link 通信エラー・メッセージ (エラー一定数順)

エラー定数	メッセージ・テキスト
ACTSYNC_NO_PORT	「ActiveSync 同期をアプリケーション側から開始できません。」 741 ページ
ACTSYNC_NOT_INSTALLED	「ActiveSync プロバイダがインストールされていません。」 741 ページ
AUTHENTICATION_FAILED	「Mobile Link 認証に失敗しました。」 747 ページ
CONNECT_TIMEOUT	「接続試行がタイムアウトになりました。」 772 ページ
COULD_NOT_OPEN_FILE	「ファイル '%1' を開けません。」 762 ページ
COULD_NOT_OPEN_FILE_FOR_WRITE	「%1 を書き込み用に開けませんでした。」 740 ページ
CREATE_RANDOM_OBJECT	「乱数オブジェクトを作成できません。」 778 ページ
DEQUEUEING_CONNECTION	「接続キューからデキューできません。」 771 ページ
DUN_DIAL_FAILED	「%1 へのダイヤル接続に失敗しました。」 740 ページ
DUN_NOT_SUPPORTED	「自動ダイヤルアップはこのマシンではサポートされていません。」 766 ページ
E2EE_DECODING_PRIVATE_KEY_FILE	「e2ee_private_key ファイル '%1' を復号化できません。エラー・コードは %2 です。」 744 ページ
E2EE_INIT_ECC	「エンドツーエンド暗号化の ECC を初期化できません。エラー・コードは %1 です。」 749 ページ
E2EE_INVALID_TYPE	「e2ee_type '%1' が不正です。」 744 ページ
E2EE_MISMATCHED_KEYS	「エンドツーエンド暗号化キーが一致しません。」 749 ページ

エラー定数	メッセージ・テキスト
E2EE_MISSING_PRIVATE_KEY	「e2ee_private_key がありません。」 742 ページ
E2EE_MISSING_PRIVATE_KEY_PASSWORD	「e2ee_private_key ファイル '%1' の e2ee_private_key_password がありません。」 743 ページ
E2EE_NO_PRIVATE_KEY_IN_FILE	「e2ee_private_key ファイル '%1' にプライベート・キーがありません。」 742 ページ
E2EE_PUBLIC_KEY	「e2ee パブリック・キーを読み込めません。」 742 ページ
E2EE_READING_PRIVATE_KEY	「e2ee_private_key ファイル '%1' を読み込めません。エラー・コードは %2 です。」 743 ページ
E2EE_READING_PRIVATE_KEY_FILE	「e2ee_private_key ファイル '%1' を読み込めません。エラー・コードは %2 です。」 743 ページ
E2EE_UNEXPECTED_PRIVATE_KEY_TYPE	「予期しないプライベート・キー・タイプです。%1 を予期していましたが、e2ee_private_key ファイル '%3' に %2 が見つかりました。」 777 ページ
E2EE_UNEXPECTED_PUBLIC_KEY_ENC_TYPE	「予期しないパブリック・キー・エンドツーエンド暗号化タイプです。%1 を予期していましたが、%2 を受信しました。」 777 ページ
E2EE_UNKNOWN_PUBLIC_KEY_ENC_TYPE	「クライアントから、不明なパブリック・キー・エンドツーエンド暗号化タイプ %1 が送信されました。」 750 ページ
END_READ	「終了読み込みが失敗しました。」 767 ページ
END_WRITE	「終了書き込みが失敗しました。」 767 ページ
GENERATE_RANDOM	「乱数を生成できません。」 779 ページ
HTTP_AUTHENTICATION_FAILED	「HTTP 認証に失敗しました。」 746 ページ

エラー定数	メッセージ・テキスト
HTTP_AUTHENTICATION_REQUIRED	「HTTP 認証にはユーザ ID とパスワードが必要です。」 746 ページ
HTTP_BAD_STATUS_CODE	「エラー・ステータスが返されました： '%1'」 749 ページ
HTTP_BUFFER_SIZE_OUT_OF_RANGE	「指定された HTTP バッファ・サイズは有効な範囲を越えています。」 766 ページ
HTTP_CHUNK_LEN_BAD_CHARACTER	「チャンク長を解析中に予期しない文字が読み込まれました。 %1」 758 ページ
HTTP_CHUNK_LEN_ENCODED_MISSING	「コード化されたチャンク長の読み込みに失敗しました。」 751 ページ
HTTP_CLIENT_ID_NOT_SET	「クライアント ID は HTTP ヘッダでは使用できません。」 750 ページ
HTTP_CONTENT_TYPE_NOT_SPECIFIED	「'%1' は未知の内容タイプです。」 740 ページ
HTTP_CRLF_ENCODED_MISSING	「コード化された CR LF の読み込みに失敗しました。」 750 ページ
HTTP_CRLF_MISSING	「CR LF の読み込みに失敗しました。」 742 ページ
HTTP_EXPECTED_POST	「リモートからの予期されたデータですが、現在の要求は POST ではありません。」 765 ページ
HTTP_EXTRA_DATA_END_READ	「HTTP 本文に余分なデータが見つかりました： %1」 747 ページ
HTTP_HEADER_PARSE_ERROR	「HTTP ヘッダの解析エラーです： %1」 746 ページ
HTTP_INTERNAL_HEADER_STATE	「ヘッダを復号化しているときに予期しない HTTP ステータス %1 になりました。」 763 ページ
HTTP_INTERNAL_REQUEST_TYPE	「予期しない内部 HTTP 要求タイプ %1 です。」 778 ページ
HTTP_INVALID_CHARACTER	「無効な HTTP 文字です。」 776 ページ



エラー定数	メッセージ・テキスト
HTTP_INVALID_SESSION_KEY	「%1'は未知のセッション・キー・タイプです。」 740 ページ
HTTP_MALFORMED_SESSION_COOKIE	「不正なセッション cookie (ML_SESSION_ID) 値です: %1」 775 ページ
HTTP_NO_CONTD_CONNECTION	「この同期で次の HTTP 要求を待機中にタイムアウトが発生しました。」 751 ページ
HTTP_NO_PASSWORD	「パスワードが指定されていません。」 759 ページ
HTTP_NO_USERID	「ユーザ ID が指定されていません。」 764 ページ
HTTP_PROXY_AUTHENTICATION_FAILED	「HTTP プロキシの認証に失敗しました。」 745 ページ
HTTP_PROXY_AUTHENTICATION_REQUIRED	「HTTP プロキシ認証にはユーザ ID とパスワードが必要です。」 745 ページ
HTTP_SERVER_AUTH_FAILED	「HTTP サーバの認証に失敗しました。」 745 ページ
HTTP_UNABLE_TO_PARSE_COOKIE	「cookie を解析できません: %1」 741 ページ
HTTP_UNKNOWN_TRANSFER_ENCODING	「未知の転送エンコードです: %1」 776 ページ
HTTP_UNSUPPORTED_AUTH_ALGORITHM	「HTTP 認証アルゴリズムがサポートされていません: %1」 746 ページ
HTTP_VERSION	「認識されない HTTP バージョン: %1」 773 ページ
INCONSISTENT_FIPS	「セキュア・ストリームの FIPS は明示的に無効になっていますが、-fips オプションが有効になっています。」 753 ページ
INIT_RANDOM	「乱数ジェネレータを初期化できません。」 779 ページ
INTERNAL	「内部エラー (%1) です。」 772 ページ

エラー定数	メッセージ・テキスト
INTERNAL_API	「内部エラー：%1 が %2 を返しました。」 772 ページ
INTERNAL_PROTOCOL_NOT_LOADED	「内部プロトコルがロードされませんでした：%1」 773 ページ
INTERRUPTED	「操作が中断されました。」 772 ページ
INVALID_COMPRESSION_TYPE	「無効な圧縮型です：%1」 776 ページ
INVALID_LOCAL_PATH	「ダウンロードしたファイルのローカル・パス %1 が無効です。」 757 ページ
INVALID_NETWORK_LIBRARY	「ネットワーク・インタフェース・ライブラリが不正か破損しています：%1」 758 ページ
INVALID_SYNC_PROTOCOL	「無効な同期プロトコルです：%1」 777 ページ
LIBRARY_ENTRY_POINT_NOT_FOUND	「関数 %1 が見つかりませんでした。」 766 ページ
LOAD_LIBRARY_FAILURE	「ライブラリ %1 をロードできませんでした。」 765 ページ
LOAD_NETWORK_LIBRARY	「ネットワーク・インタフェース・ライブラリをロードできません。」 759 ページ
MEMORY_ALLOCATION	「十分なメモリを割り付けることができません。」 767 ページ
MISSING_PARAMETER	「パラメータがありません：%1」 760 ページ
NETWORK_LIBRARY_VERSION_MISMATCH	「ネットワーク・インタフェース・ライブラリのバージョンが一致しません。予期されたバージョンは %1.%2 ですが、バージョン %3.%4 が見つかりました。」 758 ページ
NO_ECC_FIPS	「ECC 暗号化は、FIPS に準拠していません。」 744 ページ
NONE	「エラーがないか、または不明なエラーです」 749 ページ

エラー定数	メッセージ・テキスト
NOT_IMPLEMENTED	「この機能は実装されていません。」 751 ページ
PARAMETER	「不正なパラメータ '%1' です。」 775 ページ
PARAMETER_NOT_BOOLEAN	「パラメータ値 '%1' は有効なブール値ではありません。値を 0 または 1 に指定します。」 761 ページ
PARAMETER_NOT_HEX	「パラメータ値 '%1' は有効な 16 進数値ではありません。」 761 ページ
PARAMETER_NOT_UINT32	「パラメータ値 '%1' は符号なし整数ではありません。」 760 ページ
PARAMETER_NOT_UINT32_RANGE	「パラメータ値 '%1' は符号なし整数値または範囲ではありません。範囲の形式は NNN-NNN です。」 760 ページ
PARSE	「パラメータ文字列 '%1' を解析できません。」 761 ページ
PROTOCOL_ERROR	「プロトコル・エラー」 763 ページ
READ	「%1 バイトを読み込めません。」 739 ページ
READ_TIMEOUT	「%1 バイトを読み込もうとしてタイムアウトになりました。」 739 ページ
SACI_IMPLEMENTATION_MISMATCH	「SACI 実装が一致しません。」 747 ページ
SECURE_ADD_CERTIFICATE	「証明書を証明書チェーンに追加できません。」 769 ページ
SECURE_ADD_TRUSTED_CERTIFICATE	「信頼できる証明書を追加できません。」 771 ページ
SECURE_CERTIFICATE_COMMON_NAME	「認識されない通称 '%1' です。」 774 ページ
SECURE_CERTIFICATE_COMPANY_NAME	「認識されない組織 '%1' です。」 773 ページ

エラー定数	メッセージ・テキスト
SECURE_CERTIFICATE_COMPANY_UNIT	「認識されない組織単位 '%1' です。」 774 ページ
SECURE_CERTIFICATE_COUNT	「信頼できる証明書が %1 で見つかりません。」 770 ページ
SECURE_CERTIFICATE_EXPIRED	「証明書が失効しました。」 767 ページ
SECURE_CERTIFICATE_EXPIRY_DATE	「証明書有効期日をフェッチできません。」 769 ページ
SECURE_CERTIFICATE_FILE_NOT_FOUND	「証明書ファイル '%1' を開けません。」 768 ページ
SECURE_CERTIFICATE_NOT_TRUSTED	「信頼できないサーバ証明書です。」 770 ページ
SECURE_CERTIFICATE_ROOT	「不正なルート証明書です。」 775 ページ
SECURE_CREATE_CERTIFICATE	「証明書を割り付けることができません。」 769 ページ
SECURE_CREATE_PRIVATE_KEY_OBJECT	「プライベート・キー・オブジェクトを作成できません。」 762 ページ
SECURE_DUPLICATE_CONTEXT	「セキュリティ・コンテキストを複製できません。」 754 ページ
SECURE_EXPORT_CERTIFICATE	「証明書をコピーできません。」 768 ページ
SECURE_HANDSHAKE	「ハンドシェイク・エラー」 762 ページ
SECURE_IMPORT_CERT_FROM_SYSTEM_STORE	「システム証明書ストアから証明書をインポートできませんでした。」 752 ページ
SECURE_IMPORT_CERTIFICATE	「証明書をインポートできません。」 768 ページ
SECURE_NO_CERTS_IN_SYS_STORE	「システム証明書ストアに証明書がありませんでした。」 753 ページ
SECURE_NO_SERVER_CERTIFICATE	「サーバ証明書が指定されていません。」 752 ページ

エラー定数	メッセージ・テキスト
SECURE_NO_SERVER_CERTIFICATE_PASSWORD	「サーバ証明書のパスワードが指定されていません。」 752 ページ
SECURE_NO_TRUSTED_ROOTS	「信頼できるルート証明書が指定されていません。」 770 ページ
SECURE_OPEN_SYSTEM_CERT_STORE	「システム証明書ストアを開けませんでした。」 753 ページ
SECURE_READ_CERTIFICATE	「証明書を読み込めません。」 769 ページ
SECURE_READ_PRIVATE_KEY	「プライベート・キーを読み込めません。」 763 ページ
SECURE_REDUNDANT_SERVER_CERTIFICATE_PASSWORD	「暗号化されていないサーバ・キーに対してパスワードが指定されました。」 765 ページ
SECURE_SET_IO	「ネットワーク・レイヤをセキュリティ・レイヤに付加できません。」 759 ページ
SECURE_SET_PRIVATE_KEY	「プライベート・キーを設定できません。」 762 ページ
SECURE_TRUSTED_CERTIFICATE_FILE_NOT_FOUND	「信頼できる証明書ファイル '%1' を見つけれません。」 771 ページ
SECURE_TRUSTED_CERTIFICATE_READ	「信頼できる証明書ファイル '%1' から読み込み中にエラーが発生しました。」 770 ページ
SEED_RANDOM	「乱数ジェネレータにシードを設定できません。」 779 ページ
SERVER_ERROR	「サーバ・エラー %1 です。」 752 ページ
SHUTTING_DOWN	「シャットダウン時にエラーが発生しました。」 753 ページ
SOCKET_BIND	「ポート %1 にソケットをバインドできません。」 764 ページ
SOCKET_CLEANUP	「ソケット・レイヤをクリーンアップできません。」 754 ページ

エラー定数	メッセージ・テキスト
SOCKET_CLOSE	「ソケットを閉じられませ ん。」 757 ページ
SOCKET_CONNECT	「ソケットを接続できませ ん。」 757 ページ
SOCKET_CREATE_TCPIP	「TCP/IP ソケットを作成できませ ん。」 748 ページ
SOCKET_CREATE_UDP	「UDP ソケットを作成できませ ん。」 748 ページ
SOCKET_GET_HOST_BY_ADDR	「アドレスからホストを取得できませ ん。」 748 ページ
SOCKET_GET_NAME	「ソケットのローカル名を取得できませ ん。」 756 ページ
SOCKET_GET_OPTION	「ソケットのオプション番号 %1 を取得でき ません。」 755 ページ
SOCKET_HOST_NAME_NOT_FOUND	「ホスト名 '%1' を見つけられませんでした。 」 764 ページ
SOCKET_LISTEN	「ソケットで受信できません。バックログ は %1 です。」 755 ページ
SOCKET_LIVENESS_OUT_OF_RANGE	「活性タイムアウト値 %1 が無効です。値 は 0 ～ 65535 の範囲でなければなりませ ん。」 766 ページ
SOCKET_LOCALHOST_NAME_NOT_FOUND	「localhost を判別できませ ん。」 747 ページ
SOCKET_PORT_OUT_OF_RANGE	「不正なポート番号 %1 です。値は、0 ～ 65535 でなければなりませ ん。」 775 ページ
SOCKET_SELECT	「ソケットのステータスを選択できませ ん。」 756 ページ
SOCKET_SET_OPTION	「ソケットのオプション番号 %1 を設定でき ません。」 755 ページ
SOCKET_SHUTDOWN	「ソケットをシャットダウンできませ ん。」 756 ページ

エラー定数	メッセージ・テキスト
SOCKET_STARTUP	「ソケット・レイヤを初期化できません。」 754 ページ
UNEXPECTED_HTTP_REQUEST_TYPE	「予期しない要求タイプです： %1」 778 ページ
UNRECOGNIZED_TLS_TYPE	「認識できない TLS タイプ %1 です。」 774 ページ
VALUE_OUT_OF_RANGE	「%1 に指定した値が範囲から外れています。」 738 ページ
WOULD_BLOCK	「この操作を行うとブロッキングが発生します。」 751 ページ
WRITE	「%1 バイトを書き込めません。」 738 ページ
WRITE_TIMEOUT	「%1 バイトを書き込もうとしてタイムアウトになりました。」 738 ページ

## Mobile Link 通信エラー・メッセージ (五十音順)

### %1 に指定した値が範囲から外れています。

エラー・コード	233
エラー定数	VALUE_OUT_OF_RANGE
パラメータ 1	パラメータの名前。

#### 考えられる原因

指定された値が、パラメータに許可される値の範囲内ではありませんでした。マニュアルでパラメータの説明を参照して、値に許可される範囲を確認してください。

### %1 バイトを書き込めません。

エラー・コード	9
エラー定数	WRITE
パラメータ 1	書き込めなかったバイト数。

#### 考えられる原因

指定されたバイト数をネットワーク・レイヤに書き込むことができません。書き込みは、より規模の大きいネットワーク操作の一部として行われます。たとえば、ネットワーク・レイヤによっては、サブ・レイヤを設定して、ここで上位レイヤの基本操作の一部として読み込みと書き込みを行います。書き込みエラーの原因は、通常は次のいずれかです。1) ネットワークに、書き込みを失敗させる問題が生じた。もう一度接続と操作を行ってください。2) 接続がタイムアウトした。もう一度接続と操作を行ってください。3) 反対側の接続が完全に終了した。クライアントかサーバ(またはその両方)のログで、接続が削除された理由を示すエラーを確認してください。出力ログのエラーを調べて原因を解明し、もう一度操作を行ってください。4) 接続の反対側で処理がアボートされた。クライアントかサーバ(またはその両方)の出力ログで、処理がアボートされた理由を示すエラーを確認してください。通常の方法以外のやり方で処理が停止された場合は、出力ログにエラーは記録されません。もう一度接続と操作を行ってください。5) システム・リソースが不足しており、書き込みを実行できない。システム・リソースを解放してから、もう一度接続と操作を行ってください。再度行ってもうまくいかない場合は、ネットワーク管理者に問い合わせてください。

### %1 バイトを書き込もうとしてタイムアウトになりました。

エラー・コード	202
エラー定数	WRITE_TIMEOUT



パラメータ 1	書き込めなかったバイト数。
---------	---------------

### 考えられる原因

ネットワーク・レイヤによって指定されたバイト数を指定時間内に書き込めませんでした。ネットワークが正常に機能しており、受信側アプリケーションがまだ動作中であることを確認してください。

## %1 バイトを読み込めません。

エラー・コード	8
エラー定数	READ
パラメータ 1	読み込めなかったバイト数。

### 考えられる原因

ネットワーク・レイヤによって指定されたバイト数を読み込めませんでした。読み込みは、より規模の大きいネットワーク操作の一部として行われます。たとえば、ネットワーク・レイヤによっては、サブ・レイヤを設定して、ここで上位レイヤの基本操作の一部として読み込みと書き込みを行います。読み込みエラーの原因は、通常は次のいずれかです。1) ネットワークに、読み込みを失敗させる問題が生じた。もう一度接続と操作を行ってください。2) 接続がタイムアウトした。もう一度接続と操作を行ってください。3) 反対側の接続が完全に終了した。クライアントかサーバ(またはその両方)のログで、接続が削除された理由を示すエラーを確認してください。出力ログのエラーを調べて原因を解明し、もう一度操作を行ってください。4) 接続の反対側で処理がアボートされた。クライアントかサーバ(またはその両方)の出力ログで、処理がアボートされた理由を示すエラーを確認してください。通常の方法以外のやり方で処理が停止された場合は、出力ログにエラーは記録されません。もう一度接続と操作を行ってください。5) システム・リソースが不足しており、読み込みを実行できない。システム・リソースを解放してから、もう一度接続と操作を行ってください。再度行ってもうまくいかない場合は、ネットワーク管理者に問い合わせてください。

## %1 バイトを読み込もうとしてタイムアウトになりました。

エラー・コード	201
エラー定数	READ_TIMEOUT
パラメータ 1	読み込めなかったバイト数。

### 考えられる原因

ネットワーク・レイヤによって指定されたバイト数を指定時間内に読み込めませんでした。ネットワークが正常に機能しており、送信側アプリケーションがまだ動作中であることを確認してください。

**%1 へのダイヤル接続に失敗しました。**

エラー・コード	204
エラー定数	DUN_DIAL_FAILED

**考えられる原因**

指定されたダイヤルアップ・ネットワークに自動ダイヤルアップで接続を確立できませんでした。

**%1 を書き込み用に開けませんでした。**

エラー・コード	230
エラー定数	COULD_NOT_OPEN_FILE_FOR_WRITE
パラメータ 1	ファイルの名前。

**考えられる原因**

指定されたファイルを書き込み用に開くことができませんでした。このファイルが正しいファイルであること、またファイルが他のアプリケーションで使用されていないことを確認してください。

**'%1' は未知のセッション・キー・タイプです。**

エラー・コード	244
エラー定数	HTTP_INVALID_SESSION_KEY
パラメータ 1	セッション・キー・タイプ。

**考えられる原因**

未知のセッション・キー・タイプが指定されました。マニュアルを参照し、サポートされるセッション・キー・タイプに変更してください。

**'%1' は未知の内容タイプです。**

エラー・コード	77
エラー定数	HTTP_CONTENT_TYPE_NOT_SPECIFIED

パラメータ 1	内容タイプ。
---------	--------

**考えられる原因**

未知の内容タイプが指定されました。マニュアルを参照し、サポートされる内容タイプに変更してください。

**ActiveSync プロバイダがインストールされていません。**

エラー・コード	76
エラー定数	ACTSYNC_NOT_INSTALLED

**考えられる原因**

ActiveSync プロバイダがインストールされていません。mlasinst を実行して ActiveSync プロバイダをインストールしてください (詳細についてはマニュアルを参照してください)。

**ActiveSync 同期をアプリケーション側から開始できません。**

エラー・コード	75
エラー定数	ACTSYNC_NO_PORT

**考えられる原因**

ActiveSync 同期を開始できるのは、ActiveSync だけです。開始するには、クレードル内にデバイスを置くか、ActiveSync マネージャの [同期] を選択します。アプリケーションから同期を開始するには、TCP/IP ソケットの同期ストリームを使用してください。

**cookie を解析できません : '%1'**

エラー・コード	88
エラー定数	HTTP_UNABLE_TO_PARSE_COOKIE
パラメータ 1	set cookie ヘッダ。

**考えられる原因**

破損している set cookie ヘッダを判別してください。

## CR LF の読み込みに失敗しました。

エラー・コード	82
エラー定数	HTTP_CRLF_MISSING

### 考えられる原因

使用しているプロキシが Mobile Link と互換性がない可能性があります。設定を確認してください。

## e2ee パブリック・キーを読み込めません。

エラー・コード	263
エラー定数	E2EE_PUBLIC_KEY

### 考えられる原因

エンドツーエンド暗号化のパブリック・キーを読み込もうとして、エラーが発生しました。

## e2ee\_private\_key がありません。

エラー・コード	260
エラー定数	E2EE_MISSING_PRIVATE_KEY

### 考えられる原因

別のエンドツーエンド暗号化オプションが指定されましたが、e2ee\_private\_key オプションではありません。すべてのエンドツーエンド暗号化オプションを指定するか、削除してください。必要なエンドツーエンド暗号化オプションには、e2ee\_type、e2ee\_private\_key、e2ee\_private\_key\_password があります。

## e2ee\_private\_key ファイル '%1' にプライベート・キーがありません。

エラー・コード	256
エラー定数	E2EE_NO_PRIVATE_KEY_IN_FILE
パラメータ 1	e2ee_private_key オプションによるプライベート・キー・ファイル。

**考えられる原因**

指定されたファイル名にプライベート・キーが含まれていません。

## e2ee\_private\_key ファイル '%1' の e2ee\_private\_key\_password がありません。

エラー・コード	259
エラー定数	E2EE_MISSING_PRIVATE_KEY_PASSWORD
パラメータ 1	e2ee_private_key オプションによるプライベート・キー・ファイル。

**考えられる原因**

e2ee\_private\_key ファイルは、e2ee\_private\_key\_password がないと読み込めません。  
e2ee\_private\_key\_password を入力してください。

## e2ee\_private\_key ファイル '%1' を読み込めません。エラー・コードは %2 です。

エラー・コード	255
エラー定数	E2EE_READING_PRIVATE_KEY
パラメータ 1	e2ee_private_key オプションによるプライベート・キー・ファイル。
パラメータ 2	エラー・コード。

**考えられる原因**

e2ee\_private\_key ファイルの読み込み中にエラーが発生しました。弊社製品の保守契約を結んでいるサポート・センタに連絡して、エラー・コードを報告してください。

## e2ee\_private\_key ファイル '%1' を読み込めません。エラー・コードは %2 です。

エラー・コード	258
エラー定数	E2EE_READING_PRIVATE_KEY_FILE

パラメータ 1	e2ee_private_key オプションによるプライベート・キー・ファイル。
パラメータ 2	エラー・コード。

**考えられる原因**

指定されたファイルが読み込めませんでした。弊社製品の保守契約を結んでいるサポート・センタに連絡して、エラー・コードを報告してください。

## e2ee\_private\_key ファイル '%1' を復号化できません。エラー・コードは %2 です。

エラー・コード	257
エラー定数	E2EE_DECODING_PRIVATE_KEY_FILE
パラメータ 1	e2ee_private_key オプションによるプライベート・キー・ファイル。
パラメータ 2	エラー・コード。

**考えられる原因**

ファイルが見つかり、内容を読み込みましたが、ファイルの復号化でエラーが発生しました。弊社製品の保守契約を結んでいるサポート・センタに連絡して、エラー・コードを報告してください。

## e2ee\_type '%1' が不正です。

エラー・コード	261
エラー定数	E2EE_INVALID_TYPE
パラメータ 1	無効なエンツーエンド・プライベート・キー・タイプ

**考えられる原因**

無効な e2ee\_type が指定されました。有効な値を指定してください。

## ECC 暗号化は、FIPS に準拠していません。

エラー・コード	239
---------	-----

エラー定数	NO_ECC_FIPS
-------	-------------

**考えられる原因**

この圧縮処理を行うことができませんでした。弊社製品の保守契約を結んでいるサポート・センタに問い合わせてください。

**HTTP サーバの認証に失敗しました。**

エラー・コード	217
エラー定数	HTTP_SERVER_AUTH_FAILED

**考えられる原因**

サーバから送信された認証情報ヘッダに不正な値が含まれているため、認証に失敗しました。正規の HTTP サーバに接続していることを確認してください。

**HTTP プロキシの認証に失敗しました。**

エラー・コード	212
エラー定数	HTTP_PROXY_AUTHENTICATION_FAILED

**考えられる原因**

入力したユーザ ID とパスワードがプロキシ・サーバで拒否されました。正しく入力したかどうか確認してください。入力した場合は、正しいアクセス権があることをシステム管理者に確認してください。

**HTTP プロキシ認証にはユーザ ID とパスワードが必要です。**

エラー・コード	210
エラー定数	HTTP_PROXY_AUTHENTICATION_REQUIRED

**考えられる原因**

HTTP プロキシが HTTP 認証を要求しました。HTTP 同期パラメータ `http_proxy_userid` と `http_proxy_password` を使用してユーザ ID とパスワードを指定してください。

## HTTP ヘッダの解析エラーです : %1

エラー・コード	216
エラー定数	HTTP_HEADER_PARSE_ERROR

### 考えられる原因

HTTP ヘッダを解析しようとしてエラーが発生しました。ヘッダの形式が間違っている可能性があります。

## HTTP 認証アルゴリズムがサポートされていません : %1

エラー・コード	215
エラー定数	HTTP_UNSUPPORTED_AUTH_ALGORITHM

### 考えられる原因

サーバが要求した HTTP ダイジェスト認証アルゴリズムは、サポートされていません。サポートされているのは「MD5」と「MD5-sess」だけです。

## HTTP 認証にはユーザ ID とパスワードが必要です。

エラー・コード	209
エラー定数	HTTP_AUTHENTICATION_REQUIRED

### 考えられる原因

HTTP サーバまたはゲートウェイが HTTP 認証を要求しました。HTTP 同期パラメータ `http_userid` と `http_password` を使用してユーザ ID とパスワードを指定してください。

## HTTP 認証に失敗しました。

エラー・コード	211
エラー定数	HTTP_AUTHENTICATION_FAILED

### 考えられる原因

入力したユーザ ID とパスワードは拒否されました。正しく入力したかどうか確認してください。入力した場合は、正しいアクセス権があることをシステム管理者に確認してください。



## HTTP 本文に余分なデータが見つかりました : %1

エラー・コード	80
エラー定数	HTTP_EXTRA_DATA_END_READ
パラメータ 1	余分なデータの最初の数文字。

### 考えられる原因

HTTP 本文に余分なデータが追加されています。このデータは、プロキシ・エージェントによって追加された可能性があります。プロキシを削除してください。

## localhost を判別できません。

エラー・コード	71
エラー定数	SOCKET_LOCALHOST_NAME_NOT_FOUND

### 考えられる原因

ネットワーク・レイヤが "localhost" の IP アドレスを判別できませんでした。次の点を確認してください。1) ドメイン・ネーム・サーバ (DNS) またはそれに相当するものが使用できる。DNS が使用できない場合には、代わりに localhost の IP アドレスを明示的に指定してみます (通常は 127.0.0.1)。2) HOSTS ファイルに、"localhost" 名を IP アドレスにマッピングするエントリが入っている。3) 使用できるシステム・リソースが十分にある。不足していれば、システム・リソースを解放してください。

## Mobile Link 認証に失敗しました。

エラー・コード	249
エラー定数	AUTHENTICATION_FAILED

### 考えられる原因

クライアントが Mobile Link への認証に失敗しました。

## SACI 実装が一致しません。

エラー・コード	250
エラー定数	SACI_IMPLEMENTATION_MISMATCH

**考えられる原因**

SACI 実装に互換性のない実装 ID が設定されていたため、ロードできませんでした。

**TCP/IP ソケットを作成できません。**

エラー・コード	58
エラー定数	SOCKET_CREATE_TCPIP

**考えられる原因**

ネットワーク・レイヤが TCP/IP ソケットを作成できませんでした。次の点を確認してください。  
 1) マシンがネットワークに接続されている。2) ソケット・レイヤは適切に初期化されている。5) オープンしているソケット数について、デバイスに制限が設けられている場合は、その値に達していないことを確認する。6) 使用できるシステム・リソースが十分にある。不足していれば、システム・リソースを解放してください。

**UDP ソケットを作成できません。**

エラー・コード	59
エラー定数	SOCKET_CREATE_UDP

**考えられる原因**

ネットワーク・レイヤが UDP ソケットを作成できませんでした。次の点を確認してください。  
 1) マシンがネットワークに接続されている。2) ソケット・レイヤは適切に初期化されている。  
 3) client\_port オプションが使用された場合は、指定したポートがまだ使用されていないことを確認する。クライアント・ポートを1つだけ指定した場合は、NNN-NNN などの範囲を使用することを検討してください。範囲が指定されていた場合は、その範囲を広げるか、別の範囲にすることを検討してください。4) client\_port オプションが使用された場合は、ポートの使用に関するファイアウォールの制限事項がないことを確認する。5) オープンしているソケット数について、デバイスに制限が設けられている場合は、その値に達していないことを確認する。6) 使用できるシステム・リソースが十分にある。不足していれば、システム・リソースを解放してください。

**アドレスからホストを取得できません。**

エラー・コード	72
エラー定数	SOCKET_GET_HOST_BY_ADDR

**考えられる原因**

ネットワーク・レイヤが、IP アドレスを使用してホスト名を取得できませんでした。このエラーは、パブリケーション時に定義されましたが使用されませんでした。

**エラー・ステータスが返されました : '%1'**

エラー・コード	86
エラー定数	HTTP_BAD_STATUS_CODE
パラメータ 1	読み込まれたステータス行。

**考えられる原因**

ステータス行を調べて失敗の原因を判別してください。

**エラーがないか、または不明なエラーです**

エラー・コード	0
エラー定数	NONE

**考えられる原因**

このコードは、ネットワーク・エラーが発生しなかったか、未知のネットワーク・エラーが発生したことを示します。

**エンドツーエンド暗号化キーが一致しません。**

エラー・コード	253
エラー定数	E2EE_MISMATCHED_KEYS

**考えられる原因**

リモートでのエンドツーエンド暗号化に使用された `e2ee_public_key` がサーバでの `e2ee_private_key` に一致しないため、クライアントとサーバが通信できません。

**エンドツーエンド暗号化の ECC を初期化できません。エラー・コードは %1 です。**

エラー・コード	262
---------	-----

エラー定数	E2EE_INIT_ECC
パラメータ 1	エラー・コード。

**考えられる原因**

ECC を初期化しようとしてエラーが発生しました。ECC オプションがインストールされていることを確認してください。

**クライアント ID は HTTP ヘッダでは使用できません。**

エラー・コード	78
エラー定数	HTTP_CLIENT_ID_NOT_SET

**考えられる原因**

クライアント ID が HTTP クライアント・コードに渡されませんでした。修正プログラムについては、弊社製品の保守契約を結んでいるサポート・センタにお問い合わせください。

**クライアントから、不明なパブリック・キー・エンドツーエンド暗号化タイプ %1 が送信されました。**

エラー・コード	251
エラー定数	E2EE_UNKNOWN_PUBLIC_KEY_ENC_TYPE
パラメータ 1	エンドツーエンド暗号化タイプ・コード

**考えられる原因**

クライアントは、サーバで認識されない e2ee\_type 値を送信しました。サーバのバージョンがリモートのバージョンと同じかそれ以上であることを確認してください。

**コード化された CR LF の読み込みに失敗しました。**

エラー・コード	81
エラー定数	HTTP_CRLF_ENCODED_MISSING

**考えられる原因**

使用しているプロキシが Mobile Link と互換性がない可能性があります。設定を確認してください。

## コード化されたチャンク長の読み込みに失敗しました。

エラー・コード	84
エラー定数	HTTP_CHUNK_LEN_ENCODED_MISSING

### 考えられる原因

固定長の HTTP 本文を使用してください。

## この機能は実装されていません。

エラー・コード	12
エラー定数	NOT_IMPLEMENTED

### 考えられる原因

実装されていない内部機能が要求されました。弊社製品の保守契約を結んでいるサポート・センタに問い合わせてください。

## この操作を行うとブロッキングが発生します。

エラー・コード	13
エラー定数	WOULD_BLOCK

### 考えられる原因

ブロッキングが不要または予期されないところで、要求された操作がブロックした可能性があります。

## この同期で次の HTTP 要求を待機中にタイムアウトが発生しました。

エラー・コード	83
エラー定数	HTTP_NO_CONTD_CONNECTION

### 考えられる原因

リモート・サイトから送信される次の HTTP 要求の待機中に、サーバがタイムアウトになりました。この要求がサーバに届かなかった原因を判別するか、永続的な接続を試みてください。

## サーバ・エラー %1 です。

エラー・コード	228
エラー定数	SERVER_ERROR
パラメータ 1	サーバによってレポートされたエラー。

### 考えられる原因

サーバによってエラーがレポートされました。詳細については、Mobile Link の管理者に問い合わせてください。

## サーバ証明書が指定されていません。

エラー・コード	205
エラー定数	SECURE_NO_SERVER_CERTIFICATE

### 考えられる原因

サーバの証明書が指定されていません。通信のセキュリティを保護するには、サーバの証明書が必要です。指定するファイルには、サーバの証明書とプライベート・キーが含まれている必要があります。

## サーバ証明書のパスワードが指定されていません。

エラー・コード	206
エラー定数	SECURE_NO_SERVER_CERTIFICATE_PASSWORD

### 考えられる原因

サーバ証明書のパスワードが入力されていません。サーバの暗号化されたプライベート・キーを復号化するには、パスワードが必要です。

## システム証明書ストアから証明書をインポートできませんでした。

エラー・コード	222
エラー定数	SECURE_IMPORT_CERT_FROM_SYSTEM_STORE

**考えられる原因**

システム証明書ストアから証明書をインポートできませんでした。

**システム証明書ストアに証明書がありませんでした。**

エラー・コード	223
エラー定数	SECURE_NO_CERTS_IN_SYS_STORE

**考えられる原因**

システム証明書ストアで証明書が見つかりませんでした。

**システム証明書ストアを開けませんでした。**

エラー・コード	221
エラー定数	SECURE_OPEN_SYSTEM_CERT_STORE

**考えられる原因**

システム証明書ストアを開けませんでした。

**シャットダウン時にエラーが発生しました。**

エラー・コード	18
エラー定数	SHUTTING_DOWN

**考えられる原因**

シャットダウン中、Mobile Link サーバがネットワーク・レイヤでエラーを検出しました。シャットダウン時に保留になっているネットワーク操作が影響を受けた可能性があります。

**セキュア・ストリームの FIPS は明示的に無効になっていますが、-fips オプションが有効になっています。**

エラー・コード	242
エラー定数	INCONSISTENT_FIPS

**考えられる原因**

Mobile Link サーバのコマンド・ラインで `-fips` スイッチを使用するには、すべてのセキュア・ストリームが FIPS に準拠している必要があります。セキュア・ストリームに `fips` オプションが設定されていない場合は、自動的に FIPS 準拠 (`fips=y` など) になります。セキュア・ストリームから `fips` オプションを削除するか、`fips=y` で有効にしてください。

**セキュリティ・コンテキストを複製できません。**

エラー・コード	25
エラー定数	SECURE_DUPLICATE_CONTEXT

**考えられる原因**

セキュア・ネットワーク・レイヤが、セキュリティ・コンテキストを複製できませんでした。システム・リソースを解放して、もう一度操作を行ってください。

**ソケット・レイヤをクリーンアップできません。**

エラー・コード	61
エラー定数	SOCKET_CLEANUP

**考えられる原因**

ネットワーク・レイヤがソケット・レイヤをクリーンアップできませんでした。これは、すべての接続が終了した後だけに発生するエラーです。したがって現在の接続には影響しません。

**ソケット・レイヤを初期化できません。**

エラー・コード	70
エラー定数	SOCKET_STARTUP

**考えられる原因**

ネットワーク・レイヤがソケット・レイヤを初期化できませんでした。次の点を確認してください。1) ソケット・レイヤが適切にインストールされている。正しいネットワーク・インタフェース・ライブラリが存在し、アクセス可能になっていなければなりません。2) ネットワークにマシンが接続されており、ネットワークからの応答がある。3) 使用できるシステム・リソースが十分にある。不足していれば、システム・リソースを解放してください。



## ソケットで受信できません。バックログは %1 です。

エラー・コード	67
エラー定数	SOCKET_LISTEN
パラメータ 1	要求されたリスナ・バックログ。

### 考えられる原因

サーバがソケットで受信できません。バックログとは、ある一定期間に保留中になっている可能性がある、キューイングされた接続要求の最大数のことです。次の点を確認してください。1) マシンがネットワークに接続されたままになっており、ネットワークからの応答がある。2) 現在のマシンでソケット・リスナが動作するのを妨げるファイアウォールやその他の制限事項がない。3) マシンに制限がある場合、バックログ設定が制限内に収まっている。4) 使用できるシステム・リソースが十分にある。不足していれば、システム・リソースを解放してください。

## ソケットのオプション番号 %1 を取得できません。

エラー・コード	65
エラー定数	SOCKET_GET_OPTION
パラメータ 1	検索中のソケット・オプション。

### 考えられる原因

ネットワーク・レイヤがソケット・オプションを取得できませんでした。このエラーは、接続が失われたことを示す最初の徴候であると考えられます。次の点を確認してください。1) マシンがネットワークに接続されたままになっており、ネットワークからの応答がある。2) 接続の反対側は正常に動作している。3) 使用できるシステム・リソースが十分にある。不足していれば、システム・リソースを解放してください。

## ソケットのオプション番号 %1 を設定できません。

エラー・コード	66
エラー定数	SOCKET_SET_OPTION
パラメータ 1	設定中のソケット・オプション。

### 考えられる原因

ネットワーク・レイヤがソケット・オプションを設定できませんでした。このエラーは、接続が失われたことを示す最初の徴候であると考えられます。次の点を確認してください。1) マシンがネットワークに接続されたままになっており、ネットワークからの応答がある。2) 接続の反対側

は正常に動作している。3) 使用できるシステム・リソースが十分にある。不足していれば、システム・リソースを解放してください。

## ソケットのステータスを選択できません。

エラー・コード	69
エラー定数	SOCKET_SELECT

### 考えられる原因

ネットワーク・レイヤで、読み込みまたは書き込み可能状態のソケットに対して待ち状態に入ろうとするエラーが発生しました。次の点を確認してください。1) マシンがネットワークに接続されており、ネットワークからの応答がある。2) 接続の反対側は正常に動作している。3) 使用できるシステム・リソースが十分にある。不足していれば、システム・リソースを解放してください。

## ソケットのローカル名を取得できません。

エラー・コード	64
エラー定数	SOCKET_GET_NAME

### 考えられる原因

ネットワーク・レイヤがソケットのローカル名を判別できませんでした。TCP/IP 接続には、各接続の両端にポート専用が付加されたソケットがあります。ソケットのローカル名にはこのポート番号が含まれており、これは、接続時にネットワークによって割り当てられます。次の点を確認してください。1) マシンがネットワークに接続されたままになっており、ネットワークからの応答がある。2) 接続の反対側は正常に動作している。3) 使用できるシステム・リソースが十分にある。不足していれば、システム・リソースを解放してください。

## ソケットをシャットダウンできません。

エラー・コード	68
エラー定数	SOCKET_SHUTDOWN

### 考えられる原因

ネットワーク・レイヤがソケットをシャットダウンできませんでした。次の点を確認してください。1) マシンがネットワークに接続されており、ネットワークからの応答がある。2) 接続の反対側は正常に動作している。3) 使用できるシステム・リソースが十分にある。不足していれば、システム・リソースを解放してください。

## ソケットを接続できません。

エラー・コード	63
エラー定数	SOCKET_CONNECT

### 考えられる原因

ネットワーク・レイヤがソケットを接続できませんでした。次の点を確認してください。1) マシンがネットワークに接続されている。2) ソケット・レイヤは適切に初期化されている。3) 適切なホスト・マシンとポートが指定されている。4) ホスト・サーバが正常に稼働しており、適切なポートで受信している。5) ホスト・マシンが、適切なソケット・タイプ (TCP/IP と UDP) で受信を行っている。6) `client_port` オプションが使用された場合は、ポートの使用に関するファイアウォールの制限事項がないことを確認する。7) オープンしているソケット数について、デバイスに制限が設けられている場合は、その値に達していないことを確認する。8) 使用できるシステム・リソースが十分にある。不足していれば、システム・リソースを解放してください。

## ソケットを閉じられません。

エラー・コード	62
エラー定数	SOCKET_CLOSE

### 考えられる原因

ネットワーク・レイヤがソケットを閉じることができませんでした。フラッシュされなかった保留中の書き込みが原因で、ネットワーク・セッションが不完全なまま終了した可能性があります (または、終了していない可能性があります)。次の点を確認してください。1) ネットワーク接続のどちらか一方の側でエラーが発生した。2) 接続の反対側は正常に動作している。3) マシンがネットワークに接続されたままになっており、ネットワークからの応答がある。

## ダウンロードしたファイルのローカル・パス %1 が無効です。

エラー・コード	243
エラー定数	INVALID_LOCAL_PATH
パラメータ 1	ローカル・パス。

### 考えられる原因

ダウンロードされたファイルのローカル・パスが無効です。詳細については、マニュアルを参照してください。

**チャンク長を解析中に予期しない文字が読み込まれました。 %1**

エラー・コード	85
エラー定数	HTTP_CHUNK_LEN_BAD_CHARACTER
パラメータ 1	予期しない文字。

**考えられる原因**

固定長の HTTP 本文を使用してください。

**ネットワーク・インタフェース・ライブラリが不正か破損しています : %1**

エラー・コード	245
エラー定数	INVALID_NETWORK_LIBRARY
パラメータ 1	ネットワーク・ライブラリのパス。

**考えられる原因**

指定されたネットワーク・インタフェース DLL または共有オブジェクトがロードできませんでした。不正か破損している可能性があります。

**ネットワーク・インタフェース・ライブラリのバージョンが一致しません。予期されたバージョンは %1.%2 ですが、バージョン %3.%4 が見つかりました。**

エラー・コード	248
エラー定数	NETWORK_LIBRARY_VERSION_MISMATCH
パラメータ 1	想定されていたメジャー・バージョン。
パラメータ 2	想定されていたマイナー・バージョン。
パラメータ 3	見つかったメジャー・バージョン。
パラメータ 4	見つかったマイナー・バージョン。

**考えられる原因**

バージョンが間違っているため、ネットワーク・インタフェース DLL または共有オブジェクトがロードできませんでした。

**ネットワーク・インタフェース・ライブラリをロードできません。**

エラー・コード	73
エラー定数	LOAD_NETWORK_LIBRARY

**考えられる原因**

ネットワーク・インタフェース・ライブラリを検出してロードすることができませんでした (またはそのいずれか)。次の点を確認してください。1) ソケット・レイヤが適切にインストールされている。適切なネットワーク・インタフェース・ライブラリ (または DLL か共有オブジェクト) が存在しており、アクセス可能になっていなければなりません。2) 使用できるシステム・リソースが十分にある。不足していれば、システム・リソースを解放してください。

**ネットワーク・レイヤをセキュリティ・レイヤに付加できません。**

エラー・コード	26
エラー定数	SECURE_SET_IO

**考えられる原因**

セキュア・ネットワーク・レイヤをネットワーク・レイヤに付加できませんでした。システム・リソースを解放してもう一度操作を行ってください。

**パスワードが指定されていません。**

エラー・コード	214
エラー定数	HTTP_NO_PASSWORD

**考えられる原因**

HTTP 認証にユーザ ID が入力されましたが、パスワードが入力されていません。認証には両方が必要です。

## パラメータがありません : %1

エラー・コード	229
エラー定数	MISSING_PARAMETER
パラメータ 1	見つからないパラメータの名前。

### 考えられる原因

必要なパラメータが指定されていません。

## パラメータ値 '%1' は符号なし整数ではありません。

エラー・コード	2
エラー定数	PARAMETER_NOT_UINT32
パラメータ 1	不正なパラメータ値。

### 考えられる原因

ネットワーク・パラメータの形式は、"name=value;[name2=value2[;...]]" です。このパラメータ値は、符号なし整数ではありません。パラメータ指定の違反箇所を探して、パラメータ値を符号なしの整数に変更してください。

## パラメータ値 '%1' は符号なし整数値または範囲ではありません。範囲の形式は NNN-NNN です。

エラー・コード	3
エラー定数	PARAMETER_NOT_UINT32_RANGE
パラメータ 1	不正なパラメータ値。

### 考えられる原因

ネットワーク・パラメータの形式は、"name=value;[name2=value2[;...]]" です。このパラメータ値は、符号なし整数値または範囲のいずれでもありません。パラメータ指定の違反箇所を探して、パラメータ値を符号なしの整数値か範囲に変更してください。符号なし範囲の形式は NNN-NNN です。

## パラメータ値 '%1' は有効な 16 進数値ではありません。

エラー・コード	5
エラー定数	PARAMETER_NOT_HEX
パラメータ 1	不正なパラメータ値。

### 考えられる原因

ネットワーク・パラメータの形式は、"name=value;[name2=value2[;...]]" です。このパラメータ値は、16 進数値 (基数 16) ではありません。パラメータ指定の違反箇所を探して、パラメータ値を 16 進数値に変更してください。

## パラメータ値 '%1' は有効なブール値ではありません。値を 0 または 1 に指定します。

エラー・コード	4
エラー定数	PARAMETER_NOT_BOOLEAN
パラメータ 1	不正なパラメータ値。

### 考えられる原因

ネットワーク・パラメータの形式は、"name=value;[name2=value2[;...]]" です。このパラメータ値はブール値ではありません。パラメータ指定の違反箇所を探して、パラメータ値を 0 (off または False に対応) または 1 (on または True に対応) に変更してください。

## パラメータ文字列 '%1' を解析できません。

エラー・コード	7
エラー定数	PARSE
パラメータ 1	解析できなかったパラメータ文字列。

### 考えられる原因

ネットワーク・パラメータの形式は、"name=value;[name2=value2[;...]]" です。オプションで、カッコ内にパラメータの全リストを入力できます。入力された文字列はこの表記規則に従っていません。文字列を検査して、フォーマット上の問題を修正してからもう一度操作を行ってください。

## ハンドシェイク・エラー

エラー・コード	53
エラー定数	SECURE_HANDSHAKE

### 考えられる原因

安全なハンドシェイクに失敗しました。次の点を確認してください。1) クライアントでは、正しいホスト・マシンとポート番号が指定されている。2) サーバでは、正しいポート番号が指定されている。3) クライアントでは、正しい信頼できる証明書が指定されていて、サーバでは、正しい ID ファイルが指定されている。

## ファイル '%1' を開けません。

エラー・コード	264
エラー定数	COULD_NOT_OPEN_FILE
パラメータ 1	ファイルの名前。

### 考えられる原因

指定されたファイルを開けませんでした。

## プライベート・キー・オブジェクトを作成できません。

エラー・コード	49
エラー定数	SECURE_CREATE_PRIVATE_KEY_OBJECT

### 考えられる原因

プライベート・キーを読み込む前に、セキュア・ネットワーク・レイヤがプライベート・キーのオブジェクトを作成できませんでした。システム・リソースの不足が主な原因と考えられます。システム・リソースを解放して、もう一度操作を行ってください。

## プライベート・キーを設定できません。

エラー・コード	36
エラー定数	SECURE_SET_PRIVATE_KEY



**考えられる原因**

プライベート・キーを使用できませんでした。次の点を確認してください。1) パスワードが正しく入力されている。2) 証明書ファイルに証明書が1つ以上入っている。3) 証明書ファイルに適切な証明書が入っている。4) 証明書ファイルは破損していない。

**プライベート・キーを読み込めません。**

エラー・コード	35
エラー定数	SECURE_READ_PRIVATE_KEY

**考えられる原因**

証明書ファイルからプライベート・キーを読み込めませんでした。次の点を確認してください。1) パスワードが正しく入力されている。2) 証明書ファイルに証明書が1つ以上入っている。3) 証明書ファイルに適切な証明書が入っている。4) 証明書ファイルは破損していない。

**プロトコル・エラー**

エラー・コード	231
エラー定数	PROTOCOL_ERROR

**考えられる原因**

予期しない値またはトークンが読み込まれました。

**ヘッダを復号化しているときに予期しない HTTP ステータス %1 になりました。**

エラー・コード	236
エラー定数	HTTP_INTERNAL_HEADER_STATE
パラメータ 1	ヘッダの内部ステータス

**考えられる原因**

HTTP ヘッダを復号化できませんでした。これは通常は起こるはずのない内部エラーです。弊社製品の保守契約を結んでいるサポート・センタに問い合わせてください。

## ポート %1 にソケットをバインドできません。

エラー・コード	60
エラー定数	SOCKET_BIND
パラメータ 1	ポート番号。

### 考えられる原因

ネットワーク・レイヤが、指定ポートにソケットをバインドできませんでした。次の項目を確認してください。1) (サーバのみ) ポートがまだ使用されていないことを確認する。ポートが使用中の場合は、そのポートで受信しているアプリケーションを停止するか、別のポートを指定してください。2) (サーバのみ) ポートの使用に関するファイアウォールの制限事項がないことを確認する。3) (クライアントのみ) `client_port` オプションが使用された場合は、指定したポートがまだ使用されていないことを確認する。クライアント・ポートを1つだけ指定した場合は、NNN-NNN などの範囲を使用することを検討してください。範囲が指定されていた場合は、その範囲を広げるか、別の範囲にすることを検討してください。4) (クライアントのみ) `client_port` オプションが使用された場合は、ポートの使用に関するファイアウォールの制限事項がないことを確認する。

## ホスト名 '%1' を見つけられませんでした。

エラー・コード	57
エラー定数	SOCKET_HOST_NAME_NOT_FOUND
パラメータ 1	ホスト名。

### 考えられる原因

指定されたホスト名が見つかりませんでした。次の点を確認してください。1) ホスト名が正しく指定されている。2) ホストがアクセス可能である。多くのシステムには、名前を指定したホストへのアクセスを検証できる ping ユーティリティが組み込まれています。3) ドメイン・ネーム・サーバ (DNS) またはそれに相当するものが使用できる。DNS を使用できない場合は、ホスト名の代わりにホストの IP アドレス (例: NNN.NNN.NNN.NNN) を指定してみてください。4) HOSTS ファイルに、ホスト名を IP アドレスにマッピングするエントリが入っている。

## ユーザ ID が指定されていません。

エラー・コード	213
エラー定数	HTTP_NO_USERID

**考えられる原因**

HTTP 認証にパスワードが入力されましたが、ユーザ ID が入力されていません。認証には両方が必要です。

**ライブラリ %1 をロードできませんでした。**

エラー・コード	224
エラー定数	LOAD_LIBRARY_FAILURE

**考えられる原因**

パスでダイナミック・ライブラリを見つけることができませんでした。同期に TLS 暗号化を使用しようとしている場合は、適切なライセンスを取得していることを確認してください。

**リモートからの予期されたデータですが、現在の要求は POST ではありません。**

エラー・コード	89
エラー定数	HTTP_EXPECTED_POST

**考えられる原因**

使用しているプロキシが Mobile Link と互換性がない可能性があります。設定を確認してください。

**暗号化されていないサーバ・キーに対してパスワードが指定されました。**

エラー・コード	208
エラー定数	SECURE_REDUNDANT_SERVER_CERTIFICATE_PASSWORD

**考えられる原因**

サーバのプライベート・キーがパスワードで暗号化されていないのに、パスワードが指定されました。

**活性タイムアウト値 %1 が無効です。値は 0 ～ 65535 の範囲でなければなりません。**

エラー・コード	200
エラー定数	SOCKET_LIVENESS_OUT_OF_RANGE
パラメータ 1	活性タイムアウト値。

#### 考えられる原因

無効な活性タイムアウト値が指定されました。活性タイムアウト値は、0 ～ 65535 の間の整数にしてください。

**関数 %1 が見つかりませんでした。**

エラー・コード	225
エラー定数	LIBRARY_ENTRY_POINT_NOT_FOUND

#### 考えられる原因

指定されたライブラリのエントリ・ポイントが見つかりませんでした。

**指定された HTTP バッファ・サイズは有効な範囲を越えています。**

エラー・コード	79
エラー定数	HTTP_BUFFER_SIZE_OUT_OF_RANGE

#### 考えられる原因

HTTP バッファ・サイズを修正してください。有効なバッファ・サイズは正の値で、ホスト・プラットフォームにとって大きすぎないように指定してください。

**自動ダイヤルアップはこのマシンではサポートされていません。**

エラー・コード	203
エラー定数	DUN_NOT_SUPPORTED

**考えられる原因**

システム・サポートが十分でないため、ダイヤルアップに失敗しました。PocketPC では cellcore.dll を使用し、Windows では IE 4.0 以降の wininet.dll を使用する必要があります。他のプラットフォームではダイヤルアップはサポートされていません。

**終了書き込みが失敗しました。**

エラー・コード	10
エラー定数	END_WRITE

**考えられる原因**

ネットワークへの一連の書き込みを完了できません。参照：WRITE

**終了読み込みが失敗しました。**

エラー・コード	11
エラー定数	END_READ

**考えられる原因**

ネットワークからの一連の読み込みを完了できません。参照：READ

**十分なメモリを割り付けることができません。**

エラー・コード	6
エラー定数	MEMORY_ALLOCATION

**考えられる原因**

ネットワーク・レイヤで十分なバイト数の記憶領域を割り付けることができませんでした。システム・メモリを解放してもう一度操作を行ってください。システム・メモリを解放する方法は、オペレーティング・システムとその設定方法によって異なります。最も簡単な方法は、アクティブな処理の数を減らすことです。詳細については、使用しているオペレーティング・システムのマニュアルを参照してください。

**証明書が失効しました。**

エラー・コード	50
---------	----

エラー定数	SECURE_CERTIFICATE_EXPIRED
-------	----------------------------

**考えられる原因**

証明書チェーンにある証明書の有効期限が切れています。有効期限が切れていない新しい証明書入手して、再度操作を行ってください。

**証明書ファイル '%1' を開けません。**

エラー・コード	33
エラー定数	SECURE_CERTIFICATE_FILE_NOT_FOUND
パラメータ 1	証明書ファイル名。

**考えられる原因**

証明書ファイルを開けませんでした。次の点を確認してください。1) 証明書ファイル名が適切に指定されている。2) 証明書ファイルが存在する。3) 証明書ファイルに証明書が1つ以上入っている。4) 証明書ファイルに適切な証明書が入っている。5) 証明書ファイルを開こうとしているプログラムにファイルを読み込む権限がある。この項目は、ユーザ・パーミッションかファイル・パーミッション (またはその両方) を持つオペレーティング・システムだけに適用されます。

**証明書をインポートできません。**

エラー・コード	44
エラー定数	SECURE_IMPORT_CERTIFICATE

**考えられる原因**

セキュア・ネットワーク・レイヤが、証明書をインポートできませんでした。次の点を確認してください。1) 証明書ファイル名が適切に指定されている。2) 証明書ファイルが存在する。3) 証明書ファイルに証明書が1つ以上入っている。4) 証明書ファイルに適切な証明書が入っている。

**証明書をコピーできません。**

エラー・コード	38
エラー定数	SECURE_EXPORT_CERTIFICATE

**考えられる原因**

セキュア・ネットワーク・レイヤが、証明書をコピーできませんでした。システム・リソースを解放してもう一度操作を行ってください。

## 証明書を割り付けることができません。

エラー・コード	43
エラー定数	SECURE_CREATE_CERTIFICATE

### 考えられる原因

セキュア・ネットワーク・レイヤが、証明書用の記憶領域を割り付けることができませんでした。システム・リソースを解放してもう一度操作を行ってください。

## 証明書を証明書チェーンに追加できません。

エラー・コード	39
エラー定数	SECURE_ADD_CERTIFICATE

### 考えられる原因

セキュア・ネットワーク・レイヤが、証明書チェーンに証明書を追加できませんでした。システム・リソースを解放してもう一度操作を行ってください。

## 証明書を読み込めません。

エラー・コード	34
エラー定数	SECURE_READ_CERTIFICATE

### 考えられる原因

証明書ファイルが読み込めませんでした。次の点を確認してください。1) パスワードが正しく入力されている。2) 証明書ファイルに証明書が1つ以上入っている。3) 証明書ファイルに適切な証明書が入っている。4) 証明書ファイルは破損していない。

## 証明書有効期日をフェッチできません。

エラー・コード	37
エラー定数	SECURE_CERTIFICATE_EXPIRY_DATE

### 考えられる原因

証明書の有効期日を読み込むことができませんでした。次の点を確認してください。1) パスワードが正しく入力されている。2) 証明書ファイルに証明書が1つ以上入っている。3) 証明書ファイルに適切な証明書が入っている。4) 証明書ファイルは破損していない。

## 信頼できないサーバ証明書です。

エラー・コード	24
エラー定数	SECURE_CERTIFICATE_NOT_TRUSTED

### 考えられる原因

サーバの証明書は信頼できる認証局によって署名されていません。次の点を確認してください。  
 1) 証明書ファイル名が適切に指定されている。2) 証明書ファイルに証明書が1つ以上入っている。3) 証明書ファイルに適切な証明書が入っている。4) 信頼できるルート証明書のクライアント側のリストに、サーバ側のルート証明書が含まれている。

## 信頼できるルート証明書が指定されていません。

エラー・コード	207
エラー定数	SECURE_NO_TRUSTED_ROOTS

### 考えられる原因

信頼できるルート証明書が指定されていません。通信のセキュリティを保護するには、信頼できるルート証明書が少なくとも1つ必要です。

## 信頼できる証明書が %1 で見つかりません。

エラー・コード	42
エラー定数	SECURE_CERTIFICATE_COUNT

### 考えられる原因

指定されたファイルに証明書が入っていません。次の点を確認してください。1) 証明書ファイル名が適切に指定されている。2) 証明書ファイルに証明書が1つ以上入っている。3) 証明書ファイルに適切な証明書が入っている。

## 信頼できる証明書ファイル '%1' から読み込み中にエラーが発生しました。

エラー・コード	41
エラー定数	SECURE_TRUSTED_CERTIFICATE_READ
パラメータ 1	信頼できる証明書ファイル名。



**考えられる原因**

セキュア・ネットワーク・レイヤが、信頼できる証明書ファイルを読み込むことができませんでした。次の点を確認してください。1) 証明書ファイル名が適切に指定されている。2) 証明書ファイルが存在する。3) 証明書ファイルに証明書が1つ以上入っている。4) 証明書ファイルに適切な証明書が入っている。5) 証明書ファイルを開こうとしているプログラムにファイル参照の権限がある。この項目は、ユーザ・パーミッションかファイル・パーミッション (またはその両方) を持つオペレーティング・システムだけに適用されます。

**信頼できる証明書ファイル '%1' を見つけられません。**

エラー・コード	40
エラー定数	SECURE_TRUSTED_CERTIFICATE_FILE_NOT_FOUND
パラメータ 1	信頼できる証明書ファイル名。

**考えられる原因**

証明書ファイルが見つかりませんでした。次の点を確認してください。1) 証明書ファイル名が適切に指定されている。2) 証明書ファイルが存在する。3) 証明書ファイルに証明書が1つ以上入っている。4) 証明書ファイルに適切な証明書が入っている。5) 証明書ファイルを開こうとしているプログラムにファイル参照の権限がある。この項目は、ユーザ・パーミッションかファイル・パーミッション (またはその両方) を持つオペレーティング・システムだけに適用されます。

**信頼できる証明書を追加できません。**

エラー・コード	48
エラー定数	SECURE_ADD_TRUSTED_CERTIFICATE

**考えられる原因**

セキュア・ネットワーク・レイヤが、証明書チェーンに信頼できる証明書を追加できませんでした。システム・リソースの不足が主な原因と考えられます。システム・リソースを解放してもう一度操作を行ってください。

**接続キューからデキューできません。**

エラー・コード	19
エラー定数	DEQUEUEING_CONNECTION

### 考えられる原因

キューイングされている接続 (同期) 要求を取得しようとしているときに、Mobile Link サーバでエラーが発生しました。システム・リソースを解放してください。問題が解決しなければ、Mobile Link サーバを再起動してください。

## 接続試行がタイムアウトになりました。

エラー・コード	241
エラー定数	CONNECT_TIMEOUT

### 考えられる原因

接続試行がタイムアウトになりました。サーバが指定のホストとポートで実行されていないか、タイムアウト値を大きくして接続の試行に使用できる時間を増やす必要があります。

## 操作が中断されました。

エラー・コード	218
エラー定数	INTERRUPTED

### 考えられる原因

現在の操作は呼び出し元によって中断されました。

## 内部エラー (%1) です。

エラー・コード	220
エラー定数	INTERNAL
パラメータ 1	内部エラー・コード。

### 考えられる原因

ネットワーク・レイヤで内部エラーが発生しました。弊社製品の保守契約を結んでいるサポート・センタに問い合わせてください。

## 内部エラー : %1 が %2 を返しました。

エラー・コード	238
---------	-----

エラー定数	INTERNAL_API
パラメータ 1	内部 API の名前。
パラメータ 2	内部エラー・コード。

**考えられる原因**

ネットワーク・レイヤで内部エラーが発生しました。弊社製品の保守契約を結んでいるサポート・センタにお問い合わせください。

**内部プロトコルがロードされませんでした : %1**

エラー・コード	227
エラー定数	INTERNAL_PROTOCOL_NOT_LOADED

**考えられる原因**

同期プロトコルをロードできませんでした。Ultra Light を使用している場合は、適切な ULEnable メソッドを呼び出していることを確認してください。

**認識されない HTTP バージョン : %1**

エラー・コード	54
エラー定数	HTTP_VERSION
パラメータ 1	要求された HTTP バージョン。

**考えられる原因**

要求された HTTP バージョンはサポートされていません。マニュアルを調べて、サポート対象の HTTP バージョンを指定してください。パブリケーション時のサポート対象 HTTP バージョンは 1.0 と 1.1 です。

**認識されない組織 '%1' です。**

エラー・コード	21
エラー定数	SECURE_CERTIFICATE_COMPANY_NAME
パラメータ 1	組織名。

**考えられる原因**

指定された組織名は証明書チェーンに存在しません。次の点を確認してください。1) 組織名が正しく入力されている。2) 適切な証明書ファイルが指定されている。3) 証明書チェーンに組織名が存在している。viewcert ユーティリティを使用して上記を確認できます。

**認識されない組織単位 '%1' です。**

エラー・コード	51
エラー定数	SECURE_CERTIFICATE_COMPANY_UNIT
パラメータ 1	組織単位名。

**考えられる原因**

指定された組織単位は証明書チェーンに存在しません。次の点を確認してください。1) 会社名が正しく入力されている。2) 適切な証明書ファイルが指定されている。3) 証明書チェーンに会社名が存在している。viewcert ユーティリティを使用して上記を確認できます。

**認識されない通称 '%1' です。**

エラー・コード	52
エラー定数	SECURE_CERTIFICATE_COMMON_NAME
パラメータ 1	通称。

**考えられる原因**

指定された通称は証明書チェーンに存在しません。次の点を確認してください。1) 通称が正しく入力されている。2) 適切な証明書ファイルが指定されている。3) 証明書チェーンに通称が存在している。viewcert ユーティリティを使用して上記を確認できます。

**認識できない TLS タイプ %1 です。**

エラー・コード	240
エラー定数	UNRECOGNIZED_TLS_TYPE
パラメータ 1	TLS タイプ

**考えられる原因**

TLS タイプが無効です。有効なタイプについては、マニュアルを参照してください。

## 不正なセッション cookie (ML\_SESSION\_ID) 値です : %1

エラー・コード	235
エラー定数	HTTP_MALFORMED_SESSION_COOKIE
パラメータ 1	cookie の値

### 考えられる原因

同期セッションの管理用の HTTP cookie が破損しています。cookie が破損している箇所を特定してください。クライアント・エラーか、HTTP の中間が正しく動作していないことが主な原因と考えられます。

## 不正なパラメータ '%1' です。

エラー・コード	1
エラー定数	PARAMETER
パラメータ 1	不正なパラメータ値。

### 考えられる原因

ネットワーク・パラメータの形式は、"name=value;[name2=value2[;...]]" です。このコードは、不正なパラメータ値を示しています。該当するパラメータ名について説明したマニュアルを参照して、パラメータ値を修正してください。

## 不正なポート番号 %1 です。値は、0 ~ 65535 でなければなりません。

エラー・コード	74
エラー定数	SOCKET_PORT_OUT_OF_RANGE
パラメータ 1	ポート番号。

### 考えられる原因

不正なポート番号を指定しています。ポート番号は、0 ~ 65535 の間の整数にしてください。

## 不正なルート証明書です。

エラー・コード	20
---------	----

エラー定数	SECURE_CERTIFICATE_ROOT
-------	-------------------------

#### 考えられる原因

チェーンのルート証明書が不正です。このエラーは、パブリケーション時に定義されましたが使用されませんでした。

## 未知の転送エンコードです : '%1'

エラー・コード	87
エラー定数	HTTP_UNKNOWN_TRANSFER_ENCODING
パラメータ 1	未知のエンコード。

#### 考えられる原因

未知の転送エンコードがどのように生成されているかを判別してください。

## 無効な HTTP 文字です。

エラー・コード	219
エラー定数	HTTP_INVALID_CHARACTER

#### 考えられる原因

HTTP ヘッダで予期しない文字が読み込まれました。ヘッダの形式が間違っているか、通信先から HTTP が送信されていない可能性があります。

## 無効な圧縮型です : %1

エラー・コード	232
エラー定数	INVALID_COMPRESSION_TYPE
パラメータ 1	無効な圧縮型

#### 考えられる原因

指定された圧縮型が認識されませんでした。

## 無効な同期プロトコルです : %1

エラー・コード	226
エラー定数	INVALID_SYNC_PROTOCOL

### 考えられる原因

指定されたプロトコルは有効な同期プロトコルではありません。

## 予期しないパブリック・キー・エンドツーエンド暗号化タイプです。%1 を予期していましたが、%2 を受信しました。

エラー・コード	252
エラー定数	E2EE_UNEXPECTED_PUBLIC_KEY_ENC_TYPE
パラメータ 1	サーバによるエンツーエンド暗号化タイプ。
パラメータ 2	クライアントによるエンツーエンド暗号化タイプ。

### 考えられる原因

クライアントは、サーバで指定された e2ee\_type とは異なる e2ee\_type 値を送信しました。両者が同じであることを確認してください。

## 予期しないプライベート・キー・タイプです。%1 を予期していましたが、e2ee\_private\_key ファイル '%3' に %2 が見つかりました。

エラー・コード	254
エラー定数	E2EE_UNEXPECTED_PRIVATE_KEY_TYPE
パラメータ 1	e2ee_type オプションによるエンツーエンド・プライベート・キー・タイプ。
パラメータ 2	ファイルによるエンツーエンド・プライベート・キー・タイプ。
パラメータ 3	e2ee_private_key オプションによるプライベート・キー・ファイル。

### 考えられる原因

e2ee\_private\_key ファイルで見つかったプライベート・キー・タイプは、e2ee\_type で指定されたタイプと一致しません。

## 予期しない内部 HTTP 要求タイプ %1 です。

エラー・コード	237
エラー定数	HTTP_INTERNAL_REQUEST_TYPE
パラメータ 1	内部 HTTP 要求タイプ

### 考えられる原因

HTTP 要求タイプを判別できませんでした。これは通常は起こるはずのない内部エラーです。弊社製品の保守契約を結んでいるサポート・センタに問い合わせてください。

## 予期しない要求タイプです : %1

エラー・コード	234
エラー定数	UNEXPECTED_HTTP_REQUEST_TYPE
パラメータ 1	HTTP 要求タイプ

### 考えられる原因

この HTTP 要求タイプはこの時点では予期されていませんでした。Mobile Link クライアントではない HTTP クライアントが主な原因と考えられます。

## 乱数オブジェクトを作成できません。

エラー・コード	17
エラー定数	CREATE_RANDOM_OBJECT

### 考えられる原因

セキュア・ネットワーク・レイヤが、乱数生成オブジェクトを作成できませんでした。システム・リソースを解放してから、もう一度接続と操作を行ってください。



## 乱数ジェネレータにシードを設定できません。

エラー・コード	16
エラー定数	SEED_RANDOM

### 考えられる原因

セキュア・ネットワーク・レイヤが、乱数ジェネレータにシードを設定できませんでした。システム・リソースを解放してから、もう一度接続と操作を行ってください。

## 乱数ジェネレータを初期化できません。

エラー・コード	15
エラー定数	INIT_RANDOM

### 考えられる原因

セキュア・ネットワーク・レイヤが、乱数ジェネレータを初期化できませんでした。システム・リソースを解放してから、もう一度接続と操作を行ってください。

## 乱数を生成できません。

エラー・コード	14
エラー定数	GENERATE_RANDOM

### 考えられる原因

セキュア・ネットワーク・レイヤでは乱数が必要ですが、それを生成できませんでした。システム・リソースを解放してから、もう一度接続と操作を行ってください。

---

---

# SQL プリプロセッサのエラー・メッセージ

## 目次

SQL プリプロセッサのエラー・メッセージ (エラー・コード順) .....	782
SQL プリプロセッサのエラー・メッセージ (五十音順) .....	785

---

## SQL プリプロセッサのエラー・メッセージ(エラー・コード順)

エラー・コード	メッセージ・テキスト
2601	「サブスクリプト値 %1 が大きすぎます。」 792 ページ
2602	「hosttype にはポインタ配列を使用できません。」 787 ページ
2603	「CHAR 型でサポートされる配列は 1 次元配列だけです。」 785 ページ
2604	「VARCHAR 型には長さの指定が必要です。」 788 ページ
2605	「VARCHAR 型の配列はサポートされません。」 789 ページ
2606	「VARCHAR 型のホスト変数をポインタとすることはできません。」 789 ページ
2607	「VARCHAR 型のホスト変数は初期化できません。」 789 ページ
2608	「FIXCHAR 型には長さの指定が必要です。」 786 ページ
2609	「FIXCHAR 型の配列はサポートされません。」 787 ページ
2610	「この型の配列はサポートされません。」 792 ページ
2611	「DECIMAL 型には精度を指定する必要があります。」 786 ページ
2612	「DECIMAL 型の配列は許可されません。」 786 ページ
2613	「不明なホスト変数の型です。」 797 ページ
2614	「無効な整数です。」 798 ページ
2615	「ホスト変数 %1 は C の文字列型でなければなりません。」 794 ページ
2617	「シンボル %1 はすでに定義されています。」 792 ページ
2618	「無効な型の SQL 文変数です。」 798 ページ
2619	「インクルード・ファイル %1 が見つかりません。」 790 ページ
2620	「ホスト変数 %1 は認識できません。」 794 ページ
2621	「インジケータ変数 %1 は認識できません。」 790 ページ
2622	「インジケータ変数 %1 の型が無効です。」 790 ページ

エラー・コード	メッセージ・テキスト
2623	「%1' に無効な型のホスト変数があります。」 785 ページ
2625	「ホスト変数 %1' に 2 つの異なる定義があります。」 793 ページ
2626	「文 %1' が準備されていません。」 797 ページ
2627	「カーソル %1' が宣言されていません。」 790 ページ
2628	「文 %1' は認識できません。」 798 ページ
2629	「このカーソルではホスト変数を使用できません。」 791 ページ
2630	「ホスト変数が、DECLARE および OPEN で 2 回指定されました。」 794 ページ
2631	「%1 にホスト・リストまたは USING 句を指定してください。」 785 ページ
2633	「SELECT 文に INTO 句がありません。」 787 ページ
2636	「不正な Embedded SQL 構文です。」 797 ページ
2637	「文字列リテラルの終わりに引用符がありません。」 798 ページ
2639	「トークンが長すぎます。」 793 ページ
2640	「ホスト変数 %1' は整数型でなければなりません。」 794 ページ
2642	「同じ種類 (INTO または USING) の SQLDA が 2 つ指定されています。」 796 ページ
2646	「静的カーソルは記述できません。」 796 ページ
2647	「マクロは再定義できません。」 795 ページ
2648	「配列の次元が正しくありません。」 797 ページ
2649	「記述子のインデックスが正しくありません。」 795 ページ
2650	「SET DESCRIPTOR に対する不正なフィールドです。」 788 ページ
2651	「SET DESCRIPTOR 文ですでに使用されたフィールドです。」 788 ページ
2652	「データの値はホスト変数でなければなりません。」 792 ページ
2660	「INTO 句は DECLARE カーソルでは許可されません - 無視されます。」 787 ページ

エラー・コード	メッセージ・テキスト
2661	「認識できない SQL 構文です。」 796 ページ
2662	「不明な SQL 関数 '%1' です。」 797 ページ
2663	「SQL 関数 '%1' に対する引数の数が正しくありません。」 788 ページ
2664	「静的文の名前は、2つのスレッドで使用する場合、正しく機能しません。」 796 ページ
2665	「ホスト変数 '%1' が再定義されています。」 793 ページ
2666	「構文に許可されない言語の拡張機能が検出されました。」 795 ページ
2667	「構文に言語の拡張機能が検出されました。」 795 ページ
2680	「DECLARE SECTION 文と INCLUDE SQLCA 文がありません。」 786 ページ
2681	「テンポラリー・ファイルを開けません。」 793 ページ
2682	「テンポラリー・ファイルの読み込み中にエラーが発生しました。」 792 ページ
2683	「出力ファイルへの書き込み中にエラーが発生しました。」 795 ページ
2690	「このカーソルのホスト変数の数が不一致です。」 791 ページ
2691	「このカーソルのホスト変数のタイプが不一致です。」 791 ページ
2692	「このカーソルのインジケータ変数が不一致です。」 791 ページ
2694	「カーソル '%1' に対する OPEN はありません。」 791 ページ
2695	「カーソル '%1' に対する FETCH または PUT はありません。」 790 ページ
2696	「ホスト変数 '%1' は異なるインジケータですすでに使用されています。」 794 ページ
2697	「LONG BINARY/LONG VARCHAR のサイズ制限は、Ultra Light では 65535 です。」 787 ページ
2698	「WCHAR 型および TCHAR 型のホスト変数はサポートされません。」 789 ページ
2699	「char、WCHAR、および TCHAR の文字列パラメータを混合することはできません。」 785 ページ
2700	「SQL 構文は Ultra Light だけでサポートされています」 788 ページ

## SQL プリプロセッサのエラー・メッセージ (五十音順)

この項では、SQL プリプロセッサが生成するメッセージをリストします。設定するコマンド・ライン・オプションによって、各メッセージはエラー、警告、または非準拠フラグです。非準拠フラグ自体もエラーまたは警告です。

SQL プリプロセッサとコマンド・ライン・オプションの詳細については、「[SQL プリプロセッサ](#)」『[SQL Anywhere サーバ - プログラミング](#)』を参照してください。

### %1 にホスト・リストまたは USING 句を指定してください。

エラー・コード	2631
---------	------

#### 考えられる原因

指定された文には、ホスト変数がホスト変数リストまたは SQLDA から指定される必要があります。

### '%1' に無効な型のホスト変数があります。

エラー・コード	2623
---------	------

#### 考えられる原因

プリプロセッサが文字列型のホスト変数を期待している場所に、文字列型ではないホスト変数が使われました。

### CHAR 型でサポートされる配列は 1 次元配列だけです。

エラー・コード	2603
---------	------

#### 考えられる原因

ホスト変数を文字の配列として宣言しようとしていました。これはホスト変数の型としては許可されません。

### char、WCHAR、および TCHAR の文字列パラメータを混合することはできません。

エラー・コード	2699
---------	------

**考えられる原因**

1つの文で、すべて char 文字列、すべて WCHAR 文字列、またはすべて TCHAR 文字列ではないパラメータを使用しようとしてしました。1つの文の文字列パラメータ (INTO パラメータと USING パラメータを除く) はすべて同じ型の文字列である必要があります。リテラル文字列は char 文字列として処理されます。

**DECIMAL 型には精度を指定する必要があります。**

エラー・コード	2611
---------	------

**考えられる原因**

DECL\_DECIMAL マクロを使用して、パックされた 10 進数のホスト変数を宣言するときは、精度を指定する必要があります。小数点以下の桁数はオプションです。

**DECIMAL 型の配列は許可されません。**

エラー・コード	2612
---------	------

**考えられる原因**

ホスト変数を DECIMAL の配列として宣言しようとしてしました。DECIMAL 型の配列は、ホスト変数の型としては許可されません。

**DECLARE SECTION 文と INCLUDE SQLCA 文がありません。**

エラー・コード	2680
---------	------

**考えられる原因**

EXEC SQL INCLUDE SQLCA 文がソース・ファイルにありません。

**FIXCHAR 型には長さの指定が必要です。**

エラー・コード	2608
---------	------

**考えられる原因**

DECL\_FIXCHAR マクロを使用して FIXCHAR 型のホスト変数を宣言しましたが、長さを指定しませんでした。



## **FIXCHAR 型の配列はサポートされません。**

エラー・コード	2609
---------	------

### **考えられる原因**

ホスト変数を FIXCHAR の配列として宣言しようとした。これはホスト変数の型としては許可されません。

## **hosttype にはポインタ配列を使用できません。**

エラー・コード	2602
---------	------

### **考えられる原因**

ポインタの配列をホスト変数として使用しました。これは許可されません。

## **INTO 句は DECLARE カーソルでは許可されません - 無視されます。**

エラー・コード	2660
---------	------

### **考えられる原因**

DECLARE CURSOR 文で INTO 句を使用しました。INTO 句は無視されます。

## **LONG BINARY/LONG VARCHAR のサイズ制限は、Ultra Light では 65535 です。**

エラー・コード	2697
---------	------

### **考えられる原因**

Ultra Light で DECL\_LONGBINARY または DECL\_LONGVARCHAR を使用する場合、配列の最大サイズは 64 KB です。

## **SELECT 文に INTO 句がありません。**

エラー・コード	2633
---------	------

**考えられる原因**

Embedded Static SELECT 文は指定しましたが、結果のための INTO 句は指定しませんでした。

**SET DESCRIPTOR に対する不正なフィールドです。**

エラー・コード	2650
---------	------

**考えられる原因**

SET DESCRIPTOR 文に不正なキーワードまたは未知のキーワードがあります。使用できるキーワードは、TYPE、PRECISION、SCALE、LENGTH、INDICATOR、DATA のいずれかです。

**SET DESCRIPTOR 文ですでに使用されたフィールドです。**

エラー・コード	2651
---------	------

**考えられる原因**

単一の SET DESCRIPTOR 文で、同じキーワードが 2 回以上使用されました。

**SQL 関数 '%1' に対する引数の数が正しくありません。**

エラー・コード	2663
---------	------

**考えられる原因**

SQL 関数のパラメータ数が正しくありません。これがデータベース・サーバに送信されると、エラーになる可能性があります。

**SQL 構文は Ultra Light だけでサポートされています**

エラー・コード	2700
---------	------

**考えられる原因**

Ultra Light 用のコードを生成していないときに、Ultra Light だけでサポートされている文を使用しようとしてしました。

**VARCHAR 型には長さの指定が必要です。**

エラー・コード	2604
---------	------

**考えられる原因**

DECL\_VARCHAR または DECL\_BINARY マクロを使用して、VARCHAR または BINARY ホスト変数を宣言しましたが、配列のサイズを指定しませんでした。

**VARCHAR 型のホスト変数は初期化できません。**

エラー・コード	2607
---------	------

**考えられる原因**

VARCHAR または BINARY データ型のホスト変数に、C 変数イニシャライザは指定できません。この変数は、通常の C プログラム・コードで初期化する必要があります。

**VARCHAR 型のホスト変数をポインタとすることはできません。**

エラー・コード	2606
---------	------

**考えられる原因**

ホスト変数を VARCHAR または BINARY のポインタとして宣言しようとしていました。これはホスト変数の型としては許可されません。

**VARCHAR 型の配列はサポートされません。**

エラー・コード	2605
---------	------

**考えられる原因**

ホスト変数を VARCHAR または BINARY の配列として宣言しようとしていました。これはホスト変数の型としては許可されません。

**WCHAR 型および TCHAR 型のホスト変数はサポートされません。**

エラー・コード	2698
---------	------

**考えられる原因**

ホスト変数を WCHAR 文字列または TCHAR 文字列として宣言しようとしていました。これらは Windows プラットフォームの Ultra Light だけでサポートされます。

## インクルード・ファイル '%1' が見つかりません。

エラー・コード	2619
---------	------

### 考えられる原因

指定されたインクルード・ファイルが見つかりませんでした。プリプロセッサはインクルード・ファイルを探すのに、INCLUDE 環境変数を使用することに注意してください。

## インジケータ変数 '%1' の型が無効です。

エラー・コード	2622
---------	------

### 考えられる原因

インジケータ変数の型は short int である必要があります。これとは違う型が使われました。

## インジケータ変数 '%1' は認識できません。

エラー・コード	2621
---------	------

### 考えられる原因

DECLARE SECTION で宣言されなかったインジケータ変数を、文の中で使用しました。

## カーソル '%1' が宣言されていません。

エラー・コード	2627
---------	------

### 考えられる原因

Embedded SQL カーソル名を最初に宣言 (DECLARE) せずに、(FETCH、OPEN、CLOSE など) 使用しました。

## カーソル '%1' に対する FETCH または PUT はありません。

エラー・コード	2695
---------	------

### 考えられる原因

カーソルが宣言されて開かれましたが、使用されませんでした。

## カーソル '%1' に対する OPEN はありません。

エラー・コード	2694
---------	------

### 考えられる原因

カーソルが宣言され、開かれずに使用されたことが考えられます。

## このカーソルではホスト変数を使用できません。

エラー・コード	2629
---------	------

### 考えられる原因

指定されたカーソルの DECLARE 文では、ホスト変数は許可されません。ホスト変数を通してカーソル名を与える場合は、完全な動的 SQL を使用して文を作成してください。作成された文中にはホスト変数があってもかまいません。

## このカーソルのインジケータ変数が不一致です。

エラー・コード	2692
---------	------

### 考えられる原因

以前にカーソルで使用していないインジケータ変数を使用しました。または、以前にカーソルで使用したインジケータ変数を使用していません。カーソルに対して一貫したインジケータ変数を使用してください。

## このカーソルのホスト変数のタイプが不一致です。

エラー・コード	2691
---------	------

### 考えられる原因

使用したホスト変数の型や長さが、以前にカーソルで使用したものとは異なります。カーソルに対して一貫したホスト変数の型を使用してください。

## このカーソルのホスト変数の数が不一致です。

エラー・コード	2690
---------	------

**考えられる原因**

ホスト変数の数が以前にカーソルで使用した数と異なっています。カーソルに対して同じ数のホスト変数を使用してください。

**この型の配列はサポートされません。**

エラー・コード	2610
---------	------

**考えられる原因**

サポートされていない型のホスト変数の配列を宣言しようとしてしました。

**サブスクリプト値 %1 が大きすぎます。**

エラー・コード	2601
---------	------

**考えられる原因**

インデックスを付けようとしたホスト変数が、大きすぎる値を持つ配列でした。

**シンボル '%1' はすでに定義されています。**

エラー・コード	2617
---------	------

**考えられる原因**

ホスト変数を 2 回定義しました。

**データの値はホスト変数でなければなりません。**

エラー・コード	2652
---------	------

**考えられる原因**

ホスト変数として宣言されていない変数を SET DESCRIPTOR 文で使用しようとしてしました。

**テンポラリ・ファイルの読み込み中にエラーが発生しました。**

エラー・コード	2682
---------	------

**考えられる原因**

テンポラリ・ファイルの読み込み中にエラーが発生しました。

**テンポラリ・ファイルを開けません。**

エラー・コード	2681
---------	------

**考えられる原因**

テンポラリ・ファイルを開こうとしたときにエラーが発生しました。

**トークンが長すぎます。**

エラー・コード	2639
---------	------

**考えられる原因**

SQL プリプロセッサの最大トークン長は 2 KB です。これより長いトークンはエラーになります。Embedded SQL コマンドの定数文字列 (このエラーが主に発生する場所) では、長い文字列を作成するには文字列の連結を使用してください。

**ホスト変数 '%1' が再定義されています。**

エラー・コード	2665
---------	------

**考えられる原因**

同一のホスト変数を、異なるホストの型で再定義しています。プリプロセッサに関しては、ホスト変数はグローバルです。型が異なる 2 つのホスト変数には同じ名前を使用できません。

**ホスト変数 '%1' に 2 つの異なる定義があります。**

エラー・コード	2625
---------	------

**考えられる原因**

同じモジュール中で、同じホスト変数名に対して 2 つの異なる型が定義されています。ホスト変数名は C モジュールに対してグローバルであることに注意してください。

## ホスト変数 '%1' は C の文字列型でなければなりません。

エラー・コード	2615
---------	------

### 考えられる原因

Embedded SQL 文 (カーソル名、オプション名など) 中で、C 文字列が要求されましたが、違う型の値が渡されました。

## ホスト変数 '%1' は異なるインジケータですすでに使用されています。

エラー・コード	2696
---------	------

### 考えられる原因

同じ文の中で、異なるインジケータ変数を使用して同じホスト変数が複数回使用されています。これはサポートされていません。

## ホスト変数 '%1' は整数型でなければなりません。

エラー・コード	2640
---------	------

### 考えられる原因

整数型のホスト変数だけが許可される文中で、整数型ではないホスト変数を使いました。

## ホスト変数 '%1' は認識できません。

エラー・コード	2620
---------	------

### 考えられる原因

DECLARE SECTION で宣言されなかったホスト変数を、文の中で使用しました。

## ホスト変数が、DECLARE および OPEN で 2 回指定されました。

エラー・コード	2630
---------	------



**考えられる原因**

DECLARE 文と OPEN 文の両方でカーソルにホスト変数を指定しました。静的の場合は、DECLARE 文でホスト変数を指定してください。動的の場合は、OPEN で指定してください。

**マクロは再定義できません。**

エラー・コード	2647
---------	------

**考えられる原因**

ヘッダ・ファイルで、プリプロセッサ・マクロが 2 回定義されていることが考えられます。

**記述子のインデックスが正しくありません。**

エラー・コード	2649
---------	------

**考えられる原因**

ALLOCATE DESCRIPTOR 文で変数が 1 つも割り付けられていません。

**構文に許可されない言語の拡張機能が検出されました。**

エラー・コード	2666
---------	------

**考えられる原因**

現在のフラグ・レベル (-e オプションで設定) でサポートされていない SQL Anywhere の機能を使用しました。

**構文に言語の拡張機能が検出されました。**

エラー・コード	2667
---------	------

**考えられる原因**

現在のフラグ・レベル (-w オプションで設定) でサポートされていない SQL Anywhere の機能を使用しました。

**出力ファイルへの書き込み中にエラーが発生しました。**

エラー・コード	2683
---------	------

**考えられる原因**

出力ファイルへの書き込み中にエラーが発生しました。

**静的カーソルは記述できません。**

エラー・コード	2646
---------	------

**考えられる原因**

静的カーソルを記述しました。カーソルを記述するときは、ホスト変数にカーソル名を指定してください。

**静的文の名前は、2つのスレッドで使用する場合、正しく機能しません。**

エラー・コード	2664
---------	------

**考えられる原因**

静的文の名前を使って、`リリエントランシ・オプション`で前処理を行いました。静的文の名前は静的変数を生成し、それはデータベースによって入力されます。2つのスレッドが同じ文を使うと、この変数の競合が生じます。文識別子には静的な名前ではなく、ローカルなホスト変数を使用してください。

**同じ種類 (INTO または USING) の SQLDA が 2 つ指定されています。**

エラー・コード	2642
---------	------

**考えられる原因**

この文に2つの INTO DESCRIPTOR 句または2つの USING DESCRIPTOR 句を指定しました。

**認識できない SQL 構文です。**

エラー・コード	2661
---------	------

**考えられる原因**

データベース・サーバに送信されるとエラーになる可能性のある SQL 文を使いました。

## 配列の次元が正しくありません。

エラー・コード	2648
---------	------

### 考えられる原因

配列の次元が負の値になっています。

## 不正な Embedded SQL 構文です。

エラー・コード	2636
---------	------

### 考えられる原因

Embedded SQL 文 (OPEN、DECLARE、FETCH など) に構文エラーがあります。

## 不明な SQL 関数 '%1' です。

エラー・コード	2662
---------	------

### 考えられる原因

プリプロセッサが認識できない SQL 関数を使用しました。これがデータベース・サーバに送信されると、エラーになる可能性があります。

## 不明なホスト変数の型です。

エラー・コード	2613
---------	------

### 考えられる原因

SQL プリプロセッサが理解できないデータ型で、ホスト変数を宣言しました。

## 文 '%1' が準備されていません。

エラー・コード	2626
---------	------

### 考えられる原因

Embedded SQL 文名を最初に準備 (PREPARE) せずに実行 (EXECUTE) しました。

## 文 '%1' は認識できません。

エラー・コード	2628
---------	------

### 考えられる原因

存在しない Embedded SQL 文を削除しようとしてしました。

## 文字列リテラルの終わりに引用符がありません。

エラー・コード	2637
---------	------

### 考えられる原因

Embedded SQL 文中で文字列リテラルを指定しましたが、文字列を囲む引用符の後ろの方が行の最後またはファイルの最後までに見つかりません。

## 無効な型の SQL 文変数です。

エラー・コード	2618
---------	------

### 考えられる原因

文識別子として使われるホスト変数の型は `a_sql_statement_number` になります。他の型のホスト変数を使用しようとしてしました。

## 無効な整数です。

エラー・コード	2614
---------	------

### 考えられる原因

Embedded SQL 文 (フェッチ・オフセット、ホスト変数配列インデックスなど) 中で、整数が要求されましたが、プリプロセッサは入力された内容を整数に変換できませんでした。